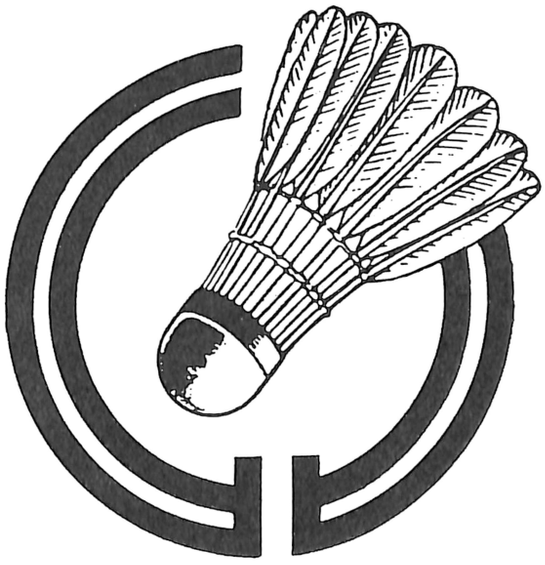
シャトルの軌跡

北海道バドミントン協会創立50周年記念誌

北海道バドミントン協会

シャトルの軌跡

北海道バドミントン協会創立50周年記念誌



北海道バドミントン協会

北海道バドミントン協会創立50周年記念誌

目　　次

挨　　拶

ご　挨　拶 …… 北海道バドミントン協会会長　地崎　昭宇 …… 1

祝　辞（50周年記念誌発刊に寄せて）…… 北海道体育協会会長　堂垣内尚弘 …… 2

50周年によせて

50周年記念を迎えて（故笠原一男氏の功績）…… 副会長　小林　純幸 …… 3

道北・道東のバドミントン…… 副会長　藤井　猛 …… 4

歴代の理事長さんご苦労さま…… 副会長　小飼　栄一 …… 5

私が現役選手だった頃…… 副会長　島中　貞夫 …… 6

栄光の道高体連バドミントン…… 副会長　武田　哲 …… 8

黎明期を語る座談会…… 9

第4代会長 地崎宇三郎氏の略歴 …… 18

元副会長 内田正博氏の略歴 …… 19

笠原一男元理事長との車中談義 …… 20

第5代理事長 笠原一男氏の略歴 …… 22

北海道協会の歴史と現状

若芽出でて古根枯るる（北海道協会沿革史）…… 23

北海道バドミントン協会50周年を迎えて…… 理事長　岩崎　昭郎 …… 37

北海道バドミントン協会50周年に寄せて …… 事務局・総務委員会 …… 38

競技委員会を振り返る …… 競技委員会 …… 38

審判員としての回想 …… 審判委員会 …… 39

創立50周年にあたり …… 指導普及委員会 …… 39

選手強化のこの10年 …… 選手強化委員会 …… 40

飛翔がために …… 表彰委員会 …… 40

役員の変遷・現役員一覧表 …… 41

北海道バドミントン協会規定 …… 43

12地区協会・4連盟の歴史と現状

函館地区バドミントン協会 …… 45
室蘭地区バドミントン協会 …… 49
苫小牧地区バドミントン協会 …… 53
小樽バドミントン協会 …… 57
札幌地区バドミントン協会 …… 61
南空知地区バドミントン協会 …… 65
北空知地区バドミントン協会 …… 69
旭川地区バドミントン協会 …… 73
名寄地区バドミントン協会 …… 77
十勝バドミントン協会 …… 81
釧根地区バドミントン協会 …… 85
北見地区バドミントン協会 …… 89
北海道実業団バドミントン連盟 …… 93
北海道教職員バドミントン連盟 …… 97
北海道学生バドミントン連盟 …… 101
北海道家庭婦人バドミントン連盟 …… 104

10年間の活動の足跡

日本リーグ 準優勝成る./ …… NTT北海道 …… 107
歴史を刻む「北の強豪」 …… JR北海道 …… 112
華麗に翔べ./ コートに舞え./ …… チ ザ キ …… 115
「全国」を視野に入れて …… 札幌第一高校 …… 118
バドミントン部35年のあゆみ …… 旭川実業高校 …… 121
全国高校選抜大会準優勝を遂げて …… 札幌静修高校 …… 124
バドミントン部の歩み …… 北海道女子短期大学 …… 127
道協会に助けられて …… 中村 光生 …… 129
「今」の自分があるのは …… 中山智香子 …… 130
私とバドミントン …… 増茂 孝枝 …… 131
ハンディを克服して …… 132
現役最高齢選手として …… 133
小学生の10年と今後に期待をこめて …… 135
本道の中学生のバドミントンを顧みる …… 136
カナダ・韓国・ロシアとの国際交流 …… 137
栄誉に輝いた方々 …… 141
全日本第1種公認審判員名簿 …… 144

10年間の栄光の記録

北海道協会主催大会入賞者一覧 …… 145
全日本大会の優勝者と本道選手の入賞者 …… 182
国体・スポレク祭での本道選手の活躍記録 …… 186
高等専門学校バドミントン大会の記録 …… 189
北海道選手権大会の全トーナメント …… 190
グラビア …… 247

北海道協会・地区協会・各連盟の事務局連絡先一覧 …… 256
編 集 後 記 …… 257

挨　　拶

「50周年記念誌」の発刊に寄せて



ご　挨　拶

北海道バドミントン協会
会長　地崎昭宇

北海道バドミントン協会が50年の歴史を重ね、記念誌を刊行できることは誠に意義深く、この時に、はからずも会長の職にありますことを、甚だ光栄に存ずる次第でございます。

昭和62年、父地崎宇三郎の後を引き継いで会長に就任して以来、11年が経過致しました。その間、本道におきまして昭和62年の全日本教職員選手権大会（苫小牧）、全国高校総体、昭和63年の全日本社会人選手権大会、平成元年の「はまなす国体」が登別市で開催され、その後も平成３年の全日本大学選手権大会（札幌市）、平成４年の全日本家庭婦人競技大会（札幌市）、平成６年の全国中体連大会（旭川市）、平成７年の全日本実業団選手権大会（札幌市）、平成８年の全国高校選抜選手権大会（札幌市）と毎年のように全国大会を開催してまいりました。そしてその度毎に、日本バドミントン協会会長であられる桜内義雄先生にご出席を頂いてご挨拶を賜り、またお近かづきを頂く機会を得てまいりましたことは、誠に光栄に存ずる所でございます。さらに又、各大会の円滑な運営に対しましては、参加選手の皆様はじめ、多くの関係者の方々から高い評価を頂いてまいりました。これは北海道バドミントン協会の役員をはじめ、傘下の12地区協会、４連盟の役員の皆様方の真摯なご努力と、長年にわたる諸先輩のご指導の賜物であると、深く感謝申し上げるところでございます。

この50年間に行われた主要全国大会における本道選手の戦績は素晴らしいものがございました。特に平成元年に登別市で行われた「はまなす国体」では、少年男子が優勝、成年男子が準優勝という大活躍があり、総合で準優勝という本道の歴史に残る輝かしい成果を挙げれましたことは、開催地の会長として誠に嬉しい限りでございます。また本道出身の女子選手が日本のトッププレーヤーとして今活躍しており、次期シドニーオリンピックを目指して頑張っていることも頼もしい限りでございます。

かって、1966年、1969年、1972年に行われたユーバー杯で、日本が３連勝するなど、日本選手達が世界の桧舞台で大活躍をした時代がございましたが、来る21世紀に向けて本道の選手が中心となって、日本のバドミントンを復活させて頂きたいと願っております。それ故に50周年の記念事業のメインとして選手強化をうたっているわけであります。どうか今後とも、道協会役員の努力はもとより、道体育協会会長様はじめ多くの関係各位の深いご理解と、温かいご声援を切にお願い申し上げる次第でございます。

最後に、記念誌発刊にあたり編纂の労に当たられた方々、式典準備に当たられた方々、選手強化事業に今後長く携われる方々、そしてご協賛頂きました多くの関係者の方々に対しまして深甚なる感謝の気持ちを込めてご挨拶と致します。

「50周年記念誌」の発刊に寄せて



祝　　辞

財団法人　北海道体育協会
会　長　堂垣内　尚　弘

輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられた北海道バドミントン協会が、創立50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴協会の半世紀にわたる足跡は、日本のバドミントン競技の歴史そのものであるといえます。わが国に、バドミントンが本格的に紹介されたのは終戦直後ですが、本道では、戦前から北大に留学していたインドの青年が、昭和21年に奈良岡教授の協力を得て手掛けたのが初めとされています。以来、競技熱が一段と高まり、昭和23年にバドミントン協会が設立されると同時に北海道体育協会に加盟をされました。

この年の第２回全日本選手権大会に初参加の本道勢は、少年シングルスとベテランシングルスの優勝をはじめ、他の出場者も全員ベスト８に進むという快挙で、“バドミントン王国北海道”の名を全国にとどろかせたことが、誇らしく記録に残っております。

それ以降も本道バドミントン競技選手の活躍は目覚ましいものがあります。平成２年、ウインブルドンジュニア競技大会の女子複で優勝した増茂・中山選手を筆頭に、国体、日本リーグ、実業団選手権、大学・高校・ジュニア選手権など、各種の全国大会で、数多くの団体優勝・個人優勝と上位入賞を果たしております。

とりわけ、平成元年に開催された北海道での初の完全国体・第44回「はまなす国体」では、バドミントン競技が総合で準優勝（少年男子が優勝、成年男子が２位）という大活躍をされ、本道の天皇杯、皇后杯獲得に大きく貢献されたことが昨日のように思い出されます。

半世紀にわたる輝かしい足跡を思うとき、歴代の会長はじめ役員、関係者の方々のご労苦とご努力に心から感謝と敬意を表するものであります。

貴協会が50周年という節目の年を飛躍台として、21世紀に向けてさらに大きく、力強い一歩を踏み出されますようご期待し、同時に各位のますますのご健勝と、貴協会の一層のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

50周年によせて



50周年記念を迎えて
（故　笠原　一男さんの功績）

北海道バドミントン協会
副会長　小　林　純　幸

50年。一口で言えば何の変哲もない数字である。時には人生に譬えられ、時には一炊の夢に例えられる数字ではあるが、私にとって50年に亘るバドミントンとの関わりは、私の人生にとって最も大切なものと言わねばならないものである。　私が本格的にバドミントンに関わるようになったのは昭和25年、第２回の北海道高校バドミントン選手権大会が帯広市で開催された時である。帯広三条高校のバドミントン部顧問としてその準備に当たったのだが、そのころの状況は今の時代からは想像もつかないものだった。市内で一番天井の高い小学校の体育館を借りて会場にしたのだが、太平洋戦争の敗戦後の混乱期の事とてその準備が大変だった。コートの作成を一つ例にとっても、紙テープを直接床板にはりつけることにしたのだが、当時としては貴重品の麦粉を何とか確保して、会場近くの友人の家の台所を借りて、大鍋で何杯も糊を煮立てて、大急ぎで体育館に運び込むと言う有り様だった。作業が進まず夜になると、照明などは考えられない当時の事とて、自転車を体育館に持ち込んで、ペダルを踏みながらつけるライトの明かりで糊の刷毛を動かすという状態だった。

まさに隔世の感のあるこの草創の時期からバドミントンに関係してきた私にとっては、この関係を通して多くの友人、先輩と交誼を得たのが何よりの喜びである。無数の友人関係の中でも、似たような世代で、共に協会を発展させるために苦労してきた第五代理事長の笠原一男さんの思い出は、一生忘れえないものである。笠原さんは、ミスター北海道バドミントン協会とでも言うべき人であった。戦後間もなくから函館地区のバドミントンの普及に力を注ぎ、高体連の専門委員として業績をあげた笠原さんは、昭和54年からは北海道バドミントン協会の理事長として協会発展のために全力を尽くされたのである。協会のためには又と得難い人材ではあったが、笠原さん個人にとっては大変な重荷を背負わされることになった。飄々とした人柄、どんな時でも温顔で接する笠原さんの人柄で、多くの協会員はその苦労の大半は知りえなかっただろうが、副会長としてコンビを組んで仕事を行って、裏表の全てを知る私には、だからこそ人一倍申し訳なさを覚えたものだった。ある時校長会の会議で定山渓に宿泊していた折に笠原さんから電話があった。全国大会の申し込み期日が来ているが、登録費は他の経常費に使用してしまって、差し当たって現金が一銭もない。何とかならないだろうかと言う切羽詰まった話であった。急遽個人的に用立てて事なきを得たが、今でこそ笑い話であろうが、当時はまだまだこんな信じられない様な火の車の台所事情だった。他聞を憚るような内幕を明かすのは、どれほど笠原さんが大変だったかを多くの人に知って貰いたいからである。平成元年のはまなす国体の頃には、漸く財政状態も健全になっていたが、今度は国体開催のための準備の苦労が続く事になる。全国社会人選手権大会、全国中学生選手権大会、全国高校総合体育大会、全国教職員選手権大会と全国規模の大会が目白押しになり、競技、選手強化、北海道や開催地との折衝等々、筆舌に尽くしがたい多忙な毎日が続いて、国体の競技が開始の頃には体調を崩していることが、誰の目にも明らかであったが、大会を無事終了するまではという笠原さんの鬼気せまる執念に、周りのものはひたすら彼の無事を祈るのみと言う状況であった。大会では少年男子優勝、一般男子準優勝、種目総合でも準優勝という好成績を置き土産にそのまま入院、不帰の人となられた。まさに北海道のバドミントンのために一生を捧げたという人生であった。

「去る者日々に疎し」というが、笠原さんだけでなく北海道のバドミントンの発展のために尽くされた多くの先達の苦労を、私たちは機会あるごとに声を大にして語り継いで行かねばならないと考える。



道北・道東のバドミントン

北海道バドミントン協会
副会長　藤井　猛

戦い済んで、町が荒れた中で、価値観が変わり、デモクラシーの空気と共に、新しい生活の創造に伴い、スポーツの分野にも戦前にはあまりひろまっていないバドミントンが道内にも広まり始めました。昭和23年に北海道協会が設立され、その組織が脈々とうけつがれて本年50年の節目を迎えたことは、人々の健康な体位と心の育成に多大な貢献を成している証左であり、関係各位に心から敬意を表します。

道北・道東のバドミントン沿革史によると、北海道協会発足後の昭和24年には十勝地区協会・釧根地区協会と芦別協会（後に滝川が中心となり北空知地区協会となる）が、昭和25年に名寄地区協会、昭和27年に旭川地区協会、そして昭和31年に北見地区協会が設立され、現在の道北・道東のバドミントン6地区体制が確立しました。それぞれの地区協会がすべて40年の歴史を超えて北海道協会に続き50年を迎えようとしていることもうれしい限りであります。一層の発展を願っているところであります。

私は、昭和48年に旭川地区バドミントン協会長に就任以来、道北・道東のバドミントン担当副会長という任にあたり、釧路・北見・名寄等での全道大会に役員として参加させていただきました。担当副会長としてこれをてがけたといえる程のこともありませんが、そのことによって又バドミントンに関わっていたことによって、多くの方と出会うことができ色々な形でお力添えをいただいたことに感謝しております。なかでも、私が道議会議長に就任したときには、皆様がお祝いに来てくださったことは、昨日の出来事のような気持で、今も忘れられない思い出となっています。

道北・道東バドミントンのここ10年前後を振り返ってみますと、大きな出来事は、ソウルオリンピックの日本選手団の合宿を北見地区、旭川地区で、日本リーグを旭川地区、十勝地区で、全国高校選抜を十勝地区で、全国中学大会を旭川地区で開催したことが挙げられましょう。それぞれの地区で大きな事業を展開した後には、地域に刺激を与え普及とレベルアップをもたらしたことと推察いたします。今後とも各種全国大会の誘致を図っていただきたいと願うものであります。

旭川地区では、一昨年独自に韓国水原市へ役員と中学生を派遣し、バドミントン交流を図り、昨年はロシア極東地区の交流を、北海道体育協会と北海道バドミントン協会の計らいで実施するなど、国際化の兆しも見えております。他国のプレイヤーは、体型も見方・考え方も異なるので、思いがけないことも発見することができるし、社会の国際化と連動し豊かな人生を築くきっかけとなると思うのであります。そのような観点から各地区の国際化も願っております。

道北・道東のバドミントンは、年々その水準を上げ、組織も確固たるものを築いていますが、地域という小さな井戸の中に浸りきって、マンネリに陥らないよう、全国・世界を視野に入れた展開を期待したいものであります。

歴代の理事長さん　ご苦労さま



北海道バドミントン協会
副会長　小　飼　栄　一

北海道バドミントン協会が50年の年輪を刻むとき、そこには数々の世話役がいたが、中でも最も大変な苦労をされたのは歴代の理事長さん方であっただろう。産みの苦しみを味わったのは初代理事長の佐藤保さんであった。彼は戦時中、慶応大学の学生で当時全日本バドミントン選手のトップグループの一人であり函館に住んでおられたが、慶応大学を出てから札幌に来られて、あちこちで若い学生たちに、積極的にバドミントンを教えておられた。元全日本のトップの一人だけあってその技量は卓越しておりその強さは抜群であった。北海道バドミントン協会の初代会長の西野金助さんの推薦で理事長になり、昭和29年に北海道に天皇陛下をお迎えして行われた第９回国民体育大会で尽力された。

第２代理事長は北大教授の奈良岡健三さんであった。彼は昭和30年から２期理事長を勤められた。もともと彼は陸上競技の競歩の選手で一万メートル競歩で日本新記録で優勝しその記録は26年間破られなかった。趣味で始めたバドミントンでも脚力がものいって、めきめき強くなり昭和23年横浜ＹＭＣＡで開催された第２回、翌年金沢で開催された第３回全日本バドミントン選手権大会壮年の部シングルスで連続優勝された。脚力の勝利だったという。

第３代の理事長は、日本バドミントン界の歴史的人物であり、戦前マレーシアでバドミントンを学ばれた田中荘三郎さんであった。田中さんも奈良岡さんと組んで全日本バドミントン選手権大会で活躍された。昭和25年出身地の倶知安で倶知安バドミントン協会の会長になられた。

第４代の理事長には当時北海道中島スポーツセンターの館長をされていた内田正博さんがなられた。内田先生は私が小学生の頃の先生で、北海道バドミントン選手権大会が中島スポーツセンターで開催されたとき、16年ぶりに再会した。田中荘三郎さんが退任されたあと宇野真平副会長の推薦で理事長になられた。内田先生は温厚で、人脈もありバドミントン以外にもいろいろな団体や連盟などの会長や役員を引き受けておられた。後に北海道教職員バドミントン連盟の会長も勤められた。

第５代目には田中荘三郎さんの推薦で、苫小牧在住の笠原一男さんがなられ大変なご苦労をされた。第44回国体の前につぎつぎと行われた全国大会を成功へと導かれた。彼は北海道教職員バドミントン連盟を創設し、昭和62年に第26回全日本教職員バドミントン選手権大会を地元の苫小牧市で開催し成功させた。そして昭和64年第44回はまなす国体を成功させた直後に、それまでの無理が祟って病死された。笠原先生のご苦労については、小林純幸副会長の寄稿された文の中で詳しく述べられている。笠原理事長の功績は地方協会でのバドミントンの指導普及はもとより、公認審判員の養成の面でも他府県を圧倒的に引き離して全国一の規模にされた。

笠原先生がお亡くなりになった後、藤井一孝副理事長が当分理事長代行を勤められ、翌年正式に第６代理事長になった。カナダのアルバータ州との国際交流に尽力された。その後病を得て引退された。総務委員長の岩崎昭郎さんが当分の間代行をされていたが、平成９年正式に第７代理事長になられて現在に至っている。

北海道バドミントン協会50周年を迎えられたのも、これまでの歴代理事長のご苦労があったればこそである。競技人口も増え、全国大会をスムースに行える力を保有するまでに成長している。北海道バドミントン協会の創立50周年を迎え、これまでの歴代理事長のご苦労に感謝を申し上げ、今後益々のご発展を心から祈っている。

私が現役選手だった頃



北海道バドミントン協会
副会長　島　中　貞　夫

札幌南校を卒業後、一浪して昭和28年、私は北大に入学、それと同時に神山・平澤両先輩のいるバドミントン部へと勇躍、入部した。

入部まもなく私は、新潟市で開催された全日本バドミントン選手権大会に出場することになる。

この大会、私は青年ダブルスで神山先輩と組み、準々決勝で敗れはしたが、全日本ランキング６位に、また混合ダブルスでは、札幌南校の後輩広井嬢と組み、惜しくも準決勝をファイナルセティングで負けたのだが、３位決定戦に勝って、全日本ランキング３位に入り、入部早々にしては一応の成績を挙げることが出来た。

夏が過ぎて、全日本大学選手権が仙台市で開催され、わが北大バドミントン部は準決勝まで勝ち進み、明治大学と対戦することになった。

試合は、ダブルスが１対１、シングルは神山先輩が取って２対２のまま私のシングルに決勝進出が賭けられた。

対戦相手は、私同様一年生。しかし、私が一浪している間の全日本高校で、ベスト４に入ったサンバタというバドミントン用具メーカーのご子息、諸江君であった。

お互いに１ゲームを取り合って、ファイナルゲームにもつれこみ、13オールでセティングという互角の闘いであった。諸江君は比較的華奢な身体つきではあるが、実にシャトルさばきの上手な選手である。そう知っていながら、無理に打ったスマッシュを全てネットに絞られ、完敗してしまった。

わが北大バドミントン部が唯一、全日本大学の覇者となる千載一遇の好機を逃した試合であった。

競り合った試合は、全て惜敗につぐ惜敗で、それをみな、ここ一番という時の私の弱さ、力不足からの結果であった。今でいうプレッシャーというものだったのかもしれない。

二年生になった私は、台風で青函連絡船洞爺丸が沈没し多数の死者を出した昭和29年、七飯浜近くの水産学部に移行した。私は、函館バドミントン協会の諸兄姉と練習することになる。ここでは、自分の考え通りの方法で納得のいくまで猛練習することが出来た。ただ、練習相手に多少不足の感があり、一抹の不安はあったのだが、勝負に弱かった一年めのプレーから抜け出すべく、体力と脚力をつけることに重点を置いた。そう、チャンスがくるまで、絶対に無理な攻撃をしないプレーを心がけると共に、高校生も含めた同協会全体のレベルアップを図りながら、猛練習に明け暮れる毎日であった。

三年めの北海道選手権大会のことである。道新、荒島記者（道協参与）の予想は次のようなものであった。

「一般男子シングルは、石田（慶応）を筆頭に、神山、島中（北大）、加藤（立教）、長谷川（明治）、野坂、柳原（北海学園）等、現役選手の争いで、社会人のくい込む余地はなさそうだ。最近、めきめき繊細なプレーを身につけた石田の優勝は、間違いなかろうが、島中のファイト、テクニシャンの神山、野坂に、立教のポイントゲッターとして心境著しい加藤や明大の長谷川が紙一重の差で続いているので、石田の独壇場というわけにはゆかないだろう。」

（昭和30年３月19日 道新朝刊 原文のまま）

石田先輩（当時北海高校）は、昭和26年の全日本少年組チャンピオンであったし、翌昭和27年の同チャンピオンが神山先輩（当時札工）であったのだから、当然の予想である。事実、予想通り石田、神山の二人に野坂、島中を加えた４人が準決勝に進出したのである。

私の準決勝の相手は、いつも練習では手も足も出ない神山先輩だった。当然のことながら、私は振りまわされるだけ振りまわされ、只々拾いまくるだけで終始する、神山先輩のペースで試合は進行していった。１ゲームめを取った時、取ったのではなく、遊んでくれたのだ……と思いながらチェンジコート。いつ神山先

輩が本気を出すのかと思いながら、ひたすら粘っていた。

結果は意外にも、只々、拾いまくっていた私が勝ってしまった。

さぁ、いよいよ決勝戦だ。相手は前年度の全日本選手権ダブルスの覇者、慶応の石田先輩（北海高校卒・故人）である。1ゲームめは5本しか取れずに完敗。ただ、脚にだけは自信のあった私は、またひたすら拾いまくり、9本を取られながらもかろうじて、ファイナルゲームに持ち込むことが出来たのである。こうなったら負けてはいられない、守って守って守り抜いてやれ……。こんな気持ちであった。

結果は、15対12で私の勝ち。私にとって、初の北海道選手権保持者となることが出来た会心の試合であった。

それにしてもなぜ、いざ勝負どころという大事な時に練習の成果を出せなかった私が、「島中は勝負強い奴だ。」と言われるようにまで変身することが出来たのか。それは、一年めの苦い経験と負けた悔しさを肥やしにして、二度と競り合った試合には負けないことを信条に猛練習を重ね、それ故、技と心が鍛えられたからなのではないかと思っている。以来引退するまで、6年間連続シングルの北海道選手権保持者となることに繋がったのである。

函館時代、週末には殆ど札幌に帰り、南校の指導と、北大キャプテンとして部員の指導に励んだものであった。

函館でのバドミントンに係わる思い出は沢山あるが、中でも小川氏（昭和40年北海道協会理事）と共に、しごきにしごいた札幌南校の後輩、四柳、山田、小林、中村が男女揃って全道高校選手権大会を総嘗めにすると共に、四柳、山田は第11回国民体育大会で準優勝する等、第2期の札幌南校バドミントン部の黄金時代を築いてくれたこと。函館で指導した、全くの無名の新人、星野嘉雄君（函館中部高校卒・故人）と組んで、北海道選手権大会複の選手権保持者になれたこと。札幌市と函館市との対抗戦を開催し、一般、高校共、全く歯が立たなかった札幌の連中を、函館軍団が初めてやっつけたこと。函館東高校の女子チームの、富樫、村本、平野、渡辺のメンバーが、全道高校の覇者となり、特に昭和30年の第6回全国高校選手権大会女子単で渡辺公子（現姓池田・東京在住）がみごと優勝したこと。翌31年第9回全日本バドミントン選手権大会混合複で、本庄惇子（現姓吉田）は、小飼栄一氏（現日本協会専務理事・現北海道協会副会長）と組んで、見事選手権保持者になったこと。

そして、私事であるが、現在も私の愛妻（？）としてかしずいてくれている、旧姓高橋玲子（現道協事務局の山口菊枝さんと組み全日本社会人バドミントン選手権大会40才ダブルスで昭和40年から4年連続優勝）と巡り会ったこと。等々……。

卒業後は、私は一時、札幌鉄道管理局（現ＪＲ北海道）バドミントン部監督の西本秀一郎氏と札幌南校の後輩青山繁樹氏（同部創部者・現北海道実業団連盟会長）に頼まれ、井川、長山、熊倉、島、平澤、有路、渋井と粒揃いの札鉄の指導をすることになるが、昭和34年香川県で開催された第9回全日本実業団バドミントン選手権大会で見事準優勝に輝いてくれたことは、吾が事のように嬉しく思い起こされる。

私は、その後札幌市役所に奉職することになるが、早速バドミントン部を創設し、専ら母校で練習する傍ら、週末には、名寄、旭川、函館、釧路、帯広等に、西野泉三先輩（北大ＯＢ・元道協常任理事・故人）や、奈良岡健三先生（当時北大教授・戦後、本道で最初にシャトルコックを打った人で、昭和24年第2回、昭和25年第3回全日本ベテラン単選手権保持者・三島市在住）に連れられて、地方協会の競技力向上の為に、コーチと云うか、どこへ打っても跳ね返って来る壁代わりの練習相手に出かけたものであった。

北海道のチャンピオンを6年間続けたが、法政大卒のバリバリ……帯広の高田嘉純君に決勝で負けることになるのであるが、その時、悔しさは全くなく、何か肩の荷を降ろしたような、安らぎを覚えながら引退を決意したものであった。

現在、北海道の頂点に立っている選手諸兄姉達よ、己の練習に全力を傾注することは当然のことであるが、道協の選手強化委員長遠藤好男氏（ＮＴＴ北海道・昭和48年から連続11回北海道選手権保持者）を助け、全道的な視野に立って、競技力の底上げに尽力して欲しい。自分に立ち向かってくる相手に胸を貸してやってこそ、自分も更に強くなるものだと私は思うから……。

若かりし頃の遠い昔に思いを馳せる時、かけがえのない想い出はつきないが、いつの日か、吾が北海道バドミントン界が、世界を席巻することを夢見ながら筆を置こう。

栄光の高体連バドミントン



北海道バドミントン協会
副会長　武田　哲
（元道高体連バドミントン専門部長）

「新幹線よりも速く、蝸牛よりも遅く」という言葉を高体連のバドミントン大会の挨拶の中で何回も使ってきました。スマッシュの速さは新幹線で良いのですが、ヘヤーピンのシャトルの遅さを「舞い降りる鳥の羽根よりも緩やかに」とイメージしてみると蝸牛とはなかなか結びつきません。それでも、この表現は、バドミントンの選手経験のない私にも、バドミントン競技の特質を分かりやすく伝えてくれます。

ゲームの楽しさだけは知っていましたが、技術的なことや戦術はもちろん、指導計画も何も知らずに顧問を引き受けたのは昭和37年のことでした。

その年の旭川北の男子は全国大会当然と言われてプレッシャーを感じながら引き継いだのですが、運良く道北優勝で期待に応えることが出来ました。そのおかげでバドミントンとの今日までのお付き合いがあるのです。ありがたいことだと思っています。

その頃を思い出しつつ、当時既に輝かしい歴史を築いていた道高体連のバドミントンの活躍を振り返ってみます。

北海道は、高体連バドミントン専門部草創期から全国的な存在であり、全国での団体戦の成績を見ても、昭和25年女子札幌東優勝、26年女子札幌南優勝、札幌星園２位、27年男子北海優勝、女子札幌南連続優勝、札幌東３位、28年男子北海の連続優勝と、好成績が続いていました。更に、34年男子帯広三条２位、同じく38年帯広三条の３位と続いた後、しばらく全国大会の団体入賞が中断していましたが、高校総体の北海道開催を終え、はまなす国体目前の昭和63年、久しぶりに札幌第一が男子全国３位に入賞し、引き続き平成元年、４年、８年と全国３位入賞を果たしています。

個人戦での全国優勝も、昭和30年女子シングルス渡辺（函東）、平成元年男子ダブルス佐藤・郷路組（第一）、４年男子シングルス西田（第一）、５年女子シングルス中山（旭実）、女子ダブルス増茂・中山組（旭実）と続き全国水準を保っています。

高校のバドミントンは、昭和24年、当時既に全国トップクラスにあった札幌地区から始まり、小樽、函館、空知、旭川、帯広地区へと広がり登録選手数も次第に増え、一時期、地方協会の中心的役割をも果たしていました。

バドミントン部顧問には、選手経験の無い教員も少なくなかったのですが、生徒を強くしたいという情熱と、生徒の練習場面には常に一緒にいて時間を忘れた取り組みで多くの優れた選手を育て、今日の幅広いバドミントン人口を築いてきたように思います。

これからは、選手経験も豊富な顧問も多くなると思いますが、手探りの研究心で今日の繁栄を築いてきた先輩方の五十年に及ぶ努力をしっかりと受け止め、北海道バドミントン協会の明日へ繋げていきたいと思います。

黎明期を語る座談会

出席されたご先輩の方々

◇阿　部　厚　雄　　◇荒　島　敏　幸　　◇若　林　　守
◇小　飼　栄　一　　◇堂　前　憲　悦

（発 言 順）

司　会：東　　健　治（記念誌編集長）



北海道バドミントン協会が昭和23年４月に創立されてから早くも50年経ちました。この半世紀にわたる生い立ち、発展を記念する祝賀会の準備を進めてきましたが、そのメインになるのが50周年記念誌の編集かと思います。この中で、当協会の黎明期がどうだったのか、ご先輩の方々による座談会でその記録を残していきたいと願い、企画しました。当協会は北海道16の地区協会、連盟で構成されています。最近は高校生、一般男子らの活躍がめざましく、協会の運営も順調に推移しています。これもひとえにご先輩のご指導、ご協力のお陰と感謝しております。この座談会を機に、当協会が一層充実、発展することを期待し、本日は忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

（岩崎昭郎・北海道バドミントン協会理事長の挨拶から）



司会



本日はご多忙のところ、お越しいただきまして誠に有りがとうございます。50年も経つと人間の記憶も段々あやしくなり、今この時に当協会の黎明期を担って来られた方々の生の体験談等を文字に残して、後世に伝えることが私どもの任務と思いましてこの様な座談会を計画致しました。ぜひ記憶を掘り起こし、昔を懐かしく思い出しながら、ご協力いただきたいと存じます。それではまず、ご先輩方がバドミントンを競技として始められたのはいつ頃だったか、お聞きしたいと思います。

阿部



昭和21年からです。終戦と同時に各種競技が復活し、同時に新しい競技も出てきました。私は北海道新聞社の運動部記者として、新興スポーツ係も担当しておりましたが、ある日、戦時中から国際留学生として北海道大学工学部に学んでいたインドネシアのラヌディジョ・スロジョーさんが、クラスメイトの西野泉三さん（後に道協会副理事長）と一緒に社を訪れ、バドミントンの普及に協力してほしいとの要請を受けました。「どんな競技ですか」と聞くと、ラケットを振る仕ぐさをして「日本の羽根つきのようなもの」と答え、羽根もシャトルコックを使うことを知りました。スロジョーさんは母国の競技であるバドミントンを北海道で広めようと願っていたのです。当時、富貴堂にたまたま用具があったので、お願いして持ってきてもらい、道新旧社屋の屋上で若い人たちと一緒にたたき合った。ただひたすらたたいただけです。

司会　それが北海道で打たれた羽根の第１号だったのですね。

荒島



私も阿部さんと同じく当時道新運動部にいたので、21年６月ごろだと記憶しています。20年に札幌に進駐したアメリカ兵たちがレクリエーションにバドミントン用具を持ってきており、すぐ北大体育館を使用するようになった。たまたま北大の教官だった奈良岡健三さんもアメリカ兵の興ずるバドミントンに強い関心を持ち、スロジョーさんの熱意と相まって、体育館でポン、ポンと打ち合ったのが、多分北海道で初めてではないかと思います。

若林



私はちょうど１年後の22年でした。当時の道新にバドミントンの記事が出ていたのを記憶しておりましたので「バドミントンとは一体どんな競技なんだろう」と荒島さんを訪ねたのがバドミントンとかかわった発端です。その後、北大や小学校の体育館を利用して練習に打ち込みました。どのくらい後になりましたか、札幌クラブと函館クラブの対抗戦が実現しました。これがバドミントン試合の第１号ではないでしょうか。

小飼



バドミントンを始めたのは25年６月からです。当時私は札幌北高校にいたのですが、インターハイの札幌地区予選が行われる１週間前に、この地区予選に出なければ、バドミントン部として公認はしないという仰せがあったのです。部は出来たのですが、掛け声ばかりで、肝心の選手がなかなか集まらない。１週間前に初めてラケットを持ったような状態だったので、当然のことですが散々たる成績でした。同級生たちに笑われた悔しさを発奮材料に、それから頑張ったものです。

司会　小飼さんはそれ以来50数年バドミントン一筋ですね。日本協会の専務理事を10年、道協会の役員を40年以上務めていますが……。

小飼　私と同じように永くやっているのが神奈川県にもう１人います。教員で、夫婦一緒に頑張っています。会うとすぐ50年前に戻り「昔はこうだった」と思い出話に花が咲きます。これからは若い人達の時代だ――と引き上げてくれたのが、次に発言される堂前さんと、田中荘三郎さん（第三代理事長）だったのです。

堂前



昭和24年だったと思いますが、前年中国から引き揚げてきた田中さんが私を訪ねてきて、当時の高等学校の体育活動の中にバドミントンを加え、普及させたいので協力してほしいと頼まれたのです。田中さんとは親同士が仲がよかったので、それまで付き合いはあったのですが、その熱意と決意に並々ならぬものを感じました。田中さんに引っぱり出され、それから２人であちこちの高校を回って普及活動を続けました。当時、田中さんの家にはバドミントンの用具類がそろっていましたがシャトルコック、ラケット、ネットまで、普及先の高校にプレゼントしていたようです。そんな訳で、私のバドミントンとの触れ合いは、田中さんの強い熱意から始まったといってよいでしょう。

小飼　日本バドミントン協会の創立メンバーの中に田中さんの名前が記されています。道協会の生みの親といえますね。

司会　その頃の北海道の選手にはどのような方がおられましたか。

堂前　やっぱり荒島さんや若林さんが頑張っていた。それに北大にいた奈良岡先生。この方が最初の選手ではないでしょうか。そのあと高校生が出てきた。29年に札幌で開催された第９回国体で、審判補助員、選手合わせると道内関係者は50人ほどいた。最後まで頑張ってくれた人たちです。

荒島　田中さんの力があって、26年に倶知安で全道大会が開かれたのですが、施設や運営面で堂前さんも大変苦労なされたと聞いています。北海中から慶応大学へ進み、その後北電に就職した佐藤保さん（初代道協会理事長）は、私どもがバドミントンを始めたことを知って、仲間に入ってきたのですが、いろいろ聞くと、なんと戦前の全日本チャンピオンだった。要請に快く応じていただ

き、その卓越した指導で、技術をかなり引き上げてもらいました。

司会　私は南高校の１期生ですが、素人っぽい技を直してもらい、多少なりともバドミントン部らしくしてもらったのも佐藤さんのお陰です。卒業後は全国優勝できたぐらいですから。

荒島　私と若林さんがバドミントンを始めた頃は、あちこちの高校から声をかけられました。指導というよりも、普及が主だった。よく阿部さんと３人で出掛け、阿部さんが説明しながら私と若林さんがポンポン打ち合い“模範試合”をやったものです。

若林　あの頃、私もそうでしたが、軟式テニスをやっていたので、グリップが違う。佐藤さんが最も基本的な打ち方をしていた。バドミントンをやるにはイースタンでやらなければならないので、直すのに苦労しました。佐藤さんは硬式テニスの出だけに別格。だが、スロジョーさんは違っていましたね。

荒島　スロジョーさんは、何か羽根つきという感じ。インドネシアの国技だから、ゲームというより、レクリエーションとしての意味あいが強かったのでしょう。だから技術的なものは教え切れないところがあった。その点、佐藤さんは選手としてのプレーをしてきたので技術的には高度なものを持っていた。

堂前　慶応の選手たちは早い時期に北海道へ合宿にきていた。佐藤さんとのつながりでしょう。田中さんはバドミントンとのかかわりは古く、指導力は抜群。だが、競技のコーチとしての力は佐藤さんの方が上回っていたと思います。

司会　当時のバドミントン競技会場についてお尋ねします。先ほど北大の体育館の話が出ましたが、ほかにどんなところを使いましたか。

堂前　一番多く使ったのは当時の東北小学校（現・中央小学校の場所）。校長が大変理解があって、大会のつど場所を提供してくれました。小学校としては天井が高かったので、競技はやりやすかった。



阿部　かつて、いまの市役所の場所にあった創成小学校は、道新のすぐ前ということでよく通いました。また大通り公園は現在のように芝生や花壇はなく、軟式野球場やバレーボールコート、軟式テニスコートなど備えた多目的の運動公園だったので、ここで模擬練習をやったものです。ポン、ポンと打ち合っていると道行く市民が「何をやっているのだろう」と足を止め、それなりに人気を集めました。「バドミントンは屋内外どこでも出来る」と、当時記事の中で書きましたが、風が強いと屋外ではやはり無理です。競技は屋内でなければだめだと思いました。

小飼　スポーツが盛んになった頃で、校長はスポーツに理解のある人が選ばれたものです。ひと声かけ

ておくと、優先的に提供してくれました。東高校（旧市立高女）も同じような建て方だったと記憶しています。公立高校の体育館は午後、課外活動に使われるので使用は限られるが、小学校はそれがなかったこともあって、土、日曜日は自由に使うことが出来たのです。ただし、バドミントン競技としてラインを引いてある学校などはどこにもなかった。

司会　ライン引きはチョークを使っていたのですね。

阿部　20年代はほとんどチョークでラインを引きました。引くのはよいが、当時の体育館のフローリングが粗末だったので、消すのに大変苦労しました。だれも率先してあと始末したがらなかったものです。

若林　体育館の天井が低く、打ちにくかったですね。打つと天井でシャトルコックが引っくり返ってくる。札幌工業の体育館がそうでした。

荒島　北海高の天井も低かったので、むしろドリブン打ちが上手になった。競技に強くなったのは、体育館の天井が低かったからともいえますね。

小飼　札幌で29年に国体を開催した頃は、体育館も新しくなってきた頃です。天皇陛下が会場の札幌工業高校にご来臨されましたが、いまのように警備が厳重でなく、お席が市民とそんなに離れていなかったことを覚えています。敷物も豪華なものを格別使わないで、白い布を敷いていた程度。陛下のすぐ隣りに廣田日本協会会長、離れて西野金助さん（道協会第二代会長）や田中荘三郎さんらが侍従と並んで座られていました。

司会　当時、ルールブックはどうなっていましたか。

若林　実は23年に作成したガリ版刷りの古いのを見つけました。富貴堂運動部と書かれている。北海道で作った最初のルールブックだと思います。これを持ってきたので、皆さんご覧になって下さい(回覧)。次に出来たルールブックは24年のもので、国体に行く時、みなさんもらったはずです。内容は前年よりかなり詳しくなっています。

荒島　私が３級の公認審判員の資格をとったのは24年で、この時の審判講習会に、日本協会の廣田さんら役員が来てくれました。それ以後、毎年そうですが、技術指導も兼ねて来てくれたのですね。

若林　あの当時の試験は、筆記と技術を合わせて行われました。29年には札幌で国体が開かれるため、審判員が現地でたくさん必要になり、直前に資格をとった人が急増したのです。級によってバッヂの色が違ったものです。

司会　用具はどうでしたか。

小飼　用具は戦前から日本でつくっていたのですよ。戦後、日本でバドミントンが盛んになったのは、全部プールされていたものを使うことが出来たからです。輸出できないので国内だけで販売されて、しかも残っていたものが多かったからです。インドネシア、マレーシア、シンガポールはバドミントンが盛んで、かなりの量をつくって輸出していたはずです。その後、輸出にストップが

かけられたが、軍事用品でないので、徴発されずに残っていたとも考えられます。

荒島　確かに戦前からつくっていたようで、運動具店にありました。倉庫をさがしてもらったら、ラケットが12本も出てきました。ただし、重いのばかりでした。

若林　シャトルコックは25年の全日本選手権の時、公認球として定められ、メーカーのシールが貼ってありました。オリエンタルを初めとして、ナルト、マルワ、バタフライ、スワロー、ナンバーワンなど６社ほど記憶しています。

荒島　飛ばなかったら、コルクにネジ釘を差し込む。飛びすぎると、重量を減らすため、ネジ釘をはずしたり操作して飛距離を均一化したものです。

小飼　コルクは当時、ポルトガルでしか生産していなかった。朝市が開かれ、そこに日本の業者は２社しか商いに加われなかった。コルクのよいものはワインのふた（詰め栓）になるが、悪いものは雑品になります。シャトルコックは雑品に入る。目方が足りず不安定ですから、ネジ釘で調整しなければならないのです。原羽根もよいところだけを残し、他はカットしてシャトルコックに使うのです。そのあたりはメーカーの企業秘密ですが、原羽根の３／４は捨てられると見た方がいいでしょう。

司会　ウェアもいろいろ変遷があったとおもいますが。

小飼　ウェアは当初アンダーウェアで、下着みたいなものでした。それでは格好が悪く、国際大会で通じない。品位を保たなければと、日本協会も白に統一するなど基準を設けたのが37年頃でした。協会がウェアを公認して業者がそれを売る。公認することによって協会も利益を得る仕組みになったのです。

荒島　白のロングズボンに、シャツはＶネック、丸首などさまざま。夏はランニングでやったこともありました。卓球やテニスと同じウェアで、要はなんでも構わなかったのです。



小飼　日本協会が最初に取り組んで認定したのはラインでした。チョークを使っていては大変だったからでしょう。国際ルールにより、初めは3.7センチに端数がついた幅を3.7センチにしてメーカーにつくらせた。その後、インチがメートル法に変わって現在は４センチです。当時、日本ではまだ尺、寸を単位にしており、世界はインチ単位だったので、これを換算すると違いが出てきたのです。

荒島　ラケットを初めて自分のオーダーでつくったのは、確か第２回全日本選手権が横浜であった24年でした。一方、ネットは当時、網目が広かったので球がすぐ通過してしまう難点がありましたね。

若林　かと思うと、球が刺し網にひっかかったように落ちてこない。ラケットも木製ですから目が大き

く、スマッシュを受けると、シャトルコックがはさまってしまうことも。いまは笑い話になるようなトラブルがしょっちゅうありました。

堂前　ラケットの網目を細かくすればするほど弱くなってしまう。ラケットを特注すると、当時1,200円ぐらいしたのではないでしょうか。

若林　値段といえば、シャトルコックは当時65円という製品があった。やはり高かったですね。練習するとまたたく間に１ダースは使ってしまいました。



堂前　田中さんを通すと、小樽や倶知安では50円で買えたのですよ。

司会　当時の方々なら辛い経験として記憶にあるでしょうが、製作技術が遅れていたので、すぐ折れたり抜けたりして補修に苦労しましたね。

若林　修理するのに、いまのような瞬間接着剤があればすぐついたものを。当時はセメダインを使い、長時間かけて固めていました。

阿部　そのセメダインもいまのように商品が豊富でなく、しかも値段が高い。強く打つと折れやすいので、力を加減しながら、いつもハラハラしながら打っていたものです。しっくい製は強いからと使ってみたが、これも同じで長続きはしなかった。

荒島　そういえば、毛糸のボール球を使ったことがありました。打つとすぐカーブしてしまう。いずれもほろ苦い思い出です。

司会　ところで、当時バドミントンに対する世間の見方とか、位置づけは如何でしたか。



堂前　初めてということもあって、高校生には人気がありましたね。今の皇后陛下が、学生時代好んでバドミントンをやっていたという風評もあったせいでしょうか。しかし一般の人たちには、ラケットもコックも値段が高かったので、なかなか普及しなかった。職場では郵政、支庁、営林署などが取り入れたのですが、同様に長続きしなかったようです。力いっぱい叩くから羽根がすぐだめになってしまう。やはり経済的な事情があったからだと思います。

荒島　確かに経済面はありましたね。しかし、そのあとバドミントンは他の新興スポーツよりも、いち早く競技人口が増えてきた。それはスマートさが愛され、受けたからだと思っています。

司会　それでは最後に、黎明期と21世紀を間近にした現在のバドミントンとの共通点、相違点などお気付きの点がありましたらお聞かせ下さい。技術面、精神面など何でも結構です。永い間日本協会の理事を務められた小飼さんの感想は。



小飼　一般的には確かにレベルは上がってきています。しかし国際レベルから見ると、日本は二流といわざるを得ない面がある。どんどん伸びていく国際レベルに日本は追いつけない。２、３年前、東南アジアに行った時、外国の役員から「日本選手はだめですね」といわれました。技術的なことや体力面の指摘かと思ったら違うのです。日本選手は酒もタバコも平気でやる。それでは激しいスポーツにはついていけないというのです。バドミントンにかける基本的なスタンスを指していました。中国や韓国では、酒やタバコをやるとナショナルチームから追放されます。イスラム圏も戒律があるから当然です。日本ではこわい先輩もいないし、協会も何もいわない。同じシャトルコックを使って、同じルールでやっても、そんなことで外国と差がついていくのです。



司会　６年前にカナダのアルバータ州と北海道の交流試合で向こうに行ったのですが、選手の一人に平気でタバコを吸うのがいて、それを見た外国の選手が目を丸くして驚いていました。たまたま１人だけでしたが、みんなでやると大変なひんしゅくをかうところでした。酒もタバコも激しいスポーツには悪いと解っていながら、守れないのが日本の現状です。選手も周囲の人たちも気をつけないと、国際レベルに追いつけそうもありません。

小飼　いったん落ちてしまうと、なかなかはい上がれない。いまは男子のみならず、女子選手にも同じ傾向があるのが気にかかります。

堂前　練習方法を思い切り変えるとか、協会自体も考え方、とらえ方を変えるなど方策はあると思います。とはいえ、トレーニングも外国選手と同じ量はやっているのですから、やはりバドミントンに向かう基本的な姿勢を問題にしなければ進展は望めませんね。

司会　日本のバドミントンを憂うこのようなお話で座談会を締めくくるのは寂しい気もしますが、今後北海道のバドミントンは日本の一流に追いつき、また北海道の選手の中から世界の選手といわれるような人材を輩出することが出来ればと願っています。私たちは協会の役員をやっていますが、

そういうことに思いを馳せ、先輩の方々のご協力、忠告を受けながら頑張っていきたいと考えています。本日はこれまで知らなかったこと、隠されたエピソードを含め、内容の充実したご意見を戴き、ありがとうございました。



座談会後の懇親会

創立当時の大会資料



資料提供　若林　守氏（道協参与）



故 地崎宇三郎氏の略歴

（地崎　九一）

1．略　　歴	昭和18年	㈱地崎組に商号変更、地崎　九一　地崎組代表に就任
	昭和26年	二代目宇三郎死去
	昭和27年	地崎　九一　三代目宇三郎を襲名　地崎組社長に就任
	昭和48年	㈱地崎工業に商号変更
	昭和50年	社長退任
	（昭和52年	地崎昭宇　副社長に就任）
	（昭和56年	地崎昭宇　社長に就任）
2．公　　職	昭和38年	自民党道連副会長に五選される
	昭和38年	第30回衆議院議員に立候補し首位で初当選
	昭和38年	北海道バドミントン協会第４代会長に就任（～昭和62年）
	昭和40年	衆議院大蔵委員および社会労働委員会委員
	昭和40年	北海道労働保健管理協会会長に就任
	昭和40年	北海道ソフトボール協会会長に就任
	昭和40年	北海道体育協会会長に就任
	昭和42年	第31回衆議院議員選挙で再選
	昭和42年	北海道社会福祉総連合会会長に就任
	昭和42年	全国建設業協会会長に就任
	昭和42年	北海道体育施設協会会長に就任
	昭和44年	札幌都市開発公社会長に就任
	昭和44年	第32回衆議院議員選挙で首位三選
	昭和45年	北海道近代五種バイアスロン連盟会長に就任
	昭和47年	第33回衆議院議員選挙で四選
	昭和48年	第２回北海道・ソ連極東スポーツ大会に団長として参加
	昭和51年	第34回衆議院議員選挙で五選
	昭和54年	第35回衆議院議員選挙で六選
	昭和54年	第２次大平内閣の運輸大臣として入閣
	昭和55年	第36回衆議院議員選挙で首位で七選
	昭和55年	大平総理死去し、鈴木内閣誕生
	昭和55年	運輸大臣を退任
	昭和56年	自民党道連第十代会長に就任
	昭和57年	自民党道連第十一代会長に再選
	昭和57年	代議士引退
	昭和58年	自民党道連第十二代会長に三選
3．表彰関係	昭和47年	安全功労賞受賞
	昭和50年	地崎社主　藍綬褒章受章
	昭和61年	北海道スポーツ賞受賞
4．逝　　去	昭和62年11月11日	享年68歳
5．没後の受賞	昭和62年	勲一等瑞宝章を遺贈される



故 内田正博氏の略歴

1．職　　歴（教員時代、教育委員会関係）

昭和10年～	札幌市東北小学校勤務
昭和12年～	札幌市東北青年学校兼務
昭和18年～	札幌市立商業学校勤務
昭和18年～	札幌市立中学校兼務
昭和18年～	廳立札幌第一中学校兼務
昭和20年～	廳立札幌第一中学校勤務
昭和22年～	北海道札幌第一高等学校勤務
昭和23年～	北海道廳学務課勤務
昭和23年～	北海道教育委員会保健体育部勤務
昭和27年～	第９回国民体育大会準備事務局兼務

2．北海道体育協会関係

昭和25年～平成３年	北海道体操連盟副会長
昭和35年～平成３年	北海道レクリエーション協会理事長
昭和58年～平成３年	札幌綱引き連盟会長
昭和63年～平成３年	学校法人いわさ学園園長
昭和40年～平成３年	札幌市体育連盟

3．北海道バドミントン協会関係歴

昭和42年～昭和53年	北海道バドミントン協会理事長
昭和60年～平成３年	北海道バドミントン協会副会長
昭和45年～昭和54年	北海道教職員バドミントン連盟副会長
昭和55年～平成３年	北海道教職員バドミントン連盟会長

4．賞　　罰

昭和50年	日本体操協会表彰
昭和52年	日本バドミントン協会会長表彰
昭和53年	札幌市民スポーツ表彰
昭和56年	労働大臣表彰
昭和57年	北海道スポーツ賞
昭和60年	文部大臣表彰

5．逝　　去

平成３年10月21日　　享年78歳

6．没後の受賞

平成３年10月21日　　勲六等単光旭日章

笠原一男元理事長との車中談義

この対談は、私が北海道バドミントン協会創立40周年記念誌編集（昭和63年５月発刊）にあたり、当時の理事長である笠原氏に、協会発足当時の状況を聞きたいと思い、そしてそれを掲載することで紙面の充実を図ろうと考え、当時発売されたばかりの手帳サイズのマイクロカセットレコーダーを胸ポケットに忍ばせて録音したものである。その後録音テープを紛失したが、過日引っ越し荷物を整理していたら出てきたものである。

録音日時	昭和59年９月16日第15回北海道教職員バドミントン選手権大会が函館市で開催されたときの帰路、十川先生（当時、鵡川高校教諭）運転のボンゴ車の中で収録。
参加者	高橋　昌久（当時、旭川凌雲高校教諭）　十川　千春（当時、鵡川高校教諭） 森沢　邦昭（当時、静内高校教諭）　笠井　武彰（当時、旭川東高校教諭）
司会者	対談の中で上記の４人がそれぞれ司会役を務めた。

司会：笠原先生、バドミントンを始めたのはいつ頃からですか。

笠原：俺は最初の頃のこと知らんもんな〜。昭和22年にプレーをやった。教員で函館にいた。未だ22、３歳の頃で、函館、いや北海道でいちばん早いんだわ。（皆、ほーう）俺、学校ではバレーが専門だから、バドと両方やっていたから、両方の専門委員だった。プレーをやったのは教員になってからだも。したから、道の協会より１年早くやった。いちばん早かったから。

司会：先生は高体連、最初から出ているのでしょう。

笠原：２回目くらいだな〜。（調査の結果、第１回目の札幌大会〔昭和24年〕で監督として、プログラムに名前がありました。）

司会：北海道では誰が一番初めにやったんですか。

笠原：田中　荘三郎さん。

司会：どこの人ですか。

笠原：倶知安の人。今、洞爺にいて、何年前に亡くなったかな。３年前かな〜。

司会：なんでバド始めたんですか。

笠原：あの人、向こう（インドネシア）の人なの。向こうにいたから。顔から何からそういう顔。

司会：コートはどうしていたのですか。

笠原：チョークで書いてよー。ネットはちゃんとあったさ。

司会：コートの広さとかきまり（規則）は？

笠原：それは、昭和21年からあるも。あと、ラインより何メーターも離れているところにポール立ててよ。ポールは３本だよ。一本が三つ折りになっている(つなぎの)やつな。あと、細引で、ずーっと引っ張って、壁まで。でも、もう、東京とかあの辺では戦前からやってはいたんだ。横浜とか、用具を造るメーカーとかあったんだ。その用具とかみんな入れていたのが、その田中さんとかで……。

それで広がったんだ。

だから、田中　荘三郎さんというのは、日本協会の名誉会員に今でもなっている。北海道を発展させたということで。名誉会員というのは、日本に二人しかいない。

司会：最初教えたのはその人ですか。

笠原：いや、教えたのは違うんだ。二世で、ジョージ何とかといって、なんとか中尉か大尉なんだ。

司会：アメリカ駐留軍にいた人ですか。

笠原：それがたまたま居たんだよ。その時、俺、体育やっていたから、バレーもやっていたし、そしてその頃のナ、函工の仲間、教務だとか、理事長、副会長やっているのが、その時の最初のメンバーよ。そして強かったのよ。俺が顧問になって、手出した。それが最初だ。

司会：札幌は、田中さんが最初に教えたわけですか。

笠原：札幌は、佐藤　保さん。高校生を教えた。その頃（強かった）高校は、女子で札幌南、東（高校）な。全国優勝だもの。

司会：北海道の選手で、日本的に有名な選手は？

笠原：大学では、片石だとか……。それが10年くらい続いて、あと、北海道は、ぺしゃっと下がってしまって……。

司会：スポーツ用品店にラケット等が出回り始めたのはいつ頃ですか。北海道では。

笠原：23年頃から大会が始まったから、その頃からあったよ。オリエンタルとか、サンバタもあった。道協が24年にできたが、函館は22年に協会ができていた。

司会：昔の練習はどんなでした。

笠原：天井の低いとこでよ。基本ストロークは同じで、道協の指導書にちゃんと出てたんだよ。

司会：ハイバックで打つ人はいたんですか。

笠原：35年頃に打っていた。高田選手がハイバックスマッシュを打っていた。ハイバックとは言わないで、バックハンドスマッシュと言っていた。親指はつけていないねその頃は、シャトルを落として（腰の高さで）打っていたのが多いのではなかったかな。親指付けて打つのは、45年頃でないかな。そしてその頃から、女子はスカート（調査結果は42年）になった。スカートをはいている女子選手を見て、びっくりした。それまで短パンだったから。

（この時点で苫小牧に到着。さあ、降りよう、降りようという声で終了。）

テープは、巨人－広島戦の実況中継と、車の走行音が大きく、聞き取りずらいものだったが、笠原先生の優しい温かみのある声が聞こえ、懐かしい思いで起こせてもらいました。この録音は、笠原先生に内緒で録音したもので、40周年記念誌に掲載し、先生を驚かせるつもりでした。いま50周年記念誌に掲載することになりましたが、先生は驚いておられるでしょうか、どうでしょうか。無断で録音し、掲載することをお詫び申し上げ、笠原先生のご冥福を心からお祈り致します。



故 笠原一男氏の略歴

1．職　　歴

昭和21年４月20日	函館市立工業学校に奉職
昭和24年１月12日	北海道函館市公立学校教員に任命される
昭和24年４月１日	北海道函館工業高等学校教諭に補される
昭和41年４月１日	北海道苫小牧工業高等学校教諭に補される
昭和59年３月31日	勧奨により退職

2．教育委員会、体協関係経歴

昭和34年４月１日～昭和36年３月31日	函館市体育指導委員	道教委
昭和34年４月１日～昭和36年３月31日	函館市体育指導委員	函館市教委
昭和34年５月15日	函館市青少年委員	函館市
昭和37年６月１日（37・38年度）	函館市体協理事	函館市体協

3．財団法人日本バドミントン協会関係経歴

昭和50年４月１日～昭和58年３月31日	㈶日バ審判委員会委員
昭和54年４月１日～平成元年11月18日	㈶日バ北海道地区代表委員評議員
昭和58年４月１日～平成元年11月18日	㈶日バ審判委員会委員長

4．北海道バドミントン協会関係経歴

昭和24年４月１日～昭和27年３月31日	函館地区バドミントン協会理事
昭和27年４月１日～昭和41年３月31日	函館地区バドミントン協会理事長
昭和27年４月１日～昭和50年３月31日	北海道バドミントン協会常任理事
昭和50年４月１日～昭和54年３月31日	北海道バドミントン協会副理事長
昭和54年４月１日～平成元年11月18日	北海道バドミントン協会理事長

5．賞　　罰

昭和35年５月	北海道バドミントン創立10周年特別功労賞受賞
昭和41年４月１日	函館バドミントン協会十有余年の理事長として表彰される
昭和41年４月８日	函館市体育協会有功賞受賞
昭和42年５月10日	北海道高体連高野連から表彰される
昭和51年11月７日	苫小牧地区バドミントン協会創立20周年で表彰される
昭和53年９月９日	北海道バドミントン創立30周年で特別功労賞受賞
昭和54年９月１日	十勝地区バドミントン協会創立30周年で表彰
昭和55年９月４日	函館地区バドミントン協会創立30周年で表彰
平成元年11月18日	㈶日本バドミントン協会より功労賞受賞

6．逝　　去

平成元年11月18日	病　　死	（心不全）

7．没後の受賞

平成元年11月18日	勲五等瑞宝章受賞	日本国
平成２年６月２日	第７回表彰	㈶北海道体育協会
平成２年８月10日	功　労　賞	日本教職員バドミントン連盟
平成２年10月22日	功　労　賞	㈶日本バドミントン協会

北海道協会の歴史と現状

若芽出でて古根枯るる

（協会創立50周年に思う）



北海道バドミントン協会

参与　荒　島　敏　幸

北海道バドミントン協会が創立50周年を迎えるという。一口に50年というが、紆余曲折を経て今日のすばらしい発展を見たことをまず喜びたい。

とりわけ、協会設立にいささかながら関わった一人としては、なんとも感慨無量。善きにつけ悪しきにつけ、人生の大半をバドミントンと共に歩んできた私には、この50年が長くも短くも感ずる。

沿革史を見てお分かりの通り、北海道協会発足の二年前、すでに「ＳＢＣ」つまり札幌バドミントンクラブが誕生、北大体育館を中心に活動していた。ゴロ合わせよろしく「スケベ・ボイズ・クラブ」などと揶揄するヤカラもいたが、高校生、社会人50人余りが入り交じって真剣に練習に取り組む姿は、今でもまざまざと目に浮かぶ。

当時、活動の中心だった北大体育館をはじめ、いち早くバドミントンを採り入れた北海高校や札幌南高校（当時札幌第一高校）の体育館も天井が低く、バドミントン競技には全く不向き。それでも不平、不満はだれも口にしない。かえって、天井の梁の間を鮮やかに通すハイクリアや梁すれすれに打ち合うドリブンクリアに自負心さえ芽生えていた。

こうした厳しい練習の成果は、やがて花開く。沿革史に詳しくその輝かしい足跡が列記されているので、ここでは省くが、昭和20年半ばから40年前半にかけては“バドミントン王国・北海道”の名をほしいままにしたものである。

こうした、全盛期をともにした仲間うちから「いまの北海道は……」と嘆く声が聞こえるが、私はそうは思わない。

用具の進歩に加え、トレーニング理論の確立など、われわれの時代とは比べものにならないほどバドミントン競技そのものが近代化され、スピード化されている。

こうした中にあって、実業団ではＮＴＴ北海道、ＪＲ北海道、チザキが国内のトップレベルにあり、選手育成にかけては札幌第一高校をはじめ旭川工業高校、札幌静修高校、旭川実業高校、旭川広陵中学、神居古潭小・中学校などを全国に誇ってもいい。

反面、かっては全国にその名を轟かせた北海高校、帯広三条高校、札幌南高校などの低迷がいささか気になる。捲土重来を期そう。

いずれにしろ「老兵は消え去るのみ」。バドミントン王国北海道の復活はすぐそこ。若い指導者の手腕と選手の気概に期待するや大である。

北海道バドミントン協会沿革史

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和20年 (1945)	・協会創設胎動期 関係者：佐藤　保、(故) 田中荘三郎、阿部　厚雄、荒島　敏幸、(故) 西野　泉三、奈良岡健三、スロジョウ、面高　正、大場、Mハシモト、日魯漁業、函館でも動きあり。		・無条件降伏（敗戦） ポツダム宣言受諾
昭和21年 (1946)	・札幌バドミントンクラブ設立－会員50名	・日本バドミントン協会創立（11／2） ・初代理事長　宮沢　宏之　就任	・新円切り替え ・東京裁判開始
昭和22年 (1947)	・函館地区バドミントン協会設立 初代会長　　加藤　俊治 初代理事長　大野　吉春 ・札幌バドミントン協会設立 初代会長　　西野　金助（札幌工業高校長） 初代理事長　阿部　厚雄（北海道新聞社）	・初代会長に　白山源三郎　就任（4月） ・初代副会長　白石　兼作　就任（4月）	・新憲法スタート ・六・三制義務教育開始 ・学校給食開始
昭和23年 (1948)	・北海道バドミントン協会創立（23．4．1） ・札幌バドミントン協会が北海道バドミントン協会の名前で北海道体育協会に加盟申請 ・日本バドミントン協会に加盟 ・第1回札幌市民バドミントン競技大会開催	・第2代理事長　角田　賢三就任（4月） ・第2代会長　　山田　文雄就任（5月） ・第1回全日本選手権大会開催（5月東京）	・日本国憲法施行 ・全国高等学校体育連盟結成（7月） ・大日本体育協会は日本体育協会と改称（11月） ・第1回トマス杯開催（英）
昭和24年 (1949)	・第2回全日本選手権大会に初出場（YMCA） 一般男子単　3位　佐藤　　保（監督兼選手） 一般男子複　3位　西野　泉三・スロジョウ組 少年男子単　優勝　村上　三郎　3位　石田　裕 少年男子複　優勝　村上・石田組 ベテラン男子単　　優勝　奈良岡健三 3位　田中荘三郎 ・北海道バドミントン協会設立総会（4月） 初代会長　　山田　良秀（北海道電力社長） 同副会長　　西野　金助（札幌伏見高校長） 同理事長　　佐藤　　保（北海道電力） 同事務局長　面高　　正（北海道電力） ・室蘭地区バドミントン協会創立（4月） ・十勝地区バドミントン協会創立 ・釧根地区バドミントン協会創立 ・夕張バドミントン設立（S．58年南空知協会に合併） ・芦別バドミントン設立（S．35年頃道協会を自然退会） ・第1回北海道バドミントン選手権大会開催 ・第4回国体道予選会初開催 ・第4回国体バドミントン競技大会初出場（個人戦のみ） 一般男子単　2位　佐藤　保 一般男子複　3位　佐藤　保・村上　三郎	・第4回国体にオープン種目で初参加（10月東京都） ・日本体育協会に加盟（11月23日） ・初の日本バドミントン協会総会開催（横浜）	・1ドル360円の単一為替レート決まる ・湯川秀樹博士ノーベル賞受賞 ・古橋広之進水泳で大活躍 ・ニコヨン
昭和25年 (1950)	・倶知安バドミントン協会設立 ・道高体連バドミントン専門部設立 ・名寄地区バドミントン協会設立（6／11） ・第1回全国高校バドミントン選手権大会に参加（横浜） 女子団体　優勝　札幌市立高女（現・札幌東高） 片岡　京子、栗原　澄子 ・第5回国体バドミントン競技（愛知） 少年男子団体　優勝　北海道 石田　　裕、神山　周二、大塚　健一、島中　貞夫 ・第3回全日本バドミントン選手権大会 少年男子単　優勝　石田　　裕 壮年男子単　優勝　奈良岡健三 壮年男子複　優勝　奈良岡健三・田中荘三郎 ・第1回全道実業団バドミントン選手権大会（芦別市） 男子団体　優勝　北海道新聞社　2位　三井芦別A	・第1回全日本学生大会始まる ・全日本学生連盟創立 ・全国高等学校体育連盟（バドミントン専門部）創立 ・シャトルコック公認制度設定 ・第5回国体でバドミントンは正式種目となる（10月名古屋） ・日本協会初の全国ランキング（関係分） 男単　3位　佐藤保、10位　村上三郎 複　4位　佐藤保・村上三郎 女単　6位　栗原　澄子 8位　片岡　京子 9位　伊藤　絹代 女複　4位　栗原　澄子・佐賀　信子	・朝鮮戦争勃発 ・女子短大発足 ・警察予備隊の誕生 ・ナイター ・とんでもハップン

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和25年 (1950)		ジュニア男単 1位　石田　裕　4位　神山　周二 ジュニア男複 2位　石田　裕・野口俊三郎 ベテラン単　1位　奈良岡健三 複　2位　奈良岡健三 田中荘三郎	
昭和26年 (1951)	・第2回全国高校バドミントン選手権大会本道開催 (曙小、東高、豊水小の三会場) 女子団体　優勝　道立札幌一高(監督　伊藤　薫) 伊藤　絹代、安藤　栄、岡元　弘子、広井　津奈 女子団体　2位　札幌星園高校(監督　木村秀吉) 荒井　重子、梅津貴久子、古瀬　香子 ・全国高体連専門部設立会議開催(北大中央講堂) 副部長に森　正三就任(札幌伏見高校) ・第4回全日本バドミントン選手権大会 少年男子単　優勝　神山　周二	・第1回全国高校選手権大会開催 (昭和25年度分－於横浜市) ・第2回全国高校選手権大会開催 (昭和26年度分－於札幌市)	・サンフランシスコ講和条約 ・日米安全保障条約調印 ・マッカーサー元帥解任
昭和27年 (1952)	・第2代会長　西野　金助 ・北海道学生バドミントン連盟設立 初代会長　今井　道雄(丸井デパート社長) ・第1回全道学生バドミントン選手権大会 ・旭川地区バドミントン協会設立 初代会長　高橋　源一(木材会社社長) 理事長　遠藤　博(東川町教育長) ・第3回全国高校バドミントン選手権大会(善通寺) 女子団体　優勝　札幌南高校(監督　伊藤　薫) 岡元　弘子、広居　津奈、白鳥　孝子、土井久美子 女子単　優勝　岡元　弘子 女子複　優勝　岡元　弘子・広居　津奈 札幌南高校は女子の部で3冠達成 (北海道が第1回大会から3年連続優勝) ・第7回国体バドミントン競技(仙台) 一般男子団体　2位　北海道 石田　裕、神山　周二、葛西　英俊、野坂豊三郎	・国際連盟(ＩＢＦ)に正式に加盟 ・公認審判員資格審査規定制定 ・第1回全日本実業団大会開催(2月東京)	・第2回トマス杯開催年 ・16年ぶりにオリンピックに参加 ・ワンマン(吉田首相)
昭和28年 (1953)	・第6回全日本バドミントン選手権大会(新潟) 一般男子単　優勝　佐藤　保 同　複　2位　佐藤　保・西野　泉三 少年男子単　優勝　片石　兼敏 同　複　優勝　片石　兼敏・増田　充志 ・第4回全国高校バドミントン選手権大会(山形) 男子団体　優勝　北海高校(監督　細間　清志) 井桁　啓充、片石　兼敏、加藤　正則 増田　充志、矢部　行一、長谷川龍雄 伊藤　繁樹 ・第8回国体バドミントン競技(香川県善通寺) 少年男子　優勝　北海道 片石　兼敏、加藤　正則、長谷川龍雄 井桁　啓充 成年女子　2位　北海道 岡元　弘子、梅津貴久江、阿部　悦子 荒井　重子 ・岩見沢市バドミントン協会設立 初代会長　小島　次七 事務局長　山口　賢一 昭和51年、南空知バドミントン協会に発展的に分離、昭和58年、夕張協会と合併	・日本バドミントン協会事務所が東京のＹＭＣＡから岸記念体育館に移転 ・第3回日本スポーツ賞候補　佐藤　保	・テレビ放送開始 ・吉田首相のバカヤロウ発言で国会解散 ・君の名はブーム ・八頭身美人

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和29年 (1954)	・苫小牧市バドミントン協会設立 初代会長　佐藤　憲士（苫小牧工業高校長） 理事長　三上　　豊 昭和31年９月、苫小牧地区協会に名称変更 ・小樽地区バドミントン協会設立 初代会長　東　　策（東製菓ＫＫ社長、市議会議長） 理事長　鈴木　茂（副会長兼任） ・第９回国体バドミントン競技　本道で開催 天皇陛下バドミントン競技会場にご来臨 ・第７回全日本バドミントン選手権大会 男子複　優勝　片石　兼敏・加藤　正則 ・読売新聞　日本スポーツ賞　佐藤　保氏　受賞	・第３回トマス杯アジア地区予選に初参加 （11月香港）	・自営隊発足 ・力道山の人気でプロレスブーム ・台風15号洞爺丸遭難す
昭和30年 (1955)	・第５回全国大学バドミントン選手権大会　札幌で開催 ・第２代理事長　奈良岡健三（北大教授） ・第６回全国高校バドミントン選手権大会（神戸） 女子単　優勝　渡部　公子 ・第８回全日本バドミントン選手権大会 男子単　優勝　片石　兼敏 男子複　優勝　片石　兼敏・加藤　正則		・国体開催基準要綱制定 （１月） ・第３回トマス杯開催年 ・紫雲丸沈没事件
昭和31年 (1956)	・北見市バドミントン協会設立 初代会長　菅沼　寛　　理事長　益村　博文 ・第９回全日本バドミントン選手権大会（東京） 男子複　優勝　片石　兼敏・（永井　栄一） 混合複　優勝　小飼　栄一・本庄（吉田）惇子 ・第１回全道社会人バドミントン選手権大会 ・第11回国体バドミントン競技（神戸市） 少年男子複　２位　四ツ柳邦夫・岩本　竜一	・第３代会長　本田　弘敏　就任（10月）	・第１回女子世界選手権（ユーバー杯）大会開催（日本不参加） ・国連に加盟 ・南極観測隊出発 ・太陽族 ・マネービル
昭和32年 (1957)	・北海道実業団バドミントン連盟設立 ・第２代理事長　奈良岡健三（北大教授）	・第３代理事長 井沢　三郎　就任　（４月）	・第４回トマス杯アジアゾーンに日本出場 ・原子炉第１号－東海村
昭和33年 (1958)	・第８回全国実業団バドミントン選手権大会札幌開催 男子団体　３位　札幌鉄道管理局（現ＪＲ北海道） ・佐藤　保、荒島　敏幸が特別功労賞受賞（実連より） ・創立10周年記念式典 ・第１回全国社会人バドミントン選手権大会札幌開催 ・第９回全国高校バドミントン選手権大会（新潟） 女子単　２位　間宮紀美子（芽室高校） ・日本協会より北海道バドミントン協会表彰を受ける	・日本協会表彰制度発足	・第３回アジアバドミントン競技大会（東京大会） 日本チーム優勝（選手団の一員に　片石　兼敏） ・売春防止法実施 ・東京でアジア大会 ・平民から皇太子妃に
昭和34年 (1959)	・第３代会長　　高田　富与（札幌市長・衆議院議員） ・第３代理事長　田中荘三郎（自営業） ・第10回全国高校バドミントン選手大会（会津若松） 男子団体　２位　帯広三条高校 監督　小林　純幸（現道教育委員長） 選手　龍瀬　康彦、竹中　将晃、江添　悦弘 加納　末吉、松浦　　潔、菅野　　興 ・第９回全日本実業団バドミントン選手権大会（善通寺） 男子団体　２位　札幌鉄道管理局（現ＪＲ北海道） 監督　西本秀一郎 選手　井川　　誠、長山　森久、熊倉　昭二 島　　辰雄、平沢　啓裕、有路　信彦 渋井　　明 ・第14回国体バドミントン競技（東京） 少年男子　２位　北海道　　監督　小林　純幸 選手　龍瀬　康彦、竹中　将晃、梅木　　聡		・アジアバドミントン連盟（ＡＢＣ）に加盟 ・皇太子ご成婚 ミッチーブーム起こる ・プロ野球ＯＮ時代幕開け ・長島茂雄天覧試合でＨＲ ・ご清潔でご誠実 ・札チョン族
昭和35年 (1960)	・日本バドミントン協会功労賞受賞者 西野　金助、奈良岡健三、佐藤　保、西野　泉三 田中荘三郎 ・日本バドミントン協会技能賞受賞者　片石　兼敏		・第５回トマス杯開催（日本不参加） ・浅沼社会党委員長刺殺 ・カラーテレビ本放送

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和36年 (1961)	・第16回国体バドミントン競技大会（象潟） 少年男子　2位　北海道　　監督　小林　純幸 選手　中村　富光、松浦　潔、松本　直治 ・第11回全日本実業団バドミントン選手権大会（倉敷） 男子団体　3位　札幌鉄道管理局	・第4代理事長　森友徳兵衛就任（1月） ・日本実業団バドミントン連盟設立（7月） 初代会長　靭　　勉 理事長　増井　益二	・米ソ人間衛星打ち上げ ・ベルリンの壁構築 ・リバイバル旋風吹く
昭和37年 (1962)		・日本教職員バドミントン連盟設立 （4／1） 初代会長　栗本　義雄 理事長　平田登志郎 ・第1回全日本教職員バドミントン選手権大会開催 ・昭和36年度と昭和37年度の全日本総合バドミントン選手権大会を開催	・第4回アジア競大会出場 ・堀江青年ヨットで太平洋単独横断に成功 ・青田買い
昭和38年 (1963)	・第4代会長　地崎宇三郎（4／1）（運輸大臣・衆議院議員）	・初代事務局長に　村山　幸雄就任 （4／11） ・小宮　好雄選手が日本人選手で初めて全英選手権大会（第53回）に出場し、ベスト8となる。	・第53回全英選手権大会 ・米大統領ケネディ暗殺 ・力道山暴力団に刺殺さる ・巨人、大鵬、玉子焼き
昭和39年 (1964)	・第15回全日本実業団バドミントン選手権大会（北九州） 男子団体　3位　札幌鉄道管理局 ・国体10回出場　表彰　神山　周二	・第6回トマス杯インターゾーン 準決勝で敗退 日本　3－6　タイ	・東京オリンピックで東洋の魔女大活躍 ・新潟大地震　M7.2
昭和40年 (1965)	・第20回国体バドミントン競技（岐阜） 教員男子団体　2位　北海道　監督　五十嵐宣善 選手　杉田　茂良、笹森　剛、中嶋　弘志 ・第15回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　3位　札幌鉄道管理局（北九州市）	・第4回ユーバー杯アジアゾーン決勝 日本　7－0　タイ （チャレンジラウンドへ）	・シンザン五冠馬に ・松永氏ノーベル物理学賞 ・期待される人間像 ・しごき（東京農大事件）
昭和41年 (1966)	・第5回全日本教職員バドミントン選手権大会（札幌） 一般男子団体　2位　神山　周二、平沢　寛 笹森　剛、杉田　茂良 一般男子複　2位　笹森　剛・杉田　茂良 40歳男子複　優勝　島谷　勲・高橋　政一 50歳男子単　優勝　佐藤　哲郎 50歳男子複　優勝　佐藤　哲郎・奈良岡健三 同　2位　小杉　哲男・升元　一人 佐藤　哲郎選手は全国教職員バドミントン大会で10回優勝により連盟から表彰さる ・第16回全道実業団バドミントン選手権大会（札幌） 優勝　札幌鉄道管理局（昭和30年より12連勝） ・第21回国体バドミントン競技（大分） 教員男子団体　優勝　北海道　監督　五十嵐宣善 選手　杉田　茂良、安達　憔彦、上山　功夫 須貝　元昭	・第4回ユーバー杯チャレンジラウンド （ニュージーランド） 日本　5－2　アメリカ 優勝　日本 ・第5回アジアバドミントン大会 （タイーバンコック） 女子団体　優勝　日本 女子単　優勝　高木　紀子 女子複　2位　天野　博江 高橋とも子 ・第56回全英選手権 男子単　2位　秋山　真男 ・第2回国際学生選手権大会 団体戦　優勝　日本 男子単　優勝　森　芳夫 複　優勝　池田　信孝 森　芳夫	・航空機事故相次ぐ ・ベトナム反戦スト ・ビートルズ来日
昭和42年 (1967)	・第22回国体バドミントン競技（埼玉） 教員男子団体　2位　北海道　監督　五十嵐宣善 選手　杉田　茂良、安達　憔彦、上山　功夫 須貝　元昭 ・第6回全日本教職員バドミントン選手権大会（富山） 成壮年団体　2位　北海道 50歳男子単　2位　佐藤　哲郎 同　複　優勝　佐藤　哲郎 ・日本バドミントン協会表彰 功労賞　大滝卯三郎	・第7回トマス杯インターゾーン 準決勝 日本　7－2　アメリカ 決勝 日本　3－6　マレーシア 本大会をもってチャレンジラウンド制廃止となる ・第3回国際学生バドミントン選手権大会 （セイロンーコロンボ） 男子団体　2位　日本 男子単　2位　梅野尾昌一 同　複　2位　梅野尾昌一 児島　昇	・東京都に美濃部革新知事 ・ミニスカートの女性 ・グループサウンズ ・ハプニング ・対話（都民との対話） ・公明党参議院に進出

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和43年 (1968)	・滝川バドミントン協会設立 初代会長　草浦　正己 昭和56年北空知地区バドミントン協会に名称変更 ・第7回全日本教職員バドミントン選手権大会（大阪） 50歳　男子単　優勝　佐藤　哲郎 同　　複　2位　佐藤　哲郎	・第4回国際学生バドミントン選手権大会 （東京） 男子団体　優勝　日本 女子団体　優勝　日本 男子単　2位　本間　順次 同　複　優勝　本間　順次 武岡秀之進 女子単　優勝　湯木　博恵 同　複　優勝　相沢マチ子 竹中　悦子	・札医大で心臓移植手術 ・三億円強奪事件発生 ・ハレンチ
昭和44年 (1969)	・第4代理事長　内田　正博（後に副会長） ・日本対インドネシア国際親善バドミントン競技会(札幌) ・第8回全日本教職員バドミントン選手権大会（埼玉） 50歳男子単　2位　佐藤　哲郎 同　　複　優勝　佐藤　哲郎	・第5回ユーバー杯（東京） 優勝　日本（2回連続） 日本　6－1　インドネシア ・第59回全英選手権大会に、湯木　博恵が女子単で日本人として初優勝 女子複で3位 ・第5回国際学生バドミントン選手権大会 （フィリピンーマニラ） 男子団体　優勝　日本 女子団体　優勝　日本 男子　単　2位　鷲尾　正一 同　　複　優勝　米田　　実 笠井　教行 女子　単　優勝　竹中　悦子 同　　複　優勝　相沢マチ子 竹中　悦子 ・日本バドミントン協会機関紙「バドミントン界」創刊	・アポロ打ち上げ成功 人類初めて月面に立つ ・大学紛争激化
昭和45年 (1970)	・北海道バドミントン協会創立21周年記念式典（札幌） ・北海道教職員バドミントン連盟設立 初代会長　佐藤　玄一（苫小牧） 理事長　笠原　一男（道協会理事長） ・第1回北海道教職員バドミントン選手権大会（岩見沢） ・第1回全道中学生バドミントン大会（札幌中央中） ・第9回全日本教職員バドミントン選手権大会（岐阜） 50歳男子単　2位　佐藤　哲郎 同　　複　優勝　佐藤　哲郎 ・日本対デンマーク国際親善バドミントン競技会 （札幌市中央体育館）		・赤軍派による「よど号」ハイジャック事件 ・三島由紀夫割腹自殺 ・大阪万博 ・しらけ、三無主義 ・ハイジャック
昭和46年 (1971)		・第61回全英選手権大会 女子複　優勝　高木　紀子 湯木　博恵 ・第1回全国中学生大会開催 ・第21回日本スポーツ賞グランプリ受賞 高木　紀子・湯木　博恵組	・変動相場制移行 ・ドルショック ・大久保清連続女性殺人事件起こる
昭和47年 (1972)	・電電札幌が電電北海道と改名 ・第1回全道ママさんバドミントン競技大会（札幌） ・国際女子バドミントン競技札幌大会 全北海道、全日本、インドネシア、デンマーク ・第11回全日本教職員バドミントン選手権大会 50歳男子単　優勝　佐藤　哲郎 同　　複　優勝　佐藤　哲郎	・第6回ユーバー杯 優勝　日本（3連勝） 監督　　毛利　清志 コーチ　堺　　栄一 主務　　山本　洋彦 選手　　中山　紀子、湯木　博恵 竹中　悦子、相沢マチ子 高坂　　薫、柴山きよ子 準決勝　7－0　デンマーク 決勝　　6－1　インドネシア ・第9回富トマス杯アジアゾーン大会に参加（マレーシアに敗退）	・札幌オリンピック開催 ・浅間山荘事件発生 ・横井さんグアムより帰還 ・沖縄本土復帰 ・田中角栄総理誕生 ・ヘンシーン ・恥ずかしながら ・ミュンヘン五輪開催 ・第62回全英選手権開催 ・第1回国際女子競技大会開催 （ジャパンオープンの前身大会）

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和47年 (1972)		・ミュンヘン五輪にて史上初のバドミントン競技のデモンストレーションが行われた 女子単　優勝　中山　紀子 ・第62回全英選手権 女子単　優勝　中山　紀子 複　優勝　竹中　悦子 相沢マチ子	
昭和48年 (1973)	・第1回日中競技大会札幌大会（真駒内アリーナ） ・第12回全日本教職員選手権大会（滋賀） 50歳男子単　優勝　佐藤　哲郎	・第6代理事長　小宮　淳弘　就任 ・第1回高校選抜大会開催 ・第62回全英選手権 女子複　優勝　竹中　悦子 相沢マチ子 ・第1回日中競技大会	・オイルショック トイレットペーパー ・金大中事件 ・女子銀行員9億円詐欺 ・ちょっとだけよ
昭和49年 (1974)	・第3回国際バドミントン競技大会札幌大会 日本　4－1　欧州選抜（札幌中央体育館） ・第13回全日本教職員選手権大会（熊本） 50歳男子単　2位　佐藤　哲郎 ・国体10年以上出場表彰　杉田　茂良 ・第24回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　3位　電電北海道 ・第17回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子単　2位　遠藤　好男	・第3回国際バドミントン競技大会 東京、札幌、桐生、神戸、新潟の各地で開催 ・第7回アジア大会出場 男子団体　5～8位 女子団体　3位 ・第64回全英選手権大会 女子単　優勝　湯木　博恵 男子複　ベスト4 池田　信孝・栂野尾昌一	・参院選で自民敗北 ・田中首相金脈問題で退陣 ・クリーン三木内閣誕生 ・超能力（ユリ・ゲラー） ・晴天の霹靂
昭和50年 (1975)	・第25回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　3位　電電北海道 ・第18回全日本社会人バドミントン選手権大会 混合複　3位　木村　敏男・高野美千代	・第7回ユーバー杯決勝大会 準決勝　日本6－1カナダ 決勝　日本2－5インドネシア ・第10回トマス杯アジアゾーン東地区大会（東京） 1回戦　日本9－0香港 翌年韓国と決勝戦を戦う ・第3回国際招待競技会 女子単　優勝　湯木　博恵 ・第65回全英選手権大会 女子単　優勝　湯木　博恵 （2年連続3度目の優勝） 女子複　優勝　竹中　悦子 相沢マチ子 （3度目の優勝）	・不況深刻 完全失業者112万人 ・スト権スト ・日本女性エベレスト登頂 ・広島カープ初優勝 ・赤ヘルブーム
昭和51年 (1976)	・第3回国際バドミントン競技大会函館大会 遠藤好男2－1M．シュナーゼ（西独） ・第15回全日本教職員選手権大会 50歳男子単　2位　島谷　勲 〃　複　優勝　島谷　勲・（吉持　節夫）	・第10回トマス杯アジアゾーン東地区大会決勝 第1日　日本4－0韓国 第2日　日本5－0韓国 この結果日本はインターゾーンアジア地区代表の座をかけて西地区優勝のマレーシアと戦うことになる ・NBA（日本バドミントン協会）はABC（アジアバドミントン連盟）決議に同調し、全英選手権大会出場を断念	・第5回日中競技会（中国） ・ロッキード事件で田中元首相逮捕さる ・ソ連ミグ戦闘機函館に不時着 ・ピーナッツ100個の領収書 ・限りなく……に近い
昭和52年 (1977)	・第1回全日本高等専門学校選手権大会（旭川高専会場） 男子単　優勝　小林俊仁（旭川高専） 2位　池　為広（　〃　） 〃　複　2位　小林俊仁・池　為広（　〃　） ・第6回国際バドミントン競技大会の日本選手団に遠藤好男選手がはいる ・第1回全道クラブ対抗バドミントン大会 （札幌中島体育センター）	・第7代理事長　小口　政雄　就任 ・第67回全英選手権大会 女子単　優勝　湯木　博恵（4度目） 〃　複　優勝　栂野尾悦子 植野恵美子 ・第1回世界選手権大会（個人戦） 女子複　優勝　栂野尾悦子 植野恵美子 ・第8回ユーバー杯アジアゾーン 東地区決勝大会（東京） 日本　7－0　韓国	・日航機ハイジャック ・樋口久子全米女子プロで日本人として初優勝 ・巨人の王選手756本のホームラン世界新記録 ・とんでる ・ルーツ

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和53年 (1978)	・北海道バドミントン創立30周年記念式典（札幌ホテルニューミヤコシ） ・日本バドミントン協会表彰 功労賞　小飼　栄一（日バ常任理事） ・第21回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子複　3位　遠藤　好男・木村　敏男	・第8回ユーバー杯アジアゾーン決勝大会出場 日本　4－3　マレーシア ・第8回ユーバー杯インターゾーンに出場（4度目の優勝を果たす） 1回戦　日本7－0オーストラリア 準決勝　日本6－1デンマーク 決勝　日本5－2インドネシア ・第8回アジア競技大会に出場 ・第11回トマス杯オーストラレーシアゾーンに出場 準決勝　日本5－4ニュージーランド 決勝　日本9－0オーストラリア ・第7回国際競技大会 ・第68回全英選手権 女子複　優勝　徳田敦子・高田幹子	・日本世界一の長寿国に ・日中平和友好条約が発効 ・日本シリーズでヤクルトが阪急を破り初優勝 ・透明人間 ・なーんちゃって ・窓際族
昭和54年 (1979)	・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　札幌鉄道管理局 ・第22回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子複　3位　遠藤　好男・木村　敏男 ・日本バドミントン協会表彰 特別功労賞　田中荘三郎 ・国体10回以上出場表彰 木村　敏男、高野美千子 ・第5代理事長　笠原　一男 ・第18回全日本教職員バドミントン選手権大会 40歳男子単　優勝　佐々木堅治（北九州） 2位　神山　周二	・第1回日本リーグ始まる （東京、京都、高岡、高崎、大阪） ・第69回全英選手権 混合複　ベスト4　池田　信孝 米倉よし子	・韓国朴大統領銃弾に倒る ・ソ連アフガンに侵攻 ・江川、野球協約無視して巨人へ ・天中殺
昭和55年 (1980)	・第2回バドミントン日本リーグ　札幌大会 電電北海道初参加で6位 ・第30回全日本実業団バドミントン選手権大会 30歳男子単　優勝　赤塚　正三 2位　山本　晴通 ・第19回全日本教職員バドミントン選手権大会 40歳男子単　優勝　佐々木堅治（金沢） ・第23回全日本社会人選手権大会（群馬県桐生市） 40歳女子複　優勝　島中　玲子・山口　菊枝	・第70回全英選手権 女子複　2位　徳田　敦子 米倉よし子 ・第2回世界選手権大会 男子単　ベスト8　土田　証雄 女子単　ベスト8　近藤　小織 女子単　ベスト8　湯木　博恵 女子複　ベスト8　米倉・徳田	・大平首相が急死 ・傷ついたモスクワ五輪 ・長島監督解任 ・王選手引退 ・それなりに ・カラスの勝手でしょう
昭和56年 (1981)	・第24回全日本社会人バドミントン選手権（登別市） 30歳男子複　3位　赤塚　正三・岡本　伝 40歳女子複　優勝　島中　玲子・山口　菊枝 ・第20回全日本教職員バドミントン選手権大会（郡山） 40歳男子単　優勝　佐々木堅治（3連勝） ・第3回バドミントン日本リーグ（札幌大会） 男子1部5位　電電北海道 ・日本バドミントン協会表彰 顕鐵賞　森　正三、太田　照国、山本　朝雄 ・国体10回以上出場表彰　遠藤　好男 ・第31回全日本実業団バドミントン選手権大会 30歳男子複　優勝　赤塚　正三・木村　敏男 ・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　木村　敏男	・NEW IBF 理事　今北　基夫　就任 ・日本バドミントン協会第8代専務理事 小飼　栄一　就任 ・第9回ユーバー杯　優勝　日本 監督　小飼　栄一 コーチ　池田　信孝 選手　米倉よし子、徳田　敦子 近藤　小織、高田　幹子 大塚ソノエ、高峯　和子 陣内貴美子、東海林文子 北田スミ子 ・第1回ジャパンオープン 女子複　優勝　徳田・米倉	・北炭新夕張鉱でガス突出行方不明93人 ・エジプトサダト大統領が暗殺さる ・台湾機墜落向田邦子逝く ・ハチは一度刺して死ぬ ・なめんなよ
昭和57年 (1982)	・第25回全日本社会人バドミントン選手権（群馬） 40歳女子複　優勝　島中　玲子・山口　菊枝 ・第4回バドミントン日本リーグ（帯広大会） 男子1部6位　電電北海道 ・日本バドミントン協会表彰 顕鐵賞　鷲塚　三郎、木村　敏二	・日本バドミントン協会法人格取得して財団法人日本バドミントン協会となる。 ・第9回アジア競技会 男子団体　準決勝でインドネシアに0－5で敗退 女子団体　決勝で中国に敗れ準優勝 女子単　ベスト4　北田スミ子 女子複　ベスト4　徳田・米倉	・ニュージャパン火災 ・羽田で日航機墜落 ・日高で烈震 ・岡田三越社長解任 ・東北新幹線が開業 ・逆噴射－心身症

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和58年 (1983)	・第33回全日本実業団バドミントン選手権大会（札幌） ・全日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　遠藤　好男 ・日本教職員バドミントン連盟表彰 功労賞　東　　健治 ・第１回全日本家庭婦人バドミントン競技会 Ｂブロック　２位　北海道 ・第１回全道ジュニアバドミントン選手権大会（札幌西区体育館） ・第５回バドミントン日本リーグ（札幌大会） 男子１部　４位　電電北海道 ・第26回全日本社会人バドミントン選手権（奈良県） 40歳女子複　優勝　島中　玲子・山口　菊枝		・第13回トマス杯、第10回ユーバー杯の両杯の大会を２年に１度の同時開催を決める（ＩＢＦ） ・中川一郎が自殺 ・北海道、福岡に革新知事 ・ソ連、大韓航空機撃墜 ・田中元首相に４年の実刑 ・軽薄短小
昭和59年 (1984)	・北海道家庭婦人バドミントン連盟設立 初代会長　木本　由孝（道会議員） 同理事長　島中　玲子 ・日本バドミントン協会表彰 顕鏃賞　笠原喜平治 ・第２回全日本家庭婦人バドミントン競技会（東京） クラブ対抗 優勝　札幌パール 監督　島中　玲子 選手　東　　幸子、坂下　靖子 伊藤　昌子、山口　菊枝 佐々木智恵、大同　君枝 ２位　千歳ママさんクラブ ・第23回全日本教職員バドミントン選手権大会（弘前） 一般女子団体　２位　北海道 同　　単　２位　藤本三津子 同　　同　３位　小飼美香子 30歳女子単　　優勝　藤島　百子 30歳女子複　　優勝　藤島　百子・吉村　恭子 ・第27回全日本社会人バドミントン選手権 40歳女子複　２位　島中　玲子・山口　菊枝 ・第１回北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会（小樽、札幌） ・第６回バドミントン日本リーグ（札幌大会） 男子１部６位　電電北海道 ・第12回高校選抜バドミントン選手権大会 男子単　３位　角谷　淳一 同　複　３位　角谷　淳一・寺崎　明	・第13回トマス杯決勝大会 第１戦 日本　０－５　マレーシア 第２戦 日本　１－４　イングランド 第３戦 日本　１－４　インドネシア ・第10回ユーバー杯決勝大会 第１戦 日本　２－３　デンマーク 第２戦 日本　３－２　イングランド 第３戦 日本　０－５　中国	・三池有明鉱で坑内火災 ・グリコ社長誘拐事件 ・ロサンゼルス五輪 ・ガンジー・インド首相暗殺さる ・イッキイッキ一気飲み
昭和60年 (1985)	・第15回全国中学校選抜バドミントン選手権大会 男子単　２位　横山　　匠（室蘭） ・電電北海道がＮＴＴ北海道に改名 ・第７回バドミントン日本リーグ（札幌大会） 男子１部　３位　ＮＴＴ北海道 ・第24回全日本教職員バドミントン選手権大会（福井） 一般女子団体　優勝　北海道 監督　東　　健治 選手　藤島　百子、藤本三津子、吉村　恭子 成松　幸子、小飼美香子、松野　修江 一般女子複　２位　藤本三津子・小飼美香子 ・第３回全日本家庭婦人バドミントン競技会（東京） クラブ対抗　優勝　札幌パール 監督　島中　玲子 選手　芝山利恵子、松本　治子、谷　　礼子 斉藤　妙子、前田　静江、北　由利子 同　　２位　旭川クラブ 都道府県対抗　３位　北海道	・第４回世界選手権大会出場（カルガリ） 女子　単　ベスト８　北田スミ子 （他は３回戦までに敗退） ・第39回全日本総合選手権大会より内閣総理大臣杯、文部大臣杯の授杯大会となる ・第16回全日本女子チャンピオンズ 単　優勝　北田スミ子（東京） 単　２位　米倉よし子 単　３位　陣内貴美子 単　３位　鴻原　春美 （今回にてこの大会終了）	・バドミントンが1988年のソウルオリンピックには公開競技となり、次の1992年のバルセロナオリンピックでは正式種目競技になることが決定 ・日航ジャンボ機墜落 ・メキシコ大地震 ・コロンビアで大噴火 ・阪神フィーバ

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和60年 (1985)	・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　山田　好明、山本　晴通 ・第９回全日本高専バドミントン選手権大会（北海道） 男子団体　３位　旭川高専		
昭和61年 (1986)	・第36回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　３位　ＮＴＴ北海道 ・第８回バドミントン日本リーグ（札幌大会） 男子１部　３位　ＮＴＴ北海道 ・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　ＮＴＴ北海道 ・第５回日・韓バドミントン競技会札幌大会開催 ・第10回全日本高専バドミントン選手権大会（福島） 男子団体　３位　旭川高専	・第10回アジア競技大会 女子団体　２位　日本 女子複　　ベスト４　北田・陣内 ・第11回ユーバー杯アジアゾーン 決勝戦　　日本　１－４　韓国 ・第11回ユーバー杯決勝大会 （インターゾーンＡグループ） 準決勝戦　　日本　０－５　中国 ３位決定戦　日本　２－３　韓国	・スペースシャトル空中で爆発す ・チェリノブイリ原発事故 ・マルコス政権崩壊 ・参院同日選で自民圧勝 ・三原山大噴火 ・やるっきゃない ・プッツン ・新人類
昭和62年 (1987)	・第５代会長　地崎　昭宇（地崎工業株式会社社長） ・第９回バドミントン日本リーグ（札幌大会） １部男子　５位　ＮＴＴ北海道 ・第38回全国高校バドミントン選手権大会開催（室蘭） ・第26回全日本教職員バドミントン選手権大会（苫小牧） 50歳男子　複　優勝　小向　利威 岡　　明弘 ・第37回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　３位　ＮＴＴ北海道 ・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　篠尾　幸孝 ・札鉄バドミントン部がＪＲ北海道バドミントン部に改名 ・日本バドミントン協会表彰 顕鐵賞　藤井　　猛 ・日本バドミントン協会創立40周年記念表彰 名誉理事　内田　正博、　地崎宇三郎 ・第６回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 男子　複　２位　藤本・村井 ・第11回全日本高専バドミントン選手権大会（三重） 男子単　３位　堀部（苫小牧高専）	・日本バドミントン協会創立40周年記念祝賀会開催 ・アジアバドミントン連盟（ＡＢＣ）会長に柳川　覚治就任（日バ副会長） ・第５回世界選手権大会に出場 男女12選手が18枠にエントリーしたが３回戦までに全員敗退	・ＮＴＴ株初上場 ・ＪＲスタート ・朝日新聞支局に凶弾 ・石原裕次郎逝く ・天皇陛下が腸の手術
昭和63年 (1988)	・第31回全日本社会人バドミントン選手権大会（登別） 男子　単　３位　伊藤　雅弘 ・日本実業団バドミントン連盟表彰 特別功労賞　　宇野　真平（北海道実連会長） 功労賞　　伊勢　　武（北海道実連理事長） ・第43回国体　少年男子　２位　北海道 ・第７回全日本ジュニア　男子複２位　佐藤・郷路 ・第６回全日本家庭婦人バドミントン競技会 ・第16回全国高校選抜バドミントン選手権大会（宝塚） 男子団体３位　札第一高校 男子複　２位　藤本　謙治、村井　秀樹 同　単　２位　桜井　敬大 ３位　工藤　忠和 ・北海道バドミントン協会創立40周年記念祝賀会（札幌） ・北海道バドミントン協会創立40周年記念誌発刊	・第24回オリンピック（ソウル大会） 監督　小飼　栄一 男子選手　松野　修二、松浦　進二 女子選手　北田スミ子 男子複３位　松野　修二、松浦　進二 女子単３位　北田スミ子 ・第15回トマス杯予選 ・第12回ユーバー杯予選 日本予選順位１位で本戦出場 本戦で準決勝で韓国に敗れ、３位決定戦でもインドネシアに敗れ４位	・青函トンネルに一番列車 ・瀬戸大橋が開通 ・リクルート問題が政界を揺さぶる ・ソウル五輪・ジョンソンの100m金剥奪 ・オバタリアン ・ペレストロイカ

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
昭和64年 平成1年 (1989)	・第44回国体（はまなす国体）登別市で開催 総合　準優勝　北海道 成年男子　2位　北海道 少年男子　優勝　北海道 監督　井口　一司 選手　佐藤　嘉伸、郷路　一郎、古川　英樹 ・叙勲　藍綬褒章　小飼　栄一 勲五等瑞宝章　笠原　一男 ・日本バドミントン協会表彰 顕賛賞　小林　純幸 ・第32回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子単　3位　伊藤　雅弘 ・第5代北海道バドミントン協会理事長 笠原　一男　逝去（平成1年11月18日） 藤井　一孝　理事長代行 ・高校選抜バドミントン選手権大会北海道予選大会は1989年より南・北分離開催となる。 ・第40回全国高校バドミントン選手権大会 男子　複　優勝　佐藤　嘉伸・郷路　一郎 ・第17回全国高校選抜バドミントン選手権大会 男子団体　2位　札第一高校 同　複　2位　佐藤　嘉伸・郷路　一郎 ・第7回全日本家庭婦人バドミントン競技会 都道府県対抗　2位　北海道		・消費税3％実施 ・昭和天皇崩御 （昭和64．1．7） ・明仁親王ご即位 ・松下幸之助死去 ・美空ひばり死去 ・参院選で与野党逆転 ・東欧の市民革命進む ・天安門事件 ・セクハラ
平成2年 (1990)	・第33回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子単　3位　伊藤　雅弘 ・日本バドミントン協会表彰　顕賛賞　中村　稔 ・地崎賞　増茂　孝枝、中山智香子 ・第6代理事長　藤井　一孝 ・第9回全日本ジュニア選手権大会 女子複　優勝　中山智香子・増茂　孝枝 男子単3位　水沢　直哉　女子単3位　田村　裕美 男子複2位　水沢　直哉・福田　光伸 中学新人　3位　一宮　孝一 ・第7回全国シニア選手権大会 50歳女子複　優勝　島中　玲子・内田紅美子 ・第8回全国家庭婦人バドミントン競技会 都道府県対抗　3位　北海道 クラブ対抗2位　滝川シャトル　3位　札幌パール ・第14回全日本高専バドミントン選手権大会（熊本） 男子単　3位　田中（旭川高専） 女子単　優勝　松原（旭川高専） 同　複　3位　斉藤・松原（旭川高専） ・北海道・アルバータ州（カナダ）親善スポーツ交流 2月　アルバータ州選手団来道 9月　北海道選手団アルバータ州訪問 ・道体協表彰 佐藤　嘉伸・郷路　一郎・古川　秀樹 笠原　一男・増茂　孝枝・中山智香子	・第16回トマス杯予選Bグループ 日本は1勝2敗で決勝トーナメントに出れず ・第13回ユーバー杯予選Bグループ 日本は2勝1敗で決勝トーナメントに出たが、韓国に1－4で敗れ3位 ・国際ウィンブルドンジュニア競技大会 女子単　優勝　水井　泰子 女子複　優勝　中山智香子 増茂　孝枝 ・第11回アジア大会（北京） 女子団体　3位　日本	・ソ連一党独裁に終止符 ・自民、安定多数を確保 ・礼宮さま紀子さまご結婚 ・イランで大地震 死者5万人に達する ・統一ドイツ誕生
平成3年 (1991)	・第34回全日本社会人バドミントン選手権大会 男子単　3位　伊藤　雅弘 同　複　3位　伊藤　雅弘・角谷　淳一 ・第13回バドミントン日本リーグ 1部男子　2位　ＮＴＴ北海道 ・第41回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　2位　ＮＴＴ北海道 ・日本実業団バドミントン連盟表彰 功労賞　中平　正幸、渋井　敏紀、中村　義則 松岡　誠、七崎　悦範、高野　幹男 阿部　幸夫、東田　朋巳、目黒　清則	・第81回全英選手権大会 女子複　2位　陣内貴美子 森　久子 ・第5回世界ジュニア選手権大会 女子複　ベスト4　増茂　孝枝 中山智香子 ・第9代専務理事　今北　基夫　就任	・バルセロナオリンピック開催 男子複　ベスト8 松野　修二 松浦　進二 ・湾岸戦争 ・ソビエト連邦が崩壊 ・雲仙の普賢岳噴火 ・愛は勝つ ・……じゃあーりませんか ・若貴で大相撲ブーム

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
平成3年 (1991)	・北海道バドミントン協会副会長　内田　正博　逝去 (H. 3. 10. 21) ・第10回全国ジュニア選手権大会 男子単　優勝　西田　渉 女子複　優勝　中山智香子・増茂　孝枝 中学新人　男子単　優勝　馬木　智一 ・第21回全国中学生バドミントン選手権大会 男子単　優勝　一宮　孝一 ・第19回全国高校選抜バドミントン選手権大会 男子複　2位　水沢　直哉・福田　光伸 3位　星　拓磨・米田　和典 同　単　3位　水沢　直哉 女子単　2位　佐藤　純子 ・第15回全日本高専バドミントン選手権大会（兵庫） 男子団体　3位　旭川高専 男子複　3位　松尾・鎌田（苫小牧高専） 女子単　2位　松原（旭川高専） ・地崎賞　中村　光生 ・道体協表彰　兼平　四郎		
平成4年 (1992)	・第42回全日本実業団バドミントン選手権大会 男子団体　3位　ＮＴＴ北海道 ・日本バドミントン協会表彰 顕讃賞　有里　伸一 ・道体協表彰　馬木　智一 ・北海道実業団バドミントン連盟会長 北海道バドミントン協会副会長 元札幌バドミントン協会会長　宇野　真平　逝去 (H. 4. 12. 11) ・第8代北海道実業団バドミントン連盟 会長　青山　繁樹　理事長　岡　明弘 ・第47回国民体育大会 成年男子　3位　北海道 ・第43回全日本高校バドミントン選手権大会 男子単　優勝　西田　渉 ・第22回中学生バドミントン選手権大会 男子単　優勝　馬木　智一 ・第20回高校選抜バドミントン選手権大会 男子団体　3位　札幌第一高校 ・第11回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 男子単　2位　井野　嘉久 ・第43回全日本大学バドミントン選手権大会 男子複　2位　藤本　謙治・佐藤　嘉伸 ・第16回全日本高専バドミントン選手権大会（茨城） 男子団体　2位　苫小牧高専 女子単　3位　松原（旭川高専） 女子複　3位　三条・高橋（苫小牧高専）		・阿部文男代議士収賄容疑で逮捕 ・佐川事件で政界激動 ・道産子宇宙飛行士毛利さん宇宙へ ・米大統領選でクリントン氏が大勝利 ・きんさん・ぎんさん ・ほめ殺し ・複合不況
平成5年 (1993)	・第32回全日本教職員バドミントン選手権大会（平塚） 60歳男子複　優勝　東　健治・島谷　勲 ・レインスター選手権大会（アイルランドーダブリン） 女子単　2位　佐藤　純子 ・第44回全日本大学バドミントン選手権大会 女子単　優勝　佐藤　純子 ・第44回全国高校バドミントン選手権大会 女子単　優勝　中山智香子 女子複　優勝　中山智香子・増茂　孝枝 ・第21回全国高校選抜バドミントン選手権大会 女子複　優勝　中山智香子・増茂　孝枝 男子複　2位　井野　嘉久・一宮　孝一 女子単　2位　中山智香子 男子単　3位　一宮　孝一	・レインスター選手権大会 男子単　2位　本田和裕子 女子単　優勝　高野　八重 2位　佐藤　純子 男子複　ベスト4　関根　靖則 片岡　直哉 女子複　優勝　西田美由紀 寺尾　美紀 ベスト4　渡辺真由美 河口奈緒美 ・第1回東アジアバドミントン競技会 女子複　ベスト4　水井妃佐子 宮村　愛子	・細川連立政権誕生 ・皇太子ご成婚 ・北海道南西沖地震 ・金丸元副総裁逮捕さる ・大凶作でコメ部分開放 ・田中角栄元首相死去 ・Ｊリーグ ・サポーター ・規制緩和 ・天の声

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
平成5年 (1993)	・第11回全日本家庭婦人バドミントン競技会 クラブ対抗　優勝　パール ・第17回全国高専バドミントン選手権大会（鳥取） 男子複　3位　松尾・鎌田（苫小牧） 女子単　2位　松原（旭川） 女子複　2位　高橋・戸小台（苫小牧） ・平成5年度全日本バドミントン総合選手権大会 女子単　3位　日原　恵美里	・ウィンブルドンジュニア大会 団体　3・4位決定戦 日本　2－3　ドイツ 女子単　優勝　井川 女子単　2位　一美 女子単　3位　吉岡 女子複　3位　井川・吉岡組	
平成6年 (1994)	・第44回全道実業団バドミントン選手権大会 一部男子団体　優勝　ＮＴＴ北海道（24連勝） ・日本教職員連盟表彰　15回出場　島谷　勲 ・第49回国民体育大会 少年男子　2位　北海道 ・第33回全日本教職員バドミントン選手権大会（石川） 60歳男子複　優勝　窪田　薫・葛巻　礼滋 ・第18回全国高専バドミントン選手権大会（青森） 男子団体　優勝　苫小牧高専 女子複　2位　松原・楠野（旭川）		・松本サリン事件 ・リレハンメル五輪で道産子大活躍 ・猛暑・渇水列島襲う ・向井千秋さん日本人女性初の宇宙飛行 ・金日成死去 ・価格破壊 ・ヤンママ ・イチロー
平成7年 (1995)	・第24回台北モーニングカップ 60歳混合複　優勝　東　健治・島中　玲子 ・日本バドミントン協会表彰 顕彰賞　荒島　敏幸、山腰　修司 ・第45回全日本実業団バドミントン選手権大会開催(札幌) ・第14回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 中学新人男子単　優勝　橋本　暁人 ・第23回全日本高校選抜バドミントン選手権大会 男子単　3位　馬木　智一 女子単　3位　岩松絵里子 ・第34回全日本教職員バドミントン選手権大会（鳥取） 30歳女子単　優勝　吉田こずえ 60歳男子複　優勝　窪田　薫・葛巻　礼滋 ・第19回全国高専バドミントン選手権大会（京都） 男子団体　2位　函館高専 男子複　3位　下田・小川（苫小牧）		・阪神大震災 ・地下鉄サリンなどオウム事件続発 ・北海道知事に堀達也氏当 ・東京・大阪で無党派知事誕生 ・野茂米ナ・リーグ新人王 ・官官接待 ・無党派 ・ＮＯＭＯ ・がんばろうＫＯＢＥ ・かわらなきゃ
平成8年 (1996)	・第34回全日本教職員バドミントン選手権大会（千葉） 60歳男子複　優勝　東　健治・鈴木　祐司（秋田） ・日本教職員バドミントン連盟表彰 功労賞　西村　幸衛 20回出場　東　健治 ・第6代理事長　藤井　一孝　病気で倒れる ・岩崎　昭郎　理事長代行 ・日本実業団バドミントン連盟創立35周年記念大会(東京) 45歳男子複　優勝　東　政文・藤田　富雄 60歳男子複　優勝　東　健治・岡　明弘 ・第51回国民体育大会 成年男子　3位　北海道 ・第24回全国高校選抜バドミントン選手権大会 男子団体　2位　札幌第一高校 女子団体　2位　札幌静修高校 同　3位　旭川実業高校 男子複　3位　佐藤　祐亮・三上　裕司 女子複　3位　伴　宏美・二瓶志津香 ・第26回全国中学バドミントン選手権大会 男子団体　3位　旭川広陵 男子単　3位　橋本　暁人 ・第47回全国高校バドミントン選手権大会 男子団体　3位　札幌第一高校 女子単　3位　岩松絵里子		・ペルー日本大使公邸で人質事件 ・英皇太子夫妻離婚 ・豊浜トンネル崩落事故 ・記録的豪雪 ・将棋の羽生が七冠達成 ・メイクドラマ ・援助交際 ・自分で自分をほめたい（有森裕子） ・ルーズソックス

年(西暦)	北海道バドミントン協会	財団法人日本バドミントン協会	関連事項・世の中の出来事
平成8年 (1996)	・第20回全国高専バドミントン選手権大会（大分） 男子団体　3位　旭川高専 男子複　　3位　渡辺・高橋　（函館） 女子単　　2位　楠野　由佳（旭川） 女子複　　3位　高橋・戸小台（苫小牧） ・日本バドミントン協会表彰 顕讃賞　高橋　昌久、神山　周二		
平成9年 (1997)	・第47回全道実業団バドミントン選手権大会 1部男子　優勝　ＮＴＴ北海道 （道内連勝記録を27に伸ばす） 1部女子　優勝　ＮＴＴ北海道 （道内4年連続7度目の優勝） ・第7代理事長　岩崎　昭郎 ・第21回全国高専バドミントン選手権大会（岐阜） 男子団体　3位　苫小牧高専 男子単　　3位　仲山　久也（苫小牧） 女子単　　3位　楠野　由佳（旭川） ・第48回全国高校バドミントン選手権大会（京都） 女子複　　3位　石黒広子・山重直美（旭実） ・第15回全日本家庭婦人競技大会（福島） クラブ対抗2位　滝川ママさんクラブ ・第36回全日本教職員バドミントン選手権大会（和歌山） 一般男子団体　3位　北海道 ・日本バドミントン協会表彰 顕讃賞　横山　敏、平沢　寛	第10代専務理事兼事務局長 村山　幸雄　退任 第11代専務理事 小飼　栄一　就任 （第8代専務理事）	・消費税5％4月実施 ・北朝鮮元労働党書記　黄氏 韓国へ亡命 （ファン・ジャンヨプ） ・ペルー・リマ市での日本大使館にゲリラ立てこもる127日ぶりに人質は救出されたが、ゲリラは14人全員死亡、人質1人兵士3人死亡 ・ダイアナ元英皇太子妃パリーで交通事故死 ・ノーベル平和賞受賞者のマザーテレサ息たえる ・コンサドーレＪリーグ昇格 ・ヤクルト日本シリーズを制する（対ライオンズ） ・金融機関の不祥事相次ぐ ・長野オリンピックでスキー・スケート大活躍 ・長野パラリンピックでメダルのラッシュ



北海道バドミントン協会
50周年を迎えて

北海道バドミントン協会
理事長　岩　崎　昭　郎

当協会の50年の節目に当たる意義ある年を、私が理事長として迎えますことは、誠に光栄なことと感激しております。しかし、諸先輩が築いてこられました当協会を、更に発展させていかなければならない大切なときであると考えたとき、身が引き締まる思いが致します。私が初めてラケットを握ったのは、今から丁度40年前の高校生になったときであります。そのころは無我夢中で試合をしていたのですが、おそらく当協会はようやく体裁を整えてきたばかりで、大会の準備、運営には大変なご苦労があったのではと推察する次第でございます。

現在当協会は６つの委員会と12地区協会及び４連盟で組織されており、毎年行われる20数回の各種全道大会が、各地区協会、連盟の主管によって大過無く盛会に開催されております。又全国大会について過去10年を見ますと、登別市でのはまなす国体をはじめとて、全日本実業団、全日本教職員、全日本家庭婦人、全日本学生、全日本高校選抜、全日本中学を開催してまいりました。大会運営はもとより戦績においても各大会で優秀な成績を収めることが出来ました。これも諸先輩の長年に渡るご指導の賜物と感謝申し上げます。

当協会のこれからでありますが、私は50周年のこの機会に、競技力向上と指導普及を両輪とし、将来世界に羽ばたく選手を育てることを目標にしたいと考えております。しかし世の中は少子化の時代であり、又過疎化が進み、学校の統廃合が行われております。このような状況下で、当協会は目的達成のために何をしたらよいのか、改めて真剣に検討していかなければならないと考えているところであります。

最後になりましたが、当協会をこれまでご支援いただきました関係各位に厚くお礼申し上げるとともに、役員一同、次の60周年に向けて誠心誠意努力する所存でございます。今後も変わらずご指導ご協力をお願い申し上げます。

北海道バドミントン協会 50周年に寄せて

北海道バドミントン協会
総務委員長
兼事務局長　野　川　　豊

北海道バドミントン協会（以下「道協会」という）50周年おめでとうございます。50という数字は、本当に大きな節目だと思います。私は、平成９年度から引き継いだ事務局長でありますが、事務局長という立場で少し述べさせて頂きます。

道協会は、昭和23年（1948年）４月の創立と申しますから、戦後の大混乱期に産声を上げております。北海道のバドミントンの歴史は、まさに第２次世界大戦後となるわけですが、その時期に北海道大学・大通公園そして函館などでそれぞれに自由に活動していたものが、道協会の創立により統一が計られ、高校生や一般を中心とした全国大会での大活躍の歴史が始まるのであります。

一方、事務局に関することはと申しますと、書面となった記録が全く残っていないことから、過去にご苦労をなさっておられた方からの聞き取りで述べるという事を、まずは、お許し願いたく思います。そもそも、事務局員的な仕事を自然発生的にお引き受け頂いたのは、北海高校の五十嵐宣善先生であります。北海高校職員室の一角が未公認の事務局的役割を担っていたものが、昭和50年ころ当時の理事長であられた、内田正博先生がホテルニューミヤコシ（現法華クラブ）に事務局を設置したのが最初と言えます。現在の中島公園にある別館の建物は、昭和54年ころに出来上がっているのですが、バドミントン協会が間借りをするのは、それから少し遅れた昭和59年になります。この時に、当時札幌開成高校の教諭であられた、東健治先生が事務局長を、そして山口菊枝さんが事務局員を引き受けて下さっています。その後は、平成８年に岩崎昭郎さんが道協会の事務局長を引き継ぎ、平成９年の現在、事務局長野川豊、事務局員山口菊枝、の態勢となっております。

現在は、道協会が主催又は共催する大会が、年に23回もあり盛会に北海道のバドミントン競技が開催されております。今後とも、皆様のご協力・ご支援のもとに100周年に向けた発展が続くことを祈念致します。

競技委員会を振り返る

北海道バドミントン協会
競技委員長　森　田　精　一

私が競技委員会に係わるようになってから、かれこれ20年になるのではないかと思います。

始めにこの委員会の一員になったときの委員長は、前理事長の藤井一孝氏であり、以来、小川皓司氏、北豊吉現副理事長（競技委員会担当）といったベテランの諸先輩のもと、全日本社会人選手権大会を皮切りに、全国高校総合体育大会、はまなす国体等、目白押しに続いた各種全国大会をまがりなりにも任務を果たし、平成２年度から競技委員長として業務を引き継ぎ、笹森剛氏、十川千春氏、木村敏男氏等の優秀なスタッフに支えられ、全国大会は勿論のこと、各種全道大会の競技に関するあらゆる事項につき、主管協会と連携を密にし、誠心誠意取り組んでまいりました。

特に、各種全道大会開催につきましては、一時期に比べ施設も整い、大会運営実務の中心になる地元役員構成も充実し、無事遂行できていると思っております。これもひとえに、各地区協会及び連盟の並々ならぬご尽力があってのことであり、関係各位に深く感謝申し上げる次第です。

しかし、札幌など一部を除き、小子化及び全道各地での過疎化に伴う状況や多様化してきたスポーツ各種目の中で、バドミントンが魅力的で興味あるスポーツとして認知されているかなど、これからの競技会運営面で多くの課題を抱えております。

これらについて、選手の皆さんに少しでも良い状況の下で大会に参加してもらうこと、優秀選手輩出の因をなす大会であること等、毎年真剣な討議を繰り返し、最善な大会をめざし続けております。これからも更に苦慮する問題が惹起されてくると思われますが、道協会員の皆様より一層のご協力とご助言を頂きながら、協会発展のために努力を続けていく覚悟でございます。創立50周年記念にあたり、道協会の発展と道協会々員のますますのご健勝を祈念して、委員長の言葉とさせていただきます。

「審判員としての回想 ……そして決意」

北海道バドミントン協会
審判委員長　金　田　隆　一

創立50周年の記念行事を関係各位と盛大に行えることや、この大きな節目の行事に一役員として私自身が参加できたことを大変嬉しく思う。私が本格的に審判員としての活動を始めたのは、15年前の日本リーグ北海道大会が初めて札幌で開催された時からであった。(故)笠原一男先生に1級公認審判員（S56年取得）として技術面や精神面などの教えを受け、その後は東健治先生、五十嵐宣善先生のご指導を仰いだ。昭和62年の全国ジャパンオープンや総合選手権、韓国、香港での国際大会など審判員として多くの機会を得ることができたことは、私自身の中で大変大きな財産となったことは言うまでもない。前述した諸先生やご尽力戴いた各位に感謝の気持ちを改めて伝えたい。

さて、私の審判活動の大きな転機になったのは、平成3年に北海道バドミントン協会審判委員会委員長を拝命してからである。前年に(財)日本バドミントン協会審判部部員に推挙して戴いたこともあり、中央とのパイプ役としての任も合わせて適当と思われたからであろう。それらの期待に充分に応えられているかどうかは自分自身定かではないが、当時はとにかく大変重大な役割を与えられたという思いであったことを鮮明に覚えている。しかし、そんな気の重さを感じる間もなく、昭和63年4月施行の競技規則と公認審判員規定の大幅な改定、そして現在でも多くのバドミントン関係者から不評の声としてある公認審判員資格登録規定、その資格を取得する希望者に講習と検定を実施する公認審判員資格審査認定委員規定など、審判に関する諸問題と取り組むことになった。自分なりにやれるだけやろうと心に念じスタートしたが、事務処理を間違え多くの有資格者に迷惑をかけたり、委員長としての展望を持ちながらも挫折したりいろいろなことがあった。しかし、委員長の仕事を通して多くの人との出会いもあった。それも私の大きな財産である。委員会のメンバーは、各地区協会の審判長として活躍して戴き、道協会主催大会は勿論のこと全国レベルの大会開催においても審判業務の責任者として立派に活動している。また、国体への派遣審判員としても、大変高いレベルの審判技術であると評されている。さらに、審判資格取得のために講習会・検定会に駆けつけて戴いた多くの人達…。常日頃私が信念にしていることは、「審判技術の向上と競技力向上は表裏一体である」ことや「プレイヤーが自分の持っている力を出し切れるためのコートマネージメントを」である。50年の節目を契機に、より具体的な実践を心掛けてみよう…支えてくれる多くの人達のために!

創立50周年にあたり

北海道バドミントン協会
指導・普及委員長　木　村　敏　男

指導・普及委員長として、協会運営にたずさわってから約10年程度だと思いますが、この間のバドミントン競技者の低年齢化が急速に進んだように思います。レベルも年々上がってきていますし、北海道のバドミントン発展のためにも大変良い傾向だと思います。

これは、各地区でジュニア（小学・中学生）の指導をしている熱心な指導者の多大な功績のお陰だと思います。

現在、高校・大学・社会人として活躍している選手のほとんどがジュニア時代に各地区の指導者に教えられた選手だと思います。

こんなにジュニアが盛んになってきたのは、高校・実業団と全国で活躍している選手が身近にいて自分もバドミントンをやれば、そんな選手になれるという気持ちもあると思うが、私は家庭婦人の影響が一番だと思います。北海道の家庭婦人は全国大会で優勝したり、毎年常に上位で活躍していて全国でもトップレベルにあります。

幼い時から一緒に、練習に連れていかれ（子供にとっては、迷惑だったかも？）、皆に遊ばれながらバドミントンの楽しさを教えられたのが一番の理由だと思います。

しかし、小さい時に楽しかったバドミントンが、高校→大学と進むにつれ嫌いになり辞めていく子供も数多くいると聞きます。

それは、選手強化の話になるかもしれませんが、指導者が熱心なあまり、厳しく練習を強要しすぎているのではないかと思います。その時その時で優勝という感激を味あわせてあげたいという気持ちはわかりますが、小学生まで、中学生まで、高校生までという指導ではなく、上に引継いでその子が大きな選手に育っていくような指導をしてほしいと思います。（選手強化委員会の話でした。他の委員会の話をして申し訳ない。）

これだけ、ジュニアの競技人口が増えてきて、いまさら指導普及という感じの人もいると思いますが、選手を育てるのではなく、もっとジュニアから一般・家庭婦人までバドミントンの愛好者が増えていくように、その人たちの中から選手が育っていくように、今後は選手強化と一緒になった指導普及委員会になっていかなければならないと思います。

北海道バドミントン協会創立50周年を期に、更に北海道バドミントン協会が発展していきますように、今後も各地区協会の指導者のご活躍・ご協力をお願いいたします。

選手強化のこの10年

北海道バドミントン協会
選手強化委員長　遠　藤　好　男

平成元年登別で開催されたはまなす国体においてバドミントン競技は、優勝した少年男子（佐藤・郷路　第一高・古川　旭工高）を筆頭に、成年男子（伊藤・山尾・角谷　ＮＴＴ）２位、少年女子（本多・中垣・長谷川　札幌静修等）と成年女子（星・小飼(真)・和田　地崎等）５位という大活躍に会場がおおいにわき返り、総合成績で２位を獲得しました。この時期の選手強化は、上山功夫（現道教育委員会）強化委員長を中心に強化委員は、優勝への強い使命感と情熱に燃えて日常の練習はもとより、道内合宿や他県との交流合宿を月１回の割で実施し、万全な体制で大会に臨んだ結果でした。

この国体後の選手強化を引き継ぎ10年が過ぎようとしています。選手強化の成果を国体を中心に考えますと、平成２年の福岡国体は奮わなかったものの、平成３年４位（石川）、平成４年７位（山形）と北海道チームは着実に実力を付け、平成５年の香川国体では、少年女子（中山・増茂・田村　旭川実業高）が大阪には負けはしたものの堂々の２位、少年男子（井野・一宮・馬木　第一高）は３位と高校生の大活躍で総合３位を獲得し、選手・強化委員共に成績と若い選手の成長に歓喜するとともに、他県から一目置かれるチームへと成長しました。その後も北海道チームは、成年男子（ＮＴＴ）を軸に活躍し、平成６年４位（愛知）、平成７年５位（福島）と安定した戦績を残すことができました。

その後は、平成８年９位（広島）、平成９年６位（大阪）とあまり良い結果ではありませんが、このことは今後の選手強化を考える上で大きな示唆を含んでおります。

そのために、現在全国レベルで素晴らしい戦績を残している中学生（ジュニア）から成年まで、一貫した強化を目指して、指導者の育成・全国大会の上位入賞・世界に通用する選手発掘と育成のために、各全国大会前の関係選手による合同合宿や指導者の確保、練習環境の整備を画り、「北海道チームここにあり」といわれるようなチームを、築き上げ、まだ成し得ていない『優勝』へ向かって強化委員と選手（中学・高校・大学・成年）が一丸となり頑張って行きたいと思っております。皆様のご支援とご協力・ご理解を宜しくお願い申し上げます。

飛翔がために

北海道バドミントン協会
表彰委員長　毛　利　勝　幸

我が北海道協会も誕生から半世紀を迎えた。一口に50年と云うが、人間の一生に例えればどれ程重みがあるか云うまでもない。ましてやマイナーなスポーツである。我がバドミントンについての50年は他のスポーツにはない苦労の連続であったことは想像に絶する所である。改めて先達の功績に敬意を表するものである。

さて、表彰委員会は、云うまでもなくバドミントンに関し、顕著な功績のあった個人或いは団体を顕彰することにより、バドミントンの発展に資することを目的として昭和45年に設置され、平成２年６月24日付けで改正し、年度表彰制を採用した。この８年間で、特別技能賞13団体・個人59名、地崎賞３名、功労賞５名、計80件の表彰を実施し、(財)日本協会の顕讃賞７名が受賞した。

私自身気がつけば延べ10年間その職に居たことになる。今50年と云う節目を迎えるに当たり、今までの当委員会の活動を振り返りながら、今後の表彰委員会のあり方、更には、表彰委員会から見た協会活動のあり方について考えて見たい。

ひとつめは、表彰の対象として、全国大会等で優秀な成績を収めた者に対して表彰することになっていることから、当委員会が多忙になる位の状況を望むところであるが、時代の変遷と共に、特に生徒等も含めて若年層に対する表彰のあり方、表彰状方式について考え直す必要があるのではないかと思われる。協会財政との問題もあり、将来に向けてどのような方式にするかについては、難しい面もあろうが、協会本位でなく、被表彰の意向を踏まえた方式を考えるべきと思われる。

次に提言したいことは、地方協会末端まで目を向けられる情報網の構築或いはそのための地方協会との連携の強化である。誰から見ても表彰されて然るべき個人・団体を表彰することに異論はないが、全く目立たない地方末端でバドミントンの普及発展に尽力している人は沢山いるはずである。これらの人に目を向けられるように成ってこそ、本当の意味で生きた活動と云えるように思われる。

最後に云いたいことは、協会役員の選考・決定について地方協会に納得のできる説明が必要である。協会は会員相互の集団であり、上部からの指導で成り立つものではない。世の中が目まぐるしく変わり、多様化していく中での協会活動は非常に難しいが、今こそ多様な人材を登用することが大切である。

今日まで選手の育成、協会の活動で時間的・経済的・社会的地位さえも犠牲にして、活躍してきた、縁の下の力持ちをしてきた指導者に対し敬意を表します。

私自身36年間長きにわたり協会活動に携わらせて頂き、この間皆様に随分ご迷惑をかけながらなにかと努めさせてもらい、色々なことを勉強させて頂いたことに感謝しております。

北海道協会の限りない発展を祈ります。

北海道バドミントン協会役員の変遷

会　　長　初代　山田　良秀（S.24～S.26）　2代　西野　金助（S.27～S.33）　3代　高田　富与（S.34～S.37）
4代　地崎宇三郎（S.38～S.61）　5代　地崎　昭宇（S.62～現在）

副 会 長　西野　金助(S.24～S.26)　大滝卯一郎(S.42～S.?)　小林弥三郎(S.42～S.?)　田中荘三郎(S.42～S.?)
奈良岡健三(S.42～S.?)　山田　大秋(S.42～S.?)　宇野　真平(S.60～H.4)　藤井　猛(S.60～現在)
内田　正博(S.60～H.3)　小林　純幸(S.60～現在)　木本　由孝(S.60～現在)　木村　敏二(S.60～S.61)
宮永　松蔵(S.60～S.61)　太田　照国(S.60～S.61)　橋　浪蔵(S.62～現在)　松浦　勤(S.60～H.7)
梅村　茂(S.62～S.63)　野中　勇二(H.2～H.5)　手塚　要助(H.2～H.5)　小飼　栄一(H.4～現在)
千葉　英守(H.4～現在)　武田　哲(H.4～現在)　青山　繁樹(H.6～現在)　横山　敏(H.6～H.7)
横山　真(H.8～現在)　島中　貞夫(H.8～現在)

理 事 長　佐藤　保(S.24～S.29)　奈良岡健三(S.30～S.33)　田中荘三郎(S.34～S.41)　内田　正博(S.42～S.53)
笠原　一男(S.54～H.1)　藤井　一孝(H.2～H.8)　岩崎　昭郎(H.9～現在)

事務局長　面高　正(S.24～S.29)（昭和30年から56年まで不明）
五十嵐宣善(S.57～S.61)　東　健治(S.62～H.7)　岩崎　昭郎(H.8)　野川　豊(H.9～現在)

昭和63年以降

役職＼年度	昭和63～平成1	平成2～3	平成4～5	平成6～7	平成8～9
名誉会長	故・地崎宇三郎	故・地崎宇三郎	故・地崎宇三郎	故・地崎宇三郎	故・地崎宇三郎
会長	地崎昭宇	地崎昭宇	地崎昭宇	地崎昭宇	地崎昭宇
副会長	宇野真平	宇野真平	宇野真平	小林純幸	小林純幸
〃	藤井猛	藤井猛	藤井猛	藤井猛	藤井猛
〃	内田正博	小林純幸	小林純幸	木本由孝	木本由孝
〃	小林純幸	木本由孝	木本由孝	橋浪蔵	橋浪蔵
〃	木本由孝	橋浪蔵	橋浪蔵	松浦勤	島中貞夫
〃	橋浪蔵	松浦勤	松浦勤	小飼栄一	小飼栄一
〃	松浦勤	野中勇二	小飼栄一	千葉英守	千葉英守
〃	梅村茂	手塚要助	千葉英守	武田哲	武田哲
〃			武田哲	青山繁樹	青山繁樹
〃				横山敏	横山敏
理事長	笠原一男	藤井一孝	藤井一孝	藤井一孝	藤井／岩崎昭郎
副理事長	小飼栄一	小飼栄一	西村幸衛	西村幸衛	西村幸衛
〃	藤井一孝	西村幸衛	東健治	東健治	東健治
〃	西村幸衛	東健治	北豊吉	北豊吉	北豊吉
〃	髙橋昌久	北豊吉	笠井武彰	笠井武彰	笠井武彰
〃		笠井武彰	島中玲子	島中玲子	島中玲子
〃		島中玲子			
事務局長	東健治	東健治	東健治	東健治	岩崎／野川豊
総務委員長	岩崎昭郎	岩崎昭郎	岩崎昭郎	岩崎昭郎	岩崎昭郎
競技委員長	北豊吉	森田精一	森田精一	森田精一	森田精一
審判委員長	五十嵐宣善	金田隆一	金田隆一	金田隆一	金田隆一
指導普及委員長	小向利威	木村敏男	木村敏男	木村敏男	木村敏男
強化選考委員長	上山功夫	遠藤好男	遠藤好男	遠藤好男	遠藤好男
表彰委員長		毛利勝幸	毛利勝幸	毛利勝幸	毛利勝幸
特別委員長	毛利勝幸				
編集委員長				東健治	東健治
監査（一般）	野坂豊三郎	野坂豊三郎	野坂豊三郎	野坂豊三郎	野坂豊三郎
監査（一般）	五十嵐宣善	五十嵐宣善	五十嵐宣善	五十嵐宣善	五十嵐宣善
監査（強化）	中嶋弘志	中嶋弘志	中嶋弘志	中嶋弘志	中嶋弘志
監査（強化）	井上透市	井上透市			

［現］北海道バドミントン協会役員一覧

役職	氏名	居住地
会長	地崎 昭宇	札幌
副会長	藤井 猛	旭川
〃	小林 純幸	札幌
〃	木本 由孝	札幌
〃	橋 浪蔵	苫小牧
〃	小飼 栄一	札幌
〃	千葉 英守	札幌
〃	武田 哲	札幌
〃	青山 繁樹	札幌
〃	横山 真	江別
〃	島中 貞夫	札幌
顧問	中島 好雄	札幌
〃	奈良岡健三	静岡県
〃	加藤 清郎	函館
〃	小向 利威	登別
〃	金栄 善彦	小樽
〃	瀬能 晃	岩見沢
〃	山腰 修司	滝川
〃	松永 盛将	旭川
〃	中村 稔	名寄
〃	杉山 昭彦	帯広
〃	伊東 良孝	釧路
〃	波岡 清治	網走
〃	松浦 勤	札幌
〃	横山 敏	女満別
〃	月尾 修	札幌
参与	佐藤 保	札幌
〃	島谷 勲	札幌
〃	三宅 仁	札幌
〃	荒島 敏幸	札幌
〃	石井 仁	札幌
〃	上山 功夫	江別
〃	山住 一史	札幌
〃	下山 重子	札幌
〃	神山 周二	札幌
〃	伊勢 武	札幌
〃	小川 皓司	札幌
〃	赤川 賢二	帯広
〃	木村 清淳	小樽
〃	岡 明弘	札幌
〃	渋井 明	札幌
〃	上田 豊	札幌
〃	兼平 四郎	函館
〃	梅村 茂	札幌
〃	高橋 昌久	旭川
〃	増田 幸	札幌
〃	若林 守	札幌
〃	平沢 寛	札幌
〃	平山 三城	札幌
〃	藤井 一孝	札幌
監査	野坂豊三郎	札幌
〃	五十嵐宣善	札幌
〃（強化）	中嶋 弘志	札幌

日本バドミントン協会

専務理事	小飼 栄一	札幌
評議員	岩崎 昭郎	札幌

役職	氏名	居住地
理事長	岩崎 昭郎	札幌
副理事長	西村 幸衛	札幌
〃	東 健治	札幌
〃	北 豊吉	小樽
〃	笠井 武彰	滝川
〃	島中 玲子	札幌
常任理事	野川 豊	札幌
〃	森田 精一	帯広
〃	木村 敏男	札幌
〃	金田 隆一	江別
〃	遠藤 好男	札幌
〃	毛利 勝幸	岩見沢
理事	福田 侑司	函館
〃	佐々木昭宏	室蘭
〃	大沢 慶幸	苫小牧
〃	高野 幹男	小樽
〃	中瀬 幸記	札幌
〃	吉野 幸広	岩見沢
〃	高山 訓正	滝川
〃	上原 主美	旭川
〃	松本 洋	名寄
〃	桑原 芳弘	帯広
〃	尾張 健一	釧路
〃	中田 武夫	北見
〃	渋井 敏紀	札幌
〃	中川 憲昭	札幌
〃	柴田 宗春	札幌
〃	山口 菊枝	札幌
〃	笠井 正彰	旭川
〃	北村 優明	札幌
〃	乙武 重丸	札幌
〃	小向 利威	登別
〃	十川 千春	苫小牧
〃	笹森 剛	札幌
〃	中村 富光	札幌
〃	谷浦 隆	札幌
〃	杉田 茂良	札幌
〃	河崎 正紀	札幌
〃	熊谷 敏夫	札幌
〃	福井 正昭	札幌
〃	吉村 恭子	札幌
〃	吉田 惇子	札幌
〃	片桐恵美子	札幌
代議員	江刺家大介	函館
〃	池田 公貴	上磯
〃	田畑 義彦	伊達
〃	大山 直人	室蘭
〃	沢井 泰宏	苫小牧
〃	納 博之	苫小牧
〃	藤田 富雄	小樽
〃	尾山 要	小樽
〃	石岡 直樹	札幌
〃	松野 英彦	札幌
〃	下野 和義	岩見沢
〃	内山 彰	美唄
〃	尾崎 義憲	深川

役職	氏名	居住地
代議員	山田 健治	滝川
〃	田中 光彦	旭川
〃	中村 光生	旭川
〃	永井 秀正	名寄
〃	平川 芳克	名寄
〃	山腰 学	帯広
〃	大竹 憲一	帯広
〃	谷口 秀生	釧路
〃	福田 康夫	釧路
〃	及川 紀郎	北見
〃	五十嵐 優	東藻琴
〃	中平 正幸	札幌
〃	高橋 進	札幌
〃	斉藤 弘一	札幌
〃	宮崎 岩次	札幌
〃	熊谷 一雄	北広島
〃	三好 義信	札幌
〃	金子 富枝	室蘭
〃	遠藤 静子	札幌

［各委員会構成］

※担当 副理事長

［総務委員会］	※東	健治
委員長	野川 豊	札幌
副委員長	福井 正昭	札幌
委員	中瀬 幸記	札幌
〃	松野 英彦	札幌
［競技委員会］	※北	豊吉
委員長	森田 精一	帯広
副委員長	笹森 剛	札幌
〃	高野 幹男	小樽
委員	十川 千春	苫小牧
〃	木村 敏男	札幌
〃	川口 淳	札幌
〃	遠藤 静子	札幌
〃	上原 主美	旭川
〃	小場 範夫	登別
〃	高橋 進	札幌
［審判委員会］	※笠井	武彰
委員長	金田 隆一	江別
副委員長	五十嵐宣善	札幌
〃	中田 武夫	北見
〃	近藤 興治	小樽
委員	市田 悦雄	函館
〃	田島 昇	室蘭
〃	小蔵 力	苫小牧
〃	長谷川 誠	倶知安
〃	菅原 宏志	札幌
〃	野瀬 正紀	美唄
〃	小峰 修一	滝川
〃	田中 光彦	旭川
〃	岩井 則継	名寄
〃	吉沢 敦	帯広
〃	尾張 健一	釧路
〃	五十嵐 優	東藻琴

役職	氏名	居住地
［審判委員会］	公認審判員審査	
認定委員	金田 隆一	江別
〃	笠井 武彰	滝川
〃	森田 精一	帯広
〃	市田 悦雄	函館
〃	河崎 正紀	札幌
［指導普及委員会］※西村		幸衛
委員長	木村 敏男	札幌
副委員長	中村 富光	札幌
〃	笠井 正彰	旭川
〃	熊谷 敏夫	札幌
委員	中山 孝	苫小牧
〃	徳満 康浩	小樽
〃	平川 芳克	名寄
〃	赤川 賢二	帯広
〃	宮野 慎哉	岩見沢
〃	福田 侑司	函館
〃	森沢 邦昭	登別
〃	石岡 直樹	札幌
〃	中村 隆	釧路
［選手強化委員会］※西村		幸衛
委員長	遠藤 好男	札幌
副委員長	北村 優明	札幌
〃	谷浦 隆	札幌
〃	伊藤 雅弘	札幌
委員	井口 一司	札幌
〃	小飼 清統	札幌
〃	石岡 直樹	札幌
〃	水崎 忍	帯広
〃	中村 光生	旭川
〃	諏訪内信二	上磯
〃	下苧坪英雄	旭川
〃	長谷川恵一	札幌
〃	後藤 貴宏	登別
［選手選考委員会］		
委員長	遠藤 好男	札幌
副委員長	北村 優明	札幌
〃	谷浦 隆	札幌
〃	伊藤 雅弘	札幌
委員	井口 一司	札幌
〃	石岡 直樹	札幌
〃	中村 光生	旭川
〃	森田 精一	帯広
〃	金田 隆一	江別
［表彰委員会］	※島中	玲子
委員長	毛利 勝幸	岩見沢
副委員長	十川 千春	苫小牧
〃	吉野 幸広	岩見沢
委員	松本 洋	名寄
〃	高山 訓正	滝川
［事務局］	※東	健治
局長	野川 豊	札幌
次長	乙武 重丸	札幌
〃	山口 菊枝	札幌
局員	渋井 敏紀	札幌
〃	吉村 恭子	札幌

北海道バドミントン協会規定

第１章　名称及び事務局

第１条　この協会は、北海道バドミントン協会（以下、本協会という）と称する。

第２条　本協会の事務局は、札幌市中央区中島公園１－５、北海道立札幌中島体育センター内に置く。

第２章　目的及び事業

第３条　本協会は、北海道内バドミントン団体の中枢機関となり、本道のバドミントン競技を統轄代表し、斯界の進歩向上を図り、あわせて明朗融和の精神を養成し、もって社会に寄与することを目的とする。

第４条　本協会は、目的達成のために次の事業を行なう。

1．北海道バドミントン選手権大会及び各種競技会の開催。
2．全国大会に選手派遣。
3．㈶北海道体育協会に加盟登録。
4．㈶日本バドミントン協会に加盟登録。
5．バドミントン競技に関する普及、指導、宣伝、研究、調査及び機関紙の発行。
6．審判技術の指導及び審判員の認定。
7．その他、本協会の目的達成するに必要な事業。

第３章　組　　織

第５条　本協会の趣旨に賛同する下記の者及び団体で組織する。ただし、アマチュア団体に限る。

1．地区バドミントン協会。
2．北海道学生バドミントン連盟。
3．北海道実業団バドミントン連盟。
4．北海道教職員バドミントン連盟。
5．北海道家庭婦人バドミントン連盟。
6．維持会。
7．会長会。

第６条　地区協会は、各地域バドミントン競技の統轄代表とする。地区協会の名称は、何々地区バドミントン協会とする。

第７条　本協会に加盟する地区協会及び加盟団体の運営は、各組織の規約による。

ただし、規約は本協会の承認を必要とする。

地区協会の加盟する基準及び条件は規定に定める。

第８条　本協会は、地区協会の区域を次の通りとする。函館地区、室蘭地区、苫小牧地区、札幌地区、小樽地区、南空知地区、北空知地区、旭川地区、名寄地区、北見地区、十勝地区、釧根地区協会とする。

第９条　地区協会は、必要に応じて支部協会を置くことができる。ただし、設置にあたっては、本協会に報告を必要とする。

第４章　役　　員

第10条　本協会に次の役員を置く。

会　長	１名	副会長	若干名
理事長	１名	副理事長	若干名
常任理事（専門委員長、事務局長）			若干名
理　事	若干名	監査委員	３名
顧　問	若干名	参　与	若干名
代議員	各地区及び連盟	２名	

第11条　会長及び副会長は、総会において推薦する。

第12条　会長は、本協会を代表し、会務を総理する。副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

第13条　常任理事は、事務局長、専門委員長で構成し、本協会の技術、普及、財政及び運営等の諸問題について、総会及び理事会に建議する。

第14条　理事は、地区協会、連盟から選出された者及び会長が推薦した者で構成し理事長を補佐し、会務を執行する。

第15条　理事長及び副理事長は、理事の互選により会長が委嘱し、会務を掌理し執行する。

第16条　事務局長は、理事の互選により会長が委嘱する。事務一般を処理する。局員は、事務局長が推薦し、常任理事会の承認をうけて会長が委嘱する。事務局の規定は別にさだめる。

第17条　専門委員長は、理事の互選により会長が委嘱する。委員は、委員長が推薦し、常任理事会の承認をうけて会長が委嘱する。

第18条　代議員は、地区協会及び連盟を代表し、総会において議案を審議する。

第19条　監査委員は、総会において選出し会長が委嘱する。会計を監査する。

第20条　本協会は、㈶北海道体育協会並びに㈶日本バドミントン協会への代表役員選出については、理事会の互選により、総会の承認を得た役員とする。

第21条　本協会は、必要に応じ総会の議を経て、名誉会長、名誉副会長、顧問及び参与を置くことが

できる。

第22条　顧問は、加盟団体の会長および総会の推薦により会長が委嘱したものがあたり、本協会の諮問機関とする。

第23条　参与は、総会の推薦により会長が委嘱したものがあたり、重要な会務に参与する。

第24条　役員の任期は、1期2年とする。再任及び再選は妨げない。補充役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5章　機　　関

第25条　本協会の機関は、総会、常任理事会、理事会及び専門委員会とする。

第26条　総会は、本協会の最高決議機関であり、毎年1回会長が召集し、また必要に応じて臨時総会を召集することができる。

第27条　総会は、会長、副会長、名誉会長、名誉副会長、顧問、理事長、副理事長、常任理事、理事、監査委員、代議員をもって構成し、次の事項を審議する。

1．事業及び収支決算の報告並びに承認。
2．予算の編成及び事業計画。
3．役員の選任。
4．規約の改廃。
5．加盟の承認。
6．加盟分担金、登録料、参加料及び維持会費の決定。
7．その他重要事項。

第28条　常任理事会は、会長が必要に応じ召集し、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事をもって構成する。総会、理事会より委任された事項並びに本協会運営に関する必要な事項を審議する。

第29条　理事会は、会長が必要に応じて召集し、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事、理事をもって構成する。総会より委任された事項並びに本協会の運営に関する事項を審議する。

第30条　専門委員会は、総務、競技、指導普及、選手強化、審判、表彰委員会で構成する。その他必要に応じて委員会を設置することができる。各委員会は、専門事項を協議し意見を理事会に提出する。また理事会から諮問をうけた事項を研究審議し執行する。

委員会の規定及び細則は理事会の決議により定める。

第31条　総会、常任理事会及び理事会は、構成人員の2分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立し、その議決は、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

第6章　加盟及び会員登録

第32条　各地区協会及び加盟団体は、毎年度加盟を更新しなければならない。

第33条　各地区協会及び加盟団体は、総会で決定した分担金を6月30日までに納入しなければならない。未納の地区協会及び加盟団体は、本協会における一切の権限を喪失する。また会員登録も認めない。

第34条　競技者は、本協会及び加盟団体が主催する競技会に参加する場合には、その居住している地区協会を通じて会員登録をしなければならない。

第35条　登録料は、会員登録と同時に納入しなければならない。

第36条　本協会の登録は、毎年度更新し、会員がアマチュアの資格を失ったときには登録を取り消す。

第7章　経費及び会計

第37条　本協会の経費は、分担金、登録料、維持会費、広告料、寄付金、補助金及び、その他の収入をもってあてる。

第38条　本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日をもって終る。

附　　則

1．その他、本協会に必要な規定及び細則は、理事会の議を経て定めることができる。
2．本規約は、昭和45年5月15日より施行する。
3．本規約の一部を改正し、昭和58年4月1日より施行する。
4．本規約の一部を改正し、昭和60年3月17日より施行する。
5．本規約の一部を改正し、平成2年6月24日より施行する。
6．本規約の一部を改正し、平成5年3月14日より施行する。
7．本規約の一部を改正し、平成9年3月9日より施行する。

12地区協会・４連盟の歴史と現状



道協会創立50周年によせて

函館地区バドミントン協会
会長　加藤清郎

道協会創立50周年を心からお祝い申し上げるとともに、半世紀にわたって道協会を支えてきた先輩諸氏のご労苦とご功績に衷心より敬意を表します。40周年記念誌にも記されているように、草創期における道協会、各地区協会の先人たちの苦労の数々、またその後の組織と活動の充実は確かな歴史として我々は受け継いでいかなければならないものと、身の引き締まる思いでおります。

昭和22年に、道内他地区に先がけて函館地区協会が設立された時、父加藤俊治が会長をつとめ、半世紀後のこの節目に自分が会長をつとめているということに、偶然ではかたづけられない自分とバドミントンの縁を感じている次第であります。

函館地区協会も普及の甲斐あって小学生からベテランまでその裾野も広がり、各種全道大会、日本リーグ等の大会も毎年のように開催、運営してまいりました。こうした活動も、家庭婦人連盟をはじめとして、高体連、各少年団等、関係各団体の協力があってこそであり、これも地区協会としての大切な財産と思っております。

昭和という激動の時代をたくさんの人々の努力で乗り越え、平成の世を迎え、ますます発展し続ける道協会も、21世紀を迎えるにあたって、今我々が力を尽くしてさらなる発展への道を切り拓き、次の世代へ手渡さなければなりません。今、無心にシャトルを追う子供たちに、明日の北海道のバドミントン界で力強く飛翔してもらうためにも、その土台となる組織の充実と発展を我々地区協会から成し得なければなりません。またそうすることが、21世紀へ向けての、道協会のますますの飛躍につながるものと確信し、私自身の責任もまた、痛感いたしております。

函館地区バドミントン協会の沿革

年度・月	会長名	理事長名	主な事業又は出来事
昭和22年　月	加藤　俊治	大野　吉春	☆北海道内一番早く設立
昭和27年４月	大滝卯一郎	笠原　一男	
昭和28年７月			第５回全道高校選手権大会主管　高体連団体女子優勝　白百合
			全国大会　国体出場　白百合
昭和31年３月			第８回全道選手権大会主管　高体連団体女子優勝　東高校
昭和32年６月			第７回全道実業団選手権大会主管　全国大会　国体出場　東高校
昭和36年６月			第11回全道実業団選手権大会兼全道社会人大会主管
昭和37年６月			第13回全道高校選手権大会主管
昭和40年４月		山矢　匡	第７回全道市役所大会後援
昭和41年４月			
昭和42年４月		星野　嘉雄	
昭和43年８月		兼平　四郎	第18回全道実業団選手権大会兼全道社会人大会主管
昭和44年６月			第20回全道高校選手権大会主管
昭和47年10月			第25回全道選手権大会　一般女子複　３位　藤島・目方選手
昭和49年			第27回全道選手権大会主管　一般女子単　３位　藤島選手
昭和50年			第17回全道市役所大会後援
昭和51年２月			☆国際大会日本対西独戦主管
昭和52年８月			第30回全道選手権大会主管　国体出場　藤島選手
昭和53年			☆家庭婦人連盟設立　道協会より技能賞受賞　藤島選手
			国体出場　藤島選手
昭和54年			国体出場　藤島選手
昭和55年４月			第33回全道選手権大会主管　国体出場　藤島選手
昭和56年			第13回北海道高校新人選手権大会主管（57年１月北高校）
昭和57年			
昭和58年６月			第35回北海道高校選手権大会主管（東高校）
			群馬国体出場　諏訪内選手
昭和59年９月			第15回全道教職員選手権大会主管
			全国教職員選手権大会30才単複　１位　藤島選手
昭和60年４月			第32回全道大学選手権大会（後援11月）
昭和61年５月	出町　国義		第39回全道選手権大会主管　山梨国体出場　諏訪内選手（全国４位）
８月			☆北海道対ソ連極東地区親善スポーツ大会主管
			審判講習会（講師　笠原一男氏）
昭和62年４月		松田　重和	
昭和63年			第39回国民体育大会北海道予選会主管
平成元年			第21回北海道高校新人選手権大会主管
			審判講習会（講師　金田隆一氏）
平成２年			第37回全道大学選手権大会（後援11月）　地区中学生大会開始
			☆全道高専大会後援　地区小学生大会開始
平成３年９月			第９回北海道ジュニア選手権大会兼第11回全日本ジュニア予選会主管
平成４年４月	加藤　清郎		
７月	(国際ホテル社長)		第25回北海道家庭婦人バドミントン大会主管
８月			第23回全道中学生バドミントン選手権大会（後援８月）
			審判認定員取得（市田悦雄氏）
平成５年９月			第28回全道市役所大会（後援９月）
平成６年５月			第47回北海道選手権大会主管　審判講習会（講師　金田隆一氏）
11月			☆日本リーグ'94（11月）主管
平成７年		福田　侑司	第42回全道大学選手権大会（後援11月）
平成８年１月			第28回北海道高校新人大会兼第24回高校選抜選手権大会主管
６月			第48回全道高校選手権大会主管
平成９年５月	加藤　清郎		第28回全道中学選手権大会　個人優勝佐々木翔選手
			審判講習会（講師　市田悦雄氏）

函館地区バドミントン協会役員一覧表［最近10年間］

役職	昭和63年	平成元年	平成２年	平成3,4年	平成５年	平成６年	平成7～9年	平成９年
会長	出町　国義	出町　国義	出町　国義	出町　国義	加藤　清郎	加藤　清郎	加藤　清郎	［顧問］
副会長	田辺　康夫	田辺　康夫	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	大川　浩
	天野　暉彦	天野　暉彦	田辺　康夫	田辺　康夫	田辺　康夫	田辺　康夫	田辺　康夫	［総務委員］
	兼平　四郎	兼平　四郎	天野　暉彦	天野　暉彦	天野　暉彦	天野　暉彦	天野　暉彦	吉田こずえ
							松田　重和	永田　悦子
理事長	松田　重和	松田　重和	松田　重和	松田　重和	松田　重和	松田　重和	福田　侑司	松田　勝則
副理事長	大川　浩	大川　浩	佐々木堅治	佐々木堅治	佐々木堅治	佐々木堅治	佐々木堅治	
	佐々木堅治	佐々木堅治	小松登志枝	小松登志枝	小松登志枝	小松登志枝	小松登志枝	［競技委員］
総務委員長	市田　悦雄	石塚　敏昭	折原　敦子	折原　敦子	江刺家大介	江刺家大介	江刺家大介	仙石　義博
副委員長	十倉　久子	折原　敦子	市田　悦雄	江刺家大介	折原　敦子	折原　敦子	折原　敦子	若林　邦明
				市田　悦雄	小島　和明	小島　和明	小島　和明	池田　公貴
競技委員長	石塚　敏昭	福田　侑司	福田　侑司	福田　侑司	福田　侑司	福田　侑司	能登谷芳之	堀田　浩美
副委員長		江刺家大介	江刺家大介	藤島　百子	藤島　百子	藤島　百子	藤島　百子	［審判委員］
				十倉　久子	十倉　久子	十倉　久子	十倉　久子	三浦　省吾
審判委員長	住田　茂	住田　茂	住田　茂	住田　茂	市田　悦雄	市田　悦雄	市田　悦雄	三上　明
副委員長	折原　敦子	十倉　久子	十倉　久子	巳野　紀子	巳野　紀子	横川　寿輔	福士　智子	今野　利美
		藤島　百子	藤島　百子			福士　智子	横川　寿輔	窪田　薫
指導普及委員長	諏訪内信二	諏訪内信二	諏訪内信二	諏訪内信二	諏訪内信二	諏訪内信二	諏訪内信二	葛巻　礼滋
副委員長	西村　晃	西村　晃	西村　晃	西村　晃	西村　晃	西村　晃	西村　晃	山名田君夫
					吉田こずえ	寺本　公彦	寺本　公彦	福士　幸男
						吉田こずえ		
会計委員長	小松登志枝	窪田　薫	窪田　薫	間瀬　幸子	間瀬　幸子	間瀬　幸子	藤田　恭子	［指導委員］
副委員長	間瀬　幸子	間瀬　幸子	間瀬　幸子	鈴木　房子	鈴木　房子	鈴木　房子	鈴木　房子	岩館　利男
	鈴木　房子	鈴木　房子	鈴木　房子	藤田　恭子	藤田　恭子	藤田　恭子	間瀬　幸子	高橋　信行
監査	長崎　道夫	宇野　真平	宇野　真平	宇野　真平	水野　政義	水野　政義	水野　政義	田中　真
					奥村　喜弘	奥村　喜弘	奥村　喜弘	小石　秀一

嬉しい全道２連勝

函館地区バドミントン協会　副理事長　**小　松　登志枝**

昭和31年７月、私は、釧路のインターハイ道予選会場で一通のの電報を受け取りました。

『カップ、トレ。４ニン』という電文に、電報に縁のなかった私は驚きました。

４人とは、渡辺、本庄、村本、平野先輩で４人らしい明快な電文でした。

私たちは、前年のインターハイ道予選会で優勝したその先輩達の心優しくも厳しい指導を受けました。そして、毎日放課後の練習が終了するまで、温かく見守って下さった顧問の吉野先生がおられ、さらに、札幌在住の平澤寛先生が時折来函され、貴重なアドバイスを下さって、お陰様で道予選に臨むことが出来ました。

しかし、ラッキーな事ばかりなく、私が、３年生になりました31年４月、貧血で２週間も学校を休むはめになりました。皆に悪いと思ったのは当然ですが、『３ケ月間はバドミントンはダメ』とドクターストップのかかっている身で私は悩みました。放課後、部室に寄る勇気もなく何日かが経ちました。４月29日（天皇誕生日）の午前、尾関、岩館、上杉の３人の２年生が私を待ちきれず、遂にわが家に迎えに来ました。『先輩！試合は６月ですよどうしますか？』と心配そうな顔をして一人が言いました。『ちょっと待って！』と私はショートパンツを小さく丸めタオルに包み家族に知られないように彼女達と学校に向かいました。

その日からまたハードな練習が始まり、前年に引き続き全道優勝が出来、先輩の電報に応える事ができました。とにかく苦しく、しかしとても嬉しい団体優勝でした。

優勝の夜は顧問の吉野先生から、前夜お約束の『お寿司』をご馳走になり、しみじみと優勝の味をかみしめたことも忘れられない想い出の一つです。

（函館東高等学校　32年卒業）

更なる飛躍を目指して

函館地区バドミントン協会　理事長　福　田　侑　司

北海道バドミントン協会創立50周年にあたり、函館地区協会として心よりお祝い申し上げます。

この10年、北海道を代表する選手諸君の全国大会における活躍は、選手本人の努力はもとより、先達の愛情と労苦の積み重ねの上に、バドミントン競技関係者による基盤整備と技術向上があって成し得られたものと確信いたしております。

北海道バドミントン競技発祥の地を自負している函館地区協会も、今年創立50周年を迎え、歴史と伝統の上に新たな発展を目指しておりますが、これも選手・指導者として全道・全国で活躍されておられる函館ゆかりの先輩諸氏のご労苦とご努力の賜物と感謝いたしております。

平成4年、加藤清郎氏を会長として迎え、地区協会の若返りと組織の強化が図られ、日本リーグをはじめとする各種大会を開催運営できる力量を身に付けることができました。これも道協会のご指導と、縁の下の力持ちをもって任ずる地区協会関係者の協力体制があってのことと思っております。一方、函館地区の選手に目を向けますと、全道大会・全国大会で活躍中の小中学生やベテラン勢を中心に教職員、社会人、家庭婦人と多くを数え、上磯スポーツ少年団の諏訪内信二氏、亀田子供会連合会の高橋佳教氏、レッドリバーの森昌敏氏等の努力で小学生・子供会の育成が軌道に乗り成果が実り始め、小中高生の減少にも関わらず競技人口の底辺拡大が図られていることは大変心強い思いをしております。さらに、着実な活動を続けている兼平四郎氏を会長とする函館地区家庭婦人連盟の活躍はバドミントン競技の普及に大きな功績を残しています。

現在、函館地区協会としては幾つかの問題点を抱えておりますが、なかでも早急に対策が迫られているのは、中学校・高校への組織的な指導体制の確立を図ることであり、併せて指導者の育成と指導技術の向上が急務と考えられております。しかし、人材の育成は一朝一夕には為し得ません。未来を見通し長期的展望に基づいた育成を図るため、関係機関への働きかけを痛感しております。

私たち函館地区協会に携わる者は、先輩諸氏が長年にわたり築き上げられた組織と伝統に守られながら、バドミントンが好きという一念で、子供たちや選手が安心してプレーし、競技を続け、実力を発揮できる環境と体制づくりに邁進してきました。今後、北海道バドミントン協会が益々発展し続ける礎として他の地区協会との連携を深めながら、一層充実発展した函館地区協会として次世代に引き継ぎたいとの思いを込め、地力を養うことで更なる飛躍を期しております。

最後に、函館地区協会創立の立て役者笠原一男氏と、地区協会の核となり活躍が期待されておりました大先輩星野善雄氏の早過ぎるご逝去は大変残念なことであり、痛手でもあります。ご冥福をお祈りし、今後の発展を見守っていただきたいと思っております。



混沌からの出発

室蘭地区バドミントン協会
会長　小向利威

北海道バドミントン協会が創立以来、春風秋雨に耐えながら、地方に競技の普及振興に多大な貢献をされました。星霜流れて50周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

一言に50周年と申しましても、戦後の社会情勢は混迷な時代であり、諸物資は不足で施設もまた無くスポーツ活動もままならない時、有意の先輩や情意の同志と気を合わせ、楽しみながら仲間と交流を深めつつ組織を創り上げる努力の継続には筆舌に尽くせぬものであり、協会の運営に当たられ今日の隆盛を見るとき、尊敬と感謝の念を禁じ得ません。

スポーツに親しみ健康な心身を培う事は、社会や自己に対する義務ではないであろうか。

地域を構成する一人一人が文化活動を通じ、健康の増進と保持するために必要であろうと思う日々にやがて訪れる長寿社会に向けて、どのように明るく生きられるか./それが私の国体バドミントン競技誘致のテーマでした。

おかげさまで道協会関係各位の温かい情熱が、競技力では総合成績２位となって十分力を発揮されました。

半世紀に一度と言われる「第44回はまなす国体」は、この日に至るまで経験させていただいた全国中学校選手権大会や昭和62年度全国高校総合体育大会バドミントン選手権大会、そして国体前年のリハーサル大会としての第24回全日本社会人選手権大会を開催致しました。それぞれ異なる全国大会の開催により、地区協会役員は、北海道協会の指導を戴きながら、競技運営のプロと言われるまで洗練され自信をつけ、各会場の運営に成果を開花致しました。競技の主役は選手であり、舞台（施設）は都市の顔であり、役員は裏方として環境を整備してあげながらディレクターの働き場所を創り出し、また、さらに地域の積極的な県人会的組織を作り上げ、選手への応援と交流を願い観光ガイドが芽生えた時「国体競技の開催は異文化との出会いになる機会」だと確信しておりました。

国体が成功であったか否か、今、10年の歴史では語る事が出来ません。ただ、地区協会のバドミントン競技振興は低ピッチ、風化は高ピッチで進み、登別市においては、行政改革が相前後して起こり、笠原一男先生には一方ならぬ心労を１年半も重ねてしまわれたことが無念でなりません。自他の非情と無力を知らされる思いでありました。唯々、笠原先生を失ったことは痛恨の極みであり、心より哀悼の誠を捧げるのみであります。

今こそ、21世紀に適う室蘭地区協会の再生に向けて全霊を捧げるべき時ではないか。

不易の逆境に耐えて、精神的財産の吸収をしながら大会を、スポーツ交流を通じて、学び得た基礎的な技術と不屈不撓の精神をもって、明朗闊達にバドミントン文化を創造し、継承することを誓うものです。

室蘭地区バドミントン協会年表

昭和24年・室蘭地区バドミントン協会設立
・初代会長 井口鹿象氏（室工大学長）
・初代理事長 佐伯予一氏（室工大教授）
※バトミントンを知る教授が昭和23年の大学制度改革で北大より転動してきた

昭和25年・室蘭栄高校で活動が始まる

昭和26年・日鋼、簡易保険局、富士鉄、胆振支庁に同好会が誕生し室工大生と交流する
※室工大体育館、天井の低い梁のある体育館や馬小屋で練習した（30人位）

昭和27年・室栄高校、室清水ケ丘高校、伊達高校の各校にクラブが出来ていて活動が盛んになる

昭和28年・第２代会長 松崎 稔氏（北海道配電室蘭支店）
※佐藤 保氏が室蘭支店に在籍していた
・第２代理事長 三谷義一氏（日鋼室蘭）
・バドミントン講習会が開催された
講師 佐藤 保（道協理事長） 荒島敏幸（道新）
若林 守（道新）の三氏
・秋、会長の松橋稔氏急逝する
※２年間、会長が不在

昭和29年・全道高校選手権大会 女子団体２位 室蘭栄高校

昭和30年・第３代会長 太田照国氏（太田建設社長）
・第３代理事長 山本朝男氏（日鋼室蘭）
※事務局は胆振支庁に初めて置く

昭和32年・大会は、市内の港南中学校体育館４コートで開催され、参加料70円、シャトル35円
※年間大会３回（60人参加）で社会人、工大生、高校生合同の大会であった
・室蘭工業高校にバドミントン部創立
・全道社会人選手権大会 男子単２位 岡 明弘

昭和33年・第５回全道大学選手権大会開催

昭和34年・第９回全道実業団兼社会人選手権大会開催
・室蘭大谷高校バドミントン部創立
※室蘭地区管内の活動が盛んになる

昭和35年・第13回北海道選手権大会
混合複２位 小向利威、阿部富枝

昭和37年・第12回全道実業団選手権大会 団体優勝 ㈱ウス井
・第15回北海道選手権大会
混合複優勝 小向利威、橋本 智
※一般社会人の練習場所が無く高校生と学校で合同練習をしていた
・第14回全道高校選手権大会
団体３位 室清水丘高校
・第９回全道大学選手権大会開催
・聖ベネディクト女子高校にバドミントン部創立

昭和38年・中央大学、札幌鉄道管理局、室蘭選抜との交歓試合を開催 ※中大１年に小島一平選手
・第12回全道社会人選手権大会
男子複３位 小向利威、福士秀次

昭和38年・第13回全道実業団選手権大会
男子複３位 小向利威、新井宏司

昭和39年・第４代理事長 島谷 勲氏（室栄高教諭）
・登別高校にバドミントン部創立
・室蘭東高校にバドミントン部創立

昭和40年・第５代理事長 斎藤則雄氏（室清水丘高教諭）
・第17回全道高校選手権大会
男子複３位 進藤光一、岡 真広
・第21回国民体育大会北海道予選会
少年男子単２位 岡 真広 （北海道代表になる）
※室蘭から初めての国体選手となる

昭和42年・第６代理事長 岡原 正司氏（室清水丘高教諭）

昭和43年・第20回北海道道民体育大会バドミントン競技開催
男２部複 小向利威、蓬田勝男
・第21回北海道選手権大会 SV 男単優勝 小向利威
※高校の活動が停滞

昭和44年・第18回全道社会人選手権大会
SV 男複優勝 小向利威、平沢 寛

昭和45年・第７代理事長 小向利威氏（むろせき）
・第19回全道社会人選手権大会
男２部複 小向利威、寺尾征祐

昭和46年・第２回全道高校新人研修会開催 室大谷高体育館
180名参加 ※高校活動の普及のため開催
・第24回北海道選手権大会
SV 男複優勝 小向利威、森田 彪
・11月 室蘭市体育館落成
※室蘭市民待望の体育館

昭和47年・第24回北海道道民体育大会開催 室蘭市体育館
※室蘭市体育館を中心に婦人スポーツサークルや少年バドミントン教室が開催

昭和48年・第25回全道高校選手権大会開催
会場 室蘭市体育館、室大谷高(当番校)、室東中

昭和49年・第21回北海道地区大学体育大会開催
バドミントン種目 新日鉄体育館
・室蘭商業高校にバドミントン部創立
・第26回全道高校選手権大会
男子複３位 高崎健一、伊藤敬三

昭和50年・第27回全道高校選手権大会 女子単３位 川畑房子

昭和51年・第28回全道高校選手権大会
女子団体 ３位 室蘭商業高
女 子 単 ３位 世良浩子（室商業）
・第31回国民体育大会北海道予選会開催

昭和52年・第30回北海道選手権大会 V 男単優勝 小向利威
V 男複優勝 小向利威、岡 明弘

昭和53年・第31回北海道選手権大会
V 男複優勝 小向利威、岡 明弘

昭和53年・第30回全道高校選手権大会 男子単２位 青木伸樹

昭和54年・第31回全道高校選手権大会 男子単２位 青木伸樹

昭和54年・第32回北海道選手権大会開催 室蘭市体育館
昭和55年・審判資格取得講習会 110人 室蘭市体育館
・第18回全道中学校大会開催 登別市体育館
・９月 第44回はまなす国体バドミントン競技
開催地に登別市内定
昭和56年・第24回全日本社会人選手権大会開催
会場 登別市体育館、登別南高、
幌別小各体育館
標語［未来に伸ばそうスポーツの輪と健康の和］
昭和57年・第11回全道家庭婦人大会開催
参加者 500人 室蘭市体育館
・審判講習会開催（受講者 110人 登別市体育館）
昭和59年・第40回国体北海道予選会開催 室蘭市体育館
・第22回全道中学校大会
女子団体優勝 室蘭東明中学校
昭和60年・第15回全国中学校大会開催
会場 登別市総合体育館 日本工学院専門学校
期日 ８月22～24日 当番校 登別緑陽中学校
昭和61年・第24回全道中学校大会
女子複優勝 清野悦子、沢田昌子（室本室蘭中）

……

昭和62年以降の主な活動状況

昭和62年８月全国中学校バドミントン大会が終わり、昭和62年は、いよいよ全国高校総体、全日本社会人選手権大会を国体のリハーサルと位置づけ、そして、はまなす国体を迎える佳境の年でありました。その時２月、室蘭地区協会長（太田照国）不在となり、昭和63年夏には登別市長が辞任され激動の幕間となった。不況でもありました。

……

昭和62年・第26回全日本教職員選手権大会
Ｓ男複優勝 小向利威、岡 明弘
※室蘭地区で初の全国制覇
・第39回全道高校選手権大会
女子団体優勝 登別南高
女子単優勝 三上直子（登別南）
・第38回全国高校選手権大会開催 参加選手1300人
期日 ８月１日㈯～６日㈭ 役員 250人
会場 日本工学院 登別市体育館 他３会場
・太田照国会長退任 会長代行 佐藤紀彦氏
昭和63年・第25回全道中学校大会
女子複優勝 武田明美、川畑麻美（室本室蘭中）
・第27回全日本教職員大会 Ｓ男単３位 小向利威
・第31回全日本社会人選手権大会開催
期日 ９月１日㈭～４日㈰
会場 登別市体育館、他４会場
・11月 はまなす国体の開催地変更が討議された
平成元年・第４代会長 佐藤紀彦氏 就任
・第44回はまなす国体 登別市開催
期日 ９月18日㈪～21日㈭ 参加選手 860人
会場 日本工学院体育館、登別市体育館
北海道成績 少年男子優勝 天皇杯２位
平成元年・第26回全道中学校大会
男子単優勝 西田 渉（室東明）
平成２年・第５代会長 細田 勲氏 就任
平成３年・第23回全道高校選抜大会開催 室蘭市体育館
・第６代会長 平沢康太郎氏 就任（細田会長転勤）
平成４年・第11回全道中学生新人大会開催 室蘭市体育館
・第21回全道家庭婦人大会
３部優勝 室蘭ウイング
平成５年・第46回北海道選手権大会開催 室蘭市体育館
50男単優勝 小向利威
・第37回全道社会人選手権大会
40男単優勝 田畑義彦
２部混複優勝 田畑義彦、国島奈美枝
・第45回全道高校選手権大会
女子単優勝 舟口庸子（室蘭栄）
平成６年・第23回全日本ジュニア道予選会開催
室蘭市体育館
女子複優勝
吉田美紀、大川美幸（聖ベネディクト）
・第47回北海道選手権大会
50混複優勝 谷頭恵美子、（山田健治）
・第38回全道社会人選手権大会
30女単優勝 杉山房子
平成７年・第39回全道社会人選手権大会
40男単優勝 田畑義彦、２部男単優勝 河岸 巽
・第48回北海道選手権大会 40男単優勝 田畑義彦、
50女複優勝 谷頭恵美子、大場昌子
50男複優勝 田畑義彦、菊地 忠
・第13回全日本家庭婦人北海道予選会
クラブ対抗優勝 室蘭ウイング
・第24回全道家庭婦人大会 ３部優勝 室蘭スマイル
・第47回全道高校選手権大会開催
当番校 登別南高
会場 登別市体育館、登別南高体育館
平成８年・第15回全道小学生大会
男子複優勝 田仁貴也、碓井太基(壮瞥少年団)
女子複優勝 阿野加代子、後藤佳代(壮瞥少年団)
平成９年・第20回全道クラブ対抗大会
年代別優勝 室蘭市バドミントン協会
・第47回全道実業団選手権大会
３部女子優勝 バウハウス
・10月 第７代会長 小向利威氏 就任（理事長兼務）
平成10年・１月 第30回全道高校選抜大会開催 室蘭市体育館
（参加選手 400人、役員 200人）

［室蘭地区バドミントン協会］

◆登録人口総数 1,292人

一般、婦人	215人
高校生	398人
中学生	529人
小学生	150人

◆大会参加料

一般	1,000円
高校生	800円
中学生	500円
小学生	500円

平成９年度室蘭地区バドミントン協会役員

役　職	氏　名
会　長	小向利威
副会長	森　清光
〃	北川正人
〃	山田章平
顧　問	細田　勲
〃	佐藤紀彦
監　査	半澤邦利
〃	佐藤三正
理事長	小向利威
副理事長	金丸善一
〃	佐々木昭宏
競技委員長	小場範夫
審判長	田島　昇
普及委員長	森沢邦昭
選手強化委員長	小向利威
会計部長	桜井健一
事務局	金子富枝
理　事	加地宏子
〃	藤木勝宏
〃	遠藤秀男
〃	椎名保彦
〃	大山直人
〃	梅沢　均
〃	伊達雄二
〃	南部　務
〃	山平博美
〃	金子達也
〃	扇　靖宏
〃	谷頭恵美子
〃	田畑義彦
〃	杉山房子
〃	末松礼三
〃	大川則宏
〃	村井純一
〃	永井八重子
〃	宮沢　豊

学校名	氏　名
高校の部理事（顧問）	
ベネディクト	近藤美穂
室蘭大谷	佐々木昭宏
室蘭工業	長田英敏
室蘭栄	桜井健一
室蘭清水ケ丘	工藤　等
室蘭商業	古市俊章
室蘭東	五十嵐　等
登別大谷	長沢真也
登別	工藤正行
登別南	森沢邦昭
伊達	村田弘志
伊達緑ケ丘	小林昭宏
虻田	河田憲二
豊浦	千歳利生
中学の部理事（顧問）	
向陽中	川津昭典
港北中	秦　将人
鶴ケ崎中	安藤るか
東明中	矢吹真信
東中	南部　務
北辰中	関谷郁夫
蘭東中	葛巻正枝
室蘭聾学校	小宅早苗
西陵中	小場範夫
登別中	笠松清美
幌別中	道林真一
緑陽中	手塚　敏
札内中	田中研吾
達南中	斎藤　弘
光陵中	高島康範
虻田中	脇　和子
壮瞥中	常盤欣也
大岸中	阿部由理子
大滝中	丸山賢司



道協会 半世紀の輝かしい足跡を讃えて

苫小牧地区バドミントン協会
会長　橋　　浪蔵

北海道バドミントン協会が、多くの実績と輝かしい歴史の積み重ねのうちに、創立半世紀を迎えられたことは誠に喜ばしい限りであり、輝かしい足跡を讃えお祝い申し上げます。

創立以来この半世紀の間、よりよい道協会の組織・運営等のために精進・努力を重ねて来られた先達のご苦労・功績に心より敬意と感謝の念を捧げるところであります。

さて、昨年苫小牧地区バドミントン協会は、昭和31年地区協会創立40年を迎えました。この節目を記念して来賓に苫小牧市長、北海道バドミントン協会、室蘭地区協会、夕張地区協会の会長・役員臨席のもと100名余にも及ぶ関係者のご参加を得て盛会裡に地区協会創立40年記念祝賀会を終えたところであります。

現在の登録団体を見ますと、一般32団体、高等学校21団体と地区協会の所帯も創草期に比して隔世の感があります。登録している一般の団体は結成時期や規模に差こそあれ、同好の者たちが集まり市総合体育館・学校・企業の体育館等で定期的にバドミントンを楽しみながら、相互に交流を深めその輪を拡大しレベルの向上に励んでおります。また、苫小牧地区家庭婦人バドミントン連盟も組織され、各単位学校のＰ・Ｔ・Ａサークルをも含めて活動を重ねております。さらに、小学生・中学生も組織だった指導の体制により底辺の拡大と競技力の向上が図られてきております。

燦然と輝く北海道バドミントン協会半世紀の大きな節目を迎えた今日、分厚い歴史のページの中から将来展望に立ち問題点や課題を整理し、それらのハードルをクリヤーするために協議を重ねよりよい北海道バドミントン協会のあり方を模索し、再構築していただきたいと存じます。

今後、北海道バドミントン協会が、地区協会の強力なバック・アップにより他のスポーツ団体から羨望されるような基盤を確立し、益々の発展・充実されることを衷心より祈念を申し上げる次第であります。

苫小牧地区バドミントン協会の沿革

昭和29年（1948）
- 4月　苫小牧市バドミントン協会として創立
  初代会長　佐藤 憲士 氏（前苫小牧工業高等学校長）
- 7月　第1回苫小牧選手権大会開催（東中学校）

昭和31年（1956）
- 9月　苫小牧地区バドミントン協会発足（苫小牧圏と日高支庁を含めて苫小牧地区として、役員、規約、登録制度など整備充実）
- 10月　第1回三地区対抗（苫小牧市、室蘭市、夕張市）大会開催
- 10月　第1回苫小牧地区新人戦大会開催

昭和35年（1960）
- 5月　第1回苫小牧地区団体戦大会開催
- 6月　第12回全道高等学校バドミントン選手権大会主管

昭和38年（1963）
- 10月　第1回市長杯大会開催

昭和39年（1964）
- 6月　第16回全道高等学校バドミントン選手権大会主管
- 9月　第1回学年別大会開催

昭和40年（1965）
- 5月　第1回道民大会予選会兼社会人大会開催
- 9月　第1回民報杯並びに中学生大会開催
- 10月　協会創立10周年記念大会、記念祝賀会挙行
- 12月　市民バドミントン教室開催

昭和41年（1966）
- 5月　第16回全道実業団兼社会人大会主管

昭和42年（1967）
- 5月　第1回強化合宿実施（道日大）

昭和43年（1968）
- 8月　第21回全道選手権兼国体道予選大会主管

昭和46年（1971）
- 8月　第13回全道市役所バドミントン大会主管

昭和48年（1973）
- 4月　小島一平（ヨネックス）バドミントン教室開催
- 6月　堺・今井（カワサキ）バドミントン教室開催

昭和49年（1974）
- 9月　相沢・竹中（ヨネックス）バドミントン教室開催
- 11月　第3回全道高校新人戦、第5回全道教職員選手権大会主管

昭和50年（1975）
- 7月　第6回全道中学生大会主管

昭和51年（1976）
- 2月　西ドイツ選手を囲んで、相沢マチ子バドミントン教室開催
- 5月　カワサキラケットバドミントン教室開催
- 5月　競技人口　一　般　61名　　ママさん　100名
  高校生　202名　　中 学 生　100名
- 7月　全道高専バドミントン大会主管
- 10月　第1回会長杯争奪ママさん大会主管
- 11月　協会創立20周年

昭和52年（1977）
- 6月　第1回シニア・ママさん（会長杯）大会開催
- 11月　第22回三地区対抗バドミントン大会主管

昭和53年（1978）
- 7月　第7回全道ママさんバドミントン大会主管

昭和55年（1980）
- 8月　第35回国民体育大会バドミントン競技北海道予選会主管
- 9月　第25回三地区対抗バドミントン大会主管

昭和57年（1982）
- 1月　第34回北海道バドミントン選手権大会主管
- 7月　第1回参与・顧問を囲む会開催

昭和58年（1983）
- 4月　地区協会旅費規定制度
- 9月　第28回三地区対抗バドミントン大会主管

昭和59年（1984）
- 7月　第1回町協会・登録代表者会議
- 7月　第1回おおとりスポーツ杯バドミントン大会開催
- 8月　第15回北海道中学校バドミントン大会主管
- 8月　第16回道民スポーツ胆振夏季バドミントン大会主管
- 8月　第1回苫小牧地区年代別バドミントン大会開催
- 10月　三級公認審判員認定講習会開催
- 11月　第1回苫小牧地区小学生バドミントン大会開催
- 12月　二、三級公認審判員認定講習会開催

昭和60年（1985）
- 1月　第1回札鉄バドミントン講習会開催
- 1月　苫小牧地区家庭婦人バドミントン連盟発足
- 2月　第1回苫小牧地区シングルスNo.1大会開催
- 4月　苫小牧地区バドミントン協会委員会規定集制定
- 6月　第37回北海道高等学校バドミントン選手権大会主管
- 8月　第9回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会主管

昭和61年（1986）
- 1月　ＮＴＴ北海道バドミントン講習会開催
- 4月　第2回札鉄バドミントン講習会開催
- 10月　協会30周年 記念事業；親子ダブルス大会、レセプション、記念誌発行、指導者講習会、全大会のカップ更新
- 11月　第31回三地区対抗バドミントン大会主管

昭和62年（1987）
- 1月　第5回北海道中学生新人研修会主管
- 8月　第26回全日本教職員選手権大会主管

昭和63年（1988）
- 7月　第7回日韓競技大会主管
- 9月　全日本社会人選手権大会（登別市）に審判団派遣

平成元年（1989）
- 7月　第18回北海道家庭婦人大会主管
- 9月　はまなす国体（登別市）に審判団派遣他支援

平成2年（1990）
- 10月　第21回北海道教職員選手権大会主管
- 11月　笠原一男参与（北海道協会理事長）ご逝去

平成３年（1991）
　５月　第44回北海道選手権大会主管
平成４年（1992）
　11月　第14回日本リーグ（様似大会）主管
平成５年（1993）
　１月　第26回高校選抜南北海道予選大会主管
　４月　米坂誠二指導副委員長ご逝去
　７月　佐藤玄一顧問ご逝去
平成６年（1994）
　１月　第13回北海道中学生新人研修大会主管
　７月　夏の小学生大会をサンプラザ杯小学生大会とする。苫小牧選手権大会（一般）と苫小牧総合体育館にて同時開催
　８月　五十嵐功副会長ご逝去
　９月　会長杯シニアママさん大会の参加者減少対策として、年代別大会に統合し、会長杯として実施開始
　12月　米坂家より寄贈金を基金として冬の小学生大会を米坂杯として開催（但し第２回大会とする）

平成７年（1995）
　４月　苫小牧地区協会シンボルマーク一新
　５月　第48回北海道選手権大会主管
　10月　第40回記念三地区対抗バドミントン大会主管（大会 高専体育館、祝賀会 成志会館）
平成８年（1996）
　８月　第15回北海道小学生大会兼研修会主管
　11月　創立40周年 記念祝賀会（成志会館）
平成９年（1997）
　３月　協会登録代表者・顧問会議開催
　４月　協会規約の改定（組織の改編）
　６月　平成９、10年度役員決定
　７月　第28回北海道中学校大会主管
　７月　第29回道民スポーツ胆振夏季大会開催
　８月　第25回北海道家庭婦人大会主管
　８月　公認審判員資格取得検定会開催

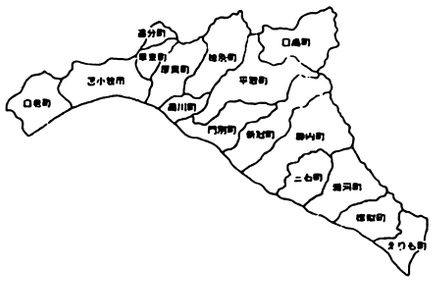
歴代会長（1967～1996）

佐藤憲士	S29. 4. 1～S31. 3.31
小野　貢	S31. 4. 1～S33. 3.31
村松勝造	S33. 4. 1～S34. 3.31
白岩　敬	S34. 4. 1～S39. 3.31
松本利一	S39. 4. 1～S41. 3.31
橋　浪蔵	S41. 4. 1～現　在

歴代理事長（1967～1997）

三上　豊	S31. 4. 1～S33. 3.31
畑中　満	S33. 4. 1～S35. 3.31
三上　豊	S35. 4. 1～S37. 3.31
畑中　満	S37. 4. 1～S39. 3.31
三上　豊	S39. 4. 1～S41. 3.31
十川千春	S41. 4. 1～S49. 3.31
五十嵐　勝	S49. 4. 1～S54. 3.31
五十嵐　功	S54. 4. 1～S58. 3.31
四宮知之	S58. 4. 1～H 5. 3.31
秋永栄二	H 5. 4. 1～H 9. 5.31
大澤慶幸	H 9. 6. 1～現　在

シンボルマークの説明



苫小牧地区バドミントン協会区域は、１市15町の地域から構成されています。

苫小牧市、白老町、追分町、早来町、厚真町、鵡川町、穂別町、日高町、平取町、門別町、新冠町、静内町、三石町、浦河町、様似町、えりも町

TBA
TOMAKOMAI AREA BADMINTON ASSOCIATION

苫小牧地区をデザイン

全体として若年層にも受け入れやすい様配慮。シャトルの軌跡は、胆振東部～日高全域（西の白老町から東のえりも町まで）を表し、苫小牧地区を図案化。

理　　事

（1988～1997）

			S63 1988	H1 1989	H2 1990	H3 1991	H4 1992	H5 1993	H6 1994	H7 1995	H8 1996	H9 1997
理事長			四宮　知之	四宮　知之	四宮　知之	四宮　知之	四宮　知之	秋永　栄二	秋永　栄二	秋永　栄二	秋永　栄二	大澤　慶幸
副理事長			十川　千春	十川　千春	十川　千春	十川　千春	十川　千春	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之
			柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏
												上野　政支
理事	総務	正	大沢　慶幸	大沢　慶幸	大澤　慶幸	大沢　慶幸	大沢　慶幸	大沢　慶幸	大沢　慶幸	大沢　慶幸	大沢　慶幸	池田　孝義
		副	蜂谷　晃	蜂谷　晃	蜂谷　晃	蜂谷　晃	蜂谷　晃	佐藤　和久	佐藤　和久	蜂谷　晃	蜂谷　晃	尾野　教仁
		副	末松　仁	末松　仁	末松　仁	末松　仁	末松　仁	青沢　敏克	青沢　敏克	佐藤　紳	佐藤　紳	
	財務	正	田中　洋	上野　政支	上野　政支	上野　政支	上野　政支	田中　洋	田中　洋	中村　俊樹	中村　俊樹	中村　俊樹
		副	永木　芳一	田中　洋	田中　洋	田中　洋	田中　洋	上野　政支	上野　政支	上野　政支	上野　政支	田中　洋
		副	青山　晴美	永木　芳一	永木　芳一	青山　晴美	青山　晴美	中村　俊樹	中村　俊樹	田中　洋	田中　洋	青山　晴美
		副		青山　晴美	青山　晴美		中村　俊樹	青山　晴美	青山　晴美	青山　晴美	青山　晴美	
	競技	正	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之	納　博之	沢井　泰宏	沢井　泰宏	池田　孝義
		副	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	沢井　泰宏	田辺　祐二	田辺　祐二	北上　剛
		副	木村　裕	木村　裕	小沢　重人	小沢　重人	小沢　重人	田辺　祐二	田辺　祐二	成田　洋一	成田　洋一	田辺　祐二
		副	加藤　悟	小沢　重人		田辺　祐二	田辺　祐二	宮野　慎哉	宮野　慎哉	藤本三津子	佐々木洋一	成田　洋一
		副										橋本　宗人
		副										佐々木洋一
	審判	正	金沢　則雄	田中　光彦		本田　秀信	本田　秀信	本田　秀信	本田　秀信	小蔵　力	小蔵　力	小蔵　力
		副	高橋　昌俊	小蔵　力	小蔵　力	小蔵　力	小蔵　力	小蔵　力	小蔵　力	本田　秀信	本田　秀信	本田　秀信
		副				林　保彦	林　保彦	林　保彦	林　保彦	池田　孝義	池田　孝義	
	記録	正	橋本　宗人	橋本　宗人	橋本　宗人	須藤恵利子	須藤恵利子	須藤恵利子	須藤恵利子	橋本　宗人	橋本　宗人	
		副	須藤恵利子	須藤恵利子	須藤恵利子	渡部　恵二	渡部　恵二	渡部　恵二	渡部　恵二	須藤恵利子	須藤恵利子	
		副				米沢　順	米沢　順			尾野　教仁	尾野　教仁	
	指導	正	安部　初雄	安部　初雄	荒川　歩	荒川　歩	荒川　歩	中山　孝	中山　孝	中山　孝	中山　孝	荒川　歩
		副	原野　豊	大月　猛	大月　猛	米坂　誠二	米坂　誠二	荒川　歩	荒川　歩	荒川　歩	荒川　歩	小林　範康
		副		米坂　誠二		高橋　真治	高橋　真治	高橋　真治	高橋　真治	小林　範康	小林　範康	
		副							佐々木　悟			
	家・婦	正	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子
		副	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子
	実業団	正	十川　千春	十川　千春	十川　千春	十川　千春	十川　千春					
		副	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充					
	児童	正	大月　猛	大月　猛	米坂　誠二	米坂　誠二	米坂　誠二		佐々木　悟			
		副	加藤　悟						加茂　賢二			
		副	川内　良子									
監査			田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔	田中　稔
			山本　興人	穂積　邦彦	穂積　邦彦		斉藤　良憲	斉藤　良憲	斉藤　良憲	斉藤　良憲	斉藤　良憲	斉藤　良憲
								柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充	柳谷　充

お祝いの言葉



小樽バドミントン協会
会長　金栄善彦

北海道バドミントン協会の創立50周年を、心からお祝い申し上げます。

戦後の混乱期の中、協会を創立されて以来、今日まで幾多の困難や試練を克服し、バドミントンを道民各層に幅広く普及させ、愛好者を増やされた道協会の役員の方々、並びに各地区協会会員の皆様方に敬意を表します。

一口に50年といっても、当然ながら、一朝一夕に発展してきた訳ではなく、この間先人の意志を受け継ぎながら、各人各自の並々ならぬ努力があったものとご推察致します。

バドミントンの発展を振り返りますと、ちょうど日本の戦後の復興と重なる面があるのではないでしょうか。

終戦後の物のない時代に、シャトルなどを補修しながら使用し、地区にあっては、大会開催に際して当日にチョークでコートのラインを引き試合をしたこと等もお聞きしております。

昭和40年代に入りますと日本のメーカーの技術が向上しスチールラケットが普及し始めプレーの質も変わり国際的に活躍する選手が出始めました。

昭和50年代には、経済が復興し可処分所得も増え、団塊の世代が社会人となり、家庭婦人等のサークル活動が活発化し、地域の競技人口が大幅に増加したのではないでしょうか。また、経費の面で見ますとビニールシャトルの開発により、より中学生の部活も広がったのではないでしょうか。

その後、各地において学校教育の分野としてだけでなく、一般の人に対しても、学校や地域の施設が開放され、バドミントンが身近なスポーツと成り、さらに小学生にも普及し幅広い裾野を持つスポーツとして認識されるようになったのではないでしょうか。

改めて、これまで協会の発展に寄与いただきました関係各位に敬意を表します。

この様に発展してきたバドミントン協会ですが、今後は子供の数も減少し、更には他の団体との競合もあり会員数の減少が危惧されます。

これからも、道協会と地区協会とが協力し競技力の向上、底辺の拡大・普及に尽力することが必要ではないでしょうか。

当協会としても、地区の大会や練習会、講習会等を通してバドミントンの普及を図り、地域に根ざした運営を進める考えでおります。

今後とも、わが協会に対してもこれまで同様のご指導をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、この記念すべき50周年を契機として、更なる道協会の発展と、会員皆様のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

小樽バドミントン協会のあゆみ

昭和23年度（1948）
・当時倶知安町在住の 故 田中荘三郎（元北海道協会副会長）が終戦後インドネシア抑留中に修得したバドミントンを非常な熱意で指導普及に尽した。
昭和24年度（1949）
・小樽バドミントン協会を創立　会長 浜村由太郎 就任
昭和25年度（1950）
・倶知安バドミントン協会を創立（30年 後志協会に改称）
会長 田中荘三郎、理事長 堂前憲悦 就任
昭和26年度（1951）
・第3回道高校選手権大会（団体）を倶知安町で開催
男子3位 小樽緑陵（現 樽商）、小樽千秋（現 樽工）
女子3位 倶知安 札幌での全国高校大会に出場
昭和27年度（1952）
・道高校選手権大会 男子団体2位 小樽緑陵 全国出場
・国体道予選　高男単2位 新田（潮陵） 道国体代表に
・倶知安の堂前憲悦 全日本選手権大会（奈良）に出場
昭和28年度（1953）
・道高校選手権大会 男子団体2位 小樽潮陵 全国出場
女子団体3位 小樽千秋
昭和29年度（1954）
・蒔田 勇氏の発案で活動がなかった小樽協会を再興した
会長 東 策、副会長 一柳真雄、理事長 鈴木 茂 就任
昭和30年度（1955）
・小樽協会 理事長 古谷 勤 就任（鈴木 茂と隔年で就任）
昭和31年度（1956）
・道高校選手権大会　男複3位 宮尾・寺中（緑陵）
女単2位 細谷（緑陵）、女複2位 細谷・堤（緑陵）
・全道実業団大会を桜陽高体育館で開催
昭和32年度（1957）
・第11回北海道選手権大会を倶知安町体育館で開催
・ニセコ（狩太）町体協にバドミントン部が発足
昭和33年度（1958）
・小樽協会副会長に牧野包敏 就任
昭和34年度（1959）
・第11回全道高校選手権大会を潮陵高体育館で開催
昭和35年度（1960）
・後志協会 会長 堂前憲悦、理事長 石井辰雄 就任
昭和37年度（1962）
・小樽協会 副会長 鈴木 茂、理事長 木村清淳 新任
・道選手権兼国体道予選 国体北海道代表に
成年複1位 大石興徳（札鉄 千秋高卒）・渋井
教員複1位 北　豊吉（住吉中教）・西村
昭和39年度（1964）
・後志協会を倶知安協会と余市協会に分割する
・余市協会 会長 伊藤正吉、理事長 西澤良夫 就任
昭和40年度（1965）
・第17回全道高校選手権大会を潮陵高体育館で開催
昭和41年度（1966）
・第1回小樽地区クラブ対抗選手権大会を開催
昭和43年度（1968）
・道高校新人大会 男単ベスト8（打切り）若菜弘志（桜陽）
昭和45年度（1970）
・第1回全道中学生大会に菁園男子 住吉男子 参加
昭和46年度（1971）
・副会長に荒島 敏幸（道新余市支局長）新任
・道高校選手権
道南女複2位 桜井・深沢（樽商） 全国大会へ
・赤井川協会設立 会長 庄司哲二、事務局 阿部清英
昭和47年度（1972）
・第1回小樽中学生大会を開催(住吉 菁園 忍路 都の4校)
昭和48年度（1973）
・第4回北海道中学生大会を潮陵高体育館で開催
・小樽ミセスクラブ結成　初の小樽家庭婦人チーム
・全道高校新人大会 男子単3位　米田（潮陵）
・道民（一般）大会 40才男単1位 神山周二（桜陽教）
・道教職員選手権大会
70才複1位
神山周二（桜陽）・須貝元昭（高鍔）以後7連覇
昭和49年度（1974）
・後志バドミントン連絡協議会発足
（管内の町村協会の連絡機関、小樽協会との連携）
顧問 堂前憲悦、会長 坂本典一
副会長 内海 薫、荒島敏幸　事務局長 庄司哲二
・道中学生大会
男子複3位 近藤興治・野田武志（赤井川都）
・小樽バドミントン少年団結成　指導 木村清淳
・道民大会 高男単3位　北村（倶知安）
・特別技術講習会（講師 湯木博恵 池田美加 今井茂満）
昭和50年度（1975）
・役員改選 名誉会長 東 策、会長 杉江雄太郎
副会長 鈴木 茂 金栄善彦 坂本典一　理事長 木村清淳
・バドミントン競技が中体連正式種目になる
・第28回北海道選手権大会を小樽市総合体育館(12面)で開催
昭和51年度（1976）
・道選手権大会　高男単1位 清水亮全（潮陵）
・第1回小樽地区冬季大会（中・高・一般の複）開催
・仁木協会設立　会長 佐坂秀樹、理事長 三上喜久
昭和52年度（1977）
・副会長 鈴木茂 勇退（名誉顧問）
・第8回北海道教職員大会を開催
2部女単1位 本間康子
・岩内協会設立 会長 吉田静雄、理事長 藤巻 哲
昭和53年度（1978）
・第30回北海道高校選手権大会を開催
・道選手権大会 30才男複1位 高野・藤田（市役所・国鉄）
・道クラブ対抗大会団体1位 小樽協会
・島牧協会設立 会長 中田仁史、副会長 橋本祥平
昭和54年度（1979）
・第4回北海道クラブ対抗大会を開催 団体1位 小樽協会
・道実業団選手権　2部男子団体1位 小樽市役所
昭和55年度（1980）
・役員改選 副会長 木村清淳、理事長 北 豊吉 以上新任
・小樽バドミントン協会30周年記念式典を行う
・道クラブ対抗大会団体1位 小樽協会（3連勝）
・道高校選手権大会 男子団体道南2位 桜陽
男子複3位 藤川・北川（桜陽）全国大会へ
・北海道中学校大会 男子団体3位 忍路
昭和55年度（1980）
・第24回北海道社会人選手権大会を開催
昭和56年度（1981）
・後志連協 会長 坂本典一 勇退　新会長 脇山 忠

・北海道教職員選手権大会を開催　2部男単1位 近藤興治
　2部男複1位 近藤・石塚　1部女複1位 奥山・八森
・寿都協会設立 会長 粟田定夫、事務局長 折野義秋

昭和57年度（1982）
・道教職員選手権大会　1部女複1位 奥山淳子・八森陽子
・道社会人選手権大会
　混合複1位 東田(市役所)・山口　2部女単1位 奥山
・第1回北海道ジュニアキャンプ（中学）をニセコで開催
・全道中学新人オープン大会 男単2位 江原（銭函）

昭和58年度（1983）
・第36回北海道選手権大会を開催
・北海道・ソ連極東地区親善スポーツ(バドミントン)大会を小樽と札幌で開催、（選手 奥山・東田、名和・石川、他）
・全道中学新人オープン大会　男単3位 細川（銭函）
・道高校選手権大会 男子複3位 尾崎・北村（桜陽）
・第1回小樽家庭婦人大会開催
・神恵内協会設立 会長 岩沢克明、事務局長 吉田伸弘

昭和59年度（1984）
・後志バドミントン連絡協議会10周年記念式典
・道教職員選手権大会 40才男複1位 須貝（高鍔）・上山
・小樽家庭婦人バドミントン連絡協議会発足
・古平協会設立 会長 大塚 洋、事務局長 山本耕弘

昭和60年度（1985）
・第16回北海道中学校大会を開催 男子団体3位 忍路中
・第40回国体北海道予選会を開催
・道高校新人大会 男子団体2位 桜陽
・道中学新人研修会 男複3位 富樫・米田（銭函）
・道教職員選手権大会 40才男複1位 須貝・上山（連覇）

昭和61年度（1986）
・杉江雄太郎会長勇退(名誉会長)　会長 金栄 善彦　新任副会長 三山 雄弘、木村清淳、脇山 忠、近藤敏代
・道高校選手権大会
　男子複1位 木村清仁・小黒雅文（桜陽）全国大会へ
・第15回北海道家庭婦人大会を開催(70チーム参加)
・道教職員選手権　1部男単1位 奥山和也（潮見台中）
　2部男複1位 田中・竹内（商大）

昭和62年度（1987）
・第40回北海道選手権大会を開催
　30才男複1位 藤田富雄（ＪＲ）・奥山和也
・道社会人選手権　1部男単1位 奥山和也
　2部男複1位 藤田富雄・奥山和也
・道教職員選手権　1部男単1位 奥山和也

昭和63年度（1988）
・第19回北海道中学校大会を開催
・道選手権大会 30才男単1位　東田朋巳（市役所）
　40才男単1位 高野幹男（市役所）
　30才男複1位 藤田・奥山　40才男複1位 高野・中山
・道教職員選手権　1部男単1位 奥山和也
　70才男複1位 田中勝彦・竹内国雄（商大）

平成元年度（1989）
・道実業団選手権　2部男子団体1位 小樽市役所
・道中学校大会 女子団体3位 黒松内中の川

平成元年度（1989）
・第20回道教職員選手権大会をニセコ体育館で開催
　1部男単 奥山和也　2部男複 豊田保之・柴谷弘行
・道社会人選手権 30才男複1位 藤田富雄・奥山和也

平成2年度（1990）
・指導者・技術講習会（講師 飯野佳孝・辜 家明・木村敏男 他）
・第12回日本リーグ小樽大会を開催　観客2,500名
　［男子］ＮＴＴ北海道（2位）2−1 北国銀行
　［女子］三洋電機　（1位）2−1 ヤ マ ハ
・道教職員大会　1部男単 奥山　2部男複 原 拓也・木村俊夫
・第9回北海道中学新人大会を開催

平成3年度（1991）
・小樽バドミントン協会創立40周年記念式典
・道中学校大会 女単3位 中田順子（銭函）
・小樽市役所チーム、全国実業団大会で4回戦進出
・道教職員選手権大会　1部男単 奥山和也
・第24回高校新人選抜予選を開催

平成4年度（1992）
・道社会人選手権 30才男複1位 東田・徳満康浩（市役所）
　40才男単1位 藤田富雄
・特別技術講習会（講師 森 久子）
・泊村協会設立 会長 草薙 博昭、事務局長 近藤貞夫
・蘭越協会設立 会長 今村 繁蔵、事務局長 中村伸宏

平成5年度（1993）
・役員改選 副会長 北 豊吉、理事長 高野幹男 以上新任
・第45回北海道高校選手権大会を開催。
　男子団体道南3位 桜陽　女子団体道南3位 岩内
・道選手権大会 45才男単1位 藤田富雄
・高校新人選抜予選 男子団体道南3位 桜陽
・道中学新人 男単3位 高野純平（銭函）
・道教職員選手権　2部女単1位 蔵谷千晶
・第1回小樽地区小学生大会を開催

平成6年度（1994）
・第23回北海道家庭婦人大会を開催（129チーム 最多参加）
・道社会人選手権 30男単1位 奥山和也 45男単1位 藤田富雄
・道教職員選手権 30才女複1位 蔵谷・（伊東）
・近藤興治 アジア大会（広島）審判員で参加（道協派遣）

平成7年度（1995）
・第26回北海道中学校大会を開催 男子団体3位 神恵内
・道小学生大会 女単3位 中田直美（島牧）
・道教職員選手権 30才女複1位 蔵谷・伊東
・ジュニア道予選大会を落成した倶知安体育館で開催
・道中学新人大会 女単3位 高野めぐみ（銭函）
・高校新人選抜予選大会 道南男子団体3位 桜陽

平成8年度（1996）
・道中学校大会 女単3位 高野めぐみ（銭函）全国大会へ
　男子団体3位 神恵内（2年連続）
・全日本シニア 45才男複1位 藤田富雄・東（ＪＲ道）
・全日本教職員 30才複2位 蔵谷千晶・伊東
・第29回高校新人選抜道南予選大会を開催

平成9年度（1997）
・後志連協現役員 顧問 庄司哲二、会長 脇山 忠
　副会長 佐藤征子、小林久雄、佐藤実
　理事長 千坂昭一
・第52回国体北海道予選大会を開催
・道小学生大会 男複3位 阿部・松田（ニセコ）
・高校新人選抜予選大会 女子団体道南3位 潮 陵

小樽バドミントン協会役員

役　職	61～63年度	元～2年度	3～4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
名誉会長	杉江雄太郎	杉江雄太郎						
名誉顧問	鈴木　茂	鈴木　茂	鈴木　茂	坂本　典一	坂本　典一	坂本　典一	坂本　典一	坂本　典一
〃	坂本　典一	坂本　典一	坂本　典一					
会長	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦	金栄　善彦
副会長	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘	三山　雄弘
〃	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳	木村　清淳
〃	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠	脇山　忠
〃	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代
〃				北　豊吉	北　豊吉	北　豊吉	北　豊吉	北　豊吉
〃						三浦　伸	三浦　伸	三浦　伸
〃						須貝　元昭		
理事長	北　豊吉	北　豊吉	北　豊吉	高野　幹男	高野　幹男	高野　幹男	高野　幹男	高野　幹男
副理事長	三浦　伸	三浦　伸	三浦　伸	三浦　伸	三浦　伸	藤田　富雄	藤田　富雄	藤田　富雄
〃	庄司　哲二	須貝　元昭	須貝　元昭	須貝　元昭	須貝　元昭	尾山　要	尾山　要	尾山　要
〃	須貝　元昭	高野　幹男	高野　幹男	佐藤　征子	佐藤　征子	佐藤　征子	佐藤　征子	佐藤　征子
〃	佐藤　征子	佐藤　征子	佐藤　征子	藤田　富雄	藤田　富雄	笹山　時彦	笹山　時彦	奥山　和也
〃				尾山　要	尾山　要			
総務委員長	尾山　要	尾山　要	尾山　要	奥山　和也	奥山　和也	奥山　和也	奥山　和也	徳満　康浩
〃 副委員長	福寿　一夫	福寿　一夫	福寿　一夫	福寿　一夫	福寿　一夫	阿部　幸夫	阿部　幸夫	阿部　幸夫
〃			鈴木　敏文	柴谷　弘行	柴谷　弘行	柴谷　弘行	柴谷　弘行	北川　和久
競技委員長	高野　幹男	鈴木　敏文	藤田　富雄	東田　朋巳	東田　朋巳	東田　朋巳	目黒　清則	目黒　清則
〃 副委員長	目黒　清則	目黒　清則	目黒　清則	目黒　清則	目黒　清則	目黒　清則	木村　俊夫	木村　俊夫
〃			工藤　昌子	工藤　昌子	工藤　昌子	工藤　昌子	工藤　昌子	工藤　昌子
審判委員長	鈴木　敏文	東田　朋巳	東田　朋巳	長谷川　誠	長谷川　誠	長谷川　誠	長谷川　誠	長谷川　誠
〃 副委員長	金木　博克	田中　勝彦	田中　勝彦	近藤　興治	近藤　興治	近藤　興治	近藤　興治	近藤　興治
〃				阿部　幸夫	阿部　幸夫		杉田　英男	杉田　英男
財務委員長	笹山　時彦	笹山　時彦	笹山　時彦	笹山　時彦	笹山　時彦	福寿　一夫	福寿　一夫	福寿　一夫
〃 副委員長	岩垣　庄一	岩垣　庄一	岩垣　庄一	坂本　安則	阿部　宏之	阿部　宏之	阿部　宏之	阿部　宏之
強化普及委員長	藤田　富雄	藤田　富雄	奥山　和也	清水　亮全	清水　亮全	清水　亮全	清水　亮全	清水　亮全
〃 副委員長	奥山　和也	奥山　和也	坂本　安則	徳満　康浩	徳満　康浩	徳満　康浩	徳満　康浩	木村　清仁
〃	東田　朋巳	阿部　幸夫	阿部　幸夫	北川　和久	北川　和久	北川　和久	北川　和久	平山　聡
監査委員	佐藤　彰芳	板橋　英城	板橋　英城	板橋　英城	板橋　英城	板橋　英城	板橋　英城	板橋　英城
〃	大坂　紀雄	大坂　紀雄	大坂　紀雄	大坂　紀雄	大坂　紀雄	大坂　紀雄	大坂　紀雄	笹山　時彦

50周年誌に寄せて



札幌地区バドミントン協会
会長　千葉英守

道バドミントン協会創立50周年を心からお祝い申しあげます。

寄稿依頼がよせられ、もう一度、40年誌を拝見致しております。草創期の皆様方の御苦労と情熱が、ギッシリと詰まったバドミントン史であります。あれから10年大きな節目の50周年を迎えました。この間札幌バドミントン協会会長を拝命し、微力ではありますが、多くの役員選手の皆さんにささえていただいて、その責を果たして参りました。あらためて多くの関係者の皆様に感謝と御礼を申しあげます。

札幌バドミントン協会は、諸先輩の築いてこられた土台の上で小学生から高齢者までの幅広い選手層に恵まれ、日々活動を致しております。特に小・中学生の技術力向上に、力を入れており、年々全道大会で入賞する選手が多くなってきており将来が楽しみであります。

又、札幌選手権大会でも一般の部に、中学生を参加させ、今から全国で活躍している社会人の選手と対等に競わせることは技術力向上に、大きな役割を果すものと確信しております。

ともあれ、この10年間会長として様々な試合を見て参りましたが、特に日本リーグの開催、全日本実業団・全国家庭婦人大会の後方支援、又、韓国・ロシアチームとの交流等々数えればきりがない程の思い出を持ちました。これからも、札幌バドミントン協会は道バドミントン協会の指導のもとに役員が尚一層協力して頑張って行く所存でございますので今後ともよろしくお願い申しあげます。

北海道バドミントン協会が、日本を代表する選手を育成され、各地区の恵まれた人材の中から組織を強化され、ますますのご発展とご活躍をされることをお祈り申しあげて、創立50周年のお祝いのことばと致します。

札幌地区バドミントン協会年表

昭和21年
札幌バドミントンクラブ設立
昭和22年
札幌バドミントン協会設立
初代会長 西野金助　理事長 阿部厚雄
昭和23年
第1回札幌市民バドミントン競技大会開催
昭和24年
第2回全日本バドミントン選手権大会に初出場
MD 優勝 村上三郎、石田 裕
MS 優勝 村上三郎　VMS 優勝 奈良岡健三
第1回北海道バドミントン選手権大会開催
第4回国体バドミントン予選会初開催
第4回国体バドミントン競技大会初出場
昭和25年
第1回全国高校バドミントン選手権大会
GT 優勝 札幌市立高女（現札東高）
第5回国体バドミントン競技大会
BT 優勝 北海道（石田、神山、大塚、島中）
第3回全日本選手権大会
BS 優勝 石田 裕　VMS 優勝 奈良岡健三
VMD 優勝 奈良岡健三、田中荘三郎
第1回全道実業団選手権大会 MT 優勝 北海道新聞社
昭和26年
第2回全国高校選手権大会
札幌開催（曙小、札東高、豊水小）
GT 優勝 道立札幌一高 （現札南高）
（伊藤、安藤、岡元、広居）
全国高体連専門部　副部長に森 正三 就任
第4回全日本選手権大会　BS 優勝 神山周二
昭和27年
第1回全道学生バドミントン選手権大会開催
第3回全国高校選手権大会（善通寺） 札南女子3冠
GT 優勝 札幌南（岡元、広居、白鳥、土井）
GS 優勝 岡元弘子　GD 優勝 岡元弘子、広居津奈
昭和28年
第8回国体バドミントン大会　BT 優勝 北海道
第6回全日本選手権大会 MS 優勝 佐藤 保
BS 優勝 片石兼敏　BD 優勝 片石兼敏、増田充志
第4回全国高校選手権大会
BT 優勝 北海高
（井桁、片石、矢部、長谷川、増田、伊藤）
昭和29年
第9回国体バドミントン大会 札幌（札工高）で開催
第7回全日本選手権大会 MD 優勝 片石兼敏、加藤正則
読売新聞スポーツ賞受賞　佐藤　保
昭和30年
第5回全国大学バドミントン選手権大会 札幌開催
第8回全日本選手権大会
MS 優勝 片石兼敏　MD 優勝 片石兼敏、加藤正則
昭和31年
第9回全日本選手権大会 MD 優勝 片石兼敏、（永井栄一）
MXD 優勝 小飼栄一、本庄惇子
第1回全国社会人バドミントン選手権大会 札幌開催
昭和33年
第8回全国実業団選手権大会 札幌開催
日本実業団連盟特別功労賞受賞　佐藤　保、荒島敏幸
昭和35年
日本バドミントン協会功労賞受賞
西野金助、奈良岡健三、佐藤　保、西野泉三
日本バドミントン協会技能賞受賞　片石兼敏
昭和39年
国体10年連続出場表彰　神山周二
昭和41年
第5回全日本教職員選手権大会 札幌開催
40MD 優勝 島谷 勲、高橋政一
50MD 優勝 佐藤哲郎、奈良岡健三
第16回全道実業団選手権大会　札鉄管理局が12連勝
第21回国体バドミントン大会 教員優勝 北海道（札幌）
昭和44年
日本対インドネシア国際親善競技会開催
昭和45年
第1回全道中学生バドミントン大会開催（中央中）
日本対デンマーク国際親善競技会開催
昭和47年
第1回全道家庭婦人バドミントン大会開催
国際女子バドミントン競技札幌大会
（全北海道、全日本、インドネシア、デンマーク）
昭和48年
第1回日・中バドミントン競技 札幌大会開催
（真駒内アリーナ）
昭和49年
第3回国際バドミントン札幌大会（中央体育館）
日　本 4−1 欧州選抜
国体10年連続出場表彰　杉田茂良

昭和52年
日本ナショナルチームメンバーに遠藤好男選手
第１回全道クラブ対抗バドミントン大会開催
昭和53年
日本バドミントン協会功労賞受賞　小飼栄一
昭和54年
国体10年連続出場表彰　木村敏男、高野美千代
日本実業団連盟功労賞受賞　札幌鉄道管理局
昭和55年
第２回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
第30回全日本実業団選手権大会　30MS 優勝 赤塚正三
第23回全日本社会人選手権大会
40LD 優勝 島中玲子、山口菊枝（以後 4連覇）
日バ第８代専務理事 小飼栄一 就任
昭和56年
第31回全日本実業団選手権大会
30MD 優勝 赤塚正三、木村敏男
第３回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
国体10年連続出場表彰　遠藤好男
日本実業団連盟功労賞受賞　木村敏男
昭和58年
第31回全日本実業団選手権大会 札幌開催
第１回全道ジュニアバドミントン選手権大会開催
第５回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
昭和59年
第６回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
第２回全日本家庭婦人競技会 クラブ優勝 札幌パール
第23回全日本教職員選手権大会
30LD 優勝　吉村恭子（藤島百子）
第１回北海道対ソ連極東地区親善大会 （札幌、小樽）
昭和60年
第７回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
第24回全日本教職員選手権大会　LT 優勝 北海道
第３回全日本家庭婦人競技会 クラブ優勝 札幌パール
日本実業団連盟功労賞受賞　山本晴通、山田好明
昭和61年
第８回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
第５回日・韓バドミントン競技会 札幌大会開催
日本実業団連盟功労賞受賞　ＮＴＴ北海道
昭和62年
第９回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
日本バドミントン協会功労賞受賞　藤井一孝
日本実業団連盟功労賞受賞　篠尾幸孝
昭和63年
日本実業団連盟特別功労賞受賞　宇野真平
日本実業団連盟功労賞受賞　伊勢　武
平成元年
藍綬褒賞 受賞 小飼栄一（札幌在住）
第44回国体バドミントン大会
少年男子優勝 北海道（佐藤、郷路、古川）
第11回バドミントン日本リーグ 札幌大会開催
男子　ＮＴＴ北海道 － 日 本 電 装
女子　ヤ　マ　ハ － 三協アルミ
平成２年
第７回全日本シニア選手権大会 50LD 優勝 島中玲子
北海道・アルバータ州（カナダ）国際親善交流
バドミントン競技（西区体育館）
札幌協会の事務局設置
（中島公園1－3 冬のスポーツ博物館内）
第９回日・韓バトミントン競技札幌大会 （白石区体）
平成３年
宇野真平会長勇退し、千葉英守 新会長 就任
島中貞夫副会長が札幌体育協会副会長に就任
平成４年
宇野真平前会長 ご逝去
第10回全日本家庭婦人競技大会 開催（真駒内ア、他）
第14回日本リーグ女子２部入替戦
チザキ － ＮＴＴ北海道（白石区体育館）
日本ナショナルチームメンバーに伊藤雅弘選手
韓恵原（元韓国チーム）がコーチとして来札（６年３月迄）
平成５年
韓国仁川協会と親善交流大会開催（厚別区、NTT 体育館）
第15回日本リーグ札幌大会開催（中島体育センター）
男子　ＮＴＴ北海道 － トナミ運輸
女子　三 洋 電 機 － ヨネックス
平成７年
第45回全国実業団選手権大会 札幌開催
（中島体育センター、他）
第24回台北モーニングカップ
60MXD 優勝 東 健治、島中玲子
日本バドミントン協会研鑽賞受賞　荒島敏幸
日本実業団連盟功労賞受賞　伊藤雅弘
平成８年
第24回全国高校選抜選手権大会 札幌開催
第15回日本リーグ札幌大会開催（中島体育センター）
男子　ＮＴＴ北海道 － ベ ス ト 電 器
女子　三 洋 電 機 － 三 菱 電 機
日本バドミントン協会研鑽賞受賞　神山周二
日本教職員連盟功労賞受賞　西村幸衛
平成９年
第47回全道実業団選手権大会　ＮＴＴ北海道27連勝
日バ第11代専務理事 小飼栄一 就任
９年度 北海道・ロシア極東地区親善交流大会 開催
日本バドミントン協会研鑽賞受賞　平沢　寛

札幌バドミントン協会年度別役員一覧表

役職	平成1,2年	平成3,4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8,9年
会長	宇野 真平	千葉 英守	千葉 英守	千葉 英守	千葉 英守	千葉 英守
副会長	松浦 勤	松浦 勤	松浦 勤	松浦 勤	松浦 勤	松浦 勤
〃	島中 貞夫	島中 貞夫	島中 貞夫	島中 貞夫	島中 貞夫	島中 貞夫
〃	北川 誠	阿部 隆	牧野 哲也	牧野 哲也	月居 修	月居 修
〃	千葉 英守	飯塚 一力	小林 徳宏	小林 徳宏	小林 徳宏	高坂 清和
〃	東 健治	東 健治	東 健治	東 健治	東 健治	東 健治
〃			山住 一史	山住 一史	山住 一史	岩崎 昭郎
理事長	木村 敏男	木村 敏男	木村 敏男	木村 敏男	木村 敏男	木村 敏男
副理事長	西村 幸衛	乙武 重丸	乙武 重丸	乙武 重丸	乙武 重丸	中瀬 幸記
〃	島中 玲子	遠藤 静子	遠藤 静子	遠藤 静子	遠藤 静子	中平 正幸
〃	金田 隆一	金田 隆一	金田 隆一	金田 隆一	金田 隆一	金田 隆一
〃	笹森 剛	笹森 剛	笹森 剛	笹森 剛	笹森 剛	笹森 剛
〃	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀	河崎 正紀
事務局員		永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子
総務委員長	中瀬 幸記	中瀬 幸記	中瀬 幸記	中瀬 幸記	中瀬 幸記	松野 英彦
〃 副委員長	松野 英彦	松野 英彦	松野 英彦	松野 英彦	松野 英彦	七崎 悦範
〃 副委員長				川口 敦	川口 敦	川口 敦
競技運営委員長	乙武 重丸	山本 晴通	山本 晴通	千葉 昌弘	千葉 昌弘	千葉 昌弘
〃 副委員長	平澤 徹	渡辺由美子	渡辺由美子	渡辺由美子	渡辺由美子	渡辺由美子
審判委員長	菅原 宏志	菅原 宏志	菅原 宏志	菅原 宏志	菅原 宏志	菅原 宏志
〃 副委員長	村本 信教	村本 信教	村本 信教	村本 信教	村本 信教	村本 信教
事業推進委員長	中平 正幸	中平 正幸	中平 正幸	中平 正幸	宮城 裕	宮城 裕
〃 副委員長	岡本 伝	岡本 伝	宮城 裕	宮城 裕	高崎 厚生	高崎 厚生
〃 副委員長				高橋 進	高橋 進	高橋 進
競技力向上委員長	遠藤 好男	遠藤 好男	遠藤 好男	石岡 直樹	石岡 直樹	石岡 直樹
〃 副委員長	熊谷 敏夫	熊谷 敏夫	熊谷 敏夫	熊谷 敏夫	熊谷 敏夫	熊谷 敏夫
〃 副委員長		石岡 直樹	石岡 直樹	中島 俊也	中島 俊也	中島 俊也
財務委員長	遠藤 静子	渋井 敏紀	渋井 敏紀	渋井 敏紀	渋井 敏紀	渋井 敏紀
〃 副委員長	渋井 敏紀	永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子	永井 恭子
監査委員	岩崎 昭郎	岩崎 昭郎	岩崎 昭郎	岩崎 昭郎	岩崎 昭郎	遠藤 静子
〃	中嶋 弘志	中嶋 弘志	中嶋 弘志	中嶋 弘志	中嶋 弘志	中嶋 弘志

創立50周年を祝して



南空知地区バドミントン協会
会長　瀬能　晃

北海道バドミントン協会が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。顧みますと、戦後の混乱で厳しい社会情勢の中、当時としてはまだ馴染みの薄いスポーツのひとつであったバドミントンを愛される皆様により、昭和24年に北海道バドミントン協会が創立され、爾来、協会役員の皆様のご尽力とご苦労により、今日では全国でも有数の協会に発展されておりますことは誠に喜ばしいことであり心から敬意を表します。当時南空知では、夕張東高校（後の夕張南高校）部が結成され、同年夕張協会が設立されました。また、25年には岩見沢西高校に同好会ができる等、南空知でもバドミントンが普及する兆しをみせておりました。昭和26年には、岩見沢市バドミントン協会の設立準備委員会をつくり、７月には夕張協会の応援を得て全空知選手権大会を開催したと記録にあります。とにかく昭和28年になって岩見沢市バドミントン協会を設立しましたが、33年～35年頃は、協会活動が停滞してしまいました。昭和37年に再発足し、同38年に北海道バドミントン協会に加盟させて頂いたのであります。爾来、南空知（夕張をのぞく）一帯をサービスエリアとして運営を進めてまいりましたが、昭和51年に岩見沢市協会と南空知協会とに発展的に分離して今日に至っております。その間、北海道小学生大会を初めとして各種大会の主管協会をご指名いただき光栄のいたりであります。就中、昭和63年の第７回日本ＶＳ韓国バドミントン競技国際岩見沢大会開催、平成３年、同９年と二度にわたる、バドミントン日本リーグの開催は協会員一同感謝しているところであります。お世話いただいた事の一端を記し、貴協会の益々の発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。

南空知地区バドミントン協会史

西歴(年)	事　　項
1949 昭和24年	・全空知バドミントン選手権大会開催 ・夕張協会設立
1951 昭和26年	・岩見沢市協会準備委員会設立 委員長　小島次七 副委員長　伊藤俊雄
1953 昭和28年	・岩見沢市協会発足岩見沢体育協会に加盟する 会　　長　小島次七 理事長　田中鉄男 事務局　菊谷　脩
1954 昭和29年	・第1回岩見沢市民大会開催（岩農体育館） ・第6回全道高校選手権大会を美唄東高校で開催 ・第1回南空知高校大会開催 （小飼栄一、泰泉寺忠両氏札幌から審判応援）
1955 昭和30年	・第5回全国大学生大会北海道予選会開催
1960 昭和35年	・北海道協会功労賞受賞升元一人（夕張協会） ・岩見沢市役所が全道市役所大会に初出場
1962 昭和37年	・協会活動なく、岩見沢協会再発足（南空知含む） 会　長　小島次七 副会長　伊藤俊雄、坂田正義 理事長　久保田博 理　事　坂口充雄、毛利勝幸 等 ・技術講習会（講師 神山周二、中嶋弘志の両氏）
1967 昭和42年	・全国高校選手権出場 斉藤　均、阿部幸裕(岩西) ・役員改選 副会長　伊藤俊雄、升元一人(新)、 久保田博(新) 理事長(事務局)　毛利勝幸(新)
1968 昭和43年	・第2代会長 粕谷清就任（小島氏ご逝去のため） ・全国高校選手権出場 柴田　充、今野研司(栗山)
1969 昭和44年	・第3代会長 笠原貴平治 就任 副理事長 石田　勇、佐々木洋 ・第1回子ども会小学生大会開催 ・全道高校優秀選手強化合宿会開催 ・第21回道民体育大会開催

西歴(年)	事　　項
1970 昭和45年	・全道高校優秀選手強化合宿会開催 ・第3回全道高校新人大会 兼第1回北海道教職員選手権大会を開催 ・全国高校選手権出場 旁川直喜・佐藤広行（美東） ・北海道協会20周年特別功労賞 故 小島次七 受賞
1971 昭和46年	・第24回全道高校選手権大会開催 ・模範試合講習会開催 （堺　栄一、小島一平、村敏男、中村徳光 4選手） ・第18回全空知選手権大会 （家庭婦人、中学生追加）
1972 昭和47年	・第3回全道中学生大会開催 ・役員改選　副理事長 石田勇、井上透市（新）
1973 昭和48年	・第25回道民大会開催 ・第1回日中国際バドミントン札幌大会の エキビション少年の部に岩見沢チーム4名参加 （吉井一也、藤原祐二、山根喜久、片岡周子 小6年）
1974 昭和49年	・第5回全道中学生大会（個人戦追加）を開催 ・第4回強化選手講習会開催 ・模範試合及び技術指導講習会 （湯木博恵、柴山きよ子、池田美加、今井茂満 各氏）
1975 昭和50年	・全道中学生大会 男単優勝 木村　篤（栗山中） ・高校技術講習会開催 ・升元一人副会長ご逝去
1976 昭和51年	・南空知協会と岩見沢市協会に発展的分離する ・第28回道民大会高校の部を開催 ・全国高校選手権出場女子団体長沼高校 ・全国高校選抜出場 上林雅子（岩東）女単4位
1977 昭和52年	・全国高校選手権出場 木村　篤（栗山） ・全国高校選抜出場 下野和義、木村　篤（栗山） ・技術講習会（講師 相沢マチ子） ・藤本礼子（三笠出身） 全道学生選手権 単複優勝

西歴(年)	事　　項
1978 昭和53年	・第９回全道中学生大会開催 ・国民体育大会出場　下野和義、木村　篤（栗山） ・全国高校選手権出場　団体 栗山高男子 下野和義、木村　篤（栗山）、弓削知憲、 宮井能浩、荒井ひとみ、道下すみ子(以上長沼)
1980 昭和55年	・第29回全道学生選手権大会開催 ・第９回全道高校選抜大会開催 ・全国中学校大会出場 北本久美子（中央長沼） ・初心者講習会（指導 須田孝夫、篠崎誠治） ・選手強化指導会 （指導 中井基夫、湯木博恵 他２名）
1981 昭和56年	・第32回全道高校選手権大会開催 ・全国高校選手権出場 木村直樹（岩東） ・全国高校選抜出場 団体 長沼高女子
1982 昭和57年 (1967)	・第１回全道小学生オープン大会開催 ・第１回全道中学生オープン大会開催 （２大会共、後に北海道主催大会になる） ・全国高校選手権出場、全日本ジュニア出場 加藤　学（美東）、松本洋子、大石千秋（長沼） ・第31回全道学生選手権大会開催
1983 昭和58年	・第32回全道学生選手権大会開催 ・第38回国体北海道予選会開催 ・協会創立30周年記念祝賀会記念志発行 ・夕張協会と合併する ・全国高校選手権出場 加藤　学(美東)、松本洋子、大石千秋(長沼)
1984 昭和59年	・第33回全道学生選手権大会開催 ・第13回全道高校選抜大会開催
1985 昭和60年	・第34回全道学生選手権大会開催 ・第４回全道小学生大会開催
1986 昭和61年	・第35回全道学生選手権大会開催 ・第５回北海道小学生大会開催 ・第15回全道高校選抜大会開催
1987 昭和62年	・第36回全道学生選手権大会開催 ・第16回全道高校選抜大会開催

西歴(年)	事　　項
1988 昭和63年	・ユーバー杯日本代表選手に北本久美子(長沼出身) ・第17回北海道家庭婦人大会を栗山町で開催 ・第７回北海道小学生大会開催 ・日韓国際バドミントン岩見沢大会開催
1989 平成元年	・第38回全道学生選手権大会開催
1990 平成２年	・第39回全道学生選手権大会開催 ・第７回北海道小学生大会開催 ・第４代会長 瀬能　晃 就任 ・第29回全道市役所大会で岩見沢女子団体初優勝
1991 平成３年	・第40回全道学生選手権大会開催 ・中学生新人大会で男単準優勝 高田健一(岩東光) ・第13回日本リーグを開催 男子 トナミ運輸 － ＮＴＴ北海道 女子 ヨネックス － ＮＴＴ東　京
1992 平成４年	・第41回全道学生選手権大会開催 ・第47回国体北海道予選会開催 ・全道高校選抜 団男道南準優勝 駒沢高校
1993 平成５年	・第42回全道学生選手権大会開催 ・第12回北海道小学生大会開催 ・第12回北海道中学生新人研修大会開催 ・協会創立40周年記念式典祝賀会開催
1994 平成６年	・第43回全道学生選手権大会開催 ・第27回全道高校選抜道南大会開催
1995 平成７年	・第44回全道学生選手権大会開催
1996 平成８年	・第45回全道学生選手権大会開催
1997 平成９年	・第46回全道学生選手権大会開催 ・第49回全道高校選手権大会開催 ・日本リーグ'97岩見沢大会開催 男子 ＮＴＴ東京 － ＮＴＴ北海道 女子 三洋電機 － ヨネックス

南空知地区バドミントン協会役員

歴代名簿

［会　　長］

初代 小島　次七（S28～S42）
2代 粕谷　　清（S42～S43）
3代 笠原喜平治（S43～H1）
4代 瀬能　　晃（H2～　）

［副 会 長］

初代 伊藤　俊雄（S31～S53）
　　阪田　正義（S36～S39）
2代 竹内　宣秀（S40～S41）
　　升元　一人（S40～S50）
　　久保田　博（S42～S50）

［副 会 長］

3代 山内　敏雄（S51～H8）
　　堀尾源一郎（S51～H7）
　　木村　忠正（S51～　）
　　石川　孝一（S51～H3）
　　仲野　保男（S51～H3）
　　山口　　悟（S51～H7）
4代 弓削　　守（S57～S61）
5代 千代川則男（S58～H1）
6代 荒木　健悦（S62～　）
7代 板谷　信男（H2～　）
　　池田　　晃（H2～　）
8代 久保田　博（S63～　）
9代 高橋　義明（H6～　）
　　毛利　勝幸（H6～　）
10代 江原　　博（H8～　）
　　逢坂　康雄（H8～　）

［理 事 長］

初代 田中　鉄男（S28～S29）
2代 菊谷　　修（S30～S35）
3代 久保田　博（S37～S41）
4代 毛利　勝幸（S42～H5）
5代 小島　裕二（H6～　）

［事務局長］

初代 山口　賢一（S28～S28）
2代 菊谷　　修（S29～S35）
3代 市村　典男（S36～S36）
4代 毛利　勝幸（S37～S45）
5代 岡田　忠彦（S46～S49）
6代 石田　　勇（S50～S56）
7代 井上　透市（S57～S60）
8代 小島　裕二（S61～H3）
9代 石田　　勇（H4～H5）
10代 下野　和義（H6～　）

平成8、9年度役員名簿（＊印常任理事）

役職	氏名
名誉会長	笠原喜平治
会長	瀬能　晃
副会長	＊久保田　博
〃	江原　博
〃	板谷　信男
〃	木村　忠正
〃	＊高橋　義明
〃	＊毛利　勝幸
〃	逢坂　康雄
〃	荒木　建悦
〃	池田　晃
顧問	田渕　明信
〃	黒田武二郎
〃	高橋　俊明
〃	松本　省三
参与	＊伊達　佐重
〃	石田　勇
〃	佐々木　洋
〃	井上　透市
理事長	＊小島　裕二
副理事長	内山　彰
〃	＊山形　文雄
〃	下野　和義
〃	岩丸　伸一

役職	氏名
副理事長	中松　勇次
〃	竹居田博行
監査委員	伊藤　新一
〃	河村　誠
事務局長	＊下野　和義
事務局次長	＊浮田　昭
財務委員長	＊西田　友子
〃 副委員長	松岡　忠昭
競技委員長	＊岩丸　伸一
〃 副委員長	＊湯藤　幸子
〃 副委員長	＊湯浅　和恵
〃 副委員長	谷口　朋充
〃 副委員長	＊深田　育也
〃 副委員長	＊朝田　憲介
選手強化委員長	＊吉野　幸広
〃 副委員長	＊大津外志男
〃 副委員長	佐々木るり
渉外普及委員長	＊宮野　慎哉
〃 副委員長	佐野　則子
審判委員長	＊野瀬　正紀
〃 副委員長	＊寺地りつ子
〃 副委員長	＊大山　修二
常任理事	中田　昌宏
〃	菊地　敏子

役職	氏名
常任理事	岡田　忠彦
〃	上田　幸江
〃	渡辺　光章
〃	近野　正樹
理事	飛渡　元康
〃	土田　耕一
〃	杉山　幸子
〃	工藤　博史
〃	武田　光春
〃	山坂　幸市
〃	若林　雅美
〃	武市　浩之
〃	大西裕美子
〃	森田　聖子
〃	木村美智代
〃	姫田志津子
〃	桜本　章次
〃	森　裕史
〃	江幡　博
〃	町谷真知子
〃	高橋　美保
〃	仲俣恵美子
〃	日浦幾久代
〃	南　ゆみ子



創立50周年を祝して

北空知地区バドミントン協会
会長　山腰　修司

北海道バドミントン協会がめでたく創立50周年を迎えられ、誠に意義深く心からお喜び申し上げます。

これまで協会の充実・発展にご尽力いただきました関係各位の皆様に深く敬意を表する次第であります。

私共、北空知地区バドミントン協会は昭和43年に加盟して以来30年を迎えようとしておりますが、この間、当地区協会で全道規模の各種大会が、貴協会のご指導により開催することが出来ましたことと、さらに選手の育成にもご支援をいただき、国内・道内で活躍されている選手も輩出しており、あらためて感謝を申し上げます。

最後になりますが、今後とも指導的な役割を果たされ、貴協会の充実発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

北空知地区バドミントン協会役員一覧表［最近10年間］

役職	昭和62年	平成元年	平成2年	平成4年	平成5年	平成6年	平成8年	平成9年
会長	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司	山腰　修司
副会長	富樫　誠一	富樫　誠一	富樫　誠一	富樫　誠一	白水　範哲	白水　範哲	白水　範哲	白水　範哲
〃	久保田　博	沼田　孝記	沼田　孝記	沼田　孝記	上月　光雄	上月　光雄	上月　光雄	上月　光雄
〃	熊谷　吉昭	西川　貞和	西川　貞和	西川　貞和	菅原　諭	菅原　諭	菅原　諭	菅原　諭
〃	沼田　孝記	嶋　琢弘	嶋　琢弘	嶋　琢弘	大路　直一	大路　直一	大路　直一	大路　直一
〃	西川　貞和	水谷　勤	水谷　勤	水谷　勤	沼田　孝記	沼田　孝記	沼田　孝記	沼田　孝記
〃	嶋　琢弘				嶋　琢弘	嶋　琢弘	嶋　琢弘	嶋　琢弘
〃	水谷　勤					大坂　一弘	大坂　一弘	大坂　一弘
〃	高橋　正志							
理事長	白水　範哲	白水　範哲	白水　範哲	大坂　一弘	大坂　一弘	山田　健治	山田　健治	山田　健治
副理事長		近藤　博	近藤　博					
〃			若松　重義					
事務局長	近藤　博	若松　重義	高山　訓正	高山　訓正	高山　訓正	高山　訓正	高山　訓正	高山　訓正
事務次長	尾崎　義憲	山田　健治	山田　健治	尾崎　義憲	尾崎　義憲	尾崎　義憲	尾崎　義憲	尾崎　義憲
〃	柴田　康行	尾崎　義憲	尾崎　義憲	森山　啓子	森山　啓子	森山　啓子	高谷　智子	高谷　智子
〃		高橋　誠治	森山　啓子					
〃		森山　啓子						
審判長					小峯　修一	小峯　修一	小峯　修一	小峯　修一
監査	高山　訓正	高山　訓正	小峯　修一	住沢　幸雄	住沢　幸雄	住沢　幸雄	住沢　幸雄	住沢　幸雄
〃	小峯　修一	小峯　修一	高橋　誠治	高橋　誠治	高橋　誠治	高橋　誠治	高橋　誠治	高橋　誠治
理事	［昭和62年～平成3年］				［平成4年～平成9年］			
〃	住沢　幸雄	田屋敷憲治	阿部　正	細川　雅弘	斉藤　栄作	菅原　彰夫	細川　雅弘	中田　一之
〃	古状二三恵	平野　誠	安中　政人	原田　稔朗	大丸　俊充	原田　稔朗	山下　勝三	小峯　修一
〃	山下　勝三	小峯　修一	上月　光雄	腰越　稔	西野　尚志	腰越　稔	大路　直一	中村　誠
〃	増沢　清	名取　拓也	木田　政志	伊藤　里志	木田　政志	真坂　龍児	伊藤　里志	永井　英治
〃	真坂　龍児	森山　啓子	相川　正信	山田　健治	須田　幸雄	高谷　智子	村上　誠一	金子総一郎
〃	藤野　道夫	若松　重義	雁田　琢也	松野　修江	田村　聖人	安部　初雄	木田　カヨ	前田　静枝
〃	前田　静枝	木田　カヨ	梅垣富美子	椿　英万	住沢　正子	百井　良司	赤田　敬一	浅田　好則
〃	永井　英治	小林　幸雄	須田　幸雄	金子総一郎	木田　万博	吉森智鶴子	山本　範子	茶畑　誠一
〃	落合　敏夫	安部　初雄	住沢　正子	宮地　正夫	西井　浩司	二口　良男	田村　雅彦	

北空知地区バドミントン協会沿革史

昭和43年度
滝川バドミントン協会設立
第１回高校新人大会を行う
昭和44年度
初代会長 草浦正己氏 就任
初代理事長 秋山義雄氏 就任
第１回北空知地区社会人選手権大会開催
第１回北空知地区高校選手権大会開催
昭和45年度
第３回全道高校新人大会
男子単 ３位 佐藤（歌志内）
第１回北海道中学生大会
女子団体 優勝 上砂川
昭和46年度
第２回北海道中学生大会
男子団体 優勝 江陵
女子団体 優勝 上砂川
昭和47年度
第３回北海道中学生大会
女子団体 優勝 上砂川
昭和48年度
第２代理事長 白水範哲氏 就任
第４回北海道中学生大会
男子団体 ２位 江陵
女子団体 優勝 上砂川
第６回全道高校新人大会
女子単 ３位 馬場（奈井江）
技術講習会（湯木、柴田、池田各選手）
第４回北海道教職員大会を主管
昭和49年度
第５回北海道中学生大会
男子団体 優勝 江陵 ２位 奈井江
女子団体 優勝 江陵 ２位 上砂川
昭和50年度
道民大会高校の部を主管
第６回北海道中学生大会
男子団体 優勝 歌志内神威
女子団体 優勝 上砂川
以上全国大会
男子複優勝 三井・高橋（江陵）
２位 小坂・岩崎（歌神威）
男子単３位 河野（江陵）
女子複優勝 中村・佐藤（上砂川）
３位 竹川・桝田（江陵）
女子単２位 児玉（上砂川）
昭和51年度
全日本競技優秀選手巡回指導会を行う
第９回全道高校新人大会
女子単３位 川村（奈井江）
女子複２位 村上・中山（滝西）
第７回北海道中学生大会を主管
男子団体優勝 歌志内神威
２位 江陵
女子団体優勝 上砂川
２位 江陵
男子複優勝 粟井・高橋（江陵）
２位 杉浦・小野寺（江陵）
男子単優勝 松田（歌神威）
３位 須田（歌神威）
女子複優勝 下坂・厚谷（上砂川）
２位 家入・小塚（江陵）
３位 藤永・西岡（上砂川）
女子単優勝 小林（上砂川）
２位 竹川（江陵）
３位 工藤（上砂川）
３位 桝田（江陵）
昭和52年度
第29回北海道高校選手権大会を主管
女子団体２位 砂川南 ３位 滝川西
女子複２位 佐藤・中村（砂南）
３位 桝田・竹川（滝西）
第８回北海道中学生大会
男子団体優勝 江陵
女子団体優勝 上砂川 ２位 江陵
男子複優勝 菅原・中島（江陵）
２位 小野寺・能登谷（江陵）
男子単優勝 杉浦（江陵）
女子複優勝 佐藤・高橋（上砂川）
２位 家入・和田（江陵）
女子単優勝 藤永（上砂川）
２位 西岡（上砂川）
以上全国大会へ
第10回全道高校新人大会
男子複２位 岩崎・古谷（歌志内）
女子複優勝 桝田・竹川（滝西）
２位 佐藤・中村（砂南）
女子単３位 桝 田（滝西）
昭和53年度
第30回北海道高校選手権大会
女子団体優勝 滝川西
男子単２位 高橋（滝川）
女子複優勝 佐藤・中村（砂南）
第11回全道高校新人大会
女子複優勝 桝田・竹川（滝西）
２位 小塚・和田（滝西）
女子単優勝 竹川（滝西）
３位 桝田（滝西）
第９回北海道中学生大会
男子団体優勝 江陵 ２位 奈井江
女子団体優勝 上砂川 ２位 江陵
男子複優勝 高橋・太田（江陵）
２位 高木・清野（江陵）
男子単優勝 菅原（江陵）
２位 中島（江陵）
女子複優勝 上川・高橋（上砂川）
２位 橋本・田中（上砂川）
女子単優勝 小池（上砂川）
女子単２位 酒井（上砂川）
昭和54年度
滝川協会を北空知地区協会と名称変更
第10回北海道中学生大会を主管
男子団体優勝 江陵 ２位 砂川
女子団体優勝 上砂川 ２位 江陵
上砂川中は全道５連勝
男子複優勝 水野・松尾（江陵）
２位 塚本・荒生（江陵）
３位 村田・谷井（江陵）
男子単２位 野村（江陵）
３位 黒川（江陵）
女子複優勝 工藤・小野（上砂川）
３位 中村・田中（上砂川）
女子単優勝 高橋（上砂川）
３位 川岸（上砂川）
第34回国体北海道予選会
高女複優勝
竹川・桝田（滝西）全国へ
２位 小塚・和田（滝西）
第32回北海道選手権大会
混合３位 田宮・田宮
第31回北海道高校選手権大会
男子団体２位 滝川西
女子団体優勝 滝川西
女子複優勝 小塚・和田（滝西）
２位 竹川・桝田（滝西）
第12回全道高校新人大会
女子団体優勝 砂川南 ２位 滝川西
昭和55年度
北空知地区一般冬季大会を新設する
第32回北海道高校選手権大会
女子団体優勝 砂川南
男子複３位 杉浦・小野寺（滝西）
女子単優勝 和田（滝西）
第13回全道高校新人大会
男子団体２位 滝川 ３位 滝川工
女子団体優勝 砂川南 ２位 滝川北
第24回全道社会人選手権大会
３部女子複３位 前田・佐々木
第11回北海道中学生大会
男子団体優勝 江陵
男子複優勝 山田・岡田（江陵）
２位 安川・高桑（江陵）
女子複優勝 小野・田中（上砂川）
女子単２位 谷脇（上砂川）
第35回国体北海道予選会
高校女複優勝 和田・高橋（滝西）
高校男複２位 太田・加藤（滝工）
高校女単優勝 和田（滝西）
女子全国大会へ
昭和56年度
第２代会長 小高重宏氏 就任
第33回北海道高校選手権大会

男子団体２位 滝川工
女子団体優勝 砂川南
第13回道民スポーツ空知羽球大会が深川で開催される
第36回国体北海道予選会
高校女複優勝 高橋・木津（砂南）
第14回全道高校新人大会
男子団体優勝 滝川
３位 砂川北
第12回北海道中学生大会
男子団体優勝 江陵（全道５連勝）
女子団体優勝 上砂川
男子複優勝 佐藤・中居（江陵）
２位 松浦・中川（江陵）
女子複優勝 高橋・藤原（上砂川）
女子単優勝 徳光（上砂川）
２位 高原（上砂川）
全国中体連大会
男子団体２位 江陵
女子単３位 徳光由美子
女子複３位 高橋可奈・藤原利江

昭和57年度

第15回全道高校新人大会
男子団体３位 滝川
女子団体３位 砂川南
第13回北海道中学生大会
男子団体３位 江陵
女子団体優勝 上砂川
男子単優勝 田中（江陵）
女子複優勝 佐藤・酒井（上砂川）
２位 岩切・伊藤（江陵）
３位 小田部・古賀（江陵）
女子単優勝 西田（上砂川）
２位 椿坂（江陵）
滝川青年団、青年団大会で全道優勝し、全国大会で２位となる

昭和58年度

第14回北海道教職員大会を主管
第14回北海道中学校大会を主管
男子団体優勝 江陵　２位 明苑
女子団体優勝 上砂川　※全国３位
３位 芦別啓成、江陵
男子複優勝 谷口・林（江陵）
２位 関・森（江陵）
男子単３位 岸（明苑）、菅原（江陵）
女子複優勝 佐々木・加藤（上砂川）
２位 関・安芸（上砂川）
３位 阿部・福島（江陵）
女子単優勝 平間（上砂川）
２位 関（江陵）
第35回北海道高校選手権大会
男子団体２位 滝川
女子団体優勝 砂川南（全道４連勝）
女子複２位 三浦・小野（滝川）
男子複２位 岡田・山田（滝川）
３位 小坂・柏井（砂北）
第27回全道社会人選手権大会
３部男子複優勝 山田・伊藤（滝川）
２部女子複２位 桝田・小塚（滝川）
３部女子複３位 横倉・大谷（滝川）
第16回全道高校新人大会
女子団体３位 砂川南

昭和59年度

第37回北海道選手権大会を主管
第15回北海道中学校大会
男子団体優勝 江陵　※全国３位
２位 明苑
男子複優勝 吉田・山崎（江陵）
２位 野村・小野寺（江陵）
男子単３位 小林(江陵)、瀬川(江陵)
女子複２位 河野・林（江陵）
３位 星・櫛引（上砂川）
第36回北海道高校選手権大会
女子複２位 高橋・立川（砂南）
女子単３位 高橋（砂南）

昭和60年度

第３代会長 山腰修司氏 就任
第37回北海道高校選手権大会
女子複２位 酒井・関（砂南）
滝川青年団、全国青年団大会３位
第16回北海道道中学校大会
男子団体優勝 江陵　※全国３位
男子複優勝 桜井・秋山（江陵）
２位 村井・藤本（江陵）
３位 岡下・荒井（明苑）
女子単３位 後　藤（芦別啓成）
第29回全道社会人選手権大会
３部男子複優勝 山田・佐々木
２部女子複２位 前田・高谷
第18回全道高校新人大会
男子団体３位 滝川工
第４回全道中学新人大会
男子複優勝 末村・佐藤（江陵）
男子単２位 斉藤（砂川）
女子複優勝 小竹・松田（芦別啓成）
２位 時長・大久保（上砂川）
３位 山本・林（江陵）
女子単優勝 田村（上砂川）
２位 中垣（芦別啓成）
３位 平山（江陵）
第14回北海道家庭婦人大会
２部団体優勝 滝川ママさんシャトル

昭和61年度

第17回北海道中学校大会
男子団体２位 江陵
女子団体優勝 上砂川
男子複優勝 末村・佐藤（江陵）
※全国中体連 男複３位
男子単２位 斉　藤（砂川）
女子複優勝 時長・蝦名（上砂川）
２位 市瀬・林（上砂川）
３位 小竹・松田（芦別啓成）
女子単優勝 田村（上砂川）
２位 中垣（芦別啓成）
第38回北海道高校選手権大会を主管
男子団体２位 滝川工
男子複３位 木村・川瀬（滝工）
男子単３位 吉田（滝川）
第19回全道高校新人大会
男子団体２位 滝川工
第５回全道中学新人大会
男子複優勝 小川・嶋村（江陵）
３位 芳村・僧都（江陵）
男子単２位 斉藤（砂川）
第30回全道社会人選手権大会
２部男子複２位 佐々木・加藤
３部男子複２位 雁田・幅口
３部男子単２位 雁田
３部女子複２位 前田・山本

昭和62年度

第18回北海道教職員大会を主管
３部男単優勝 山田（滝川教委）
90才男複優勝 住沢（深農）・山田
第39回北海道高校選手権大会
男子団体２位 滝川工
男子複２位 桜井・秋山（滝工）
男子単３位 木村（滝工）
第16回北海道家庭婦人大会
２部団体優勝 滝川ママさんシャトル
第18回北海道中学校大会
男子団体優勝 江陵
女子団体優勝 上砂川　３位 江陵
男子複優勝 小川・嶋村（江陵）
２位 芳村・田村（江陵）
男子単優勝 斉　藤（砂川）
女子複３位 林・小笠原（上砂川）
女子単優勝 土屋（上砂川）
第40回北海道選手権大会
40才女複２位 前田・高谷（江陵）
50才男単３位 住沢
第20回全道高校新人大会
男子単２位 桜井（滝工）
男子複３位 桜井・秋山（滝工）
第31回全道社会人選手権大会
２部男子複２位 佐々木・加藤
３部女子複２位 前田・吉森

昭和63年度

第40回北海道高校選手権大会
男子団体２位 滝川工
男子複２位 桜井・秋山（滝工）
男子単３位 桜井（滝工）
第６回全日本家庭婦人道予選会
団体３位 滝川ママさんシャトル
第19回北海道中学校大会を開催
男子団体３位 滝川明苑
女子複３位 菅原・月岡（上砂川）
第21回全道高校新人大会
男子団体３位 滝川工

男子複３位 田村・芳村（滝工）
第32回全道社会人選手権大会
２部男子複２位 伊藤・永井
３部女子複優勝 前田・佐々木
第１回全国スポ・レク祭
40才複 山田（滝川市役所）参加
第５回全道中学新人大会
男子複優勝 日野・小倉（江陵）
男子単３位 鈴木（歌志内）
女子単３位 斉藤（砂川）

平成元年度

第７回全道ジュニア大会を主管
第22回全道高校新人大会
男子複優勝 小川・田村（滝工）
３位 屋敷・芳村（滝工）
男子単３位 小川（滝工）
女子複３位 川又・杉山（砂南）
第７回全日本家庭婦人道予選会
優勝 滝川ママさん（全国出場）
第20回北海道中学校大会
男子複優勝 日野・小倉（江陵）
全国スポ・レク祭 山田（滝川）参加

平成２年度

第８回全日本家庭婦人道予選会（団体）
優勝 滝川ママさん　全国で準優勝
第23回全道高校新人選抜道予選会主管
女子団体３位 滝川西
女子複３位 大西・田村（滝川）
３位 大坂・森（滝西）
第43回北海道選手権大会
高校男複優勝 田村・小川（滝工）
50才男複優勝 住沢（深川）・岡
第42回北海道高校選手権大会
男子団体３位 滝川工
男子複３位 田村・小川（滝工）
第９回全道中学新人大会
女子複３位 大西・遠藤（砂川）

平成３年度

第46回国体北海道予選会を主管
第24回全道高校新人選抜道予選会
男子団体３位 滝川工
女子団体３位 滝川西
男子単３位 崎野（滝工）
第44回北海道選手権大会
50才男複優勝 住沢（深川）・岡
第22回北海道中学校大会
男子団体優勝 江陵
男子複２位 田村・奥山（江陵）
女子複優勝 遠藤・大西（砂川）
第９回全道ジュニア大会
女子複２位 森・山本（滝西）
第35回全道社会人選手権大会
45才男子複２位 山田・岡(滝川教委)
第10回全道中学新人大会
男子複３位 柴岡・宮永（江陵）
第４回全国スポ・レク祭
40才複 山田（滝川市役所）参加

平成４年度

第３代理事長 大坂一弘氏 就任
第11回北海道小学生大会を主管
第25回全道高校新人選抜道予選会
女子団体２位 滝川西
女子複３位 山本・中森（滝西）
第45回北海道選手権大会
50才男複優勝 山田・木田（芦別）
50才男単優勝 山田（滝川）
第23回北海道教職員大会
50才男複２位
住沢・岡（深農、道教委）
２部女複２位 小野(秩父別)・岩井
第36回社会人選手権大会
45才男複優勝 山田・岡(滝、道教委)
全国スポ・レク祭参加 山田（滝川）

平成５年度

第11回全道ジュニア大会を主管
男子複優勝 奥山・田村（滝工）
３位 木村・西村（滝工）
女子複３位 大西・遠藤（滝西）
男子単３位 奥山（滝工）
女子単２位 小田部（滝西）
第11回全日本家庭婦人道予選
クラブ２位 滝川ママさん全国大会へ
第26回全道高校新人選抜道予選会
女子団体３位 滝川西
女子複２位 大西・遠藤（滝西）
男子単３位 奥山（滝工）
第46回北海道選手権大会
30才女複２位 加藤（滝川）・及川
30才女単３位 加藤（滝川）
45才女複優勝 津村（芦別）・石橋
50才男複優勝 山田（滝川）・木田
50才男単優勝 山田（滝川）
50才混複優勝 山田・前田（滝川）
第24回北海道教職員大会
３部男複２位 青井・小峰
50才男複優勝 住沢（深農）・岡
第45回北海道高校選手権大会
男子団体３位 滝川工
女子団体３位 滝川西
全国スポ・レク祭参加 山田（滝川）

平成６年度

第４代理事長 山田健治氏 就任
第47回北海道選手権大会
50才混複２位 山田・前田（滝川）
第12回全日本家庭婦人道予選
クラブ２位 滝川ママさん全国大会へ
第46回全道高校選手権大会
男子複３位 奥山・木村（滝工）
第25回北海道中学校大会を開催
第12回全道ジュニア大会
女子単３位 近江（滝西）
女子複３位 近江・伊藤（滝西）
第38回全道社会人選手権大会
40才男単３位 名取（芦別市役所）
第25回北海道教職員大会
50才男複優勝 山田（滝川）・岡
90才男複２位 山田（滝川）・東
第27回全道高校新人選抜道予選会
男子団体３位 滝川
女子複３位 近江・伊藤（滝西）
全国スポ・レク祭参加 山田（滝川）

平成７年度

第50回国体北海道予選会を主管
第48回北海道選手権大会
50才男複優勝 山田（滝川）・阿部
50才混複優勝 山田（滝川）・谷頭
第13回全日本家庭婦人道予選
クラブ優勝 滝川ママさん全国大会へ
第47回北海道高校選手権大会
女子団体３位 滝川西
第26回北海道中学校大会
男子団体３位 江陵
男子複２位 矢野・藤田（江陵）
第39回全道社会人選手権大会
２部女複２位 小竹・小竹（芦別）
第26回北海道教職員大会
60才男複２位 住沢（深川）・岡
110才男複優勝 山田（滝川）・東
３位 住沢（深川）・山内
全国スポ・レク祭参加 山田（滝川）

平成８年度

第１回北空知地区小学生大会を開催
第１回北空知地区高校新人（初心者）の部を開催
第29回全道高校新人選抜道予選会
女子団体２位 滝西
女子複３位 小林・小笠原（滝西）
第49回北海道選手権大会
50才男単優勝 山田
60才男複優勝 住沢（深川）・岡
50才混複優勝 山田（滝川）・谷頭
第14回全日本家庭婦人道予選
クラブ３位 滝川ママさん全国大会へ
第15回北海道小学生大会
女子複３位 佐藤・木村（多度志）
第27回北海道教職員大会
50才男複優勝 山田（滝川）・渡辺
60才男複優勝 住沢（深川）・岡
110才男複優勝 山田（滝川）・東
２位 住沢（深川）・山内

お祝いのことば



旭川地区バドミントン協会
会長　松永盛将

この度、北海道バドミントン協会が創立50周年を迎えられましたことを大慶の至りと存じ心からお祝いを申し上げます。

過ぎゆく時の速さには、ただ驚くばかりであります。創立以来、今日の発展隆盛を見ましたことは、ひとえに協会役員の方々の熱心なご努力と、バドミントンに深いご理解を示して下さっておられる関係各位の方々のご支援の賜であると思い衷心より敬意を表するものであります。

今やスポーツは、健康管理やストレス解消のために生活の一部として考えられる時代となり、一段と各地におけるスポーツ熱は高まっており、それと共に生涯スポーツのあり方や取組が各地域で課題となっております。

これまで施設整備など行政施策と競技団体（組織）との調和の取れたスポーツ活動の推進を図られ、その軸として長年にわたり、北海道バドミントン協会が担ってきた使命は極めて重大なものであり、今後ますますの発展が期待されるところであります。

旭川地区バドミントン協会も、40数年の歴史の流れの中で草創の時代を過ごし、数多くの先輩諸氏のご尽力により現在に至っております。

そしてこの度、昨年の地区総会で藤井　猛先生の後任としてご承認をいただき当協会の会長の任を負うことになりました。前会長の卓越したご指導により、これまでの数々の試練は輝かしい成果となって結実し、全道的にも注目される確固たる競技レベルと組織力を確立することができたと自負しております。今回、旭川地区協会の会長としての重責を担うことになりましたが、北海道協会のご協力をいただきながらバドミントン競技の技術の向上並びに地域の意識高揚に努め、誠実に努力し信頼で結ばれる暖かい人間関係をいつも基本とした旭川地区協会を目指して参る所存でございます。

どうかこれからも、北海道バドミントン界のリーダーとして、この創立50周年をひとつの節目として70周年、100周年へ向けての飛躍台としてますます発展されますように心からご祈念申し上げましてお祝いのことばと致します。

旭川地区協会半世紀の歩み

旭川地区バドミントン協会副会長　高　橋　昌　久

昭和27年、私が学芸大学（現教育大学）旭川校４年生の時に、旭川市にもバドミントン協会を設立しようという機運が高まり、学芸大旭川分校の正井滝士教授（故人）を中心に旭川東高の松下源太郎先生、遠藤博先生、旭川市教育委員会の向山博道氏、旭川北高梅村茂先生により協会の母体が出来上がりました。翌28年私が旭川西高に勤務し、理事として協会運営に参画するようようになり現在に至っています。私自身も大学３年生（26年）の時に札幌分校小飼栄一氏（現日本協会専務理事）からの誘いにより学芸大学の５分校対抗に参加したのが初めての公式試合であり、それから50年の歳月が流れております。本当に小さかった旭川協会も全国大会を主管出来るようになり、こんなに大きく成長した背景には協会員の皆さんの並々ならない努力があったことを忘れることはできません。

以下、旭川協会の半世紀に近い歩みを、かいつまんで挙げてみました。

協　会　の　沿　革

昭和27年
・旭川地区バドミントン協会設立
　会長　黒田光朗　理事長　遠藤　博（旭東教諭）
・第１回オール旭川バドミントン優勝大会が北海道新聞社主催で開催された
昭和28年
・地区協会の組織を確立。北海道協会の傘下に入る
・国体地区予選、市民大会、職場対抗等の初主催をする
（参加料100円、シャトル50〜70円、ラケット500〜700円）
昭和29年
・第２代理事長　安井孝司氏（学芸大教授）就任
・労働文化祭大会主催
昭和31年
・第１回旭川芦別対抗戦開始
　西野泉三氏（三井芦別）の尽力による
・全国高校大会に相馬（旭北）が旭川地区から初出場
昭和33年
・高体連全道大会を旭川西高校が当番校で開催
・第３代理事長　高橋昌久氏（旭西高教諭）就任
昭和34年
・全国高校大会出場　女単　茶木（旭北）
昭和35年
・全国高校大会出場　女単全道優勝　片桐（旭西）、女単　管野（旭西）、女複　片桐・管野、男単　安達（旭西）
昭和36年
・全道選手権　片桐瑩子が一般女子単及び混合複で優勝
・全国高校大会出場
　男複　安達・河野（旭西）、女単　丹羽（旭商）
昭和37年
・第４代理事長　三宅　仁氏（旭商教諭）が就任
・協会創立10周年式典を北海ホテルで行う
・第12回全道実業団大会主管（常盤分館で開催）
・全国高校大会出場　男団　旭川北、男単　佐々木（旭商）
　男複　中川・菊池（旭北）
昭和38年
・第３代会長　松橋久保氏（市議会議員）が就任
・第１回ヨネヤマ杯（現ヨネックス）開催
昭和39年
・全国高校大会出場　男団旭商、男単安田（旭北）
　男複　菊川・松葉（旭商）、羽柴・武隈（旭西）
昭和40年
・第５代理事長高橋昌久氏が就任
昭和41年
・全国高校大会出場　男複　諏訪・庄内（旭商）
　女複　田中・浅香（日大旭）
昭和42年
・第６代理事長　三宅　仁氏が就任
・全国高校大会出場　女団全道優勝　旭西
　男複　山田・富樫(羽幌)、松岡・宮崎(旭商)
　女複　松原・稲垣(旭西)
　女単　丹野(羽幌)、金沢(日大旭)
昭和43年
・全国高校大会出場　男団全道優勝　留萌
　女団　北日本学院、男単　上田（留萌）
　女複　由利・石橋（北日本）
昭和44年
・第７代理事長　武田　哲氏が就任
・全国高校大会出場
　男複　山田・坂本（羽幌）、男単　山田（羽幌）
昭和45年
・第８代理事長　高橋裕一氏が就任
・全国高校大会出場
　男団　羽幌、女団　留萌、女複　山田・斉藤（留萌）
昭和46年
・全国高校大会出場　男複　北村・木村（羽幌）
　男単　上田（留萌）、北村（羽幌）
昭和47年
・全国高校大会出場　男単　渡辺（羽幌）
昭和48年
・第４代会長　藤井　猛氏が就任
・全国高校大会出場
　男複　魚住・大石（旭商）、男単　高橋（旭南）
昭和50年
・全国高校大会出場　女単　丹羽（苫前商）
・高校生の冬季合宿が始まる

昭和51年
・第29回北海道選手権大会主管（常盤分館、旭南体育館）
・小島一平氏を招き技術講習会（文化会館）を開催
昭和51年
・第１回道北家庭婦人大会第１回教職員大会を開催
昭和52年
・全日本高専大会を主管　初の全国的大会の運営
昭和53年
・第９代理事長　笠井武彰氏が就任
・第９回北海道教職員選手権大会を開催
昭和54年
・第31回全道高校選手権大会（旭南高第１、２体育館）
・全道中学生大会　男単優勝　三浦（嵐山）
昭和55年
・第８回北海道家庭婦人大会主管（総合体育館）
昭和56年
・第10代理事長　高畑佳史氏が就任
・全国高校大会出場　男単　牧野（旭実）、三浦（旭西）
・第36回国体道予選会を開催　少年男単優勝　三浦（旭西）
昭和57年
・協会創立30周年記念開催　全道中学生大会主管
　団体男子優勝　西神楽中　全国出場
昭和58年
・全道中学校大会　男単優勝　三船（嵐山）　全中出場
・全国高校大会出場　女単全道優勝　野口（北都）
昭和59年
・全道中学校大会　女単優勝　古川（嵐山）全中出場
・全国高校大会出場　男複　利根川・岡田（旭東）
昭和60年
・第12代理事長　野坂政司氏が就任
・全国高校大会出場　男複　長田・野村（旭実）
　男単　長田（旭実）、女単古川（旭北）
昭和61年
・第５回全道小学生大会主管
・全国高校大会出場　女団　旭商、女複　松木・田中（旭商）
　女単　古川（旭北）
・全道中学校大会　男子優勝　古川（広陵）全国男単３位
昭和62年
・日本リーグ主管
・全国中学校大会　男単３位　馬木貴（神居古潭）
・全国高校大会出場　女団　旭商、女複　谷・佐々木（旭商）
昭和63年
・全道中学校大会優勝　男団　神居古潭中、女団　広陵中
　男単　水沢（神居古潭）、男複　小森・幅崎（光陽）
・全道高校大会　女団２位　旭商
平成元年
・第13代理事長　野田　浩氏が就任
・全道中学校大会　優勝　男団　東川中、女団　神居古潭中
　男複　真岩・米田（東川）
　女複　増茂・中山（神居古潭）
・全国中学校大会　女子複優勝　増茂・中山（神居古潭）
・全道高校大会　男団２位　旭工、
・第42回北海道選手権大会主管
・第８回全道小学生大会主管
平成２年
・第42回全道高校選手権大会主管　男団２位　旭工
　男単優勝　米田（旭工）、男複優勝　米田・馬木（旭工）
・第21回全道中学生大会主管優勝　女団　神居古潭中
　女複　増茂・中山（神居古潭）
・全国中学校大会　女複二連覇　増茂・中山（神居古潭）
・世界ジュニア（ウインブルドン）
　女複優勝　増茂・中山（神居古潭）
平成３年
・第14代理事長　笠井正彰氏が就任
・全道高校大会　女団優勝　旭実、男団２位　旭工
　女複優勝　増茂・中山（旭実）、女単優勝　増茂（旭実）
・全国高校選手権大会　女複３位　増茂・中山（旭実）
・全道中学校大会　優勝　女団　神居古潭中
　男単　一宮（神居古潭）、女単　竹村（神居古潭）
　男複　今西・馬木（神居古潭）
・全国中学校大会　男単優勝　一宮（神居古潭）
・第10回全道小学生大会主管
平成４年
・全道高校大会　女団優勝　旭実、男団２位　旭工
　女複優勝　増茂・中山（旭実）、女単優勝　増茂（旭実）
・全国高校選手権大会　女単２位　中山（旭実）
・全道中学校大会　優勝　男団　広陵中、女団　神居古潭中
　男複　阪上・高橋（東陽）、男単　馬木（神居古潭）
　女複　長原・渡辺（神居古潭）、女単　竹村（神居古潭）
・全国中学校大会　男単優勝　馬木（神居古潭）
平成５年
・全道高校大会　女団優勝　旭実、男団２位　旭工
　女複優勝　増茂・中山（旭実）、女単優勝　増茂（旭実）
・全国高校選手権大会　女複優勝　増茂・中山（旭実）
　女単優勝　中山（旭実）
・全道中学校大会　優勝　女団　広陵中
　男複　松浦・上田（豊里）、女複　早川・石黒（広陵）
平成６年
・全道高校大会　女団優勝　旭実、女単優勝　田村（旭実）
・第25回全道中学校大会主管
　優勝　男団　広陵中　女団　忠和中
　女複　石黒・馬場(広陵)　女単　塩崎沙(忠和)
・第24回全国中学校大会　旭川市開催
　女団２位　広陵中、女単３位　塩崎沙(忠和)
　女複３位　山重・塩崎真(忠和)、男単３位　上田(豊里)
平成７年
・全道高校大会　女団２位旭実、男団２位旭工
・全道中学校大会　優勝 男団 豊里中、男単 松本(豊里)
　女団 広陵中、女単 塩崎真(忠和)
　女複 菅野・宮崎(広陵)
・第14回全道小学生大会主管
・日本リーグ主管
平成８年
・全道高校大会　女団２位　旭実、男団２位　旭工
・全国高校選手権大会　女単３位　岩松（旭実）
・第51回国体北海道予選会主管
・全国ジュニア　中新男単優勝　橋本（広陵）
・全道中学校大会　優勝　男団　広陵中、男単　橋本（広陵）
　男複　川島・早坂（広陵）、女複　渡辺・木村（東明）
平成９年
・第５代会長　松永盛将氏が就任
・第15代理事長　上原主美氏が就任
・全道高校大会　女団優勝　旭実、男団２位　旭工
　女複優勝　石黒・山重(旭実)、女単優勝　塩崎(旭実)
・全国高校選手権大会　女複３位　石黒・山重(旭実)
・日本２部リーグ主管
・北海道対極東ロシア親善大会主管
・全道中学校大会　優勝　男団　広陵中、女団　忠和中
　男複　早坂・川島(広陵)、女複　福井・福井(神居古潭)
・全国中学校大会　男団２位　広陵中
　男複２位　早坂・川島（広陵）
・第９回北海道中学新人大会主管　旭川地区全４種目優勝

旭川地区バドミントン協会役員一覧表［最近10年間］

役職	昭和62・63年	平成元・2年	平成3・4年	平成5・6年	平成7・8年	平成9年	
名誉会長						藤井　猛	〈理事〉
会長	藤井　猛	藤井　猛	藤井　猛	藤井　猛	藤井　猛	松永　盛将	笹原　満
副会長	糸川　一之	糸川　一之	糸川　一之	糸川　一之	泉　守	泉　守	上田　進
	辰巳　忠雄	辰巳　忠雄	辰巳　忠雄	宝田由和子	宝田由和子	宝田由和子	稲毛　保夫
	梅村　茂	宝田由和子	宝田由和子	泉　守	鈴木　諭	谷口　大朗	塩貝　俊行
	宝田由和子	髙橋　昌久	武田　哲	髙橋　昌久	松永　盛将	高橋　昌久	小沢　哲也
	高橋　昌久	吉田　和衛	高橋　昌久	笠井　武彰	高橋　昌久	笠井　武彰	小西　和洋
	吉田　和衛	横山　真	吉田　和衛	松井　勉	笠井　武彰	松井　勉	松田　行雄
	芳野　健一	松井　勉	松井　勉		松井　勉	笠井　正彰	奥山　修
	三浦　弘	三浦　弘	三浦　弘				松本　初男
顧問	沢泉　和吉	沢泉　和吉	沢泉　和吉	三浦　弘	三浦　弘	三浦　弘	佐藤　明美
	柏木　稔暖	柏木　稔暖	柏木　稔暖	沢泉　和吉	佐藤　浩	大橋　正之	増茂　武
	平野　弘		南　武	四宮　知之	大橋　正之	辻　研二	福井　清和
				辻　研二	大原　実		小野寺　伸
					辻　研二		杉村　勝
					福島　智徳		野田　定子
参与	松井　勉		笠井　武彰				佐藤　克美
			千葉　光政				関根　裕彦
理事長	野坂　政司	野田　浩	笠井　正彰	笠井　正彰	笠井　正彰	上原　主美	出花　英治
副理事長	野田　浩	両国　勲	岩佐　穣	岩佐　穣	岩佐　穣	岩佐　穣	笠谷　茂夫
	野々瀬　一	野々瀬　一	高子　勝成	松原　実	松原　実	松原　実	田中　光彦
	菊川　建一	菊川　建一	上原　主美	羽柴　修	羽柴　修	羽柴　修	柳沢　政利
	戸田　勝巳	笠井　正彰	菊川　建一	上原　主美	上原　主美	遠藤　剛	日比野正人
	笠井　正彰	平山　三城	辻　研二	遠藤　剛	遠藤　剛	青木夫早江	内村　昌弘
			羽柴　修	松田美智子	青木夫早江	高子　勝成	宮崎　哲雄
			野田　定子	菊川　建一	高子　勝成		野坂　政司
				高子　勝成			野川　強
事務局長			高橋　昌久	高橋　昌久	高橋　昌久	高橋　昌久	野田　浩
次長			佐藤　克美	佐藤　克美	佐藤　克美	佐藤　克美	中村　光生
							下苧坪英雄
総務委員長	宮崎　哲雄	笠井　正彰	羽柴　修	羽柴　修	羽柴　修	羽柴　修	川合　修
副委員長	野々瀬　一	両国　勲	上原　主美	上原　主美	上原　主美	岩佐　穣	池田　新世
	笠井　正彰						小川　満
財務委員長	渥美　笑子	宮崎　哲雄					森内　英雄
副委員長	浅井　瑩子	佐藤　克美					松田　亮
	佐藤　克美						白井　正明
競技委員長	梅本　隆一	小野寺　伸	杉村　勝	杉村　勝	小野寺　伸	小野寺　伸	後藤　利文
副委員長	門馬　朗	伊林　典夫	小野寺　伸	小野寺　伸	小川　満	小川　満	大槻　英男
	戸田　勝巳						浅井　瑩子
審判委員長	小野寺　伸	笠井　武彰	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	曽木由美子
副委員長	岩佐　穣	田村　和則	遠藤　剛	遠藤　剛	遠藤　剛	遠藤　剛	林　宣子
	羽柴　修						寺谷冨美子
指導普及委員長	笠井　正彰	青木夫早江	日比野正人	日比野正人	日比野正人	日比野正人	中村　恭子
副委員長	中村　光生	辻　研二	松原　実	松原　実	松原　実	松原　実	大井麻津美
	辻　研二						佐々木智恵子
選手強化委員長	野坂　政司	平山　三城	中村　光生	中村　光生	中村　光生	中村　光生	浅田江里子
副委員長	野田　浩	笠谷　茂夫	下苧坪英雄	下苧坪英雄	下苧坪英雄	下苧坪英雄	黒木　智子
	田中　光彦						山谷喜久恵
広報委員長	高畑　佳史	松原　実					筒井　幸枝
副委員長	菊川　建一	坂本　幸					猪股　康行
	黄木　正敏						今井　幸男
会計監査	大谷　時男	関根吉太郎	関根吉太郎	関根吉太郎	関根吉太郎	関根吉太郎	
	関根吉太郎			池田　澄子	池田　澄子		



道協創立50周年を祝って

名寄地区バドミントン協会
会長　中村　稔

この度、道協会が風雪の星霜を重ね、創立50周年を迎えられるにあたり心からお祝いを申しあげる。更にこれからの半世紀に向け装いも新たに前進発展されることを期待している。

地区協会長に就任してから16年になる。この間加盟協会は７団体から10団体になったが、各協会は過疎化のなかでの会員の高齢化を共通の悩みとしながらも、それぞれの地域で羽球振興のための努力が続けられている。そんな中で、昭和57年以来、年表にあるように地区協会が主管した全道大会は８回。現在、平成10年１月に開催予定の第30回高校選抜（北）大会の準備をしている所である。

私にとって最も想い出に残るのは名寄で開催された第16回全道家庭婦人大会である。開会式が終了した時、突然、日本協会専務理事（当時）の小飼栄一さんが、“これから始球式を行う。小林純幸・荒島敏幸組対島中玲子・中村稔組、５本勝負。審判は小飼。”と。びっくりしたなんて言うものでない。私は北大生の頃卓球の選手として少しは活躍したこともあったが羽球の経験は全くなかったからである。結果は、小林・荒島組（２－３）島中・中村組だったが全く島中さんのおかげ、冷汗ものの一戦だった。ラケットも靴も借り物、それ以来一度もラケットを手にしたことはない。

あれから10年、私も人口構成上では老人となったが、（財）名寄体育協会長として一匹狼の加盟34団体を率いて活動中である。

名寄地区バドミントン協会年表

年(西暦)	名寄地区バドミントン協会のあゆみ
昭和25年 (1950年)	○6月11日　名寄地区バドミントン協会設立 －北海道内では6番目－ 初代会長　名取　忠夫（名取酒造株式会社社長） 副会長　角舘　俊郎（北海タイムス名寄支局長） 〃　石井　信夫（石井木材株式会社社長） 理事長　中辻　藤雄（名寄高校教諭・後校長） ○名寄地区より初めて名寄高校女子チーム（大畑洋子、藤間徹子、板東美喜子、平田礼子）が、帯広での第2回北海道高等学校バドミントン大会の団体トーナメントに出場する。（責任者　中辻 藤雄）
昭和26年 (1951年)	○倶知安での第4回北海道高等学校バドミントン大会に名寄高校から男子5名、女子3名が参加し、それぞれ団体トーナメント戦に出場する。
昭和27年 (1952年)	○第4回北海道高等学校バドミントン大会兼第3回全日本高等学校羽球選手権大会北海道予選を名寄高校が当番高校で、7月19～20日、名寄高体育館（4コート）で開催した。 （生徒及び地域の人々に、バドミントンなるスポーツを見てもらい普及することが先決との中辻理事長の考えが大いに反映された。） ※名高体育館は、天井に横の梁がなく、バドミントン会場に、当時としては適していた。
昭和28年 (1953年)	○技術講習会（名寄中） 講師 平野芳太郎（道協理事） ○第1回北部北海道中学校対抗羽球選手権大会を開催　（名寄中体育館） ○第1回北部北海道バドミントン選手権大会を開催 一般、高校74名参加　（名寄高体育館）
昭和29年 (1954年)	○高体連旭川地区より名寄地区（和寒以北稚内まで）が分離独立した。※高体連では前年まで旭川地区
昭和30年 (1955年)	○第2代会長　鷲塚　三郎 就任 （名寄共立病院院長） ○第1回名寄町職域対抗バドミントン大会を開催する　（名寄公民館後援）
昭和31年 (1956年)	○第2代理事長　名取　昭 就任（名寄高校教諭） ○第8回全道高校選手権大会で、士別高校が団体男子第3位となる。（監督　大西　肇） ○第1回名寄市民バドミントン大会を開催する （市制祝賀協賛会、名寄放送局、新聞社4社の後援）
昭和33年 (1958年)	○士別バドミントン協会設立 会長　三和　敦、理事長　大西　肇 ○バドミントン技術、審判講習会（於名農高） 講師　奈良岡健三（道協理事長 全日本審判員 北大助教授） 島中　貞夫（北大 道内トップ選手）

年(西暦)	名寄地区バドミントン協会のあゆみ
昭和36年 (1961年)	○第1回高校新人バドミントン大会(個人戦のみ)
昭和37年 (1962年)	○バドミントン技術、審判講習会（於名女短附高） 講師　奈良岡健三（道協副会長） 平沢　寛（札東高教）
昭和38年 (1963年)	○第15回全道高等学校バドミントン選手権大会兼第14回全国高校選手権北海道予選会 6月28日～7月1日 当番校　名寄高校 会場　名寄高体育館（男子） 名寄女子高体育館（女子）
昭和39年 (1964年)	○第3代理事長　南　武 就任（名寄高校教諭） ○第16回全道高校選手権大会道北ブロックで、名寄高校が団体女子で優勝し、名寄地区から女子として初めて全国大会に出場する。 ・選手 村上　光子、菊地　桂子、山田　優子、谷　和子、大場　博子、滋野早代子、篠原美恵子、弓野　悦子（監督　南　武）
昭和41年 (1966年)	○第18回全道高校選手権大会道北ブロックで、名寄高校（監督　南　武）が団体女子で優勝、滋野早代子が個人単第2位、篠原美恵子が個人単第3位。 美深高校の神田みな子・酒井みどり組が個人複第2位（監督 渡辺 俊二）。それぞれ全国大会に出場する。
昭和43年 (1968年)	○第18回全道高校選手権大会で、名寄高校の太田真知子が個人単第2位で全国大会に出場する。
昭和44年 (1969年)	○北海道バドミントン協会20周年記念表彰 功労賞　鷲塚　三郎、故 角舘 俊郎 名取　昭、南　武、柴崎　孝範
昭和45年 (1970年)	○稚内バドミントン協会設立 会長　石塚　宗博、理事長　斉藤　修
昭和46年 (1971年)	○和寒町バドミントン協会設立 会長　大塚　勉、理事長　朝日　和義 ○第23回全道高校選手権大会 女子複　山本　尚子・小口　厚子（士別高）が第3位となる。（監督　吉田　善知）
昭和48年 (1973年)	○第4代理事長　本間　裕康 就任(名寄高校教諭) ○名寄地区バドミントン協会から、名寄市バドミントン協会が独立し、地区体育協会の加盟団体となる。 会長　鷲塚　三郎、理事長　柴崎　孝範

年(西暦)	名寄地区バドミントン協会のあゆみ
昭和51年 (1976年)	○第28回全道高等学校バドミントン選手権大会兼 第27回全国高校選手権道予選会を開催 当番校　名寄高校 名寄市スポーツセンター（８コート） ６月11日～14日
昭和52年 (1977年)	○第５代理事長　柴崎　孝範 就任 ○風連町バドミントン協会設立 会長　林　　勝臨 ○中川町バドミントン協会設立 会長　飯塚　義春 ○第１回名寄地区ママさんバドミントン親善大会 （於 名寄スポーツセンター 60名参加）を開催 荒島敏幸氏（道新名寄支局長）御夫妻の多大なご尽力により開催する。
昭和53年 (1978年)	○北海道バドミントン協会30周年記念表彰 特別功労賞　鷲塚 三郎、名取　昭 功労賞　三和　敦、野田　康則、西平　厳男、 松本　洋が受賞する ○第30回全道高校選手権大会道北ブロックで、中川高校の川端志穂美が個人単第２位で全国大会に出場する。（監督　柳沢　政利）
昭和54年 (1979年)	○第31回道民体育大会バドミントン競技会高校の部を開催する。当番校　名寄高校　選手250名 ５月12～13日　於 名寄市スポーツセンター
昭和55年 (1980年)	○美深町バドミントン協会設立 会長　吉田　実
昭和56年 (1981年)	○第３代会長　中村　稔 就任 （中村整形外科病院院長） ○名寄地区バドミントン協会創立30周年記念式典及びレセプション（11月７日 紅花会館） ○第29回北部北海道バドミントン選手権大会を開催（創立30周年記念大会） ○実業団Ａ級の電々北海道チーム（平山監督以下10名）を招き、技術講習会を開催 （名寄スポーツセンター、名農体育館） 地区内高校生200名が参加する。 伊勢　武 副会長のご尽力による。６月６・７日
昭和57年 (1982年)	○名寄地区バドミントン協会創立30周年記念誌発行（500部 88頁）３月発行 ○豊富町バドミントン協会設立 会長　鈴木　講二 ○第37回国民体育大会バドミントン競技北海道予選会を開催　稚内市　稚内市総合体育館 ○名寄市バドミントン少年団発足
昭和58年 (1983年)	○下川町バドミントン協会設立 会長　石谷　寛 ○剣淵町バドミントン協会設立 会長　西崎　則義

年(西暦)	名寄地区バドミントン協会のあゆみ
昭和59年 (1984年)	○第13回全道家庭婦人バドミントン競技大会２部で、名寄チーム優勝
昭和60年 (1985年)	○第５代理事長　松本　洋 就任 ○名寄地区高校強化合宿開催 33名参加、１月８～11日
昭和62年 (1987年)	○第16回全道家庭婦人バドミントン競技大会 ８月８・９日　於 名寄市スポーツセンター １部で名寄チームが第３位 始球試合（ダブルス）を行う　主審 小飼 栄一 小林純幸 荒島敏幸　組　２－３　島中玲子 中村　稔　組 本大会開催を記念して、名寄協会から名寄市にバドミントン競技用審判台８基を寄贈する。
昭和63年 (1988年)	○第40回全道高等学校バドミントン選手権大会兼第39回全国高校選手権道予選会、 当番校 稚内高校 ６月17日～20日　於 稚内市総合体育館 ○士別市バドミントン協会創立30周年記念式典 ９月25日
平成２年 (1990年)	○第８回北海道ジュニアバドミントン選手権大会兼第９回全日本ジュニア道予選会（名寄市開基90周年記念） ９月22～23日　於 名寄スポーツセンター ○名寄地区バドミントン協会　中村　稔 会長が㈱全日本バドミントン協会［顕讃賞］を受賞
平成３年 (1991年)	○稚内市バドミントン協会創立20周年記念式典 ９月25日
平成４年 (1992年)	○第24回北海道高等学校新人バドミントン大会兼全国高校選抜大会北北海道予選会を開催 １月10～12日　於 名寄市スポーツセンター
平成５年 (1993年)	○第26北海道中学校バドミントン大会（中体連） ８月７～９日　於 稚内市総合体育館で開催 ○第23回北海道教職員バドミントン選手権大会 10月16～17日　於 稚内市総合体育館で開催
平成６年 (1994年)	○第49回国民体育大会バドミントン競技北海道予選会を開催 ８月19～21日　於 名寄市スポーツセンター
平成９年 (1997年)	○第15回北海道中学生新人バドミントン選手権大会を開催 １月11～12日　於 名寄市スポーツセンター
平成10年 (1998年)	○第30回北海道高等学校新人バドミントン大会兼全国高校選抜大会北北海道予選会を開催 １月９～11日　於 名寄市スポーツセンター

名寄地区バドミントン協会役員

	昭和63年～	平成４年	平成５年	平成６年	平成７年	平成８年	平成９年
会長	中村　稔	中村　稔	中村　稔	中村　稔	中村　稔	中村　稔	中村　稔
副会長	名取　昭	名取　昭	名取　昭	名取　昭	名取　昭	名取　昭	名取　昭
〃	三和　敦	三和　敦	三和　敦	三和　敦	三和　敦	三和　敦	三和　敦
〃	石塚　宗博	石塚　宗博	石塚　宗博	石塚　宗博	石塚　宗博	石塚　宗博	佐藤　考策
〃	小川　太一	小川　太一	小川　太一	小川　太一	小川　太一	小川　太一	小川　太一
理事長	松本　洋	松本　洋	松本　洋	松本　洋	松本　洋	松本　洋	松本　洋
副理事長	永井　秀正	永井　秀正	永井　秀正	永井　秀正	永井　秀正	永井　秀正	永井　秀正
〃	佐藤　考策	佐藤　考策	佐藤　考策	佐藤　考策	佐藤　考策	佐藤　考策	佐藤　敏文
〃	佐藤　敏文	佐藤　敏文	佐藤　敏文	佐藤　敏文	佐藤　敏文	佐藤　敏文	斉藤　裕志
事務局長	平川　芳克	平川　芳克	平川　芳克	平川　芳克	平川　芳克	平川　芳克	平川　芳克
競技委員長	野田　康則	野田　康則	仁木　茂則	仁木　茂則	仁木　茂則	仁木　茂則	仁木　茂則
審判委員長	松下　松実	松下　松実	野田　康則	野田　康則	岩井　則継	岩井　則継	岩井　則継
強化委員長	柳沢　政利	野川　強	野川　強	野川　強	河野　晃	原　拓也	原　拓也
監査委員	吉田　卓爾	吉田　卓爾	吉田　卓爾	吉田　卓爾	後藤　宏三	後藤　宏三	後藤　宏三
〃	石谷　寛	石谷　寛	石谷　寛	石谷　寛	石谷　寛	石谷　寛	石谷　寛

名寄地区協会の現状と展望について

名寄地区バドミントン協会　副会長　名　取　　昭

1988年発刊の道協会創立40周年記念誌の中で、名寄地区協会中村会長は、社会的現実を直視し、地区の柱として、家庭婦人の充実と少年団の育成強化を強調された。これは昭和56年会長就任時の方針であった、①地区協会組織の整備、②底辺の拡大、③有望選手の育成を、現状にあわせて集約したものである。

即ち、①について、現在地区協会傘下に10協会（和寒、剣淵、士別、風連、名寄、下川、美深、中川、豊富、稚内）を擁しているが、財政的にもほぼ安定し、全道大会規模の大会も、道協会の協力を得ながら、名寄、士別、稚内などで殆ど毎年消化できるまでになった。このことが地区内バドミントンの普及と競技人口の増加に寄与していることは喜ばしい。

②については、主に傘下協会の家庭婦人層の拡充と、少年団の育成に主眼を置くと共に、資金造成のためのパーティを開くなどして、財政での援助にも心掛けた結果、ある程度の成果を収めているものの、尚一層の充実が望まれる。

③については、昭和56年の電々北海道チームのご協力のもとでの技術講習会をはじめ、昭和60年のヨネックスの西村修氏の招いての高校バドミントン強化練習など、殆ど毎年のように、中学生も含めての合宿練習を行うなど、成果も徐々にあがっているが、所謂有望選手を輩出するまでには至っていない。

今後の問題点

(1)　組織・運営について

当地区は、和寒以北稚内までの広大な地域にも拘わらず、近年特に過疎化が進み、それに少子化減少も加わって、今後若年層の減少が明らかである。また、国鉄民営化に伴う傘下協会役員の著しい減少と老齢化、更には、若手後継者の確保が益々難しくなってきている。このことが、傘下協会役員個々の大会をはじめ、地区協会担当の全道大会を開催するに当たって、大きな障害となっている。中でも審判員の不足は深刻である。更に、全道規模の大会の引き受けても、その数を減らざるを得ないのではないかと思われる。これは道協段階でも検討事項の一つとなるであろう。

(2)　競技人口について

上記①でも触れたが、当地区の過疎化はいかんともし難く、その中にあって、いかに一人でも多くのバドミントン愛好者を増やすか、また、身近に目標となるべき有望選手をどのように育てるかが、最大且つ緊急な問題である。特に家庭婦人や一般愛好者をどのように協会に結集していくかが、大きな課題となろう。

以上の如く、地区協会としては種々問題を抱えながらも最終的には、バドミントンに関わる一人一人が、協会の発展をめざして、忍耐強く仲間を育て増やしていく心構えをもち、実践していく以外に道は無いと思われる。



お祝いのことば

十勝バドミントン協会
会長　杉山昭彦

北海道バドミントン協会の創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

協会創立時の昭和23年（1948年）といえば、我が国が対戦の痛手からようやく復興へと歩みだした頃であり、平和が訪れたといっても、すべてにものが不足し食べることに精一杯という時代でありました。このような時、明るい未来をスポーツに求めて、バドミントン協会という新組織をつくりあげられた関係の方々の努力と情熱に深く敬意を表したいと思います。

体育施設・用具さらに交通や通信手段などどれをとっても今とは比較にならない貧弱な状況の中での関係者による並々ならぬ努力と熱意によってバドミントンは普及し、十勝においても、昭和23年に道協会理事長であった佐藤保氏をはじめとする講師陣によって早くも技術講習会が開催されたことが記録されております。これを機に十勝においてもバドミントンは急速に普及し、翌昭和24年に十勝バドミントン協会が創立されました。

北海道バドミントン協会に遅れること１年にして道東の十勝においても協会の組織化と競技の普及への道が開かれたことは、多くの技術講習会をはじめとする道協会によるご指導のたまものと感謝いたしている次第です。

私事で恐縮ですが、私は十勝バドミントン協会が創立された年に高校に入学しております。道協会による技術講習会を受講したことや、昭和25年に帯広で開催された第２回全道高校バドミントン大会の会場づくりを、若き熱血教師であった小林純幸先生のもとで手伝ったことなどが思い出されます。

競技人口の増加に伴い今やバドミントンは生涯スポーツとしての地位を獲得しておりますが、これも協会創立時の各位の先見とそれを引き継ぎ発展に貢献された道協会関係の皆様のご尽力によるものと敬意を表す次第です。

おわりに北海道バドミントン協会の今後ますますの発展と地崎会長をはじめ関係の皆様のご健勝を祈念し、十勝バドミントン協会を代表してのお祝いのことばといたします。

十勝バドミントン協会年表

年(西歴)	あゆみ（個人戦は高体連・中体連の優勝のみ）
昭和24年 (1949)	十勝バドミントン協会の創立 初代会長に　宮坂寿美雄（建設業） 初代理事長に 山黒　政則（北海道新聞社） その他発起人 平野芳太郎（帯広柏葉高校） 木村　敏二（文明堂眼鏡店） 第１回全道高校バドミントン大会に柏葉高校出場
昭和25年 (1950)	第２回全道高校バドミントン大会を帯広柏小で開催 三条高校、大谷高校にクラブ誕生 第１回十勝地区高校バドミントン大会開催 理事長に平野芳太郎（帯広柏葉高校）
昭和27年 (1952)	会長に大野重興（帯広神社） 理事長に木村敏二（文明堂眼鏡店）
昭和28年 (1953)	第５回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校女子チーム準優勝
昭和29年 (1954)	理事長に小林純幸（帯広三条高校） 第６回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校男子チーム３位
昭和30年 (1955)	第７回全道バドミントン高校大会において 帯広三条高校男子チーム優勝
昭和32年 (1957)	第９回全道高校バドミントン大会において 芽室高校女子チーム準優勝
昭和33年 (1958)	第10回全道高校バドミントン大会において 芽室高校女子チーム優勝 帯広三条高校男子チーム準優勝 女子単 間宮(芽室)　女子複 間宮・児玉(芽室) 全国高校大会　女子単 準優勝　間宮(芽室)
昭和34年 (1959)	第11回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校男子チーム優勝 帯広大谷高校女子チーム優勝 男子単 竜瀬(三条)　男子複 竜瀬・竹中(三条) 女子単 竹島(芽室)　女子複 竹島・安田(芽室) 全国大会で帯広三条高校男子チーム準優勝
昭和35年 (1960)	第12回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校男子チーム準優勝 帯広大谷高校女子チーム準優勝 男子単 江添(三条)　男子複 江添・中村(三条)
昭和36年 (1961)	第13回全道高校バドミントン大会を帯広で開催 （会場　帯広大谷高校、帯広第四中学校） 帯広三条高校男子チーム準優勝 帯広大谷高校女子チーム準優勝 男子単 中村(三条)　男子複 中村・松浦(三条)
昭和37年 (1962)	第14回全道高校バドミントン大会において 芽室高校女子チーム準優勝 男子複 安宅・林（三条） 第１回十勝毎日新聞社杯争奪大会大会開催 第１回中体連バドミントン大会開催
昭和38年 (1963)	第15回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校男子チーム優勝 芽室高校女子チーム準優勝 男子単 福島（三条）　男子複 福島・林（三条） 全国大会で帯広三条高校男子チーム第３位
昭和40年 (1965)	第17回全道高校バドミントン大会において 芽室高校女子チーム準優勝 男子単 大竹(三条)　男子複 伊藤・宗宮(三条)
昭和41年 (1966)	第18回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝 男子単 中村(帯農)　男子複 伊勢・宗宮(三条) 理事長に横山敏（帯広大谷高校） 第１回高校新人バドミントン大会開催
昭和42年 (1967)	第19回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝 理事長に赤川賢二（帯広農業高校）
昭和44年 (1969)	第21回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム準優勝 新得高校女子チーム準優勝
昭和45年 (1970)	第１回全道中学校バドミントン大会において 帯広第三中学校男子チーム準優勝
昭和46年 (1971)	第23回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝 新得高校女子チーム優勝 女子単 小山田(大谷)　男子複 松田・斉藤(新得) 第２回全道中学校バドミントン大会において 帯広第五中学校男子チーム優勝
昭和47年 (1972)	第24回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝 帯広大谷高女子チーム準優勝 女子単 日山（大谷） 第３回全道中学校バドミントン大会において 帯広第四中学校男子チーム準優勝 帯広第五中学校女子チーム準優勝 第１回東北海道バドミントン大会開催
昭和48年 (1973)	第25回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝　柏葉高校３位 帯広大谷高校女子チーム優勝　新得高校３位 女子単 日山(大谷)　女子複 石沢・八木(新得) 第４回全道中学校バドミントン大会において 帯広第五中学校男子チーム優勝 第28回国体道予選会開催

年(西歴)	あゆみ（個人戦は高体連・中体連の優勝のみ）
昭和49年 (1974)	第26回全道高校バドミントン大会において 帯広三条高校男子チーム優勝 帯広大谷高校女子チーム優勝 男子複 三上・松岡（柏葉） 女子複 高谷・高橋（大谷） 道民体育大会高校の部バドミントン大会開催 会長に木村敏二（文明堂眼鏡店） 第１回全十勝会長杯争奪選手権大会開催
昭和50年 (1975)	第27回全道高校バドミントン大会開催（柏葉高校） 帯広柏葉高校男子チーム優勝　帯農高校３位 男子単 菅野（柏葉）
昭和52年 (1977)	第29回全道高校バドミントン大会において 帯広柏葉高校男子チーム優勝 男子複 後藤・堀（柏葉） 第８回全道中学校バドミントン大会において 帯広第三中学校男子チーム準優勝 道民体育大会高校の部バドミントン大会開催 第１回十勝ママさんバドミントン大会開催
昭和53年 (1978)	第30回全道高校バドミントン大会において 帯広柏葉高校男子チーム優勝　帯農高校３位 男子複 高崎・涌井（帯農）
昭和54年 (1979)	十勝バドミントン協会創立30周年記念式典 国民体育大会道予選会開催 第31回全道高校バドミントン大会において 男子複 竹部・常通（帯農） 男子単 竹田(柏葉)　女子単 藤本(三条)
昭和55年 (1980)	第32回全道高校バドミントン大会において 帯広農業高校男子チーム優勝（全国５位） 男子複 小森・駒込（柏葉） 女子複 志村・竹中（大谷） 第11回全道中学校バドミントン大会において 男子単 髙田（帯一中） 全道バドミントンジュニアキャンプ開催
昭和56年 (1981)	ユーバー杯日本女子ナショナルチーム帯広で合宿 第１回ＮＣ杯婦人バドミントン大会開催 十勝協会初代事務局長に上山功夫（帯広柏葉） 第33回全道高校バドミントン大会において 男子複 駒井・宮下（柏葉）
昭和57年 (1982)	第４回バドミントン日本リーグを帯広市で開催 第13回全道中学校バドミントン大会において 帯広西陵中学校男子チーム準優勝 第34回全道高校バドミントン大会において 男子単 宮下（柏葉） 高校選抜大会 女子団体優勝 帯広大谷高校
昭和58年 (1983)	理事長に上山功夫（帯広柏葉高校） 事務局長に山越　学（帯広柏葉高校）
昭和59年 (1984)	第12回全道高校選抜大会開催 男団優勝 帯広緑陽高 第36回全道高校大会開催 女子単 赤川（帯農） 第１回ビギナーバドミントン大会開催 中体連 女子複 岩崎・田中（陸別）
昭和60年 (1985)	第16回全道中学校バドミントン大会において 陸別中女子チーム優勝 全国中学校大会 男子単準優勝 横山（陸別） 女子複３位 岩崎・田中（陸別） 第１回十勝教職員大会開催 理事長に森田精一（帯広大谷高校）
昭和61年 (1986)	第40回国民体育大会北海道予選会を池田町で開催 全国高校選抜大会（沖縄）に視察団派遣
昭和62年 (1987)	第15回全国高校選抜バドミントン大会開催
昭和63年 (1988)	第６回全道中学新人バドミントン競技研修会開催 第１回ビギナーバドミントン大会男子の部を開催
平成元年 (1989)	十勝バドミントン協会創立40周年記念式典 第44回国民体育大会北海道予選会を開催 第20回全道中学校バドミントン大会開催 高校選抜大会 女子団体優勝 帯広大谷高校 事務局長に山田和雄（帯広緑陽高校） 副会長 赤川賢二 帯広体育連盟功労賞 受賞
平成２年 (1990)	北海道・カナダアルバータ州親善バドミントン大会を芽室町を中心にして開催 第43回北海道選手権大会開催（帯広総合体育館）
平成３年 (1991)	第20回北海道家庭婦人大会開催（帯広総合体育館） 副会長 橋本裕子 帯広体育連盟功労賞 受賞
平成４年 (1992)	第23回北海道教職員大会開催（帯広の森体育館） 事務局長に桑原芳弘（帯広工業高校）
平成５年 (1993)	第22回東北海道大会開催（帯広の森体育館）
平成６年 (1994)	第13回北海道小学生大会開催（帯広総合体育館）
平成７年 (1995)	第１回ビーズ杯オープンバドミントン大会開催 第１回全十勝小学生バドミントン芽室大会開催 会長 杉山昭彦 帯広体育連盟功労賞 受賞
平成８年 (1996)	第15回ジュニアバドミントン大会開催 第28回高校新人バドミントン大会開催
平成９年 (1997)	第50回北海道バドミントン選手権大会開催 副会長 鈴木康昭 帯広体育連盟功労賞 受賞

十勝バドミントン協会役員一覧表［最近10年間］

役職	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
会長	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦	杉山 昭彦
副会長	鈴木 康昭 赤川 賢二 横山 真 小林 賢治	鈴木 康昭 横山 敏 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子	鈴木 康昭 横山 敏 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子 上山 功	鈴木 康昭 横山 敏 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子	鈴木 康昭 横山 敏 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子	鈴木 康昭 横山 敏 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子	鈴木 康昭 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子 高田 喜純	鈴木 康昭 赤川 賢二 小林 賢治 橋本 裕子 高田 喜純	鈴木 康昭 赤川 賢二 高田 喜純	鈴木 康昭 赤川 賢二 高田 喜純
顧問	中村現三郎 北岡 和雄 （参与） 金沢 清利	中村現三郎 北岡 和雄	中村現三郎 北岡 和雄 加来 義行	雲中 康明 上山 功 北岡 和雄 加来 義行	雲中 康明 北岡 和雄 加来 義行	雲中 康明 北岡 和雄 加来 義行	雲中 康明 北岡 和雄 加来 義行	岡部 理丸 北岡 和雄 加来 義行	岡部 理丸 北岡 和雄 加来 義行 小林 賢治 橋本 裕子 永井 繁樹	岡部 理丸 北岡 和雄 加来 義行 小林 賢治 橋本 裕子
理事長	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一	森田 精一
副理事長	高田 喜純	高田 喜純	高田 喜純	高田 喜純	高田 喜純	高田 喜純	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一 永井 繁樹 三上 英樹
事務局長	山越 学	山田 和雄	山田 和雄	山田 和雄	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘
競技委員長		桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	青木 実	青木 実	青木 実	青木 実	青木 実	青木 実
財務委員長		竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男	竹腰 三男
記録委員長		加藤 克洋	加藤 克洋	加藤 克洋	山越 学	山越 学	山越 学	山越 学	山越 学	山越 学
審判委員長		青木 実	青木 実	青木 実	山田 和雄	山田 和雄	吉沢 敦	吉沢 敦	吉沢 敦	吉沢 敦
強化委員長	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一		水崎 忍	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	水崎 忍	水崎 忍
副委員長								水崎 忍	花井 豊	花井 豊
高校部長	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	桑原 芳弘	伊藤 建夫	伊藤 建夫	伊藤 建夫	伊藤 建夫	伊藤 建夫	伊藤 建夫
高校部	山越 学、伊藤 建夫 竹腰 三男、田沢 孝一 山田 和雄、田中 裕幸 加藤 克洋、村瀬 真 青木 実、高柳 勤 遠藤 昌史		伊藤 建夫、田沢 孝一 田中 裕幸、飯田 潔 高柳 勤、吉沢 敦		高柳 勤、田沢 孝一 田中 裕幸、田代 浩司 吉沢 敦、佐藤 和夫		佐藤 和夫、田沢 孝一 高柳 勤、田代 浩司 中川 伸吾		佐藤 和夫、森田 昌明 高柳 勤、田代 浩司 中川 伸吾	
中学部長	工藤 英寿	工藤 英寿	山崎 一裕	山崎 一裕	斉藤 新一	斉藤 新一	斉藤 新一	斉藤 新一	花井 豊	花井 豊
中学部	花井 豊、笠井 武英 後出 晃治、神田 仁郎 村田 歩		工藤 英寿、桑原 昭夫 後出 晃治、神田 仁郎 村田 歩		工藤 英寿、桑原 昭夫 後出 晃治、神田 仁郎 菊池ひろみ、銭谷 寿史		工藤 英寿、桑原 昭夫 後出 晃治、菊池ひろみ 銭谷 寿史		工藤 英寿、斉藤 新一 後出 晃治、竹島 浩 銭谷 寿史、北口 陽子 嶋 健	
社会人部長	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	大竹 憲一	福島 一雄	福島 一雄	福島 一雄
社会人部	西川 広志、福島 一雄 松岡 義文、青山 和彦 山本 直美、板矢 豊 水崎 忍、吉田 孝志 千葉 正幸、山後 雅嗣 吉岡ひろみ、山本 学 白畑 和範		福島 一雄、青山 和彦 板矢 豊、吉岡ひろみ 西川 広志、水崎 忍 赤川 祐子、山後 雅嗣 永井 繁樹、今村 由美 山本 学、白畑 和範		福島 一雄、青山 和彦 板矢 豊、今村 由美 西川 広志、水崎 忍 玉田 晃一、山後 雅嗣 永井 繁樹、山口 真由 山本 学、白畑 和範		福島 一雄、青山 和彦 板矢 豊、今村 由美 西川 広志、水崎 忍 玉田 晃一、山後 雅嗣 永井 繁樹、山口 真由 山本 学、白畑 和範 西村 文雄、高道 昭夫 渡辺 浩二		青山 和彦、西村 文雄 高道 昭夫、渡辺 浩二 山後 雅嗣、矢野 徹雄 板矢 豊、平間 静也 山本 学、白畑 和範	
婦人部長	成田 栄子	成田 栄子	成田 栄子	成田 栄子	成田 栄子	成田 栄子	大竹 京子	大竹 京子	大竹 京子	大竹 京子
婦人部	角田美千子、須田みどり 大竹 京子、雪田 靖子 川村 悦子		角田美千子、大竹 京子 山下 典子、馬渕八重子 須田みどり、五十川秀子 雪田 靖子、高島 弘美 川村 悦子、西山 幸子		大竹 京子、五十川秀子 山下 典子、馬渕八重子 須田みどり、山本 直美 雪田 靖子、高島 弘美 川村 悦子、西山 幸子		雪田 靖子、五十川秀子 須田みどり、馬渕八重子 川村 悦子、山本 直美 高島 弘美、田中 明美 山下 典子、西山 幸子		雪田 靖子、五十川秀子 須田みどり、山下 典子 川村 悦子、山本 直美 野代 弘子、田中 明美 高島 弘美、西山 幸子	
普及委員長	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二	赤川 賢二
副委員長			宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功
少年団部長			宮本 千鈴	宮本 千鈴	山後 雅嗣	山後 雅嗣	宮本 功	宮本 功	宮本 功	宮本 功
少年団部			森田 敏子		小浜 一美		川元 孝行、高橋 恵子 山後 雅嗣、村下 吉男 西川 広志		川元 孝行、高橋 恵子 山後 雅嗣、吉田 祥子 西川 広志	
会計監査	飯島 敏克 加来 義行	飯島 敏克 加来 義行	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 成松 穂	飯島 敏克 佐々木勝敏	飯島 敏克 佐々木勝敏



創立50周年を期に

釧根地区バドミントン協会
会長 伊東良孝

北海道バドミントン協会の50周年を心よりお慶び申し上げますと共に、これまで協会の発展のためにご尽力いただきました先輩諸兄並びに役員各位に深く感謝を申し上げる次第でございます。

昨年の春より釧根地区バドミントン協会の会長にさせて頂きまして、2年目を迎えたところでありますが、今まで地味な競技と思っておりましたバドミントンの試合を見させていただき、緩急を付けた試合のかけひきに改めて感動を覚えたところであります。

少年から一般まで、はば広い年齢層で親しまれているバドミントンを通して、学校教育、社会的教育の一端をにない、また、釧根地区の選手・審判員のレベルアップが北海道協会の益々の発展につながると信じているところであります。

この50周年を期に、新たな一歩を踏み出すつもりで選手・役員が一丸となって邁進する所存であります。

どうか協会の今後益々の発展のために、関係各位のご支援とご協力を心よりお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

釧根地区バドミントン協会のあゆみ

昭和25年　第２回北海道高等学校選手権大会に
　　釧路湖陵高校、釧路江南高校が初出場
昭和26年　釧根地区バドミントン協会設立
昭和29年　第６回北海道高等学校選手権大会で
　　釧路湖陵高校が男子団体ベスト４進出
昭和30年　第７回北海道高等学校選手権大会で
　　釧路江南高校が女子団体で準優勝なる
昭和31年　第８回北海道高等学校選手権大会が釧路江南高校で開催される
　　男子複 準優勝　吉田・深谷（釧江南）
　　男子単 準優勝　服部 幸和（釧湖陵）
昭和32年　第９回北海道高等学校選手権大会
　　男子団体 準優勝　釧路江南高校
　　男子複 準優勝　吉田・深谷（釧江南）
　　男子単 準優勝　吉田 鉄男（釧江南）
昭和38年　会　長　望月 節雄
昭和41年　会　長　望月 節雄　　理事長　鈴木 康昭
昭和43年　新役員スタートする
　　会　長　望月 節雄　　副 会 長　中村　隆
　　理事長　斎藤 嘉輝　　事務局長　鈴木 康昭
　　第20回北海道高等学校選手権大会開催される
昭和45年　第22回北海道高等学校選手権大会
　　女子団体 第３位　釧路星園高校
昭和47年　第24回北海道高等学校選手権大会
　　男子団体 準優勝　釧路商業高校定時制
　　男子複 優　勝　望月・荒木（釧商定）
　　望月・荒木（釧商定）国体北海道代表選手
昭和49年　第26回北海道高等学校選手権大会
　　男子団体 第３位　釧路江南高校
　　男子単 準優勝　幸坂（釧江南）
　　第29回国体北海道予選会
　　少年女単 第３位　鈴木（釧商定）
　　第３回北海道高校新人選手権大会
　　男子複 第３位　吉田・三谷（釧商定）
　　女子複 優　勝　結城・三本（釧　商）
　　第３位　五の井・根岸（釧商定）
　　女子単 優　勝　結城（釧　商）
　　準優勝　村山（釧　商）
　　第３位　長根（釧　商）
昭和50年　役員改選　　会　長　望月 節雄
　　副会長　中村　隆、天神 和夫
　　理事長　坂上　満　副理事長　岩崎 俊幸
　　事務局長（副理事長）　斎藤 嘉輝
　　第27回道民大会（高校の部）
　　男子単 第３位　吉田（釧商定）
　　男子複 第３位　吉田・三谷（釧商定）
　　女子単 優　勝　結城（釧商）
　　準優勝　三本（釧商）
　　第３位　長根（釧商）　村山（釧商）
　　女子複 優　勝　結城・三本（釧商）
　　準優勝　長根・村山（釧商）
　　第３位　五の井・根岸（釧商定）
　　第27回道民大会（一般の部）
　　男子二部単 優　勝　貝塚（釧路市役所）
　　男子二部複 準優勝　藤井・荒木（釧路市役所）
　　第27回北海道高等学校選手権大会
　　女子団体 優　勝　釧路商業高校
　　女 子 複 優　勝　結城・三本（釧商）
　　第３位　長根・村山（釧商）
　　女 子 単 優　勝　三本（釧商）
　　男 子 単 第３位　吉田（釧商定）
　　第30回国体北海道予選会
　　男子単 優　勝　吉田（釧商定）
　　第３位　三谷（釧商定）
　　男子複 準優勝　吉田・三谷（釧商定）
　　第３位　藤井・横山（釧商定）
　　女子単 優　勝　結城（釧商）
　　準優勝　三本（釧商）
　　第３位　村山（釧商）
　　女子複 優　勝　結城・三本（釧商）
　　準優勝　長根・村山（釧商）
　　国体北海道代表　吉田、三谷、結城、三本、村山
　　第４回北海道高校新人戦開催（厚生年金体育館）
　　男子複 優　勝　吉田・三谷（釧商定）
　　第３位　藤井・横山（釧商定）
　　男子単 優　勝　吉田（釧商定）
　　準優勝　三谷（釧商定）
　　第３位　横山（釧商定）
　　女子複 優　勝　五の井・根岸（釧商定）
　　女子単 優　勝　五の井（釧商定）
　　準優勝　根岸（釧商定）
　　第３位　河合（釧商）
　　第６回北海道教職員選手権開催（厚生年金体育館）
昭和51年　第28回道民大会（高校の部）
　　男子複 優　勝　吉田・三谷（釧商定）
　　第３位　藤井・横山（釧商定）
　　男子単 優　勝　吉田（釧商定）
　　第３位　横山（釧商定）
　　第28回北海道高等学校選手権大会
　　団体戦男女共　釧路商業高校定時制が制す
　　男子複 優　勝　吉田・三谷（釧商定）
　　男子単 準優勝　三谷（釧商定）
　　男子単 第３位　吉田（釧商定）
　　女子複 第３位　門脇・石浦（釧星園）
　　女子単 優　勝　吉田（釧商）
　　第５回北海道高校新人戦
　　男子単 優　勝　佐々木（釧商）
昭和52年　第29回北海道高等学校選手権大会
　　男子単 優　勝　佐々木（釧商）
　　女子単 準優勝　大庭（釧商定）
　　第６回北海道高校新人戦
　　女子単 優勝 大庭（釧商定）＊全国大会準優勝
昭和53年　役員改選　副理事長新任　藤井 達也
　　事務局長新任　西田 昭紘（事務局が釧路市役所）

昭和54年　第８回北海道高校新人戦
　男子団体 第３位　釧路短大付属高校
昭和55年　役員改選　会　長　望月 節雄
　副 会 長　中村　隆、天神 和夫、金崎 清三
　理 事 長　坂上　満
　副理事長　尾張 健一、佐々木源範
　事務局長　谷口 秀生（事務局が釧湖陵高）
昭和57年　第34回道民大会(高校)開催（厚生年金体育館）
　男子複 第３位　森・鈴木（釧湖陵）
　女子複 第３位　小松・村田（釧星園）
　第34回北海道高等学校選手権大会
　男子単 第３位　森（釧湖陵）
　第13回北海道教職員選手権
　男30才複 準優勝　谷口（湖陵）・福田（短附）
昭和58年　役員改選　会　長　浪岡 義雄
　副 会 長　中村　隆、天神 和夫
　理 事 長　坂上　満
　副理事長　尾張 健一、佐々木源範
　事務局長　谷口 秀生
　第35回北海道高等学校選手権大会
　女子単 優　勝　杉山（釧星園）
　第14回北海道教職員選手権
　男30才複 準優勝　谷口（湖陵）・福田（短附）
昭和59年　第３回北海道中学新人研修会
　男子単 優　勝　工藤（釧路武佐中）
昭和60年　第16回北海道中学校大会（中体連）
　男子単 第３位　工藤（釧路武佐中）
　第16回北海道教職員選手権開催（厚生年金体育館）
　第４回北海道中学新人研修会
　女子単 第３位　長谷川（釧桜が丘中）
昭和62年　役員改選　副理事長新任　天神 正人
　第39回北海道高等学校選手権大会
　女子単 準優勝　木村（釧湖陵）
　第５回北海道ジュニア選手権大会
　女子単 準優勝　長谷川（釧星園）
昭和63年　第40回北海道高等学校選手権大会
　女子団体 第３位　釧路星園高校
　女子複 第３位　坂本・宮部（釧星園）
　女子単 準優勝　長谷川（釧星園）
　第21回北海道高校新人大会
　女子単 第３位　長谷川（釧星園）
平成元年　役員改選　副会長新任　佐々木源範
　副理事長新任　森　義治
　第41回北海道高等学校選手権大会開催
　当番校　釧星園高（厚生年金体育館、他）
　女子団体 優　勝　釧路星園高校
　女子複 準優勝　長谷川・梅岡（釧星園）
　女子単 優　勝　長谷川（釧星園）
　第３位　向山（釧星園）
　第７回全日本ジュニア道予選会
　中新男単 準優勝　高橋（釧路Ｊ）
　中新女単 第３位　長谷川（釧路Ｊ）
平成２年　釧根地区バドミントン協会創立40周年をむかえる
　８月18日 記念式典を行う(パシフィックホテル)
　第45回国民体育大会北海道予選会開催
　第９回北海道小学生大会
　女子複 第３位　池田・元木（釧路Ｊ）
　女子単 第３位　長谷川(釧路Ｊ) 坂崎(釧路Ｊ)
　第８回全日本ジュニア道予選会
　女子単 第３位　高橋(釧路Ｊ) 長谷川(釧路Ｊ)
平成３年　役員改選　副会長新任　細田　勲
　第10回北海道小学生大会
　男子複 優　勝　岩渕・小関（釧路Ｊ）
　女子単 優　勝　元木（釧路Ｊ）
　第９回全日本ジュニア道予選会
　中新男単 第３位　斎藤（釧桜が丘中）
　中新女単 第３位　高橋（釧教大附中）
平成４年　第10回全日本ジュニア道予選会開催（厚金体育館）
　第11回北海道小学生大会
　男子単 優　勝　元木（釧路Ｊ）
　第23回北海道中学校大会（中体連）
　男子単 第３位　斎藤（釧桜ヶ丘中）
平成５年　役員改選　副会長新任　和田　仁（和田整形）
　第24回北海道中学校大会（中体連）
　男子複 準優勝　小関・岩渕（釧緑陵中）
　第11回全日本ジュニア道予選会
　中新女単 優　勝　元木（釧東中）
　第12回北海道中学新人大会
　男子複 準優勝　小関・岩渕（釧緑陵中）
　女子単 第３位　元木（釧東中）
平成６年　役員改選　新会長に 佐々木 源範（専門学校長）
　副 会 長　天神 和夫、和田　仁、細田　勲
　理 事 長　坂上　満
　副理事長　尾張 健一、森　義治、天神 正人
　事務局長　谷口 秀生
　第25回北海道中学校大会（中体連）
　男子団体 第３位　釧路緑陵中学校
　男子複 優　勝　小関・岩渕（釧緑陵中）
　女子単 第３位　元木（釧東中）
　第25回北海道教職員選手権開催（厚生年金体育館）
　第13回北海道中学新人大会
　男子単 準優勝　元木（釧東中）
　女子単 準優勝　松永（釧共栄中）
平成７年　第26回北海道中学校大会（中体連）
　男子単 準優勝　元木（釧東中）
　女子単 第３位　松永（釧共栄中）
　第14回北海道中学新人大会開催（釧路町体育館）
　釧路ジュニアクラブ創立10周年を迎える
平成８年　役員改選 新会長に 伊東 良孝(道議会議員)
　副 会 長　和田　仁、天神 和夫、森　義治、
　蝦名 大也
　理 事 長　尾張 健一
　副理事長　福田 康男、山本裕子、天神 正人
　事務局長　谷口 秀生
　第27回北海道中学校大会（中体連）根室市開催
平成９年　第16回北海道小学生大会開催（釧路町体育館）

釧根地区バドミントン協会年度別役員一覧表

	昭和60～61年	昭和62～63年	平成元～２年	平成３～４年	平成５年	平成６～７年	平成８～９年
名誉会長	望月　節雄	望月　節雄	望月　節雄	望月　節雄			
会長	浪岡　義雄	浪岡　義雄	浪岡　義雄	浪岡　義雄	浪岡　義雄	佐々木源範	伊東　良孝
副会長	中村　隆	中村　隆	中村　隆	中村　隆	中村　隆	天神　和夫	天神　和夫
〃	天神　和夫	天神　和夫	天神　和夫	天神　和夫	天神　和夫	和田　仁	和田　仁
〃			佐々木源範	佐々木源範	和田　仁	細田　勲	森　義治
〃				細田　勲	佐々木源範		蝦名　大也
〃					細田　勲		
〃							
〃							
理事長	坂上　満	坂上　満	坂上　満	坂上　満	坂上　満	坂上　満	尾張　健一
副理事長	佐々木源範	尾張　健一	尾張　健一	尾張　健一	尾張　健一	尾張　健一	天神　正人
〃	尾張　健一	天神　正人	天神　正人	天神　正人	森　義治	森　義治	福田　康男
〃	岩崎　俊幸	佐々木源範	森　義治	森　義治	天神　正人	天神　正人	山本　裕子
事務局長	谷口　秀生	谷口　秀生	谷口　秀生	谷口　秀生	谷口　秀生	谷口　秀生	谷口　秀生
事務次長	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎					
〃	宮尾　輝雄	宮尾　輝雄					
総務委員長	谷口　秀生	谷口　秀生	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎
副委員長	佐々木祐一郎	佐々木祐一郎	大庭　弘	大庭　弘	大庭　弘	大庭　弘	大庭　弘
〃	宮尾　輝雄	宮尾　輝雄					
競技委員長	福田　康男	福田　康男	福田　康男	福田　康男	福田　康男	福田　康男	飯島　範雄
副委員長	天神　正人	古閑　俊和	吉田　茂徳	吉田　茂徳	稲沢　博志	飯島　範雄	森　浩一
〃	藤井　範彦		稲沢　博志	稲沢　博志	飯島　範雄	森　浩一	道見　和幸
審判委員長	武田　茂則	武田　茂則	武田　茂則	尾張　健一	尾張　健一	尾張　健一	尾張　健一
副委員長	細田　勲	細田　勲	南　正司	雑賀　重二	雑賀　重二	藤丸　清規	藤丸　清規
〃				南　正司	南　正司	堤　伸弘	堤　伸弘
〃							
指導普及委員長	吉田　茂徳	吉田　茂徳	道見　和幸	道見　和幸	工藤　洋子	工藤　洋子	中村　洋子
副委員長	荒木　英男	荒木　英男	工藤　洋子	工藤　洋子	小山　浩慶	古閑　俊和	古閑　俊和
〃	門馬　秀	山本　裕子	中島　武士			石井　昇	石井　昇
〃	池田　勲	高橋　富子				上本　公一	上本　公一
選手強化委員長	吉田　茂徳	道見　和幸	川上　豊治	中村　睦宏	道見　和幸	中村　睦宏	中村　睦宏
副委員長	荒木　英男	川上　豊治	高橋　富子	氏家　瞬	中村　睦宏	氏家　瞬	氏家　瞬
〃	道見　和幸	南　正司	森　浩一	森　浩一	氏家　瞬	首藤　正光	首藤　正光
表彰委員長							
副委員長							
〃							
監査委員	雑賀　重二	雑賀　重二	池田　勲	池田　勲	池田　勲	池田　勲	池田　勲
〃	中野　隆義	池田　勲	瀬川　貴司	瀬川　貴司	瀬川　貴司	瀬川　貴司	瀬川　貴司



北海道バドミントン協会
創立50周年を祝して

北見地区バドミントン協会
会長 波岡清治

北海道バドミントン協会創立50周年、まことにおめでとうございます。「50年」言葉でいうのは簡単ですが、創立より今日までの50年の足取りはそう平坦ではなかったことと思います。その険しい歴史の中で、創立より協会の運営にたずさわってきた役員の方々、また現在の役員の方々に対し、衷心より敬意を表します。

高齢化社会を迎えた現在、社会体育の必要性は益々大きくなっております。その中で、各スポーツ団体の果たすべき役割は今後なお重要なものとなってくることでしょう。

この時にあたり、北海道バドミントン協会が、地崎会長のもとに結束し、各地区協会との連携のもとに力強く前進しているのを見るのはまことに喜ばしいことです。

当北見地区バドミントン協会も昭和51年に設立して以来、北海道バドミントン協会、各地区協会の御指導、御援助によって曲がりなりにも何とか存続してくることができました。御陰様で現在は3市、11町の協会が傘下に入り活動を続けております。これも偏に北海道バドミントン協会、各地区協会の御指導、御援助の賜と感謝しております。

北海道バドミントン協会が今後共益々その指導力を遺憾なく発揮し、各地区協会と一致協力し、北海道のバドミントンの底辺拡大と競技力向上に努力を重ねて、各種競技団体の中でも重要な地位を占めて欲しいと思います。そして、バドミントンが道民全てから親しまれるスポーツとして発展していくことを願ってやみません。我々地区協会もそのための協力を全力を傾けて続けていく所存でございます。50周年を期に北海道バドミントン協会がなお一層発展いたしますようお祈りいたします。

北見地区バドミントン協会のあゆみ

北見地区協会の結成まで

昭和28年頃から　北見市および周辺のバドミントン愛好家が集まって、チョークでラインを引いたり、手製のポールでネットを張って、バドミントンで親睦を深めあっていた。

昭和31年10月28日　北見市バドミントン協会結成記念大会（北見西小学校体育館）を開催し、初代会長に菅沼寛氏が就任。協会といういかめしさより、クラブ的な親睦感のあふれた組織となっていった。

管内には、網走・津別・美幌・紋別などにも愛好者がいたが、いずれも中心となって活動できる指導者が乏しく、十分な組織となりえず、北見市バドミントン協会が、北見地区協会として業務を代行していた。

昭和34年10月　第14回国民体育大会バドミントン競技、教職員の部の北海道代表選手として、中田武夫選手（北見仁頃小）を送りだすなどの実績をあげたが、管内への普及や強化の面は、やゝ力不足の感が残されていた。

昭和39年６月　第16回北海道高等学校バドミントン選手権大会（苫小牧）において、網走南ケ丘高校２年の白幡治選手が、道北ブロック男子単３位に入賞。

昭和45年５月　北海道バドミントン協会創立20周年の記念行事に際し、北見協会の創立以来、会長の職にあり、その普及と発展の功を認められた菅沼寛氏と、十勝地区バドミントン協会理事長や北海道協会の役員を永く務め、その後、女満別町に転動し、地域のバドミントンの普及と発展につくされた横山敏氏の両名が功労賞を授与された。

９月　第１回北海道教職員バドミントン選手権大会（岩見沢）二部男子複２位に中田武夫・松本省三（夕張）組が入賞。

昭和46年７月　北見・網走地方としては、初めての全道的大会として、北海道大学総合体育大会が北見工大を当番校とし、美幌町スポーツセンターでバドミントン競技が開催され、その影響により、地域のレベルも向上しはじめ、普及も進んで、北見・網走・紋別の３市の他にも、小清水町・女満別町・置戸町・東藻琴村等にも協会ができて、活発に活動がはじまり、北見地区バドミントン協会としての再編成の動きがあらわれてきた。

９月　第２回北海道教職員大会（室蘭）、二部男子単３位に中田武夫が、二部男子複１位に中田武夫・松本省三（夕張）組が入賞。

昭和48年11月　第６回北海道高校新人大会（滝川）、男子単２位に網走高校の津坂秀雄が入賞。

昭和49年５月　第20回道民大会（帯広）、高校男子単３位に網走高校の津坂秀雄が入賞。

６月　第26回北海道高校選手権大会（札幌）道北ブロックの男子単２位に網走高校の津坂秀雄が入賞し、全国出場。

８月　第29回国民体育大会北海道予選会（札幌）少年男子単２位に網走高校の津坂秀雄が入賞し、国体出場。

10月　第７回全道高校新人大会（苫小牧）、女子複２位に網走高校の青野幸子・照井俊子組が入賞し、全国大会出場。

昭和50年８月　北見市バドミントン協会創立20周年記念式典。

８月　公認審判員資格講習会を北見工大体育館において開催。笠原一男・五十嵐宣善・小飼栄一・横山敏の各氏による。

10月　第６回北海道教職員大会（釧路）、二部男子複２位に五十嵐優・恩田政雄組（東藻琴）、二部男子単２位に五十嵐優、同３位に恩田政雄、70才男子複３位に横山敏・南部宗慶組（女満別）がそれぞれ入賞。

北見地区バドミントン協会

昭和51年４月　横山敏氏の音頭により、網走管内７市町の協会より代表者が集い、北見地区バドミントン協会を創立。初代会長に網走市の千葉七郎氏、初代理事長に女満別町の横山敏氏を選出し、北見市バドミントン協会より、高体連関係の大会・国体予選・家庭婦人大会などの業務を引き継ぎ、新たに、地区協会長杯争奪、市町村対抗などの大会を設けて、ヨネックス・サンバタ・カワサキなどのメーカーの協力を得て、他地区協会なみの大会を開催できるようになった。

８月　公認審判資格講習会（網走南ケ丘高校）、笠原一男・藤井一孝・五十嵐宣善・横山敏氏による。

11月　模範競技会・技術講習会（網走市総合体育館・女満別町スポーツセンター）、ユーバー杯監督小飼栄一氏、栂野尾昌一・池田信孝・飯野佳孝・上田証雄・栂野尾悦子・石崎茂子・古谷成代・今田真知子の８選手。

昭和52年２月　第６回東北海道バドミントン選手権大会を北見市地区（網走市総合体育館）ではじめて開催。

３月　技術講習会（北見工大体育館）、相沢マチ子・菅原薫の２選手。

昭和52年４月　第２代会長に網走市の有里伸一氏が就任。副会長には、武田玄介（紋別市）に加えて、吉井博氏（女満別町）、熊崎三知雄（北見市）が就任して、体制を強化。

8月　技術講習会（女満別町スポーツセンター）、相沢マチ子・菅原薫の2選手。
11月　第6回全日本高等学校選抜バドミントン競技会北海道予選会を開催。（網走市総合体育館）
昭和53年6月　技術講習会（女満別町スポーツセンター）、植野恵美子・菅原薫の2選手。
8月　北見地区高校バドミントン強化合同合宿（2泊3日、女満別町スポーツセンター）、西村幸衛・杉田茂良・笹森剛（道協会巡遣）の3氏。
9月　北海道バドミントン協会創立30周年記念行事に際し、当協会理事長の横山敏氏に特別功労賞、益村博文・中田武夫・熊崎三知雄の3氏に功労賞が授与された。
11月　公認審判資格講習会（女満別町スポーツセンター）笠原一男・五十嵐宣善・横山敏の各氏による。
昭和54年5月　技術講習会（網走市総合体育館）、銭谷欽治・今井茂満・近藤小織・渡辺多美子の4選手。
11月　技術講習会（訓子府町スポーツセンター・網走市総合体育館・遠軽町総合体育館・女満別町スポーツセンター・女満別高校体育館）、市川栄文・篠崎誠治の2選手。
昭和55年2月　第9回東北海道大会を開催。（網走市総合体育館）
4月　技術講習会（女満別町スポーツセンター・遠軽町総合体育館）、今井茂満・湯木博恵・高岸陽子の3選手。
5月　技術講習会（網走市総合体育館）、根岸淳・端洋護・高岸洋子の3選手。
7月　北見地区高校バドミントン強化合同合宿（2泊3日、女満別町スポーツセンター）、西村幸衛、杉田茂良、笹森剛（道協会巡遣）、西村修の4氏。
9月　第11回北海道教職員バドミントン選手権大会を開催。（網走市総合体育館）
昭和56年4月　技術講習会（網走市総合体育館・女満別町スポーツセンター）、今井茂満・銭谷欽治・湯木博恵・高岸洋子の4選手。
6月　技術講習会（生田原町スポーツセンター・紋別市スポーツセンター・北見市体育センター）、杉山保・篠崎誠治の2選手。
8月　北見地区高校バドミントン強化合同合宿（2泊3日、網走市総合体育館）、笹森剛・杉田茂良（道協会巡遣）・西村修・今井茂満・杉山保・津坂秀雄・石岡直樹。
8月　公認審判資格講習会（網走市総合体育館）、笠原一男・東健治・五十嵐宣善・横山敏の各氏。
9月　技術講習会（遠軽町総合体育館）、今井茂満・銭谷欽治・湯木博恵・高岸洋子の4選手。
11月　第10回全国高等学校選抜バドミントン競技会北海道予選会を開催。（網走市総合体育館）
昭和57年6月　第34回北海道高等学校バドミントン選手権大会を開催。（網走市総合体育館）
6月　技術講習会（女満別スポーツセンター・遠軽町総合体育館・紋別市スポーツセンター・北見工大体育館）「元世界チャンピオン湯木博恵選手による“母と子のバドミントン教室”」を開催。湯木博恵・今井茂満。
昭和58年2月　第12回東北海道大会開催。（北見市体育センター）
6月　技術講習会（丸瀬布町体育館・紋別市スポーツセンター）、今井茂満・銭谷欽治・湯木博恵・高岸洋子の4選手。
7月　公認審判員資格講習会（端野町スポーツセンター）五十嵐宣善・東健治・森田精一・横山敏・中田武夫の各氏。
昭和60年5月　北見市バドミントン協会創立30周年記念行事
5月　第38回北海道バドミントン選手権大会を開催。（北海道立体育センター・北見市立体育センター）
昭和61年1月　第15回東北海道大会を開催。（網走市総合体育館）
4月　第2代理事長に中田武夫氏が就任。

以下、年度毎の詳細は省略するが、10年程前に北海道立北見体育センターが完成したため、それまでは北見市で、各種全道大会を開催することができなかったが、開催可能となり、以後、毎年全道大会を引き受けることができ、やっと地区協会としての責任を果たせることとなった。

現在の北見地区バドミントン協会主催の大会

◇北海道選手権大会地区予選大会兼ヨネックス杯
◇北見地区ママさん大会
◇国民体育大会地区予選会
◇全日本ジュニアバドミントン大会地区予選会
◇北見地区選手権大会兼サンバタ杯
◇北見地区ダブルス選手権大会
◇市町村対抗選手権大会
◇全国高等学校選抜大会地区予選会
◇東北海道バドミントン選手権大会
（釧根、十勝両協会と共催）

以上が、地区協会の活動状況であるが、各市町村協会の消長があり、若干の加盟協会の異同がある。登録者数は年々減少する傾向があるが、近年、高卒者のUターンがわずかながら見られ、明るいきざしもみえ始めているので、今後に期待したい。

北見地区バドミントン協会役員一覧表［最近10年間］

役　職	昭和63年	平成元年	平成２年	平成３年	平成４年	平成５年	平成６年	平成７年	平成８年	平成９年
名誉会長										
会　長	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治
副会長	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	武田　玄介	吉井　博	吉井　博
	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉井　博	吉川　紘	森本　秋嘉
	熊崎三知雄	熊崎三知雄	熊崎三知雄	菅沼　優	菅沼　優	吉川　紘	吉川　紘	吉川　紘	菅沼　優	秋山　和範
	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治	波岡　清治	吉川　紘	菅沼　優	菅沼　優	菅沼　優	森本　秋嘉	坂井　好信
顧　問	菅沼　寛	菅沼　寛	菅沼　寛	菅沼　寛	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一	有里　伸一
						横山　敏	横山　敏	横山　敏	横山　敏	横山　敏
理事長	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫	中田　武夫
副理事長	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二	今井　正二
	細野　正二	細野　正二	細野　正二	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優
審判委員長	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優
副委員長										
選手強化委員長										
副委員長										
競技委員長										
副委員長										
事務局長	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎
監　査	松田　克保	松田　克保	松田　克保	松田　克保	松田　克保	松田　克保	松田　克保	松田　克保	大西　進	大西　進
常任理事(北見)	益村　博文	益村　博文	益村　博文	益村　博文	益村　博文	益村　博文	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎
	南部　宗慶	南部　宗慶	南部　宗慶	南部　宗慶	南部　宗慶	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	辻　博及
	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	及川　紀郎	益村　博文	益村　博文	辻　博及	松井　勝利
	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	鷲田　茂雄	南部　宗慶	涌井　賢一	涌井　賢一	涌井　賢一	寺西　智子
			金田恵美子	金田恵美子	金田恵美子	金田恵美子	寺西　智子	寺西　智子	寺西　智子	曽我部　滋
			涌井　賢一	涌井　賢一	涌井　賢一		松原　昭美	松原　昭美	松井　勝利	
									松原　昭美	
常任理事(斜網)	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄	茂木　幸雄
	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進	大西　進
	坂井　好信	坂井　好信	坂井　好信	坂井　好信	坂井　好信	工藤　睦夫	工藤　睦男	工藤　睦男	羽山　正樹	羽山　正樹
	大森　洋見	大森　洋見	富好　信夫	富好　信夫	富好　信夫	坂井　好信	佐々木英明	佐々木英明	多田　吾郎	多田　吾郎
	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	多田　吾郎	坂口　栄子	坂口　栄子
			坂口　栄子	坂口　栄子	坂口　栄子	坂口　栄子	坂口　栄子	坂口　栄子	渡辺　励	渡辺　励
				工藤　睦夫	工藤　睦夫	渡辺　励	渡辺　励	渡辺　励	富好　信夫	富好　信夫
						富好　信夫	富好　信夫	富好　信夫	笹　正和	津田　令子
							津田　令子	津田　令子	津田　令子	涌井　賢一
常任理事(遠紋)	添田　恭史	添田　恭史	添田　恭史	添田　恭史	添田　恭史	林　慶志	林　慶志	林　慶志	林　慶志	林　慶志
	五十嵐　優	五十嵐　優	五十嵐　優	林　慶志	林　慶志	添田　恭史	川谷　昭男	川谷　昭男	川谷　昭男	川谷　昭男
	浜野　幸三	浜野　幸三	浜野　幸三	浜野　幸三	浜野　幸三	堀川　昌和	溝口　豊美	溝口　豊美	溝口　豊美	溝口　豊美
	井上　清隆	井上　清隆	笠原　秀樹	笠原　秀樹	笠原　秀樹	笠原　秀樹	添田　恭史	添田　恭史	小笠原昭弘	小笠原昭弘
	堀川　昌和	堀川　昌和	堀川　昌和	堀川　昌和	堀川　昌和	涌井　賢一	堀川　昌和	堀川　昌和	堀川　昌和	堀川　昌和
							笠原　秀樹	笠原　秀樹	笠原　秀樹	笠原　秀樹
									曽我部　滋	



道協会発展の一翼を担って

北海道実業団バドミントン連盟
会長　青　山　繁　樹

北海道バドミントン協会50周年、心からお祝い申し上げます。

私共の連盟も発足以来、北海道協会とともに歩んでまいりましたが、現在、全道実業団選手権大会、全道社会人選手権大会を主管し、北海道協会の一翼を担っております。

実業団選手権大会は、昭和26年に第１回の大会が北海道バドミントン協会主催により芦別市で、参加チーム男子11チーム、女子４チームの計15チームの計15チームで開催されましたが回を重ね、平成９年の第47回回大会では１部から３部まで、男子38チーム、女子21チームの計59チームの参加数に増え、大きく発展をする事ができました。

この間、「札鉄：現ＪＲ北海道」「地崎：現チザキ」「電電北海道：現ＮＴＴ北海道」が黄金期を迎え、それぞれの時代で連覇を果し、現在も北海道バドミントン界のリーダーとして牽引的な役割を担っております。

全日本では、第９回大会で札鉄が、第41回大会ではＮＴＴ北海道が準優勝に輝くなど数多くの入賞をはたしており、北海道のバドミントン競技の発展に大きく寄与することができました。それにより、連盟組織の充実の証として北海道協会、札幌協会、各連盟の協力を得て、全日本の大会を札幌市において第８回、第33回、第45回大会と３回も開催することができ、北海道のバドミントン愛好者に最高の試合をお見せすることができ、大変嬉しく思っております。

現在、日本のトップレベルのチームが集う、日本リーグに男子では「ＮＴＴ北海道」が１部リーグで、「ＪＲ北海道」が２部リーグで、女子は「ＮＴＴ北海道」「チザキ」が２部リーグでと、３チームが参加しており、更なる活躍を期待しているところです。

最後に当連盟にご支援、ご協力をいただいております全ての皆様に御礼申し上げますとともに、今後も、北海道バドミントンの発展のため微力ではありますが、役員一丸となって頑張ってまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻を更にお願い申し上げます。



北海道実業団バドミントン連盟沿革史

■ 設立年月日　昭和32年４月１日　　■ 加盟年月日　昭和37年

■ 略　年　表

年　次	主　要　事　項	関　連　事　項
昭和22年		○札幌バドミントン協会設立（４月）
昭和23年		○北海道バドミントン協会設立準備委員会 ○北海道体育協会に札幌協会が北海道バドミントン協会の名称で加盟
		○日本バドミントン協会に加盟（４月）
昭和24年		○第２回全日本バドミントン大会初出場 （２月４日横浜ＹＭＣＡ）
		○北海道バドミントン協会設立（４月）
昭和26年	○第１回全道実業団バドミントン選手権大会 （主催　北海バドミントン協会 共催　北海道タイムス社 後援　北海道経営者協会） ○初代会長　山田良秀(北海道電力社長)　初代理事長　佐藤　保就任(道協会々長)	○開催地　芦別市　参加チーム男子11女子４ 参加料　男子　700円　女子　400円 男子６団体　三井芦別・札幌郵政・道庁 道新・北炭平和・北大（11チーム） 女子３団体　三井芦別・札幌郵政・道庁 （４チーム）（10月６～７日） ○第４回国民体育大会からバドミントンが正式種目となる
昭和27年	○第２回全道実業団バドミントン選手権大会	○開催地　札幌市　　東　高校体育館 男子　北大・道新・三井芦別・北電 女子　三井芦別・道新 （以後毎年実施して現在も続いている）
昭和28年	○第３回全日本実業団バドミントン選手権大会(長崎市）三井芦別チーム初参加	○札鉄バドミントン部創部
昭和30年	○第５回全道実業団バドミントン選手権大会 団体戦の外に個人戦も種目を新設	○開催地釧路市　札鉄バドミントン部初優勝(11月19～20日)
昭和31年		○第１回全道社会人バドミントン選手権大会開催
昭和32年	○北海道実業団バドミントン連盟設立 第二代目会長　西野　金助(札幌工高校長)　第二代目理事長　奈良岡健三	○役員は北海道バドミントン協会役員が兼任
昭和33年	○第８回全日本実業団バドミントン選手権大会主管開催 主管　北海道バドミントン協会 北海道実業団バドミントン連盟	○開催地　札幌市 団体戦の外に個人戦も種目に入る 札鉄　団体３位入賞 ○佐藤　　保、荒島　敏幸(北海道協会)が特別功労賞受賞
昭和34年	○第三代目会長　高田　富与(札幌市長)　第３代目理事長　田中荘三郎	○札鉄バドミントン部　　準優勝
昭和35年		○佐藤保が日本バドミントン協会功労賞受賞
昭和36年	○第11回全日本実業団バドミントン選手権大会にて札鉄３位入賞（倉敷市）	
昭和38年	○第四代目会長　地崎　宇三郎（地崎商事社長）が就任	
昭和40年	○第15回全日本実業団バドミントン選手権大会(北九州市）男子団体にて札鉄が第３位入賞	

年　次	主　要　事　項	関　連　事　項
昭和41年	○第16回全道実業団バドミントン選手権大会開催	○札鉄が昭和30年より12年連続優勝 ○地崎商事バドミントン部創部
昭和42年	○第17回全道実業団バドミントン選手権大会開催	○毎年10月開催を4月に早めた 開催地　札幌市　地崎商事が初優勝 （4月29～30日）45年まで4連勝 ○電電札幌バドミントン部創部
昭和44年	○第五代目会長に山口日出夫(地崎商事社長)、第四代目理事長に荒島　敏幸が就任	○役員は北海道バドミントン協会兼任から実業団バドミントン連盟専任役員となる ○北海道バドミントン協会20周年表彰 札幌鉄道管理局・地崎商事・西本秀一郎 青山繁樹・岡　明弘・小向利威・渋井　明
昭和45年	○第20回全日本実業団バドミントン選手権大会 ○第六代目会長に岩沢　靖(HTB社長)、第五代目理事長に青山　繁樹が就任	○札鉄渋井　明が30歳単準優勝
昭和46年	○第21回全道実業団バドミントン選手権大会	○電電札幌が優勝
昭和47年	○第七代目会長に宇野　真平(道会議長)、第六代目理事長に渋井　明(札鉄)が就任	○電電札幌が電電北海道と改名
昭和48年	○第七代目理事長に伊勢　武(電電北海道)が就任	○連盟登録チーム(男子15チーム　女子10チーム)
昭和49年	○第24回全日本実業団バドミントン選手権大会男子団体にて電電北海道3位入賞 ○第17回全日本社会人バドミントン選手権大会男子単にて遠藤好男（電電北海道）準優勝	
昭和50年	○第25回全日本実業団バドミントン選手権大会男子団体にて電電北海道3位入賞 ○第18回全日本社会人バドミントン選手権大会	○木村（電電北海道）高野（地崎商事）が混合　複にて3位入賞
昭和53年	○第21回全日本社会人バドミントン選手権大会	○木村・遠藤(電電北海道)が男子複3位入賞
昭和54年	○第22回全日本社会人バドミントン選手権大会 ○札鉄が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○木村・遠藤(電電北海道)が男子複3位入賞 ○北海道バドミントン協会30周年表彰 電電北海道・奈良岡健三・田中荘一郎・ 山口日出夫・伊勢　武・中村富光・ 木村敏男
昭和55年	○第30回全日本実業団バドミントン選手権大会	○電電北海道　赤塚正三（男子30単）優勝 札　鉄　　山本晴通（男子30単）2位 ○日本リーグに電電北海道　初参加
昭和56年	○第31回全日本実業団バドミントン選手権大会 ○第24回全日本社会人バドミントン選手権大会(7月 登別市) 主管　北海道バドミントン協会 北海道実業団バドミントン連盟 ○木村敏男(電電北海道)が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○電電北海道　赤塚・木村（男子30複）優勝 ○赤塚（電電北海道）岡本（地崎商事）が男子30歳複3位入賞
昭和58年	○第33回全日本実業団バドミントン選手権大会主管開催(6月 札幌市) ○遠藤好男(電電北海道)が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○参加者2,500名男子170チーム女子100チーム
昭和60年	○山田好明、山本晴通(札鉄)が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○電電北海道がＮＴＴ北海道に改名 （ＮＴＴ北海道日本リーグ3位）
昭和61年	○第36回全日本実業団バドミントン選手権大会男子団体にて3位入賞 ○第29回全日本社会人バドミントン選手権大会 ○NTT北海道が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○伊藤雅弘(ＮＴＴ北海道)が男子単3位入賞 （ＮＴＴ北海道日本リーグ3位）
昭和62年	○第37回全日本実業団バドミントン選手権大会男子団体にてNTT北海道3位入賞 ○篠尾幸孝（NTT北海道）が日本実業団バドミントン連盟　功労賞受賞	○ＮＴＴ北海道　男子団体　3位入賞 ○札鉄バドミントン部がＪＲ北海道バドミントン部に改名

年　次	主　要　事　項	関　連　事　項
昭和63年	○第31回全日本社会人バドミントン選手権大会（９月 登別市） ○宇野真平会長が日本実業団バドミントン連盟特別功労賞、伊勢武理事長が同功労賞受賞	○伊藤雅弘（ＮＴＴ北海道）が男子単３位入賞
平成元年	○第32回全日本社会人バドミントン選手権大会	○伊藤雅弘（ＮＴＴ北海道）が男子単３位入賞
平成元年		○第44回国民体育大会　（北海道） 開催地　登別市　北海道　総合準優勝 （９月18～21日）
平成２年	○第33回全日本社会人バドミントン選手権大会	○伊藤雅弘（ＮＴＴ北海道）が男子単３位入賞
平成３年	○第41回全日本実業団バドミントン選手権大会	○ＮＴＴ北海道男子団体準優勝
	○第34回全日本社会人バドミントン選手権大会	○伊藤雅弘（ＮＴＴ北海道）が男子単３位入賞 ○ＮＴＴ北海道が日本リーグ準優勝
	○日本実業団バドミントン連盟功労賞左記９名が受賞	○中平正幸・渋井　敏紀・中村義則・松岡　誠・七崎　悦範・高野　幹男・阿部　幸夫・東田　朋巳・目黒　清則
平成４年	○第42回全日本実業団バドミントン選手権大会 ○第八代目会長　青山繁樹、第八代目理事長　岡明弘が就任	○ＮＴＴ北海道が男子団体　３位入賞
平成６年	○第44回全道実業団バドミントン選手権大会	○ＮＴＴ北海道が男子46年より24連勝
平成７年	○第45回全日本実業団バドミントン選手権大会主管開催（６月　札幌市）	

■活動の状況

☆登録事業所数　49（男30，女19）　（平成６年度）

☆登録人員　　510（男290，女220）（平成６年度）

☆年次大会

４月　全日本実業団北海道予選会兼団体選手権大会

９月　全道社会人選手権大会（個人戦）

■今後の課題

（１）競技力の向上と登録者の増員

（２）日本リーグへの参加

（文責　岡明弘　小向利威）

北海道実業団バドミントン連盟役員

役職	平成５・６・７年度役員			平成８・９年度役員		
会　長	青山　繁樹			青山　繁樹		
副会長	藤井　猛	高石　敬三	古谷　敏明	古谷　敏明	伊勢　武	島中　貞夫
	松浦　勤	伊勢　武	島中　貞夫			
参　与	荒島　敏幸	月尾　修	高坂　清和	荒島　敏幸	月尾　修	高坂　清和
	岩崎　昭郎	西村　哲夫	大江　晃己	岩崎　昭郎	西村　哲夫	大江　晃己
	高畑　佳史	津村　隆夫		高畑　佳史	平野　弘	
監　査	江口　歳男	福井　正昭		江口　歳男	福井　正昭	
理事長	岡　明宏			岡　明宏		
副理事長	渋井　明	平山　三城		渋井　明	平山　三城	
常務理事	小向　利威	日下部賢治	乙武　重丸	小向　利威	日下部賢治	乙武　重丸
	木村　敏男	中平　正幸	中瀬　幸記	木村　敏男	中平　正幸	中瀬　幸記
	中村　富光	渋井　敏紀		中村　富光	渋井　敏紀	
理　事	高野　幹男	佐々木秀男	二瓶　武	高野　幹男	佐々木秀男	岩佐　譲
	岩佐　譲	中山　俊三	大竹　憲一	菅原　薫	高橋　進	伊藤　雅弘
	菅原　薫	山本　晴通	伊藤　雅弘	佐藤　春雄	板東　康夫	奥山　則雄
	高橋　進	比企　晴美	芦崎　隆幸	七崎　悦範	松岡　誠	松村　徳市
	珍田　毅	板東　康夫	加藤　学	渡辺由美子	浅越美枝子	
	奥山　則雄	七崎　悦範	佐藤　春雄			
	松岡　誠	山田　健治	臼井　展子			



道協会50周年を祝う

北海道教職員バドミントン連盟
会長　横山　真

北海道バドミントン協会創立50周年を心からお祝い申し上げます。

日本が第二次世界大戦で敗戦し、すさんだ街角に一点明るくスポーツ店ができて、そのウインドウにバドミントンラケットが飾られたことが大変なつかしく記憶の底にあるのですが、そのバドミントンが競技として各地に普及し、北海道を束ねる協会を結成し、多くの成果を残しながら50周年を迎えることは関係者の一人として誠に喜ばしく、記念誌を編纂されることは意義深いものと思います。

本道での草分けは昭和21年、インドネシアからの北大留学生スロジョー氏と奈良岡健三氏、故人となられた西野泉三氏らによって札幌で始められたことが『創立30年の沿革』で知ることができますが、占領下の本道で米軍の指導を受けた道教委社会教育課の初仕事としてバドミントンとスケアダンスがあったことを、当時の関係者から何度か聞かされたことがあります。

昭和23年、北海道バドミントン協会が設立され、その証しとして第１回全道高校バドミントン選手権大会を主催したわけでありますが、全道各地でバドミントンの普及に努力され、選手を養成し初の大会に集われた高校の先生方と大会関係者のご苦労は大変なものであったろうと想像するのであります。

本道はその点、素晴らしき人材に恵まれて、全国大会の上位を占める選手を多く輩出し、初期の黄金時代を築かれ記録に残されたことは私共の誇りであります。

最近の10年も、中学、高校、大学、実業団、教職員、家庭婦人と各団体において全国上位で活躍の報が聞こえておりますし、最新のニュースは全日本総合選手権大会で旭川市出身の中山智香子・増茂孝枝組が優勝を果たされたことは誠に喜ばしく、50周年にふさわしい花を添える記念すべきことであると思います。

私共の教職員バドミントン連盟といたしましても、この北海道バドミントンの歴史を支えてきた自負をもつものでありますが、ここに大きな道を開いていただき御指導、御支援を賜りました先達の御苦労に対し、心から感謝申し上げる次第でございます。

不透明な21世紀を前向きに生きる健全な心身の青少年の育成と北海道バドミントン発展の一翼を担って、私共の北海道教職員バドミントン連盟の会員は、全道各地で自らラケットを握り、バドミントンを愛好し児童生徒・学生の指導に当たり、各地域でのバドミントン普及の中心となることをお約束し、お祝いのことばといたします。

北海道教職員バドミントン連盟の歩み

［連盟役員一覧］

	昭和45年	昭和47年	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和53年	昭和55年
会　長	佐藤　玄一	佐藤　玄一	佐藤　玄一	中島　好雄	中島　好雄	中島　好雄	内田　正博
副会長	内田　正博	内田　正博	内田　正博	内田　正博	内田　正博	内田　正博	笠原　一男
					笠原　一男	笠原　一男	高橋　喜敬
					高橋　喜敬	高橋　喜敬	小林　純幸
理事長	笠原　一男	笠原　一男	東　健治	東　健治	東　健治	東　健治	東　健治
事務局		畑中　満	畑中　満	畑中　満	畑中　満	西村　幸衛	西村　幸衛

	昭和56年	昭和59年	平成２年	平成３年	平成４年	平成５年	平成８年
会　長	内田　正博	内田　正博	内田　正博	（不　在）	代行 島谷勲	横山　敏	横山　真
副会長	笠原　一男	笠原　一男	高橋　喜敬	高橋　喜敬	高橋　喜敬	高橋　喜敬	高橋　喜敬
	高橋　喜敬	高橋　喜敬	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸
	小林　純幸	小林　純幸	島谷　勲	島谷　勲	島谷　勲	島谷　勲	島谷　勲
理事長	東　健治	西村　幸衛	西村　幸衛	西村　幸衛	西村　幸衛	西村　幸衛	上山　功
事務局	笹森　剛	笹森　剛	笹森　剛	笹森　剛	笹森　剛	笹森　剛	中川　憲昭

［訃　報］　初代理事長　笠原　一男 先生（平成元年11月18日御逝去）
　　第３代会長　内田　正博 先生（平成３年10月21日御逝去）

［日本教職員バドミントン連盟表彰者］

≪功 労 賞≫
- 昭和58年　東　健治（理事長10年）
- 平成８年　西村　幸衛（理事長12年）

≪技 能 賞≫
- 昭和59年　神山　周二（10回出場）
- 昭和62年　西村　幸衛（10回出場）
- 〃　東　健治（10回出場）
- 〃　佐々木堅治（10回出場）
- 昭和63年　吉村　恭子（10回出場）
- 平成元年　熊谷　敏夫（10回出場）
- 平成２年　神山　周二（15回出場）
- 〃　窪田　薫（10回出場）
- 〃　藤島　百子（10回出場）
- 平成３年　東　健治（15回出場）
- 平成４年　佐々木堅治（15回出場）
- 平成６年　島谷　勲（10回出場）
- 〃　葛巻　礼滋（10回出場）
- 平成７年　窪田　薫（15回出場）
- 平成８年　東　健治（20回出場）

北海道教職員バドミントン選手権大会優勝者一覧（第１～18回）

第１回　45年　岩見沢	
一部男子単	杉田　茂良
一部男子複	杉田　茂良 宮崎　岩次
二部男子単	河野　功
二部男子複	笠井　武彰 十川　千春
30才男子複	五十嵐宣善 平澤　寛
40才男子複	高橋　昌久 島谷　勲
70才男子複	石井　仁 西村　幸衛

第２回　46年　室　蘭	
一部男子単	杉田　茂良
一部男子複	杉田　茂良 伊藤　博美
二部男子単	岡　明弘
二部男子複	中田　武夫 松本　省三
30才男子複	西村　幸衛 笹森　剛
40才男子複	高橋　昌久 島谷　勲
70才男子複	東　健治 笹森　剛

第３回　47年　帯　広	
一部男子単	阿部　忠夫
一部男子複	杉田　茂良 岡　明弘
二部男子単	住田　茂
二部男子複	大庭　弘 斉藤　嘉輝
30才男子複	西村　幸衛 笹森　剛
40才男子複	畑中　満 五十嵐　功
70才男子複	岡　明弘 五十嵐宣善

第４回　48年　滝　川	
一部男子単	杉田　茂良
一部男子複	杉田　茂良 宮崎　岩次
二部男子単	大庭　弘
二部男子複	桑原　芳弘 三浦　伸
30才男子複	笠井　武彰 十川　千春
30才二男複	桑原　芳弘 三浦　伸
40才男子複	神山　周二 五十嵐　功
70才男子複	神山　周二 須貝　元昭

第５回　49年　苫小牧	
一部男子単	北村　優明
一部男子複	北村　優明 菅原　修三
二部男子単	岩城　修
二部男子複	四宮　知之 松山　曜三
30才男子複	西村　幸衛 笹森　剛
40才男子複	神山　周二 畑山　満
70才男子複	神山　周二 須貝　元昭
一般女子単	藤島　百子
一般女子複	藤島　百子 米沢　順子

第６回　50年　釧　路	
一部男子単	菅原　宏志
一部男子複	阿部　忠夫 宮崎　岩次
二部男子単	市田　悦雄
二部男子複	窪田　薫 葛巻　礼滋
30才男子複	阿部　忠夫 宮崎　岩次
40才男子複	神山　周二 平澤　寛
70才男子複	神山　周二 須貝　元昭

第７回　51年　札　幌	
一部男子単	菅原　宏志
一部男子複	杉田　茂良 菅原　宏志
二部男子単	住田　茂
二部男子複	中村　紘二 富山　博
三部男子単	東海林史郎
三部男子複	計良　紘次 佐藤　俊
30才男子複	阿部　忠夫 宮崎　岩次
40才男子複	神山　周二 高橋　昌久
70才男子複	神山　周二 須貝　元昭
一般女子単	小泉　教子
一般女子複	秋田　澄枝 竹本　慶子

第８回　52年　小　樽	
一部男子単	奥山　和也
一部男子複	阿部　忠夫 宮崎　岩次
二部男子単	中村　紘二
二部男子複	住田　茂 中村　泰雄
三部男子単	細田　勲
三部男子複	田中　勝彦 松田　英二
一部女子単	山口ちひろ
一部女子複	三戸部久美子 藤田みどり
二部女子単	本間　康子
二部女子複	船越　郁子 米沢　順
30才男子複	阿部　忠夫 宮崎　岩次
40才男子複	神山　周二 東　健治
70才男子複	神山　周二 須貝　元昭

第9回 53年 旭川	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	奥山 和也 菅原 宏志
二部男子単	紙谷 輝美
二部男子複	紙谷 輝美 寺島
三部男子単	斉藤 孝
三部男子複	堀井 文男 山近
一部女子単	吉村 恭子
一部女子複	吉村 恭子 八森 陽子
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	吉田 愛子 小野 恵子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	神山 周二 東 健治
70才男子複	神山 周二 須貝 元昭

第11回 55年 網走	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	奥山 和也 熊谷 敏夫
二部男子単	河崎 正紀
二部男子複	河崎 正紀 五十嵐 優
三部男子単	西村 喜憲
三部男子複	西村 喜憲 北条 剛
一部女子単	土持 真紀
一部女子複	五百澤睦子 本田 恵
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	吉田 愛子 菅野 洋子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	神山 周二 東 健治
50才男子複	横山 敏 島谷 勲
70才男子複	笹森 剛 杉田 茂良

第13回 57年 札幌	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	熊谷 敏夫 小場 範夫
二部男子単	河野 功
二部男子複	西村 喜憲 北条 剛
三部男子単	大井川 学
三部男子複	磯谷 猛 三上 明
一部女子単	本田 恵
一部女子複	八森 陽子 奥山 淳子
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	菊地 久子 吉岡 富枝
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	佐々木賢治 中村 泰雄
50才男子複	石井 仁 東 健治
70才男子複	笹森 剛 杉田 茂良

第15回 59年 函館	
一部男子単	熊谷 敏夫
一部男子複	熊谷 敏夫 小場 範夫
二部男子単	松田 勝則
二部男子複	三沢 俊孝 渡辺喜代治
三部男子単	高橋 伸夫
三部男子複	山田信三郎 松岡 昌彦
一部女子単	高橋 真紀
一部女子複	吉村 恭子 藤島 百子
二部女子単	坂口 美香
二部女子複	吉田 愛子 菊地 久子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	須貝 元昭 上山 功
50才男子複	神山 周二 東 健治
70才男子複	佐々木堅治 住田 茂
90才男子複	東 健治 杉田 茂良

第17回 61年 旭川	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	駒込 幸則 水崎 忍
二部男子単	河野 晃
二部男子複	田中 勝彦 竹内 国雄
三部男子単	遠藤
三部男子複	奥村 遠藤
一部女子単	藤本三津子
一部女子複	小飼美香子 藤本三津子
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	吉田 愛子 菊地 久子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	細野 正二 五十嵐 優
50才男子複	神山 周二 東 健治
70才男子複	阿部 忠夫 吉野 幸弘
90才男子複	東 健治 杉田 茂良

第10回 54年 札幌	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	奥山 和也 熊谷 敏夫
二部男子単	南部 勉
二部男子複	高橋 哲夫 南部 勉
三部男子単	河崎 正紀
三部男子複	湊 弘二 斉藤 孝
一部女子単	吉村 恭子
一部女子複	吉村 恭子 斉藤由美子
二部女子単	本田 恵
二部女子複	吉田 愛子 本田 恵
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	神山 周二 東 健治
70才男子複	神山 周二 須貝 元昭

第12回 56年 小樽	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	小場 範夫 熊谷 敏夫
二部男子単	近藤 興治
二部男子複	近藤 興治 石塚 敏昭
三部男子単	柏木 宏之
三部男子複	中村 泰雄 大井川 学
一部女子単	本田 恵
一部女子複	八森 陽子 奥山 淳子
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	吉田 愛子 坂口 美香
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	神山 周二 東 健治
50才男子複	横山 敏 高橋 昌久
70才男子複	笹森 剛 杉田 茂良

第14回 58年 滝川	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	熊谷 敏夫 小場 範夫
二部男子単	柏木 宏之
二部男子複	坂野 憲雄 佐藤 英明
三部男子単	五十嵐 章
三部男子複	佐藤 征雄 北山 卓三
一部女子単	土持 真紀
一部女子複	吉村 恭子 本田 恵
二部女子単	吉田 愛子
二部女子複	菊地 久子 吉田 愛子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	佐々木堅治 中村 泰雄
50才男子複	神山 周二 東 健治
70才男子複	佐々木堅治 住田 茂

第16回 60年 釧路	
一部男子単	熊谷 敏夫
一部男子複	熊谷 敏夫 小場 範夫
二部男子単	木村 昌浩
二部男子複	木村 昌浩 佐々木章吾
三部男子単	新谷 正明
三部男子複	飯島 範雄 柴谷 弘行
一部女子単	小飼美香子
一部女子複	小飼美香子 藤本三津子
二部女子単	斉藤
二部女子複	吉田 愛子 菊地 久子
30才男子複	阿部 忠夫 宮崎 岩次
40才男子複	須貝 元昭 上山 功
50才男子複	窪田 薫 葛巻 礼滋
70才男子複	阿部 忠夫 吉野 幸弘
90才男子複	東 健治 杉田 茂良

第18回 62年 札幌	
一部男子単	奥山 和也
一部男子複	熊谷 敏夫 小場 範夫
二部男子単	成田 修一
二部男子複	深堀 堀川
三部男子単	山田 健治
三部男子複	吉田 裕保 黒崎 勇司
一部女子単	藤本三津子
一部女子複	藤本三津子 神山 佳美
二部女子単	松井
二部女子複	吉田 愛子 菊地 久子
30才男子複	西村 喜憲 河崎 正紀
40才男子複	杉田 茂良 上山 功
50才男子複	小向 利威 岡 明弘
70才男子複	阿部 忠夫 吉野 幸弘
90才男子複	住沢 幸雄 山田 健治

※63年以降の10年間については、北海道協会主催大会入賞者一覧に掲載されています。

全日本教職員バドミントン選手権大会での北海道選手入賞者

◆第５回 ［41年度］ （開催地） 北海道
一般男子団 ２位 北 海 道
40才男子複 １位 島谷 勲・高橋 政一
50才男子単 １位 佐藤 哲郎
50才男子複 １位 奈良岡健三・佐藤 哲郎
一般男子複 ２位 笹森 剛・杉田 茂良
30才男子複 ２位 神山 周二・平澤 寛
一般女子複 ３位 菊地 義子・吉田しつ子
40才男子複 ３位 島谷 勲
混 合 複 ３位 菊地 義子・杉田 茂良

◆第６回 ［42年度］ 富山県
壮年男子団 ２位 北 海 道
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(伊藤基記)
50才男子単 ２位 佐藤 哲郎

◆第７回 ［43年度］ 大阪府
壮年男子団 ２位 北 海 道
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(今井 先)
50才男子単 １位 佐藤 哲郎

◆第８回 ［44年度］ 埼玉県
壮年男子団 ３位 北 海 道
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(伊藤基記)
50才男子単 ２位 佐藤 哲郎

◆第９回 ［45年度］ 岐阜県
壮年男子団 ３位 北 海 道
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(伊藤基記)
50才男子単 ２位 佐藤 哲郎
30才男子複 ３位 笹森 剛・西村 幸衛

◆第11回 ［47年度］ 秋田県
50才男子単 １位 佐藤 哲郎
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(佐藤精一)

◆第12回 ［48年度］ 滋賀県
50才男子単 １位 佐藤 哲郎
40才男子複 ３位 畑中 満・五十嵐 功

◆第13回 ［49年度］ 熊本県
50才男子単 ２位 佐藤 哲郎

◆第14回 ［50年度］ 栃木県
壮年男子団 ３位 北 海 道
40才男子単 ３位 神山 周二
40才男子複 ３位 神山 周二・平澤 寛

◆第15回 ［51年度］ 東京都
壮年男子団 ３位 北 海 道
50才男子複 １位 佐藤 哲郎・(吉持節夫)
50才男子単 ２位 島谷 勲
一般女子単 ３位 藤島 百子
40才男子単 ３位 神山 周二
30才男子複 ３位 阿部 忠夫・宮崎 岩次

◆第17回 ［53年度］ 宮城県
壮年男子団 ３位 北 海 道
50才男子単 ３位 島谷 勲
50才男子複 ３位 佐藤 哲郎・(吉持節夫)

◆第18回 ［54年度］ 福岡県
40才男子単 １位 佐々木堅治
40才男子単 ２位 神山 周二・(鈴木祐司)

◆第19回 ［55年度］ 石川県
40才男子単 １位 佐々木堅治

◆第20回 ［56年度］ 福島県
40才男子単 １位 佐々木堅治

◆第21回 ［57年度］ 佐賀県
50才男子単 ３位 東 健治

◆第22回 ［58年度］ 静岡県
壮年男子団 ３位 北 海 道
50才男子単 ２位 東 健治
50才男子複 ２位 東 健治・神山 周二

◆第23回 ［59年度］ 青森県
一般女子団 ２位 北 海 道
30才女子単 １位 藤島 百子
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
一般女子単 ２位 藤本三津子
40才男子単 ２位 阿部 忠夫
一般女子単 ３位 小飼美香子
一般女子複 ３位 藤本三津子・小飼美香子
50才男子単 ３位 東 健治
50才男子単 ３位 神山 周二
50才男子複 ３位 東 健治・神山 周二
50才男子複 ３位 窪田 薫・葛巻 礼滋

◆第24回 ［60年度］ 福井県
一般女子団 １位 北 海 道
一般女子複 ２位 藤本三津子・小飼美香子
30才女子単 ２位 藤島 百子
30才女子単 ３位 吉村 恭子
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
40才男子単 ３位 佐々木堅治
50才男子単 ３位 東 健治

◆第25回 ［61年度］ 広島県
一般女子団 １位 北 海 道
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
50才男子複 ２位 東 健治・神山 周二
30才女子単 ３位 藤島 百子
30才女子単 ３位 吉村 恭子

◆第26回 ［62年度］ 北海道
50才男子複 １位 岡 明弘・小向 利威
60才男子複 ２位 佐藤 哲郎・(鈴木誠治)
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
30才男子複 ３位 阿部 初男・渡辺喜代治
50才男子複 ３位 東 健治・神山 周二
50才男子複 ３位 窪田 薫・葛巻 礼滋
60才男子単 ３位 島谷 勲
30才女子単 ３位 藤島 百子

◆第27回 ［63年度］ 奈良県
一般女子団 ３位 北 海 道
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子

◆第27回 ［63年度］ 奈良県
30才女子単 ３位 吉村 恭子
50才男子単 ３位 小向 利威
50才男子複 ３位 東 健治・神山 周二

◆第28回 ［平成元年度］ 香川県
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
60才男子複 ２位 島谷 勲・(斉藤良二)
30才女子単 ３位 藤島 百子
50才男子複 ３位 東 健治・神山 周二

◆第29回 ［２年度］ 岩手県
壮年男子団 ３位 北 海 道
30才男子複 ２位 熊谷 敏夫・小場 範夫
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
60才男子複 ２位 島谷 勲・(斉藤良二)
30才女子単 ３位 藤島 百子
50才男子単 ３位 窪田 薫
50才男子複 ３位 横道 稔・阿部 徹
60才男子単 ３位 島谷 勲

◆第30回 ［３年度］ 愛知県
30才女子複 ２位 藤島 百子・吉村 恭子
60才男子複 ２位 島谷 勲・(斉藤良二)
一般女子複 ３位 小林 純恵・池尾 郁子
30才女子単 ３位 吉田こずえ

◆第31回 ［４年度］ 熊本県
60才男子単 ２位 東 健治
30才女子単 ３位 藤島 百子
60才男子複 ２位 島谷 勲・東 健治

◆第32回 ［５年度］ 神奈川県
60才男子複 １位 島谷 勲・東 健治

◆第33回 ［６年度］ 石川県
60才男子複 １位 窪田 薫・葛巻 礼滋
30才女子単 ２位 吉田こずえ
60才男子複 ２位 島谷 勲・東 健治

◆第34回 ［７年度］ 鳥取県
60才男子複 １位 窪田 薫・葛巻 礼滋
30才女子単 １位 吉田こずえ
60才男子複 ２位 島谷 勲・東 健治
60才男子単 ３位 島谷 勲
60才男子単 ３位 窪田 薫・葛巻 礼滋

◆第35回 ［８年度］ 千葉県
60才男子複 １位 東 健治・(鈴木祐司)
30才男子複 ２位 熊谷 敏夫・水崎 忍
30才女子複 ２位 蔵谷 千晶・伊東 千春
60才男子複 ２位 島谷 勲・(中村恭治)
60才男子複 ３位 窪田 薫・葛巻 礼滋

◆第36回 ［９年度］ 和歌山県
一般男子男 ３位 北 海 道
60才男子複 ２位 島谷 勲・(佐藤俊夫)
60才男子単 ３位 東 健治
60才男子複 ３位 東 健治・(鈴木祐司)
60才男子複 ３位 窪田 薫・葛巻 礼滋



北海道学生バドミントン連盟の歩み
(道協会創立50周年に寄せて)

北海道学生バドミントン連盟
会長　小林純幸

北海道バドミントン協会がこのほど創立50周年を迎えられたことは誠におめでたいことであり、心からお祝いを申し上げます。

思い起こせば私どもの学生バドミントン連盟も、貴協会に遅れること1年の昭和24年に設立されて今年で49年目を迎えました。札幌を中心に社会人の方々がバドミントンを始められて、特に北大の体育館を本拠地として活動をされていた関係で、若い学生が刺激を受け翌年仲間と一緒に連盟を創った訳であります。当時はインドネシアからの留学生ラヌディジョ・スロジョー氏も北大におりましたし、奈良岡健三教授もおりましたので比較的誕生は楽だったようであります。

初代会長に今井道雄氏が就任され、昭和45年からは前述の北大教授奈良岡健三氏が13年の長きにわたり第4代会長を勤めて頂きました。先生はもともと陸上競技の競歩の日本記録保持者でありましたが、バドミントンに魅せられて虜になり、学生の面倒を見ながら自身でもバドミントンをするようになり、その脚力をいかしてめきめき強くなり、道協会の沿革史にも載っているように全日本のベテランの部で何度かチャンピオンになられました。その後第5代会長を宮永松蔵氏が3年間勤められ、昭和61年から第6代会長を不肖私が勤めて参りました。私も13年と長くなり、また、教育関係等の公職も多忙になって来ましたので、第7代会長を島中貞夫氏に引き継いで貰うことになっております。島中氏は北海道バドミントン協会の創設期に奈良岡健三教授より北大の学生として指導を受けた人であり、私としても彼が高校生で活躍した頃からのつながりを考えると、道協会創立50周年を迎えるこの年に彼にバトンを渡すことは感慨深いものがあり、歳月の重みを感ぜずにはおられません。

道協会のこの50年と同様に当連盟も創設期には今でも考えられないような苦労があったと、当時学生連盟を引っ張って来られた小飼栄一氏からエピソードとして伺っております。当時は食べるのが精一杯で、優勝者へのカップを用意するのが大変だったそうです。又大会会場は昭和27年から札幌の曙小学校の体育館を使用するようになりました。この体育館は昭和29年に開催された国体のために作られたものでありますが、当時はコートのラインをチョークで引いていたために、役員は早朝から作業に当たり、試合終了後にきれいに拭いて帰るという、気が遠くなる毎日だったそうです。又参加選手が一人3個のシャトルを持ち寄って大会を運営し、赤字がでれば参加選手全員で割り勘で清算したという苦労もあったようです。今から見ればまことに昔日の感があります。

当学連では昭和32年に初のインカレを開催し、その後も昭和61年、平成3年に開催するなど、組織として順調に充実し、加盟登録が男女54校400名余りになるまで発展して参りましたが、これもひとえに道協会の関係各位、学連加盟校の先輩がたのご協力とご支援の賜ものと感謝している次第です。間もなく北海道学生バドミントン連盟も創立50周年を迎えるわけですが、私たちも北海道協会に負けないように一致団結して更なる努力を続けていく覚悟でおります。

最後に北海道バドミントン協会の今後の益々のご発展と、関係各位のご健勝を心からご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

北海道学生バドミントン連盟沿革史

昭和24年 本連盟創立 初代会長 今井 道雄 氏
昭和27年 第２代会長 西野 金助 氏
　　北海道大学 インカレベスト４
昭和28年 北海道大学 インカレベスト８
　　神山、島中組（北大）全日本ランキング６位
昭和30年 第２回全日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和33年 第３代会長 山田 大秋 氏
昭和34年 第２回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和37年 第５回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和40年 第８回東日本学生バドミントン選手権大会主管
　　上記大会で、男子単４位 土江田 忠（北海学園大）
昭和43年 第11回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和45年 第４代会長 奈良岡 健三 氏
昭和47年 第14回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和50年 第17回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和53年 第３回東北・北海道学生バドミントン選抜対抗戦主管
　　北海道女子短期大学が全日本学生選手権大会の
　　ベスト８シード権獲得（平成元年まで連続）
昭和56年 第24回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和57年 第６回東北・北海道学生バドミントン選抜対抗戦主管
昭和58年 第５代会長 宮永 松蔵 氏
昭和59年 第24回東日本学生バドミントン選手権大会主管
昭和60年 第36回全日本学生バドミントン選手権大会において
　　北海道女子短期大学が団体ベスト４に進出
　　第37回全日本学生バドミントン東西対抗競技大会主管
昭和61年 第６代会長 小林 純幸 氏
昭和62年 第27回東日本学生バドミントン選手権大会主管
平成２年 第30回東日本学生バドミントン選手権大会主管
平成５年 第33回東日本学生バドミントン選手権大会主管
平成８年 第36回東日本学生バドミントン選手権大会主管

平成10年度 北海道学生バドミントン連盟 新役員

名誉会長	小林 純幸	委員長	竹本 貞信（札学院大）
会長	島中 貞夫	副委員長	佐藤 祐（北大）
副会長	東 健治		辻村 昌俊（札幌大）
	吉田 昇	会計	小杉 倫子（道女子大）
	安斉 勲	常任理事	神谷 行彦（酪農大）
監査理事	平沢 寛		茶木 勇博（北大）
	秋永 栄二		中嶋 裕美（札国際大）
専務理事	北村 優明		吉田 久美（北大）
常任理事	金田 隆一		畠中 剛（北学園大）
			渡辺 さつき（札学院大）

歴代委員長

昭和24年 高橋 隆司（北大）
昭和27年 今北 基夫（北大）
昭和29年 太田 稔郎（北海学園大）
昭和31年 野口 剛志（北海学園大）
昭和33年 上田 豊（北学大札幌）
昭和34年 永井 信夫（北大）
昭和35年 増田 幸（北学大札幌）
昭和36年 神野 宏道（北学大札幌）
昭和38年 高橋 宏（北大）
昭和39年 山部 盛亜（北大）
昭和40年 平川 幸三（北大）
昭和43年 岡沢 宏和（北大）
昭和45年 宮嶋 克巳（北大）
昭和46年 山影あきら（北大）
昭和47年 芦田 茂雄（北海学園大）
昭和48年 児玉 康（北大）
昭和49年 佐藤 忠芳（北大）
昭和50年 倉光 孝（北大）
昭和51年 西町 茂（北海学園大）
昭和52年 横田 則昭（北大）
昭和53年 坂口 泰之（北大）
昭和54年 越田 吉勝（北海学園大）
昭和55年 田口 幸一（北大）
昭和56年 斎藤 康幸（北星学園大）
昭和57年 町村 寿朗（北大）
昭和58年 中津川 誠（北大）
昭和59年 藤好 浩司（北星学園大）
昭和60年 蝦名 義一（小樽商科大）
昭和61年 林 真司（札幌大）
昭和62年 内藤 総悟（北大）
昭和63年 五十嵐浩行（北大）
平成元年 佐藤 公彦（札幌大）
平成２年 林 尚史（札幌大）
平成３年 荒井 徹（札幌学院大）
平成４年 関野高由貴（酪農学園大）
平成５年 西川 智己（北大）
平成６年 大沢 文彦（札幌学院大）
平成７年 北川 諭（北海学園大）
平成８年 柴田 宗春（道情報大）
平成９年 三好 義隆（道工大）

平成9年度の大会成績

・春季リーグ（野幌）

種目	参加数	優勝	2位	3位
男子団体	27	函館大	札幌学院大	札幌大
女子団体	23	駒沢苫小牧短大	北海道教育大札幌	北海道女子大

・学生選手権（岩見沢）

種目	参加数	優勝	2位	3位
男子複	112	尾山　真規（旭川大） 吹田　英明	西川　和成（函館大） 宮本　清治	加藤　義之（小樽商科大） 富樫　康貴
女子複	68	小林奈央子（北教大札幌） 二瓶志津香	斉藤　弓華（駒苫短大） 本多　志保	田崎　宣子（道女大） 近江　幸代
男子単	230	今西　隆浩（札幌大）	宇野　裕治（北大）	三上　真也（函館大）
女子単	134	二瓶志津香（北教大札幌）	谷口　直美（道女大）	本多　志保（駒苫短大）

・秋季リーグ（野幌）

種目	参加数	優勝	2位	3位
男子団体	27	函館大	札幌大	札幌学院大
女子団体	26	北海道女子大	駒沢苫小牧短大	北海道教育大札幌

・会長杯（滝川）

種目	参加数	優勝	2位	3位
男子複A	76	松本　譲（函館大） 三上　直也	西川　和盛（函館大） 宮本　清治	尾山　真規（旭川大） 吹田　英明
男子複B	139	本田　敦英（専修道短大） 平賀　淳一	長野　雅美（北教大釧路） 高橋　弾	岩田勇一郎（学園大北見） 児玉　和也
女子複A	59	二瓶志津香（北教大札幌） 小林奈央子	斎藤　弓華（駒苫短大） 三澤　直実	下田　育世（駒澤苫短大） 本多　志保
女子複B	85	堤　育子（北海学園大） 河田　有里	宮路ひとみ（東海大札幌） 藤牧記代美	佐野まり子（学園大北見） 渡辺　恵美
男子単A	127	今西　隆浩（札幌大）	加藤　義之（小樽商科大）	三上　直也（函館大）
男子単B	155	高橋　弾（北教大釧路）	長野　雅美（北教大釧路）	阿保　考広（小樽商科大）
女子単A	103	二瓶志津香（北教大札幌）	谷口　直美（道女大）	本多　志保（駒澤苫短大）
女子単B	72	奥村　昌子（帯広畜産大）	中筋　円香（北教大旭川）	那須野景子（武蔵女子大）

・新人戦（深川）

種目	参加数	優勝	2位	3位
男子団体	17	函館大A	函館大A	札幌学院大A
女子団体	12	駒沢苫小牧短大A	北海道女子大A	駒沢苫小牧短大B
男子複	71	尾山　真規（旭川大） 吹田　英明	金田　賢治（北海学園大） 和田　次郎	伊藤　勇介（札幌学院大） 久保　憲司
女子複	42	小森亜紀子（駒澤苫短大） 本多　志保	田崎　宣子（道女大） 高橋　律子	岡田　美紀（札幌国際大） 岡田　理佳
男子単	157	百瀬　隆幸（道女大）	宇野　裕治（北大）	金田　賢治（北海学園大）
女子単	97	二瓶志津香（北教大札幌）	菊入あゆみ（道女大）	本多　志保（駒苫短大）



ご　あ　い　さ　つ

北海道家庭婦人バドミントン連盟
会長　木　本　由　孝

本年は、北海道バドミントン協会が創立50周年の歴史を刻むことになり、心よりお祝い申し上げます。又長年に渡り、この歴史を支えてこられました関係各位に深く敬意を表する次第でございます。

今やバドミントンは大衆スポーツとして全国はもとより北海道の隅々まで普及し、小中学生、高校、大学、社会人、家庭婦人等々のそれぞれの全国大会が開催されていますことは周知の事実であります。

又、一方競技スポーツとして目覚ましいものがあり、世界選手権大会も世界のスポーツの位置づけとして重要性が認識され、1992年（平成４年）のバルセロナオリンピックには正式種目として活躍しましたことは、今もって記憶に新しいところであります。

顧みますと、50年の歴史には言葉に表せない程、苦難の道のりを経験した時期もありましたが、幸いにして多くの方々の発展的、充実的なご協力と、ご指導により困難を克服し、今日の隆盛を築いてきたと考えております。

今後、北海道バドミントン協会の50周年をひとつの節目として、北海道家庭婦人バドミントン連盟といたしましては、更なる研鑽を重ね、いつまでも若く、はつらつとした笑顔を忘れず、チャレンジ精神をもち続け北海道バドミントン協会の発展に一層の努力を傾けたいと思います。

おわりに、バドミントンを愛する会員の皆様の今後益々のご発展とご多幸を心よりご祈念申し上げ挨拶といたします。

全日本家庭婦人大会における本道選手の成績

回(年)開催地	順位	都道府県対抗	クラブ対抗
第1回(1983)	優勝	東京都A	
	2位	神奈川県	
東京都 板橋区	3位	千葉県・兵庫県	
	3位	東京都B・北海道	
第2回(1984)	優勝	東京都A	札幌パール (北海道)
	2位	東京都B	清水 (大阪府)
東京都 台東区	3位	兵庫県	千歳ママさん (北海道)
	3位	千葉県	敦賀バード (福井県)
第3回(1985)	優勝	東京都A	札幌パール (北海道)
	2位	栃木県	旭川 (北海道)
東京都 台東区	3位	北海道	調布エレガンス (東京都)
	3位	愛知県	熊本コスモス (熊本県)
第4回(1986)	優勝	東京都A	ダックス (東京都)
	2位	神奈川県	草加市バドミントン (埼玉県)
東京都 台東区	3位	大阪府	流山 (千葉県)
	3位	埼玉県	所沢 (埼玉県)
第5回(1987)	優勝	東京都A	コスモス (熊本県)
	2位	埼玉県	習志野 (千葉県)
京都府 長岡京市	3位	千葉県	上牧バド (奈良県)
	3位	兵庫県	高峯 (大阪府)
第6回(1988)	優勝	東京都A	流山 (千葉県)
	2位	北海道	日野レインボー (東京都)
東京都 立川市	3位	千葉県	名古屋 (愛知県)
	3位	奈良県	浦和あすなろ (埼玉県)
第7回(1989)	優勝	東京都A	水曜会 (福岡県)
	2位	大阪府	所沢 (埼玉県)
大阪府 大阪市	3位	北海道	岡崎 (愛知県)
	3位	山口県	市川 (千葉県)
第8回(1990)	優勝	東京都A	双葉 (愛媛県)
	2位	愛知県	滝川 (北海道)
石川県 金沢市	3位	奈良県	習志野 (千葉県)
	3位	神奈川県	札幌パール (北海道)

回(年)開催地	順位	都道府県対抗	クラブ対抗
第9回(1991)	優勝	東京都A	市川 (千葉県)
	2位	愛知県	所沢 (埼玉県)
東京都 町田市	3位	奈良県	浦和あすなろ (埼玉県)
	3位	神奈川県	ホワイト (山口県)
第10回(1992)	優勝	東京都	岡崎フェニックス (愛知県)
	2位	神奈川県	旭川シャトル (北海道)
北海道 札幌市	3位	千葉県	清水 (大阪府)
	3位	北海道A	豊田 (愛知県)
第11回(1993)	優勝	東京都A	札幌パール (北海道)
	2位	大阪府	浦和あすなろ (埼玉県)
東京都 渋谷区	3位	神奈川県	宝塚 (兵庫県)
	3位	愛知県	ミラクル (山口県)
第12回(1994)	優勝	東京都	双葉 (愛媛県)
	2位	愛知県A	下松ホワイト (山口県)
愛知県 名古屋市	3位	奈良県	札幌ウイング (北海道)
	3位	兵庫県	飛鳥 (千葉県)
第13回(1995)	優勝	大阪府	浦和あすなろ (埼玉県)
	2位	東京都	A,Aクラブ (福岡県)
長崎県 長崎市	3位	北海道	ラブリーズ (茨城県)
	3位	千葉県	札幌シーガル (北海道)
第14回(1996)	優勝	大阪府	西条バード (愛媛県)
	2位	千葉県	函館BLC (北海道)
島根県 松江市	3位	東京都	フレンド'84 (東京都)
	3位	神奈川県	清水クラブ (大阪府)
第15回(1997)	優勝	大阪府	A,Aクラブ (福岡県)
	2位	新潟県	滝川ママさん (北海道)
福島県 郡山市	3位	東京都	三原クラブ (広島県)
	3位	愛知県	勝栄クラブ (熊本県)
第16回(1998)	優勝		
	2位		
	3位		
	3位		

北海道家庭婦人バドミントン連盟年度別役員一覧表

役　職	昭和59,60年	昭和61,62年	昭和63,64年	平成２，３年	平成４，５年	平成６，７年	平成８，９年
会　長	木本　由孝	木本　由孝	木本　由孝	木本　由孝	木本　由孝	木本　由孝	木本　由孝
副　会　長	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代	東　健治	東　健治	東　健治
	下山　重子	荒島　敏行	荒島　敏行	荒島　敏行	十倉　久子	十倉　久子	十倉　久子
		下山　重子	下山　重子	下山　重子	橋本　裕子	橋本　裕子	橋本　裕子
		宝田由和子	宝田由和子	宝田由和子			
相　談　役					近藤　敏代	近藤　敏代	近藤　敏代
					荒島　敏行	荒島　敏行	荒島　敏行
					下山　重子	下山　重子	下山　重子
					宝田由和子	宝田由和子	宝田由和子
顧　問		橋　浪蔵	橋　浪蔵	橋　浪蔵	橋　浪蔵	橋　浪蔵	橋　浪蔵
		小飼　栄一	小飼　栄一	小飼　栄一	小飼　栄一	小飼　栄一	小飼　栄一
		笠原　一男	笠原　一男	藤井　一孝	藤井　一孝	藤井　一孝	藤井　一孝
		兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎	兼平　四郎
理　事　長	島中　玲子	島中　玲子	島中　玲子	島中　玲子	島中　玲子	島中　玲子	島中　玲子
副理事長	山口　菊枝	山口　菊枝	山口　菊枝	山口　菊枝	山口　菊枝	山口　菊枝	山口　菊枝
	金子　富枝	金子　富枝	金子　富枝	金子　富枝	金子　富枝	金子　富枝	金子　富枝
	遠藤　静子	遠藤　静子	遠藤　静子	遠藤　静子	遠藤　静子	遠藤　静子	遠藤　静子
監　査	石井　順子	石井　順子	石井　順子	石井　順子	石井　順子	石井　順子	石井　順子
	垂石　郁子	垂石　郁子	垂石　郁子	垂石　郁子	垂石　郁子	垂石　郁子	垂石　郁子
理事（北　見）	金田恵美子	金田恵美子	金田恵美子	金田恵美子	坂口　栄子	坂口　栄子	坂口　栄子
〃　（釧　根）	門馬　秀	門馬　秀	高橋　富子	高橋　富子	山本　裕子	山本　裕子	山本　裕子
〃　（十　勝）	成田　栄子	成田　栄子	成田　栄子	成田　栄子	成田　栄子	大竹　京子	大竹　京子
〃　（名　寄）	宮坂　慶子	宮坂　慶子	宮坂　慶子	宮坂　慶子	宮坂　慶子	宮坂　慶子	宮坂　慶子
〃　（旭　川）	横山妃佐子	横山妃佐子	笠木留美子	笠木留美子	松田美智子	松田美智子	青木夫早江
〃　（北空知）	前田　静枝	前田　静枝	前田　静枝	前田　静枝	前田　静枝	前田　静枝	前田　静枝
〃　（南空知）	寺地りつ子	寺地りつ子	寺地りつ子	寺地りつ子	寺地りつ子	寺地りつ子	寺地りつ子
〃　（札　幌）	片桐恵美子	片桐恵美子	片桐恵美子	片桐恵美子	片桐恵美子	片桐恵美子	片桐恵美子
〃　（小　樽）	青山　美代	青山　美代	橋本　靖子	橋本　靖子	久保メグミ	久保メグミ	久保メグミ
〃　（苫小牧）	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子	三上　裕子
〃　（室　蘭）	金浜　靖恵	金浜　靖恵	加地　宏子	加地　宏子	加地　宏子	加地　宏子	加地　宏子
〃　（函　館）	十倉　久子	十倉　久子	十倉　久子	十倉　久子	折原　敦子	折原　敦子	折原　敦子
理事（推　薦）	浅井　瑩子	浅井　瑩子	浅井　瑩子	浅井　瑩子	浅井　瑩子	浅井　瑩子	浅井　瑩子
〃	工藤　麗子	工藤　麗子	折原　敦子	折原　敦子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	工藤　鈴子
〃	折原　敦子	折原　敦子	工藤　鈴子	工藤　鈴子	吉田　惇子	吉田　惇子	吉田　惇子
〃	工藤　鈴子	工藤　鈴子	吉田　惇子	吉田　惇子	菅原たき子	菅原たき子	菅原たき子
〃	吉田　惇子	吉田　惇子	小飼　洋子	小飼　洋子	上田　幸江	上田　幸江	上田　幸江
〃	小飼　洋子	小飼　洋子	橋本　裕子	橋本　裕子	渡辺由美子	渡辺由美子	渡辺由美子
〃	須藤　静子	橋本　裕子	菅原たき子	菅原たき子	志尾　恭子	志尾　恭子	
〃	鈴木　末子	菅原たき子	上田　幸江	上田　幸江			
〃	石橋　和枝	天間　牧子	渡辺由美子	渡辺由美子			
〃	橋本　裕子						

10年間の活動の足跡

日本リーグ準優勝成る！

ＮＴＴ北海道バドミントン部
監督　伊藤雅弘

第12回バドミントン日本リーグから男女各６チームから８チームに増え、男子はトナミ運輸・北国銀行・ジャトコ、女子は九州日本電気（現　ＮＥＣ九州）・ベスト電器が新しく加盟しました。（男子はＮＴＴ東北が２部に降格のため３チーム）

６チームの時より上位入賞が難しくなったのはもちろん、とくにトナミ運輸はできたばかりのチームですが、日体大のインカレ上位選手をまとめて入れるなどかなりの強豪チームで、今回の日本リーグは厳しい試合になると覚悟を決めて臨みました。

当時ダブルスが米山・古川組、山尾・角谷組、シングルが伊藤だったが、メンバー不足のためどうしても米山監督が新人古川と組んで出なければならないという苦しい状況にあり、最初のトヨタ戦の第１ダブルスで米山・古川組が古賀・福田組にあっさり負けて、何とか最下位にならないようにという追い込まれた気持ちになりました。ところがその後のシングルスとダブルスが勝って２－１でトヨタに勝ち、トナミ運輸・北国銀行・日本電装・ジャトコといずれも２－１で下し、５勝０敗という予想外の結果になりました。結局残りのＮＴＴ東京・ＮＴＴ関西に負けはしたものの初の準優勝になり、古川の新人賞というおまけまで付く思いがけなくうれしい結果になりました。

平成３年　全日本実業団選手権大会

第41回全日本実業団選手権大会では古川がひざの故障のため欠場し、２複３単で行うこの大会では日本リーグ以上に苦しい状況でした。準々決勝でＮＴＴ関西と対戦し、第１ダブルスで米山・山尾組が、前年度全日本総合選手権大会ダブルス準優勝の辻田・奥野組に勝つという番狂わせがあり、その勢いで３－２で勝ちました。

翌日の準決勝ではトナミ運輸と対戦し、第１ダブルスで伊藤・角谷組が相手のエースダブルスの木船・濱北組に勝ち、この試合も最後までもつれたが、３－２で勝ち初の決勝に進むことができました。しかし、決勝までのインターバルが10分程しかなく、相手のＮＴＴ東京は日本電装を３－０であっさり下し十分休んでおり、実力の差もあって決勝は１－３であっけなく敗れました。



第12回日本リーグ小樽大会で古川・米山組（右側）が北国銀行の羽田、武田組を圧倒し、リーグ首位に並ぶ

平成元年（1989）はまなす国体

四十数年に一度の地元国体であり、バドミントン競技においても数年前から特に高校男女（ジュニア）を中心に強化しており、地元北海道の総合優勝を目指して頑張っていました。4種目（成年男女・少年男女）のなかで、やはり少年男子が優勝に1番近いと思われており、成年男子は、成年女子同様ベスト4が目標でした。

国体選手（各3名）については、通常8月の国体予選で決めますが、このときは5月に国体予選を行いました。最初に決まった国体選手は、成年男子が小飼（ラケットショップ菅原)、伊藤（ＮＴＴ北海道)、角谷（ＮＴＴ北海道)、成年女子が星（フジチュー)、和田（地崎商事)、小飼（ＮＴＴ北海道）でした。その後、男子の小飼が国体直前の全日本社会人大会でけがをしたため、山尾（ＮＴＴ北海道）に変わり、私は小飼とダブルスを組んで練習してきたので残念に思いましたが、山尾は同じチームで力もあり、とにかく最後までがんばろうと思いました。しかし、選手選考については例年よりも複雑な状況で、たいへん難しい選手選考だったと思います。

本番直前にはカルルス温泉で長期合宿を行い、ＮＴＴ東京の選手とのゲーム練習や当時、中央コーチということでＮＴＴ東京の尾崎監督にも指導していただきました。

大会では、成年女子が準々決勝で意外にも東京に1－2で敗れてしまいました。成年男子は準決勝で前年京都国体で準優勝の京都と対戦し、ダブルスでは前年度全日本総合選手権第3位の山本・村尾組と伊藤・山尾組が対戦し、ファイナル激戦の末伊藤・山尾が勝ち、続く第1シングルスでは角谷（北海道）が杉本（京都）を下し北海道が決勝に進みました。

決勝は京都国体優勝の神奈川と対戦し、伊藤・山尾組が長谷川・石場組に敗退、第1シングルスの角谷が細谷を下し最後までもつれたが、第2シングルスの伊藤が元全日本チャンピオンの底力を発揮した長谷川に敗退し、準優勝に終わりました。

少年男子はみごと優勝出来ましたが、総合成績は熊本に次いで惜しくも準優勝に終わりました。

冒頭にもありますが四十数年に一度しか来ない地元国体のために、何年もかけて強化したり中央コーチをたのんだりと地元をあげて取り組むことは当然の事になっており、北海道も御多分に漏れず努力し優勝は逃したものの初の総合準優勝という成績を上げることができました。これも多くの関係者の皆さんの努力の結果であり、また、幸運にも当時強化された選手やその中から地元国体の本番に出場出来たもっとも幸運な選手たちは、今後も北海道のバドミントン界に何らかの形で恩返しをしていかなければいけないと思います。

遠藤好男	昭和48・49年	ナショナルチーム
伊藤雅弘	平成元年12月	アジア選手権日本代表
	平成4年7月	日韓大会日本代表
	ヨネックスカップ　ジャパンオープン　87〜92・94	
古川英樹	アトランタ五輪候補	
	92年12〜93年1月	タイペイマスターズ、ジャパンオープン
		コーリアオープン出場（シングルスベスト16）

ＮＴＴ北海道バドミントン部経歴

昭和42年度
- 電電札幌バドミントン部発足する
（伊勢　武、江口歳男、森田　彪、山田龍一、平野義孝、佐藤信次、中村徳光、成瀬敏夫）
- 全道実業団選手権２部初優勝

昭和43年度
- 新入部員　木村敏男
- 全道実業団選手権１部昇格

昭和44年度
- 新入部員　中瀬幸記、吉川孝行

昭和45年度
- 新入部員　山口克志

昭和46年度
- 新入部員　赤塚正三、平山三城
- 全道実業団選手権１部初優勝
- 国体出場　中村、木村

昭和47年度
- 新入部員　中川肇、佐藤義孝、福島清寛
- 電電北海道バドミントン部と改名
- 国体出場　中村、木村

昭和48年度
- 新入部員　遠藤好男
- 遠藤　ナショナルチームメンバー
第１回日中大会（国交回復記念）に参加
- 国体出場　伊勢、木村、遠藤

昭和49年度
- 新入部員　岩村重勝
- 全日本社会人選手権　男単準優勝　遠藤
- 遠藤　ナショナルチームメンバーで中国遠征
- 国体出場　伊勢、木村、遠藤
- 公社組合より［準公認サークル］と扱われる

昭和50年度
- 新入部員　九原政敏、平沢　徹
- 国体出場　伊勢、木村、遠藤

昭和51年度
- 新入部員　高木勝弘、篠尾幸孝
- 国体出場　伊勢、木村、遠藤、九原

昭和52年度
- 国体出場　平山、木村、遠藤、九原

昭和53年度
- 国体出場　平山、木村、遠藤、九原
遠藤　北海道選手団選手宣誓者
- 道協30周年表彰　技能賞　団体、木村選手

昭和54年度
- 新入部員　米山孝二
- 国体出場　成年男子　22年振り３位
林、平山、木村（選手団旗手）、遠藤、九原、木村　日体協　技能賞（連続10回出場）

昭和55年度
- 新入部員　高田浩二
- 国体出場　菅原、平山、木村、遠藤、高木
- 第２回日本リーグに電電北海道　初参加
- 道内各地での［バドミントン教室］始まる

昭和56年度
- 木村　全日本実業団大会功労賞（連続10回）
- 国体出場　平山、木村、遠藤
遠藤　日体協　技能賞（連続10回出場）

昭和57年度
- 新入部員　久郷俊明、千葉昌弘
- 国体出場　平山、木村、遠藤、千葉　３位
- 電電北海道バドミントン部後援会できる
- 電電札幌体育館落成

昭和58年度
- 新入部員　中島俊也
- 国体出場　中道、木村、遠藤、米山
- 遠藤　全日本実業団大会功労賞（連続10回）

昭和59年度
- 新入部員　加藤　学
- 北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会
北海道大会出場　平山、遠藤、米山、千葉
- 国体出場　平山、遠藤、米山
- ヨネックスカップジャパンオープン'85
出場　遠藤、米山組

昭和60年度
- 新入部員　伊藤雅弘
- ＮＴＴ北海道バドミントン部と改名
（60.4.1より公社から民営に）
- 北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会
ソ連大会出場　平山、遠藤、米山、千葉
- 国体出場　望月、平山、遠藤、米山、伊藤

昭和61年度
- 新入部員　田中弘幸
- 北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会
北海道大会出場
平山、遠藤、米山、千葉、中島、伊藤
- 国体出場　平山、遠藤、米山、伊藤
- 遠藤　北海道新聞社賞　受賞
- 木村　全国実業団大会功労賞（連続15回）

昭和62年度
- 新入部員　山尾克則
- 北海道・ソ連極東地区親善スポーツ大会
ソ連大会出場
平山、遠藤、米山、千葉、伊藤、中島
- 国体出場　遠藤、米山、千葉、伊藤
- 篠尾　全国実業団大会功労賞（連続10回）

昭和和63年度
- 新入部員　弓削展子、小笠原満
- ＮＴＴ北海道女子部　誕生
- 国体出場　北川、米山、千葉、中島、伊藤
- ジャパンオープン'89出場　伊藤
- 道協40周年表彰 特別技能賞 ＮＴＴ北海道　技能賞　木村　功労賞　米山、高木

平成元年度
- 新入部員　小飼真弓、田中範子
- ＮＴＴ北海道女子部員発足
- 米山　全国実業団大会功労賞（連続10回）
- はまなす国体　成年男子　準優勝
北川、米山、伊藤、山尾、角谷
- 伊藤　ナショナルチームメンバーとして、アジア選手権大会（上海）に出場
- 北海道・カナダアルバータ州親善大会参加
（北海道大会）田中弘、工藤、小笠原、田中
- ジャパンオープン'90出場　伊藤

平成２年度
- 新入部員　古川英樹
- 全道実業団選手権　男子20連勝　女子初優勝
20連覇祝賀会開催される
- 日本リーグ　準優勝　　古川　新人賞
- 日・韓北海道大会出場　女子　小飼、田中
- 国体出場　北川、米山、伊藤、山尾、角谷、古川
（女子）　小飼、田中
- ジャパンオープン'91出場　伊藤

平成３年度
- 新入部員　土屋留美子、佐藤京子
- 全国実業団選手権　男子準優勝
- 女子　日本リーグ２部進出
- 国体出場　　成年男子　４位
阿部、米山、伊藤、山尾、角谷
（女子）　小飼、田中、小笠原
- ジャパンオープン'92出場　伊藤
- 北海道選手権大会　田中範子　三冠王獲得

平成４年度
- 新入部員　武田明美
- 伊藤　ナショナルチームメンバー入り
日韓大会　オリンピック候補合宿　参加
- 古川　次期アトランタオリンピック候補選手
台北マスターズ、ジャパンオープンに参加
- 北海道選手権　田中範子　連続三冠王獲得

平成５年度
- 新入部員　村井秀樹
- 伊藤　ナショナルチームメンバー入り
- 国体出場　牧野、米山、伊藤、村井、古川
（女子）　田中
- ジャパンオープン'94出場　伊藤

平成６年度
- 新入部員　佐藤嘉伸
- 日本リーグ男子　佐藤　新人賞
- 日本リーグ女子２部　準優勝
- 国体出場　牧野、伊藤、角谷、村井、古川
（女子）　武田

平成７年度
- 新入部員　斉藤一裕、高橋昌子
- 国体出場　月尾、伊藤、村井、古川、佐藤
（成年女子）　木村敏、田中、佐藤
- 伊藤　全国実業団大会功労賞（連続10回）

平成８年度
- 新入部員　水澤直哉、　吉岡秀樹
標　千春、　本田　恵
- 国体出場　月尾、伊藤、村井、佐藤、水澤
（女子）　武田

平成９年度
- 新入部員　後藤綾子、中井喜代美
- 全道実業団大会　27連覇
- 国体出場　月尾、伊藤、村井、佐藤、水澤
（女子）　武田、後藤、中井

ＮＴＴ北海道の戦歴

[男子部]	全国大会戦歴　○順位						全道大会優勝者						
大会名種目	実業団	日本リーグ	全日本総合		社会人（実業団㊐）		実業団	北海道選手権		社会人		国体道予選	
			単	複	単	複		単	複（混複）	単	複（混複）	単	複
昭和46年							優勝 初	赤塚	中村・木村	赤塚	中村・木村		中村・木村
昭和47年	5位						優勝 2	赤塚	中村・木村	赤塚	赤塚・平山		中村・木村
昭和48年	9位						優勝 3	遠藤	木村・遠藤	遠藤	木村・遠藤	遠藤	木村・遠藤
昭和49年	3位		⑤遠藤		②遠藤		優勝 4	遠藤	木村・遠藤	遠藤	木村・遠藤	遠藤	木村・遠藤
昭和50年	3位		⑤遠藤		⑤遠藤	混③木村・高野	優勝 5	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤
昭和51年	5位		⑤遠藤		⑤遠藤		優勝 6	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤
昭和52年	5位				⑤遠藤		優勝 7	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤
昭和53年	5位			⑤遠藤・木村		③遠藤・木村 ㊐⑤遠藤・木村	優勝 8	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤 （木村・高野）	遠藤	木村・遠藤
昭和54年	5位			⑤遠藤・木村		③遠藤・木村 ㊐③遠藤・木村	優勝 9	遠藤	髙木・米山	遠藤	木村・遠藤 （髙木・田垣）	遠藤	木村・遠藤
昭和55年	5位	6位			㊐30① （赤塚）		優勝 10	遠藤	髙木・米山	遠藤	髙木・米山	遠藤	木村・遠藤
昭和56年	5位	5位				30混③赤塚・岡本 ㊐30①赤塚・木村	優勝 11	遠藤	髙木・米山	遠藤	髙木・米山	遠藤	木村・遠藤
昭和57年	5位	6位				⑤遠藤・米山	優勝 12	遠藤	遠藤・米山	遠藤	遠藤・米山	遠藤	遠藤・米山
昭和58年	9位	4位		⑨遠藤・米山			優勝 13	遠藤	遠藤・米山	遠藤	遠藤・米山	遠藤	遠藤・米山
昭和59年	5位	6位		⑤遠藤・米山			優勝 14		遠藤・米山	千葉	遠藤・米山	千葉	遠藤・米山
昭和60年		3位		⑤遠藤・米山		⑨千葉・中島	優勝 15		遠藤・米山	伊藤	遠藤・米山	伊藤	千葉・中島
昭和61年	3位	3位	⑨伊藤	⑤遠藤・米山	③伊藤	⑨千葉・中島	優勝 16	伊藤	米山・伊藤	伊藤	米山・伊藤	伊藤	米山・伊藤
昭和62年	3位	5位	⑨伊藤	⑨米山・伊藤	⑤伊藤	⑨米山・伊藤	優勝 17	伊藤	米山・伊藤		久郷・山尾	伊藤	米山・伊藤
昭和63年		4位	⑨伊藤	⑨千葉・中島	③伊藤	⑤千葉・中島	優勝 18	伊藤	米山・伊藤	伊藤		伊藤	伊藤・山尾
平成元年	5位	3位		⑨山尾・角谷	③伊藤	⑨山尾・角谷	優勝 19	伊藤	伊藤・小飼	伊藤		伊藤	伊藤・山尾
平成２年	5位	2位		⑤伊藤・本田	③伊藤		優勝 20	伊藤	山尾・角谷	角谷	伊藤・古川	伊藤	山尾・角谷
平成３年	2位	7位	⑤伊藤	混⑤角谷・田中	③伊藤	③伊藤・角谷	優勝 21	伊藤	伊藤・角谷 （角谷・田中）	角谷	米山・山尾	伊藤	伊藤・角谷
平成４年	3位	5位		混③角谷・田中	⑤伊藤	⑤山尾・古川	優勝 22	伊藤	伊藤・角谷 （角谷・田中）	伊藤	伊藤・山尾	伊藤	伊藤・山尾
平成５年	5位	6位	⑤伊藤		⑤伊藤		優勝 23	伊藤	伊藤・古川	古川	角谷・村井	伊藤	伊藤・古川
平成６年	17位	5位		⑨伊藤・佐藤			優勝 24	伊藤	伊藤・佐藤	伊藤	角谷・伊藤	古川	村井・古川
平成７年	5位	7位		混⑨星・田中		⑤古川・斉藤 ⑨村井・佐藤	優勝 25	古川	村井・佐藤	佐藤	村井・佐藤	古川	村井・佐藤
平成８年	5位	4位		⑤村井・佐藤	⑨古川	混⑨村井・田中	優勝 26	古川	村井・佐藤	古川	村井・佐藤	水澤	村井・佐藤
平成９年	9位	7位		⑤村井・佐藤		⑨村井・佐藤 ⑨水澤・斉藤	優勝 27	水澤	村井・佐藤	古川	村井・佐藤	水澤	村井・佐藤

ＮＴＴ北海道女子部の戦歴

[女子部]	全国大会戦歴　○順位						全道大会優勝者							
大会名種目	実業団	2部リーグ	全日本総合		社会人		実業団	北海道選手権		社会人		国体道予選	
			単	複	単	複		単	複（混複）	単	複（混複）	単	複
平成元年				⑨小飼・田中		⑨小飼・星	2位						
平成2年						⑤小飼・田中	優勝	田中	小飼・田中	田中	小飼・田中	田中	小飼・田中
平成3年	5位						優勝	田中	小飼・田中	田中	小飼・田中	田中	小飼・田中
平成4年	5位	4位					優勝	田中	小笠原・田中	田中	小笠原・田中	田中	小笠原・田中
平成5年	9位	3位			⑨田中	⑨日影・田中	2位		日影・田中			田中	
平成6年	9位	2位				⑨田中・佐藤	優勝				土屋・武田		
平成7年		3位					優勝			田中	佐藤・武田	田中	田中・佐藤
平成8年		3位					優勝	土屋	土屋・武田	武田	土屋・武田	武田	田中・佐藤
平成9年		4位				⑨土屋・武田	優勝	武田	土屋・武田	武田	武田・中井	武田	中井・後藤

ＮＴＴ北海道普及活動［バドミントン教室］開催地

年度	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和61年	昭和62年	昭和63年
開催市町村	斜里町 根室市 白老町	斜里町 陸別町 名寄市 追分町 網走市 新十津川町	美瑛町 江差町 清水町 釧路市 北見市 滝川市 追分町	上湧別町、栗山町 三笠市、中川町 襟裳町、広島町 登別市、追分町 長万部町、北竜町 留辺蘂町 上士幌町	恵庭市 広尾町 苫小牧市 旭川市	苫小牧市 浦河町 富良野市 札幌、東区 札幌、西区 函館市 士別市	清水町 札幌市 根室市 浜頓別町	函館市 岩見沢市 帯広市 八雲町

年度	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年
開催市町村	帯広市 栗山町 栗沢町 名寄市 岩見沢市	帯広市 鹿追町 名寄市 小樽市 旭川市 士別市	釧路市 帯広市 旭川市 小樽市 長沼町 芦別市 名寄市	小樽市、新得町 砂川市、函館市 名寄市、鶴居村 芽室町 幕別町 帯広市 栗山町	小樽市 芦別市 幕別町 斜里町 歌志内市 石狩町 岩見沢市	小樽市 清水町 音更町 幕別町 上磯町 八雲町 浜益村	岩見沢市 小樽市 幕別町 音更町 北見市 礼文町	小樽市 黒松内町 滝川市 砂川市 北見市 登別市 帯広市

ＮＴＴ北海道歴代の役員

	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53・54年度
オーナー	清水　通隆	伊佐　進	伊佐　進	植田　義明	植田　義明	千葉　孝	千葉　孝	松原　士朗
部長	鈴木　久喜	鈴木　久喜	岡本　実	岡本　実	福田　整司	福田　整司	福田　整司	林　信幸
副部長							伊勢　武	伊勢　武
監督	江口　歳男	森田　彪	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	平山　三城	平山　三城
コーチ	森田　彪			赤塚　正三	赤塚　正三	赤塚　正三	赤塚　正三	赤塚　正三
マネージャー	伊勢　武	伊勢　武	佐藤　信次	中瀬　幸記	中瀬　幸記	平山　三城	岩村　重勝	岩村　重勝
主将	中村　徳光	中村　徳光	中村　徳光	木村　敏男	木村　敏男	木村　敏男	木村　敏男	木村　敏男
	昭和55・56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61・62年度	昭和63年度	平成元年度
オーナー	信澤　健夫	髙橋　一巧	坂上　昭二	坂上　昭二	坂上　昭二	外松　源司	西野　博	西野　博
部長	菅原　光宏	中道　雅克	中道　雅克	中道　雅克	望月幸三郎	望月幸三郎	北川　誠	北川　誠
副部長	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武	伊勢　武
監督	平山　三城	木村　敏男	木村　敏男	遠藤　好男	遠藤　好男	遠藤　好男	米山　孝二	米山　孝二
コーチ	赤塚　正三	遠藤　好男	遠藤　好男					千葉　昌弘
マネージャー	木村　敏男	米山　孝二	米山　孝二	篠尾　幸孝	篠尾　幸孝	久郷　俊明	大沼　哲也	中島　俊也
主将	遠藤　好男	佐藤　義孝	佐藤　義孝	米山　孝二	米山　孝二	米山　孝二	千葉　昌弘	伊藤　雅弘
女子主将						62副部長　山本　英一		弓削　展子
	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
オーナー	髙橋　徹	髙橋　徹	川内　武	川内　武	川内　武	涌井　裕	涌井　裕	堀口　昌基
部長	北川　誠	阿部　隆	牧野　哲也	牧野　哲也	牧野　哲也	月尾　修	月尾　修	月尾　修
副部長	伊勢　武	平山　三城	平山　三城	平山　三城	木村　敏男	木村　敏男	木村　敏男	木村　敏男
監督	米山　孝二	米山　孝二	米山　孝二	米山　孝二	伊藤　雅弘	伊藤　雅弘	伊藤　雅弘	伊藤　雅弘
コーチ		伊藤　雅弘	伊藤　雅弘	伊藤　雅弘	角谷　淳一	村井　秀樹	村井　秀樹	村井　秀樹
女子コーチ				日影　真弓	日影　真弓	日影　真弓	田中　範子	
マネージャー	加藤　学	加藤　学	臼井　展子	臼井　展子	臼井　展子	工藤　忠和	工藤　忠和	工藤　忠和
主将	伊藤　雅弘	山尾　克則	山尾　克則	角谷　淳一	工藤　忠和	古川　英樹	古川　英樹	古川　英樹
女子主将	弓削　展子	弓削　展子	小笠原　満	小笠原　満	小笠原　満	田中　範子	土屋留美子	土屋留美子

歴史を刻む「北の強豪」

ＪＲ北海道バドミントン部
副部長　乙　武　重　丸

ＪＲ北海道バドミントン部は北海道協会設立から４年後の昭和28年に同好会として発足、翌年には正式に部となり、チーム名「札鉄」としてスタート。その年の全道実業団に初出場し準優勝、翌年から12年連続優勝を果たし、常勝「札鉄」の名を。その間、全国では第９回全日本実業団選手権大会に於いて準優勝に輝くなど「北の強豪」として親しまれてきました。

その後、「札幌鉄道管理局」「国鉄北海道」「札鉄」そして、国鉄分割民営化により新生「ＪＲ北海道」とチーム名を変えながら46年の歴史を重ね、実業団チームとしては全国で屈指の伝統を誇るチームに育つことができました。

多くの皆様に支えられ、46年の歴史を刻むことができた重さを認識し、これからも北海道バドミントン協会の一員として、一層の精進を重ねていきたいと思います。





沿　革　史

1953（昭和28年）	札鉄バドミントン同好会として発足
1954（昭和29年）	札鉄バドミントン部として発足（初代監督に西本秀一郎就任）
	第４回全道実業団選手権大会初出場（三井芦別に惜敗し準優勝）
1955（昭和30年）	第５回全道実業団選手権大会初優勝・初代部長に野村信一就任
	第５回全日本実業団選手権大会初出場（ベスト８）
1956（昭和31年）	第６回全道実業団選手権大会優勝（連覇）
1958（昭和33年）	第８回全日本実業団選手権大会、札幌市で開催（第３位）
1959（昭和34年）	第９回全日本実業団選手権大会で準優勝に輝く（善通寺市）
1961（昭和36年）	第11回全日本実業団選手権大会・第３位
1963（昭和38年）	青山繁樹２代目監督に就任

1964（昭和39年）	第14回全道実業団選手権大会・男女優勝
	北海道選手権兼国体予選会（1961年より各種目、札鉄勢独占）
1966（昭和41年）	第16回全道実業団選手権大会・優勝（12年連続）
1969（昭和44年）	北海道バドミントン協会より特別功労賞（団体）受賞
	青山監督が勇退し渋井明が監督に就任
1972（昭和47年）	組織改正によりチーム名「国鉄北海道」に改称
1975（昭和50年）	第１回全国鉄大会（連盟主催）優勝
1978（昭和53年）	組織改正によりチーム名「札幌鉄道管理局」に改称
1979（昭和54年）	北海道実業団連盟「功労賞」受賞・山田元監督就任
1980（昭和55年）	乙武重丸が10年振りに部に復帰し監督に就任
1981（昭和56年）	国鉄「加賀山賞・団体の部」受賞・札幌弥生会館で祝賀会開催
1983（昭和58年）	第33回全日本実業団選手権大会が札幌市で開催・地元勢最高の第５位
	倉部30周年記念祝賀会を札幌パレスホテルで開催
1984（昭和59年）	国鉄バドミントン連盟より「特別功労賞」受賞
1985（昭和60年）	組織改正により国鉄北海道総局、チーム名「札鉄」に改称
1986（昭和61年）	第12回全国鉄大会・12年連続優勝
1987（昭和62年）	国鉄分割民営化により新会社「北海道旅客鉄道株式会社」誕生
	チーム名「ＪＲ北海道」として、新スタート（新部長に山崎正博就任）
1988（昭和63年）	第38回全日本実業団選手権大会・ＮＴＴ北海道を３回戦で破りベスト16
	第10回日本リーグ予選会に初出場（準準決勝で北國銀行に惜敗）
	第１回全国ＪＲ大会で優勝
1989（平成元年）	第２回全国ＪＲ大会が札幌市で開催・優勝
	北海道旅客鉄道株式会社「社長表彰」受賞
1990（平成２年）	第12回日本リーグ２部リーグ創設（第９位）
	ＪＲバドミントン連盟理事長に渋井明副部長が就任
1991（平成３年）	第13回日本リーグ２部で３位入賞（４勝２敗）
1992（平成４年）	第14回日本リーグ２部で準優勝を果たす（６勝１敗）
	交通新聞「第３回スポーツ賞・団体賞」受賞
	創部40周年祝賀会を札幌弥生会館で開催・記念誌「シャトルの 軌跡」を発刊
1993（平成５年）	青山繁樹ＯＢ会会長が北海道実業団連盟会長に就任
1994（平成６年）	初の大学卒選手、郷路一郎（青学大）が入部
1995（平成７年）	15年間、部を率いた乙武重丸監督が勇退し副部長に。後任に高橋助監督
	第45回全日本実業団選手権大会が札幌市で開催（４回戦）
1996（平成８年）	高橋進監督勇退、松村徳市コーチが監督に就任
1997（平成９年）	全日本実業団選手権大会でベスト16（５年振りにシード権獲得）
	日本リーグ'97 ２部大会が初めて北海道（旭川市）で開催：第７位
	第10回全国ＪＲ大会で優勝（10年連続10回目・国鉄大会から通算26連覇）

全日本実業団バドミントン選手権大会全成績

回	年	開催地	参加数	成績	勝敗	監督	主将	選手
4	1955	名古屋市	24	ベスト8	2−1	国松	新田・井川・西崎・江原・牧野	
5	1956	高岡市	29	ベスト8	2−1	西本	新田・井川・青山・江原・牧野	
6	1957	高松市	29	ベスト8	2−1	西本	新田・井川・青山・長山・西本	
7	1957	岐阜市	36	2回戦	1−1	西本	新田・井川・青山・長山・西本・笠松・熊倉	
8	1958	札幌市	23	3位	4−1	西本	新田・井川・青山・熊倉・島・笠松	
9	1959	善通寺市	43	準優勝	4−1	西本	井川・長山・島・熊倉・平沢・有路・渋井	
10	1960	名古屋市	38	2回戦	1−1	西本	青山・熊倉・島・平沢・有路・渋井	
11	1961	倉敷市	42	3位	4−1	西本	渋井・熊倉・島・平沢・大石・有路・伊藤	
12	1962	熊本市	38	4位	3−2	青山	渋井・熊倉・島・平沢・大石・有路・伊藤	
13	1963	三条市	56	ベスト8	2−1	青山	渋井・熊倉・島・平沢・大石・伊藤・田中	
14	1964	松山市	50	4位	3−2	青山	平沢・渋井・大石・伊藤・田中・福島	
15	1965	北九州市	40	3位	4−1	青山	平沢・渋井・大石・伊藤・田中・福島	
16	1966	大阪市	61	4位	3−2	青山	平沢・渋井・大石・伊藤・田中・福島・青山	
17	1967	勝山市	67	ベスト8	3−1	青山	伊藤・大石・田中・福島・渋井・青山・井川	
18	1968	諫早市	68	ベスト16	2−1	青山	渋井・田中・福島・東・乙武・柴田・山田	
19	1969	釜石市	62	ベスト8	3−1	渋井	福島・田中・渋井・東・乙武・柴田・山田・山田	
20	1971	高松市	66	ベスト8	3−1	渋井	渋井・伊藤・東・山本・青山・柴田・山田・山田	
21	1971	鹿児島市	69	ベスト16	2−1	青山	東・山本・福島・渋井・青山・伊藤・柴田	
22	1972	茂原市	87	ベスト16	2−1	渋井	東・山田・山田・柴田・山田・山本・渋井・大川	
23	1973	石岡市	86	ベスト16	2−1	渋井	東・山田・山田・柴田・山田・山本・渋井・柴田	
24	1974	松坂市	102	ベスト16	2−1	渋井	東・山田・山田・柴田・山田・山本・渋井	
25	1975	高岡市	107	ベスト16	2−1	渋井	東・山田・山田・柴田・山田・山本・平	
26	1976	藤沢市	117	ベスト16	3−1	渋井	東・山田・山田・柴田・山田・山本・平	
29	1979	岡山市	101	3回戦	1−1	山田	山本・平・山田・広川・高崎・山田・柴田	
30	1980	新居浜市	101	ベスト16	4−1	乙武	山本・平・柴田・広川・高崎・高橋・野沢	
31	1981	名古屋市	113	4回戦	0−1	乙武	広川・山本・高崎・高橋・野沢・七崎・山田	
32	1982	立川市	124	4回戦	2−1	乙武	広川・高崎・高橋・七崎・松村・乙武・山田	
33	1983	札幌市	105	5位	3−1	乙武	高崎・高橋・七崎・松村・松岡・山本・山田	
34	1984	大阪市	116	ベスト16	2−1	乙武	高崎・高橋・七崎・松村・松岡・山本・乙武	
35	1985	藤沢市	122	ベスト16	2−1	乙武	高崎・高橋・松村・松岡・山本・乙武・山田	
36	1986	京都市	120	ベスト16	2−1	乙武	高崎・高橋・七崎・松村・松岡・奥名・山本・乙武	
37	1987	名古屋市	114	4回戦	1−1	乙武	高橋・七崎・松村・松岡・奥名・乙武・田中・山田	
38	1988	金沢市	128	ベスト16	4−1	乙武	高橋・七崎・松村・松岡・奥名・乙武・田中・山田	
39	1989	岡山市	128	ベスト16	2−1	乙武	高橋・七崎・松村・松岡・奥名・乙武・田中・山田	
40	1990	神戸市	132	ベスト16	2−1	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・奥名・乙武・田中・平野	
41	1991	仙台市	132	ベスト16	2−1	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・奥名・馬木・米田・乙武	
42	1992	広島市	134	ベスト16	2−1	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・馬木・米田・高嶋・田口	
43	1993	高岡市	142	4回戦	1−1	乙武	松村・高橋・松岡・馬木・米田・高嶋・田口・佐竹	
44	1994	福岡市	133	2回戦	0−1	乙武	松村・高橋・郷路・馬木・米田・高嶋・田口・乙武	
45	1995	札幌市	134	4回戦	2−1	高橋	郷路・高橋・馬木・米田・高嶋・田口・寺尾・松村	
46	1996	東京都	149	4回戦	2−1	松村	馬木・郷路・米田・高嶋・田口・寺尾・沼尻・松村	
47	1997	熊本市	135	ベスト16	4−1	松村	馬木・米田・高嶋・田口・寺尾・小倉・松村	
		計			97−45			

バドミントン日本リーグ（2部）全成績

回	年	開催地	参加数	成績	勝敗	監督	主将	選手
12	1990	尼崎市	10	第9位	1−8	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・奥名・山田・乙武	
13	1991	長岡京市・大分市		第3位	4−2	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・奥名・山田・乙武・馬木・米田	
14	1992	宝塚市	8	準優勝	6−1	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・馬木・米田・高嶋・田	
15	1993	福岡市	8	第5位	3−4	乙武	松村・高橋・七崎・松岡・馬木・米田・高嶋・田口・佐竹	
16	1994	八代市	7	第4位	3−3	乙武	松村・高橋・郷路・馬木・米田・高嶋・田口	
17	1995	小山市	8	第6位	3−4	高橋	郷路・寺尾・松村・馬木・米田・高嶋・田口・高橋	
18	1996	名古屋市	8	第6位	2−5	松村	馬木・寺尾・米田・高嶋・田口・郷路・松村	
19	1997	旭川市	8	第7位	2−5	松村	馬木・寺尾・米田・高嶋・田口・小倉・松村	
		計			26−35			

華麗に翔べ！ コートに舞え！

チザキバドミントン部
部長　中　村　富　光

◇日本リーグ'95（二部）準優勝の思い出

平成７年11月24日から三日間栃木県小山市で行われた二部リーグでは、リーグ入り以来最高位の準優勝に輝いた当時を想いだし、その経過を書きたいとおもいます。

この年のチザキチームは若手の急成長とエース日原恵美里を率い十分な調整を積み全部員一丸となり優勝をめざし栃木入りをしました。

一日目

第一試合は対トヨタ自動車戦、林夕起子・八角亜紀組が２－０で初戦をものにし、続くシングルスの日原恵美里は相手に１点しか許さない完璧な試合で２－０の圧勝、つづく第三試合は梶原夕子・岩崎美香組はファイナルゲームの末１－２で負けてしまいました。多少ウォーミングアップが十分で無かったのか、勝負が決まり気が抜けたのか、しかしこの一敗が後半の頑張りにつながったようです。

第二試合は対百十四銀行で、林・八角組は接戦の末１－２で敗れ、続くエース日原はあっさりと２－０で勝ち、最後のダブルスに持ち込まれた。ここで梶原・岩崎組は、本領をコンビネーションを発揮し２－１で勝って２勝目をあげる事が出来た。

チーム名	チザキ
オーナー	地崎　昭宇
部長	岩崎　昭郎
副部長	中村　富光
監督	坂東　康夫
コーチ	佐藤　信
選手・主将	日原恵美里
選手・マネ	八角　亜紀
選手	鳥本　知美
〃	尾関　知子
〃	星川　愛
〃	岩崎　美香
〃	林　夕起子
〃	梶原　夕子

続く第三試合は強豪因縁の東北電力新潟戦、三年前に二部入りを賭けたチャレンジリーグで当たり大接戦の末逆転でチザキに負けリーグ入りが出来なかった苦い経験が相手にあり、「打倒チザキ」に燃えて挑戦してきました。その熱意におし負けたのかエース日原が接戦の末シングルスを初めて落とし一敗をしてしまいました。

二日目

第一試合は対日本電装、ダブルスは予定通りの１対１となりエース日原がシングルスをものにし順当勝ちをおさめました。

第二試合は因縁の宿敵ＮＴＴ北海道戦、双方負けられない一戦である。

第一ダブルス林・八角組はトップダブルに０－２と敗れ、エース日原は危なげなくポイントを取り、最後の梶原・岩崎組に勝負がかかった。相手は土屋・武田組でこれまでも互角の相手である。しかし勢いに乗る我がチームは因縁のＮＴＴをくだし４勝目を上げ、益々元気良く盛り上がって行きました。

三日目

第一試合は上位チームとの戦いに入りいよいよ接戦が予想される対戦相手のＮＥＣ相模原戦、我がチームは先方の作戦が読めていたので、最後のダブルスに、勝負を賭け林・八角組をトップに出しエース日原の１ポイントで１対１に持ち込みエースダブルス梶原・岩崎組で勝ち取る作戦も当たり５勝目を上げ最終戦に臨みました。



最終戦は強豪の北國銀行戦で、トップダブルスは林・星川愛組を使い敗れはしましたが、日原で対に戻し、最後のダブルスに持ち込まれました。この試合はもつれにもつれ途中まで先方にリードされ、冷や冷やの試合でしたが、ファイナルゲームの末２対１で逆転勝ちし、結局全成績では６勝１敗の堂々の準優勝で終わる事が出来ました。

会社からは沢山の応援団が駆けつけていただき、大変盛り上がった大会で終わりました。

◇第１回チザキバドミントンＯＧ会の思い出

チザキバドミントン部は昭和40年に現在の岩崎道協会理事長が一期生で始まり、当時道協会長だった３代目地崎宇三郎氏（地崎組社長）の後押しがあり、以後今日まで32年間続いているクラブです。

その間当時の地崎商事社長だった故山口日出夫氏（道協会副会長）や道議だった故宇野真平氏（道実連会長）の後押しもあり今日まで50数人のＯＧが巣立ち現在各方面で活躍中で有ります。

この度創部以来初めてのＯＧ会を29年ぶりに地崎工業で行う（平成７年３月４日）事になり、案内を出したところ懐かしい顔ぶれが集い楽しい一時が過ごせました。今回のＯＧ会は新社屋に新体育館もでき、久しぶりに現役選手とＯＧの顔合わせをおこない応援をしていただく目的と、社内の理解を深めてもらう意味で、地崎会長、商事の河崎社長、工業の佐々木副社長、熊谷副本店長、松浦顧問が出席され新体育館で現役との交流試合では、楽しいゲームが終始行われ、地崎会長もラケットを持ち参加するなど、久しぶりにＯＧも若返りをみせ珍プレー・ハッスルプレーの続出に会場も終始なごやかに楽しい一時を送りました。

またその後の懇親会では現役選手の紹介、今後の抱負等紹介され輝かしいＯＧの成績に負けないように気持ちも新たに決意を堅くした様子でした。

懇親会では子供達の駆け回る様子や、あちらこちらで現役当時の思い出話やその後のＯＧの様子など話に花が咲くようににぎやかな懇親会が繰り広げられました。中にはすっかり奥さんになっている人、現役と少しも変わらない人、とても運動選手だったとは思えない人等永い年月を感じさせられました。



出席者全員で記念撮影


「黄金コンビ」復活　岩崎・中村組


今でも強い水戸・杉本組


無敵を誇った鈴木・遠藤組

地　崎　の　思　い　出

元 チザキバドミントン部選手　遠　藤　静　子

私が地崎組（現地崎工業）に入社したのは昭和46年の春でした。

この年は静修短大から私１名と静修高校からは今川（現山本）喜佐子さんがバドミントンで入社し、地崎組のバドミントン部の歴史はこの年に始まりました。

地崎商事にはすでに清水敏子さん、高野美千子さん、渡辺（現杉本）加代子さんの３名の部員がおり実業団の大会などに参加していました。又、この年は静修高校から村上（現鈴木）政子さんが入社し戦力に加わりました。

私達が入社して、部が新しく出来た事により全国大会には地崎組か地崎商事どちらかの名前で出場するかという事になり、それなら試合で勝った方の名前でという事になりました。

試合の結果は私達が勝ったので実業団の全国大会は、地崎組として何年間か出場する事になりその後地崎だけになったというエピソードがあります。

私達は、全道の大会では２チームしかなかったので女子の団体戦は今のように２複３単ではなく１複２単で選手も２人いれば試合が出来る時代でしたし、いつも一緒に練習をしているチームメートがお互いのライバルでもありました。又、全国大会に行ってはヨネックスの相沢マチ子さん、竹中（現栂野尾）悦子さん、我妻（現ラケットショップスガワラ社長夫人）たき子さん、カワサキラケットでは湯木（現新沼謙治夫人）さんなどの強豪と戦い、全国実業団大会ではベスト８に入ったり、国体では３位入賞が２回などといった戦績を残すことが出来たのはお互いの力を出し切った成果ではないでしょうか。

毎日の練習も自社の体育館がなく市の体育館や札鉄（現ＪＲ北海道）、市内の高校の体育館を借りてするといった具合で週３回の練習も会社の仕事が終ってからで、合宿などは一軒家を借り一緒に１週間ほど寝泊まりし、早朝ランニングでは南１条西10丁目から円山公園まで毎日往復をしてから出社して仕事をし、夜は７時から10時まで練習をするといった具合でした。私達もまだ若かったから出来た事ではないでしょうか。

その後、私も結婚をして１児（現在３児）の母の時に高野さんと２回国体（青森と長野）に北海道の代表として出場出来た事はバドミントンを続けていたからだと思います。

あれから20数年経ちましたが、あの時一緒に頑張った皆は、今でもバドミントンを続けております。これからも60周年を迎える時まで続けていくことと思います。

『全国』を視野に入れて

札幌第一高校バドミントン部
監督　井　口　一　司

北海道バドミントン協会創立50周年おめでとうございます。協会役員また関係各位に心からお祝い申し上げます。本校のバドミントン部も昨年、全道高校『15連覇』を達成することができ、その歴史の一端を担えたことを大変光栄に思っております。

本校の競技成績は、昭和33年の創部以来長い伝統の中で徐々に向上し、現在に至っております。本校が全国の上位に進出できるようになったのは前任の佐々木進先生が長い時間をかけて築き上げられたクラブ運営の土台ともなる指導内容が素晴らしく、それに向かって努力してくれた生徒達の力だと考えます。そして、大きな転機となったのが学校が昭和57年から始めた体育奨励生制度の実施でした。中学時代から実績のある選手や能力のある選手が集まり易くなり、専用の練習場（コート３面）を確保できるなど練習環境が向上しました。その中で選手達は切磋琢磨して実力をアップさせていったのだと思います。本校の全道高校初優勝が昭和58年で、この後15連勝していることを考えるとこの制度の持つ重要性がわかります。この体育奨励生の１期生が、角谷、寺崎といったメンバーで、その後にこの制度で入学をしてきた生徒達はほとんど全国大会で入賞しております。中学・高校が一貫した強化を継続的にできるようになり、当時、札幌北都中学校を指導されていた菅原先生をはじめ、滝川江陵中学校の若松先生、神居古譚・旭川広陵中学校の中村先生等々、中学校を指導されている多くの先生方から第一高校を信用していただいて生徒をお預かりできたことが、このような実績を残せることになったのだと思っています。また、北海道バドミントン協会には近年、数多くの全国大会を開催していただき、それに伴う強化事業を推進していただけたことが本校の躍進につながったことはいうまでもありません。

北海道の高校の競技成績は、昭和20年代後半・昭和30年代後半の活躍からその後しばらくの間低迷した期間があったようです。本道勢が全国大会で入賞したのは、選抜大会では昭和58年に角谷と寺崎が３位に入賞したのが昭和53年に女子シングルスで２位に入賞した只野さん（札幌静修高校）以来、またインターハイでは個人戦で昭和61年の伊藤・林のダブルスの３位が昭和38年の高森さん（北斗高校）以来23年振り、そして団体戦では昭和63年の３位が昭和38年の帯広三条高校の３位以来25年振りだったそうです。そういったわけで、「夏のインターハイでは北海道勢は勝てない」というジンクスが生徒達にとって大きな壁だったように感じています。このジンクスを打ち破ることが本校にとっても北海道の選手達にとっても大きな課題でした。そしてその突破口となったのが伊藤・林のダブルスだったのかもしれません。

全国大会で上位に進出するためには「運」も味方してくれます。伊藤・林のダブルスは全道大会では小黒・木村組（小樽桜陽高校）に敗れて南北海道２位でインターハイへ出場しました。当時、北海道２位でインターハイに出場するとほとんど２回戦でシード選手と対戦することになるのですが、このときに対戦した相手が実はシード選手の中で比較的弱かったのです。彼らはこの試合を乗り切ると次々とシード選手を破りベスト４に進出してしまいました。もともと実力はあったとは思いますが運を味方にし、シード選手を破ったという自信と勢いがこの結果をもたらしたと思っています。今考えると北海道の選手達に不足していたのはこの「自信」だったのではないでしょうか。林がよくこんなことを言っていたのを思い出します。「北海道でやってたってどうせ勝てねえよ」彼は私と一軒家で一緒に暮らしておりバドミントンの話をよくしていましたが、どうも本州勢に対してコンプレックスを持っているようでした。逆に考えるとそんな選手がインターハイのベスト４に入ったことが大きな意味を持ちました。「自分の力を出せば全国上位は狙える」下級生の意識は大きく変わったと思います。そして指導経験が浅く試行錯誤といった練習を毎日繰り返し、結果を出さなければという不安の中で指導していた私にとっても大きな自信になりました。この後の成績は最後に載せてありますが、伊藤・林の３位入賞がその後下級生にどれだけ影響したか見ていただきたいと思います。

そして、目標は全国優勝に変わっていきました。本校の最初の全国優勝は、平成元年のインターハイ

での佐藤・郷路のダブルスですが、優勝は非常に遠い道のりでした。このダブルスという種目は、昭和62年のジュニアで村井・藤本が2位に入賞して以来、選抜・インターハイ（村井・藤本）ジュニア・選抜（佐藤・郷路）5大会続けて2位という不名誉な記録をつくってしまました。他県の先生方からは「札幌第一は、シルバーコレクターか」と言われ、私自身も優勝することの難しさを痛感しました。しかし、ここで活かされたのが伊藤・林の時の経験と地元国体を控えての練習や合宿、そして遠征だったと思います。「技術ではなくて意識改革」これこそが優勝へのステップでした。また、杉田先生や上山先生といった指導経験の豊富なバドミントン協会の強化担当の方々に、いろいろな面でサポートしていただけたことが初優勝につながったのだと思います。その勢いで地元での「はまなす国体」も無事に優勝することができました。その後、西田が平成3年の全日本ジュニアと平成4年インターハイでシングルスに優勝しています。

本校はまだ全国大会の団体優勝はありません。近い将来その夢を実現したいと思っております。「バドミントン王国北海道」を目指して、これからも『全国』に目を向けて日本を代表する選手、そしてオリンッピックに出場できるような選手を育てていきたいと思っております。



全国大会入賞記録

昭和58年度	全国選抜大会	シングルス	3位	角谷淳一
		ダブルス	3位	角谷淳一・寺崎　明
昭和61年度	全国高校大会	ダブルス	3位	伊藤隆宏・林　秀行
昭和62年度	全国高校大会	ダブルス	3位	村井秀樹・藤本謙治
	全日本ジュニア	ダブルス	2位	村井秀樹・藤本謙治
	全国選抜大会	団　体	3位	工藤忠和・村井秀樹・藤本謙治・横山　匠
				市川幸典・武田博和・佐藤嘉伸
		ダブルス	2位	村井秀樹・藤本謙治
		シングルス	3位	工藤忠和
昭和63年度	全国高校大会	団　体	3位	工藤忠和・村井秀樹・藤本謙治・横山　匠
				市川幸典・武田博和・佐藤嘉伸
		ダブルス	2位	村井秀樹・藤本謙治
	全日本ジュニア	ダブルス	2位	佐藤嘉伸・郷路一郎
	国民体育大会		2位	村井秀樹・藤本謙治・工藤忠和
	全国選抜大会	団　体	2位	平野朝也・佐藤嘉伸・郷路一郎・末村利彦
				斉藤　実・萩原利雄・大川延秀
		ダブルス	2位	佐藤嘉伸・郷路一郎

平成元年度	全国高校大会	団　体	3位	平野朝也・佐藤嘉伸・郷路一郎・末村利彦
				斉藤　実・萩原利雄・石橋直矢
		ダブルス	1位	佐藤嘉伸・郷路一郎
	国民体育大会		1位	佐藤嘉伸・郷路一郎
平成2年度	全日本ジュニア	ダブルス	2位	水澤直哉・福田光伸
		シングルス	3位	水澤直哉
	全国選抜大会	ダブルス	2位	水澤直哉・福田光伸
		シングルス	3位	水澤直哉
平成3年度	全国高校大会	ダブルス	2位	水澤直哉・福田光伸
	全日本ジュニア	シングルス	1位	西田　渉
	全国選抜大会	団　体	3位	西田　渉・小倉隆司・日野昌晃・佐竹友昭
	（記念大会のため団体のみ）			梅田恵介・秋本光一郎・井野嘉久
平成4年度	全国高校大会	団　体	3位	西田　渉・小倉隆司・日野昌晃・佐竹友昭
				井野嘉久・川畑友和・一宮孝一
		シングルス	1位	西田　渉
	全日本ジュニア	シングルス	2位	井野嘉久
	全国選抜大会	ダブルス	2位	井野嘉久・一宮孝一
		シングルス	3位	一宮孝一
平成5年度	国民体育大会		3位	井野嘉久・一宮孝一・馬木智一
平成6年度	全国高校大会	ダブルス	3位	一宮孝一・馬木智一
	全日本ジュニア	シングルス	2位	馬木智一
	国民体育大会		2位	一宮孝一・今西隆浩・馬木智一
	全国選抜大会	シングルス	3位	馬木智一
平成7年度	全国選抜大会	団　体	2位	真岩秀一・大島健史・佐藤祐亮・佐藤弘通
				堀口高志・三上裕司・岩淵大介
		ダブルス	3位	佐藤祐亮・三上裕司
平成8年度	全国高校大会	団　体	3位	真岩秀一・大島健史・佐藤祐亮・佐藤弘通
				堀口高志・三上裕司・岩淵大介

日本代表（ジュニア）としての海外派遣

昭和61年11月	ジャカルタジュニア（インドネシア）	横山　匠
昭和63年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	村井秀樹・藤本謙治
平成元年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	佐藤嘉伸・郷路一郎
平成3年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	水澤直哉・福田光伸
	（湾岸戦争のため派遣中止）	
平成3年11月	世界ジュニア（インドネシア）	西田　渉
平成4年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	西田　渉
平成4年11月	世界ジュニア（インドネシア）	井野嘉久・一宮孝一
平成4年12月	日・中ジュニア交流会（中国）	井野嘉久・一宮孝一
平成5年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	井野嘉久
平成6年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	馬木智一
平成6年8月	世界ジュニア（インドネシア）	馬木智一・斉藤栄太郎
平成6年8月	日・韓・中ジュニア交流会（韓国）	一宮孝一・今西隆浩
		妹尾将義
平成7年3月	ヨーロッパジュニア（オランダ）	馬木智一
平成9年8月	日・韓・中ジュニア交流会（韓国）	三上裕司

旭川実業高校バドミントン部 35年のあゆみ

旭川実業高校バドミントン部
顧問　野田　浩

北海道バドミントン協会創立50周年誠におめでとうございます。これからも日本のバドミントン界の一翼を担って活躍されることを祈念いたします。

わが旭川実業高校バドミントン部の歴史の一端を紹介いたします。

旭川実業高校バドミントン部は、昭和38年に同好会として発足し、翌年の昭和39年にクラブに昇格し、今年で35年になります。

昭和40年に私が顧問となりましたが、部員が集まらず苦労しました。やがて男子が団体戦に出られるようになりましたが、地区予選で1・2回戦敗退という有様でした。昭和40年代の旭川地区は北海道で最も強豪校揃いで、旭川西高・旭川商業高そして羽幌高・留萌高といった高校が全国大会へ出場し活躍した時代であり、新参者には歯がたたないのは当然でありました。当時の高校の選手も、ほとんどが高校へ入ってからバドミントンを始めたので、強い選手を育てるのは指導者の力量が大きく左右しました。

昭和47年頃より旭川地区は全道でも目立った戦績を挙げられなくなり、札幌・釧路・帯広地区にその座を譲ってしまい、低迷状態が続きます。

昭和50年代に入り、この低迷状態をなんとかしようと、旭川地区では笠井武彰理事長（現滝川北高校校長）や笠井正彰先生（現西神楽聖和小教頭）を中心として、中学校にバドミントン部を創設させ、バドミントンの底辺の拡大に奔走しました。それが功を奏してやがて嵐山中学が全道大会で優勝、西神楽中学が全国で団体3位となるなどの大きな成果をあげるようになった。やがて高校に入って活躍する選手の育成に成功したわけである。

昭和53年、男子団体戦初出場

第30回全道高等学校選手権（小樽）に男子が初めて出場した。初戦敗退であったが貴重な体験をさせて頂きました。

旭川実業高校にも中学で育成された男子選手が入るようになり、それが他の初心者の実力のアップにつながり、チーム全体の力もついてくるようになった。以後男子は全道大会へ続けて毎年出場することになる。

昭和54年、男子複に初出場　牧野／永見

昭和55年、男子単・女子単に初出場

第32回全道高等学校選手権（釧路）に、男子単に牧野和之、女子単に岩間美奈子が初出場する。男子は忠が経験者が多数入ってくるようになり確実にレベルが上がってきたが、女子はたまに入ってくる程度で、初心者を相手に悪戦苦闘する。

昭和56年　男子単で牧野和之全道優勝　　男子団体初入賞
　　男子単で初の全国大会へ（牧野）　　女子複全道初出場（松木／山田）

第33回道民大会（滝川）で牧野和之が男子単で優勝し、その勢いで第33回全道高等学校選手権（岩見沢）で、牧野和之が男子単で準優勝し初の全国大会への出場権を獲る。また北海道新人大会で男子団体で3位となり、団体戦で初めて入賞する。道民大会男子単では、牧野和之が優勝した時の決勝の相手は、松岡（札第一高→ＪＲ北海道）で身長差があまりにも違いすぎ、小さい牧野がドタバタなフットワーク

で勝利したが、シングルスはとにかく粘って辛抱するに尽きる事を痛感した思い出の深い試合であった。

昭和57年、女子団体戦へ初出場

第34回全道高等学校選手権（旭川）に女子が団体戦に初出場（２回戦）し、男女での全道大会出場が３年間続いていく。第35回北海道選手権（旭川）で男子複２位（三浦・森内）。

昭和58年、男子団体戦準優勝なる

第35回全道高等学校選手権（函館）に男子が団体戦にて道北決勝で滝川高校と対戦したが、惜しくも２対１で敗れ、初の全国大会への出場権得られず。また男子複（三浦／森内）も小松／柏井（砂川北）に準決勝で敗れ全国への夢は消えた。

昭和59年、男子団体戦・個人戦ともに３位

第36回全道高等学校選手権(帯広)にて男女共に道北３位になるも今一歩及ばず決勝進出はならなかった。

昭和60年、男子単複全国大会へ出場

第37回全道高等学校選手権（苫小牧）にて男子は団体優勝を目指し絶対の自信を持って大会に臨んだ。道北決勝の対帯柏葉高戦ではオーダーもピッタリと当たった。しかし、団体戦は何が起こるか解らない。単で全国に出場することになる長田勉が単で硬くなって敗退し、またもや全国大会団体出場の夢が破れた。その悔しさを全国大会に向けて頑張り、全国では単で長田勉が、複でも長田／野村がベスト32と健闘した。

昭和57年頃から旭川地区協会では中学校から小学校へと更に底辺の拡大を図ってきた。

旭川実業高校でも地区協会の強化に協力し、小学の部と中学の部と２部制を引き受けた。

古川英樹選手（ＮＴＴ北海道）も小学から中学生のかわいい時に参加した選手である。こうして旭川地区のバドミントンの選手が小学生から活動できる環境が造られてきた。こうしてより強い選手達が育ってくるわけであるが、問題もあった。選手には私学がお金がかかると敬遠され、推薦入学制度のできた市内の高校へと流れるようになった。強化はすれども旭川実業高校には強い選手は来なくなり、女子は昭和61年からは全道大会へも出られない低迷状態が続くことになる。

平成２年　全国中学複に２年生で優勝、３年生で全日本ジュニア複で優勝した神居古澤中学の中山・増茂という素晴らしい選手を旭川実業高校で育てないか？と働きかけがあった。旭川地区協会からこの選手達を流出させたくないというのだ。故堀水旭校長も理解され、特待生として入学を許可、指導者として全道から推薦を頂いた下苧坪英雄先生を迎えることも了解された。

平成３年　インターハイ女子複全国３位　　全日本ジュニア女子複全国優勝

新指導者の下苧坪英雄先生が着任し、中山智香子・増茂孝枝の二選手が入部する。単複ともに全道大会ではこの年より二人の連覇が続く。中山・増茂の二人は単も同じような力を持っており、地区予選・全道大会と互いに真剣に競いあった。勝負の世界は非常である。私も遠くから二人の勝負を見るだけで試合後はどちらにも声を掛けずらかった。下苧坪監督も選手の二人もたがいに遠慮があり、ぶつかりあい、気持ちが通じあう所に行くまで時間がかかったようだ。勝って当然といった見方が多く、プレッシャーは監督にも選手にも重くのしかかった。この年度中山／増茂は、全日本ジュニア複では２連覇したもののインターハイ複は３位に終わった。

平成４年　インターハイ女子単全国準優勝　　インターハイ男子複ベスト32

インターハイ女子複全国８位　　インターハイ男子単全国ベスト32

第42回高校総体の結果は、期待されていた中山／増茂の複は８位に、中山は健闘し単で２位に入賞し

た。男子は女子を相手に練習をしてきた。女子の練習相手といってよいほどで可哀相であったが、中山や増茂を相手に辛抱づよく練習を重ねてきたが今大会での成績は誉めてやってよい。

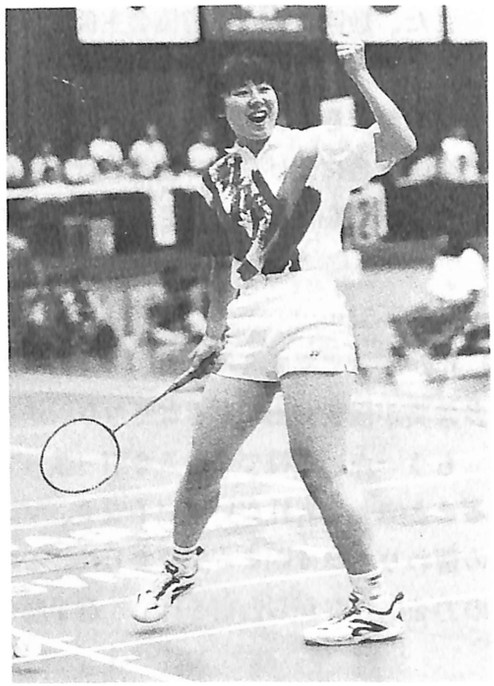
北海道の選手の最大の敵は真夏の暑さである。第42回高校総体の開催地は宮崎で、宿舎も専門学校の寮の二階で扇風機という状態で、選手が体調を管理するのは大変なことであった。全日本ジュニアでは優勝できてもインターハイは？　下苧坪監督が一番つらかったと思う。「練習のし過ぎではないのか？」「練習が足りないのではないか？」所変われば全く反対の声が聞こえた……。

平成５年　インターハイ女子単全国優勝
　　インターハイ女子複全国優勝
　　全国高校選抜女子複全国優勝
　　全国高校選抜女子単全国準優勝

高校最後のインターハイ、真面目に真剣に取り組んだ中山・増茂に天も味方したのか、全国大会の開催地宇都宮は涼しい夏であった。苦しい試合ではあったが、ダブルスで優勝、シングルスでも中山が水井を破り優勝した。とくに中山は２年生の８月に左足靱帯を切断し手術したが、２・３日後にはラケットを握っていた姿が目に浮かぶが、すごい精神力に頭が下がる。

平成６年　全国高校選抜女子単全国３位（岩松）
平成７年　全国高校選抜女子団体全国３位

第24回全国高校選抜選手権は地元北海道札幌で開催された。旭川実業は準々決勝で優勝候補の埼玉栄に３対２でせり勝った。しかし残念ながら準決勝で優勝した熊本信愛女子に３対１で敗れた。



第47回全国高等学校総合体育大会
選抜では森に負けて８強に終わった岩松絵理子（旭川実③）。今大会は橋本を破って堂々の４強入り

平成８年　インターハイ女子単全国３位（岩松）
平成９年　インターハイ女子複全国３位
　　全日本ジュニア女子単全国ベスト８

第48回高校総体（京都）で女子複で山重／石黒が３位に入賞、また全日本ジュニア女子単でベスト８に塩崎が入った。今年のインターハイのレギュラー選手は全中で活躍した選手である。今年こそはと団体戦に期待が持たれたが、やはり、中山・増茂を擁しても破ることが出来なかったベスト８の壁は、今年も高かった…。これからの大きな課題です。



第48回全国高等学校総合体育大会
女子団体　ベスト８　女子複　石黒・山重組３位

最後に、旭川実業高校の部旗には、「心をこめて」と書いてありますが、これは下苧坪監督の気持ちが込められており、多くの意味を含んでいます。これからも優しく厳しくをモットーに指導して頂き、本校バドミントン部に入部してくる子供達が、やがて団体でも全国優勝を目指す選手に育ってくれるよう期待しております。

第24回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会

札幌静修高校バドミントン部
顧問　谷浦　隆

創部（昭和27年頃）以来初の全国準優勝を遂げて……

私自身初めてであり、選手も経験のなかった全国大会準優勝は、バドミントン部歴史の中での快挙であります。創部に力を注いでくれた諸先生、そして、結果のでない苦しい時代を支えてくれた諸先輩、コーチ等、全員一丸となっての準優勝だったと思います。

また、数回にわたる道協会主催での強化合宿が自信をつけさせ、実を結んだものと感謝しております。

チームができるまで……

全国大会に向け２回の合宿を行う。金沢合宿は、おもにゲーム重視で伴・二瓶を軸に単・複の強化を図り手応えを得た。また２人に続く選手づくりも重要な課題となりました。

一抹の不安……

年が明けて平成８年２月、選抜道予選会も終り団体・単・複の出場権を得、形が整ってきたとき、本多朱美が怪我で出場できなくなり、チームに大きな穴が開いたようでした。

もう一点、主将でチームを引っ張ってきた伴が、ヨーロッパ遠征メンバーに選ばれ２週間程不在になることでした。柱がいない不安や、マンネリ化を心配したが３年生18名を中心にうまくまとまり、本多の替わりもほぼ固まってきました。このように伴ぬきの直前合宿も出来るほどに力がつき、一般・ＯＧの力を借りながら合宿を行い、選手層の厚みも増してきた時期でした。

頼もしかった静修生

伴が戻り、一日も早くゲームをという気持ちが高まった頃、毎日夜間練習に来てくれた、澤田コーチがベンチに入ることになり選手にとっては心強いものとなりました。

大会に入り、当面の敵と考えられた高岡女子（中国人を擁する）に代り、香川中央となり多少の不安を抱きながらのゲーム……と思われましたが、トップシングルスの松井が見事に期待に応えてくれました。これでチームが波に乗り、昨年のインターハイ、選抜とベスト４に入ってる強豪精華女子校との対戦になり、トップシングルスを失ったものの、本多・櫻井組が大きな１勝を勝ち取り、二瓶が最後の相手を２－１で下し初の決勝進出を果たしました。

決勝はベンチに入っても緊張感はなく、決勝に残ったものにしか味わえない、安堵感と期待感の入り交じった中で選手はプレーし、力及ばず敗れましたが、最後までゲームを捨てず頑張ったファイトは立派でした。選手にはご苦労さんという犒いと、ここまで応援してくれた父母・ＯＧ・静修高校の方々へ心からお礼を申し上げます。



初の準Ｖを決めた瞬間、ベンチは跳び上がって大喜び

第24回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会結果報告

会　場　　札幌市中島体育センター別館　　期　日　　平成８年３月25日～27日

団体戦

２回戦　　静　修　３－１　北鎌倉

単１　松　井　11－8, 11－9　佐久間

複１　伴・二瓶　15－4, 15－3　長田・古賀

複２　本多・櫻井　16－18, 10－15　藤尾・古賀

単２　伴　11－2, 6－11, 11－4　古賀

３回戦　　静　修　３－１　香川中央

単１　松　井　11－6, 5－11, 12－10　石本

複１　本多・櫻井　7－15, 8－15　鴫田・高木

複２　伴・二瓶　15－3, 15－8　杉山・國井

単２　伴　11－8, 11－9　高木

準決勝　　静　修　３－２　精華女子

単１　松　井　10－12, 11－8, 7－11　山本

複１　伴・二瓶　15－10, 15－9　松本・原口

複２　本多・櫻井　15－3, 15－3　野田・幸田

単２　伴　9－11, 8－11　松本

単３　二　瓶　11－7, 11－12, 11－4　原口

決　勝　　熊信愛　３－１　札静修

単１　橋本　11－2, 11－5　松井

複１　杉浦・永峰　15－12, 15－2　伴・二瓶

複２　濱山・村崎　15－7, 4－15, 6－15　本多・櫻井

単２　永峰　11－5, 11－2　二瓶

個人戦シングルス　伴・二瓶ともベスト８

１回戦　　二　瓶　２－０　村上（鳥取東）

２回戦　　二　瓶　２－０　吉岡（四條畷）

２回戦　　伴　２－０　石井（徳島城東）

３回戦　　二　瓶　０－２　張（尚志）

３回戦　　伴　０－２　三宅（大分女子）

個人ダブルス　　伴・二瓶組　３位

２回戦　　伴・二瓶　15－8, 15－5　星野・平泉（西武台）

伴・二瓶　15－10, 8－15, 15－3　高木・石本（香川中央）

準決勝　　杉浦・永峰　18－15, 15－10　伴・二瓶

団体戦の雪辱はならずもインハイに向けて善戦

今思うと、決勝に残ったものしか経験できない安堵感と満足感の中で選手はプレーできたと思います。準優勝の次は優勝しかありませんが、インターハイは底から這い上がって来たものの集まりです。

我々ももう一度挑戦者に戻って夏まで鍛え直し、新しい静修バドミントンでインターハイを迎えたいと思っております。

どうか、皆様方におかれましては今まで以上のご指導・応援のほどお願い致しましてお礼の挨拶と致します。

静修高校バドミントン部沿革史

昭和24年（1949）
　羽球部と言う名称で部創設される
　「戦後派スポーツとして花々しくデビュー」
　　（校内誌「静修」20号より）
　５月より本格的練習開始
　この年国体北海道予選大会で準優勝
昭和34年（1959）
　高体連北海道予選大会で団体初の準優勝
　　阿部留里子　シングルスで初の準優勝
昭和36年（1961）
　高体連北海道予選大会で団体初優勝
昭和37年（1962）
　高体連北海道予選大会で
　　飯田八重子・村田泰子組　ダブルス第３位
昭和39年（1964）
　高体連北海道予選大会で
　　吉田恵美子　シングルス初優勝
昭和43年（1968）
　第１回全道高校選抜大会で
　　今川喜佐子　シングルス初優勝
昭和44年（1969）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（２回目）
　今川喜佐子・北村美奈子組　ダブルス初優勝
　今川喜佐子　シングルス優勝　今川３冠達成
昭和45年（1970）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（３回目）
　国体北海道予選会で村上政子　シングルス優勝
昭和47年（1972）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（４回目）
昭和52年（1977）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（５回目）
昭和60年（1985）
　全道高校選抜大会で団体初優勝
昭和61年（1986）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（６回目）
　全道高校選抜大会で団体優勝（２回目）
昭和62年（1987）
　全道高校選抜大会で団体優勝（３回目）
昭和63年（1988）
　高体連北海道予選大会で団体優勝（７回目）
　全道高校選抜大会で団体優勝（４回目）
平成元年（1989）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（５回目）
平成２年（1990）
　高体連南北海道予選大会で団体優勝（８回目）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（６回目）
平成３年（1991）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（７回目）
平成４年（1992）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（８回目）
平成５年（1993）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（９回目）
平成６年（1994）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（10回目）
平成７年（1995）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（11回目）
　高体連南北海道予選大会で団体優勝（９回目）
平成８年（1996）
　高体連南北海道予選大会で団体優勝（10回目）
　　二瓶志津香・伴宏美組　ダブルスで優勝
　　二瓶志津香　シングルスで優勝　二瓶３冠達成
　伴宏美　ヨーロッパ遠征メンバー入り
　全道高校選抜南大会で団体優勝（12回目）
　第24回全国高校選抜大会（札幌）団体準優勝
　　二瓶志津香・伴宏美組　ダブルス第３位
平成９年（1997）
　全道高校選抜南大会で団体優勝（13回目）



北海道女子短期大学バドミントン部の歩み

北海道女子短期大学
部長　北　村　優　明

北海道バドミントン協会が50周年を迎え、ここに記念誌が発刊されるにあたり、心からお祝い申し上げるとともに、この編集にあたられた東健治先生はじめ関係者の方々のご苦労をお察し感謝申しあげます。

さて、北海道女子短期大学は、昨年1998年春より北海道女子大学として新たにスタートいたしました。くしくも本学の体育会が発足して30周年を経過した節目でもありました。部長は初代保健体育学科長坂井壱朗先生、天野智恵美先生、奈良岡健三先生、川田正徳先生と四代の学科長が自ら担当され、直接の指導監督として平沢寛先生（当時札幌東高校教諭）、谷浦隆先生（当時札幌静修高校講師）方のご尽力で基礎が築かれたとお聞きしています。また、両先輩監督には、未熟な後任監督である筆者を就任以来今日に至るまで導いていただいています。

また、小林純幸先生には本学近くの校長（江別高校、長沼高校）に赴任なされた時から多忙な公務の合間をぬって自校の生徒を引率されては私共にも、選手・監督としての心構えをお教えいただきました。それが縁となり色々なところで卒業生や学生たちが、今でも小林先生にはお世話になっています。

また筆者が「はまなす国体」で10年に及ぶ選手強化活動で不在がちであった我クラブが、全日本学生選手権団体のベスト８シード権を途切ることなく死守出来たのも、選手強化委員長であった平山三城、当時ＮＴＴ監督）、上山功先生の公私にわたる暖かいご配慮の賜と感謝いたしております。

またご指導ご鞭撻頂き記述できなかった関係各位の皆様や卒業生を受け入れていただいた地崎工業、地崎商事をはじめとする企業の関係者方々に、紙面をお借りしてあつく御礼申し上げますとともに、協会のますますのご発展をご祈念申し上げます。



北海道女子大学バドミントン部現部員



1985年優勝の加藤洋子と小飼真弓

沿　　革　　史

昭和41年　保健体育科一期生入学　部長、坂井壱郎先生

昭和43年　地区大学大会団体初優勝

昭和44年　二代目部長・天野智恵美先生が就任

昭和48年　坂井壱郎先生退官、春期リーグ戦一部優勝（以後平成７年まで連続優勝）

昭和49年　天野智恵美先生が退職　三代目部長奈良岡先生就任

秋季リーグ戦一部優勝（以後平成６年まで連続優勝）

昭和53年　全日本学生選手権大会団体戦初のベスト８入りシード権獲得（以後平成元年まで続く）

全国私立短大大会　団体戦準優勝、（単）星川優勝、３位中尾

昭和55年　全国私立短大大会　（単）成松準優勝

昭和57年　全日本学生選手権大会（複）、和田美津子・佐藤啓子　ベスト８

昭和58年　奈良岡先生退職、四代目部長川田正徳先生就任

昭和59年　全日本学生選手権大会団体戦初の４位入賞

全国私立短大大会　団体戦初優勝、（単）赤川　準優勝

３位　加藤　（複）優勝　高橋・小飼組

昭和60年　全日本学生選手権大会（複）、小飼真弓・加藤洋子　ベスト８

全国私立短大大会　（複）決勝で小飼・加藤組が完全優勝達成（トスでサービス権獲得、以後一度もミスせず終了）。

団体戦２連覇　（単）曽我　準優勝

昭和61年　川田正徳先生ご退職

全日本学生選手権大会（複）、山内真由美・田中克子　ベスト８

全国私立短大大会　団体戦３連覇（短大協会より高円宮杯の寄贈を受ける。）

（複）小笠原・夏堀組準優勝、（単）曽我　３位

昭和63年　全国私立短大大会　団体戦優勝、（複）櫛引・宮城組準優勝、目黒・小田桐組　３位

平成３年　全国私立短大大会　（複）長谷川・梶原組　３位

平成４年　全日本学生選手権大会（複）、梶原・岩崎組、多田・佐々木組　ベスト８入賞

全国私立短大大会（複）梶原・岩崎組３位、（単）中山３位

平成５年　全国私立短大大会（複）多田・佐々木組準優勝、（単）八角　３位

平成６年　全国私立短大大会　（単）中村　３位

平成８年　全国私立短大大会　（単）近江　３位

平成９年　秋季リーグ戦　３シーズンぶり通算23回目の優勝

～道協会に助けられて～

北海道バドミントン協会選手強化委員
旭川市立広陵中学校　中　村　光　生

私が北海道バドミントン協会のお世話になったのは、はまなす国体に向けて強化を始めようと動きだした頃でした。少年男女の強化指定選手に私の指導した選手（古川、高島、沖沢らの男子、奥山、稲垣、大井らの女子）が多数選ばれ、滝川市で第一回目の強化合宿が行われ、私も参加することになったことが、道協会との出会いでした。

バドミントンの指導について何も分からない私は、選手と一緒に参加させて頂き、上山選手強化委員長始め多くの指導者の指導方法を学ぶことが出来、大変勉強になりました。



そうしている間に私は神居古潭に転勤することになり、旭川地区バドミントン協会はじめ神居古潭の方々の熱烈な援助とご協力により、バドミントンをする素晴らしい環境を創って下さいました。3年目にして男子シングルスで全道優勝し、念願の全国大会に出場することになりなした。あの時、道中体連専門委員長だった西村先生や遠藤強化委員長に、「全国大会とは」とか「全国レベル技術」など多くの事を教えて頂きました。初出場ながら全国3位という好成績を残すことが出来たのも、皆さんのご指導のお蔭と感謝しております。

あれ以来、毎年全国大会に出場し常に上位入賞の選手を送り出すことが出来ましたのは、道バドミントン協会の方々始めＮＴＴ北海道、ＪＲ北海道など社会人選手、高校生選手のお蔭と深く感謝しております。



中村先生（上）と、優秀選手を数多く輩出した神居古潭小、中学校の皆さん

優勝のみを挙げても次のようになります。

◎全国中体連バドミントン大会

シングルス　一宮 孝一（筑波大）、馬木 智一（日大）

ダブルス　中山智香子・増茂　孝枝（三洋電機）

◎全日本ジュニアバドミントン選手権大会

ダブルス　中山智香子・増茂 孝枝（三洋電機）

中学新人の部

シングルス　増茂 孝枝（三洋電機）、一宮 孝一（筑波大）、
馬木 智一（日大）、橋本 暁人（札幌第一高校）

その他、団体では広陵中学が男子、女子でそれぞれ準優勝しております。

上記の結果は、道バドミントン協会の強化指導の成果であり、遠藤強化委員長を中心に、石岡先生、長谷川先生、小飼清統氏等コーチングスタッフの勝利だと考えております。　この度創立50周年を迎え、道協会が更なる発展をするために、少々気になる事があります。それは小・中・高生のバドミントン愛好者の減少であります。バドミントン部に限ったことではありませんが、殆どの学校で部員減少の傾向が有るということであります。バドミントン愛好者を増やす努力が急務であろうかと思います。また小・中・高の一貫した指導が必要ではないでしょうか。とりわけ小学生（習いはじめ）のラケットの握り、振り、フットワークなど基本的なことの指導が大事だと思います。そのためには指導者の増加と指導者の技術講習会なども多く開く必要があると思います。

最後になりましたが、私がこのように意欲と希望を持ってバドミントンを出来るのは、道協会、旭川地区協会、学校関係など多くの方々のご指導、ご援助と選手のご家族のご理解とご支援のお蔭と感謝しております。微力ではありますが、今までお世話になった恩返しの意味を含めまして、道協会が益々発展するよう私も頑張りたいと思います。

「今」の自分があるのは……

三洋電機バドミントンチーム
中　山　智香子

北海道バドミントン協会創立50周年おめでとうございます。一口に50周年と言葉で言えば簡単ですが、ここまで来るには数々のご苦労があったことと思います。この私も協会の方々には大変お世話になりまして本当に感謝しております。

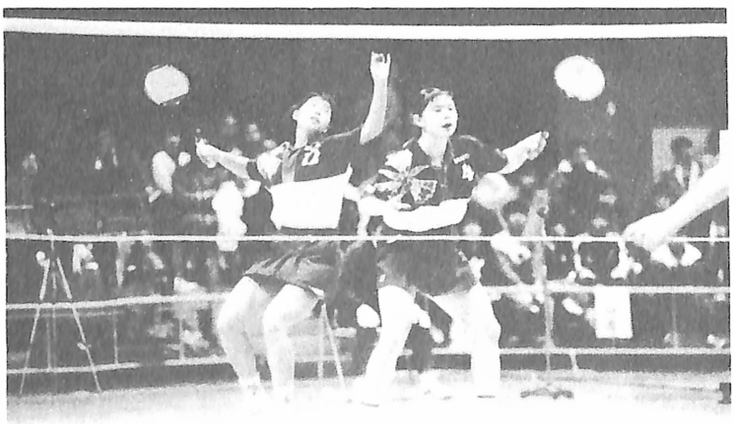
私がバドミントンを始めましたのは、神居古潭小学校３先生の時でした。その年に中村光生先生が赴任され、３年生以上の全校生徒で、クラブ活動として始めたのがきっかけでした。３年生以上の全校生徒と言っても20人程度だったと思います。人数が少なく、またクラブはバドミントン１つということで、毎日しっかりと練習ができ、恵まれた環境でした。最初の頃は、バドミントンの「恐ろしさ」を知らず、無邪気にラケットを振り回していましたが、学年が上がるにつれて、中村先生の指導は厳しくなり、練習量も増え、泣いたことも何度もありました。何度「やめたい」と思ったか数えきれません。でも辛いことばかりでもなく、大会に出場して、友達も沢山できましたし、いろいろな人達と出会えて、自分の視野が広がったと思います。また成績もそれなりに残せましたし、中学２年生のとき、全国中学生選手権大会では、増茂さんと組んだダブルスで優勝し、初めて中村先生に頭を撫でられたのは、一番嬉しかった思い出です。中村先生にはバドミントンだけでなく、色々な面で教えて頂きました。中村先生のお陰で人間的にも成長できたと思っております。

旭川実業高校に進学する時には、私達のために、わざわざ室蘭から下苧坪英雄先生を指導者として呼んで頂き、野田浩先生と共に高校３年間、大変お世話になりました。それからまた何度も全道規模の合宿をやってくださったり、日本リーグで活躍されているＮＴＴ北海道、ＪＲ北海道、チザキ等の選手の方々にも練習相手になって頂いて、社会人のバドミントンを勉強させて頂きました。全国中学、全日本ジュニア、全国インターハイと優勝する事が出来たのも、北海道バドミントン協会、旭川、神居古潭地域の皆さんのバックアップ、熱心にご指導下さった先生方、一緒に練習して下さった人達、そして沢山の方々の温かい応援があったからこそと思っております。

現在は大阪の三洋電機に所属しているわけですが、毎年北海道で日本リーグを行う時は呼んで頂き、沢山応援してくださる地元で試合が出来ることは大変嬉しいですし、私の家族も北海道でしか私の試合を見ることが出来ないので、大変喜んでおります。本当に沢山のことをして頂き、何度お礼申し上げてもお礼しきれません。

これからも練習に励み、北海道出身者としてもっと活躍し、自分の夢でもある「オリンピック出場」を実現させ、お世話になった方々へ、そういう形でご恩返しが出来ればと思っております。

最後になりましたが、今後も北海道バドミントン協会が益々ご発展なさいますようお祈り致しております。



日本リーグ（1997年11月岩見沢スポーツセンター）で岩田、高岩（ヨネックス）に快勝した増茂孝枝(左)、中山智佳子(右)、
写真提供　スポーツニッポン

私とバドミントン

三洋電機バドミントンチーム
増茂孝枝

この度は北海道バドミントン協会創立50周年という節目の年に、このような立派な記念誌に載せて頂いて、大変嬉しく思っております。これもひとえに皆様のお蔭と思い、深く感謝しております。

私がバドミントンを始めたのは、中村光生先生との出会いがきっかけであります。私が小学3年生の時に、神居古潭小・中学校という全校生徒30人足らずの小さな学校に中村先生が赴任されて、そこで先生のご指導のもと、全校生徒でバドミントンをする事になったのです。初めはランニングや素振りが殆どでしたが、日増しにコートの中で動く時間が多くなり、練習内容もどんどんきつくなっていきました。休みたいなあと思うこともありましたが、やっぱりバドミントンが好きだったので、ただがむしゃらにやっていたのを覚えております。でも今考えると、私をそんな気持にさせてくれたのは中村先生だったのだなあと思います。練習のときは本当に厳しい先生でしたが、練習以外のときには、冗談を言って私達を笑わせてくださったり、練習の合間にパンを買って来て皆に差し入れをして下さったりして、どこかで私達に安らぎを与えてくださる、心優しい先生だったから、苦しさにも耐えられたのだと思います。また、地域の方々のバックアップのお蔭で、よりよい環境を作って頂いたのも、私達がバドミントンに精一杯とりくんでいけた大きな要因の一つでありました。そんな恵まれた環境の中で、私達は年を経るにつれて、色々な大会で良い成績を収められるようになり、いつしか全道大会にまで出場していきました。その時私は小学5年生で、すでに中山さんとペアを組んでいたのですが、推薦されて出た全道大会で、あれよあれよと言う間に優勝してしまったのです。それからというものは北海道バドミントン協会の方々からも色々な形でお世話になり、中学2年の時の初めての全国大会では、北海道代表として出場させてもらい、気がつけば優勝しておりました。その時は、中村先生も大変喜んで下さり、頭まで撫でてもらいました。あの日は本当に一生に一度の心に残る思い出の日でした。それからは、海外にも派遣させていただき、貴重な体験を積まさせて頂いて、徐々にバドミントンに対する思いも強くなって行きました。

中学卒業後は、野田先生と下苧坪先生がおられる旭川実業高校へ進学を決め、そこでバドミントンに打ち込む決心をしました。とても熱心な両先生のもとで、また中村先生に対するいろいろな意味も込めて、絶対全国高校総体でタイトルを獲得するぞという決意で練習に励みました。なかなかよい成績を残せず、苦しい時もありましたが、バドミントン部の仲間にも励まされて、最後の全国高校総体で、念願の優勝をする事が出来て、本当に嬉しかったです。

このように、私が今までバドミントンを続けてこられたのも、中村先生を初め、野田先生や下苧坪先生、地域の方々やバドミントン部の仲間、そして北海道バドミントン協会、旭川地区バドミントン協会の方々など、数多くの方々のご支援、ご指導、ご協力の賜ものだと、心から感謝しております。それに、よきパートナーでもあり、よきライバルでもあり、また一番の親友でもある中山智香子さんの存在も、私にとって非常に大きなものだということを決して忘れてはいけないと思っております。

私は三洋電機に入社して今年で5年目になります。中山さんと共に、先ずは全日本でタイトルをとり、そしてシドニーオリンピックでメダルを取ることを目標に、銭谷監督のもと日々練習に励んでおります。今までお世話になった方々に感謝の意味も込めて、絶対目標を達成したいと思っております。これからも頑張りますので、どうか応援の程、宜しくお願い致します。

この度は、本当におめでとうございました。

ハンディを克服して

札幌プロジェクトクラブ
岡　崎　勇　二

私は、先天性の障害で左手首から先がありません。勉強は嫌い、でもスポーツ好きという私が選んだ運動がバドミントンでした。高校時代から、社会人になってもバドミントンで出会った方々には大変お世話になっています。私は現在、社団法人札幌市身体障害者福祉協会で障害者スポーツを担当し、スキー、マラソン、水泳等の大会や指導をしています。バドミントンは、毎週２、３回の練習が楽しくてしかたありません。こんな生活を20年しています。前に戦った人たちと再会し、また競技をするというのも１つの楽しみになっています。私がこれから先、一緒に競技をする方々との出会いを大切にし、バドミントンを楽しんでいきたいと思っています。また、障害者の大会へも積極的に参加したいと思っています。バドミントンは私の生活の一部です。

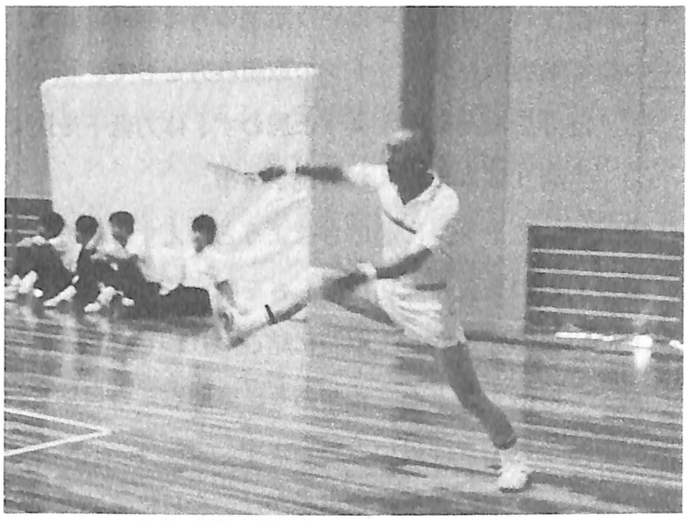
以下は私のバドミントンに於ける戦績です。

開催期日	大会名	成績
≪高校大会≫		
昭和54年４月29日	春季高校バドミントン大会　個人戦男子の部　複	２　位
昭和54年10月７日	札幌地区秋季高校バドミントン大会西ブロック男子　単	２　位
昭和55年４月29日	春季高校バドミントン大会　個人戦男子の部　単	２　位
昭和55年５月26日	第32回札幌地区高等学校体育大会男子個人戦　単	３　位
≪社会人大会≫		
昭和62年８月９日	第28回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	３　位
昭和63年８月７日	第29回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	３　位
平成３年７月21日	第32回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	優　勝
平成４年８月２日	第33回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	準優勝
平成５年７月25日	第34回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	優　勝
平成６年７月24日	第35回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	優　勝
平成７年９月３日	第36回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	３　位
平成８年７月21日	第37回札幌市民体育大会一般男子Ｂ級複バドミントン競技	準優勝
平成１年９月23日	第３回札幌市ミックスダブルスバドミントン大会Ａブロック　70歳未満	３　位
平成４年10月25日	第６回札幌地区ミックスダブルスバドミントン大会　70歳未満	準優勝
平成５年10月25日	第７回札幌地区ミックスダブルスバドミントン大会　70歳未満	３　位
平成８年４月29日	第10回札幌地区ミックスダブルスバドミントン大会　70歳未満	３　位
平成５年３月７日	第17回北海道クラブ対抗バドミントン選手権大会　一般の部	３　位
平成５年９月19日	第37回北海道社会人バドミントン選手権大会　男子30歳　複	３　位
平成６年９月24日	第38回北海道社会人バドミントン選手権大会　男子30歳　複	優　勝
平成７年10月１日	第39回北海道社会人バドミントン選手権大会　男子30歳　複	３　位
≪障害者大会≫		
平成３年１月13日	第１回東京身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（東京大会）	優　勝
平成４年１月	第２回東京身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（東京大会）	優　勝
平成６年１月23日	第４回東京身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（東京大会）	優　勝
平成２年11月25日	第７回東京身体障害者バドミントン選手権大会　単（名古屋大会）	優　勝
平成４年９月27日	第８回東京身体障害者バドミントン選手権大会　複（名古屋大会）	優　勝
平成３年11月10・11日	第１回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（名古屋大会）	優　勝
平成４年11月22・23日	第２回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（東京大会）	優　勝
平成５年11月13・14日	第３回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（大阪大会）	優　勝
平成７年２月４・５日	第４回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単（名古屋大会）	優　勝
平成７年12月16・17日	第５回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（東京大会）	優　勝
平成８年11月２・３日	第６回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（大阪大会）	優　勝
平成９年９月27・28日	第７回日本身体障害者バドミントン選手権大会　単、複（仙台大会）	単　優勝 複　２位
≪国際大会≫		
平成１年９月	第５回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会バドミントン競技（フェスピック神戸大会）	単　優勝 複　３位
平成６年９月	第６回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会バドミントン競技（フェスピック北京大会）	単　優勝 複　優勝

現役最高齢選手として

（バドミントンに魅せられて）

北海道教職員バドミントン連盟
副会長　島　谷　　勲



バドミントン界の礎石となって、北海道のバドミントン協会が創立50周年を迎え、歴史の刻みは半世期の節目となりました。戦後の混乱期の中で芽を出し、枝葉をつけ、実を結ぶ大樹として堅実に成長発展し今日に至ったことは、いち早く先見の明を持ち、並々ならぬご苦労と努力で険阻な道を切り開かれた、多くの斯界の先輩諸氏の一途な熱意の賜物と、哀心よりお祝いと敬意を表します。

私とバドミントンの係わりは、1953年（昭和28年）、若干28才、45年以前になります。それ以来今日まで、常に心の中にバドミントンを息づかしてきました。現在の私は、未来を見据えることより、過去への時間が遥かに多い人生となりました。そんな意味で今回の50周年記念は、バドミントンと私との軌跡を振りかえり、自己への問い直しと、懐かしい過ぎし日の回想の機会ともなりました。

教職に身を置いた関係で、バドミントン部の顧問を引受けたのが出合いとなり、バドミントンに造詣の深い人も居ないこと等、全くの無知からのスタートで、我流且つ独善的に、生徒を教科書に係わっておりました。生徒と自分の為にも、その技能を身につけたいという夢を追う日々と変わり、それをひきずり今日に至りました。自分が競技を目指すなどの考えは、全くなく、指導の一助になればという、単純な発想でした。

私の初めての試合は、1957年（昭和32年）の全道選手権でした。結果は言わずもがなの惨敗。技能の差と、奥深さを知り、それが一つの契機になりました。

思い出は沢山ありますが、1966年（昭和41年）第５回全日本教職員の選手権（札幌）の折、当時「ユーバ杯」「全英選手権」等華々しい優勝の日本女子選手がエキビジョンで来札、監督さんと女子選手（高木・天野選手）とも知らず、声を掛けられるまま、練習させて貰いましたが、想像を遥かに越えた実力の持ち主でした。世界的なトップレベルの選手に練習をつけて貰えたことは、千載一遇の幸運だったと思っています。

長い間シャトルを追いかけて、何が面白いのかと問われても答えのすべは解かりません。私は、シャトルの速さの変化に対応する身体の適応がよりハードであること、奥深さに近づこうと思っても容易に結論を示してくれず、やる人の感性によるものと思っています。バドミントンを続けて良かったことの一つは何といっても、人との繋がりです。同じバドミントンのコートで楽しんでいる多くの同好の方々は、「我は我、君は君、されど友達」という人との機徴を与えてくれることです。

高齢化社会の実現は、何かと課題を抱える昨今ですが、スポーツ等もその年齢層の広がりは、予想以上のものと思います。中高年齢者のスポーツに親しむ風景も多く見られるようになりました。中高年齢者という響きは人間の終末の弱々しい活気を失った社会、というイメージは否定できませんが、健康ブームに影響され、健康第一という定説の考えも見逃せません。

中高年齢者のバドミントンの取組み方として、私なりには、

① 自分を無理に鍛えようと思わず、体力低下を防ぐ為のものと考えること。

② 生活リズムに取入れ継続する事。

③ バドミントンに適応させようと考えず、自分の身体に適応させること。

④ 人との交流を大切に楽しさを味うこと。

以上で心身の豊かさを生甲斐に結びつけ親しむことだと考えています。

競技を目指すことも意義があり、楽しむこと自体を目的とし、心身をリフレッシュさせることにも、夫々価値を見出せば良いと思います。

バドミントンの普及に拍車をかけ、今日に導いたのは、1969年（昭和49年）東京での世界選手権「ユーバ杯」からであり、それから日本バドミントンの存在をアピールし現在に至ったと云われています。それに資するに、施設・設備・用具の改良も貢献の大きな要因と思います。ラケットも振り易く反発性が向上し、シャトルのスピードに威力と早さが加味された打球が求められています。それに伴うプレーヤーの体力・精神力が要求され、それらの達成が練習法の見直しを含め、今後の課題の一つと考えます。

私なりにはバドミントンの継続の中で、試合では、技能の高い人は目標に、低い人は、自分の過去を示してくれる人と考え楽しんで来ました。

その時の充実感如何で参加の喜びが左右されるものです。練習は、

① 不可能を可能に近づけてくれる。

② フェアプレーを教えてくれる。

③ 生涯スポーツに親しむ素地を与えてくれる。

④ 人との交流の和をつくってくれる。

以上が私が得た貴重な贈り物でした。

道協会は、若き世代に希望を託すことは、当然ですが、社会の変化に対応する新たな視野も念願に置き、多くのバドミントン愛好者の要として、発想豊かな統轄を計りながら、21世紀にむけて、益々の拡充発展されることを祈念致しております。

小学生の10年と今後に期待をこめて

釧根地区バドミントン協会
理事長　尾　張　健　一

北海道の小学生のバドミントン競技の歴史を語る上で南空知地区協会と十勝地区協会の試みが最も重要な役割を果たしたのではないかと思っています。

ます、昭和59年南空知地区協会の呼びかけのもと小学生のバドミントン競技の普及と技術向上、地域育成活動の一環として開催された北海道小学生バドミントン大会と昭和63年、十勝地区の小学生のレベルアップと競技の普及を目指しオープン化した全十勝小学生オープンの２大会が北海道の小学生と指導者にとって最大の目標になり、近年では両大会とも400名を越える参加者を数え南空知地区協会、十勝地区協会の目的意識が全道各地に浸透してきているように思います。

また近年では、その北海道の同様の試みが全国にも広がりを見せ若葉カップ(クラブ対抗戦)・全国小学生大会(個人戦)・都道府県対抗戦(団体戦)などが開催され、今年始めて全国小学生大会の予選が北海道バドミントン協会指導・普及部の指導のもと旭川地区協会のご協力を得て開催の運びになりました。

小学生のバドミントン競技の発展を振り返って見れば　大会開始当初の入賞者はやはり小学生の普及・育成の早かった南空知・旭川・十勝の３地区協会の独占状態だったが、各地区の指導者が徐々に小学生に目を向けはじめ、各地にジュニアクラブが誕生したり、また小規模学校が学校教育の一環としてバドミントン競技を取り入れたりして、徐々に低年層に広がりを見せ競技開始の低年齢化を示した結果、室蘭・釧根・苫小牧・札幌・函館など各地区からの入賞者も増えてきているように思う。

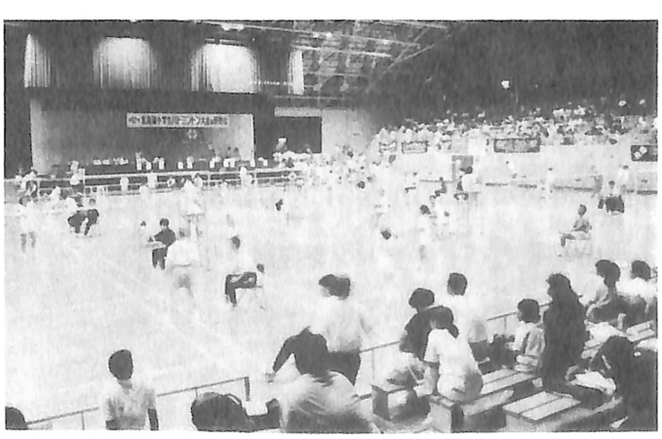
しかし、いま現在においても小学生の指導という点ではまだまだ個々の指導者に頼る形が多く、道・地区協会の一貫した指導・普及が望まれる所だと思っている。

さて、この10年間の小学生バドミントン競技を語る上で、この選手抜きでは語れないと思い、あえて書かせていただきますが、やはり増茂孝枝さん、中山智香子さん（現三洋電機）の二人でしょう。

私自身ジュニアチームを作り小学生を指導し始めのころで、全道大会にも選手を出し始めの頃で鮮烈に記憶していますが、スピード・ラケットワークなど全ての面で私の考えていた小学生のプレーのレベルを越えていて、私の小学生を指導するうえでよく目標にしたものです。

しかし、ここ数年の小学生のプレーぶりを見ていると残念なことに、試合に勝つことが優先になりがちで技術先行に走り過ぎているように思います。確かにラケットワーク等は見るべき点がありますが、スピード・パワーといった点では不足していて、私の見るかぎりではここが全国との差ではないかと考えています。

やはり今後の北海道のバドミントン界の向上は小学生抜きでは考えられないと思っていますが、小学生にはバドミントンの試合に勝つことだけではなく、長期的に計画をし基礎・基本をしっかり習得させ、スポーツマンとしての挨拶を含めた礼儀のきちんとできる選手が北海道に育つかぎりバドミントンの発展は確実にあると実感します。



第12回北海道小学生バドミントン大会（平成５年岩見沢）

本道の中学生のバドミントンを顧みる

北海道中学校体育連盟バドミントン競技
専門委員長　石　岡　直　樹

ここ20年ほどの本道中学生のバドミントンを語るとき、上砂川中学校の袴田鉄美氏、滝川江陵中学校の若松重義氏、旭川神居古潭中学校・旭川広陵中学校の中村光生氏の功績を忘れてはならない。中学生を指導したことのある人ならば、一度は彼らの育てたチームに勝ちたいと思ったはずである。

第１回中体連全道大会の開催は昭和45年である。第10回大会頃までは、札幌、空知、十勝勢が上位を占め、とりわけ男子の滝川江陵中と女子の上砂川中はその後続くことになる黄金期の足場を確実に固めていた。その両校の黄金期は第18回大会頃まで続いたが、この期間に着実に実力をつけていた旭川勢が、その後現在にいたるまで、本道中学バドミントン界のリーダーシップをとっている。

中でも特筆すべきは、増茂・中山、一宮、馬木の全国大会優勝者である。増茂・中山においては、ジュニアの世界チャンピオンにもなり、1997年度の全日本総合選手権では、ダブルスで念願の優勝もはたしている。いずれも旭川神居古潭中出身で中村氏の育てた選手たちである。筆者が中学の選手強化を手伝うことになった最初の年、増茂・中山が３年、一宮が２年、馬木が１年だった。小学生の頃からプレーしているとはいえ、「これが中学生のプレーなのか」と驚いた記憶がある。中村氏は旭川広陵中でも、全国大会団体戦で二度の準優勝を経験している。

滝川江陵中のスピード感あふれる力強いプレー、上砂川中の豊富な練習量を感じさせるミスの少ない正確なプレー、そして全国に通用する旭川神居古潭中・広陵中の洗練されたプレーは、いつまでも記憶に残るであろう。

限られた地域、限られた指導者のもとで始められた中学生のバドミントンも、現在では全道各地に広まった。小学校、中学校、高等学校、大学でバドミントンを経験した人たちが教員になり、中学生を指導するようになってきた。また、部活動のないところでは社会体育の中で指導を受けている。はまなす国体を機に中学生の選手強化も徹底され、常連校以外の生徒でも全国大会で優秀な成績を収められる体制ができつつある。

ここまでの基礎を築き上げられた諸先輩方に感謝申し上げますとともに、それを受け継いだ者たちがさらに努力を重ね、本道中学生のバドミントンを発展させていかなければならないと思っている。



第28回北海道中学校バドミントン大会（平成９年８月・苫小牧）

カナダ・韓国・ロシアとの国際交流

1．アルバータ州との交流（1990.2.10～2.19／9.13～9.24）

北海道体育協会から北方圏諸国との学術・文化交流の一環として、カナダのアルバータ州とバドミントンの親善交流を行いたいとの話があり、光栄に思ってお受けした。開催地としては、札幌市と芽室町にお願いし、快諾をいただいた。突然の事なので、札幌では交流試合をする会場を確保できず、やむなく札幌バドミントン選手権大会（札幌市西区体育館）に引き続き、この親善大会を実施する事にした。折しも札幌は国際的行事となった雪祭の最中で、いたるところから大勢の観光客が押し寄せている時期であり、航空券が思うように取れず、アルバータ州の選手団にとっては極めてハードなスケジュールになってしまったことを誠に申し訳なく思っている。

① 札 幌 大 会

札幌チームも、アルバータチームも16歳～22歳で編成した。当時の札幌のジュニア男子のダブルスは日本一の折り紙付きであった。試合の結果は下記の一覧表でわかるように、男子は２：２の互角、女子は４：０で札幌勢が勝ち、ミックスは競り合いの末にアルバータ勢に軍配が上がった。４つの試合がファイナルゲームにもつれ込んだことや、長旅の疲れや、時差ボケ等を考慮に入れると、彼我の差はあまりないように見受けられた。

１日おいて２月13日は、札幌新川高校で学校見学と懇談会を持った後、市内の上位高校生を相手に１ゲームずつ交流ゲームをし、外国人とバドミントンのゲームをするという貴重な体験を得たのであった。翌14日は中島体育センターで家庭婦人バドミントン連盟の方々と楽しく交歓練習会を持った。又翌日はＮＴＴ体育館で本道の一般の選手と練習会を持った。彼らにとっては、さぞかし内容のある１日となったことであろう。翌16日は二つ目の大会地、芽室町へのＪＲの旅から始まった。

② 芽 室 大 会

汽車の旅は快適であったが、一つだけ困った事があった。それは車内の喫煙であった。今回のアルバータ選手団には煙草を嗜む者は一人として居なかったし、カナダでは喫煙率は20%位であると言う。スポーツマンが煙草を吸うこと自体が信じられないと彼らが言っていたことは聞き逃せない事であろう。

芽室大会では流石にアルバータの選手は強く男子は４勝０敗、ミックスも３勝０敗、女子は２勝２敗、全体として９勝２敗でアルバータ州選手団の大勝であった。

① 札幌大会の記録

種目	ALBERTA	3−6	北海道（札幌）
BS	アブラ	1−2	斉藤　実
MS	ミューワ	2−1	工藤　忠和
BD	アブラ ミュリン	0−2	佐藤　嘉伸 郷路　一郎
MD	コロム ディライ	2−1	市川　幸典 田中　弘幸
GD	ソムライ ホワイト	0−2	佐藤　京子 梶原　夕子
LD	ブリッジズ トーステンセン	0−2	小笠原　満 田中　範子
GS	ソムライ	0−2	岩崎　美香
LS	ブリッジズ	0−2	星　和代子
MIX	ミューワ ブリッジズ	2−1	佐藤　嘉伸 田中　範子

② 芽室大会の記録

種目	ALBERTA	9−2	北海道（十勝）
BD	アブラ ミュリン	2−1	田口　英史 高嶋　進
GD	ソムライ ホワイト	0−2	千葉　広美 中田みゆき
MS	ミューワ	2−0	橋場　孝啓
LS	ブリッジズ	2−0	横山　忍
BS	アブラ	2−0	多喜　誠
GS	ソムライ	0−2	中田みゆき
MD	コロム ディライ	2−0	小林　誠人 吉川　直子
LD	ブリッジズ トーステンセン	2−0	杉田　雅美 五十嵐和美
JMIX	ミュリン ホワイト	2−0	福岡　琢巳 青山知佐子
SMIX	コロム トーステンセン	2−1	橋場　孝啓 横山　忍
FMIX	ディライ ソムライ	2−0	山口　真由 鳥本　知美

習慣の違い、言葉の障壁等の困難点は多々あろうが、善意と誠意とをもって交われば、自ずと通じ合うものがあり、理解と友情が芽生え、世界平和の礎が築かれて行くものと確信する。

○　アルバータ州を訪れて

1990年９月13日千歳空港を飛び立ったバドミントンチームの一行は、翌14日の10時にはエドモントンモールの見学に入っていた。この日は17時から調印式や姉妹提携10周年記念レセプションなどで多忙な 1日だった。翌15日は第１回の公式試合がレッドウィロークラブで行われた。結果は次のように、シングルは惨敗、ダブルスは完勝であった。

第２回目の公式試合は19日に、カルガリーのウインタークラブで行われた。この時もお互いにほぼ互角で白熱したゲームが多かった。結果は次のとおりである。

○ 公式試合①（9／15　レッド　ウィロークラブ）

種目	北海道	4－4	Alberta
MS	桜井　敬大	0－2	Trent McNeil
MS	西田　　渉	1－2	Alvin Chan
LS	高橋　雅子	0－2	Joyce Robinson
LS	稲垣麻衣子	0－2	Sonia Poon
MD	桜井　敬大 武田　博和	2－0	Alvin Chan David Fehr
MD	佐竹　友昭 西田　　渉	2－0	Mark Lee Trent McNeil
LD	高橋　雅子 宮部　清美	2－0	Karen Marner Sonia Poon
LD	中田みゆき 鳥本　知美	2－0	Shirley Mar Joyce Robinson

○ 公式試合②（9／19　ウインタークラブ）

種目	北海道	5－5	Alberta
MS	西田　　渉	2－0	Dave Humble
LS	稲垣麻衣子	0－2	Karyn Kadonaga
MS	武田　博和	1－2	Neil Cowstable
LS	宮部　清美	2－0	Ginny Petre
MD	西田　　渉 佐竹　友昭	0－2	Mike Dilay Sean Halliday
LD	中田みゆき 鳥本　知美	2－0	Ginny Petre Jean Gosbee
MD	桜井　敬大 武田　博和	2－0	Pat Mackie Neil Cowstable
LD	高橋　雅子 宮部　清美	2－0	Karyn Kadonaga Sarah Kelly
MXD	桜井　敬大 高橋　雅子	0－2	Sean Halliday Karyn Kadonaga
MXD	佐竹　友昭 中田みゆき	1－2	Mike Dilay Ginny Petre

○この公式試合のほかに、各地で転戦した親善試合の戦績は次のようである。

9／14　ローヤル　グレノラ　クラブ（エドモントン市）　北海道　5－1　アルバータ州

9／15　デリック　クラブ（エドモントン市）　北海道　4－6　アルバータ州

9／16　デリック　クラブ（エドモントン市）　北海道　7－3　アルバータ州

9／18　コムミュニティ　カレッジ（レスブリッジ市）　北海道　5－0　アルバータ州

9／21　リンゼイ　サーバン高校（レッドディア市）　北海道 12－2　アルバータ州

○また21日、22日とアルバータシリーズ選手権（オープン）に特別参加を認められ、次の様な成績をおさめた。

男子シングルス　5位　桜井　敬大

男子ダブルス　3位　桜井　敬大
武田　博和

女子シングルス　2位　高橋　雅子
3位　中田みゆき

女子ダブルス　1位　高橋　雅子
宮部　清美
2位　中田みゆき
鳥本　知美

混合ダブルス　3位　鳥本　知美
モース



2．韓国との交流

日本と韓国とのバドミントンでの交流は昭和57年の第１回日・韓バドミントン競技大会で始まる。その後隔年で日本開催をしてきて、平成８年に第１４回日・韓バドミントン競技大会が神奈川県で行われた。この間に、韓国オープンに日本の選手が参加して活躍している。日本女子の湯木、高木、竹中、相沢等が世界を制覇していたころは、日本は韓国に対して圧倒的に強い立場であったが、その後日本の低迷が続き、今ではその立場が逆転している。

平成４年５月元韓国ナショナルチームの一員であった韓　恵原（ハン　ヘイワン）さんをコーチに招聘し、主として札幌の北星女子高校で約２年間指導にあたってもらった。厳しさと優しさを兼ね備えた名コーチであったが、経費の関係でそれ以上の期間を望むのは不可能であった。この間に北星女子高校のバドミントン部員数人が、韓国に渡りそこで厳しい訓練を受けた。この時に係わった韓国の男子チーム（東洋化学、済物浦高校、仁川中学）が札幌に合宿に来て、札幌を中心とした一般男子、高校男子とハードな交流試合を行った。彼我の力の差は如何ともしがたく、韓国仁川協会チームの圧勝であった。また親善交流合同練習会を平岸高校、第一高校、開成高校、西陵高校、新川高校の５ヵ所で札幌市内の高校生対象に行ったが、複では49－０、単でも49－０で残念ながら１ゲームも取れなかった。二つの公式戦の記録を紹介しよう。

（第１戦）

Doubles

No.	仁川協会	9－0	札幌協会
1	姜　先基 金　忠会	2－0	小飼　清統 松村　徳市
2	片　光民 李　載元	2－0	高嶋　　進 田口　英史
3	襄　成原 金　伶炫	2－0	高崎　厚生 市川　幸典
4	片　光民 李　載元	2－0	佐藤　　信 林　　秀行
5	姜　先基 片　光民	2－0	馬木　貴之 米田　紀興
6	李　載元 金　忠会	2－1	角谷　淳一 星　　拓磨
7	襄　成原 金　伶炫	2－0	川端　友和 今西　隆浩
8	林　乗善 張　祐碩	2－0	大嶌　健太 高田　茂樹
9	林　乗善 張　祐碩	2－0	斉藤　聡彦 阿知良浩司

（第２戦）

Doubles

No.	仁川協会	4－2	札幌協会
1	襄　成原 金　伶炫	2－0	小飼　清統 林　　秀行
2	片　光民 姜　先基	2－1	伊藤　雅弘 古川　英樹
3	李　載元 金　忠会	1－2	馬木　貴之 米田　紀興
4	襄　成原 金　伶炫	2－0	高崎　厚生 田辺　道郎
5	林　乗善 張　祐碩	0－2	井野　嘉久 一宮　孝一
6	林　乗善 張　祐碩	2－0	斉藤　聡彦 阿知良浩司

Singles

No.	仁川協会	10－1	札幌協会
1	片　光民	2－0	伊藤　雅弘
2	金　忠会	1－2	古川　英樹
3	姜　先基	2－0	萩原　利雄
4	林　乗善	2－0	林　　秀行
5	金　伶炫	2－0	高嶋　　進
6	襄　成原	2－0	工藤　忠和
7	襄　成原	2－0	井野　嘉久
8	金　伶炫	2－0	一宮　孝一
9	林　乗善	2－0	板東　昌志
10	張　祐碩	2－1	高橋　　司
11	張　祐碩	2－0	水上　　剛

Mixed Doubles

No.	仁川協会	1－0	札幌協会
1	韓　恵原 片　光民	2－0	田中　範子 古川　英樹

Singles

No.	仁川協会	4－0	札幌協会
1	片　光民	2－0	松村　徳市
2	襄　成原	2－0	古川　英樹
3	姜　先基	2－0	高嶋　　進
4	林　乗善	2－0	大嶌　健太

3．ロシア極東地区との交流

先代の地崎宇三郎会長が提唱した北海道・ソ連極東地区スポーツ交流大会の第２回大会に先代会長が団長となって昭和48年に参加している。その後暫く途絶えていたが、ソ連もロシアに変わり、再び交流の気運が蘇り平成９年度北海道・ロシア極東地区親善交流大会が札幌のＮＴＴ体育館と旭川実業高校で行われた。

（７月５日ＮＴＴ体育館での記録）

○成年男子

種目	ロシア	2−4	北海道
S1	ウバーロフ	2−0	水沢　直哉
S2	チェマコーブ	2−0	星　　拓磨
S3	エドワールドフ	0−2	伊藤　隆宏
S4	ムニコ	0−2	斉藤　一裕
D1	ウバーロフ チェマコーブ	1−2	村井　秀樹 佐藤　嘉伸
D2	エドワールドフ ムニコ	0−2	星　　拓磨 吉岡　秀樹

○成年女子

種目	ロシア	3−3	北海道
S1	ルスリャコーバ	0−2	武田　明美
S2	ラルチェンコ（ア）	1−2	高橋　昌子
S3	マルチネンコ	2−0	数田　裕美
S4	ラルチェンコ（オ）	1−2	伴　　宏美
D1	ルスリャコーバ マルチネンコ	2−0	岩崎　美香 梶原　夕子
D2	ラルチェンコ（オ） ラルチェンコ（ア）	2−0	土屋留美子 本田　　恵

○ジュニア男子

種目	ロシア	0−4	北海道
S1	ルスリャコフ	0−2	長原　正博
S2	パプイシェブ	1−2	吉田　　仁
S3	ホダコーブ	0−2	皆川　信郎
D1	ルスリャコフ パプイシェブ	0−2	元木　貴志 富士原淳一

○ジュニア女子

種目	ロシア	1−3	北海道
S1	ラルチェンコ（エ）	0−2	沼田真奈美
S2	ベレジナーヤ	1−2	中島　輝美
S3	ジーモヴァ	0−2	中田　麻美
D1	ラルチェンコ（エ） ベレジナーヤ	2−0	松原真智子 高井　　香

（７月６日のＮＴＴ体育館での記録）

○成年男子

種目	ロシア	3−3	北海道
S1	ウバーロフ	2−0	寺尾　隆司
S2	チェマコーブ	2−0	伊藤　隆宏
S3	エドワールドフ	2−0	田口　英史
S4	ムンコ	0−2	高嶋　　進
D1	ウバーロフ チェマコーブ	1−2	寺尾　隆司 米田　紀興
D2	エドワールドフ ムンコ	0−2	田口　英史 高嶋　　進

○成年女子

種目	ロシア	5−1	北海道
S1	ルスリャコーバ	1−2	高橋　昌子
S2	ラルチェンコ（ア）	2−0	星川　　愛
S3	マルチネンコ	2−0	加藤智恵子
S4	ラルチェンコ（オ）	2−0	西村　美香
D1	ルスリャコーバ マルチネンコ	2−0	成田　明美 中井貴代美
D2	ラルチェンコ（オ） ラルチェンコ（ア）	2−0	伴　　宏美 数田　裕美

○ジュニア男子

種目	ロシア	0−4	北海道
S1	ルスリャコフ	0−2	橋本　暁人
S2	パプイシェブ	0−2	長原　正博
S3	ホダコーブ	0−2	時田　大樹
D1	ルスリャコフ パプイシェブ	0−2	皆川　信郎 妹元健太郎

○ジュニア女子

種目	ロシア	3−1	北海道
S1	ラルチェンコ（エ）	2−0	松原真智子
S2	ベレジナーヤ	2−1	高井　　香
S3	ジーモヴァ	0−2	三品美智子
D1	ラルチェンコ（エ） ベレジナーヤ	2−1	中田　麻美 岩岡　知子

旭川での記録の概略は、男子は４－３で北海道の勝ち、女子は３－４でロシアの勝ちとなり、総合で１−１の　引き分けであった。

平成９年度の交流のお返しに、今度は北海道チームがロシア極東地区を訪問し、親善試合を行う予定になっている。平成10年 7月にロシア連邦極東地区都市に役員、成年とジュニア男女選手合計20名が訪れる事になる。主旨に沿って実りある交流をしてきてほしい。

栄誉に輝いた人々（平成元年より）

［平成元年度］

◇藍綬褒賞
小飼　栄一（北海道協会副会長）
◇勲五等・瑞宝章
笠原　一男（北海道協会理事長）
◇日本協会顕讃賞
小林　純幸（北海道協会副会長）

［平成２年度］

◇地　崎　賞
増茂　孝枝、中山智香子(旭川神居古潭中学校)
国際ジュニア（ウインブルトン)、全日本ジュニア、全国中学校、各女子複　優勝
◇日本協会顕讃賞
佐藤　嘉伸、郷路　一郎（札幌第一高校)、古川　秀樹（旭川工業高校)
第44回国民体育大会　少年男子　優勝
増茂　孝枝、中山智香子（旭川神居古潭中学校)
中村　　稔（名寄地区協会会長）
◇日本協会功労賞
笠原　一男（北海道協会理事長）

［平成３年度］

◇地　崎　賞
中村　光生（旭川地区協会）……北海道協会に著しく功績があり、模範的な指導者
◇北海道体育協会表彰
兼平　四郎（函館地区協会）
◇特別技能賞
一宮　孝一（旭川神居古潭中学校）……全国中学校大会　男子単　優勝
西田　　渉（札幌第一高校）……全日本ジュニア　男子単　優勝
増茂　孝枝、中山智香子（旭川実業高校）……全日本ジュニア　女子複　優勝
馬木　智一（旭川神居古潭中学校）……全日本ジュニア　中新人男単　優勝
旭川市立神居古潭中学校
国際大会や全国大会で活躍する優秀選手を数年にわたり育成した

［平成４年度］

◇日本協会顕讃賞
有里　伸一（北見地区協会会長）
◇北海道体育協会表彰
馬木　智一（旭川神居古潭中学校）
◇特別技能賞
西田　　渉（札幌第一高校）……全国高校選手権　男子単　優勝
馬木　智一（旭川神居古潭中学校）……全国中学校大会　男子単　優勝

中山智香子（旭川実業高校）……全国高校選手権　女子単　準優勝
井野　嘉久（札幌第一高校）……全日本ジュニア　男子単　優勝
角谷　淳一、田中　範子（ＮＴＴ北海道）……全日本総合選手権　混合複　第３位
ＮＴＴ北海道男子……全日本実業団選手権　男子団体　第３位
札幌第一高等学校 男子 ……全国高校選手権、全国高校選抜　男子団体　第３位

［平成５年度］

◇特別技能賞
増茂　孝枝、中山智香子（旭川実業高校）……全国高校選手権　女子複　優勝
中山智香子（旭川実業高校）……全国高校選手権　女子単　優勝
日原恵美里（地崎工業）……全日本総合選手権　女子単　第３位
東　　健治、島谷　　勲（札幌地区協会）……全日本教職員選手権　男子60才複　優勝
◇功　労　賞
堀尾源一郎、木村　忠正、山内　敏雄、黒田武二郎、高橋　俊明
南空知地区協会40周年記念表彰

［平成６年度］

◇特別技能賞
一宮　孝一、今西　隆浩、馬木　智一（札幌第一高校）
第49回国民体育大会　少年男子　準優勝
一宮　孝一、馬木　智一（札幌第一高校）……全国高校選手権　男子複　第３位
旭川広陵中学校　女子……全国中学校大会　女子団体　準優勝
三上　裕司（苫小牧光洋中学校）……全国中学校大会　男子単　第３位
上田　大輔（旭川豊里中学校）……全国中学校大会　男子単　第３位
山重　直美、塩崎　真弓（旭川忠和中学校）……全国中学校大会　女子複　第３位
窪田　　薫、葛巻　礼滋（函館地区協会）……全日本教職員選手権　男子60才複　優勝
馬木　智一（札幌第一高校）……全日本ジュニア　男子単　準優勝
永原　正博（旭川豊里中学校）……全日本ジュニア　中新人男単　第３位

［平成７年度］

◇日本協会顕讃賞
荒島　敏幸（札幌地区協会）
山腰　修司（北空知地区協会会長）
◇北海道体育協会表彰
橋本　暁人（旭川広陵中学校）
◇特別技能賞
橋本　暁人（旭川広陵中学校）……全日本ジュニア　中新人男単　優勝
札幌第一高等学校　男子……全国高校選抜大会　男子団体　準優勝
札幌静修高等学校　女子……全国高校選抜大会　女子団体　準優勝
旭川実業高等学校　女子……全国高校選抜大会　女子団体　第３位
佐藤　佑亮、三上　裕司（札幌第一高校）……全国高校選抜大会　男子複　第３位
伴　　宏美、二瓶志津香（札幌静修高校）……全国高校選抜大会　女子複　第３位
窪田　　薫、葛巻　礼滋（函館地区協会）……全日本教職員選手権　男子60才複　優勝
吉田こずえ（函館地区協会）……全日本教職員選手権　女子30才単　優勝

［平成８年度］

◇日本協会顕讃賞

高橋　昌久（旭川地区協会）

神山　周二（札幌地区協会）

◇特別技能賞

村井　秀樹、佐藤　嘉伸、水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）

第51回国民体育大会　成年男子　第３位

旭川広陵中学校　男子……全国中学校大会　男子団体　第３位

橋本　暁人（旭川広陵中学校）……全国中学校大会　男子単　第３位

札幌第一高等学校　男子……全国高校選手権　男子団体　第３位

岩松絵理子（旭川実業高校）……全国高校選手権　女子単　第３位

早坂　幸平（旭川広陵中学校）……全日本ジュニア　中新人男単　第３位

村井　秀樹、田中　範子（ＮＴＴ北海道）……全日本社会人選手権　混合複　第３位

藤田　富雄、東　　政文（ＪＲ北海道）……全日本実業団記念大会　男子45才複　優勝

岡　　明弘、東　　健治（札幌地区協会）……全日本実業団記念大会　男子60才複　優勝

楠野　由佳（旭川工業高専）……全日本高専選手権　女子単　準優勝

旭川工業高等専門学校 男子 ……全日本高専選手権　男子団体　第３位

渡邊　泰彦、高橋　正宣（函館工業高専）……全日本高専選手権　男子複　第３位

高橋　千春、戸子台明日香（苫小牧工高専）……全日本高専選手権　女子複　第３位

［平成９年度］

◇日本協会顕讃賞

横山　　敏（北見地区協会）

平澤　　寛（札幌地区協会）

◇感　謝　状

藤井　一孝（北海道協会前理事長）

◇特別技能賞

旭川広陵中学校　男子……全国中学校大会　男子団体　準優勝

佐々木　翔（上磯中学校）……全国中学校大会　男子単　準優勝

早坂　幸平、川島　健一（旭川広陵中学校）……全国中学校大会　男子複　準優勝

山重　直美、石黒　広子（旭川実業高校）……全国高校選手権　女子複　第３位

北海道教職員一般男子……全日本教職員選手権　男子団体　第３位

苫小牧工業高等専門学校 男子 ……全日本高専選手権　男子団体　第３位

楠野　由佳（旭川工業高専）……全日本高専選手権　女子単　第３位

仲山　久也（苫小牧工業高専）……全日本高専選手権　男子単　第３位

㈶日本バドミントン協会公認審判員資格取得者名簿

（北海道バドミントン協会関係分、第１種Ａ・Ｂ級）

■第１種Ａ級

順不動、敬称略

氏　名	所　属	氏　名	所　属	氏　名	所　属	氏　名	所　属
小飼　栄一	札　幌	長谷川　誠	小　樽	佐々木　洋	南空知	斉藤　賢一	北空知
島谷　　勲	〃	近藤　興治	〃	井上　透市	〃	高山　訓正	〃
石井　　仁	〃	吉本　　契	〃	毛利　勝幸	〃	赤川　賢二	十　勝
神山　周二	〃	松田　重和	函　館	久保田　博	〃	北岡　和雄	〃
西村　幸衛	〃	市田　悦雄	〃	石田　　勇	〃	森田　精一	〃
笹森　　剛	〃	藤島　百子	〃	松本　省三	〃	山田　和雄	〃
木村　敏男	〃	佐々木堅治	〃	吉野　幸弘	〃	加藤　克洋	〃
北村　優明	〃	住田　　茂	〃	野瀬　正紀	〃	桑原　芳弘	〃
遠藤　好雄	〃	坂東　　俊	〃	杉村　　勝	旭　川	尾張　健一	釧　根
遠藤　三知	〃	小向　利威	室　蘭	笠井　武彰	〃	横山　　敏	北　見
平野　弘一	〃	佐々木昭宏	〃	笠井　正彰	〃	中田　武夫	〃
村本　信教	〃	金子　富枝	〃	中村　光生	〃	今井　正二	〃
金田　隆一	〃	岸谷　敏子	〃	松田　行雄	〃	益村　博文	〃
菅原　宏志	〃	藤枝　政勝	〃	小山　憲英	北空知	及川　紀郎	〃
河崎　正紀	〃	藤枝瑠衣子	〃	木田　政志	〃	小鷹　和恵	〃
木村　清淳	小　樽	半澤　邦利	〃	木田　カヨ	〃	五十嵐　優	〃
北　　豊吉	〃	田島　　昇	〃	住澤　幸男	〃	柴崎　孝範	名　寄
鈴木　敏文	〃	米澤　　順	苫小牧	白水　範哲	〃	名取　　昭	〃
高野　幹男	〃	三上　裕子	〃	山田　健治	〃	平川　芳克	〃
庄司　哲司	〃	垂石　郁子	〃	前田　静江	〃	松本　　洋	〃
佐藤　岱助	〃	二瓶　　武	〃	小峯　修一	〃		
佐藤　征子	〃	小蔵　　力	〃	尾崎　義憲	〃		

■第１種Ｂ級

氏　名	所　属	氏　名	所　属	氏　名	所　属	氏　名	所　属
吉村　恭子	札　幌	松本　登明	苫小牧	菅野　克敏	名　寄	菅野　勝敏	名　寄
江刺家大介	函　館	本間　龍美	〃	佐藤　考策	〃	佐藤　考策	〃
杉山　房子	室　蘭	青山　晴美	〃	加藤　宏一	北空知	小西　章子	〃
佐藤耕次郎	苫小牧	伊藤　圭一	小　樽	住澤　正子	〃	川原　勇二	〃
工藤　鈴子	〃	田中　光彦	旭　川	久本　勝二	〃	永井　秀正	〃
本田　秀信	〃	吉岡　成尚	名　寄	吉岡　成尚	名　寄		

1997年（平成９年）９月30日現在登録者数

第１種Ａ級 86名　　第２種Ａ級 62名　　第３種Ａ級 230名

第１種Ｂ級 23名　　第２種Ｂ級 21名　　第３種Ｂ級　96名　　合計　518名

＊ページ数の関係で、全有資格者の氏名を掲載できないことをお許し下さい。

10年間の栄光の記録

北海道バドミントン協会主催大会入賞者一覧

全道実業団バドミントン選手権大会［札幌市］

開催年	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位
第38回 63年	男子１部団体（４）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	ＮＴＴ札幌
	男子２部団体（８）	石狩町教育委員会	三川屋会館チェーン	㈱彫刻グラビア
	男子３部団体（12）	北海道郵政局	札幌交電	稚内市役所
	女子１部団体（３）	地崎	中山酢醸造	
	女子２部団体（４）	㈱大丸	㈱インテック	直栄物産㈱
第39回 元年	男子１部団体（６）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	ＮＴＴ札幌
	男子２部団体（６）	小樽市役所	山陽国策旭川	石狩町教育委員会
	男子３部団体（10）	様似町役場	北海道文化シャッター	ナカムラ
	女子１部団体（４）	地崎	ＮＴＴ北海道	㈱大丸
	女子２部団体（２）	竹中工務店	直栄物産㈱	
第40回 2年	男子１部団体（７）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	ＮＴＴ札幌
	男子２部団体（６）	石狩町役場	㈱彫刻グラビア	北海道郵政局
	男子３部団体（11）	建機サービス	丘珠交通㈱	厚真町役場
	女子１部団体（２）	ＮＴＴ北海道	地崎	
	女子２部団体（４）	㈱インテック	直栄物産㈱	㈱大丸
	女子３部団体（７）	青木電機	片桐紙器	雪んこ
第41回 3年	男子１部団体（８）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	札幌市役所
	男子２部団体（６）	札幌通運倉庫	ＮＴＴ札幌	様似町商工会
	男子３部団体（11）	丘珠交通	ホワイトアロー	建機サービス
	女子１部団体（２）	ＮＴＴ北海道	チザキ	
	女子２部団体（６）	北海道リコー	直栄物産	竹中工務店
	女子３部団体（９）	サツラク	雪んこ	誠石材店
第42回 4年	男子１部団体（９）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	札幌市役所
	男子２部団体（６）	王子サーモン	ＮＴＴ札幌	コマノ
	男子３部団体（12）	北都建機サービス	島松駐屯地	アルメックス
	女子１部団体（３）	ＮＴＴ北海道	チザキ	北海道リコー
	女子２部団体（８）	竹中工務店	住友企画	コマノ
	女子３部団体（７）	マコト石材店	片桐紙器	サービス運輸
第43回 5年	男子１部団体（９）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	チザキ
	男子２部団体（４）	コマノ	パワースタジオ	共立電気
	男子３部団体（11）	構造デザイン	札幌南郵便局	アルメックス
	女子１部団体（３）	チザキ	ＮＴＴ北海道	北海道リコー
	女子２部団体（７）	竹中工務店	コマノ	パワースタジオ
	女子３部団体（13）	雪んこ	キリンビール千歳	第一生命
第44回 6年	男子１部団体（６）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	チザキ
	男子２部団体（10）	飛翔会	北海道リコー	ブルボン
	男子３部団体（12）	ＪＳＤＦ島松	共立電気	パワースタジオＢ
	女子１部団体（２）	ＮＴＴ北海道	チザキ	
	女子２部団体（４）	中山酢醸造	パワースタジオ	日本製紙旭川
	女子３部団体（15）	マコト石材店Ｂ	片桐紙器	バウハウス
第45回 7年	男子１部団体（９）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	ＮＴＴ札幌
	男子２部団体（13）	ケンコーマヨネーズ	ＪＲ旭川	ブルボン
	男子３部団体（11）	札幌南郵便局	バウハウス	様似町商工会
	女子１部団体（３）	ＮＴＴ北海道	チザキ	ＪＳＤＦ北海道
	女子２部団体（７）	㈱大丸	北星女子高校	パワースタジオ
	女子３部団体（11）	バウハウス	マコト石材	片桐紙器
第46回 8年	男子１部団体（８）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	千歳市役所
	男子２部団体（14）	美濃組	サカエエンタープライズ	石狩町役場
	男子３部団体（14）	日専連帯広会	札幌南郵便局	パワースタジオ
	女子１部団体（３）	ＮＴＴ北海道	チザキ	ＪＳＤＦ北海道
	女子２部団体（６）	ケンコーマヨネーズ	中山酢醸造	スタジオゆもと
	女子３部団体（14）	マコト石材	アトリエ・サンワ	バウハウス
第47回 9年	男子１部団体（６）	ＮＴＴ北海道	ＪＲ北海道	千歳市役所
	男子２部団体（15）	トーホー	ブルボン	バウハウス
	男子３部団体（16）	日専連帯広会	札幌南郵便局	パワースタジオＢ
	女子１部団体（３）	ＮＴＴ北海道	チザキ	ＪＳＤＦ北海道
	女子２部団体（５）	中山酢醸造	㈱大丸	小樽砕石
	女子３部団体（13）	バウハウス	スポーツショップサカモト	アトリエ・サンワ

昭和63年度　第41回　北海道バドミントン選手権大会　［札幌市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(39)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	加藤　学（ＮＴＴ北海道）	
一般男複(29)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	千葉　昌弘（ＮＴＴ北海道）	平沢　徹（ＮＴＴ札幌）	
	米山　孝二（　〃　）	中島　俊也（　〃　）	立野　聖一（道工大教）	
一般女単(11)	森　久子（ヨネックス）	捧　匡子（ヨネックス）	和田美津子（地　崎）	
一般女複(15)	森　久子（ヨネックス）	加藤　洋子（地　崎）	近藤　千穂（道女子短大）	
	捧　匡子（　〃　）	和田美津子（　〃　）	羽立貴代子（　〃　）	
30才男単(11)	東田　朋巳（小樽市役所）	卯坂　武（菅前谷商会）	米坂　誠二（菅建装工業）	山本　晴通（ＪＲ貨物）
30才男複(8)	藤田　富雄（ＪＲ小樽）	山田　好明（ＪＲ北海道）	菅原　薫（ＲＳスガワラ）	米坂　誠二（菅建装工業）
	奥山　和也（潮見台中教）	山本　晴通（ＪＲ貨物）	工藤　義基（ユアサバッテリー）	卯坂　武（菅前谷商会）
30才女単(3)	佐藤　陽子（札レディス）	渡辺　明子（札幌パール）		
30才女複(9)	佐藤　陽子（札レディス）	杉本加代子（札幌ライラック）	永井　恭子（札幌パール）	渡辺　明子（札幌パール）
	渡辺由美子（　〃　）	遠藤　静子（　〃　）	山口　菊枝（　〃　）	石橋　和枝（　〃　）
40才男単(12)	高野　幹男（小樽市役所）	野川　豊（札幌市役所）	阿部　忠夫（登別南高教）	土江田　忠（三川屋会館）
40才男複(11)	高野　幹男（小樽市役所）	阿部　忠夫（登別南高教）	上山　功夫（道教委研所）	岩崎　昭郎（地　崎）
	中山　俊三（道郵政局）	森沢　邦昭（　〃　）	杉田　茂良（北野台中教）	中村　富光（　〃　）
40才女単(3)	大同　君枝（札レディス）	津村　和江（札幌パール）		
40才女複(6)	片桐恵美子（札レディス）	津村　和江（札幌パール）		
	大同　君枝（　〃　）	藤井美代子（　〃　）		
50才男単(8)	岡　明弘（道教委）	小向　利威（登別国体局）	神山　周二（滝川高教）	東　健治（札新川高教）
50才男複(8)	神山　周二（滝川高教）	山田　正光（札幌真駒内）	岡　明弘（道教委）	住澤　幸男（深川農高教）
	東　健治（札新川高教）	村松　道司（札幌下水局）	小向　利威（登別国体局）	野坂豊三郎（北札ゴム）
50才女複(3)	工藤エイ子（札幌パール）			
	吉田　惇子（　〃　）			
一般混複(13)	加藤　洋子（地　崎）	和田美津子（地　崎）	鈴木　政子（札レディス）	永井　恭子（札幌パール）
	高橋　進（ＪＲ北海道）	水崎　忍（帯盲学校教）	松岡　誠（ＪＲ北海道）	平沢　徹（ＮＴＴ札幌）
高校男単(49)	横山　匠（札第一）	工藤　忠和（札第一）	佐藤　嘉伸（札第一）	
高校男複(51)	村井　秀樹（札第一）	武田　博和（札第一）	横山　匠（札第一）	
	藤本　謙治（　〃　）	市川　幸典（　〃　）	工藤　忠和（　〃　）	
高校女単(53)	中垣真紀子（札静修）	三上　直子（登別南）	本多　千香（富　川）	
高校女複(52)	中垣真紀子（札静修）	山根　理江（札静修）	西田美樹子（登別南）	
	本多　千香（富　川）	沢田　百合（　〃　）	佐藤　寛子（　〃　）	

平成元年度　第42回　［旭川市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(34)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	
一般男複(20)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	高崎　厚生（札幌市役所）	
	小飼　清統（ＲＳスガワラ）	角谷　淳一（　〃　）	松岡　誠（ＪＲ北海道）	
一般女単(12)	加藤　洋子（地　崎）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	和田美津子（地　崎）	
一般女複(8)	加藤　洋子（地　崎）	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道）	弓削　展子（ＮＴＴ北海道）	
	和田美津子（　〃　）	田中　範子（　〃　）	小笠原　満（　〃　）	
30才男単(5)	米坂　誠二（菅建装工業）	卯坂　武（菅前谷商会）	新矢　務（旭川東和）	
30才男複(7)	山本　晴通（ＪＲ貨物）	奥山　和也（潮見台中教）	米坂　誠二（菅建装工業）	坂野　憲雄（札光星高教）
	鎌田　啓睦（ゴーセン）	藤田　富雄（ＪＲ小樽）	卯坂　武（菅前谷商会）	河崎　正紀（札新川高教）
30才女単(4)	佐藤　陽子（札レディス）	市川　幸子（札幌ライラック）		
30才女複(5)	佐藤　陽子（札レディス）	青木夫早江（旭シャトル）	高田　時子（旭川協会）	
	渡辺由美子（　〃　）	平野ひろ子（　〃　）	荒井　昌子（　〃　）	
40才男単(8)	大竹　憲一（帯広市役所）	高野　幹男（小樽市役所）	中山　俊三（道郵政局）	野川　豊（札幌市役所）
40才男複(8)	中山　俊三（道郵政局）	高野　幹男（小樽市役所）	福井　正昭（文化シャッター）	林　福太郎（札幌病院）
	松岡恒三郎（　〃　）	野川　豊（札幌市役所）	菱　礼二（北海学園ＯＢ）	小林　裕（共立電気）
40才女単(4)	大同　君枝（札レディス）	青木夫早江（旭シャトル）		
40才女複(7)	市川　幸子（札幌ライラック）	津村　和江（札幌パール）	浅井　瑩子（旭川協会）	
	石橋　和枝（札幌パール）	藤井美代子（　〃　）	佐々木理恵子（　〃　）	
50才男単(7)	神山　周二（滝川高教）	東　健治（札新川高教）	住澤　幸男（深川農高教）	野坂豊三郎（北札ゴム）

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
50才男複(7)	野坂豊三郎(北札ゴム)	神山 周二(滝川高教)	山田 正光(札幌真駒内)	中田 武夫(北高栄中教)
	渋井 明(ＪＲ北海道)	東 健治(札新川高教)	村松 道司(札幌下水局)	十川 千春(苫西高教)
50才女複(4)	島中 玲子(札幌パール)	中村 恭子(旭川大雪ク)		
	工藤エイ子(〃)	佐藤 英子(〃)		
一般混複(8)	加藤 洋子(地 崎)	渡辺由美子(直栄物産)	岩崎絵里子(地 崎)	
	松村 徳市(ＪＲ北海道)	高橋 進(ＪＲ北海道)	松岡 誠(ＪＲ北海道)	
高校男単(54)	佐藤 嘉伸(札 第一)	郷路 一郎(札 第一)	斎藤 実(札 第一)	
高校男複(54)	佐藤 嘉伸(札 第一)	平野 朝也(札 第一)	斎藤 実(札 第一)	
	郷路 一郎(〃)	末村 利彦(〃)	萩原 利雄(〃)	
高校女単(51)	村田美和子(札 静修)	大嶋 里佳(札幌西陵)	奥山 睦子(旭川商業)	
高校女複(55)	河村 志保(札 静修)	梶原 夕子(札 静修)	千葉 広美(帯広大谷)	
	村田美和子(〃)	佐藤 京子(〃)	中田みゆき(〃)	

平成２年度　第43回　［帯広市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(29)	伊藤 雅弘(ＮＴＴ北海道)	山尾 克則(ＮＴＴ北海道)	角谷 淳一(ＮＴＴ北海道)	
一般男複(19)	角谷 淳一(ＮＴＴ北海道)	古川 英樹(ＮＴＴ北海道)	平沢 徹(ＮＮＴ札幌)	
	山尾 克則(〃)	伊藤 雅弘(〃)	立野 聖一(道工大教)	
一般女単(13)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	加藤 洋子(地 崎)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	
一般女複(12)	小飼 真弓(ＮＴＴ北海道)	大東 幸子(中山酢醸造)	弓削 展子(ＮＴＴ北海道)	
	田中 範子(〃)	藤本三津子(富川高教)	小笠原 満(〃)	
30才男単(7)	西村 晃(ＪＴ函館)	山本 晴通(ＪＲ貨物)	卯坂 武(苫前谷商会)	
30才男複(9)	菊谷 泰文(函北郵便局)	山本 晴通(ＪＲ貨物)	米坂 誠二(苫建装工業)	近藤 興治(余市高教)
	西村 晃(ＪＴ函館)	鎌田 啓睦(ゴーセン)	卯坂 武(苫前谷商会)	長谷川 誠(ニセコ中教)
30才女単(2)	佐藤 陽子(札レディス)			
30才女複(16)	佐藤 陽子(札レディス)	竹内 寿子(札幌パール)	石橋 和枝(札幌パール)	門馬 秀(札幌パール)
	渡辺由美子(〃)	山田 純子(〃)	永井 恭子(〃)	鈴木あつ子(〃)
40才男単(4)	大竹 憲一(帯広市役所)	福井 正昭(文化シャッター)		
40才男複(8)	尾張 健一(釧 路)	中山 俊三(道郵政局)	林 福太郎(札幌病院)	渋井 明(ＪＲ北海道)
	大竹 憲一(帯広市役所)	松岡恒三郎(〃)	小林 裕(共立電気)	藤田 富雄(〃)
40才女単(4)	大同 君枝(札レディス)	津村 和江(札幌パール)		
40才女複(9)	津村 和江(札幌パール)	大同 君枝(札レディス)	成田 栄子(西帯シャトル)	浅井 瑩子(旭川協会)
	藤井美代子(〃)	堀内久美子(〃)	川村 悦子(帯レディス)	佐々木理恵(〃)
50才男単(2)	神山 周二(滝川高教)			
50才男複(6)	岡 明弘(音江青年家)	島谷 勲(札幌協会)	西村 幸衛(札 幌)	
	住澤 幸男(深川農高教)	野坂豊三郎(ほくさつ)	佐々木勝敏(帯 広)	
50才女複(4)	島中 玲子(札幌パール)	中村喜代枝(帯 広)		
	工藤エイ子(〃)	高橋 昌子(〃)		
一般混複(8)	加藤 洋子(地 崎)	渡辺由美子(直栄物産)	藤本三津子(富川高教)	比企 明美(竹中工務店)
	松村 徳市(ＪＲ北海道)	高橋 進(ＪＲ北海道)	水崎 忍(帯盲学校教)	平沢 徹(ＮＮＴ札幌)
高校男単(58)	萩原 利雄(札 第一)	水澤 直哉(札 第一)	斎藤 実(札 第一)	
高校男複(56)	田村 隆紀(滝川工業)	斎藤 実(札 第一)	水澤 直哉(札 第一)	
	小川 和宏(〃)	萩原 利雄(〃)	福田 光伸(〃)	
高校女単(55)	星川 愛(札 静修)	佐藤 京子(札 静修)	梶原 夕子(札 静修)	
高校女複(56)	佐藤 京子(札 静修)	鳥本 知美(帯広大谷)	岩崎 美香(北 星女)	
	梶原 夕子(〃)	横山 忍(〃)	黒崎由紀子(〃)	

平成３年度　第44回　［苫小牧市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(36)	伊藤 雅弘(ＮＴＴ北海道)	山尾 克則(ＮＴＴ北海道)	古川 英樹(ＮＴＴ北海道)	
一般男複(26)	伊藤 雅弘(ＮＴＴ北海道)	山尾 克則(ＮＴＴ北海道)	小飼 清統(ＲＳスガワラ)	
	角谷 淳一(〃)	古川 英樹(〃)	松村 徳市(ＪＲ北海道)	
一般女単(19)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	小飼 真弓(ＮＴＴ北海道)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	
一般女複(12)	小飼 真弓(ＮＴＴ北海道)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	高橋 雅子(チ ザ キ)	
	田中 範子(〃)	土屋留美子(〃)	林 夕起子(〃)	

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
30才男単(8)	山本 晴通(ＪＲ貨物)	卯坂 武(苫前谷商会)	米坂 誠二(苫建装工業)	小沢 重人(苫南高教)
30才男複(4)	鎌田 啓睦(ゴーセン)	卯坂 武(苫前谷商会)		
	山本 晴通(ＪＲ貨物)	米坂 誠二(苫建装工業)		
30才女複(4)	竹島美智子(札レディス)	鈴木あつ子(札幌パール)		
	木下のり子(〃)	門馬 秀(〃)		
40才男単(3)	住田 茂(函教同好会)	菊地 忠(ＪＲ貨物)		
40才男複(8)	渋井 明(ＪＲ北海道)	尾張 健一(釧路)	菊地 忠(ＪＲ貨物)	遠藤 雅行(ＳＦＢＴ)
	藤田 富雄(〃)	大竹 憲一(帯広市役所)	横川 寿輔(〃)	佐藤 信次(〃)
40才女単(3)	佐藤 陽子(札レディス)	大同 君枝(札レディス)		
40才女複(3)	石橋 和枝(札幌パール)			
	渡辺 明子(札幌パール)			
50才男単(3)	東 健治(札新川高教)	住澤 幸男(深川農高教)		
50才男複(5)	岡 明弘(音江青年家)	東 健治(札新川高教)	帆足 克行(千歳)	
	住澤 幸男(深川農高教)	島中 貞夫(札幌市役所)	村松 道司(札下水道局)	
一般混複(17)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	小飼 真弓(ＮＴＴ北海道)	林 夕起子(チザキ)
	角谷 淳一(〃)	古川 英樹(〃)	山尾 克則(〃)	松岡 誠(ＪＲ北海道)
高校男単(58)	水澤 直哉(札第一)	西田 渉(札第一)	佐竹 友昭(札第一)	
高校男複(54)	水澤 直哉(札第一)	西田 渉(札第一)	日野 昌晃(札第一)	
	福田 光伸(〃)	佐竹 友昭(〃)	小倉 隆司(〃)	
高校女単(61)	増茂 孝枝(旭実業)	中山智香子(旭実業)	多田 恭子(札静修)	
高校女複(58)	中山智香子(旭実業)	鳥本 知美(帯広大谷)	多田 恭子(札静修)	
	増茂 孝枝(〃)	中田みゆき(〃)	川畑 麻美(〃)	

平成４年度　第45回 ［網走市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(33)	伊藤 雅弘(ＮＴＴ北海道)	山尾 克則(ＮＴＴ北海道)	角谷 淳一(ＮＴＴ北海道)	
一般男複(20)	伊藤 雅弘(ＮＴＴ北海道)	小飼 清統(ＲＳスガワラ)	山尾 克則(ＮＴＴ北海道)	
	角谷 淳一(〃)	松村 徳市(ＪＲ北海道)	古川 英樹(〃)	
一般女単(10)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	武田 明美(ＮＴＴ北海道)	
一般女複(20)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	佐藤 京子(ＮＴＴ北海道)	高橋 雅子(チザキ)	
	小笠原 満(〃)	武田 明美(〃)	林 夕起子(〃)	
30才男単(4)	山本 晴通(ＪＲ貨物)	卯坂 武(苫前谷商会)		
30才男複(4)	涌井 賢一(北見)	卯坂 武(苫前谷商会)		
	松原 昭美(〃)	米坂 誠二(苫建装工業)		
30才女単(3)	吉田こずえ(函館ＢＬＣ)			
30才女複(10)	鈴木 政子(札レディス)	渡辺由美子(札レディス)	竹島美智子(札レディス)	門馬 秀(札幌パール)
	大同 君枝(〃)	佐藤 陽子(〃)	木下のり子(〃)	岡田 照子(帯広)
40才男単(3)	住田 茂(函館教職員)	土江田真一(三川屋会館)		
40才男複(4)	尾張 健一(釧路)	住田 茂(函教同好会)		
	大竹 憲一(帯広市役所)	黒崎 勇司(〃)		
40才女複(4)	山下 典子(音更)	高橋 良子(北見)		
	高島 弘美(〃)	菊地美智子(〃)		
45才男単(2)	小林 裕(共立電気)			
50才男単(2)	山田 健治(滝川市役所)			
50才男複(3)	山田 健治(滝川市役所)	横山 敏(帯三条高教)		
	木田 政志(芦別)	森田 精一(帯大谷高教)		
50才女複(2)	島中 玲子(札幌パール)			
	山口 菊枝(札シーガル)			
55才男単(3)	東 健治(札新川高教)	住澤 幸男(深川農高教)		
55才男複(4)	岡 明弘(音江青年家)	野坂豊三郎(札北ゴム)		
	住澤 幸男(深川農高教)	曽我部 滋(美幌)		
60才男単(2)	島谷 勲(札幌協会)			
一般混複(16)	田中 範子(ＮＴＴ北海道)	小笠原 満(ＮＴＴ北海道)	武田 明美(ＮＴＴ北海道)	
	角谷 淳一(〃)	古川 英樹(〃)	米山 孝二(〃)	

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
50才混複(3)	山口 菊枝（札シーガル） 渋井 明（ＪＲ北海道）		
高校男単(58)	西田 渉（札 第 一）	井野 嘉久（札 第 一）	一宮 孝一（札 第 一）
高校男複(53)	小倉 隆司（札 第 一） 日野 昌晃（ 〃 ）	西田 渉（札 第 一） 佐竹 友昭（ 〃 ）	米田 和典（旭 工 業） 真岩 忍（ 〃 ）
高校女単(57)	増茂 孝枝（旭 実 業）	中山智香子（旭 実 業）	北島かおり（旭 実 業）
高校女複(55)	中山智香子（旭 実 業） 増茂 孝枝（ 〃 ）	松倉 輝美（旭 商 業） 稲垣麻衣子（ 〃 ）	小泉 奈々（とわ森三愛） 松岡 美帆（ 〃 ）

平成５年度　第46回 ［室蘭市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
一般男単(29)	伊藤 雅弘（ＮＴＴ北海道）	角谷 淳一（ＮＴＴ北海道）	村井 秀樹（ＮＴＴ北海道）
一般男複(16)	伊藤 雅弘（ＮＴＴ北海道） 古川 英樹（ 〃 ）	小飼 清統（ＲＳスガワラ） 松村 徳市（ＪＲ北海道）	角谷 淳一（ＮＴＴ北海道） 伊藤 隆宏（千歳市役所）
一般女単(24)	田中 範子（ＮＴＴ北海道）	日原恵美里（チ ザ キ）	武田 明美（ＮＴＴ北海道）
一般女複(18)	田中 範子（ＮＴＴ北海道） 日景 真弓（ 〃 ）	日原恵美里（チ ザ キ） 林 夕起子（ 〃 ）	佐藤 京子（ＮＴＴ北海道） 土屋留美子（ 〃 ）
30才男単(9)	山本 晴通（ＪＲ貨物）	内野 達也（信正印刷）	門馬 朗（日本製紙旭）	小桧山昌敏（岩倉建材）
30才男複(6)	大橋 昌郎（札啓北商教） 土江田真一（三川屋会館）	山下 悟（川崎重工） 内野 達也（信正印刷）	伊達 雄二（水元シャトル） 清水 一夫（室蘭裁判所）
30才女単(6)	吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	杉山 友江（伊達武者）	加藤美直子（滝川市役所）
30才女複(9)	佐藤 陽子（札レディス） 遠藤 静子（札幌ライラック）	加藤美直子（滝川市役所） 及川 幸子（中山酢醸造）	鈴木 政子（札レディス） 渡辺由美子（ 〃 ）	田中 明美（十勝池田） 西山 幸子（十勝清水）
40才男単(6)	土江田真一（三川屋会館）	住田 茂（函教同好会）	菊地 忠（ＪＲ貨物）	田畑 義彦（伊達クラブ）
40才男複(8)	木村 敏男（ＮＴＴエスパン） 菅原 薫（ＲＳスガワラ）	遠藤 雅行（アポロ石油） 佐藤 信次（ＮＴＴ札幌）	中平 成幸（札幌市役所） 大竹 憲一（帯広市役所）	住田 茂（函教同好会） 黒崎 勇司（ 〃 ）
40才女単(3)	佐藤 陽子（札レディス）	大同 君枝（札レディス）	
40才女複(5)	堀内久美子（札レディス） 大同 君枝（ 〃 ）	大場 昌子（室ウイング） 永井八重子（登シャトル）
45才男単(3)	山内 龍雄（札南土現所）	岩佐 穣（日本製紙旭）
45才男複(3)	渋井 明（ＪＲ北海道） 藤田 富雄（ 〃 ）	福井 正昭（文化シャッター） 葛西 清和（Ｈ，Ｐ，Ａ）
45才女複(3)	石橋 和枝（札幌パール） 津村 和江（芦 別）	岸谷 敏子（室ウイング） 魚住 紘子（帯大谷高教）
50才男単(6)	佐々木堅治（函館北中教）	山田 健治（滝川市役所）	村井 純一（ＪＲ室蘭）
50才男複(4)	山田 健治（滝川市役所） 木田 政志（芦 別）	林 福太郎（札藻岩体振） 小林 裕（共立電気）
50才女単(2)	浅井 瑩子（旭フレンドリー）	
50才女複(3)	浅井 瑩子（旭フレンドリー） 佐々木理恵（ 〃 ）	谷頭恵美子（室ウイング） 金子 富枝（室蘭水鳥）
55才男単(2)	小向 利威（室蘭火曜会）	
60才男単(3)	東 健治（札新川高教）	野坂豊三郎（札北ゴム）
60才男複(2)	東 健治（札新川高教） 島谷 勲（札幌協会）
一般混複(14)	佐藤 京子（ＮＴＴ北海道） 古川 英樹（ 〃 ）	田中 範子（ＮＴＴ北海道） 角谷 淳一（ 〃 ）	岩崎 美香（チ ザ キ） 馬木 貴之（ＪＲ北海道）	日景 真弓（ＮＴＴ北海道） 村井 秀樹（ 〃 ）
50才混複(2)	前田 静枝（滝 川） 山田 健治（滝川市役所）	谷頭恵美子（室ウイング） 岡 明弘（音江青年家）	金子 富枝（室蘭水鳥） 小向 利威（室蘭火曜会）
高校男単(53)	一宮 孝一（札 第 一）	馬木 智一（札 第 一）	井野 嘉久（札 第 一）
高校男複(49)	井野 嘉久（札 第 一） 一宮 孝一（ 〃 ）	川畑 友和（札 第 一） 馬木 智一（ 〃 ）	高橋 弾（札 第 一） 水上 剛（ 〃 ）
高校女単(53)	中山智香子（旭 実 業）	増茂 孝枝（旭 実 業）	田村 裕美（旭 実 業）
高校女複(53)	中山智香子（旭 実 業） 増茂 孝枝（ 〃 ）	中村 美穂（札 静 修） 加藤智恵子（ 〃 ）	河合 章江（札 静 修） 高橋 昌子（ 〃 ）

平成６年度　第47回［函館市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
一般男単(37)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	佐藤　嘉伸（ＮＴＴ北海道）	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）
一般男複(18)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道） 佐藤　嘉伸（　〃　）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道） 伊藤　隆宏（千歳市役所）	小飼　清統（ＲＳスガワラ） 松村　徳市（ＪＲ北海道）
一般女単(18)	日原恵美里（チ　ザ　キ）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）
一般女複(13)	田中　範子（ＮＴＴ北海道） 佐藤　京子（　〃　）	日原恵美里（チ　ザ　キ） 岩崎　美香（　〃　）	土屋留美子（ＮＴＴ北海道） 武田　明美（　〃　）
30才男単(５)	谷口　　諭（函館市役所）	徳満　康浩（小樽市役所）	竹田　光文（函館ハイクリヤー）
30才男複(７)	菊谷　泰文（函北郵便局） 谷口　　諭（函館市役所）	土江田真一（三川屋会館） 大橋　昌郎（啓北商高教）	有田　晃一（青少年会館） 深沢　賢一（札南郵便局）	竹田　光文（函館ハイクリヤー） 岩館　利男（　〃　）
30才女単(４)	吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	国島奈美枝（伊達武者）	
30才女複(８)	八島　　（函ＨＤクラブ） 吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	佐藤　陽子（札レディス） 遠藤　静子（札幌ライラック）	田中みちの（札幌わかば） 岡林　祐子（札グレイス）	高村　涼子（函館ＢＬＣ） 本間　康子（　〃　）
40才男単(９)	田畑　義彦（伊達クラブ）	土江田真一（三川屋会館）	大槻　英男（日本製紙旭）	寺垣内　裕（函館市役所）
40才男複(８)	住田　　茂（函教同好会） 黒崎　勇司（　〃　）	遠藤　雅行（アポロ石油） 佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）	横川　康輔（ＪＲ貨物） 菊地　　忠（　〃　）	渋井　　明（ＪＲ北海道） 藤田　富雄（　〃　）
40才女単(４)	佐藤　陽子（札レディス）	後藤　栄子（函館ＢＬＣ）	
40才女複(８)	石橋　和枝（札幌パール） 津村　和江（　〃　）	安田シゲ子（函館ＢＬＣ） 後藤　栄子（　〃　）	大場　昌子（室ウイング） 永井八重子（登シャトル）	堀内久美子（札レディス） 渡辺由美子（　〃　）
50才男単(４)	佐々木堅治（函館北中教）	二瓶　　武（大昭和白老）	
50才男複(３)	佐々木堅治（函館北中教） 品川　勝男（ＮＴＴ函館）	山田　健治（滝川市役所） 小助川国雄（江別協会）	
50才女単(３)	浅井　瑩子（旭フレンドリー）	東出　公子（函シャトル）	
50才女複(４)	谷頭恵美子（室ウイング） 前田　静枝（滝シャトル）	浅井　瑩子（旭フレンドリー） 佐々木智恵（　〃　）	
55才男複(２)	岡　　明弘（道特殊教セ） 住澤　幸男（深川農高教）		
55才女複(２)	島中　玲子（札幌パール） 吉田　惇子（　〃　）		
60才男単(４)	東　　健治（札新川高教）	窪田　　薫（函教同好会）	
60才男複(５)	東　　健治（札新川高教） 島谷　　勲（札　　幌）	窪田　　薫（函教同好会） 葛巻　礼滋（　〃　）	横山　　敏（北　　見） 横山　　真（札　　幌）
一般混複(12)	岩崎　美香（チ　ザ　キ） 馬木　貴之（ＪＲ北海道）	佐藤　京子（ＮＴＴ北海道） 古川　英樹（　〃　）	林　夕起子（チ　ザ　キ） 米田　紀興（ＪＲ北海道）
50才混複(４)	谷頭恵美子（室ウイング） 岡　　明弘（道特殊教セ）	前田　静枝（滝　　川） 山田　健治（滝川市役所）	
高校男単(50)	馬木　智一（札　第　一）	一宮　孝一（札　第　一）	斎藤栄太郎（札　第　一）
高校男複(48)	今西　隆浩（札　第　一） 妹尾　将義（　〃　）	一宮　孝一（札　第　一） 馬木　智一（　〃　）	高橋　　司（札　第　一） 水上　　剛（　〃　）
高校女単(56)	田村　裕美（旭　実　業）	竹村美由紀（旭　実　業）	岩松絵理子（旭　実　業）
高校女複(51)	小林奈央子（旭　実　業） 佐藤奈々子（　〃　）	村瀬　春美（帯　大　谷） 宮本　宏美（　〃　）	竹村美由紀（旭　実　業） 宮島　裕美（　〃　）

平成７年度　第48回　［苫小牧市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(46)	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	佐藤　嘉伸（ＮＴＴ北海道）	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	
一般男複(31)	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道） 佐藤　嘉伸（　〃　）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道） 伊藤　隆宏（千歳市役所）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道） 星　拓磨（　〃　）	
一般女単(35)	日原恵美里（チ　ザ　キ）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	
一般女複(25)	日原恵美里（チ　ザ　キ） 岩崎　美香（　〃　）	田中　範子（ＮＴＴ北海道） 土屋留美子（　〃　）	武田　明美（ＮＴＴ北海道） 佐藤　京子（　〃　）	
30才男単(10)	西村　晃（ＪＴ函館）	谷口　諭（函館市役所）	卯坂　武（前谷商会）	内野　達也（信正印刷）
30才男複(９)	菊谷　泰文（函北郵便局） 谷口　諭（函館市役所）	瀬戸　義信（ＪＳＤＦ島松） 樺澤　大蔵（　〃　）	山下　悟（川崎重工） 内野　達也（信正印刷）	加藤　豊己（飛　翔　会） 山坂　幸市（　〃　）
30才女単(４)	吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	杉山　房子（札レディス）		
30才女複(12)	吉田こずえ（函館ＢＬＣ） 神戸　雪子（札ウイング）	水戸　恵子（伊達武者） 鈴木　政子（札レディス）	中村とも子（札ウイング） 藤井　雪枝（　〃　）	水上　京子（札ウイング） 阿部　桂子（　〃　）
40才男単(８)	田畑　義彦（伊達クラブ）	住田　茂（函教同好会）	米村　昭則（安平小教）	菊地　忠（ＪＲ貨物）
40才男複(６)	菊地　忠（ＪＲ貨物） 田畑　義彦（伊達クラブ）	遠藤　雅行（アポロ石油） 佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）	近藤　晴夫（相互建設） 米村　昭則（安平小教）	
40才女単(２)	大同　君枝（札レディス）			
40才女複(７)	遠藤　静子（札幌ライラック） 永井　恭子（札幌パール）	安田シゲ子（函館ＢＬＣ） 後藤　栄子（　〃　）	大同　君枝（札レディス） 伊藤恵美子（　〃　）	佐藤　陽子（札レディス） 渡辺由美子（　〃　）
45才女複(２)	大場　昌子（室ウイング） 谷頭恵美子（　〃　）			
50才男単(７)	佐々木堅治（函教同好会）	二瓶　武（大昭和白老）	山内　龍雄（北白石小教）	村井　純一（ＪＲ室蘭）
50才男複(８)	山田　健治（滝川市役所） 阿部　忠夫（とわ森高教）	佐々木堅治（函教同好会） 品川　勝男（ＮＴＴ函館）	上山　功夫（道　教　委） 福井　正昭（文化シャッター）	林　福太郎（札藻岩体振） 小林　裕（共立電気）
50才女単(２)	浅井　瑩子（旭フレンドリー）			
50才女複(３)	浅井　瑩子（旭フレンドリー） 佐々木智恵子（　〃　）	白木　史子（札ウイング） 湯本カズ子（スタシオ湯本）		
55才男単(２)	藤枝　政勝（産業振興）			
60才男単(４)	東　健治（札幌ダイヤモンド）	野坂豊三郎（㈱ほくさつ）		
60才男複(５)	窪田　薫（函教同好会） 葛巻　礼滋（　〃　）	野坂豊三郎（㈱ほくさつ） 平沢　寛（札幌ダイヤモンド）		
一般混複(11)	田中　範子（ＮＴＴ北海道） 星　拓磨（　〃　）	岩崎　美香（チ　ザ　キ） 馬木　貴之（ＪＲ北海道）	日原江美里（チ　ザ　キ） 郷路　一郎（ＪＲ北海道）	
50才混複(２)	谷頭恵美子（室ウイング） 山田　健治（滝川市役所）			
高校男単(54)	馬木　智一（札　第　一）	斎藤栄太郎（札　第　一）	久保田秀明（札　第　一）	
高校男複(52)	馬木　智一（札　第　一） 妹尾　将義（　〃　）	斎藤栄太郎（札　第　一） 久保田秀明（　〃　）	伊藤　勇介（札　新　川） 下川　憲哉（　〃　）	
高校女単(53)	竹村美由紀（旭　実　業）	二瓶志津華（札　静　修）	伴　宏美（札　静　修）	
高校女複(53)	大畑絵理子（旭　実　業） 竹村美由紀（　〃　）	斎藤　弓華（札　静　修） 伴　宏美（　〃　）	吉田　美紀（室聖ベネディクト） 大川　美幸（　〃　）	

平成８年度　第49回［北見市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(42)	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	
一般男複(27)	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	斎藤　一裕（ＮＴＴ北海道）	
	佐藤　嘉伸（　〃　）	伊藤　隆宏（千歳市役所）	吉岡　秀樹（　〃　）	
一般女単(12)	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	佐藤　京子（ＮＴＴ北海道）	
一般女複(11)	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）	梶原　夕子（チ　ザ　キ）	標　千春（ＮＴＴ北海道）	
	武田　明美（　〃　）	岩崎　美香（　〃　）	本田　恵（　〃　）	
30才男単(12)	西村　晃（ＪＴ函館）	谷口　諭（函館市役所）	渡辺　励（東　藻　琴）	高崎　康孝（MY. SARK）
30才男複(７)	西村　晃（ＪＴ函館）	渡辺　励（東　藻　琴）	加藤　豊己（飛　翔　会）	涌井　賢一（津　　別）
	谷口　諭（函館市役所）	市川　光夫（網　　走）	山坂　幸市（　〃　）	松原　昭美（　〃　）
30才女単(３)	渡辺　智美（東　藻　琴）			
30才女複(10)	田中　明子（池　　田）	高橋ひろみ（帯広水鳥）	神戸　雪子（札ウイング）	渡辺　智美（東　藻　琴）
	西山　幸子（　〃　）	山本　直美（　〃　）	吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	寺西　智子（北　　見）
40才男単(10)	卯坂　武（前谷商会）	米村　昭則（安平小教）	田畑　義彦（伊達クラブ）	伊藤　寿史（札幌自衛隊）
40才男複(９)	伊藤　寿史（札幌自衛隊）	東　政文（ＪＲ北海道）	竹内　史郎（札幌遊羽ク）	遠藤　雅行（アポロ石油）
	土江田真一（三川屋会館）	藤田　富雄（　〃　）	高橋　博行（　〃　）	佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）
40才女単(２)	大同　君枝（札レディス）			
40才女複(７)	遠藤　静子（札幌ライラック）	高島　弘美（音　　更）	大竹　京子（帯広水鳥）	門馬　　秀（札幌パール）
	永井　恭子（札幌パール）	山下　典子（　〃　）	佐々木みさ子（　〃　）	松岡千代子（　〃　）
45才男単(２)	岩佐　　穣（日本製紙旭）			
45才男複(２)	羽田野幸雄（美　幌　町）			
	阿部　幸一（　〃　）			
45才女複(６)	佐藤　陽子（札レディス）	川村　悦子（帯レディス）	滝沢　利枝（幕　　別）	
	大同　君枝（　〃　）	大村ひろみ（　〃　）	畠山　久代（　〃　）	
50才男単(３)	山田　健治（滝川市役所）			
50才男複(６)	渋井　　明（日本生命）	中村　富光（チ　ザ　キ）	森田　精一（帯　　広）	
	福井　正昭（文化シャッター）	小林　　裕（共立電気）	尾張　健一（釧　　路）	
50才女単(２)	吉田　愛子（北見工大職）			
50才女複(７)	浅井　瑩子（旭フレンドリー）	吉田　愛子（北見工大職）	坂口　栄子（女　満　別）	島中　玲子（札幌パール）
	佐々木智恵子（　〃　）	成田　栄子（西帯広シャトル）	浅井　明子（網　　走）	石橋　和枝（　〃　）
55才男単(２)	湯本　真司（スタジオゆもと）			
60才男単(２)	東　　健治（札幌ダイヤモンド）			
60才男複(５)	岡　　明弘（全　道　庁）	東　　健治（札幌ダイヤモンド）		
	住澤　幸男（深川協会）	平沢　　寛（　〃　）		
一般混複(８)	高橋　昌子（ＮＴＴ北海道）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	岩崎　美香（チ　ザ　キ）	
	佐藤　嘉伸（　〃　）	星　　拓磨（　〃　）	馬木　貴之（ＪＲ北海道）	
50才混複(８)	谷頭恵美子（室ウイング）	石橋　和枝（札幌パール）	森川　スミ（北　　見）	吉田　愛子（北見工大職）
	山田　健治（滝川市役所）	福井　正昭（文化シャッター）	中田　武夫（　〃　）	川谷　昭男（興　　部）
高校男単(51)	大島　健史（札　第　一）	佐藤　祐亮（札　第　一）	佐藤　弘通（札　第　一）	
高校男複(50)	真岩　秀一（札　第　一）	大島　健史（札　第　一）	三上　裕司（札　第　一）	
	佐藤　弘通（　〃　）	堀口　高志（　〃　）	佐藤　祐亮（　〃　）	
高校女単(54)	伴　　宏美（札　静　修）	岩松絵理子（旭　実　業）	塩崎　沙織（旭　実　業）	
高校女複(50)	岩松絵理子（旭　実　業）	石黒　広子（旭　実　業）	二瓶志津子（札　静　修）	
	塩崎　沙織（　〃　）	山重　直美（　〃　）	伴　　宏美（　〃　）	

平成９年度　第50回　［帯広市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
一般男単(36)	水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	井野　嘉久（日　　大）	
一般男複(26)	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	星　　拓磨（ＮＴＴ北海道）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	
	佐藤　嘉伸（　〃　）	吉岡　秀樹（　〃　）	井野　嘉久（日　　大）	
一般女単(15)	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）	標　　千春（ＮＴＴ北海道）	
一般女複(14)	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）	梶原　夕子（チ　ザ　キ）	星川　　愛（チ　ザ　キ）	
	武田　明美（　〃　）	岩崎　美香（　〃　）	加藤智恵子（　〃　）	
30才男単(４)	谷口　　諭（函館市役所）	西村　　晃（ＪＴ函館）		
30才男複(９)	西村　文雄（音　　更）	竹田　義隆（音　　更）	橋場　孝啓（函　　館）	谷口　　諭（函館市役所）
	板矢　　豊（　〃　）	森　　靖明（広　　尾）	星屋　安則（音　　更）	西村　　晃（ＪＴ函館）
30才女単(２)	西山　幸子（十勝クィーン）			
30才女複(10)	田中　明子（十勝クィーン）	高橋ひろみ（十勝クィーン）	小林江津子（音　　更）	藤井　雪枝（ＳＳサカモト）
	西山　幸子（　〃　）	山本　直美（　〃　）	武田かおる（十勝クィーン）	藤田とも子（　〃　）
40才男単(13)	田畑　義彦（伊達クラブ）	米村　昭則（安平小教）	大竹　憲一（帯広市役所）	近藤　晴夫（鵡川町役場）
40才男複(９)	田畑　　貢（胆振支庁）	東　　政文（ＪＲ北海道）	遠藤　雅行（アポロ石油）	大竹　憲一（帯広市役所）
	田畑　義彦（伊達クラブ）	藤田　富雄（　〃　）	佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）	福島　一雄（　〃　）
40才女単(２)	大同　君枝（チームＳ）			
40才女複(11)	遠藤　静子（札幌ライラック）	高島　弘美（十勝クィーン）	山内　明美（旭フレンドリー）	山谷喜久恵（旭フレンドリー）
	永井　恭子（札幌パール）	山下　典子（　〃　）	和泉真由美（　〃　）	藤井　澄子（　〃　）
50才男単(６)	品川　勝男（函七飯協会）	佐々木堅治（函教同好会）		
50才男複(８)	渋井　　明（日本生命）	中村　富光（チ　ザ　キ）	品田　勝男（函七飯協会）	曽我部　滋（美　　幌）
	福井　正昭（文化シャッター）	小林　　裕（共立電気）	佐々木堅治（函教同好会）	川谷　昭男（興　　部）
50才女単(２)	後藤　栄子（函館ＢＬＣ）			
50才女複(３)	浅井　瑩子（旭フレンドリー）	石橋　和枝（札幌パール）		
	佐々木智恵子（　〃　）	谷頭恵美子（室ウイング）		
60才男単(２)	住澤　幸男（深川協会）	東　　健治（札幌ダイヤモンド）	小向　利威（室蘭協会）	
60才男複(６)	岡　　明弘（全道庁）	東　　健治（札幌ダイヤモンド）	野坂豊三郎（札幌ダイヤモンド）	横山　　敏（女満別）
	住澤　幸男（深川協会）	島中　貞夫（　〃　）	平沢　　寛（　〃　）	横山　　真（札大谷幼園）
一般混複(２)	本田　　恵（ＮＴＴ北海道）			
	星　　拓磨（　〃　）			
50才混複(８)	後藤　栄子（函館ＢＬＣ）	吉田　愛子（北見工大職）	石橋　和枝（札幌パール）	白木　吏子（ユニオン）
	品川　勝男（函七飯協会）	川谷　昭男（興　　部）	福井　正昭（文化シャッター）	小林　　裕（共立電気）
高校男単(52)	岩渕　大介（札　第　一）	唐太　　勝（旭　実　業）	金本　真也（札　第　一）	
高校男複(52)	上田　大輔（旭　工　業）	皆川　信郎（札　第　一）	宮澤　幸雄（札　第　一）	
	丸一　良太（　〃　）	烋元健太郎（　〃　）	金本　真也（　〃　）	
高校女単(54)	塩崎　沙織（旭　実　業）	石黒　広子（旭　実　業）	山下　紋可（帯　柏　葉）	
高校女複(52)	塩崎　沙織（旭　実　業）	石黒　広子（旭　実　業）	榊　美智子（とわ森三愛）	
	塩崎　真弓（　〃　）	山重　直美（　〃　）	安田　三紗（　〃　）	

全日本家庭婦人北海道予選会　札幌市

	種目（参加数）	ブロック優勝		第3位	
第6回（63年）	クラブ対抗(15)	旭川シャトル	札幌パール	千歳ママさん	旭川大雪
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（8）	40才複（2）	45才複（4）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	大野　朋子（札幌パール） 石橋　和枝（　〃　）	浅井　瑩子（旭フレンドリー） 佐々木智恵子（　〃　）	
第7回（元年）	クラブ対抗(15)	千歳セブンエイト	室蘭ウイング	札幌パールA	滝川ママさん
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（3）	40才複（6）	45才複（6）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	渡辺由美子（札レディス） 佐藤　陽子（　〃　）	浅井　瑩子（旭フレンドリー） 佐々木智恵子（　〃　）	
第8回（2年）	クラブ対抗(18)	札幌パールA	滝川ママさんシャトル	室蘭ウイング	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（3）	40才複（4）	45才複（3）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	遠藤　静子（札ライラック） 津村　和江（札幌パール）	島中　玲子（札幌パール） 石橋　和枝（　〃　）	
第9回（3年）	クラブ対抗(15)	室蘭ウイング	札幌シーガル	旭川フレンドリー	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（4）	40才複（3）	45才複（3）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	遠藤　静子（札ライラック） 佐藤　陽子（札レディス）	島中　玲子（札幌パール） 石橋　和枝（　〃　）	
第10回（4年）	クラブ対抗(37)	札幌パールA	札幌シーガル	旭川シャトル	室蘭ウイング
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（11）	40才複（14）	50才複（3）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	遠藤恵美子（札ライラック） 石橋　和枝（札幌パール）	東　幸子（札幌パール） 米重紀枝子（　〃　）	
第11回（5年）	クラブ対抗(24)	札幌パールA	滝川ママさん	札幌ウイング	室蘭ウイング
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（8）	40才複（9）	50才複（3）	
		菅原たき子（札幌パール） 鈴木　政子（札レディス）	遠藤　静子（札ライラック） 佐藤　陽子（札レディス）	島中　玲子（札幌パール） 浅井　瑩子（旭フレンドリー）	
第12回（6年）	クラブ対抗(24)	札幌ウイング	滝川シャトルA	函館ＢＣＬ	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（6）	40才複（7）	50才複（3）	
		菅原たき子（札幌パール） 永井　恭子（　〃　）	遠藤　静子（札ライラック） 佐藤　陽子（札レディス）	島中　玲子（札幌パール） 浅井　瑩子（旭フレンドリー）	
第13回（7年）	クラブ対抗(27)	滝川ママさん	札幌シーガル	函館シャトル	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（4）	40才複（3）	50才複（2）	
		末松富美子（室ウイング） 杉山　房子（　〃　）	遠藤　静子（札ライラック） 菅原たき子（札幌パール）	島中　玲子（札パール） 石橋　和枝（　〃　）	
第14回（8年）	クラブ対抗(21)	函館ＢＣＬ	札幌ウイング	滝川ママさんシャトルズ	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（4）	40才複（4）	50才複（3）	
		鈴木　政子（札レディス） 水戸　恵子（　〃　）	遠藤　静子（札ライラック） 菅原たき子（札幌パール）	島中　玲子（札幌パール） 石橋　和枝（　〃　）	
第15回（9年）	クラブ対抗(21)	札幌パール	札幌シーガル	滝川ママさんシャトルズA	
	都道府県対抗［年令別複］1位	30才複（4）	40才複（2）	50才複（2）	
		藤井　雪枝（札幌ソフィー） 藤田とも子（　〃　）	遠藤　静子（札ライラック） 菅原たき子（札幌パール）	石橋　和枝（札幌パール） 林　啓子（札ライラック）	

北海道学生バドミントン選手権大会

[年]	種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
第37回 [63] 滝川市	男子単(181)	佐藤 信 (札 大)	山口 真由 (札 大)	佐賀 昭仁 (札 大)
	男子複 (87)	鎌田 秀樹 (札 大) 佐藤 信	秦 秀二 (札 大) 本塚 憲興	佐賀 昭仁 (札 大) 大高 潤
	女子単(146)	岩崎 恵子 (道女短大)	小林 純恵 (道教大札幌)	羽立貴代子 (道女短大)
	女子複 (73)	小田桐友美 (道女短大) 目黒ひとみ	岩崎 恵子 (道女短大) 十川 真紀	羽立貴代子 (道女短大) 近藤 美穂
第38回 [元] 岩見沢市	男子単(181)	佐賀 昭仁 (札 大)	佐藤 信 (札 大)	桜井 敬大 (札 大)
	男子複 (82)	武田 博和 (札 大) 桜井 敬大	松井 康彦 (札学院大) 森田 龍治	中島 浩二 (札 大) 岡村 展成
	女子単(139)	阿部 紋子 (道女短大)	櫛引ゆかり (道女短大)	高橋 雅子 (道女短大)
	女子複 (67)	櫛引ゆかり (道女短大) 阿部 紋子	仁井田史子 (道女短大) 林 尚子	岩井 芳美 (道女短大) 田中 明美
第39回 [2] 岩見沢市	男子単(209)	桜井 敬大 (札 大)	谷 博文 (北 大)	田中 師幸 (北海学園大)
	男子複(101)	武田 博和 (札 大) 桜井 敬大	田辺 道郎 (北 大) 谷 博文	池田 雅 (北海学園大) 堀内 敏
	女子単(130)	高橋 雅子 (道女短大)	村田美和子 (札 大)	三浦 美香 (道教大函館)
	女子複 (65)	高橋 雅子 (道女短大) 宮部 清美	田村 亜紀 (道女短大) 長谷川真弓	西村 麻美 (道女短大) 伊藤みのり
第40回 [3] 岩見沢市	男子単(187)	桜井 敬大 (札 大)	岩崎 智信 (札学院大)	池田 雅 (北海学園大)
	男子複 (88)	桜井 敬大 (札 大) 武田 博和	奥村 徹也 (帯畜産大) 山本 努	池田 雅 (北海学園大) 小笠原博和
	女子単(143)	清野 悦子 (道女短大)	横山 忍 (静修短大)	山中 康江 (道女短大)
	女子複 (67)	田村 亜紀 (道女短大) 長谷川真弓	梶原 夕子 (道女短大) 岩崎 美香	山中 康江 (道女短大) 佐藤有希子
第41回 [4] 岩見沢市	男子単(242)	金沢 要 (札 大)	武田 博和 (札 大)	西田 恒誠 (室工大)
	男子複(116)	佐々木礼一 (札学院大) 芳村 晋吾	小野 勇一 (道教大釧路) 阿部 卓	桜井 敬大 (札 大) 武田 博和
	女子単(138)	多田 恭子 (道女短大)	山中 康江 (道女短大)	鳥本 知美 (静修短大)
	女子複 (66)	梶原 夕子 (道女短大) 岩崎 美香	佐々木綾子 (道女短大) 多田 恭子	横山 忍 (静修短大) 鳥本 知美
第42回 [5] 岩見沢市	男子単(243)	芳村 晋吾 (札学院大)	高橋 真 (札学院大)	菅野 哲哉 (札学院大)
	男子複(115)	盛 雅人 (札 大) 日野 昌晃	芳村 晋吾 (札学院大) 高橋 真	岡本 寿和 (北 大) 斉藤 基樹
	女子単(160)	栗原 初美 (道女短大)	鳥本 知美 (静修短大)	八角 亜紀 (道女短大)
	女子複 (74)	佐々木綾子 (道女短大) 多田 恭子	板橋 圭子 (道女短大) 渡部英理花	鳥本 知美 (静修短大) 松岡 美帆
第43回 [6] 岩見沢市	男子単(251)	首藤 正光 (釧路公大)	岡本 寿和 (北 大)	日野 昌晃 (札 大)
	男子複(118)	岡本 寿和 (北 大) 斉藤 基樹	西田 圭 (札学院大) 中村 知之	日野 昌晃 (札 大) 盛 雅人
	女子単(170)	山口 亜希 (道女短大)	中村 美穂 (道女短大)	中田みゆき (道教大札幌)
	女子複 (83)	稲垣麻衣子 (静 修 大) 絹川 暁子	松岡 美帆 (静 修 大) 高橋 直子	加藤智恵子 (道女短大) 河合 章江
第44回 [7] 岩見沢市	男子単(283)	盛 雅人 (札 大)	日野 昌晃 (札 大)	西田 圭 (札学院大)
	男子複(129)	日野 昌晃 (札 大) 盛 雅人	高橋 真 (札学院大) 西田 圭	栗山 敏雄 (函 館 大) 林 雄次
	女子単(193)	舟口 庸子 (道教大札幌)	加藤智恵子 (道女短大)	山野下有幸 (道教大札幌)
	女子複 (99)	加藤智恵子 (道女短大) 中村 美穂	金山 由紀 (道女短大) 河合 章江	菊地美加子 (道女短大) 中川亜希子
第45回 [8] 岩見沢市	男子単(306)	三上 真也 (函 館 大)	今西 隆浩 (札 大)	首藤 正光 (釧路公大)
	男子複(138)	今西 隆浩 (札 大) 日野 昌晃	西川 和成 (函 館 大) 宮本 清治	加藤 義之 (樽 商 大) 富樫 康貴
	女子単(161)	木村 充美 (苫駒沢短大)	西村 美香 (札 大)	菊地由香里 (道女短大)
	女子複 (81)	遠藤梨枝子 (道女短大) 菊地由香里	菊地美加子 (道女短大) 中川亜希子	大西 明子 (道教大札幌) 小林奈央子
第46回 [9] 岩見沢市	男子単(230)	今西 隆浩 (札 大)	宇野 裕治 (北 大)	三上 真也 (函 館 大)
	男子複(112)	尾山 真規 (旭 川 大) 吹田 英明	西川 和成 (函 館 大) 宮本 清治	加藤 義之 (樽 商 大) 富樫 康貴
	女子単(133)	二瓶志津香 (道教大札幌)	谷口 直美 (道 女 大)	本多 志保 (苫駒沢短大)
	女子複 (68)	小林奈央子 (道教大札幌) 二瓶志津香	斉藤 弓華 (苫駒沢短大) 本多 志保	田崎 宣子 (道 女 大) 近江 幸代

北海道高等学校バドミントン選手権大会

[年]	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位（道北）	第三位（道南）
第40回[63] 稚内市	男子団体（25）	札幌第一	滝川工業	帯広柏葉	札幌開成
	女子団体（25）	札幌静修	旭川商業	釧路星園	登別南
	男子複（39）	藤本 謙治（札第一） 村井 秀樹	桜井 敬大（滝工） 秋山 清	古川 英樹（旭工） 中田 朋之	横山 匠（札第一） 工藤 忠和
	女子複（39）	山根 理江（札静修） 沢田 百合	奥山 睦子（旭商） 米脇 理恵	坂本麻由美（釧星園） 宮部 清美	中垣真紀子（札静修） 村田美和子
	男子単（39）	横山 匠（札第一）	古川 英樹（旭工）	桜井 敬大（滝工）	工藤 忠和（札第一）
	女子単（39）	三上 直子（登別南）	長谷川真弓（釧星園）	奥山 睦子（旭商）	中垣真紀子（札静修）
第41回[元] 釧路市	男子団体（25）	札幌第一	旭川工業	滝川工業	函館東
	女子団体（25）	釧路星園	登別南	旭川商業	札幌静修
	男子複（39）	佐藤 嘉伸（札第一） 郷路 一郎	小川 和宏（滝工） 田村 隆紀	増沢 英之（旭商） 松田 亮	平野 朝也（札第一） 末村 利彦
	女子複（40）	中垣真紀子（札静修） 佐藤 京子	長谷川真弓（釧星園） 梅岡 志保	奥山 睦子（旭商） 米脇 理恵	尾関 知子（北星女） 岩崎 美香
	男子単（39）	佐藤 嘉伸（札第一）	古川 英樹（旭工）	芳村 晋悟（滝工）	郷路 一郎（札第一）
	女子単（41）	長谷川真弓（釧星園）	本多 千香（富川）	向山 広美（釧星園）	伊奈 貴美（登別南）
第42回[2] 旭川市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	滝川工業	札幌平岸
	女子団体（26）	札幌静修	帯広大谷	旭川商業	北星学園女子
	男子複（40）	米田 紀興（旭工） 馬木 貴之	水澤 直哉（札第一） 福田 光伸	小川 和宏（滝工） 田村 隆紀	斎藤 実（札第一） 荻原 利雄
	女子複（40）	佐藤 京子（札静修） 梶原 夕子	鳥本 知美（帯大谷） 横山 忍	中田みゆき（帯大谷） 千葉 広美	岩崎 美香（北星女） 黒崎由紀子
	男子単（40）	米田 紀興（旭工）	斎藤 実（札第一）	馬木 貴之（旭工）	荻原 利雄（札第一）
	女子単（41）	梶原 夕子（札静修）	米脇 理恵（旭商）	横山 忍（帯大谷）	星川 愛（札静修）
第43回[3] 北見市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	帯広緑陽	札幌新川
	女子団体（26）	旭川実業	札幌静修	旭川商業	北星学園女子
	男子複（40）	水澤 直哉（札第一） 福田 光伸	米田 紀興（旭工） 星 拓磨	西田 圭（旭工） 山中 貴満	西田 渉（札第一） 佐竹 友昭
	女子複（42）	中山智香子（旭実） 増茂 孝枝	多田 恭子（札静修） 川畑 麻美	鳥本 知美（帯大谷） 中田みゆき	渡辺麻由子（北星女） 佐々木綾子
	男子単（40）	水澤 直哉（札第一）	星 拓磨（旭工）	高嶋 進（帯緑陽）	西田 渉（札第一）
	女子単（42）	増茂 孝枝（旭実）	高木 浩美（札静修）	中山智香子（旭実）	佐々木綾子（北星女）
第44回[4] 札幌市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	旭川実業	札幌新川
	女子団体（26）	旭川実業	札幌静修	旭川商業	札幌啓北商業
	男子複（41）	西田 渉（札第一） 佐竹 友昭	米田 和典（旭工） 真岩 忍	大居 雄一（旭実） 神威 貴也	小倉 隆司（札第一） 日野 昌晃
	女子複（42）	中山智香子（旭実） 増茂 孝枝	今野 亜紀（札静修） 山口 亜希	北島あけみ（旭実） 田村 裕美	小泉 奈々（とわの森） 松岡 美帆
	男子単（41）	西田 渉（札第一）	米田 和典（旭工）	大居 雄一（旭実）	井野 嘉久（札第一）
	女子単（42）	増茂 孝枝（旭実）	山口 亜希（札静修）	中山智香子（旭実）	松岡 美帆（とわの森）

[年]	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位（道北）	第三位（道南）
第45回[5] 小樽市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	帯広三条	札幌新川
	女子団体（26）	旭川実業	札幌静修	帯広大谷	北星学園女子
	男子複（41）	井野　嘉久（札第一） 一宮　孝一	鈴木　大輔（旭工） 荒井　大亮	渡辺　貴広（旭工） 伊藤　章芳	川畑　友和（札第一） 馬木　智一
	女子複（43）	中山智香子（旭実） 増茂　孝枝	中村　美穂（札静修） 加藤智恵子	北島あけみ（旭実） 田村　裕美	河合　章江（札静修） 高橋　昌子
	男子単（41）	井野　嘉久（札第一）	伊藤　章芳（旭工）	鈴木　大輔（旭工）	一宮　孝一（札第一）
	女子単（43）	中山智香子（旭実）	舟口　庸子（室蘭栄）	増茂　孝枝（旭実）	高橋　昌子（札静修）
第46回[6] 深川市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	帯広柏葉	札幌新川
	女子団体（27）	旭川実業	札幌静修	旭川商業	とわの森三愛
	男子複（41）	一宮　孝一（札第一） 馬木　智一	伊藤　章芳（旭工） 石橋　尚樹	奥山　幸一（滝工） 木村　武久	今西　隆浩（札第一） 妹尾　将義
	女子複（43）	西村　美香（札静修） 高橋　昌子	窪田三佐都（旭実） 大畑絵理子	小林奈央子（旭実） 佐藤奈々子	菊地美加子（とわの森） 中川亜希子
	男子単（41）	馬木　智一（札第一）	伊藤　章芳（旭工）	宮本　清治（旭実）	一宮　孝一（札第一）
	女子単（43）	田村　裕美（旭実）	高橋　昌子（札静修）	竹村美由紀（旭実）	西村　美香（札静修）
第47回[7] 登別市	男子団体（24）	札幌第一	旭川工業	旭川実業	札幌新川
	女子団体（26）	札幌静修	旭川実業	旭川商業	とわの森三愛
	男子複（41）	妹尾　将義（札第一） 馬木　智一	阪上　真悟（旭工） 橋本　武洋	伊藤　猛紀（旭工） 槙　輝明	斎藤栄太郎（札第一） 久保田秀明
	女子複（43）	伴　宏美（札静修） 二瓶志津華	原　香織（旭実） 宮島　友美	大畑絵理子（旭実） 竹村美由紀	吉田　美紀（聖ベネディクト） 大川　美幸
	男子単（41）	馬木　智一（札第一）	三上　直也（旭実）	橋本　武洋（旭工）	斉藤栄太郎（札第一）
	女子単（43）	伴　宏美（札静修）	竹村美由紀（旭実）	岩松絵理子（旭実）	二瓶志津華（札静修）
第48回[8] 函館市	男子団体（25）	札幌第一	旭川実業	旭川工業	札幌新川
	女子団体（26）	札幌静修	旭川実業	帯広大谷	とわの森三愛
	男子複（41）	佐藤　祐亮（札第一） 三上　裕司	鈴木慎太郎（旭実） 佐藤　信行	上田　大輔（旭工） 丸一　良太	真岩　秀一（札第一） 佐藤　弘通
	女子複（43）	伴　宏美（札静修） 二瓶志津華	岩松絵理子（旭実） 塩崎　沙織	石黒　広子（旭実） 山重　直美	本多　志保（札静修） 櫻井亜希美
	男子単（41）	三上　裕司（札第一）	鈴木慎太郎（旭実）	上田　大輔（旭工）	大嶋　健史（札第一）
	女子単（43）	二瓶志津華（札静修）	塩崎　沙織（旭実）	岩松絵理子（旭実）	伴　宏美（札静修）
第49回[9] 岩見沢市	男子団体（23）	札幌第一	旭川工業	旭川西	函館工業
	女子団体（26）	旭川実業	札幌静修	滝川西	とわの森三愛
	男子複（41）	三上　裕司（札第一） 岩渕　大介	上田　大輔（旭工） 丸一　良太	松本　章（旭工） 矢野　真吾	宮澤　幸雄（札第一） 金本　真也
	女子複（43）	石黒　広子（旭実） 山重　直美	本多　志保（札静修） 沼田真奈美	塩崎　沙織（旭実） 塩崎　真弓	岩岡　知子（札静修） 中田　麻美
	男子単（41）	三上　裕司（札第一）	上田　大輔（旭工）	丸一　良太（旭工）	金本　真也（札第一）
	女子単（43）	塩崎　沙織（旭実）	元木　瞳（札静修）	石黒　広子（旭実）	沼田真奈美（札静修）

北海道家庭婦人バドミントン競技大会

	種目（参加数）		優勝	準優勝	第三位	
第17回 63年 栗山町	団体1部（10）		札幌パール	旭川シャトル	札幌ライラックA	
	団体2部（8）		函館シャトル	栗山シャトル	札幌パール	札幌シーガル
	団体3部	A	札幌パール	函館愛好会A	小樽ミセス	苫小牧同好会
	（48）	B	旭川シャトル	道北シャトル	函館シャトル	札幌シーガルA
第18回 元年 苫小牧市	団体1部（12）		札幌パールA	旭川シャトル	札幌レディス	札幌ライラックA
	団体2部（9）		西帯シャトル	苫小牧A	札幌シーガル	
	団体3部	A	千歳セブンエイトA	室蘭ウイング	札幌シーガル	札幌パールA
	（67）	B	札幌パールA	札幌レディス	小樽ミセスA	函館愛好会B
第19回 2年 江別市	団体1部（15）		札幌パールA	札幌レディスA	札幌ライラック	旭川シャトル
	団体2部（9）		函館BLC	滝川ママさんシャトル	札幌パール	
	団体3部	A	室蘭ウイング	札幌パールA	札幌なずな	函館愛好会B
	（62）	B	旭川シャトル	恵庭ウインディA	小樽ミセスA	札幌ウインクA
第20回 3年 帯広市	団体1部（16）		札幌パールA	札幌レディスA	帯広水鳥シャトル	旭川シャトル
	団体2部（12）		滝川ママさんシャトル	釧路MOO	西帯シャトル	静内ジョイフル
	団体3部	A	札幌パールA	旭川大雪クラブ	帯広水鳥シャトル	手稲シャトルズ
	（56）	B	札幌レディスA	札幌コスモスA	札幌シーガルA	函館愛好会A
第21回 4年 函館市	団体1部（15）		札幌パールA	旭川シャトル	札幌レディスA	札幌ライラックA
	団体2部（9）		札幌パールA	函館BLC	函館シャトル	
	団体3部	A	札幌スタッフ	札幌コスモスA	函館シャトル	札幌パールA
	（71）	B	室蘭ウイング	札幌パールB	旭川フレンドリーA	砂川シャトル
第22回 5年 旭川市	団体1部（16）		旭川シャトル	札幌レディスA	札幌パールA	札幌ライラックA
	団体2部（15）		釧路MOO	室蘭ウイング	札幌パール	旭川フレンドリー
	団体3部	A	札幌スタッフ	札幌コスモスA	函館シャトルA	札幌パールA
	（71）	B	室蘭ウイングA	札幌パール	旭川フレンドリーA	函館シャトルA
第23回 6年 小樽市	団体1部（18）		札幌パールA	札幌レディスA	旭川シャトル	札幌20
	団体2部（20）		札幌パール	室蘭ウイング	札幌ウインクA	旭川フレンドリー
	団体3部	A	札幌シーガル	札幌パールA	札幌レディスA	根室シャトルズ
	（91）	B	札幌20A	函館シャトルズ	苫小牧シャトル	恵庭ウインデー
	団体4部（4）		札幌パール	函館シャトルクラブ	ミックスフレンズ	
第24回 7年 札幌市	団体1部（18）		札幌20	札幌レディスA	札幌パールA	十勝クィーン
	団体2部（21）		札幌ウイング	旭川シャトル	十勝クィーン	函館シャトルクラブ
	団体3部	A	室蘭スマイル	札幌スタッフ	札幌20A	札幌パールA
	（83）	B	札幌シーガルA	恵庭ウインデー	札幌わかばA	札幌レディスA
	団体4部（7）		旭川フレンドリー	札幌パール	苫ドライフラワーズ	函館愛好会
第25回 8年 滝川市	団体1部（15）		札幌パールA	十勝クィーンA	札幌20	札幌ウイング
	団体2部（14）		旭川シャトル	札幌ウイング	十勝クィーンA	函館BLC
	団体3部	A	函館シャトル	札幌スタッフ	札幌レディス	根室シャトルズ
	（89）	B	札幌シーガル	札幌パールA	旭川フレンドリー	札幌メッツ
	団体4部（9）		札幌パールA	函館シャトル	苫ドライフラワーズ	
第26回 9年 苫小牧市	団体1部（17）		十勝クィーン	札幌パールA	札幌レディスA	札幌20A
	団体2部（17）		函館BCL	札幌ユニオン	十勝クィーンA	函館シャトル
	団体3部	A	札幌パールA	札幌20A	札幌スタッフA	旭川クラブ
	（82）	B	札幌シーガル	根室シャトルズ	苫小牧ジャンプA	苫小牧シャトルB
	団体4部（9）		札幌ライラック	函館シャトル	札幌すずらん同好会	

北海道中学校バドミントン大会（中体連）

[年]	種目（数）	優勝	準優勝	第三位	
第19回[63] 小樽市	男子団（13）	旭川神居古潭［上川］	室蘭東明［胆振］	石狩花川南［石狩］	滝川明苑［空知］
	男子複（35）	小森　隆（旭川光陽）	田中　克広（旭神居古潭）	佐藤　憲弘（滝川明苑）	金山　文武（旭川永山南）
		幅崎　慶一	佐竹　友昭	渡辺　宏樹	吉田　純
	男子単（25）	水沢　直哉（旭神居古潭）	矢野　宏尚（旭川光陽）	伊藤　真吾（登別西陵）	福田　光伸（札幌北白石）
	女子団（17）	旭川広陵［上川］	札幌稲陵［札幌］	室蘭本室蘭［胆振］	新篠津［石狩］
	女子複（44）	武田　明美（室蘭本室蘭）	黒川　忍（旭川広陵）	稲垣麻衣子（旭川広陵）	菅原　友紀（上砂川）
		川畑　麻美	栗原　和美	松原ゆかり	月岡由美子
	女子単（29）	佐藤　純子（札幌西陵）	後藤　綾子（函館桔梗）	原　亜紀子（室蘭本室蘭）	増茂　孝子（旭神居古潭）
第20回[元] 帯広市	男子団（14）	東川［上川］	石狩花川南［石狩］	室蘭東明［胆振］	帯広第一［十勝］
	男子複（39）	真岩　忍（東川）	日野　昌晃（滝川江陵）	二本柳貴志（室蘭本室蘭）	米田　仁司（東川）
		米田　和典	小倉　隆司	大野　豊彦	浅沼　浩一
	男子単（28）	西田渉（室蘭東明）	佐竹　友昭（旭神居古潭）	佐々　福睦（札幌稲陵）	伊賀　政幸（登別札内）
	女子団（16）	旭川神居古潭［上川］	札幌西陵［札幌］	砂川［空知］	黒松内中の川［後志］
	女子複（44）	中山智恵子（旭神居古潭）	稲垣麻衣子（旭川広陵）	木村　明美（室蘭本室蘭）	藤村　紋子（室蘭本室蘭）
		増茂　孝子	松原ゆかり	山田　咲枝	福原由華子
	女子単（29）	佐藤　純子（札幌西陵）	後藤　綾子（函館桔梗）	本田　望（栗沢）	斎藤　未来（砂川）
第21回[2] 旭川市	男子団（15）	札幌篠路西［札幌］	旭川永山［上川］	旭川神居古潭［上川］	札幌東月寒［札幌］
	男子複（40）	小沢　竜二（札幌篠路西）	竹村　嘉満（旭神居古潭）	小野寺靖夫（旭川豊里）	相馬　広嗣（室蘭本室蘭）
		坂東　昌志	馬木　智一	河原　正典	川端　友和
	男子単（28）	伊野　学（登別札内）	鈴木　大輔（旭川）	一宮　孝一（旭神居古潭）	高橋　弾（釧路教大附）
	女子団（17）	旭川神居古潭［上川］	旭川広陵［上川］	日高［日高］	北星学園女子［札幌］
	女子複（45）	中山智恵子（旭神居古潭）	高橋奈緒子（旭川広陵）	奥山　史（旭川広陵）	永市　朋子（旭川明星）
		増茂　孝子	平岡　千香	岡田　理佳	広瀬　知子
	女子単（30）	舟口　庸子（室蘭東明）	田村　裕美（旭川忠和）	北島あけみ（旭川明星）	竹村美由紀（旭神居古潭）
第22回[3] 登別市	男子団（17）	滝川江陵［空知］	登別幌別［胆振］	札幌真駒内［札幌］	旭川永山［上川］
	男子複（39）	今西　隆浩（旭神居古潭）	田村　威資（滝川江陵）	加藤　義之（江別大麻東）	斎藤　聡彦（札幌八軒）
		馬木　智一	奥山　幸一	宇野　裕治	高江　将
	男子単（28）	一宮　孝一（旭神居古潭）	伊藤　章芳（旭川永山）	高橋　司（札幌真駒内）	阿知良浩司（札幌篠路西）
	女子団（18）	旭川神居古潭［上川］	日高［日高］	帯広第一［十勝］	北星学園女子［札幌］
	女子複（45）	遠藤梨枝子（砂川）	杉原あゆ子（日高）	菅原奈穂子（日高）	西谷　慶子（旭神居古潭）
		大西　清子	岡村亜矢子	館　朋子	長原　美幸
	女子単（29）	竹村美由紀（旭神居古潭）	田村　裕美（旭川忠和）	中田　順子（小樽銭函）	高橋　円（釧路教大附）
第23回[4] 函館市	男子団（15）	旭川広陵［上川］	登別幌別［胆振］	滝川江陵［空知］	厚岸太田［釧路］
	男子複（40）	阪上　真悟（旭川東陽）	小瀬川広志（江別大麻東）	水谷　隆行（厚岸太田）	松本　圭輔（厚岸太田）
		高橋　大輔	増田　文生	佐藤　祐亮	小幡　正道
	男子単（28）	馬木　智一（旭神居古潭）	中嶋　俊紀（札幌新琴似）	高田　健一（岩見沢東光）	斎藤栄太郎（釧路桜が丘）
	女子団（17）	旭川神居古潭［上川］	帯広第七［十勝］	札幌篠路［札幌］	日高［日高］
	女子複（44）	長原　美幸（旭神居古潭）	十　陽子（旭神居古潭）	高橋　真弓（栗沢）	原　香織（旭川東明）
		渡辺　綾子	渡辺　唯	本田　恵	五反田一美
	女子単（30）	竹村美由紀（旭神居古潭）	伴　宏美（苫小牧啓明）	小堀　るみ（平取振内）	宮島　友美（旭川忠和）

[年]	種目（数）	優勝	準優勝	第三位	
第24回[5] 稚内市	男子団（16）	札幌篠路西［札幌］	厚岸太田［釧路］	斜里［網走］	旭川永山［上川］
	男子複（40）	松浦　正暁（旭川豊里）	岩渕　大介（釧路緑陵）	平山　誠（札幌東栄）	熊谷　陵（登別札内）
		上田　大輔	小関　礼憲	名古　拓哉	福田　秀一
	男子単（28）	佐藤　弘通（札幌西陵）	三上　裕司（苫小牧光洋）	佐藤　健太（穂別稲里）	堀口　高志（札幌篠路西）
	女子団（17）	旭川広陵［上川］	帯広第七［十勝］	苫小牧啓北［胆振］	日高［日高］
	女子複（45）	早川　舞（旭川広陵）	田村　奈美（旭川忠和）	大平　満子（登別札内）	田中優香子（帯広第七）
		石黒　広子	塩崎　沙織	近井　美香	小林亜紀子
	女子単（30）	岩松絵里子（苫小牧啓北）	山下紋可（新得富村牛）	千葉　綾乃（旭川明星）	二瓶志津華（白老荻野）
第25回[6] 旭川市	男子団（17）	旭川広陵［上川］	旭川豊里［上川］	釧路緑陵［釧路］	札幌西陵［札幌］
	男子複（42）	岩渕　大介（釧路緑陵）	鈴木　敏之（旭川広陵）	山田　省吾（帯広第一）	吉原　彰彦（東神楽）
		小関　礼憲	中富　崇	川西　周吾	唐太　勝
	男子単（28）	三上　裕司（苫小牧光洋）	上田　大輔（旭川豊里）	宮本　敬（帯広第一）	中島　茂勝（新得富村牛）
	女子団（18）	旭川忠和［上川］	旭川広陵［上川］	日高［日高］	旭川明星［上川］
	女子複（45）	石黒　広子（旭川広陵）	山重　直美（旭川忠和）	松浦　由香（旭川豊里）	阪東　優美（旭川広陵）
		馬場奈穂子	塩崎　真弓	竹村　恵	菅野　祐子
	女子単（30）	塩崎　沙織（旭川忠和）	山下　紋可（新得富村牛）	元木　瞳（釧路東）	千葉　綾乃（旭川明星）
第26回[7] 小樽市	男子団（17）	旭川豊里［上川］	札幌東栄［札幌］	神恵内［後志］	滝川江陵［空知］
	男子複（43）	皆川　信郎（札幌東栄）	矢野　真吾（滝川江陵）	鈴木　裕策（旭川春光台）	今　泰寛（千歳真町）
		烋元健太郎	藤田　光治	山下　晃弘	萬谷　朋大
	男子単（31）	松本　章（旭川豊里）	長原　正博（旭川豊里）	元木　貴志（釧路緑陵）	金子　博（室蘭東明）
	女子団（17）	旭川広陵［上川］	日高［日高］	栗山［空知］	苫小牧光洋［胆振］
	女子複（45）	菅野　祐子（旭川広陵）	竹村　恵（旭川豊里）	新谷　絵美（札幌稲積）	木村佳奈子（旭川東明）
		宮崎あい子	松浦　由香	加津　淳子	渡辺真希子
	女子単（30）	塩崎　真弓（旭川忠和）	武藤めぐみ（新得富村牛）	中島　輝美（新得富村牛）	松永　聡美（釧路共栄）
第27回[8] 根室市	男子団（17）	旭川広陵［上川］	札幌琴似［札幌］	神恵内［後志］	岩見沢明成［空知］
	男子複（28）	川島　健一（旭川広陵）	谷平　裕二（旭川広陵）	佐々木康人（札幌栄町）	山田　淳平（苫小牧啓明）
		早坂　幸平	加藤　洋祐	上城　雅樹	浦本　昌則
	男子単（54）	橋本　暁人（旭川広陵）	長原　正博（旭川豊里）	安達　辰徳（苫小牧明倫）	伊辺　拓樹（上磯）
	女子団（17）	札幌宮の丘［札幌］	栗山［空知］	上磯［渡島］	旭川東明［上川］
	女子複（31）	渡辺真希子（旭川東明）	吉田　衣里（旭川東明）	中村　彰子（栗山）	澤田　洋美（札幌東月寒）
		木村佳奈子	渡辺　美幸	遠藤奈美花	大嶋　清香
	女子単（60）	中島　輝美（新得富村牛）	本田いずみ（苫小牧光洋）	高野めぐみ（小樽銭函）	菊地亜矢子（旭川忠和）
第28回[9] 苫小牧市	男子団（18）	旭川広陵［上川］	苫小牧啓明［胆振］	滝川江陵［空知］	札幌明園［札幌］
	男子複（30）	川島　健一（旭川広陵）	谷平　裕二（旭川広陵）	長田　烈（札幌上野幌）	佐藤　大将（岩見沢緑）
		早坂　幸平	加藤　洋祐	加藤　耕助	吉村　宏幸
	男子単（60）	佐々木　翔（上磯）	河原　悟（旭川豊里）	竹村　純（旭川豊里）	長原　克博（旭川豊里）
	女子団（18）	旭川忠和［上川］	苫小牧明倫［胆振］	苫小牧啓明［胆振］	苫小牧光洋［胆振］
	女子複（31）	福井　晃子（旭神居古潭）	堀田　千世（旭川東明）	木村美菜子（富川）	江井祐妃子（苫小牧明倫）
		福井　早苗	播磨　宏美	渡辺　智子	野嶋真奈美
	女子単（63）	本田いずみ（苫小牧光洋）	修田　真恵（札幌厚別）	平林　千佳（旭川忠和）	脇坂　美穂（帯広第一）

北海道小学生バドミントン大会（研修会）

［年］	種目（参加）	優勝	準優勝	第三位	
第7回［63］岩見沢市	男子単（34）	一宮　孝一（旭神居古潭）	小野寺弘志（旭豊里）	石橋　尚樹（旭陵雲）	大坪　誠（旭近文四）
	男子複（19）	今西　隆浩（旭神居古潭）	菅原　敦志（旭永山）	小柳　清人（旭永山）	戸田　勝文（旭神居古潭）
		馬木　智一（〃）	伊藤　章芳（〃）	宮本　清治（〃）	福井　秀晃（〃）
	女子単（50）	田村　裕美（旭忠和）	岡村亜矢子（日高）	若園さとみ（上更別）	竹村美由紀（旭神居古潭）
	女子複（47）	佐藤　尚子（釧白樺）	林　文子（札前田）	丸山　千晶（旭陵雲）	杉原あゆ子（日高）
		新川智恵美（〃）	花田　涼子（札鉄北）	伊林　康子（〃）	菅原奈穂子（〃）
第8回［元］旭川市	男子単（42）	馬木　智一（旭神居古潭）	松本　秀租（旭豊里）	伊藤　猛紀（旭永山）	金田　賢治（旭陵雲）
	男子複（27）	相馬　裕己（旭近文三）	阪上　慎吾（旭愛宕東）	川崎　智洋（苫大成）	飯田　博和（旭高台）
		谷　康之（〃）	安広　浩二（〃）	高山　周上（〃）	佐藤　彰洋（〃）
	女子単（58）	竹村美由紀（旭神居古潭）	小堀　るみ（貫気別）	伴　宏美（苫泉野）	岡田　理佳（旭凌雲）
	女子複（55）	十　陽子（旭神居古潭）	岡田　美紀（旭陵雲）	広瀬　良子（旭新富）	滝沢　有美（旭東光）
		渡辺　綾子（〃）	高本　美奈（〃）	魚住　美華（〃）	五反田一美（〃）
第9回［2］岩見沢市	男子単（49）	木村　智之（旭東栄）	三上　裕司（苫大成）	佐藤　弘通（札発寒）	浅野　晴俊（富村牛）
	男子複（28）	上田　大輔（旭豊里）	野原　英樹（旭愛宕東）	長町　康隆（旭近文三）	大嶋　健史（旭陵雲）
		松浦　正暁（〃）	安広　浩二（〃）	鈴木　寿典（〃）	中富　崇（〃）
	女子単（53）	伴　宏美（苫泉野）	二瓶志津華（白老荻野）	坂崎　梨絵（釧鳥取）	長谷川景子（釧朝陽）
	女子複（58）	十　陽子（旭神居古潭）	池添　圭美（日高）	元木　瞳（釧朝陽）	会田　祥子（室高砂）
		渡辺　唯（〃）	本多　志保（〃）	池田　優佳（〃）	桔梗原綾乃（〃）
第10回［3］旭川市	男子単（62）	三上　裕司（苫大成）	上田　大輔（旭豊里）	中島　茂勝（富村牛）	鈴木　英吉（札新陵）
	男子複（39）	小関　礼憲（釧清明）	宮澤　幸雄（上磯）	中富　崇（旭陵雲）	上田　祐治（旭豊里）
		岩渕　大介（釧朝陽）	大津　達也（〃）	岡部　文章（〃）	松本　章（〃）
	女子単（70）	元木　瞳（釧湖畔）	山下　紋可（富村牛）	大西奈津江（室高砂）	杉山　優子（夕張清水沢）
	女子複（77）	馬場奈穂子（旭陵雲）	若林　（旭陵雲）	小西　若奈（札明園）	銅住　清美（根室花咲）
		石黒　広子（〃）	阪東　優美（〃）	畠山いくみ（札幌）	佐藤真由美（〃）
第11回［4］滝川市	男子単（52）	元木　貴志（釧湖畔）	大津　達也（上磯）	斎藤　紘一（苫泉野）	長原　正博（旭神居古潭）
	男子複（46）	上田　祐治（旭豊里）	鈴木　雄策（旭高台）	千葉　晃史（苫明徳）	杯元健太郎（札福移）
		竹村　純（〃）	山下　晃弘（〃）	斎藤　尚幸（苫澄川）	高木　昭宏（〃）
	女子単（66）	岩松真美子（苫豊川）	松浦　由香（旭豊里）	塩崎　真弓（旭忠和）	松原真智子（日高）
	女子複（72）	山田　亜紀（苫泉野）	富原　絹子（上更別）	石尾　沙織（旭新富）	会田　恭子（室高砂）
		湊　綾子（〃）	及川　美樹（〃）	松永　美希（〃）	辻野　彩（〃）
第12回［5］岩見沢市	男子単（63）	長原　正博（旭豊里）	笹尾　綾太（苫稲里）	佐々木　翔（上磯）	小松　昌士（美唄東栄）
	男子複（47）	橋本　暁人（旭陵雲）	竹村　純（旭豊里）	今　和幸（上磯）	堀　泰隆（旭陵雲）
		川島　健一（〃）	長原　克博（〃）	山口　大輔（〃）	早坂　幸平（〃）
	女子単（70）	中島　輝美（富村牛）	本田いずみ（苫糸井）	菊地亜矢子（旭近文）	三品美智子（上磯）
	女子複（67）	湊　麻衣子（苫泉野）	渡辺真希子（旭東光）	吉田　衣里（旭東光）	久保　麻美（芽室）
		中村　梓（〃）	木村佳奈子（〃）	渡辺　美幸（〃）	青柳麻里子（〃）
第13回［6］帯広市	男子単（70）	河原　悟（旭豊里）	谷平　裕二（旭高台）	石田　圭大（西美唄）	川元　亮太（十勝鈴蘭）
	男子複（50）	竹村　純（旭豊里）	川島　健一（旭陵雲）	浦本　昌則（苫リトル）	馬場　貴之（旭豊里）
		長原　克博（〃）	早坂　幸平（〃）	大沢　壮史（〃）	竹村　幸洋（〃）
	女子単（79）	本田いずみ（苫リトル）	山口加菜子（上磯J）	三品万里子（上磯J）	平林　千佳（旭忠和）
	女子複（82）	福井　早苗（旭神居古潭）	修田　真恵（札厚別）	田中　美雪（苫リトル）	中平久美子（旭近文）
		福井　晃子（〃）	能登　愛（札東川下）	上野　里奈（〃）	山本　奈美（〃）
第14回［7］旭川市	男子単（79）	長原　克博（旭豊里）	山本　勝洋（旭第七）	熊谷　俊（十勝鈴蘭）	池添　尚貴（日高）
	男子複（37）	田中　龍一（旭東栄）	田仁　貴也（壮瞥）	松田　恭幸（旭陵雲）	竹村　幸洋（旭豊里）
		堀　元樹（〃）	碓井　太基（〃）	膳法　俊明（〃）	桜田　淳（〃）
	女子単（90）	前佛　理恵（愛別中里）	長原　靖子（旭豊里）	伊辺　夏好（上磯）	中田　直美（島牧）
	女子複（88）	播磨　宏美（旭東光）	住吉　美紀（旭東光）	木下菜保美（札伏古北）	宮崎　智子（室高砂）
		堀田　千世（〃）	松倉　有希（〃）	広沢　千春（札東光）	佐藤　暁子（〃）
第15回［8］苫小牧市	男子単（73）	竹村　幸洋（旭豊里）	山田　光大（札札苗北）	山ノ内利幸（旭近文三）	出口　啓佑（日高）
	男子複（49）	碓井　太基（壮瞥）	近澤　慎二（旭豊里）	山本　尚幸（富川）	中井　信行（雨煙別）
		田仁　貴也（〃）	桜田　淳（〃）	山本健太郎（〃）	井内　優（〃）
	女子単（84）	長原　靖子（旭豊里）	安井　千紘（壮瞥）	内山　麻美（函本通）	五十川未央（芽室）
	女子複（91）	阿野加代子（壮瞥）	平林　亜希（旭忠和）	深井　里美（札栄町）	佐藤　希世（多度志）
		後藤　佳代（〃）	泉田まどか（〃）	間島ひとみ（札栄東）	木村　郁未（〃）
第16回［9］釧路町	男子単（66）	福井　一生（旭神居古潭）	森脇　貴生（愛別中里）	松浦晋太郎（札北陽）	浦本　史也（苫小牧リトル）
	男子複（39）	加納　翼（壮瞥少年団）	大杉　健太（旭嵐山）	大野　真治（愛別中里）	松田　直樹（ニセコ）
		杉村　拓哉（〃）	渡部　一人（〃）	前佛　慶介（〃）	阿部　勝典（〃）
	女子単（94）	長原　靖子（旭豊里）	中澤　有希（札栄緑）	前佛　純恵（愛別中里）	木村　有里（札本郷）
	女子複（82）	水上　友美（札本郷）	賀集　彩（池田）	宮川　美也（池田）	島田　静（札札苗）
		八木　香澄（〃）	下村　琴美（〃）	中鉢　望（〃）	相馬　加奈（札栄緑）

国体バドミントン北海道予選会

［年］	種目(参加数)	優　勝	準 優 勝	第 三 位
第43回［63］函館市	成年男子単(27)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	中島　俊也（ＮＴＴ北海道）
	成年男子複(16)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道） 山尾　克則（　〃　）	高橋　進（ＪＲ北海道） 松村　徳市（　〃　）	中島　俊也（ＮＴＴ北海道） 千葉　昌弘（　〃　）
	成年女子単(13)	和田美津子（地　崎）	加藤　洋子（地　崎）	大東　幸子（中山酢醸造）
	成年女子複(９)	和田美津子（地　崎） 加藤　洋子（　〃　）	小池かおり（札スポ振興） 大東　幸子（中山酢醸造）	弓削　展子（ＮＴＴ北海道） 小笠原　満（　〃　）
	少年男子単(53)	工藤　忠和（札　第　一）	横山　匠（札　第　一）	佐藤　嘉伸（札　第　一）
	少年男子複(52)	村井　秀樹（札　第　一） 藤本　謙治（　〃　）	佐藤　嘉伸（札　第　一） 郷路　一郎（　〃　）	武田　博和（札　第　一） 市川　幸典（　〃　）
	少年女子単(54)	中垣真紀子（札　静　修）	奥山　睦子（旭　商）	長谷川真弓（釧　星　園）
	少年女子複(52)	山根　理江（札　静　修） 沢田　百合（　〃　）	本多　千香（富　川） 中垣真紀子（札　静　修）	佐藤　京子（札　静　修） 村田美和子（　〃　）
第44回［元］帯広市	成年男子単(38)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	千葉　昌弘（ＮＴＴ北海道）
	成年男子複(20)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道） 山尾　克則（　〃　）	千葉　昌弘（ＮＴＴ北海道） 中島　俊也（　〃　）	米山　孝二（ＮＴＴ北海道） 小飼　清統（ＲＳスガワラ）
	成年女子単(19)	星　和枝（フジチュー）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	和田美津子（地　崎）
	成年女子複(14)	赤川　恭子（帯　広） 星　和枝（フジチュー）	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道） 田中　範子（　〃　）	和田美津子（地　崎） 加藤　洋子（　〃　）
	少年男子単(55)	佐藤　嘉伸（札　第　一）	斎藤　実（札　第　一）	郷路　一郎（札　第　一）
	少年男子複(54)	佐藤　嘉伸（札　第　一） 郷路　一郎（　〃　）	平野　朝也（札　第　一） 末村　利彦（　〃　）	斎藤　実（札　第　一） 荻原　利雄（　〃　）
	少年女子単(55)	長谷川真弓（釧　星　園）	中垣真紀子（札　静　修）	河村　志保（札　静　修）
	少年女子複(53)	本多　千香（富　川） 中垣真紀子（札　静　修）	梶原　夕子（札　静　修） 河村　志保（　〃　）	伊奈　貴美（登　別　南） 中野　豊子（　〃　）
第45回［２］釧路市	成年男子単(33)	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）
	成年男子複(17)	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道） 山尾　克則（　〃　）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道） 米山　孝二（　〃　）	高崎　厚生（札幌市役所） 小飼　清統（ＲＳスガワラ）
	成年女子単(13)	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道）	藤本三津子（富川高教）
	成年女子複(８)	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道） 田中　範子（　〃　）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道） 弓削　展子（　〃　）	中山　幸子（中山酢醸造） 藤本三津子（富川高教）
	少年男子単(54)	荻原　利雄（札　第　一）	水澤　直哉（札　第　一）	米田　紀興（旭　工）
	少年男子複(53)	米田　紀興（旭　工） 馬木　貴之（　〃　）	水澤　直哉（札　第　一） 福田　光伸（　〃　）	大川　延秀（札　第　一） 石橋　直矢（　〃　）
	少年女子単(54)	星川　愛（札　静　修）	中野　豊子（登　別　南）	梶原　夕子（札　静　修）
	少年女子複(54)	佐藤　京子（札　静　修） 梶原　夕子（　〃　）	岩崎　美香（北　星　女） 黒崎由紀子（　〃　）	横山　忍（帯　大　谷） 千葉　広美（　〃　）
第46回［３］滝川市	成年男子単(37)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）
	成年男子複(22)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道） 角谷　淳一（　〃　）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道） 古川　英樹（　〃　）	小飼　清統（ＲＳスガワラ） 松村　徳市（ＪＲ北海道）
	成年女子単(16)	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）
	成年女子複(８)	田中　範子（ＮＴＴ北海道） 小飼　真弓（　〃　）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道） 土屋留美子（　〃　）	高橋　雅子（チ　ザ　キ） 林　夕起子（　〃　）
	少年男子単(54)	水澤　直哉（札　第　一）	西田　渉（札　第　一）	小倉　隆司（札　第　一）
	少年男子複(55)	西田　渉（札　第　一） 佐竹　友昭（　〃　）	水澤　直哉（札　第　一） 福田　光伸（　〃　）	日野　昌晃（札　第　一） 小倉　隆司（　〃　）
	少年女子単(55)	中山智香子（旭　実）	増茂　孝枝（旭　実）	中田みゆき（帯　大　谷）
	少年女子複(54)	中山智香子（旭　実） 増茂　孝枝（　〃　）	多田　恭子（札　静　修） 川畑　麻美（　〃　）	中田みゆき（帯　大　谷） 鳥本　知美（　〃　）
第47回［４］岩見沢市	成年男子単(31)	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	工藤　忠和（ＮＴＴ北海道）
	成年男子複(19)	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道） 古川　英樹（　〃　）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道） 伊藤　隆宏（千歳市役所）	松岡　誠（ＪＲ北海道） 米田　紀興（　〃　）
	成年女子単(15)	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）	星　和代子（チ　ザ　キ）
	成年女子複(８)	小笠原　満（ＮＴＴ北海道） 田中　範子（　〃　）	佐藤　京子（ＮＴＴ北海道） 武田　明美（　〃　）	小林　純恵（チームＴＹ） 松浦　奈美（江別交通協）
	少年男子単(55)	西田　渉（札　第　一）	井野　嘉久（札　第　一）	一宮　孝一（札　第　一）
	少年男子複(54)	西田　渉（札　第　一） 佐竹　友昭（　〃　）	小倉　隆司（札　第　一） 日野　昌晃（　〃　）	米田　和典（旭　工） 真岩　忍（　〃　）
	少年女子単(55)	中山智香子（旭　実）	増茂　孝枝（旭　実）	北島あけみ（旭　実）
	少年女子複(54)	中山智香子（旭　実） 増茂　孝枝（　〃　）	今野　亜紀（札　静　修） 山口　亜希（　〃　）	高橋　直子（札啓北商） 絹川　暁子（　〃　）

[年]	種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
第48回 [5] 北見市	成年男子単(20)	伊藤 雅弘 (NTT北海道)	古川 英樹 (NTT北海道)	角谷 淳一 (NTT北海道)
	成年男子複(12)	伊藤 雅弘 (NTT北海道)	角谷 淳一 (NTT北海道)	馬木 貴之 (JR北海道)
		古川 英樹 (〃)	村井 秀樹 (〃)	米田 紀興 (〃)
	成年女子単(13)	田中 範子 (NTT北海道)	日原恵美里 (チザキ)	梶原 夕子 (チザキ)
	成年女子複(8)	日原恵美里 (チザキ)	田中 範子 (NTT北海道)	土屋留美子 (NTT北海道)
		岩崎 美香 (〃)	武田 明美 (〃)	佐藤 京子 (〃)
	少年男子単(55)	一宮 孝一 (札第一)	井野 嘉久 (札第一)	馬木 智一 (札第一)
	少年男子複(54)	井野 嘉久 (札第一)	川畑 友和 (札第一)	渡辺 貴宏 (旭工)
		一宮 孝一 (〃)	馬木 智一 (〃)	伊藤 章芳 (〃)
	少年女子単(55)	増茂 孝枝 (旭実)	中山智香子 (旭実)	田村 裕美 (旭実)
	少年女子複(52)	中山智香子 (旭実)	中村 美穂 (札静修)	田村 裕美 (旭実)
		増茂 孝枝 (〃)	加藤智恵子 (〃)	北島あけみ (〃)
第49回 [6] 名寄市	成年男子単(26)	古川 英樹 (NTT北海道)	角谷 淳一 (NTT北海道)	村井 秀樹 (NTT北海道)
	成年男子複(13)	古川 英樹 (NTT北海道)	角谷 淳一 (NTT北海道)	郷路 一郎 (JR北海道)
		村井 秀樹 (〃)	伊藤 隆宏 (千歳市役所)	松村 徳市 (〃)
	成年女子単(19)	日原恵美里 (チザキ)	武田 明美 (NTT北海道)	田中 範子 (NTT北海道)
	成年女子複(11)	日原恵美里 (チザキ)	田中 範子 (NTT北海道)	土屋留美子 (NTT北海道)
		岩崎 美香 (〃)	佐藤 京子 (〃)	武田 明美 (〃)
	少年男子単(55)	馬木 智一 (札第一)	一宮 孝一 (札第一)	妹尾 将義 (札第一)
	少年男子複(53)	一宮 孝一 (札第一)	馬木 智一 (札第一)	阿知良浩司 (札新川)
		今西 隆浩 (〃)	妹尾 将義 (〃)	斎藤 聡彦 (〃)
	少年女子単(55)	岩松絵理子 (旭実)	二瓶志津華 (札静修)	高橋 昌子 (札静修)
	少年女子複(54)	西村 美香 (札静修)	佐藤奈々子 (旭実)	大畑絵里子 (旭実)
		高橋 昌子 (〃)	小林奈央子 (〃)	宮島 友美 (〃)
第50回 [7] 滝川市	成年男子単(40)	古川 英樹 (NTT北海道)	佐藤 嘉伸 (NTT北海道)	星 拓磨 (NTT北海道)
	成年男子複(22)	村井 秀樹 (NTT北海道)	古川 英樹 (NTT北海道)	小倉 隆司 (日大)
		佐藤 嘉伸 (〃)	斎藤 一裕 (〃)	井野 嘉久 (〃)
	成年女子単(21)	田中 範子 (NTT北海道)	日原恵美里 (チザキ)	武田 明美 (NTT北海道)
	成年女子複(13)	田中 範子 (NTT北海道)	土屋留美子 (NTT北海道)	日原恵美里 (チザキ)
		佐藤 京子 (〃)	武田 明美 (〃)	岩崎 美香 (〃)
	少年男子単(54)	馬木 智一 (札第一)	妹尾 将義 (札第一)	斎藤栄太郎 (札第一)
	少年男子複(54)	馬木 智一 (札第一)	斎藤栄太郎 (札第一)	真岩 秀一 (札第一)
		妹尾 将義 (〃)	久保田秀明 (〃)	佐藤 弘通 (〃)
	少年女子単(54)	竹村美由紀 (旭実)	岩松絵理子 (旭実)	塩崎 沙織 (旭実)
	少年女子複(53)	大畑絵里子 (旭実)	宮島 友美 (旭実)	二瓶志津華 (札静修)
		竹村美由紀 (〃)	原 香織 (〃)	伴 宏美 (〃)
第51回 [8] 旭川市	成年男子単(58)	水澤 直哉 (NTT北海道)	古川 英樹 (NTT北海道)	井野 嘉久 (日大)
	成年男子複(31)	村井 秀樹 (NTT北海道)	星 拓磨 (NTT北海道)	斎藤 一裕 (NTT北海道)
		佐藤 嘉伸 (〃)	吉岡 秀樹 (〃)	水澤 直哉 (〃)
	成年女子単(12)	武田 明美 (NTT北海道)	標 千春 (NTT北海道)	佐藤 京子 (NTT北海道)
	成年女子複(6)	梶原 夕子 (チザキ)	土屋留美子 (NTT北海道)	標 千春 (NTT北海道)
		岩崎 美香 (〃)	武田 明美 (〃)	本田 恵 (〃)
	少年男子単(55)	三上 裕司 (札第一)	大嶋 健史 (札第一)	佐藤 祐亮 (札第一)
	少年男子複(55)	三上 裕司 (札第一)	真岩 秀一 (札第一)	上田 大輔 (旭工)
		佐藤 祐亮 (〃)	佐藤 弘通 (〃)	丸一 良太 (〃)
	少年女子単(53)	岩松絵理子 (旭実)	伴 宏美 (札静修)	塩崎 沙織 (旭実)
	少年女子複(54)	二瓶志津華 (札静修)	岩松絵理子 (旭実)	石黒 広子 (旭実)
		伴 宏美 (〃)	塩崎 沙織 (〃)	山重 直美 (〃)
第52回 [9] 小樽市	成年男子単(46)	水澤 直哉 (NTT北海道)	古川 英樹 (NTT北海道)	星 拓磨 (NTT北海道)
	成年男子複(32)	村井 秀樹 (NTT北海道)	星 拓磨 (NTT北海道)	桜井 敬大 (千歳市役所)
		佐藤 嘉伸 (〃)	吉岡 秀樹 (〃)	武田 博和 (トーホー)
	成年女子単(20)	武田 明美 (NTT北海道)	土屋留美子 (NTT北海道)	中井貴代美 (NTT北海道)
	成年女子複(10)	中井貴代美 (NTT北海道)	土屋留美子 (NTT北海道)	梶原 夕子 (チザキ)
		後藤 綾子 (〃)	武田 明美 (〃)	岩崎 美香 (〃)
	少年男子単(55)	三上 裕司 (札第一)	上田 大輔 (旭工)	金本 真也 (札第一)
	少年男子複(55)	三上 裕司 (札第一)	上田 大輔 (旭工)	金本 真也 (札第一)
		岩渕 大介 (〃)	丸一 良太 (〃)	宮澤 幸雄 (〃)
	少年女子単(54)	塩崎 沙織 (旭実)	塩崎 真弓 (旭実)	沼田真奈美 (札静修)
	少年女子複(52)	塩崎 沙織 (旭実)	石黒 広子 (旭実)	榊 美智子 (とわ森三愛)
		塩崎 真弓 (〃)	山重 直美 (〃)	小寺ひろみ (〃)

北海道ジュニアバドミントン選手権大会兼全日本予選会

[年]	種　目（数）	優　　勝	準　優　勝	第　　三　　位	
第7回[63]帯広市	J男子複(40)	佐藤　嘉伸（札　第　一）	平野　朝也（札　第　一）	古川　英樹（旭　　工）	
		郷路　一郎	末村　利彦	堤　　浩一	
	J男子単(42)	佐藤　嘉伸（札　第　一）	郷路　一郎（札　第　一）	平野　朝也（札　第　一）	
	J女子複(41)	本多　千香（富　　川）	佐藤　京子（札　静　修）	長谷川真弓（釧　星　園）	
		中垣真紀子（札　静　修）	村田美和子	向山　広美	
	J女子単(42)	本多　千香（富　　川）	長谷川真弓（釧　星　園）	伊奈　貴美（登　別　南）	
第8回[元]滝川市	J男子複(44)	斎藤　　実（札　第　一）	馬木　貴之（旭　　工）	大川　延秀（札　第　一）	
		萩原　利雄	米田　紀興	石橋　直矢	
	J男子単(45)	斎藤　　実（札　第　一）	萩原　利雄（札　第　一）	水澤　直哉（札　第　一）	
	J女子複(37)	佐藤　純子（札西陵中）	横山　　忍（帯　大　谷）	岩崎　美香（北　星　女）	
		後藤　綾子（函桔梗中）	鳥本　和美	黒崎由紀子	
	J女子単(42)	佐藤　純子（札西陵中）	米脇　理恵（旭　　商）	横山　　忍（帯　大　谷）	
	中新男単(10)	一宮　孝一（神居古潭）	高橋　　弾（釧教大附）	井野　嘉久（登別札内）	
	中新女単(12)	増茂　孝枝（神居古潭）	中山智香子（神居古潭）	舟口　庸子（室　東　明）	
第9回[2]名寄市	J男子複(40)	水澤　直哉（札　第　一）	星　　拓磨（旭　　工）	高嶋　　進（帯　緑　陽）	
		福田　光伸	米田　和典	田口　英史	
	J男子単(41)	水澤　直哉（札　第　一）	福田　光伸（札　第　一）	星　　拓磨（旭　　工）	
	J女子複(38)	多田　恭子（札　静　修）	栗原　初美（札啓北商）	渡部英理花（帯　南　商）	
		川畑　麻美	南　　香織	加納百合子	
	J女子単(37)	中山智香子（旭神居古潭中）	増茂　孝枝（旭神居古潭中）	村上　奈穂（旭　　商）	
	中新男単(14)	一宮　孝一（神居古潭）	伊藤　章芳（旭　永　山）	新藤　正樹（室　東　明）	
	中新女単(15)	田村　裕美（旭　忠　和）	竹村美由紀（神居古潭）	高橋　　円（釧教大附）	
第10回[3]函館市	J男子複(39)	日野　昌晃（札　第　一）	平出　　望（札　新　川）	大居　雄一（旭　　実）	
		小倉　隆司	成田　周平	神威　貴也	
	J男子単(40)	小倉　隆司（札　第　一）	米田　和典（旭　　工）	西田　　圭（旭　　工）	
	J女子複(42)	松岡　美帆（とわの森）	森　恵理奈（滝　　西）	清水　美衣（滝　　川）	
		小泉　奈々	山本　理恵	大西　明子	
	J女子単(38)	田村　裕美（旭忠和中）	稲垣麻衣子（旭　　商）	北島あけみ（旭　　実）	
	中新男単(13)	馬木　智一（神居古潭）	斎藤栄太郎（釧桜ケ丘）	三上　真也（旭春光台）	
	中新女単(20)	竹村美由紀（神居古潭）	伴　　宏美（苫　啓　明）	長原　美幸（神居古潭）	
第11回[4]釧路市	南J男複(21)	井野　嘉久（札　第　一）	川畑　友和（札　第　一）	岩崎　竜士（室清水丘）	水上　　剛（札　第　一）
		一宮　孝一	今西　隆浩	相馬　広嗣（伊達緑丘）	高橋　　司
	南J男単(21)	川畑　友和（札　第　一）	坂東　昌志（札　新　川）	水上　　剛（札　第　一）	大嶌　健太（札　平　岸）
	南J女複(18)	中村　美穂（札　静　修）	河合　章江（札　静　修）	渡辺絵里子（北　星　女）	松原　智恵（札　篠　路）
		加藤智恵子	高橋　昌子	野中久峰子	馬場　聡子
	南J女単(18)	中村　美穂（札　静　修）	加藤智恵子（札　静　修）	小堀　るみ（平取振内中）	高橋　昌子（札　静　修）
	北J男複(17)	長野　雅美（帯　三　条）	渡辺　貴広（旭　　工）	三上　裕文（旭　　実）	森田　憲輝（帯　柏　葉）
		浅野　真吾	伊藤　章芳	宮本　清治	黒田　栄継
	北J男単(22)	伊藤　章芳（旭　　工）	高橋　　弾（釧　湖　陵）	鈴木　大輔（旭　　工）	小野寺靖夫（旭　凌　雲）
	北J女複(22)	北島あけみ（旭　　実）	遠藤梨枝子（滝　　西）	山本　理恵（滝　　西）	山田　陽子（帯　三　条）
		田村　裕美	大西　清子	中森　志穂	真屋　智衣
	北J女単(23)	北島あけみ（旭　　実）	田村　裕美（旭　　実）	宮島　友美（旭忠和中）	竹村美由紀（旭神居古潭中）
	中新男単(17)	真岩　秀一（東　　川）	佐藤　祐亮（厚岸太田）	平山　　誠（札　東　栄）	佐藤　健太（穂別稲里）
	中新女単(13)	岩松絵理子（苫　啓　北）	伴　　宏美（苫　啓　明）	元木　　瞳（釧　路　東）	二瓶志津華（白老荻野）

[年]	種　目（数）	優　勝	準優勝	第　三　位	
第12回[5]滝川市	南Ｊ男複(24)	一宮　孝一(札　第　一)	妹尾　将義(札　第　一)	菅　隆之(札　南)	水上　剛(札　第　一)
		馬木　智一	今西　隆浩	宇野　裕治	高橋　司
	南Ｊ男単(26)	今西　隆浩(札　第　一)	斎藤栄太郎(札　第　一)	水上　剛(札　第　一)	高橋　司(札　第　一)
	南Ｊ女複(23)	高橋　昌子(札　静　修)	菊地美加子(とわの森)	川合　晶子(岩見沢西)	大沢みか子(北　星　女)
		西村　美香	中川亜希子	道下千絵子	杉原あゆ子
	南Ｊ女単(21)	二瓶志津華(白老荻野中)	岩松絵理子(苫啓北中)	伴　宏美(苫啓明中)	杉原あゆ子(北　星　女)
	北Ｊ男複(18)	奥山　幸一(滝　工)	伊藤　猛紀(旭　工)	三上　真也(旭　実)	木村　武久(滝　工)
		田村　威資	槙　輝明	宮本　清治	西村　拓也
	北Ｊ男単(22)	宮本　清治(旭　実)	安広　一哉(旭　工)	奥山　幸一(滝　工)	三上　真也(旭　実)
	北Ｊ女複(19)	宮島　友美(旭　実)	小林奈央子(旭　実)	窪田三佐都(旭　実)	大西　清子(滝　西)
		竹村美由紀	佐藤奈々子	大畑絵理子	遠藤梨枝子
	北Ｊ女単(23)	宮島　友美(旭　実)	小田部　愛(滝　西)	窪田三佐都(旭　実)	大畑絵理子(旭　実)
	中新男単(18)	三上　裕司(苫　光　洋)	上田　大輔(旭　豊　里)	中島　茂勝(富　村　牛)	宮本　敬(帯　第　一)
	中新女単(18)	元木　瞳(釧　路　東)	塩崎　沙織(旭　忠　和)	千葉　綾乃(旭　明　星)	山下　紋可(富　村　牛)
第13回[6]室蘭市	南Ｊ男複(22)	馬木　智一(札　第　一)	伊藤　勇介(札　新　川)	棟方　伸吾(登　別　南)	斎藤栄太郎(札　第　一)
		妹尾　将義	下川　憲哉	浦野　稔	久保田秀明
	南Ｊ男単(25)	斎藤栄太郎(札　第　一)	久保田秀明(札　第　一)	真岩　秀一(札　第　一)	三上　裕司(苫光洋中)
	南Ｊ女複(22)	大川　美幸(聖ベネディクト)	伴　宏美(札　静　修)	本多　朱実(日　高　中)	形本麻衣子(苫　東)
		吉田　美紀	二瓶志津華	渡辺　奈々	松澤那々子
	南Ｊ女単(21)	伴　宏美(札　静　修)	二瓶志津華(札　静　修)	大川　美幸(聖ベネディクト)	吉田　美紀(聖ベネディクト)
	北Ｊ男複(17)	阪上　真悟(旭　工)	伊藤　猛紀(旭　工)	芳賀　歩(旭　東)	三上　真也(旭　実)
		橋本　武洋	槙　輝明	高橋　大輔	真岩　巧
	北Ｊ男単(19)	三上　真也(旭　実)	橋本　武洋(旭　工)	本田　敦英(江　陵)	佐々木祥博(帯　大　谷)
	北Ｊ女複(15)	大畑絵理子(旭　実)	竹村美由紀(旭　実)	近江　幸代(滝　西)	渡辺　綾子(旭　商)
		宮島　友美	原　香織	伊藤千亜紀	清水映理子
	北Ｊ女単(20)	岩松絵理子(旭　実)	宮島　友美(旭　実)	近江　幸代(滝　西)	長谷川景子(旭　実)
	中新男単(16)	長原　正博(旭　豊　里)	元木　貴志(釧　緑　陵)	皆川　信郎(札　東　栄)	斎藤　紘一(苫　啓　明)
	中新女単(21)	塩崎　真弓(旭　忠　和)	杉山　優子(夕清水沢)	武藤めぐみ(富　村　牛)	岩松真美子(苫　啓　北)
第14回[7]倶知安町	南Ｊ男複(24)	真岩　秀一(札　第　一)	佐藤　祐亮(札　第　一)	内山　直哉(札　第　一)	大島　健史(札　第　一)
		佐藤　弘通	三上　裕司	小林　慎也	堀口　高志
	南Ｊ男単(28)	三上　裕司(札　第　一)	佐藤　祐亮(札　第　一)	大島　健史(札　第　一)	佐藤　弘通(札　第　一)
	南Ｊ女複(24)	二瓶志津華(札　静　修)	本多　朱実(札　静　修)	松井　希(札　静　修)	原田　貴子(とわの森)
		伴　宏美	本多　志保	田村　奈美	田口　智子
	南Ｊ女単(23)	原田　貴子(とわの森)	元木　瞳(札　静　修)	本多　志保(札　静　修)	松井　希(札　静　修)
	北Ｊ男複(14)	上田　大輔(旭　工)	麻下　敏哉(旭　工)	椿　達(江　陵)	鈴木　裕策(春光台中)
		丸一　良太	吉原　彰彦	上山　和成	山下　晃弘
	北Ｊ男単(18)	上田　大輔(旭　工)	宮本　敬(帯　柏　葉)	鈴木慎太郎(旭　実)	土佐　裕之(旭　工)
	北Ｊ女複(18)	岩松絵理子(旭　実)	小森亜紀子(帯　大　谷)	神田まり子(旭　実)	長谷川景子(旭　実)
		塩崎　沙織	田中優香子	石黒　広子	山重　直美
	北Ｊ女単(17)	山下　紋可(帯　柏　葉)	塩崎　沙織(旭　実)	小森亜紀子(帯　大　谷)	石黒　広子(旭　実)
	中新男単(15)	長原　正博(旭　豊　里)	橋本　暁人(旭　広　陵)	佐々木　翔(上　磯)	細田　帆人(札　前　田)
	中新女単(20)	中島　輝美(富　村　牛)	菊地亜矢子(旭　忠　和)	木村佳奈子(旭　東　明)	渡辺真希子(旭　東　明)
第15回[8]帯広市	南Ｊ男単(31)	岩渕　大介(札　第　一)	宮澤　幸雄(札　第　一)	時田　大樹(札　第　一)	
	南Ｊ女単(27)	榊　美智子(とわの森)	三品美智子(上　磯　中)	立花　直美(函　中　部)	
	北Ｊ男単(32)	長原　正博(旭豊里中)	中富　崇(旭　北)	橋本　暁人(旭広陵中)	
	北Ｊ女単(35)	塩崎　沙織(旭　実)	石黒　広子(旭　実)	山下　紋可(帯　柏　葉)	
	中新男単(57)	早坂　幸平(旭　広　陵)	加藤　洋佑(旭　広　陵)	川島　健一(旭　広　陵)	谷平　裕二(旭　広　陵)
	中新女単(51)	本田いずみ(苫　光　洋)	平林　千佳(旭　忠　和)	北風　美帆(旭　忠　和)	三浦ちひろ(旭緑が丘)
第16回[6]北見市	南Ｊ男単(32)	長原　正博(札　第　一)	村井　祐介(札　開　成)	元木　貴志(札　商)	
	南Ｊ女単(35)	三品美智子(札　静　修)	榊　美智子(とわの森)	中島　輝美(札　静　修)	
	北Ｊ男単(27)	上田　大輔(旭　工)	松本　章(旭　工)	矢野　真吾(旭　工)	
	北Ｊ女単(28)	塩崎　沙織(旭　実)	塩崎　真弓(旭　実)	武藤めぐみ(帯　柏　葉)	
	中新男単(44)	長原　克博(旭　豊　里)	近井　広克(函蛾眉野)	池添　尚貴(日　高)	山田　光大(札札苗北)
	中新女単(44)	堀田　千世(旭　東　明)	菅原　美貴(旭　忠　和)	播磨　宏美(旭　東　明)	杉山　望(日　高)

全道社会人バドミントン選手権大会［札幌市］

	種　目(参加数)	優　勝	準　優　勝	第　三　位
第32回 63年	男子1部単（27）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	千葉　昌弘（ＮＴＴ北海道）	中島　俊也（ＮＴＴ北海道）
	男子1部複（27）	高橋　　進（ＪＲ北海道）	米山　孝二（ＮＴＴ北海道）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）
		松村　徳市（　〃　）	高崎　厚生（札幌市役所）	山尾　克則（　〃　）
	男子2部単（15）	米坂　誠二（苫建装工業）	内野　達也（石狩サーモン）	大堀　広志（静　内　町）
	男子2部複（17）	下野　和義（岩市役所）	永井　英治（滝　　川）	菅原　　薫（ＲＳスガワラ）
		橋場　孝治（真鍋薬品）	伊藤　里志（　〃　）	高橋　博行（高橋電機）
	男子3部単（31）	村本　和則（もみじ台）	佐々木洋一（室蘭トヨタ）	鈴木　真仁（飛　翔　会）
	男子3部複（31）	堀部　豊美（苫臨床検査）	松本　俊雄（石狩南高教）	大野　　誠（ホワイトシャトル）
		鎌野　裕二（苫本間会計）	小辻　敏彦（上磯町役場）	佐藤　　寛（　〃　）
	女子1部単（9）	加藤　洋子（地　　崎）	和田美津子（地　　崎）	星　加代子（地　　崎）
	女子1部複（18）	加藤　洋子（地　　崎）	大東　幸子（中山酢醸造）	菅原たき子（ＲＳスガワラ）
		和田美津子（　〃　）	平間　由紀（　〃　）	遠藤　静子（札幌ライラック）
	女子2部単（7）	佐藤　陽子（札レディス）	市川　幸子（ポーラ化粧品）	後藤あゆみ（インテック）
	女子2部複（19）	渡辺由美子（札レディス）	鈴木　政子（札レディス）	杉本加代子（札幌ライラック）
		佐藤　陽子（　〃　）	山本喜佐子（　〃　）	市川　幸子（ポーラ化粧品）
	女子3部単（4）	大同　君枝（札レディス）	高橋美穂子（野幌高教）	小野　聖恵（ＰＩＰＳ道）
	女子3部複（4）	前田　静枝（滝　　川）	浅井　瑩子（旭　　川）	石水　裕子（プロジェクト）
		佐々木まさり（　〃　）	佐々木智恵子（　〃　）	相馬真由美（札　苗　北）
	混　合　複（4）	渡辺由美子（札レディス）	菅原たき子（ＲＳスガワラ）	高橋　真紀（石狩サーモン）
		山本　晴通（ＪＲ北海道）	高橋　博行（高橋電機）	高橋　尚夫（　〃　）

第33回 元年	男子1部単(38)	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）
	男子1部複(21)	高橋　　進（ＪＲ北海道）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	米山　孝二（ＮＴＴ北海道）
		松村　徳市（　〃　）	角谷　淳一（　〃　）	中島　俊也（　〃　）
	男子2部単(26)	鎌野　裕二（苫本間会計）	山坂　幸市（美唄飛翔会）	山本　恭宏（山本スポーツ）
	男子2部複(28)	山坂　幸市（美唄飛翔会）	堀部　豊美（苫臨床検査）	菅原　優司（千葉燃料）
		鈴木　真仁（　〃　）	鎌野　裕二（苫本間労務）	藤原　　章（コンドウ事務）
	男子30才単(23)	山本　晴通（ＪＲ北海道）	千葉　正幸（帯広自衛隊）	卯坂　　武（新冠協会）
	男子30才複(24)	藤田　富雄（ＪＲ小樽）	米坂　誠二（苫建装工業）	阿部　幸夫（小樽市役所）
		奥山　和也（潮見台中教）	卯坂　　武（新冠協会）	目黒　清則（　〃　）
	男子40才単(8)	杉村　　勝（北電名寄）	二瓶　　武（大昭和白老）	湯本　真司（スタジオ湯本）
	男子40才複(5)	中山　俊三（道郵政局）	福井　正昭（文化シャッター）	佐々木秀男（札幌ＳＴＡ）
		松岡恒三郎（　〃　）	菱　　礼二（北海学園ＯＢ）	山後　唯嗣（帯広ＳＴＡ）
	男子50才複(3)	村松　道司（札幌下水局）	岡　　明弘（札　　幌）	
		野坂豊三郎（北札ゴム）	島谷　　勲（　〃　）	
	女子1部単(14)	加藤　洋子（地　　崎）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）
	女子1部複(12)	加藤　洋子（地　　崎）	星　和代子（地　　崎）	弓削　展子（ＮＴＴ北海道）
		和田美津子（　〃　）	岩崎絵里子（　〃　）	小笠原　満（　〃　）
	女子2部単(3)	湊谷みち代（札幌西区ク）	村上真知子（札幌東区）	
	女子2部複(29)	佐々木仁美（浦河協会）	山口　恵子（札シーガル）	三井　幸子（美唄飛翔会）
		五十嵐さゆり（　〃　）	一条実恵子（　〃　）	塚本　雅子（　〃　）
	女子30才単(5)	佐藤　陽子（札レディス）	大同　君枝（札レディス）	永井　恭子（札幌パール）
	女子30才複(15)	佐藤　陽子（札レディス）	遠藤　静子（荒木生花店）	市川　幸子（ポーラ化粧品）
		渡辺由美子（　〃　）	遠藤恵美子（ナリス化粧品）	我妻　京子（札幌ライラック）
	女子40才複(8)	島中　玲子（札幌パール）	藤井美代子（札幌パール）	神田　朝子（岩見沢ガス）
		石橋　和枝（　〃　）	津村　和江（　〃　）	姫田志津子（三光建設）
	混合1部複(9)	和田美津子（地　　崎）	加藤　洋子（地　　崎）	岩崎絵里子（地　　崎）
		高橋　　進（ＪＲ北海道）	松村　徳市（ＪＲ北海道）	松岡　　誠（ＪＲ北海道）
	混合2部複(11)	下山亜津子（千葉燃料）	安田なお子（エースシャトル）	水沢美紀子（札苗北クラブ）
		菅原　優司（　〃　）	藤原　　章（コンドウ事務）	山田　　彰（　〃　）

	種　目(参加数)	優　勝	準　優　勝	第　三　位
第34回 2年	男子1部単（35）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	松村　徳市（ＪＲ北海道）
	男子1部複（22）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	小飼　清統（ＲＳスガワラ）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）
		伊藤　雅弘（　〃　）	松村　徳市（ＪＲ北海道）	角谷　淳一（　〃　）
	男子2部単（25）	山本　恭宏（山本スポーツ）	砂子沢茂徳（様似協会）	山口　　仁（KKホクシー）
	男子2部複（26）	大野　　誠（ホワイトシャトル）	千葉光太朗（西條産業）	石井　俊英（様似協会）
		佐藤　　寛（　〃　）	木村　清仁（　〃　）	砂子沢茂徳（　〃　）
	男子30才単（11）	山本　晴通（ＪＲ北海道）	東田　朋巳（小樽市役所）	大堀　広志（静内協会）
	男子30才複（10）	渋井　敏紀（札幌市役所）	米坂　誠二（苫建装工業）	藤田　富雄（ＪＲ小樽）
		工藤　義基（ユアサバッテリー）	卯坂　　武（新冠協会）	奥山　和也（潮見台中教）
	男子40才単（9）	二瓶　　武（大昭和白老）	杉村　　勝（北電名寄）	小林　　裕（共立電気㈱）
	男子40才複（4）	中村　富光（地　　崎）	岩崎　昭郎（地　　崎）	岩佐　　馥（山陽国策旭）
		山本　晴通（ＪＲ北海道）	岡本　　伝（　〃　）	小谷　　（遊羽クラブ）
	男子45才複（4）	渋井　　明（ＪＲ北海道）	小林　　裕（共立電気㈱）	小助川国雄（スター農機）
		福井　正昭（文化シャッター）	岡　　明弘（道立青年家）	山内　龍雄（白石区役所）
	女子1部単（16）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	加藤　洋子（地　　崎）	小林　純恵（チームＴＹ）
	女子1部複（12）	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道）	加藤　洋子（地　　崎）	弓削　展子（ＮＴＴ北海道）
		田中　範子（　〃　）	中山　幸子（中山酢醸造）	小笠原　満（　〃　）
	女子2部単（5）	坂田　博美（様似協会）	伊藤　一美（北信濃クラブ）	神戸　雪子（札ウイング）
	女子2部複（27）	平野ヒロ子（青木電気）	岡本美知子（なずな）	中村　幸子（札レディス）
		山谷喜久恵（　〃　）	五十嵐景子（　〃　）	七尾　邦子（　〃　）
	女子30才単（6）	佐藤　陽子（札レディス）	奥山　淳子（樽桜小教）	森田　秀美（北信濃クラブ）
	女子30才複（11）	佐藤　陽子（札レディス）	遠藤　静子（荒木生花店）	市川　幸子（ポーラ化粧品）
		渡辺由美子（　〃　）	岩谷あい子（大商大井）	遠藤恵美子（ナリス化粧品）
	女子40才単（2）	市川　幸子（ポーラ化粧品）		
	女子40才複（7）	青木夫早江（青木電気）	大同　君枝（札レデイス）	津村　和江（札幌パール）
		寺谷富美子（　〃　）	堀内久美子（　〃　）	藤井美代子（　〃　）
	女子45才複（2）	浅井　瑩子（旭　　川）		
		佐々木智恵子（　〃　）		
	混合1部複（11）	加藤　洋子（地　　崎）	岩崎絵里子（地　　崎）	菅原たき子（ＲＳスガワラ）
		松村　徳市（ＪＲ北海道）	松岡　　誠（ＪＲ北海道）	小飼　清統（　〃　）
	混合2部複（6）	坂田　博美（様似協会）	三井　幸子（美唄飛翔会）	関沢　裕子（恵ホワイトアロー）
		石井　俊英（　〃　）	鈴木　真仁（　〃　）	三城　雄希（　〃　）

第35回 3年	男子1部単（34）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	松岡　　誠（ＪＲ北海道）	伊藤　隆宏（チームＴＹ）
	男子1部複（23）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	熊谷　敏夫（チームＴＹ）	小飼　清統（ＲＳスガワラ）
		米山　孝二（　〃　）	伊藤　隆宏（　〃　）	松村　徳市（ＪＲ北海道）
	男子2部単（31）	伊嶋　英二（円山体振会）	樺沢　大蔵（恵ホワイトアロー）	池田　　聖（千歳協会）
	男子2部複（36）	中村　睦宏（釧ブレースメント）	梅原　靖史（ファイターズ）	田中　　博（浦河協会）
		氏家　　瞬（　〃　）	加納　正祥（　〃　）	阿部　倫也（菱電ビル）
	男子30才単（9）	米坂　誠二（苫建装工業）	大堀　広志（静内協会）	卯坂　　武（新冠協会）
	男子30才複（3）	橋本　　晃（千歳協会）	米坂　誠二（苫建装工業）	
		米村　昭則（　〃　）	卯坂　　武（新冠協会）	
	男子40才単（6）	二瓶　　武（大昭和白老）	杉村　　勝（北電名寄）	山内　龍雄（白石区役所）
	男子40才複（8）	渋井　　明（ＪＲ北海道）	木村　敏夫（エスパス）	福井　正昭（文化シャッター）
		藤田　富雄（ＪＲ小樽）	菅原　　薫（ＲＳスガワラ）	久保田昭夫（札幌市役所）
	男子45才複（4）	山田　健治（滝川市役所）	小助川国雄（スター農機）	
		岡　　明弘（道立青年家）	山内　龍雄（白石区役所）	
	女子1部単（16）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）	星　和代子（チ　ザ　キ）
	女子1部複（13）	小飼　真弓（ＮＴＴ北海道）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）	高橋　雅子（チ　ザ　キ）
		田中　範子（　〃　）	土屋留美子（　〃　）	林　夕起子（　〃　）
	女子2部単（8）	伊藤　一美（北信濃クラブ）	神戸　雪子（札ウイング）	吉田美紀子（Ｎ　Ｂ　Ｃ）
	女子2部複（31）	鈴木富美子（室はねつき）	吉田加代子（L, Shinano）	広瀬喜美恵江（マルエー商事KK）
		小林　孝観（　〃　）	玉置　公江（　〃　）	佐藤　昌代（東邦オリ工業）
	女子30才単（4）	佐藤　陽子（札レディス）	大同　君枝（札レデイス）	吉田　仁美（帯　　広）
	女子30才複（9）	岩谷あい子（大商大井）	佐藤　陽子（札レディス）	石橋　和枝（札幌パール）
		遠藤　静子（札幌ライラック）	渡辺由美子（　〃　）	永井　恭子（　〃　）
	女子40才単（3）	津村　和江（札幌パール）	伊藤美恵子（札ウイング）	
	女子40才複（4）	大同　君枝（札レデイス）	榊　　伯子（札レデイス）	姫田志津子（三光建設㈱）
		津村　和江（札幌パール）	木村真里子（　〃　）	神田　朝子（　〃　）
	女子45才複（2）	浅井　瑩子（旭　　川）		
		佐々木智恵子（　〃　）		
	混合1部複（11）	星　和代子（チ　ザ　キ）	林　夕起子（チ　ザ　キ）	菅原たき子（ＲＳスガワラ）
		松村　徳市（ＪＲ北海道）	林　　秀行（　〃　）	小飼　清統（　〃　）
	混合2部複（10）	工藤　洋子（釧ブレースメント）	川口　孝子（わ　か　ば）	広瀬喜美恵（マルエー商事KK）
		中村　睦宏（　〃　）	深沢　賢一（札南郵便局）	砂子沢茂徳（日高エレクトロン）

	種　目(参加数)	優　勝	準　優　勝	第　三　位
第36回　4年	男子１部単（36）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	米田　紀興（ＪＲ北海道）	松岡　誠（ＪＲ北海道）
	男子１部複（25）	山尾　克則（ＮＴＴ北海道）	小飼　清統（ＲＳスガワラ）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）
		伊藤　雅弘（　〃　）	松村　徳市（ＪＲ北海道）	古川　英樹（　〃　）
	男子２部単（18）	樺沢　大蔵（恵ホワイトアロー）	池田　聖（千歳協会）	大沼　譲（名寄ＳＴＡ）
	男子２部複（25）	阿保　広（千歳協会）	北川　和久（樽商工会議）	三宅　健司（千歳協会）
		中村富士展（　〃　）	細川　忠利（KK　玉　柳）	池田　聖（　〃　）
	男子30才単（６）	山本　晴通（ＪＲ貨物）	卯坂　武（苫前谷商会）	米坂　誠二（東和産商KK）
	男子30才複（９）	東田　朋巳（小樽市役所）	小桧山昌敏（岩倉建材）	米坂　誠二（東和産商KK）
		徳満　康浩（　〃　）	中鉢　義邦（アイジー工業）	卯坂　武（苫前谷商会）
	男子40才単（13）	菅原　修三（室工大職員）	田中　良一（ファイターズ）	菊地　忠（ＪＲ貨物）
	男子40才複（７）	渋井　明（ＪＲ北海道）	中平　正幸（札幌市役所）	遠藤　雅行（アポロ石油）
		藤田　富雄（　〃　）	久保田昭夫（　〃　）	佐藤　信次（ＮＴＴ帯広）
	男子45才複（６）	山田　健治（滝川市役所）	福井　正昭（文化シャッター）	小助川国雄（スター農機）
		岡　明弘（道立青年家）	野川　豊（札幌市役所）	山内　龍雄（白石区役所）
	女子１部単（18）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	高橋　雅子（チ　ザ　キ）	星　和代子（チ　ザ　キ）
	女子１部複（13）	小笠原　満（ＮＴＴ北海道）	佐藤　京子（ＮＴＴ北海道）	宮部　清美（北海道リコー）
		田中　範子（　〃　）	武田　明美（　〃　）	長谷川真弓（　〃　）
	女子２部単(10)	佐々木仁美（円山整形院）	中村とも子（札ウイング）	伊藤　一美（千歳協会）
	女子２部複（33）	山谷喜久恵（旭フレンドリー）	神戸　雪子（札ウイング）	星野真知子（樽三野薬局）
		山内　明美（　〃　）	水上　京子（　〃　）	野戸　美雪（小樽育成院）
	女子30才単（５）	吉田　仁美（幕　別）	大同　君枝（札レデイス）	小西　章子（名寄エース）
	女子30才複（９）	永井　恭子（札幌パール）	小林　宣子（札　幌　20）	渡辺由美子（札レディス）
		杉山　友江（　〃　）	鈴木百合恵（　〃　）	鈴木　政子（　〃　）
	女子40才単（２）	市川　幸子（札幌ライラック）		
	女子40才複（５）	堀内久美子（札レデイス）	石橋　和枝（札幌パール）	岩谷あい子（札幌ライラック）
		大同　君枝（　〃　）	竹内　寿子（　〃　）	遠藤恵美子（　〃　）
	女子45才複（４）	浅井　瑩子（旭フレンドリー）	矢間　牧子（千歳イフ）	福島　孝子（札幌東区）
		佐々木智恵子（　〃　）	白木　史子（札ウイング）	浜田　光子（札ウイング）
	混合１部複（14）	高橋　雅子（チ　ザ　キ）	菅原たき子（ＲＳスガワラ）	星　和代子（チ　ザ　キ）
		佐藤　信（　〃　）	小飼　清統（　〃　）	松村　徳市（ＪＲ北海道）
	混合２部複（20）	斎藤　由美（千歳協会）	赤石　幸恵（静内協会）	羽田野唱子（恵ホワイトアロー）
		中村富士展（　〃　）	赤石　範夫（　〃　）	小室　智晴（　〃　）

第37回　5年	男子１部単（35）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	伊藤　雅弘（ＮＴＴ北海道）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）
	男子１部複（23）	角谷　淳一（ＮＴＴ北海道）	馬木　貴之（ＪＲ北海道）	髙嶋　進（ＪＲ北海道）
		村井　秀樹（　〃　）	米田　紀興（　〃　）	佐竹　友昭（　〃　）
	男子２部単（25）	越前屋　忍（社体専門校）	樺沢　大蔵（恵ホワイトアロー）	砂子沢茂徳（様似協会）
	男子２部複（28）	美濃　良明（美唄飛翔会）	加納　正祥（ファイターズ）	渡　一男（十勝支庁）
		新山　満（　〃　）	梅原　靖史（　〃　）	小畑　直人（士　幌）
	男子30才単（12）	西村　晃（ＪＴ函館）	山坂　幸市（美唄飛翔会）	造田　保成（プロジェクト）
	男子30才複（15）	小桧山昌敏（岩倉建材）	吉田　広喜（プロジェクト）	米坂　誠二（プロジェクト）
		中鉢　義邦（プロジェクト）	塚本　秀樹（丘珠ＳＴＡ）	岡崎　勇二（　〃　）
	男子40才単（12）	田畑　義彦（伊達クラブ）	大橋　英男（日本製紙旭）	田中　良一（ファイターズ）
	男子40才複（６）	中山　俊三（道郵政局）	斎藤　博樹（Ｊ　Ａ）	遠藤　雅行（アポロ石油）
		松岡恒三郎（　〃　）	久保田昭夫（札幌市役所）	佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）
	男子45才複（５）	藤田　富雄（ＪＲ北海道）	福井　正昭（文化シャッター）	林　福太郎（真駒内自隊）
		渋井　明（日本生命）	葛西　清和（Ｈ，Ｐ，Ａ）	小林　裕（共立電気）
	女子１部単（15）	日原恵美里（チ　ザ　キ）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）
	女子１部複（８）	日原恵美里（チ　ザ　キ）	田中　範子（ＮＴＴ北海道）	佐藤　京子（ＮＴＴ北海道）
		岩崎　美香（　〃　）	武田　明美（　〃　）	土屋留美子（　〃　）
	女子２部単（６）	水上　京子（札ウイング）	中村とも子（札ウイング）	猪股　純子（アカシヤ）
	女子２部複（36）	加藤美直子（滝川市役所）	山谷喜久恵（旭フレンドリー）	奥村　優香（大　丸）
		岡田　瞳（札幌市役所）	山内　明美（　〃　）	羽田野唱子（　〃　）
	女子30才単（４）	国島奈美枝（伊達武者）	神戸　雪子（札ウイング）	吉田　仁美（釧路クラブ）
	女子30才複（16）	神戸　雪子（札ウイング）	比企　晴美（竹中工務店）	田中　明美（池田クラブ）
		大高　真弓（プロジェクト）	永井　恭子（札幌パール）	鳴海　香織（札グレース）
	女子40才単（２）	大同　君枝（札レデイス）		
	女子40才複（３）	遠藤　静子（札幌ライラック）		
		我妻　京子（　〃　）		
	女子45才複（６）	浅井　瑩子（旭フレンドリー）	高田　時子（旭フレンドリー）	山下　典子（音更クラブ）
		佐々木智恵子（　〃　）	梅山　弘子（　〃　）	成田　栄子（西帯広シャトル）
	混合１部複（３）	高橋　雅子（チ　ザ　キ）	林　夕起子（チ　ザ　キ）	
		佐藤　信（　〃　）	林　秀行（　〃　）	
	混合２部複（15）	奥村　優香（大　丸）	小林　理恵（恵ホワイトアロー）	国島奈美枝（伊達武者）
		梅原　靖史（プロジェクト）	瀬戸　義信（　〃　）	田畑　義彦（伊達クラブ）

	種　目(参加数)	優　勝	準　優　勝	第　三　位
第38回 6年	男子1部単(32)	伊藤　雅弘(NTT北海道)	古川　英樹(NTT北海道)	角谷　淳一(NTT北海道)
	男子1部複(20)	角谷　淳一(NTT北海道)	佐藤　嘉伸(NTT北海道)	古川　英樹(NTT北海道)
		伊藤　隆宏(千歳市役所)	星　拓磨(〃)	村井　秀樹(〃)
	男子2部単(17)	河岸　巽(虻田クラブ)	赤石　範夫(日高石油)	佐藤　洋到(MOIWA)
	男子2部複(23)	西村　文雄(音更クラブ)	佐藤　洋到(MOIWA)	渡　一男(虻田クラブ)
		板矢　豊(〃)	宇井　尚(〃)	河岸　巽(〃)
	男子30才単(12)	奥山　和也(小樽JRC)	塚本　英樹(丘珠STA)	平井　正(猿払協会)
	男子30才複(10)	造田　保成(ブルボン)	高田　浩二(NTT札幌)	土江田真一(三川屋会館)
		岡崎　勇二(プロジェクト)	中西　淳(RS旭川)	大橋　昌郎(札啓北商教)
	男子40才単(13)	田畑　義彦(伊達クラブ)	大高　敏久(シンワスポーツ)	高橋　信行(アロークラブ)
	男子40才複(7)	遠藤　雅行(アポロ石油)	小林　直広(遊羽クラブ)	井上　敏(井上金融)
		佐藤　信次(NTT札幌)	斎藤　博樹(〃)	名取　拓也(芦別市役所)
	男子45才複(5)	藤田　富雄(JR北海道)	福井　正昭(文化シャッター)	林　福太郎(真駒内自隊)
		渋井　明(日本生命)	野川　豊(札幌市役所)	小林　裕(共立電気)
	女子1部単(16)	日原恵美里(チザキ)	田中　範子(NTT北海道)	武田　明美(NTT北海道)
	女子1部複(10)	土屋留美子(NTT北海道)	田中　範子(NTT北海道)	日原恵美里(チザキ)
		武田　明美(〃)	佐藤　京子(〃)	林　夕起子(〃)
	女子2部複(29)	奥村　優香(大　丸)	中村とも子(札ウイング)	山谷喜久恵(旭フレンドリー)
		羽田野唱子(〃)	藤井　雪枝(〃)	山内　明美(〃)
	女子30才単(9)	杉山　房子(伊達武者)	小西　章子(名寄エース)	水上　京子(札ウイング)
	女子30才複(13)	西山　幸子(十勝清水)	伊藤ゆきみ(札　幌20)	水上　京子(札ウイング)
		田中　明美(十勝池田)	笈田　礼子(〃)	阿部　桂子(〃)
	女子40才単(2)	大同　君枝(札レデイス)		
	女子40才複(7)	青木扶早江(旭シャトル)	遠藤　静子(札幌ライラック)	田中　節子(札幌ライラック)
		寺谷富美子(〃)	我妻　京子(〃)	土井　洋子(〃)
	女子45才複(2)	津村　和江(札幌パール)		
		石橋　和枝(〃)		
	混合1部複(9)	日原恵美里(チザキ)	梶原　夕子(チザキ)	林　夕起子(チザキ)
		郷路　一郎(JR北海道)	米田　紀興(JR北海道)	林　秀行(〃)
	混合2部複(14)	水上　京子(札ウイング)	小林江津子(音更クラブ)	野戸　美雪(小樽JRC)
		平野　朝也(アドバンス)	板矢　豊(〃)	早川　博之(〃)

第39回 7年	男子1部単(30)	佐藤　嘉伸(NTT北海道)	古川　英樹(NTT北海道)	馬木　貴之(JR北海道)
	男子1部複(22)	村井　秀樹(NTT北海道)	角谷　淳一(NTT北海道)	古川　英樹(NTT北海道)
		佐藤　嘉伸(〃)	伊藤　隆宏(千歳市役所)	斎藤　一裕(〃)
	男子2部単(13)	河岸　巽(虻田クラブ)	新山　満(美唄飛翔会)	高橋　勇市(松岡満運輸)
	男子2部複(25)	西村　文雄(音更クラブ)	深沢　賢一(札南郵便局)	嶽　道成(MOIWA)
		板矢　豊(〃)	吉田　克弘(〃)	佐藤　洋到(〃)
	男子30才単(11)	西村　晃(JT函館)	谷口　諭(函館市役所)	徳満　康浩(小樽市役所)
	男子30才複(8)	西村　晃(JT函館)	渡辺　則弘(ホワイトシャトル)	岡崎　勇二(プロジェクト)
		谷口　諭(函館市役所)	塚本　英樹(丘珠STA)	造田　保成(ブルボン)
	男子40才単(18)	田畑　義彦(伊達クラブ)	遠藤　秀男(虻田クラブ)	米村　昭則(早来町協会)
	男子40才複(11)	住田　茂(函教同好会)	近藤　晴夫(相互建設)	竹内　史郎(遊羽クラブ)
		黒崎　勇司(〃)	米村　昭則(早来町協会)	小林　直広(〃)
	男子45才複(5)	葛西　清和(道警航空隊)	斎藤　正宣(遊羽クラブ)	湯本　真司(山部クラブ)
		菅原　裕次(千歳燃料)	大高　憲士(〃)	岩佐　穣(日本製紙旭)
	女子1部単(14)	田中　範子(NTT北海道)	日原恵美里(チザキ)	武田　明美(NTT北海道)
	女子1部複(9)	佐藤　京子(NTT北海道)	日原恵美里(チザキ)	林　夕起子(チザキ)
		武田　明美(〃)	岩崎　美香(〃)	八角　亜紀(〃)
	女子2部単(4)	伊藤　一美(北信濃クラブ)	太斉　美雪(小樽JRC)	榎森十三枝(北信濃クラブ)
	女子2部複(19)	松浦りゆ子(北信濃クラブ)	蔵谷　千晶(小樽JRC)	小竹　俊恵(芦別協会)
		中村志津香(〃)	太斉　美雪(〃)	小竹　善子(〃)
	女子30才単(4)	加藤美直子(恵祐会病院)	小西　章子(名寄エース)	徳満　慶子(小樽JRC)
	女子30才複(7)	西山　幸子(清水町)	下山亜津子(札　幌20)	永井　恭子(札幌パール)
		田中　明美(池田町)	鈴木百合恵(〃)	杉山　友江(〃)
	女子40才単(2)	大同　君枝(札ウイング)		
	女子40才複(4)	大同　君枝(札ウイング)	竹島美智子(札レディス)	田中　節子(札幌ライラック)
		伊藤美恵子(〃)	山本喜佐子(〃)	土井　洋子(〃)
	女子45才複(2)	石橋　和枝(札幌パール)		
		松岡千代子(〃)		
	混合1部複(7)	梶原　夕子(チザキ)	宮部　清美(北海道リコー)	八角　亜紀(チザキ)
		米田　紀興(JR北海道)	桜井　敬大(千歳市役所)	郷路　一郎(JR北海道)
	混合2部複(10)	小林江津子(音更クラブ)	羽田野唱子(清田体振興)	岡林　裕子(札ウイング)
		板矢　豊(〃)	加納　正祥(〃)	有田　晃一(ロック)

	種　目(参加数)	優　　勝	準　優　勝	第　三　位
第40回 8年	男子１部単（33）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）	寺尾　隆司（ＪＲ北海道）
	男子１部複（22）	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	斎藤　一裕（ＮＴＴ北海道）	星　　拓磨（ＮＴＴ北海道）
		佐藤　嘉伸（　〃　）	水澤　直哉（　〃　）	吉岡　秀樹（　〃　）
	男子２部単（20）	田村　隆紀（室蘭クラブ）	多喜　　誠（室蘭クラブ）	佐々木功徳（本州製紙釧）
	男子２部複（15）	田村　隆紀（室蘭クラブ）	樺澤　大蔵（ＪＳＤＦ島松）	西村　文雄（音更クラブ）
		大川　延秀（　〃　）	小室　智晴（　〃　）	板矢　　豊（　〃　）
	男子30才単（９）	西村　　晃（ＪＴ函館）	谷口　　諭（函館市役所）	佐々木　修（本州製紙釧）
	男子30才複（６）	渡辺　則弘（ホワイトシャトル）	西村　　晃（ＪＴ函館）	諏訪内信二（上磯体育館）
		塚本　英樹（丘珠ＳＴＡ）	谷口　　諭（函館市役所）	橋場　孝啓（パレオ㈱）
	男子40才単（14）	米村　昭則（安平小教）	田畑　義彦（伊達クラブ）	吉田　裕保（函教同好会）
	男子40才複（12）	遠藤　雅行（アポロ石油）	藤田　富雄（ＪＲ北海道）	近藤　晴夫（相互建設）
		佐藤　信次（ＮＴＴ札幌）	東　　政文（　〃　）	米村　昭則（安平小教）
	女子１部単（11）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	標　　千春（ＮＴＴ北海道）	高橋　昌子（ＮＴＴ北海道）
	女子１部複（６）	土屋留美子（ＮＴＴ北海道）	岩崎　美香（チ　ザ　キ）	標　　千春（ＮＴＴ北海道）
		武田　明美（　〃　）	八角　亜紀（　〃　）	本田　　恵（　〃　）
	女子２部単（10）	越智　智美（ラブオール）	大同　君枝（札ウイング）	常盤　祥子（倶知安協会）
	女子２部複（26）	水戸　恵子（札レデイス）	越智　智美（ラブオール）	大同　君枝（札ウイング）
		石澤　優香（　〃　）	小野寺奈緒（　〃　）	阿部　桂子（　〃　）
	女子30才単（５）	吉田こずえ（函館ＢＬＣ）	杉山　房子（伊達武者）	国島奈美枝（伊達武者）
	女子30才複（７）	田中　明美（十勝クイーン）	水上　京子（函館ＢＬＣ）	笈田　礼子（札　幌　20）
		髙橋ひろみ（　〃　）	吉田こずえ（　〃　）	鈴木百合恵（　〃　）

第41回 9年	男子１部単（33）	古川　英樹（ＮＴＴ北海道）	水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）	星　　拓磨（ＮＴＴ北海道）
	男子１部複（19）	村井　秀樹（ＮＴＴ北海道）	星　　拓磨（ＮＴＴ北海道）	水澤　直哉（ＮＴＴ北海道）
		佐藤　嘉伸（　〃　）	吉岡　秀樹（　〃　）	斎藤　一裕（　〃　）
	男子２部単（９）	荒岩　邦治（北海道電力）	佐藤　洋到（ＭＯＩＷＡ）	吉田　克弘（札南郵便局）
	男子２部複（15）	小畑　直人（音更クラブ）	星　　直仁（室蘭協会）	田村　隆紀（室蘭クラブ）
		河岸　　巽（虻田クラブ）	新藤　史憲（　〃　）	大川　延秀（　〃　）
	男子30才単（７）	西村　　晃（ＪＴ函館）	谷口　　諭（函館市役所）	山本　恭宏（山本スポーツ）
	男子40才単（16）	小浜　敏成（門別町役場）	米村　昭則（安平小教）	田畑　義彦（伊達クラブ）
	男子40才複（10）	渋井　　明（日本生命）	近藤　晴夫（相互建設）	阿部　祥治（アトリエサンク）
		西岡　和康（石狩協会）	米村　昭則（安平小教）	有田　晃一（青少年会館）
	女子１部単（14）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	標　　千春（ＮＴＴ北海道）	中井貴代美（ＮＴＴ北海道）
	女子１部複（９）	武田　明美（ＮＴＴ北海道）	岩崎　美香（チ　ザ　キ）	及川　幸子（中山酢醸造）
		中井貴代美（　〃　）	梶原　夕子（　〃　）	塚本美津子（　〃　）
	女子２部単（11）	常盤　祥子（倶　知　安）	金田　直子（ダックス）	國島奈美枝（伊達武者）
	女子２部複（16）	水戸　恵子（札レデイス）	藤井　雪枝（ＳＳサカモト）	田中　明美（十勝クィーン）
		石澤　優香（　〃　）	藤田とも子（　〃　）	松原　　環（　〃　）
	女子30才複（８）	山本　直美（十勝クィーン）	小林　直子（札レデイス）	三田志津佳（室蘭市役所）
		髙橋ひろみ（　〃　）	堤　　良子（　〃　）	杉山　房子（伊達武者）
	女子40才複（４）	中村久美子（十勝クイーン）	須田みどり（十勝クイーン）	川村　悦子（札レデイス）
		安楽　信子（　〃　）	岡田　照子（　〃　）	野代　弘子（十勝クイーン）

昭和63年　第19回　**北海道教職員バドミントン選手権大会**［旭川市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
1部男単（17）	奥山　和也（樽潮見台中）	水崎　忍（帯盲学校）	小場　範夫（登別西陵中）	岡嶋　康徳（札新琴似中）
1部男複（9）	荒川　歩（苫東中）	水崎　忍（帯盲学校）	川口　淳（札南高）	奥山　和也（樽潮見台中）
	加藤　啓二（石花川南中）	駒込　幸則（札新川中）	古閑　俊和（厚岸太田中）	菅原　宏志（札琴似中）
2部男単（9）	雁田　琢也（妹背牛商）	田中　光彦（苫西高）	日比野正人（音威子府中）	柴谷　弘行（計良中）
2部男複（7）	田中　光彦（苫西高）	真鍋　豪（旭東陽中）	雁田　琢也（妹背牛商高）	
	日比野正人（音威子府中）	久保　隆義（東川中）	紙谷　輝美（旭医大）	
3部男単（16）	久保　隆義（東川中）	田中　孝一（函桐花中）	溝口　寛士（樽商大）	東海林史朗（伊達高）
3部男複（19）	田中　孝一（函桐花中）	東海林史朗（伊達高）	松原　実（旭東栄小）	椿原　俊幸（札新川高）
	仙石　義博（函中部小）	高田　（〃）	中江　千寿（〃）	岸田　幸夫（〃）
30才男複（8）	河崎　正紀（札新川高）	山田　健治（滝川市教委）	坂野　憲雄（札光星高）	山田　和雄（帯緑陽高）
	西村　喜憲（札平岸高）	三野宮正豊（芦別市教委）	松本　俊雄（石狩南高）	柏木　宏之（樽工高）
40才男複（6）	阿部　忠夫（登別南高）	佐々木堅治（函凌雲中）	笠井　武彰（旭東高）	
	宮崎　岩次（札幌市教委）	奥村　喜弘（函館市教委）	両国　勲（〃）	
50才男複（7）	神山　周二（滝川高）	住澤　幸男（深川農高）	島谷　勲（北海学園大）	窪田　薫（函鍛神小）
	東　健治（札新川高）	西村　幸衛（札真駒内中）	五十嵐宣善（北海高）	葛巻　礼滋（函北星小）
70才男複（7）	田中　勝彦（樽商大）	北条　剛（札新川高）	須貝　元昭（道高聾学校）	
	竹内　国雄（〃）	河崎　正紀（〃）	岩城　修（ニセコ中）	
90才男複（13）	奥村　喜弘（函館市教委）	神山　周二（滝川高）	住澤　幸男（深川農高）	東　健治（札新川高）
	佐々木堅治（函凌雲中）	山田　健治（滝川市教委）	尾崎　義憲（深川西高）	杉田　茂良（札北野台中）
1部女単（9）	池尾　郁子（札発寒中）	本間こずえ（茂辺地中）	神山　佳美（札栄南中）	湯本麻津美（富良野高）
1部女複（6）	湯本麻津美（富良野高）	高橋　真紀（石花川南中）	奥山　淳子（樽桜小）	
	池尾　郁子（札発寒中）	神山　佳美（札栄南中）	安瀬れい子（札八軒西小）	
2部女単（4）	吉田　愛子（北見工大）	松田　佳子（名寄恵陵高）		
2部女複（2）	吉田　愛子（北見工大）			
	菊地　久子（札稲西高）			

第20回　平成元年　［ニセコ町］

1部男単（15）	広岡　光（石狩小）	熊谷　敏夫（札幌西小）	長谷川　誠（ニセコ中）	奥山　和也（樽潮見台中）
1部男複（8）	熊谷　敏夫（札幌西小）	広岡　光（石狩小）	立野　聖一（道工大）	
	小場　範夫（登別西陵中）	高橋　尚夫（石狩中）	小林　敬史（札西陵中）	
2部男単（8）	小沢　重夫（苫南高）	大橋　昌郎（札啓北商高）	木村　俊夫（白井川小）	豊田　保之（樽手宮西小）
2部男複（8）	豊田　保之（樽手宮西小）	黒崎　勇司（函北昭和小）	原　拓也（ニセコ高）	長谷川義高（函中央小）
	柴谷　弘行（樽天神小）	吉田　裕保（函赤川小）	木村　俊夫（白井川小）	田部　仁史（函日吉丘小）
3部男単（18）	東海林史朗（伊達高）	石黒　裕基（札商高）	吉田　裕保（函赤川小）	高橋　富夫（札東月寒中）
3部男複（12）	片口　雄一（上磯町教委）	高橋　伸夫（函港小）	滝沢　和也（樽朝里中）	前田　正行（厚真町教委）
	新関　靖之（上磯沖河小）	佐藤　弘（函中部高）	水口　正紀（樽潮見台小）	高橋　哲夫（上厚真小）
30才男複（8）	川口　淳（札南高）	成田　修一（夕張北高）	坂野　憲雄（札光星高）	岩城　修（ニセコ中）
	古閑　俊和（厚岸太田中）	浮田　昭（札工高）	松本　俊夫（石狩南高）	高野　定一（樽工高）
40才男複（6）	阿部　忠夫（とわの森高）	田中　勝彦（樽商大）	片口　雄一（上磯町教委）	湊　弘二（函駒場小）
	宮崎　岩次（札幌市教委）	鈴木　敏文（倶知安高）	北山　卓（上磯沖河小）	住田　茂（函旭岡小）
50才男複（8）	佐々木堅治（函凌雲中）	北　豊吉（樽東山中）	神山　周二（滝川高）	中田　武夫（北見高栄中）
	阿部　徹（函鍛神小）	三浦　伸（樽商高）	東　健治（札新川高）	十川　千春（苫西高）
70才男複（7）	阿部　忠夫（とわの森高）	森沢　邦昭（登別南高）	宮崎　岩次（札幌市教委）	
	吉野　幸広（登別中）	川口　淳（札南高）	河崎　正紀（札新川高）	
90才男複（12）	佐々木堅治（函凌雲中）	西村　幸衛（札真駒内中）	住澤　幸男（深川農高）	吉村　雅明（虻田高）
	住田　茂（函旭岡小）	杉田　茂良（札北野台中）	尾崎　義憲（深川西高）	東海林史朗（伊達高）
1部女単（7）	藤本三津子（富川高）	奥山　淳子（樽桜小）	小林　純恵（札手稲中）	
1部女複（4）	湯本麻津美（富良野高）	藤本三津子（富川高）		
	池尾　郁子（札光陽中）	十川　真紀（浦河一中）		
2部女単（2）	吉田　愛子（北見工大）			
2部女複（2）	吉田　愛子（北見工大）			
	菊地　久子（札稲西高）			

第21回　平成２年　［苫小牧市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
１部男単（17）	奥山　和也（樽潮見台中）	水崎　忍（帯盲学校）	荒川　歩（早来中）	広岡　光（石狩小）
１部男複（９）	荒川　歩（早来中）	水崎　忍（帯盲学校）	高橋　尚夫（石狩中）	小場　範夫（登別西陵中）
	加藤　啓二（石花川南中）	駒込　幸則（札新川中）	広岡　光（石狩小）	下苧坪英雄（本室蘭中）
２部男単（９）	東海林史朗（伊達高）	原　拓也（ニセコ高）	中川　伸吾（静内農高）	穂積　邦彦（苫南高）
２部男複（４）	原　拓也（ニセコ高）	小沢　重夫（苫南高）		
	木村　俊夫（白井川小）	穂積　邦彦（〃）		
３部男単（８）	船迫新一郎（札東月寒中）	高橋　伸夫（函港小）	佐藤　弘（函中部高）	高橋　富夫（札東月寒中）
３部男複（８）	高木　雅晴（札西高）	船迫新一郎（札東月寒中）	中村　俊樹（苫南高）	高橋　伸夫（函港小）
	稲葉　茂敏（〃）	高橋　富夫（〃）	納　博之（苫凌雲中）	佐藤　弘（函中部高）
30才男複（５）	河崎　正紀（札新川高）	柴谷　弘行（樽天神小）		
	坂野　憲雄（札光星高）	豊田　保之（樽手宮西小）		
40才男複（10）	山田　和雄（帯緑陽高）	阿部　忠夫（とわの森高）	吉野　幸弘（登別中）	黒崎　勇司（函北昭和小）
	上山　巧夫（十勝教育局）	宮崎　岩次（札幌市教委）	森沢　邦昭（登別南高）	住田　茂（函旭岡小）
50才男複（７）	佐々木堅治（函北中）	窪田　薫（函本通小）	岡　明弘（道教委）	西村　幸衛（札真駒内中）
	東　健治（札新川高）	葛巻　礼滋（函昭和小）	住澤　幸男（深川農高）	笹森　剛（札琴似中）
70才男複（９）	黒崎　勇司（函北昭和小）	大橋　昌郎（札啓北商高）	鈴木　敏文（倶知安高）	岩城　修（ニセコ中）
	吉田　裕保（函赤川小）	山田　和雄（帯緑陽高）	柴谷　弘行（樽天神小）	岡久　幸雄（倶東陵中）
90才男複（12）	佐々木堅治（函凌雲中）	東海林史朗（伊達高）	岡　明弘（道教委）	西村　幸衛（札真駒内中）
	住田　茂（函南本通小）	吉村　雅明（虻田高）	吉野　幸弘（登別中）	杉田　茂良（札北野台中）
１部女単（８）	藤本三津子（富川高）	笠松小百合（室カトリック高）	湯本麻津美（富良野高）	奥山　淳子（樽桜小）
１部女複（５）	池尾　郁子（札光陽中）	湯本麻津美（富良野高）		
	渡辺　靖代（石花川南中）	笠松小百合（室カトリック高）		
２部女単（４）	佐々木茂子（北見相内小）	吉田　愛子（北見工大）		
２部女複（３）	佐々木茂子（北見相内小）			
	伊東　千春（静内農高）			

第22回　平成３年　［札幌市］

１部男単（17）	奥山　和也（樽潮見台中）	熊谷　敏夫（真駒内緑小）	長谷川　誠（ニセコ中）	水崎　忍（帯盲学校）
１部男複（13）	荒川　歩（早来中）	水澤　忍（帯盲学校）	高橋　尚夫（石狩中）	小場　範夫（登別西陵中）
	加藤　啓二（石花川南中）	駒込　幸則（札新川中）	広岡　光（石狩小）	熊谷　敏夫（真駒内緑小）
２部男単（12）	塙　守浩（留辺蘂高）	川端　健裕（石花川北中）	中野　由仁（紋別潮見中）	大橋　昌郎（札啓北商高）
２部男複（７）	宇城　隆司（札篠路高）	岡久　幸雄（倶知安中）	稲葉　茂敏（札西高）	
	川端　健裕（石花川北中）	千坂　昭一（倶知安教委）	高木　雅晴（〃）	
３部男単（11）	船迫新一郎（札東月寒中）	大滝　一郎（札明園中）	佐藤　弘（函中部高）	吉田　裕保（函赤川小）
３部男複（15）	田部　仁志（函日吉丘小）	伊藤　秀憲（札医大）	石黒　裕基（札商高）	仙石　義博（函中部小）
	長谷川義高（函中央小）	加藤　雅司（〃）	酒井　智史（札開成高）	高橋　伸夫（函港小）
30才男複（４）	川口　淳（札南高）	橋本　晃（千歳末広小）		
	古閑　俊和（厚岸太田中）	米村　昭則（千歳緑小）		
40才男複（７）	阿部　忠夫（とわの森高）	黒崎　勇司（函北日吉小）	吉野　幸弘（空知教委）	
	宮崎　岩次（札幌市教委）	住田　茂（函南本通小）	森沢　邦昭（登別南高）	
50才男複（８）	佐々木堅治（函凌雲中）	岡　明弘（道教委）	西村　幸衛（札真駒内中）	窪田　薫（函本通小）
	東　健治（札新川高）	住澤　幸男（深川農高）	笹森　剛（札啓明中）	葛巻　礼滋（函昭和小）
70才男複（６）	森沢　邦昭（登別南高）	山田　和雄（帯緑陽高）	遠藤　幸夫（北大）	
	川口　淳（札南高）	大橋　昌郎（札啓北商高）	深堀　文男（〃）	
90才男複（10）	東　健治（札新川高）	佐々木堅治（函凌雲中）	岡　明弘（道教委）	笠井　武彰（倶知安高）
	阿部　忠夫（とわの森高）	住田　茂（函旭岡小）	吉野　幸弘（登別中）	鈴木　敏文（〃）
１部女単（８）	小林　純恵（手稲中）	池尾　郁子（聖ベネディクト高）	渡辺　靖代（富川中）	吉田こずえ（枯内泉沢小）
１部女複（８）	小林　純恵（手稲中）	吉田こずえ（枯内泉沢小）	佐藤　佳美（札栄南中）	本宮ゆきえ（札常磐中）
	新井真理子（幌別東小）	阿部　紋子（福島小）	島貫　静（新琴似緑小）	矢野　直子（札稲穂中）
２部女単（４）	永田　悦子（函新川中）	吉田　愛子（北見工大）		
２部女複（３）	永田　悦子（函新川中）	吉田　愛子（北見工大）		
	中川めぐみ（函青柳小）	伊東　千春（静内農高）		

第23回　平成４年　［帯広市］

種目(参加数)	優　勝	準優勝	第三位	
１部男単（20）	熊谷　敏夫（真駒内緑小）	水崎　忍（帯盲学校）	荒川　歩（早来中）	奥山　和也（樽潮見台中）
１部男複（11）	荒川　歩（早来中）	渡辺　励（東藻琴教委）	盛　雅宏（石狩町教委）	古閑　俊和（厚岸太田中）
	加藤　啓二（石狩紅南小）	塙　守浩（留辺蘂高）	広岡　光（石狩小）	岡村　展成（様似高）
２部男単（11）	菅原　修三（室工大）	木村　俊夫（白井川小）	石黒　裕基（札商高）	沼田　憲彦（帯明星小）
２部男複（５）	田辺　仁志（函日吉丘小）	岡久　幸雄（倶知安中）		
	長谷川義高（函中央小）	竹中　洋史（ニセコ高）		
３部男単（15）	高橋　富夫（札東月寒中）	吉田　裕保（函赤川小）	船迫新一郎（札東月寒中）	高橋　伸夫（函港小）
３部男複（13）	高橋　富夫（札東月寒中）	石黒　裕基（札商高）	佐藤　弘（芽室高）	田中　裕幸（芽室高）
	船迫新一郎（　〃　）	酒井　智史（札開成高）	小野寺和也（帯緑陽高）	高柳　勤（帯柏葉高）
30才男複（４）	川口　淳（札南高）	河崎　正紀（札新川高）		
	古閑　俊和（厚岸太田中）	酒井　智史（札開成高）		
40才男複（10）	坂野　憲雄（札光星高）	黒崎　勇司（函北日吉小）	阿部　忠夫（とわの森高）	森沢　邦昭（登別南高）
	岩本　隆（札開成高）	住田　茂（函南本通小）	宮崎　岩次（札幌市教委）	吉野　幸弘（空知教委）
50才男複（10）	佐々木堅治（函館北中）	岡　明弘（道教委）	西村　幸衛（札真駒内中）	窪田　薫（函本通小）
	東　健治（札新川高）	住澤　幸男（深川農高）	笹森　剛（札啓明中）	葛巻　礼滋（函昭和小）
70才男複（８）	森沢　邦昭（登別南高）	吉田　裕保（函赤川小）	菅原　修三（室工大）	千坂　昭一（倶知安教委）
	川口　淳（札南高）	黒崎　勇司（函北日吉小）	北上　剛（苫植苗小）	木村　俊夫（白井川小）
90才男複（14）	佐々木堅治（函館北中）	東　健治（札新川高）	葛巻　礼滋（函昭和中）	岡　明弘（道教委）
	住田　茂（函南本通小）	阿部　忠夫（とわの森高）	上山　巧夫（道教委）	吉野　幸弘（空知教委）
１部女単（７）	小林　純恵（手稲中）	吉田こずえ（木古内小）	黒田　優子（古平小）	阿部　紋子（福島小）
１部女複（６）	吉田こずえ（木古内小）	池尾　郁子（聖ベネディクト高）	小林　純恵（手稲中）	
	阿部　紋子（福島小）	吉川　靖代（富川中）	中村　裕子（帯養護学校）	
２部女単（７）	小堅江理可（秩父別中）	吉田　愛子（北見工大）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	岩井せつ子（蘭越名駒小）
２部女複（６）	吉田　愛子（北見工大）	小堅江理可（秩父別中）		
	大竹　京子（帯北栄小）	岩井せつ子（蘭越名駒小）		

第24回　平成５年　［稚内市］

１部男単（17）	水崎　忍（広尾高）	小林　敬史（札西陵中）	小熊　裕和（石狩高）	山塙　巌夫（広島緑陵中）
１部男複（13）	水崎　忍（広尾高）	荒川　歩（早来中）	盛　雅宏（石狩町教委）	渡辺　励（東藻琴教委）
	熊谷　敏夫（真駒内緑小）	加藤　啓二（石狩紅南小）	広岡　光（石狩小）	立野　聖一（道工大）
２部男単（８）	米田　昌（熊石雲石小）	平山　聡（樽水産高）	木村　俊夫（樽祝津小）	石黒　裕基（札商高）
２部男複（５）	米田　昌（熊石雲石小）	酒井　智史（札開成高）		
	吉田　裕保（函赤川小）	石黒　裕基（札商高）		
３部男単（13）	吉田　裕保（函赤川小）	朝田　憲介（浦河高）	小川　雅和（北見工高）	中島　正文（豊富小）
３部男複（11）	館山　隆広（稚内高）	青井　克典（深川西高）	高橋　富夫（札東月寒中）	小野寺和也（帯緑陽高）
	中島　正文（豊富小）	小峯　修一（雨竜町教委）	船迫新一郎（　〃　）	佐藤　弘（南茅部教委）
30才男複（３）	河崎　正紀（札新川高）	岡久　幸雄（寿都中）		
	酒井　智史（札開成高）	原　拓也（名寄農高）		
40才男複（８）	菅原　修三（室工大）	浮田　昭（岩緑陵高）	川谷　昭男（興部町教委）	坂野　憲雄（札光星高）
	山田　和雄（芽室高）	吉野　幸弘（空知教委）	住田　茂（函南本通小）	岩本　隆（札開成高）
50才男複（８）	佐々木堅治（函北中）	岡　明弘（道教委）	十川　千春（苫総経済高）	杉田　茂良（札北野台中）
	東　健治（札新川高）	住澤　幸男（深川農高）	中田　武夫（留辺蘂中）	笹森　剛（札啓明中）
70才男複（４）	大橋　昌郎（札啓北商高）	浮田　昭（岩緑陵高）		
	阿部　忠夫（とわの森高）	河崎　正紀（札新川高）		
90才男複（14）	佐々木堅治（函北中）	岡　明弘（道教委）	東　健治（札新川高）	笹森　剛（札啓明中）
	住田　茂（函南本通小）	吉野　幸弘（空知教委）	杉田　茂良（札北野台中）	金田　隆一（文理短大）
１部女単（３）	吉田こずえ（釜石小）	山上　紋子（福島小）		
１部女複（３）	池尾　郁子（聖ベネディクト高）	吉田こずえ（釜石小）		
	吉川　靖代（富川中）	山上　紋子（福島小）		
２部女単（６）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	吉田　愛子（北見工大）	広中　由香（函北昭和小）	永田　悦子（函南本通小）
２部女複（３）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	広中　由香（函北昭和小）		
	伊東　千春（静内農高）	永田　悦子（函南本通小）		

第25回　平成６年　［釧路市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位
１部男単（17）	水崎　忍（広尾高）	小林　敬史（札西陵中）	後藤　貴裕（札工高）
			奥山　和也（樽桜町中）
１部男複（13）	水崎　忍（広尾高）	奥山　和也（樽桜町中）	岡嶋　康徳（札新琴似中）
	熊谷　敏夫（真駒内緑小）	平山　聡（樽水産高）	福本　敏洋（札篠路中）
			小林　敬史（札西陵中）
			山塙　巌夫（広島緑陽中）
２部男単（８）	菅原　俊博（釧路北陽高）	松尾　必勝（登別小）	吉田　裕隆（平取養護校）
			大橋　昌郎（札啓北商高）
２部男複（５）	飯島　範雄（釧路湖陵高）	鈴木　光則（帯広農業高）	
	菅原　俊博（釧路北陽高）	中川　伸吾（〃）	
３部男単（13）	星賀　彰（北見工大）	川越　岳人（稚内南中）	孫入　匡睦（北見工業高）
			村上　信一（白樺高）
３部男複（11）	高橋　富夫（札東月寒中）	佐藤　弘（尾札部中）	大滝　一郎（札幌本町小）
			川守田広章（道高盲学校）
	船迫新一郎（〃）	小野寺和也（帯緑陽高）	長谷川正人（札幌明園中）
			前田　信治（〃）
30才男複（３）	米田　昌（熊石雲石小）	河崎　正紀（札新川高）	
	吉田　保裕（函中部小）	酒井　智史（札開成高）	
40才男複（８）	坂野　憲雄（札光星高）	住田　茂（函南本通小）	
	岩本　隆（札開成高）	黒崎　勇司（函北日吉小）	
50才男複（８）	岡　明弘（道教委）	東　健治（札新川高）	上山　功夫（札啓成高）
			西村　幸衛（札真駒内中）
	山田　健治（滝川市教委）	佐々木堅治（函北中）	杉田　茂良（札北野台中）
			笹森　剛（札啓明中）
60才男複（８）	窪田　薫（函教同好会）		
	葛巻　礼滋（〃）		
70才男複（４）	福田　康男（釧緑ケ岡高）	阿部　忠夫（とわの森高）	吉田　保裕（函中部小）
	中村　睦宏（サンライフ釧路）	大橋　昌郎（札啓北商高）	黒崎　勇司（函北日吉小）
90才男複（14）	佐々木堅治（函北中）	東　健治（札新川高）	中田　武夫（留辺蘂中）
			西村　幸衛（札真駒内中）
	住田　茂（函南本通小）	山田　健治（滝川市教委）	川谷　昭男（興部町教委）
			杉田　茂良（札北野台中）
１部女単（３）	小林　純恵（札手稲中）	佐々木綾子（石狩町教委）	
１部女複（３）	佐々木綾子（石狩町教委）	三上　直子（室東高）	
	小林　純恵（札手稲中）	本吉　るか（室港北中）	
２部女単（６）	広中　由香（函北昭和小）	本吉　るか（室港北中）	
２部女複（３）	佐野　好子（ニセコ教委）	永田　悦子（函南本通小）	吉田愛子（北見工大）
	蔵谷　千晶（樽長橋小）	広中　由香（函北昭和小）	伊東千春（静内農高）
30才女複（３）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	吉田　愛子（北見工大）	
	伊東　千春（静内農高）	大竹　京子（帯北栄小）	

第26回　平成７年　［網走市］

１部男単（21）	水崎　忍（広尾高）	後藤　貴裕（札第一高）	阿部　卓（上士幌高）	熊谷　敏夫（札藻岩南小）
１部男複（17）	水崎　忍（広尾高）	佐々木礼一（真駒内養護）	加藤　啓二（石狩若葉小）	渡辺　励（東藻琴教委）
	熊谷　敏夫（札藻岩南小）	谷　博文（北大）	荒川　歩（苫明倫中）	立野　聖一（札尚志学園）
２部男単（13）	田中　順一（静内農高）	木露　光司（樽塩谷中）	小松　正直（幕別小）	大橋　昌郎（札啓北商高）
２部男複（９）	吉田　裕隆（平取養護校）	高橋　冨夫（札上野幌中）	小久保　造（余市養護校）	岡久　幸雄（寿都中）
	田中　順一（静内農高）	船迫新一郎（もみじ台南中）	鳥谷部直人（黒松内中）	竹内　洋史（ニセコ高）
３部男単（16）	守屋　俊秀（厚岸潮見高）	堤　伸弘（別海高）	四十澤英範（函上湯川小）	山内　龍雄（札北白石小）
３部男複（24）	孫入　匡睦（北見工業高）	守屋　俊秀（厚岸潮見高）	佐藤　弘（尾札部中）	四十澤英範（函上湯川小）
	小川　雅和（〃）	高橋　直樹（釧星園高）	小野寺和也（厚岸潮見高）	大野　寛（函本通中）
30才男複（11）	加藤　啓二（石狩若葉小）	西田　清人（札山手養護）	木村　俊夫（樽松ケ枝中）	中川　憲昭（札東月寒中）
	高橋　尚夫（石花川北中）	岡嶋　康徳（札手稲中）	近藤　興治（余市高）	高橋　冨夫（札上野幌中）
40才男複（６）	坂野　憲雄（札光星高）	住田　茂（函南本通小）	松田　勝利（函本通小）	斎藤　弘一（札福井野中）
	岩本　隆（札開成高）	黒崎　勇司（函北日吉小）	大野　寛（〃）	船迫新一郎（もみじ台南中）
50才男複（６）	宮崎　岩次（札豊平小）	五十嵐　優（東藻山園小）	森田　精一（帯大谷高）	
	阿部　忠夫（とわの森高）	川谷　昭男（興部町教委）	杉田　茂良（札北野台中）	
60才男複（５）	平沢　寛（藤女子大）	岡　明弘（道特殊教育）		
	東　健治（札新川高）	住澤　幸男（深川協会）		
70才男複（７）	米田　昌（熊石雲石小）	吉田　保裕（函中部小）	平山　聡（樽水産高）	
	松田　勝利（函本通中）	黒崎　勇司（函北日吉小）	古田　泰宏（余市東中）	
110才男複(10)	東　健治（札新川高）	平沢　寛（藤女子大）	横山　敏（北見協会）	住澤　幸男（深川協会）
	山田　健治（滝川市教委）	杉田　茂良（札北野台中）	五十嵐　優（東藻山園小）	山内　龍雄（札北白石小）
１部女単（２）	佐々木綾子（石狩南線小）			
１部女複（２）	佐々木綾子（石狩南線小）			
	伊藤みのり（余市養護校）			
２部女単（11）	永田　悦子（函南本通小）	佐々木茂子（北見美山小）	三浦　広子（七飯養護校）	竹内　陽子（紋別南丘小）
２部女複（８）	吉田　愛子（北見工大）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	長内比呂美（函上湯川小）	三浦　広子（七飯養護校）
	佐々木茂子（北見美山小）	本田　敦子（樽北手宮小）	永田　悦子（函南本通小）	中川めぐみ（函青柳小）
30才女複（４）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	吉田　愛子（北見工大）		
	伊東　千春（静内農高）	吉田　光子（網走潮見小）		

第27回　平成８年　［札幌市］

種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
１部男単（24）	後藤　貴裕（登別南高）	小林　敬史（札手稲中）	浅井　哲（釧　工　高）	井上　健一（稚内商工高）
１部男複（19）	水崎　忍（広　尾　高）	谷　博文（北　大）	井上　健一（稚内商工高）	加藤　啓二（石狩若葉小）
	熊谷　敏夫（札藻岩南小）	佐々木礼一（真駒内養護）	通崎　雄介（旭　東　高）	荒川　歩（苫明倫中）
２部男単（16）	日比野光洋（目　黒　中）	吉田　裕保（函中部小）	田辺　裕二（苫　東　高）	原　拓也（名寄農業高）
２部男複（９）	田中　順一（静内農高）	田辺　裕二（苫　東　高）	竹内　洋史（ニセコ高）	小橋　信伊（ひばり丘小）
	日比野光洋（目　黒　中）	宮野　慎哉（岩緑陵高）	鳥谷部直人（黒松内中）	新津　智哉（札平岡中）
３部男単（10）	山内　龍雄（札北白石小）	四十澤英範（函上湯川小）	古田　泰宏（余市東中）	吉澤　敦（音　更　高）
３部男複（11）	田中　哲夫（札二四軒小）	吉澤　敦（音　更　高）	渡邊　雅之（札札苗中）	池田　輝雄（北見工高）
	渡邊　稔（札新陵中）	宮井　大介（　〃　）	熊木　啓二（　〃　）	才川　裕与（　〃　）
30才男複（８）	高橋　尚夫（石花川北中）	高橋　冨夫（札上野幌中）	西田　清人（札山手養護）	酒井　智史（札開成高）
	田中　順一（静内農高）	中川　憲昭（札東月寒中）	岡嶋　康徳（札手稲中）	川口　淳（札　南　高）
40才男複（５）	住田　茂（函南本通小）	河崎　正紀（札新川高）		
	黒崎　勇司（函北日吉小）	浮田　昭（岩緑陵高）		
50才男複（３）	宮崎　岩次（札豊平小）	渡辺　繁男（札幌協会）		
	阿部　忠夫（とわの森高）	山田　健治（滝川市教委）		
60才男複（６）	岡　明弘（全　道　庁）	東　健治（札幌協会）	中田　武夫（北見協会）	窪田　薫（函館協会）
	住澤　幸男（深川協会）	平沢　寛（藤女子大）	石井　仁（札幌協会）	葛巻　礼滋（　〃　）
70才男複（８）	米田　昌（熊石雲石小）	吉田　保裕（函中央小）	酒井　智史（札開成高）	森沢　邦昭（登別南高）
	松田　勝利（函本通中）	黒崎　勇司（函北日吉小）	河崎　正紀（札新川高）	川口　淳（札　南　高）
110才男複(８）	東　健治（札幌協会）	住澤　幸男（深川協会）	窪田　薫（函館協会）	西村　幸衛（札真駒内中）
	山田　健治（滝川市教委）	山内　龍男（札北白石小）	石塚　敏昭（札琴似工高）	笹森　剛（札光陽中）
１部女単（２）	二瓶　亜紀（荻　野　中）			
１部女複（２）	蔵谷　千晶（樽長橋小）			
	伊藤みのり（余市養護校）			
２部女単（９）	奥山　淳子（樽朝里小）	三代美智子（樽銭函小）	永田　悦子（函南本通小）	橋本　裕子（石花川北中）
２部女複（７）	奥山　淳子（樽朝里小）	永田　悦子（函南本通小）	佐々木綾子（函戸倉中）	
	三代美智子（樽銭函小）	長内比呂美（函上湯川小）	蛯子　美奈（函聾学校）	
30才女複（３）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	吉田　愛子（北見工大）		
	伊東　千春（静内農高）	山吹　直子（札稲穂中）		

第28回　平成９年　［滝川市］

１部男単（23）	水崎　忍（広　尾　高）	小林　敬史（札手稲中）	井上　健一（稚内商工高）	芳村　晋吾（美深高養護）
１部男複（17）	水崎　忍（広　尾　高）	芳村　晋吾（美深高養護）	加藤　啓二（石狩若葉小）	谷　博文（北　大）
	熊谷　敏夫（札藻岩南小）	阿部　卓（上士幌高）	盛　雅宏（石狩市教委）	佐々木礼一（真駒内養護）
２部男単（14）	谷口　貴章（旭川東商）	田辺　裕二（苫　東　高）	宮井　大介（音　更　高）	大橋　昌郎（札幌藻岩高）
２部男複（９）	岩森　昭憲（酪　農　大）	田辺　裕二（苫　東　高）	星賀　彰（北見工業大）	小橋　信伊（ひばり丘小）
	谷口　貴章（旭川東商）	宮野　慎哉（岩緑陵高）	塙　守浩（留辺蘂高）	渡辺　裕治（札星置東小）
３部男単（15）	水野　周一（函館高丘小）	山田　健治（滝川市教委）	佐藤　弘（尾札部中）	四十澤英範（函館戸倉中）
３部男複（９）	尾崎　義憲（深川西高）	三沢　俊孝（道　教　委）	寺井　浩（真駒内中）	四十澤英範（函館戸倉中）
	畑山　茂美（秩父別教委）	岡村　俊二（手　稲　中）	熊木　啓二（札　苗　中）	大野　寛（函館本通小）
30才男複（７）	高橋　尚夫（石花川北中）	高橋　富夫（札上野幌中）	長谷川　誠（後志庁教委）	米田　昌（熊石雫石小）
	田中　順一（静内農業高）	中川　憲昭（札東月寒中）	近藤　興治（余　市　高）	福井　浩之（函館商業高）
40才男複（２）	松田　勝則（函館本通小）			
	大野　寛（　〃　）			
50才男複（５）	宮崎　岩次（札幌伏見小）	石塚　敏昭（札琴似工高）	才川　裕与（北見工業高）	
	阿部　忠夫（とわの森高）	笹森　剛（札光陽中）	池田　輝雄（　〃　）	
60才男複（６）	岡　明弘（全　道　庁）	東　健治（札山の手高）	中田　武夫（北見協会）	窪田　薫（函館協会）
	住澤　幸男（北空知協会）	島谷　勲（北海学園大）	赤川　賢二（十勝協会）	葛巻　礼滋（　〃　）
70才男複（４）	米田　昌（熊石雫石小）	長谷川　誠（後志庁教委）		
	松田　勝利（函館本通小）	岡久　幸雄（ニセコ中）		
110才男複(９）	東　健治（札山の手高）	住澤　幸男（北空知協会）	窪田　薫（函館協会）	渡邊　稔（札幌新陵中）
	山田　健治（滝川市教委）	山内　龍男（札北白石小）	石塚　敏昭（札琴似工高）	岡　明弘（全　道　庁）
１部女単（４）	藤本三津子（幕　別　高）	三上　直子（平　取　高）		
１部女複（３）	三上　直子（平　取　高）	藤本三津子（幕　別　高）		
	本間　純子（石花川北中）	大西　明子（東居辺中）		
２部女単（７）	市原　ゆき（北　大）	佐々木恵美（北見高栄小）	三浦　広子（七飯養護校）	蛯子　美奈（函聾学校）
２部女複（９）	三浦　広子（七飯養護校）	小田　幸子（平和通小）	佐々木綾子（函戸倉中）	吉田　愛子（北見工大）
	中川めぐみ（函東山小）	大房　千春（鵡　川　高）	蛯子　美奈（函聾学校）	長内比呂美（函上湯川小）
30才女複（５）	蔵谷　千晶（樽長橋小）	吉田　愛子（北見工大）	佐野　好子（ニセコ教委）	
	大房　千春（鵡　川　高）	佐々木茂子（北見美山小）	黒田　優子（余市大川小）	

北海道中学生バドミントン新人研修大会

［年］	種　目(数)	優　勝	準優勝	第三位	
第7回［63］滝川市	男子複（40）	日野　昌晃（滝川江陵） 小倉　隆司	真岩　忍（東　川） 米田　和典	木戸　達男（旭川西神楽） 島田　典彦	渡辺　拓也（岩見沢緑） 深田　育也
	男子単（43）	西田　渉（室蘭東明）	佐竹　友昭（旭神居古潭）	長野　雅美（足　寄）	鈴木　幸司（歌　志　内）
	女子複（42）	中山智恵子（旭神居古潭） 二階　裕美	稲垣麻衣子（旭川広陵） 松原ゆかり	木村　明美（室蘭本室蘭） 山田　咲枝	松倉　輝美（旭川広陵） 古川　史絵
	女子単（41）	佐藤　純子（札幌西陵）	増茂　孝子（旭神居古潭）	斎藤　未来（砂　川）	後藤　綾子（函館桔梗）
第8回［元］北見市	男子複（39）	小野寺靖夫（旭川豊里） 河原　正典	竹村　嘉満（旭神居古潭） 今西　隆浩	相馬　広嗣（室蘭本室蘭） 川端　友和	伊藤　章芳（旭川永山） 菅原　敦史
	男子単（41）	一宮　孝一（旭神居古潭）	鈴木　大輔（旭　川）	井野　嘉久（登別札内）	小沢　竜二（札幌篠路西）
	女子複（40）	増茂　孝子（旭神居古潭） 西谷　慶子	広瀬　知子（旭川明星） 永布　朋子	本多　真紀（日　高） 本多ますみ	馬場　聡子（日　高） 松原　智美
	女子単（42）	中山智恵子（旭神居古潭）	舟口　庸子（室蘭東明）	門馬　希（北星女子）	田村　裕美（旭川忠和）
第9回［2］小樽市	男子複（44）	一宮　孝一（旭神居古潭） 戸田　勝文	宮本　清治（旭川永山） 菅原　敦史	斎藤　聡彦（札幌八軒） 高江　将	立中　大輔（登別幌別） 山本　直人
	男子単（46）	伊藤　章芳（旭川永山）	馬木　智一（旭神居古潭）	高橋　司（札幌真駒内）	新藤　正樹（室蘭東明）
	女子複（43）	杉原あゆ子（日　高） 岡村亜矢子	佐藤奈々子（室蘭本室蘭） 松本ちづ子	長原　美幸（旭神居古潭） 渡辺　綾子	遠藤梨枝子（砂　川） 大西　清子
	女子単（47）	竹村美由紀（旭神居古潭）	田村　裕美（旭川忠和）	小堀　るみ（平取振内）	高橋　円（釧路教大附）
第10回［3］旭川市	男子複（43）	阪上　真悟（旭川東陽） 高橋　大輔	橋本　武洋（東　川） 金沢　純	三上　洋平（旭川東陽） 木村　智之	柴岡　慶一（滝川江陵） 宮永　友和
	男子単（43）	馬木　智一（旭神居古潭）	高田　健一（岩見沢東光）	佐藤　弘通（札幌陵北）	伊藤　猛紀（旭川永山）
	女子複（44）	長原　美幸（旭神居古潭） 渡辺　綾子	十　陽子（旭神居古潭） 渡辺　唯	中島　聡子（札幌篠路） 佐藤　恵	岡田　美紀（旭川広陵） 岡田　理佳
	女子単（52）	竹村美由紀（旭神居古潭）	宮島　友美（旭川忠和）	二瓶志津華（白老荻野）	伴　宏美（苫小牧啓明）
第11回［4］室蘭市	男子複（44）	小幡　正道（厚岸太田） 佐藤　祐亮	平山　誠（札幌東栄） 名古　拓哉	小瀬川広志（江別大麻東） 増田　文生	木島　克巳（江別大麻東） 遠藤　大輔
	男子単（48）	真岩　秀一（東　川）	佐藤　弘通（札幌西陵）	三上　裕司（苫小牧光洋）	内山　直哉（　森　）
	女子複（42）	本多　志保（日　高） 菅原　敦子	菊入あゆみ（旭川明星） 福原みつ美	三上　琴子（旭川広陵） 早川　舞	会田　祥子（室蘭東明） 桔梗原綾乃
	女子単（43）	二瓶志津華（白老荻野）	山下　紋可（新得富村牛）	伴　宏美（苫小牧啓明）	岩松絵里子（苫小牧啓北）
第12回［5］岩見沢市	男子複（44）	上田　大輔（旭川豊里） 松本　章	岩渕　大介（釧路緑陵） 小関　礼憲	鈴木　敏之（旭川広陵） 中富　崇	里田　信人（札幌東栄） 時田　大樹
	男子単（50）	三上　裕司（苫小牧光洋）	中島　茂勝（新得富村牛）	宮本　敬（帯広第一）	高野　純平（小樽銭函）
	女子複（44）	石黒　広子（旭川広陵） 馬場奈穂子	阪東　優美（旭川広陵） 菅野　祐子	本田あゆみ（苫小牧光洋） 川崎美希子	山重　直美（旭川忠和） 塩崎　真弓
	女子単（50）	塩崎　沙織（旭川忠和）	山下　紋可（新得富村牛）	元木　瞳（釧　路　東）	千葉　綾乃（旭川明星）
第13回［6］苫小牧市	男子複（43）	皆川　信郎（札幌東栄） 烋元健太郎	萬谷　朋大（千歳真町） 今　泰寛	鈴木　裕策（旭川春光台） 山下　晃弘	高木　昭宏（札幌札苗） 高橋　健太
	男子単（45）	長原　正博（旭川豊里）	元木　貴志（釧路緑陵）	金子　博（室蘭東明）	本間　誠（千歳真町）
	女子複（47）	菅野　祐子（旭川広陵） 上北　綾子	宮崎あい子（旭川広陵） 大塚　奈々	松浦　由香（旭川豊里） 竹村　恵	松永　美希（旭川明星） 石尾　沙織
	女子単（49）	塩崎　真弓（旭川忠和）	松永　聡美（釧路共栄）	岩松真美子（苫小牧啓北）	中田　麻美（苫小牧明倫）
第14回［7］釧路町	男子複（42）	川島　健一（旭川広陵） 早坂　幸平	竹村　純（旭川豊里） 河原　悟	山本　淳平（苫小牧啓明） 浦本　昌則	谷平　裕二（旭川広陵） 加藤　洋祐
	男子単（51）	橋本　暁人（旭川広陵）	長原　正博（旭川豊里）	佐々木　翔（上　磯）	伊辺　拓樹（上　磯）
	女子複（44）	渡辺真希子（旭川東明） 木村佳奈子	吉田　衣里（旭川東明） 渡辺　美幸	福井　早苗（旭神居古潭） 福井　晃子	中村　彰子（栗　山） 遠藤奈美花
	女子単（49）	武藤めぐみ（新得富村牛）	中島　輝美（新得富村牛）	本田いずみ（苫小牧光洋）	高野めぐみ（小樽銭函）
第15回［8］名寄市	男子複（45）	谷平　裕二（旭川広陵） 加藤　洋祐	竹村　純（旭川豊里） 長原　克博	長田　烈（札幌上野幌） 加藤　耕助	川島　健一（旭川広陵） 三浦　弘貴
	男子単（45）	早坂　幸平（旭川広陵）	佐々木　翔（上　磯）	芝井　厚助（函教大付属）	太田　洋輝（札幌明園）
	女子複（46）	福井　晃子（旭神居古潭） 福井　早苗	渋谷久美子（旭川東明） 小野麻衣子	木村美菜子（富　川） 渡辺　智子	江井祐妃子（苫小牧明倫） 野嶋真奈美
	女子単（52）	本田いずみ（苫小牧光洋）	修田　真恵（札幌厚別）	脇坂　美穂（帯広第一）	平林　千佳（旭川忠和）
第16回［9］旭川市	男子複（45）	高畠　茂樹（旭川東鷹栖） 山ノ内利幸	碓井　太甚（壮　瞥） 由仁　貴也	小西　宏幸（札幌簾舞） 立川　純匡	柳沢　恒斗（札幌手稲） 福岡　孝太
	男子単（48）	長原　克博（旭川豊里）	近井　宏充（函館蛾眉野）	池添　尚貴（日　高）	山田　光大（札幌札苗北）
	女子複（46）	堀田　千世（旭川東明） 播磨　宏美	野嶋真奈美（苫小牧明倫） 白田ゆかり	田中　梢（旭川東明） 千木良あかね	阿野加代子（壮　瞥） 後藤　佳代
	女子単（49）	菅原　美貴（旭川忠和）	安井　千紘（壮　瞥）	伊辺　夏好（上　磯）	浅野　春菜（旭神居古潭）

北海道高校新人バドミントン選手権大会・全国高校選抜南北海道予選会

[年]	種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
第21回 [63] 南北合同 旭川市	男子団体(26)	札幌第一	旭川工業	滝川工業	函館東
	女子団体(26)	札幌静修	旭川商業	釧路星園	登別南
	男子複(43)	佐藤 嘉伸(札第一) 郷路 一郎	古川 英樹(旭工) 堤 浩一	田村 隆紀(滝工) 芳村 晋吾	平野 朝也(札第一) 末村 利彦
	女子複(43)	河村 志保(札静修) 梶原 夕子	大井 理恵(旭北都商) 時藤 美幸	奥山 睦子(旭商) 稲垣亜矢子	本多 千香(富川) 稲村 真弓
	男子単(43)	古川 英樹(旭工)	佐藤 嘉伸(札第一)	馬木 貴之(旭工)	郷路 一郎(札第一)
	女子単(43)	奥山 睦子(旭商)	本多 千香(富川)	長谷川真弓(釧星園)	中垣真紀子(札静修)
第22回 [元] 函館市	男子団体(20)	札幌第一	札幌新川	富川	札幌平岸
	女子団体(20)	札幌静修	登別南	札幌新川	北星学園女子
	男子複(21)	水澤 直哉(札第一) 福田 光伸	森田 直樹(札平岸) 山本 宏祐	斎藤 実(札第一) 萩原 利雄	大川 延秀(札第一) 石橋 直矢
	女子複(21)	沢田 昌子(登別南) 中野 豊子	岩崎 美香(北星女) 黒崎由紀子	石渡 絵子(札南) 永山 麻子	村井 洋子(登別南) 佐々木 恵
	男子単(21)	斎藤 実(札第一)	萩原 利雄(札第一)	水澤 直哉(札第一)	岡本 寿和(札南)
	女子単(21)	佐藤 京子(札静修)	大嶋 里佳(札西陵)	穴蔵のぞみ(石狩南)	星川 愛(札静修)
第23回 [2] 室蘭市	男子団体(20)	札幌第一	札幌新川	札幌西陵	札幌南
	女子団体(20)	札幌静修	北星学園女子	登別南	札幌啓北商業
	男子複(23)	水澤 直哉(札第一) 福田 光伸	西田 渉(札第一) 佐竹 友昭	伊賀 政幸(登別南) 大野 典彦	日野 昌晃(札第一) 小倉 隆司
	女子複(23)	多田 恭子(札静修) 川畑 麻美	栗原 初美(札啓北商) 南 香織	寺井 進子(札啓北商) 竹内 砂織	渡辺麻由子(北星女) 佐々木綾子
	男子単(23)	水澤 直哉(札第一)	西田 渉(札第一)	佐竹 友昭(札第一)	福田 光伸(札第一)
	女子単(23)	多田 恭子(札静修)	川畑 麻美(札静修)	郡司 紀子(樽商)	八角 亜紀(北星女)
第24回 [3] 小樽市	男子団体(21)	札幌第一	札幌新川	駒大岩見沢	札幌西陵
	女子団体(21)	札幌静修	とわの森三愛	札幌啓北商業	北星学園女子
	男子複(24)	西田 渉(札第一) 佐竹 友昭	日野 昌晃(札第一) 小倉 隆司	井野 嘉久(札第一) 秋本光一郎	平出 望(札新川) 成田 周平
	女子複(23)	松岡 美帆(とわの森) 小泉 奈々	今野 亜紀(札静修) 山口 亜希	長井麻由子(室清水丘) 俵 理恵	絹川 暁子(札啓北商) 高橋 直子
	男子単(25)	西田 渉(札第一)	小倉 隆司(札第一)	井野 嘉久(札第一)	川畑 友和(札第一)
	女子単(23)	松岡 美帆(とわの森)	伊東 貴代(札静修)	山口 亜希(札静修)	舟口 庸子(室栄)
第25回 [4] 札幌市	男子団体(21)	札幌第一	駒大岩見沢	札幌西陵	小樽桜陽
	女子団体(21)	札幌静修	北星学園女子	札幌西陵	とわの森三愛
	男子複(25)	井野 嘉久(札第一) 一宮 孝一	川畑 友和(札第一) 今西 隆浩	大嶌 健太(札平岸) 高田 茂樹	高橋 司(札第一) 水上 剛
	女子複(25)	中村 美穂(札静修) 加藤智恵子	河合 章江(札静修) 高橋 昌子	門馬 希(北星女) 杉原あゆ子	橋本 友美(室商) 鈴木 文
	男子単(23)	一宮 孝一(札第一)	井野 嘉久(札第一)	大嶌 健太(札平岸)	坂東 昌志(札新川)
	女子単(25)	中村 美穂(札静修)	加藤智恵子(札静修)	舟口 庸子(室栄)	菊地由香里(とわの森)

[年]	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位	
第26回 [5] 苫小牧市	男子団体（21）	札幌第一	札幌新川	札幌西陵	駒大岩見沢
	女子団体（21）	札幌静修	とわの森三愛	室蘭商業	聖ベネディクト
	男子複（27）	一宮 孝一（札第一） 馬木 智一	今西 隆浩（札第一） 妹尾 将義	加藤 義之（札開成） 富樫 康貴	斎藤 聡彦（札新川） 阿知良浩司
	女子複（27）	高橋 昌子（札静修） 西村 美香	菊地美加子（とわの森） 中川亜希子	道下千絵子（岩見沢西） 川合 晶子	瀬川 智子（函工） 前 美香
	男子単（29）	一宮 孝一（札第一）	馬木 智一（札第一）	斎藤栄太郎（札第一）	今西 隆浩（札第一）
	女子単（25）	高橋 昌子（札静修）	菊地美加子（とわの森）	吉田 美紀（聖ベネディクト）	杉原あゆ子（北星女）
第27回 [6] 岩見沢市	男子団体（21）	札幌第一	札幌新川	小樽桜陽	札幌啓成
	女子団体（21）	札幌静修	札幌丘珠	聖ベネディクト	とわの森三愛
	男子複（25）	妹尾 将義（札第一） 馬木 智一	斎藤栄太郎（札第一） 久保田秀明	佐藤 祐亮（札第一） 大島 健史	伊藤 勇介（札新川） 下川 憲哉
	女子複（24）	斎藤 弓華（札静修） 伴 宏美	吉田 美紀（聖ベネディクト） 大川 美幸	形本麻衣子（苫東） 松澤那々子	二瓶志津華（札静修） 本多 志保
	男子単（26）	馬木 智一（札第一）	斎藤栄太郎（札第一）	久保田秀明（札第一）	佐藤 弘通（札第一）
	女子単（25）	伴 宏美（札静修）	吉田 美紀（聖ベネディクト）	本多 志保（札静修）	二瓶志津華（札静修）
第28回 [7] 函館市	男子団体（21）	札幌第一	札幌新川	札幌開成	札幌商業
	女子団体（21）	札幌静修	とわの森三愛	函館工業	札幌丘珠
	男子複（25）	佐藤 祐亮（札第一） 三上 裕司	真岩 秀一（札第一） 佐藤 弘通	藤井 幸司（札新川） 宮森 基	江波 大樹（札開成） 阿部 直樹
	女子複（23）	二瓶志津華（札静修） 伴 宏美	本多 朱美（札静修） 本多 志保	田崎 宣子（札静修） 岩岡 直子	大水 理恵（札静修） 桜井亜希実
	男子単（23）	三上 裕司（札第一）	佐藤 祐亮（札第一）	佐藤 弘通（札第一）	大島 健史（札第一）
	女子単（23）	伴 宏美（札静修）	二瓶志津華（札静修）	本多 志保（札静修）	原田 貴子（とわの森）
第29回 [8] 小樽市	男子団体（21）	札幌第一	札幌新川	札幌商業	函館工業
	女子団体（21）	札幌静修	とわの森三愛	札幌丘珠	登別南
	男子複（23）	三上 裕司（札第一） 岩渕 大介	宮澤 幸雄（札第一） 金本 真也	小椋 尚史（札商） 富士原淳一	宮森 基（札新川） 高木 昭宏
	女子複（23）	榊 美智子（とわの森） 安田 三紗	本多 朱美（札静修） 元木 瞳	中田 麻美（札静修） 岩岡 知子	川村 元子（函工） 菊地 真弓
	男子単（26）	三上 裕司（札第一）	岩渕 大介（札第一）	高野 純平（樽潮陵）	鈴木 敏之（札第一）
	女子単（24）	元木 瞳（札静修）	榊 美智子（とわの森）	長瀬 史香（札丘珠）	中田 麻美（札静修）
第30回 [9] 室蘭市	男子団体（21）	札幌第一	札幌商業	駒大岩見沢	登別南
	女子団体（21）	札幌静修	とわの森三愛	室蘭商業	小樽潮陵
	男子複（26）	元木 貴志（札商） 富士原淳一	皆川 信郎（札第一） 烏元健太郎	吉田 仁（札第一） 時田 大樹	大津 達也（函工） 三谷 修平
	女子複（26）	沼田真奈美（札静修） 中島 輝美	中田 麻美（札静修） 三品美智子	岩岡 知子（札静修） 立花沙由里	安田 三沙（とわの森） 高井 香
	男子単（28）	長原 正博（札第一）	橋本 暁人（札第一）	吉田 仁（札第一）	元木 貴志（札商）
	女子単（29）	中島 輝美（札静修）	沼田真奈美（札静修）	三品美智子（札静修）	松原真智子（とわの森）

北海道高校新人バドミントン選手権大会・全国高校選抜北北海道予選会

[年]	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位	
第21回 [63] ※南北合同 旭川市	男子団体（26）	札幌第一	旭川工業	滝川工業	函館東
	女子団体（26）	札幌静修	旭川商業	釧路星園	登別南
	男子複（43）	佐藤 嘉伸（札第一）	古川 英樹（旭工）	田村 隆紀（滝工）	平野 朝也（札第一）
		郷路 一郎	堤 浩一	芳村 晋吾	末村 利彦
	女子複（43）	河村 志保（札静修）	大井 理恵（旭北都商）	奥山 睦子（旭商）	本多 千香（富川）
		梶原 夕子	時藤 美幸	稲垣亜矢子	稲村 真弓
	男子単（43）	古川 英樹（旭工）	佐藤 嘉伸（札第一）	馬木 貴之（旭工）	郷路 一郎（札第一）
	女子単（43）	奥山 睦子（旭商）	本多 千香（富川）	長谷川真弓（釧星園）	中垣真紀子（札静修）
第22回 [元] 旭川市	男子団体（19）	旭川工業	滝川工業	旭川北	帯広柏葉
	女子団体（19）	帯広大谷	帯広南商業	旭川実業	旭川商業
	男子複（21）	小川 和宏（滝工）	米田 紀興（旭工）	大久保公博（旭東）	屋敷 勧（滝工）
		田村 隆紀	馬木 貴之	河原 由幸	芳村 晋吾
	女子複（21）	千葉 広美（帯大谷）	小川 千乃（旭北都商）	米脇 理恵（旭商）	川又 保江（砂川南）
		中田みゆき	増茂美智子	村上 奈穂	杉山咲希子
	男子単（21）	馬木 貴之（旭工）	米田 紀興（旭工）	小川 和宏（滝工）	矢野 宏尚（旭工）
	女子単（21）	米脇 理恵（旭商）	横山 忍（帯大谷）	中田みゆき（帯大谷）	村上 奈穂（旭商）
第23回 [2] 滝川市	男子団体（19）	旭川工業	旭川凌雲	帯広緑陽	旭川北
	女子団体（19）	帯広大谷	旭川商業	旭川北都商業	池田
	男子複（21）	星 拓磨（旭工）	高嶋 進（帯緑陽）	矢野 宏尚（旭工）	山中 貴満（旭工）
		米田 和典	田口 英央	真岩 忍	西田 圭
	女子複（21）	鳥本 知美（帯大谷）	猪又ゆかり（池田）	清水 美衣（滝川）	大坂亜裕美（滝西）
		中田みゆき	木戸 利枝	大西 明子	森 恵理奈
	男子単（21）	星 拓磨（旭工）	米田 和典（旭工）	西田 圭（旭工）	矢野 宏尚（旭工）
	女子単（21）	中田みゆき（帯大谷）	鳥本 知美（帯大谷）	渡部英理花（帯南商）	増井 亜希（旭北都商）
第24回 [3] 名寄市	男子団体（19）	旭川工業	旭川実業	滝川工業	旭川西
	女子団体（19）	旭川実業	旭川北都商業	滝川西	旭川商業
	男子複（21）	西田 圭（旭工）	米田 和典（旭工）	谷口 貴章（旭凌雲）	大居 雄一（旭実）
		山中 貴満	真岩 忍	小野寺靖夫	神威 貴也
	女子複（21）	中山智香子（旭実）	稲垣麻衣子（旭商）	二階 裕美（旭北都商）	高橋奈緒子（旭商）
		北島あけみ	松倉 輝美	増井 亜希	奥山 史
	男子単（21）	米田 和典（旭工）	西田 圭（旭工）	高橋 弾（釧湖陵）	崎野 幸男（滝工）
	女子単（21）	増茂 孝枝（旭実）	中山智香子（旭実）	稲垣麻衣子（旭商）	北島あけみ（旭実）
第25回 [4] 旭川市	男子団体（19）	旭川工業	旭川実業	旭川凌雲	旭川南
	女子団体（19）	旭川実業	滝川西	帯広大谷	旭川商業
	男子複（23）	鈴木 大輔（旭工）	渡辺 貴広（旭工）	三上 裕文（旭実）	森田 憲輝（帯柏葉）
		荒井 大亮	伊藤 章芳	宮本 清治	黒田 栄継
	女子複（24）	中山智香子（旭実）	北島あけみ（旭実）	山本 理恵（滝西）	窪田三佐都（旭実）
		増茂 孝枝	田村 裕美	中森 志保	小林奈央子
	男子単（23）	伊藤 章芳（旭工）	鈴木 大輔（旭工）	小野寺靖夫（旭凌雲）	荒井 大亮（旭工）
	女子単（25）	中山智香子（旭実）	増茂 孝枝（旭実）	田村 裕美（旭実）	北島あけみ（旭実）

[年]	種目（参加数）	優勝	準優勝	第三位	
第26回[5] 釧路市	男子団体（19）	旭川工業	滝川工業	旭川南	帯広柏葉
	女子団体（19）	旭川実業	帯広大谷	旭川商業	滝川西
	男子複（25）	石橋 尚樹（旭工） 伊藤 章芳	伊藤 猛紀（旭工） 槙 輝明	広田 真人（江陵） 本田 敦英	木村 武久（滝工） 西村 拓也
	女子複（25）	竹村美由紀（旭実） 宮島 友美	大西 清子（滝西） 遠藤梨枝子	窪田三佐都（旭実） 大畑絵理子	小林奈央子（旭実） 佐藤奈々子
	男子単（26）	伊藤 章芳（旭工）	宮本 清治（旭実）	奥山 幸一（滝工）	安広 一哉（旭工）
	女子単（27）	田村 裕美（旭実）	竹村美由紀（旭実）	宮島 友美（旭実）	窪田三佐都（旭実）
第27回[6] 紋別市	男子団体（19）	旭川実業	旭川工業	滝川	江陵
	女子団体（21）	旭川実業	旭川商業	帯広柏葉	帯広大谷
	男子複（23）	伊藤 猛紀（旭工） 槙 輝明	阪上 真悟（旭工） 橋本 武洋	三上 真也（旭実） 真岩 巧	本田 敦英（江陵） 椿 達
	女子複（21）	大畑絵理子（旭実） 竹村美由紀	原 香織（旭実） 宮島 友美	近江 幸代（滝西） 伊藤千亜紀	岩松絵理子（旭実） 神田まり子
	男子単（23）	三上 真也（旭実）	鈴木慎太郎（旭実）	本田 敦英（江陵）	橋本 武洋（旭工）
	女子単（24）	岩松絵理子（旭実）	竹村美由紀（旭実）	大畑絵理子（旭実）	宮島 友美（旭実）
第28回[7] 帯広市	男子団体（19）	旭川工業	旭川実業	江陵	帯広柏葉
	女子団体（18）	旭川実業	旭川西	帯広大谷	旭川商業
	男子複（23）	鈴木慎太郎（旭実） 佐藤 信行	麻下 敏哉（旭工） 吉原 彰彦	上田 大輔（旭工） 丸一 良太	長田 健一（旭実） 菅原 和宏
	女子複（23）	岩松絵理子（旭実） 塩崎 沙織	石黒 広子（旭実） 山重 直美	菊入あゆみ（旭西） 馬場奈穂子	小森亜紀子（帯大谷） 田中優香子
	男子単（23）	鈴木慎太郎（旭実）	上田 大輔（旭工）	土佐 裕二（旭工）	長田 健一（旭実）
	女子単（23）	岩松絵理子（旭実）	塩崎 沙織（旭実）	山重 直美（旭実）	石黒 広子（旭実）
第29回[8] 滝川市	男子団体（19）	旭川工業	江陵	帯広柏葉	旭川実業
	女子団体（19）	旭川実業	滝川西	旭川北	帯広大谷
	男子複（22）	上田 大輔（旭工） 丸一 良太	松本 章（旭工） 矢野 慎吾	中島 茂勝（帯柏葉） 山田 省吾	唐太 勝（旭実） 吉川 隆博
	女子複（22）	塩崎 沙織（旭実） 阪東 優美	石黒 広子（旭実） 山重 直美	小林 香織（滝西） 小笠原美紀	塩崎 真弓（旭実） 大塚 奈々
	男子単（23）	上田 大輔（旭工）	中富 崇（旭北）	松本 章（旭工）	丸一 良太（旭工）
	女子単（23）	塩崎 沙織（旭実）	塩崎 真弓（旭実）	山重 直美（旭実）	石黒 広子（旭実）
第30回[9] 名寄市	男子団体（19）	旭川工業	帯広大谷	滝川西	旭川西
	女子団体（19）	旭川実業	旭川商業	帯広三条	帯広南商業
	男子複（24）	松本 章（旭工） 矢野 真吾	鈴木 裕策（旭工） 後藤 哲志	藤田 光治（滝西） 近江 幸司	亀井 誠一（滝西） 西 隆裕
	女子複（24）	塩崎 真弓（旭実） 岩松真美子	松浦 由香（旭商） 竹村 恵	菅野 祐子（旭北） 末永めぐみ	富原 絹子（帯南商） 久保 麻美
	男子単（25）	松本 章（旭工）	矢野 真吾（旭工）	上田 祐治（旭工）	高井 伸（帯大谷）
	女子単（25）	塩崎 真弓（旭実）	岩松真美子（旭実）	菊地亜矢子（旭実）	武藤めぐみ（帯三条）

北海道クラブ対抗選手権大会　［札幌市］

回	年度	種目(参加数)	優勝	準優勝	第三位	
13回	63年	年令別（13）	札幌パール	札幌コックス		
14回	元年	年令別（18）	札幌パール	札幌コックス	札幌ＳＦＢＴ	ＪＲ北海道ＯＢ
15回	2年	年令別（14）	札幌パール	札幌ＳＦＢＴ	シャトルエース	友の会
16回	3年	年令別（16）	ＮＴＴ札幌	遊羽クラブ厚別	JROB・RSスガワラ	札幌パール
17回	4年	一般（17）	音更クラブ	山陽国策パルプ	札幌ししゃも	W・プロジェクトA
		年令別（11）	シャトルＡＣＥ	遊羽クラブ厚別	遊羽クラブ白石	小樽クラブ
18回	5年	一般（19）	苫小牧クラブ	遊羽クラブ厚別	滝川同好会	チームメイガタ
		年令別（8）	ＪＲ北海道ＯＢ	シャトルＡＣＥ	遊羽クラブ厚別	札幌パールクラブ
19回	6年	一般（16）	チームメイガタ	札幌パールクラブ	ミックスウイング	飛翔会
		年令別（4）	ＪＲＯＢクラブ	シャトルＡＣＥ	遊羽クラブ	
20回	7年	一般（25）	旭川マイシャーク4	ＴＳファミリーＡ	飛翔会	室蘭クラブＡ
		年令別（8）	バラェティー	ＭＯＩＷＡ	札幌遊羽クラブＡ	
21回	8年	一般（25）	室蘭協会	音更クラブ	チームメイガタ	
		年令別（9）	チームＭＡ	札幌協会	シャトルＡＣＥ	
22回	9年	一般（26）	上磯クラブ	室蘭協会	ＭＹ　ＳＡＲＫ	
		年令別（8）	小樽選抜	ＭＯＩＷＡ	チームジャスト	

日本バドミントン協会主催大会優勝者と北海道選手の入賞者

※優勝者の太字は北海道関係の選手及びチーム

開催年度	1988(63年)	1989(元年)	1990(２年)	1991(３年)	1992(４年)	1993(５年)	1994(６年)	1995(７年)	1996(８年)	1997(９年)

［国民体育大会バドミントン競技］

回・開催県	43 京都	44 北海道	45 福岡	46 石川	47 山形	48 香川	49 愛知	50 福島	51 広島	52 大阪
成年男子	神奈川	神奈川	三重	三重	大阪	東京	東京	福島	富山	東京
成年女子	富山	群馬	福岡	東京	富山	大阪	東京	福島	富山	大阪
少年男子	埼玉	北海道	大阪	千葉	群馬	茨城	滋賀	滋賀	石川	大阪
少年女子	大阪	熊本	埼玉	宮城	大阪	大阪	大阪	石川	埼玉	福岡
天皇杯得点	大阪	熊本	大阪	石川	熊本	大阪	大阪	福島	熊本	大阪
皇后杯得点	大阪	大阪	大阪	石川	熊本	大阪	大阪	福島	埼玉	大阪
北海道入賞種目	［少男２位］	［成男２位］ 天皇杯２位			［成男３位］		［少男２位］		［成男３位］	

［全日本総合選手権大会］

回・開催県	42 大阪	43 東京	44 東京	45 東京	46 大阪	47 東京	48 大阪	49 東京	50 大阪	51 東京
男子単	松浦	松野	松浦	松野	霜上	町田	町田	町田	須賀	太田
男子複	松野	松野	松野	松野	松野	松野	柳谷	町田	片山	太田
	松浦	松浦	松浦	松浦	松浦	松浦	江藤	渡辺	久保田	竹鼻
女子単	北田	宮村(愛)	水井(妃)	松尾	宮村(愛)	水井(妃)	水井(妃)	水井(妃)	井田	井田
女子複	陣内 森	陣内 森	陣内 森	松尾 捧	広田 小池	広田 小池	松尾 阪本	松尾 阪本	岩田 松田	**増茂 孝枝** **中山智香子**
混合複	広田 谷田	広田 谷田	田代 早戸	松田 辻田	藤本 古河	甲斐 今井	甲斐 今井	佐々木 気谷	松田 今井	田児 宮
北海道関係入賞者					［混合３位］ 角谷 淳一 田中 範子	［女単３位］ 日原恵美里				

［全日本社会人選手権大会］

回・開催県	31 北海道	32 福岡	33 石川	34 山形	35 大阪	36 愛知	37 福島	38 広島	39 大阪	40 神奈川
男子単	西山	西山	江藤	江藤	町田	町田	須賀	須賀	霜上	霜上
男子複	西山	松野	松野	松野	宮	宮	片山	宮	太田	今井(紀)
	井上	松浦	松浦	松浦	町田	町田	久保田	髙橋	竹鼻	大山
女子単	鴻原	小池	金井	谷地	金井	金井	井田	水井(妃)	井田	水井(泰)
女子複	陣内 森	陣内 森	陣内 森	田児 鴻原	田村 岩田	田村 岩田	宮村 宮村	宮村(愛) 宮村(亜)	宮村(愛) 宮村(亜)	**増茂 孝枝** **中山智香子**
混合複	髙峰 宮	広田 谷田	村山 今村					田村 吉武	田児 松野	田村 清水
北海道関係入賞者				［男単３位］ 伊藤 雅弘 ［男複３位］ 伊藤 雅弘 角谷 淳一					［混合３位］ 田中 範子 村井 秀樹	

［全日本実業団選手権大会］

回・開催県	38 石川	39 岡山	40 兵庫	41 宮城	42 広島	43 富山	44 福岡	45 北海道	46 東京	47 熊本
男子団体	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	ＮＴＴ東京	トナミ運輸	ＹＫＫ九州
女子団体	三洋電機	サントリー	サントリー	サントリー	ＮＴＴ東京	サントリー	サントリー	サントリー	三洋電機	三洋電機
北海道関係入賞				［男子２位］ ＮＴＴ北海道						

開催年度	1988(63年)	1989(元年)	1990(2年)	1991(3年)	1992(4年)	1993(5年)	1994(6年)	1995(7年)	1996(8年)	1997(9年)
[日本リーグ]										
男子団体	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	NTT東京	YKK九州
女子団体	ヨネックス	サントリー	三洋電機	サントリー	サントリー	サントリー	サントリー	三洋電機	三洋電機	三洋電機
北海道関係入賞			[男子2位] NTT北海道							

[全日本シニア選手権大会]

回・開催県	5 香川	6 愛知	7 京都	8 広島	9 宮城	10 東京	11 埼玉	12 大阪	13 愛媛	14 福岡
30才男子単	程	藤原	藤原	沙	藤原	張	張	韋	若林	若林
30才男子複	陳 劉	藤原 出石	清水 柳	鈴木 今野	小林 神谷	丹藤 謝	張 程(俊)	和田 蘇	早水 村松	早水 村松
40才男子単	松井	陳	新井	塩飽	松井	程	高真	井出	井出	若松
40才男子複	山本 寺崎	松崎 島田	古明地 鈴木	新井 小柳	中津 山村	中津 山村	程(嘉)	村元 須藤	清水 柳	清水 柳
50才男子単	杉田	高橋	高橋	杉原	杉原	小橋	杉田	増井	渡辺	松井
50才男子複	林 盧	高橋 杉田	星野 小林	大野 桶沢	蓑 竹中	松田 山本	簡 楊	小山 渡辺	松井 中村	松井 中村
60才男子単	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	蔡	柳田	柳田
60才男子複	柳田 平田	柳田 平田	浜中 畑	浜中 畑	横井 谷口	横井 谷口	横井 谷口	横井 谷口	横井 谷口	横井 谷口
30才女子単	陳	菊地	彼島	彼島	伊東	彼島	飯野	今津	伊東	千葉
30才女子複	今津 原田	山本 今津	野村 今津	今津 山本	伊東 彼島	佐藤 合田	佐藤 合田	林 植野	勝山 西村	勝山 西村
40才女子単	桶谷	桶谷	桶谷	鵜木	阿部	阿部	阿部	阿部	澄川	宇山
40才女子複	桶谷 片糸	桶谷 片糸	桶谷 小野	片糸 多田	田倉 織田	阿部 小橋	阿部 古橋	大久保 矢代	新田 竹林	小林 佐藤
50才女子複	秋元 水口	秋元 水口	島中玲子 内田	小守 清水	長田 田中	小守 秋元	小守 秋元	小橋 石田	石田 小橋	東条 村松
60才女子複								水口 大井	水口 大井	前田 山田
40才混合複								楊 程	高野 大石	落合 佐藤
50才混合複								蓑 東条	小幡 小幡	蓑 東条
60才混合複								髙谷 増子	杉田 杉田	杉田 杉田

[全日本学生選手権大会]

回・開催県	39 栃木	40 福岡	41 大阪	42 北海道	43 愛知	44 宮城	45 埼玉	46 京都	47 神奈川	48 広島
男子団体	日本体育	日本体育	法政	中央	早稲田	早稲田	筑波	法政	日本	日本体育
男子単	江藤	本山	本山	霜上	霜上	霜上	尾藤	村田	山田	大東
男子複	木船 浜北	気谷 山本	渡辺 平野	渡辺 平野	片山 久保田	大山 岸田	大山 岸田	太田 竹鼻	片岡 岡山	矢部 西山
女子団体	日本体育	四条畷短	日本体育	東海女子	東海女子	日本	青山学院	日本体育	日本体育	つくば国際
女子単	道上	佐々木	水井(妃)	井田	井田	佐藤(純)	小室	伊東	米倉	米倉
女子複	西田 田村	西田 渡辺	岩田 水井(妃)	日原 大後	日原 河口	小泉 朽木	川口 吉富	川口 吉富	米倉 中島	大坂 中島
北海道関係入賞者					[男複2位] 藤本謙治 佐藤嘉伸					

開催年度	1988(63年)	1989(元年)	1990(2年)	1991(3年)	1992(4年)	1993(5年)	1994(6年)	1995(7年)	1996(8年)	1997(9年)

［全日本教職員選手権大会］

回・開催県	27 奈良	28 香川	29 岩手	30 愛知	31 熊本	32 神奈川	33 石川	34 鳥取	35 千葉	36 和歌山
男子団体	熊本	京都	熊本	東京	福井	東京	熊本	福島	熊本	熊本
女子団体	京都	東京	京都	東京	熊本	東京	富山	東京A	千葉	千葉
壮年男団体	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本A	香川	福井	熊本	神奈川	東京
男子単	酒井	杉本	堺	高橋	岩佐	金子	高村	木船	桐原	桐原
男子複	山本	山本	落合	村尾	権藤	鶴見	鶴見	高村	大堀	高村
	村尾	村尾	高橋	山本	堺	中家	中家	前田	平野	前田
女子単	野口	野口	今川	小暮	鵜木	谷藤	鵜木	佐々木	佐々木	佐々木
女子複	白川	野口	野口	田代	久光	中尾	福田	谷藤	谷藤	佐々木
	北川	中島	一倉	渡辺	川本	川本	千葉	桜井	桜井	横山
30才男子単	伊藤	浅沼	西村	西村	江藤	江藤	矢野	荒井	荒本	下平
30才男子複	上田	金崎	帰山	峰	江藤	江藤	葛葉	荒井	上田	上田
	中村	松村	中山	六川	三次	三次	高須	目野	田部井	田部井
30才女子単	金子	金子	金子	千葉	伊東	伊東	高	吉田こずえ	稲積	稲積
30才女子複	杉田	杉田	杉田	杉田	桶谷	桶谷	千葉	桶谷	金子	桶谷
	金子	金子	金子	金子	伊東	伊東	高	伊東	石井	伊東
40才男子単	葦原	葦原	葦原	葦原	伊藤	伊藤	伊藤	今井	高田	帰山
40才男子複	杉原	藤田	瀬戸	瀬戸	瀬戸	佐々木	神戸	能登	伊藤	中村
	三井	遠藤	松本	松本	松本	伊藤	高岡	帰山	高田	丸山
50才男子単	杉田	杉田	杉田	杉原	杉原	杉原	杉田	杉原	葦原	杉原
50才男子複	南	南	服部	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	杉田	杉田
	西田	西田	辻	喜岡	喜岡	喜岡	喜岡	喜岡	近藤	近藤
60才男子単	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	柳田	鈴木	佐藤
60才男子複	平田	平田	平田	平田	藤木	東健治	窪田薫	窪田薫	東健治	柳田
	柳田	柳田	柳田	柳田	元田	島谷勲	葛巻礼滋	葛巻礼滋	鈴木	中村
混合複	高岡	鵜木	大島	高橋						
	山内	鵜木	平間	長谷						

※北海道関係の入賞は、教職員連盟の全国大会成績に掲載されている。

［全国中学校大会］

回・開催県	18 岩手	19 山口	20 香川	21 熊本	22 富山	23 滋賀	24 北海道	25 神奈川	26 愛知	27 愛媛
男子団体	東京田無一	弘前一	香川一	弘前一	石下	香川一	香川一	香川一	田鶴浜	旭
男子単	満石	戸祭	荒井	一宮孝一	馬木智一	大東	中西	大東	前田	佐藤(翔)
男子複	茂野	有田	樋渡	蒔苗	酒井	熱田	永谷	大畠	広瀬	関野
	山浦	斉藤	多久島	加藤	久保	鎌田	福川	山下	長尾	会澤
女子団体	聖ウルスラ	熊本京陵	四条畷	四条畷	熊本京陵	高松玉藻	四条畷	香川一	香川一	南里
女子単	米谷	米谷	水井(泰)	米倉	太田	一美	正木	松尾	後藤	松田
女子複	富田	増茂孝枝	増茂孝枝	中山	加藤	森	西条	八木田	浜田	志賀
	村瀬	中山智香子	中山智香子	徳永	山田	仲田	斉藤	大熊	岸田	大道
北海道関係入賞者							[女団2位] 旭川広陵 [男単3位] 上田大輔 三上裕司 [女複3位] 山重直美 塩崎真弓		[男団3位] 旭川広陵 [男単3位] 橋本暁人	[男団2位] 旭川広陵 [男単2位] 佐々木翔 [男複2位] 早坂幸平 川島健一

開催年度	1988(63年)	1989(元年)	1990(2年)	1991(3年)	1992(4年)	1993(5年)	1994(6年)	1995(7年)	1996(8年)	1997(9年)

［全国高校選手権大会］

回・開催県	39 兵庫	40 高知	41 宮城	42 静岡	43 宮崎	44 栃木	45 富山	46 島根	47 山梨	48 京都
男子団体	上尾	熊商大附	常総学院	常総学院	常総学院	高松商	上尾	上尾	矢代東	上尾
男子単	須賀	磯部	岸田	片岡	西田渉	中村	山田	桝田	桝田	中西
男子複	中橋	佐藤嘉伸	斉藤	太田	加賀谷	樋渡	下島	青木	大東	坂本
	平井	郷路一郎	大山	石橋	腺内	矢部	高嶋	山田	木下	小島
女子団体	四條畷	四條畷	佐賀女子	熊本中央	四條畷	四條畷	四天王寺	高岡女子	埼玉栄	埼玉栄
女子単	水井(如)	水井(如)	井田	水井(泰)	水井(泰)	中山智香子	山田	関本	間	間
女子複	中原	宮村(愛)	阪本	橋本	山田	増茂 孝枝	市橋	片糸	杉浦	田井
	甲斐	松田	渡辺	山田	貴田	中山智香子	鬼頭	中島	長峰	舛田
北海道関係入賞者					[男団3位] 札第一 [女単2位] 中山智香子		[男複3位] 一宮孝一 馬木智一		[男団3位] 札第一 [女単3位] 岩松絵理子	

［全国高校選抜大会］

回・開催県	16 兵庫	17 栃木	18 東京	19 富山	20 栃木	21 新潟	22 愛知	23 埼玉	24 北海道	25
男子団体	上尾	熊商大附	熊商大附	常総学院	芦北	常総学院	常総学院	常総学院	常総学院	
男子単	須賀	磯部	本田	片岡		吉川	酒井	松本	沈	
男子複	大谷	片山	太田	片岡		樋渡	酒井	平山	尾形	
	内村	久保田	石本	福田		矢部	中島	福島	藤田	
女子団体	熊本中央	熊本中央	熊本信愛	常総学院	常総学院	四條畷	聖ウルスラ	金沢向陽	熊本信愛	
女子単	宮村(愛)	宮村(愛)	井田	河口		水井(泰)	山田	山田	三宅	
女子複	中原	宮村(愛)	阪本	河口		増茂 孝枝	武富	山崎	杉浦	
	甲斐	松田	渡辺	酒井		中山智香子	田中	梶原	長峰	
北海道関係入賞者	[男団3位] 札第一 [男複2位] 藤本謙治 村井秀樹 [男単2位] 桜井敬大 [男単3位] 工藤忠和	[男団2位] 札第一 [男複2位] 佐藤嘉伸 郷路一郎		[男複2位] 水澤直哉 福田光伸 [男複3位] 星拓磨 米田紀興 [男単3位] 水澤直哉	[男団3位] 札第一	[男複2位] 井野嘉久 一宮孝一 [女単2位] 中山智香子 [男単3位] 一宮孝一		[男単3位] 馬木智一 [女単3位] 岩松絵理子	[男団2位] 札第一 [女団2位] 札静修 [女団3位] 旭実業 [男複3位] 佐藤佑亮 三上裕司 [女複3位] 伴宏美 二瓶志津香	

［全日本ジュニア選手権大会］

回・開催県	7 群馬	8 京都	9 神奈川	10 埼玉	11 群馬	12 埼玉	13 群馬	14 山梨	15 岩手	16 香川
男子単	磯部	尾藤	増田	西田渉	荒井	山口	中村	桝田	大東	仲尾
女子単	宮村(愛)	井田	橋本	水井(泰)	水井(泰)	田中	市橋	吉岡	井川	岩脇
中新人男単		鶴見	川合	馬木智一	大東	中西	大東	橋本暁人	佐藤	西浦
中新人女単		増茂 孝枝	米倉	太田	井川	森	安城	赤尾	沢	広岡
男子複	磯部	大山	沼尻	有田						
	西川	斉藤	山浦	斉藤						
女子複	宮村(愛)	阪本	中山智香子	中山智香子						
	水井(如)	渡辺	増茂 孝枝	増茂 孝枝						
北海道関係入賞者	[男複2位] 佐藤嘉伸 郷路一郎		[男単2位] 水澤直哉 [女単3位] 田村裕美		[男単2位] 井野嘉久		[男単2位] 馬木智一			

※［全国家庭婦人大会］の成績は、北海道家庭婦人連盟の項に掲載されています。

国民体育大会

（昭和59年以降の本道国体選手名と戦績）○印は監督　戦績の中の◎印は全県出場種目

回数・年度等	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	天皇杯獲得県	皇后杯獲得県	備考
39回 S．59年 奈良県 （わかくさ）	○平山　三城 遠藤　好男 米山　孝二 千葉　昌弘	○岡本　伝 和田美津子 小池かおり 藤本美津子	○阿部　忠夫 角谷　淳一 寺崎　明 西川　修身	○井上望太郎 赤川　恭子 山内真由美 池尾　郁子	大阪府	大阪府	
戦績 種目順位	1回戦敗退	◎準々決勝で 奈良に敗れ5位	1回戦敗退	1回戦敗退			
40回 S．60年 鳥取県 （わかとり）	○平山　三城 遠藤　好男 米山　孝二 伊藤　雅弘	○北村　優明 藤本三津子 小飼美香子 和田美津子	○山田　和雄 桑原　朋宏 谷地館　渉 佐藤　信	○井上望太郎 夏堀実千枝 池尾　郁子 佐々木千春	熊本県	新潟県	
戦績 種目順位	1回戦敗退	1回戦敗退	◎1回戦 敗退	2回戦敗退 5位			
41回 S．61年 山梨県 （かいじ）	○遠藤　好男 米山　孝二 伊藤　雅弘 諏訪内信二	○岡本　伝 和田美津子 加藤　洋子 藤本三津子	○井口　一司 伊藤　隆宏 林　秀行 工藤　忠和	○上山　功夫 佐々木美緒 目黒ひとみ 古川　正枝	山梨県	新潟県	
戦績 種目順位	3位決定戦で 熊本に敗退4位	2回戦敗退 5位	1回戦敗退	◎1回戦敗退			
42回 S．62年 沖縄県 （海　邦）	○遠藤　好男 米山　孝二 伊藤　雅弘 千葉　昌弘	○岡本　伝 和田美津子 加藤　洋子 小池かおり	○井口　一司 村井　秀樹 藤本　謙治 横山　匠	○谷浦　隆 岩井　芳美 山根　理江 沢田　百合	熊本県	富山県	
戦績 種目順位	◎3回戦敗退	3位決定戦で 石川に敗退4位	2回戦敗退 5位	1回戦敗退			
43回 S．63年 京都府 （京　都）	○米山　孝二 伊藤　雅弘 山尾　克則 中尾　俊也	○熊谷　敏夫 和田美津子 加藤　洋子 大東　幸子	○井口　一司 工藤　忠和 藤本　謙治 村井　秀樹	○谷浦　隆 山根　理江 沢田　百合 中垣真紀子	大阪府	大阪府	
戦績 種目順位	1回戦敗退	◎準々決勝で 東京に敗退5位	決勝戦で埼玉に 敗退準優勝	1回戦敗退			
44回 S．64年 北海道 （はまなす）	○米山　孝二 伊藤　雅弘 角谷　淳一 山尾　克則	○熊谷　敏夫 星　和枝 和田美津子 小飼　真弓	○井口　一司 佐藤　嘉伸 郷路　一郎 古川　英樹	○谷浦　隆 中垣真紀子 長谷川真弓 本多　千香	熊本県	大阪府	
戦績 種目順位	決勝戦で神奈川 に敗退準優勝	2回戦敗退 5位	◎決勝戦で 埼玉に勝ち優勝	2回戦敗退 5位			
45回 H．2年 福岡県 （とびうめ）	○米山　孝二 山尾　克則 角谷　淳一 古川　英樹	○遠藤　好男 小飼　真弓 田中　範子 加藤　洋子	○井口　一司 萩原　利雄 米田　紀興 馬木　貴之	○谷浦　隆 梶原　夕子 佐藤　京子 星川　愛	大阪府	大阪府	
戦績 種目順位	1回戦敗退	2回戦敗退 5位	1回戦敗退	◎3回戦敗退			

回数・年度等	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	天皇杯獲得県	皇后杯獲得県	備　考
46回 H．3年 石川県 （石　川）	○米山　孝二 伊藤　雅弘 山尾　克則 角谷　淳一	○遠藤　好男 小飼　真弓 田中　範子 小笠原　満	○井口　一司 水沢　直哉 西田　渉 佐竹　友昭	○下苧坪英雄 増茂　孝枝 中山智香子 中田みゆき	石川県	石川県	
戦　績 種目順位	◎3位決定戦で 石川に敗れ4位	1回戦敗退	2回戦敗退 5位	2回戦敗退 5位			
47回 H．4年 山形県 （べにばな）	○米山　孝二 角谷　淳一 山尾　克則 古川　英樹	○遠藤　好男 小笠原　満 田中　範子 星　和代子	○井口　一司 西田　渉 佐竹　友昭 井野　嘉久	○下苧坪英雄 増茂　孝枝 北島あけみ 田村　裕美	熊本県	熊本県	
戦　績 種目順位	3位決定戦で 愛知に勝ち3位	◎3回戦敗退	準々決勝で 茨城に敗退5位	1回戦敗退			
48回 H．5年 香川県 （東四国）	○米山　孝二 伊藤　雅弘 角谷　淳一 古川　英樹	○中村　富光 田中　範子 日原恵美里 岩崎　美香	○井口　一司 井野　嘉久 一宮　孝一 馬木　智一	○下苧坪英雄 増茂　孝枝 中山智香子 田村　裕美	大阪府	大阪府	
戦　績 種目順位	1回戦敗退	1回戦敗退	◎3位決定戦で 群馬に勝ち3位	決勝で大阪に敗 れ準優勝			
49回 H．6年 愛知県 （わかしゃち）	○伊藤　雅弘 村井　秀樹 古川　英樹 角谷　淳一	○板東　康夫 岩崎　美香 武田　明美 日原恵美里	○井口　一司 一宮　孝一 馬木　智一 今西　隆浩	○谷浦　隆 西村　美香 高橋　昌子 岩松絵理子	大阪府	大阪府	
戦　績 種目順位	2回戦敗退 5位	1回戦敗退	決勝戦で滋賀に 敗退準優勝	◎準々決勝で 佐賀に敗れ5位			
50回 H．7年 福島県 （ふくしま）	○伊藤　雅弘 村井　秀樹 古川　英樹 佐藤　嘉伸	○木村　敏男 日原恵美里 田中　範子 佐藤　京子	○井口　一司 馬木　智一 妹尾　将義 斉藤栄太郎	○下苧坪英雄 竹村美由紀 大畑絵理子 岩松絵理子	福島県	福島県	中山・増茂は大阪から出場し、大阪府第2位に貢献
戦　績 種目順位	◎3位決定戦で 大阪に敗れ4位	2回戦敗退 5位	2回戦敗退 5位	1回戦敗退			
51回 H．8年 広島県 （ひろしま）	○伊藤　雅弘 村井　秀樹 佐藤　嘉伸 水沢　直哉	○林　秀行 梶原　夕子 岩崎　美香 武田　明美	○井口　一司 佐藤　祐亮 三上　祐司 大島　健史	○谷浦　隆 伴　宏美 二瓶志津香 岩松絵理子	熊本県	埼玉県	
戦　績 種目順位	3位決定戦で 香川に勝ち3位	◎3回戦敗退	1回戦敗退	1回戦敗退			
52回 H．9年 大阪府 （なみはや）	○伊藤　雅弘 村井　秀樹 佐藤　嘉伸 水沢　直哉	○工藤　忠和 武田　明美 中井貴代美 後藤　綾子	○井口　一司 三上　祐司 岩渕　大介 上田　大輔	○下苧坪英雄 塩崎　沙織 塩崎　真弓 沼田真奈美	大阪府	大阪府	
戦　績 種目順位	3位決定戦で 福岡に敗れ4位	準々決勝で富山 に敗れ5位	◎準々決勝で 敗れ5位	1回戦敗退			

全国スポーツ・レクリェーション祭　年齢別バドミントン競技記録

回数	開催期間	開催地	参加者名	競技方法	成　　績
1	昭和63.11.13－16	山梨県勝沼町	監督　島中　玲子 選手　鈴木　政子、永井　恭子 佐々木堅治、山田　健治 吉田　惇子、東　　健治 石橋　和枝、渡辺由美子	・３チームからなる16グループの予選リーグ ・各グループの１位による決勝トーナメント	・予選リーグ １位　栃木県 ２位　北海道 ３位　沖縄県 ・２位のため決トーナメントに出れず。
2	平成 1.10.29－31	愛媛県松山市	監督　平沢　　徹 選手　鈴木　政子、菅原たき子 藤田　富雄、髙野　幹雄 島中　玲子、東　　健治 石橋　和枝、山田　健治	・４チームからなる12グループの予選リーグ ・各グループの同順位同士による順位決定戦１試合のみ	・予選リーグ　１位 ・１位グループ 優勝決定戦 北海道２－１神奈川県 ・優勝北海道（他五県）
3	平成 2.10.13－16	和歌山県 岩出町	監督　平沢　　徹 選手　石橋　和枝、永井　恭子 藤田　富雄、山本　晴通 島中　玲子、渋井　　明 中山　俊三、山口　菊枝	・４チームからなる12グループの予選リーグ ・各グループの一位チームによる決勝トーナメントのみ	・予選リーグ　２位 ・２位のため決トーナメントに出れず。
4	平成 3.11. 9－12	熊本県宇土市	監督　島中　玲子 選手　石橋　和枝、渡辺由美子 木村　敏男、菅原　　薫 島中　玲子、渋井　　明 山田　健治、米重紀枝子	・２チーム戦による予選リーグ ・勝負グループを２パートに分けてリーグトーナメント	・予選リーグ 北海道３－０大分県 ・勝グループリーグ 北海道　１位 ・勝者トーナメント 北海道　２位
5	平成 4.11.17－20	島根県大東町	監督　島中　玲子 選手　市川　幸子、山田　純子 木村　敏男、渋井　　明 山田　健治、藤井美代子 藤田　富雄、島中　玲子	・２チーム戦による予選リーグ ・勝負グループを２パートに分けてリーグトーナメント	・予選リーグ 北海道３－０大分県 ・勝グループリーグ 北海道１位 ・勝者トーナメント 北海道　２位
6	平成 5.11.14－16	千葉県千葉市	監督　工藤エイ子 選手　門馬　　秀、宮崎美香子 木村　敏男、菅原　　薫 山田　健治、前田　静子 島中　玲子、東　　健治	・３チームによる予選リーグ ・同順位グループを４つに分けてリーグ ・４パートに分けてトーナメント	・予選リーグ 北海道　１位 ・１位リーグ戦 北海道　１位 ・決勝トーナメント 北海道　１位
7	平成 6.11.13－15	福岡県 北九州市	監督　東　　健治 選手　水上　京子、藤井　雪枝 渋井　　明、藤田　富雄 岡　　明弘、谷頭恵美子 山田　健治、伊藤美恵子 （岡　選手　特別賞受賞）	・２チーム戦 ・勝者・敗者グループリーグ戦 ・勝者・敗者グループ決勝トーナメント	・２チーム戦　負け ・敗者リーグ戦 北海道　１位 ・決勝トーナメント 北海道　１位
8	平成 7.10. 1－ 3	奈良県群山市	監督　東　　健治 選手　吉田こずえ、神戸　雪子 佐藤　信次、藤田　富雄 山田　健治、谷頭恵美子 渋井　　明、水上　京子 （山田選手　特別賞受賞）	・２チーム戦 ・勝者・敗者グループリーグ戦 ・勝者・敗者グループ決勝トーナメント	・２チーム戦　負け ・敗者リーグ戦 北海道　１位 ・決勝トーナメント 北海道　１位
9	平成 8.11. 2－ 5	群馬県太田市	監督　山口　菊枝 選手　西山　幸子、山本　直美 髙橋　博行、藤田　富雄 山田　健治、谷頭恵美子 岡　　明弘、山口　菊枝	・A～Fの６グループに各２チーム （６×４×２） ・各ブロックの同順位による表彰チーム決定戦	・予選リーグ　D－２ ３勝０敗で１位 ・表彰チーム決定戦 北海道３－０新潟県 ・北海道Dブロック優勝
10	平成 9.11.15－18	沖縄県玉城村	監督　東　　健治 選手　藤田とも子、藤井　雪枝 田畑　　貢、田畑　義彦 品川　勝男、後藤　栄子 渋井　　明、山口　菊枝	・２チーム交流戦 勝敗別に16グループで ・リーグ戦を行い１位チームによる表彰チーム決定戦	・２チーム交流戦 北海道３－１和歌山県 ・勝者グループリーグ戦 北海道３－０愛媛県 〃　３－０秋田県 ・表彰チーム決定戦 北海道１－２広島県 北海道３位

北海道地区国立工業高等専門学校体育大会バドミントン競技の記録

（優勝校と優勝者の名前のみ）

回	開催年月日	開催地	戦績				
			男子団体	男子単	男子複	女子単	女子複
第20回	S59.7.14-15	苫小牧	釧路	寺田(旭)	佐古・千葉(釧)		
第21回	S60.7.13-14	釧路	旭川	堀部(苫)	技沢・村上(旭)		
第22回	S61.7.12-13	函館	旭川	堀部(苫)	佐藤・堀部(苫)		
第23回	S62.7.18-19	旭川	苫小牧	堀部(苫)	堀部・乃村(苫)		
第24回	S63.7.16-17	苫小牧	苫小牧	田中(旭)	乃村・小亀(苫)		
第25回	H 1.7.15-16	釧路	旭川	田中(旭)	川南・田中(旭)	三条(苫)	
第26回	H 2.7.14-15	函館	旭川	田中(旭)	川南・田中(旭)	松原(旭)	斉藤・松原(旭)
第27回	H 3.7.20-21	旭川	旭川	田中(旭)	田中・森 (旭)	松原(旭)	斉藤・松原(旭)
第28回	H 4.7.14-15	苫小牧	苫小牧	松尾(苫)	井口・鎌田(苫)	松原(旭)	三条・高橋(苫)
第29回	H 5.7.17-18	釧路	苫小牧	松尾(苫)	松尾・鎌田(苫)	松原(旭)	高橋・戸小台(苫)
第30回	H 6.7.16-17	函館	苫小牧	斉藤(函)	井口・鎌田(苫)	松原(旭)	楠野・松原(旭)
第31回	H 7.7.15-16	旭川	函館	下田(苫)	小川・下田(苫)	楠野(旭)	高橋・戸小台(苫)
第32回	H 8.7.13-14	苫小牧	旭川	下田(苫)	渡辺・高橋(函)	楠野(旭)	高橋・戸小台(苫)
第33回	H 9.7.12-13	釧路	苫小牧	仲山(苫)	舟口・吉本(苫)	楠野(旭)	楠野・細野(旭)

全日本高等専門学校バドミントン選手権大会の記録

（北海道関係の1位～3位のみ）

回	日時	開催県	戦績				
			男子団体	男子単	男子複	女子単	女子複
第8回	S59.8.11-12	東京都					
第9回	S60.8.10-11	北海道	3位 旭川				
第10回	S61.8. 9-10	福島県	3位 旭川				
第11回	S62.8. 8- 9	三重県		3位 堀部(苫)			
第12回	S63.8.20-21	岡山県					
第13回	H 1.8.19-20	愛媛県					
第14回	H 2.8. 4- 5	熊本県		3位 田中(旭)		1位 松原(旭)	3位 斉藤・松原(旭)
第15回	H 3.8.10-11	兵庫県	3位 旭川		3位 松尾・鎌田(苫)	2位 松原(旭)	
第16回	H 4.8. 8- 9	茨城県	2位 苫小牧			3位 松原(旭)	3位 三条・高橋(苫)
第17回	H 5.8. 7- 8	鳥取県			3位 松尾・鎌田(苫)	2位 松原(旭)	2位 高橋・戸小台(苫)
第18回	H 6.8. 6- 7	青森県	1位 苫小牧				2位 松原・楠野(旭)
第19回	H 7.8. 5- 6	京都府	2位 函館		3位 下田・小川(苫)		
第20回	H 8.8.10-11	大分県	3位 旭川		3位 渡辺・高橋(函)	2位 楠野(旭)	3位 高橋・戸小台(苫)
第21回	H 9.8. 9-10	岐阜県	3位 苫小牧	3位 仲山(苫)		3位 楠野(旭)	

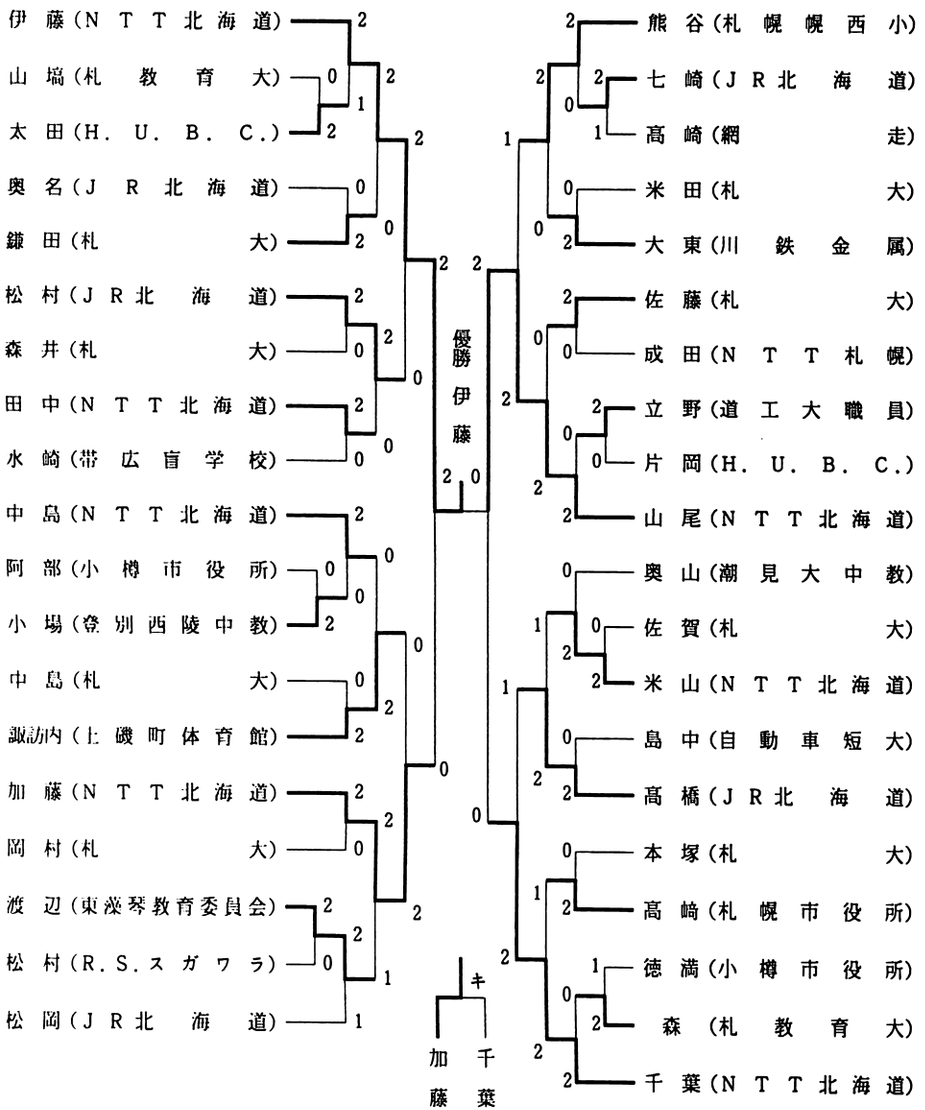
北海道バドミントン選手権大会全成績

第41回

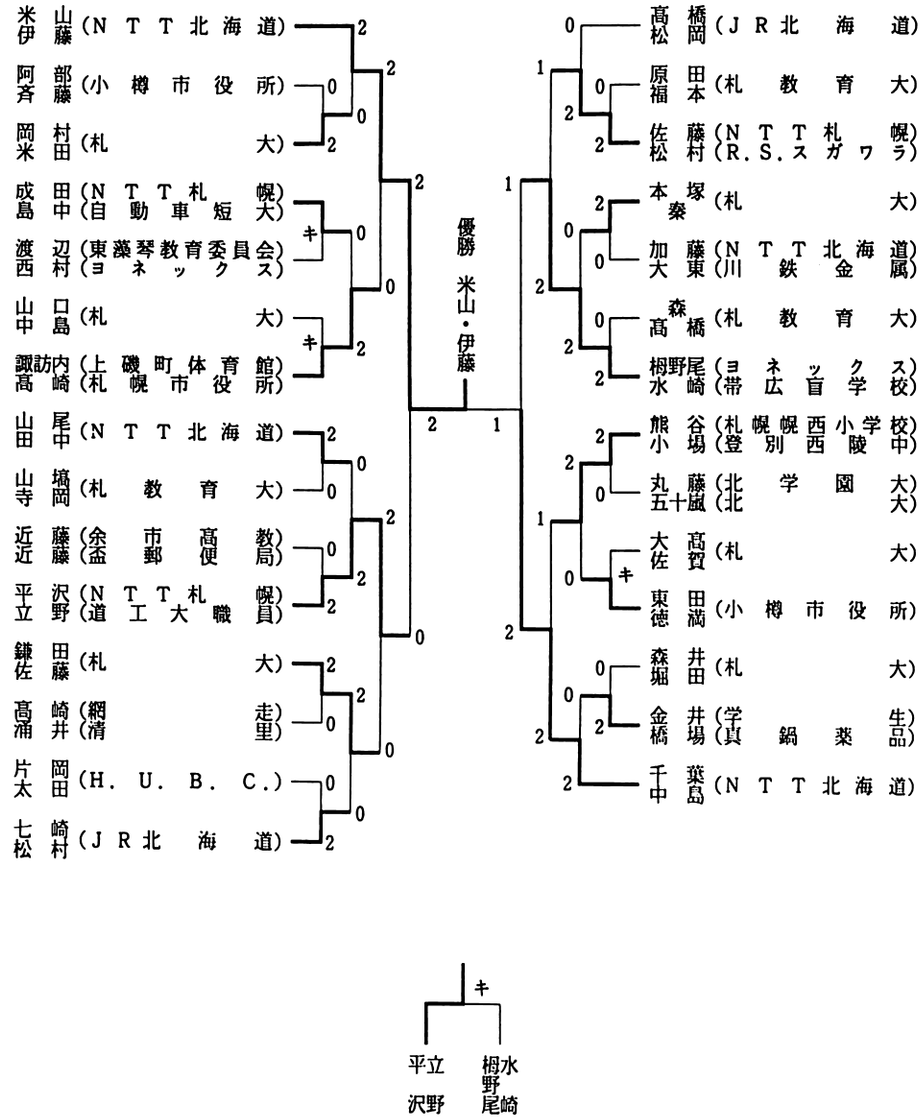
期日　昭和63年5月13日(金)・14日(土)・15日(日)

会場　札幌市豊平区体育館

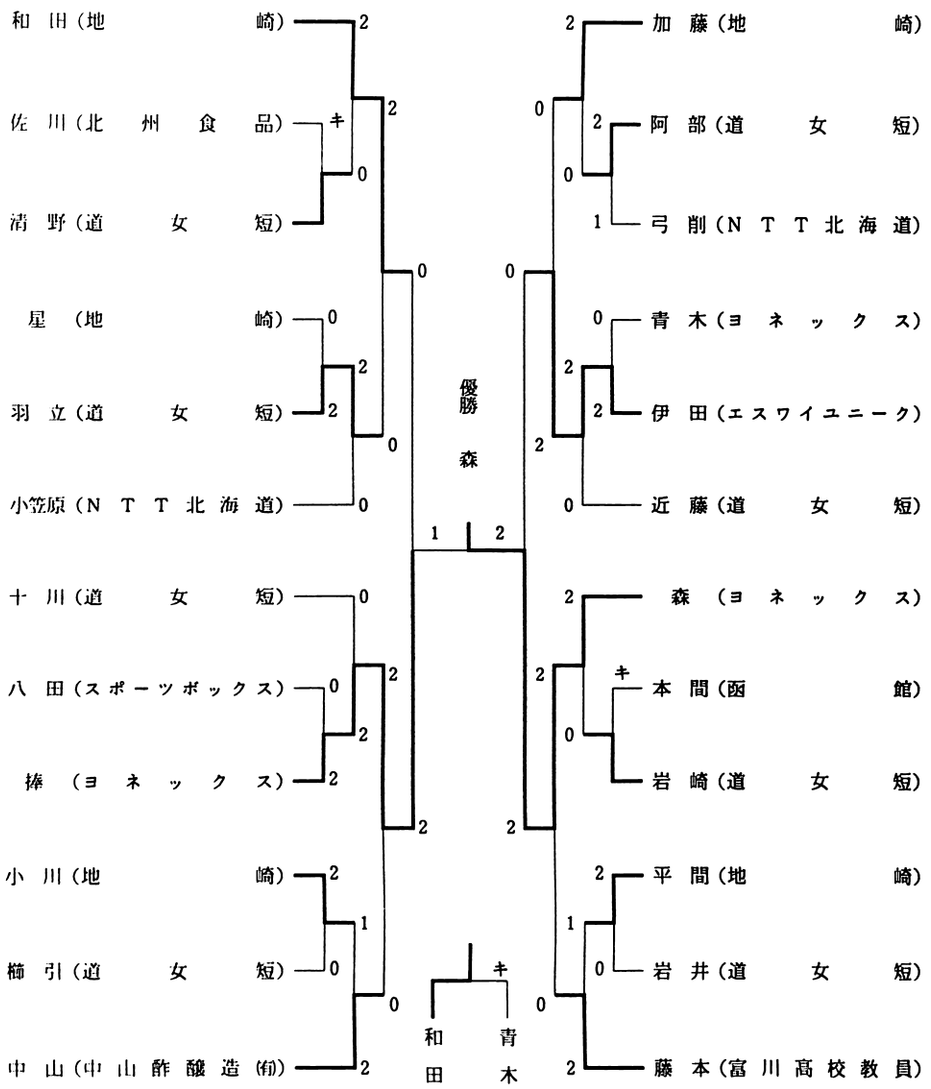
〈一般男子単〉MS



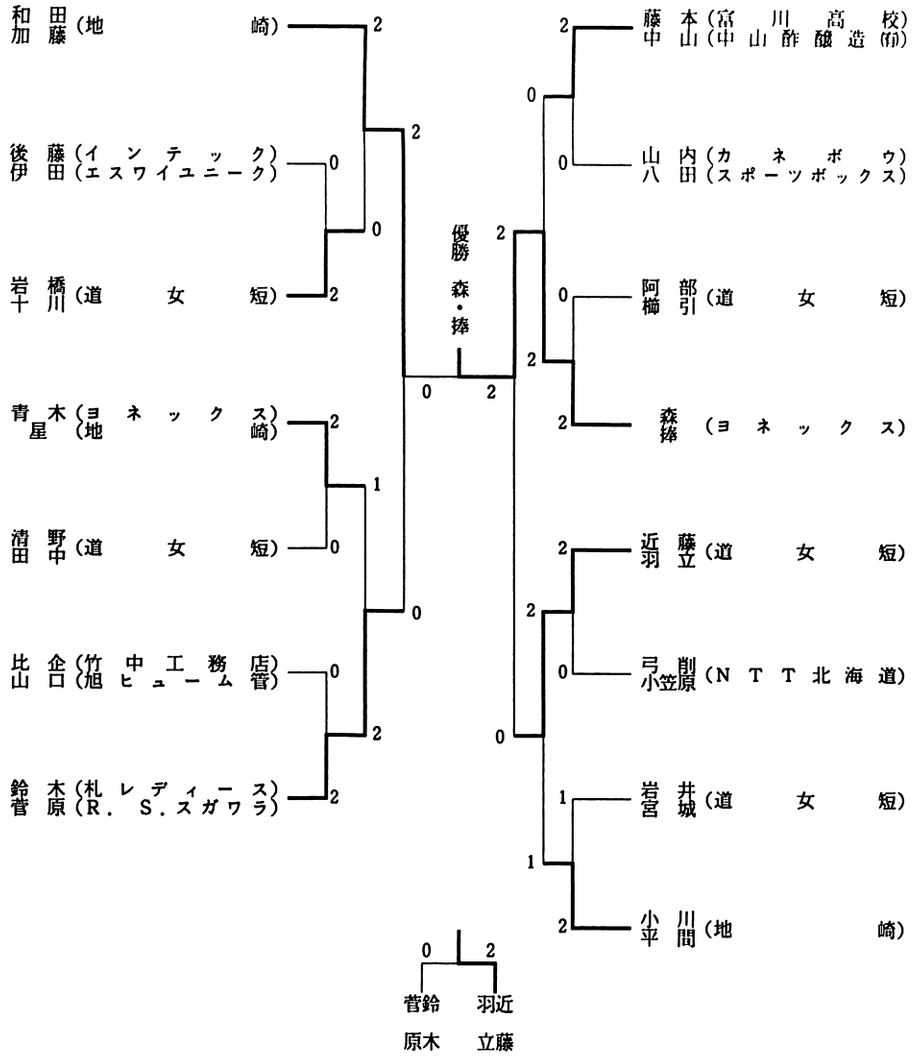
〈一般男子複〉MD



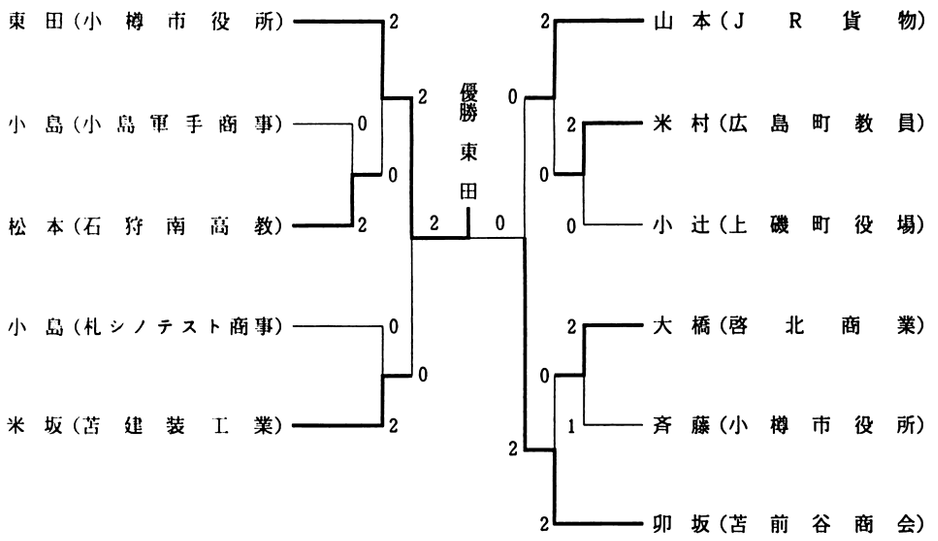
〈一般女子単〉ＬＳ



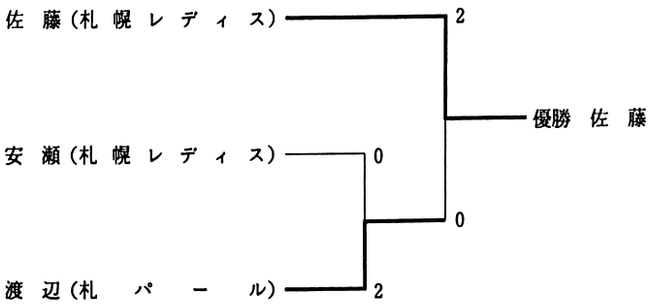
〈一般女子複〉ＬＤ



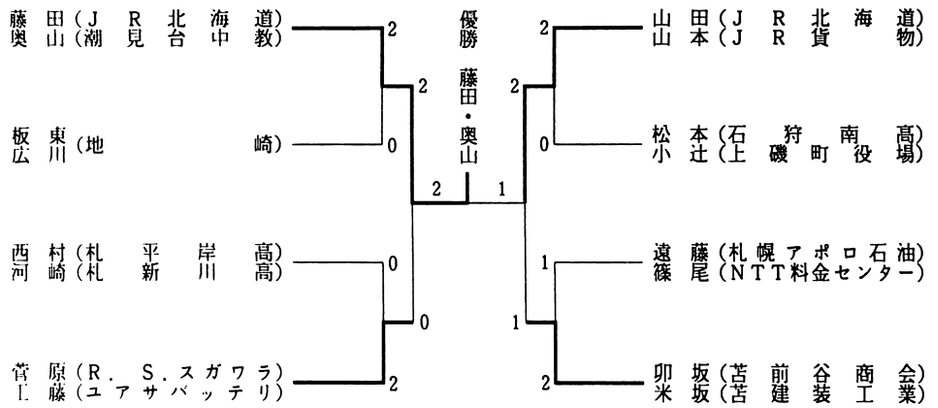
〈30歳男子単〉30ＭＳ



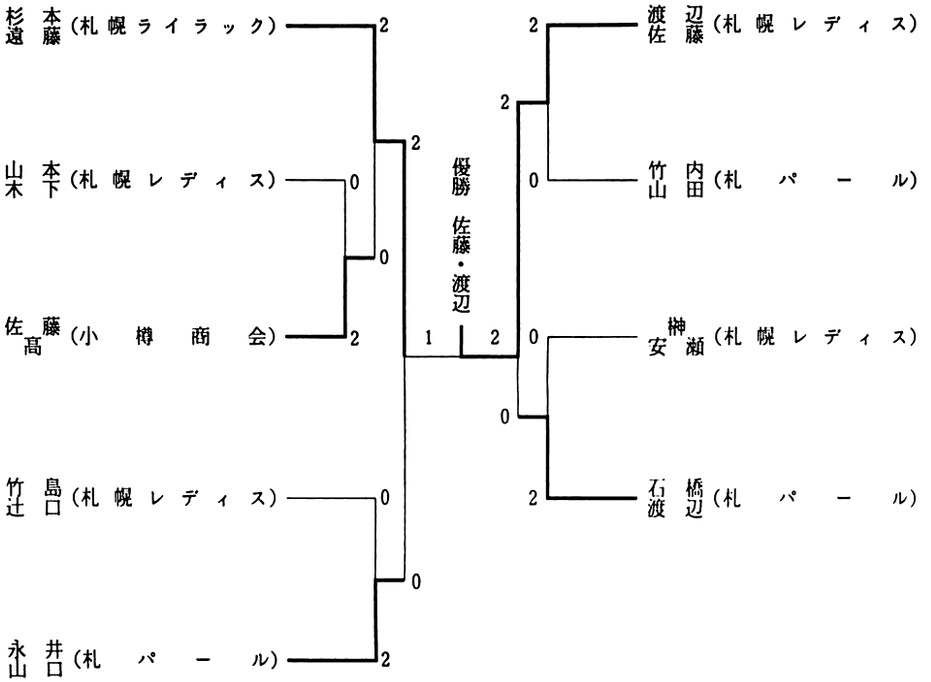
〈30歳女子単〉30ＬＳ



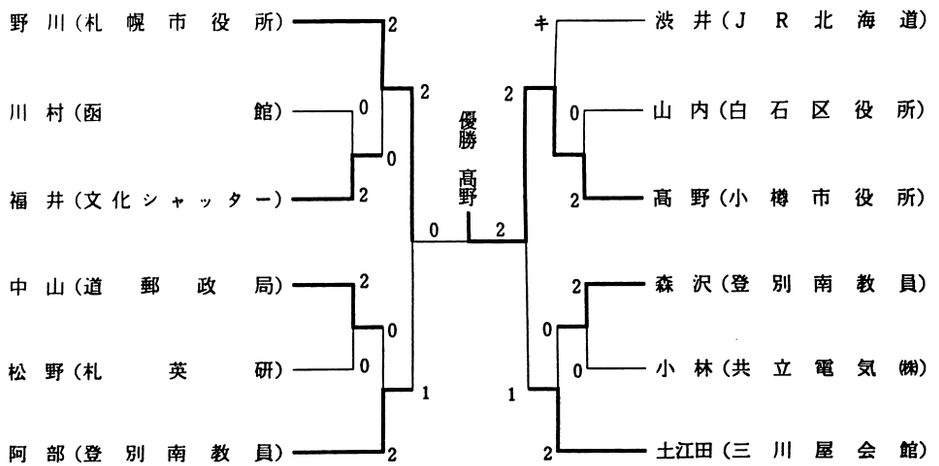
〈30歳男子複〉30ＭＤ



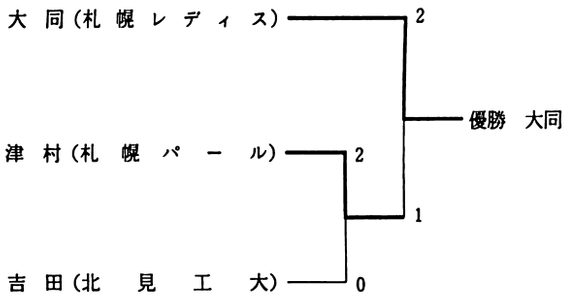
〈30歳女子複〉30ＬＤ



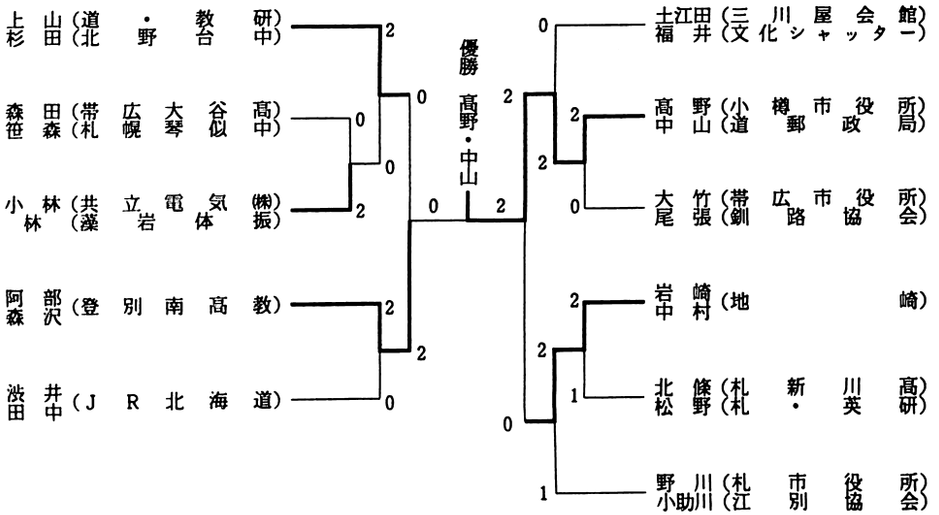
〈40歳男子単〉40ＭＳ



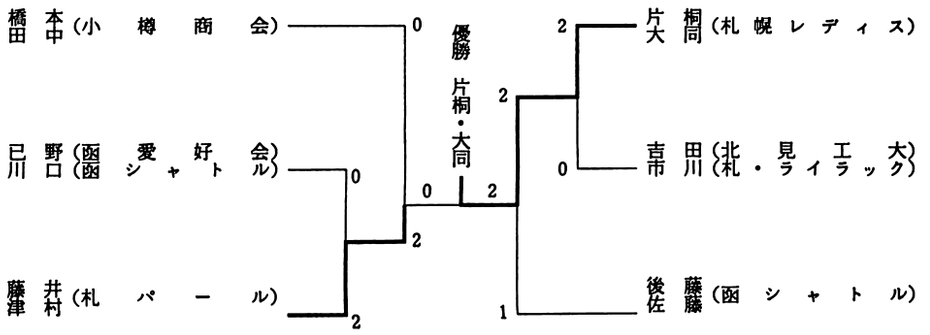
〈40歳女子単〉40ＬＳ



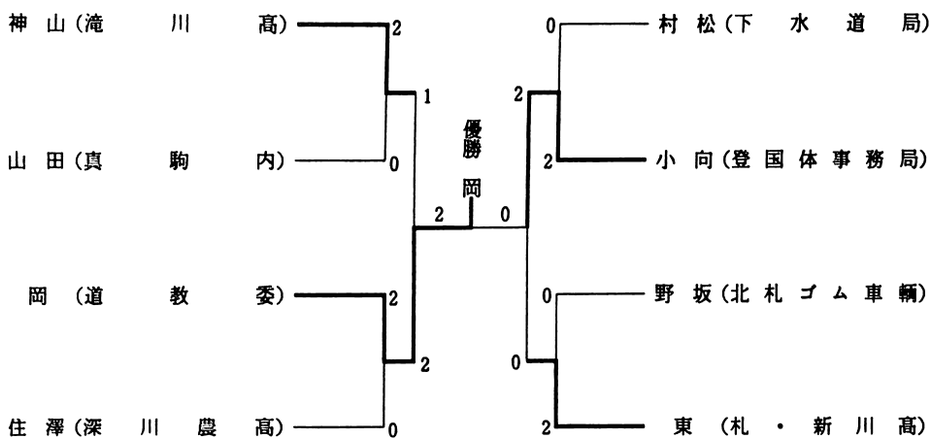
〈40歳男子複〉40ＭＤ



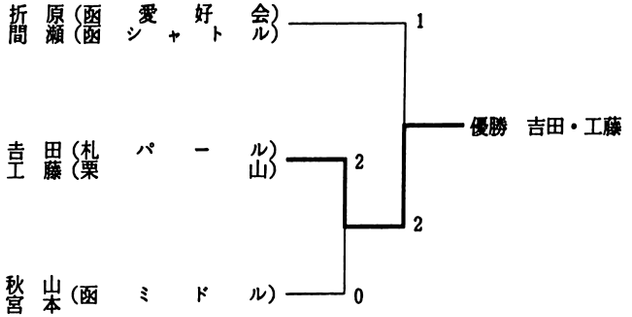
〈40歳女子複〉40ＬＤ



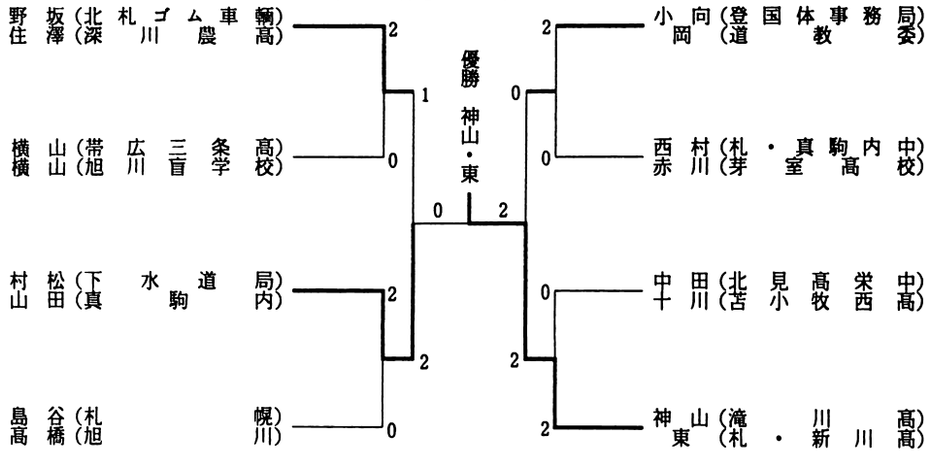
〈50歳男子単〉50ＭＳ



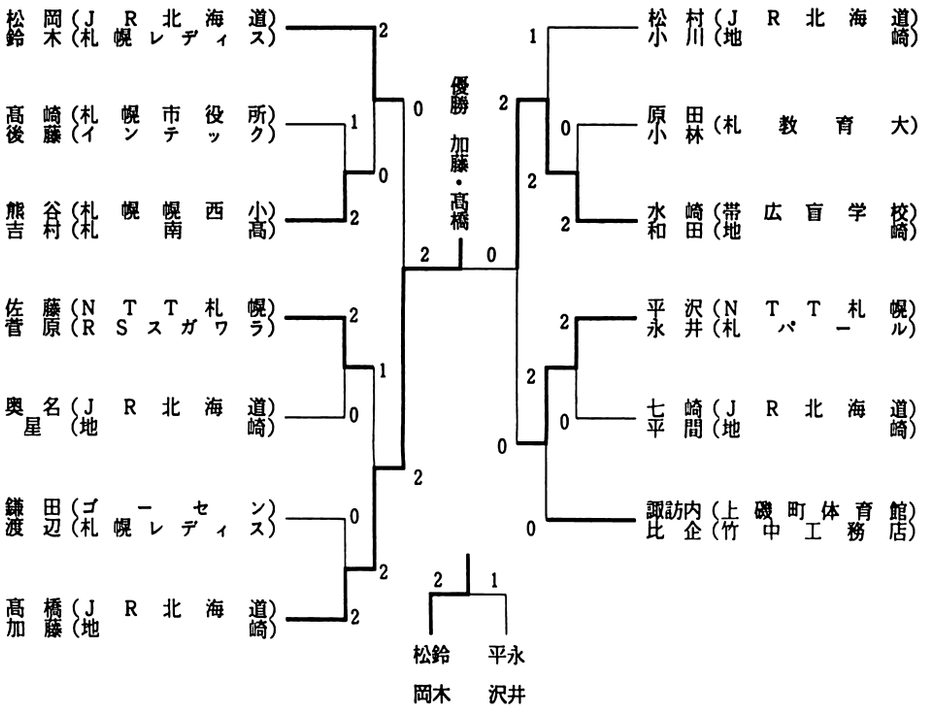
〈50歳女子複〉50ＬＤ



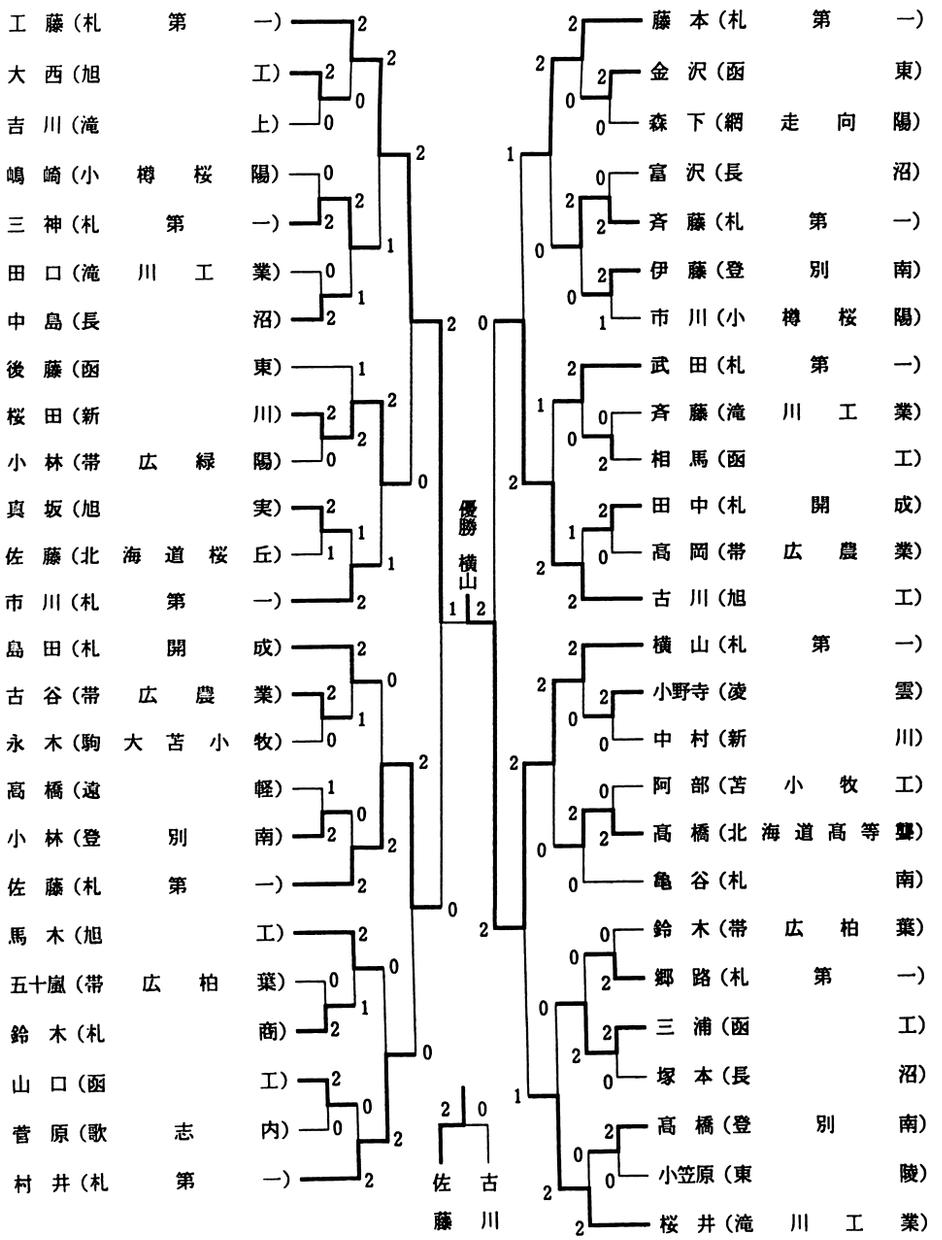
〈50歳男子複〉50ＭＤ



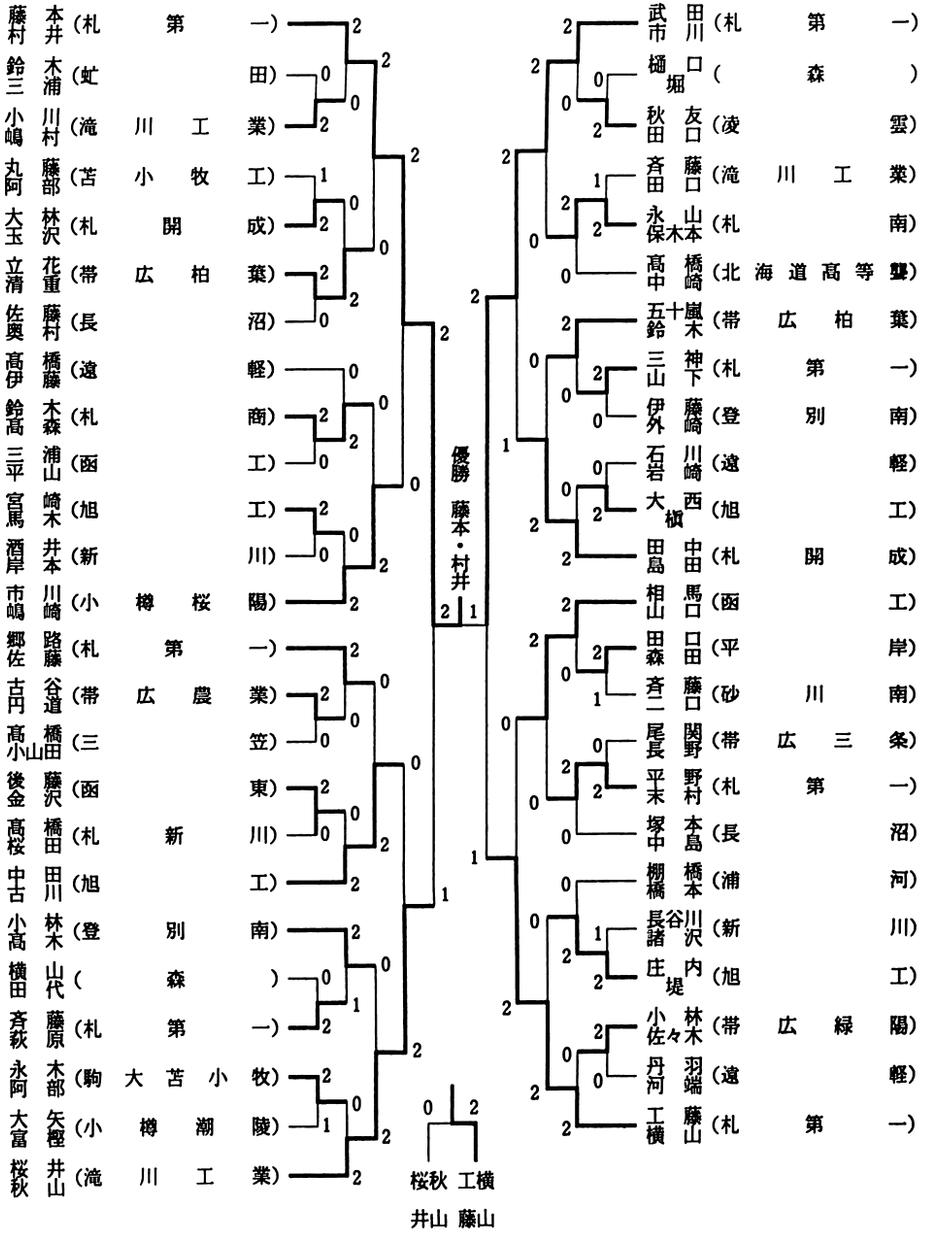
〈一般混合複〉ＭＸ



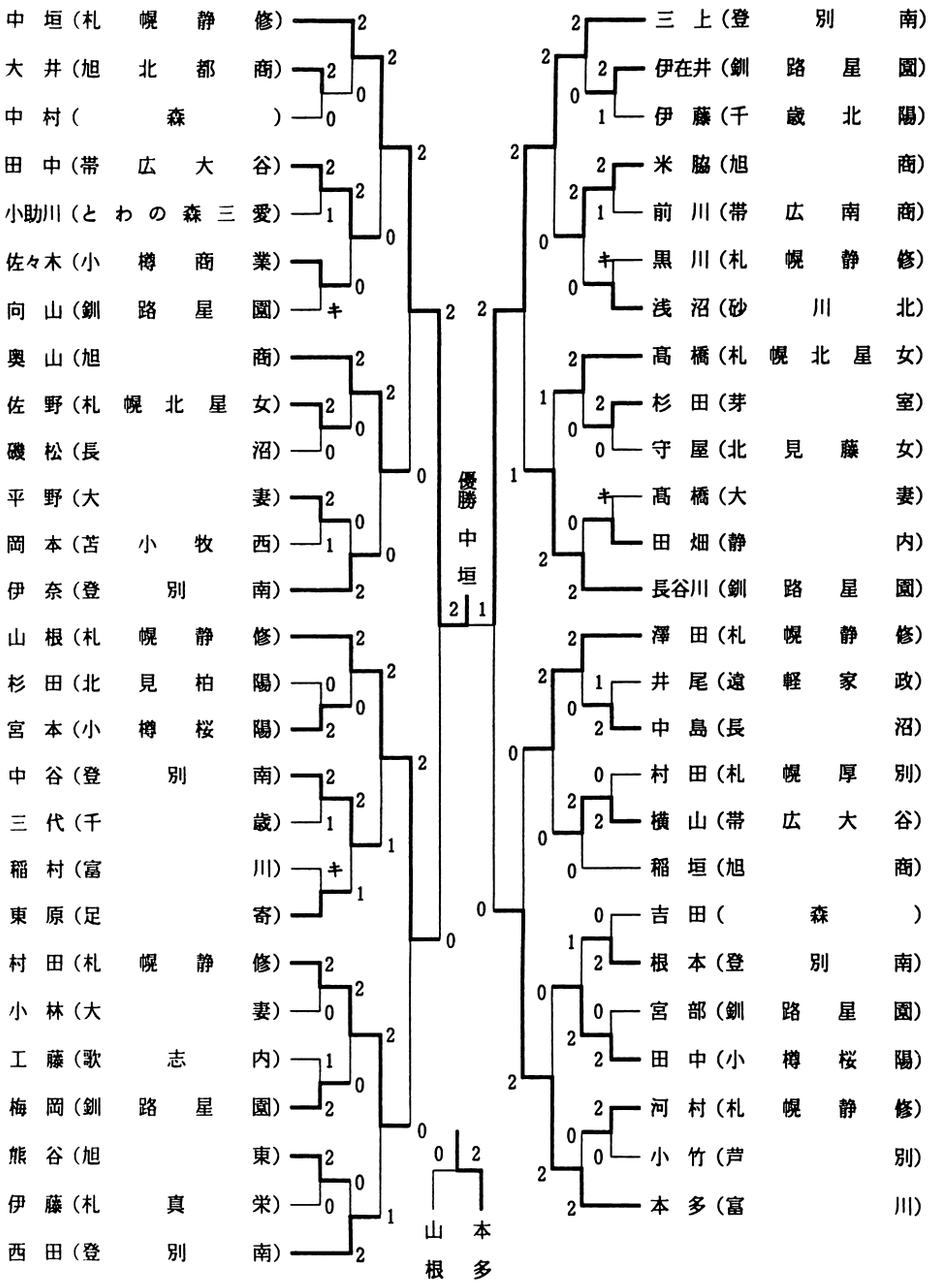
〈高校男子単〉ＢＳ



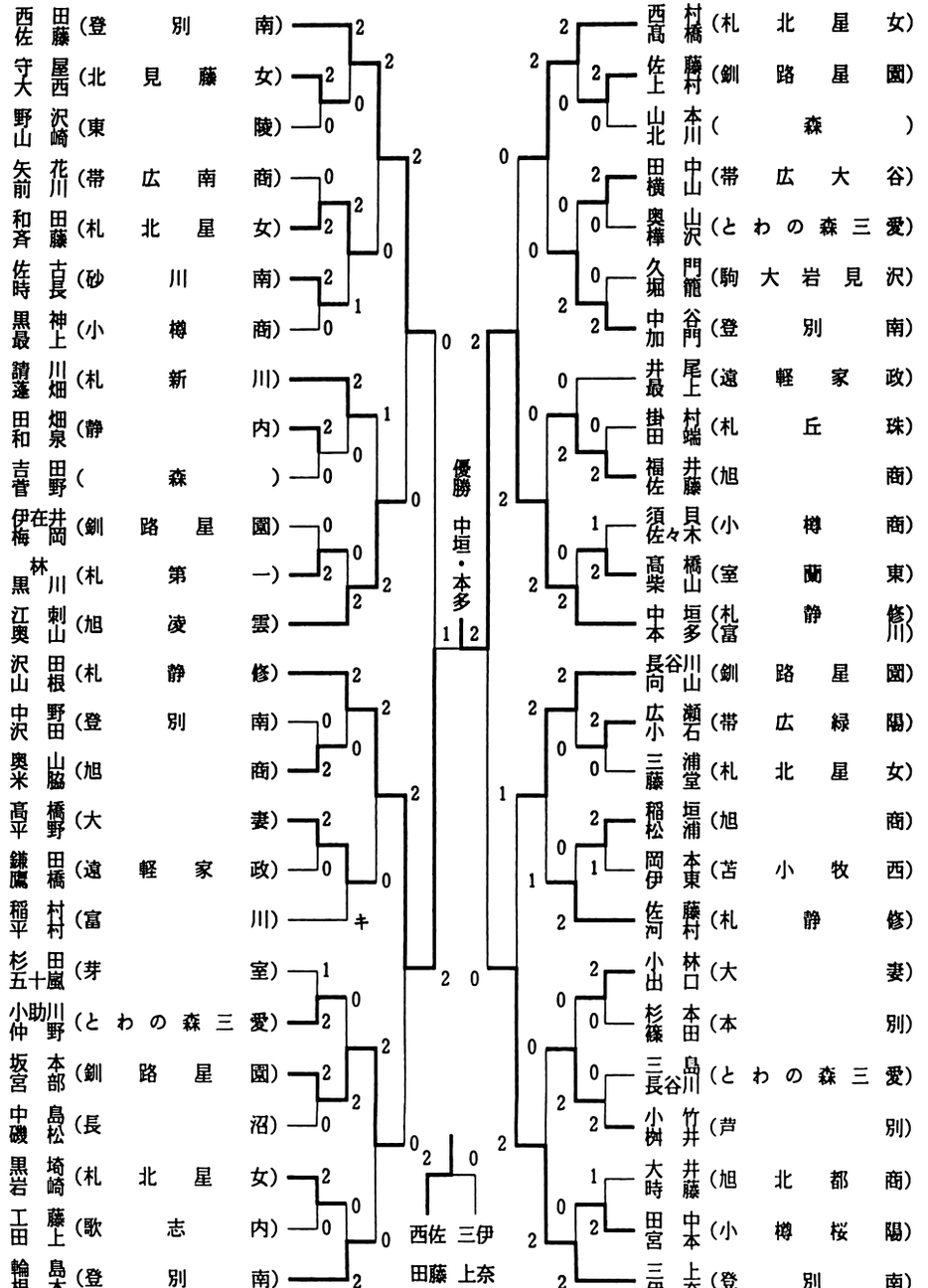
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



〈高校女子複〉ＧＤ

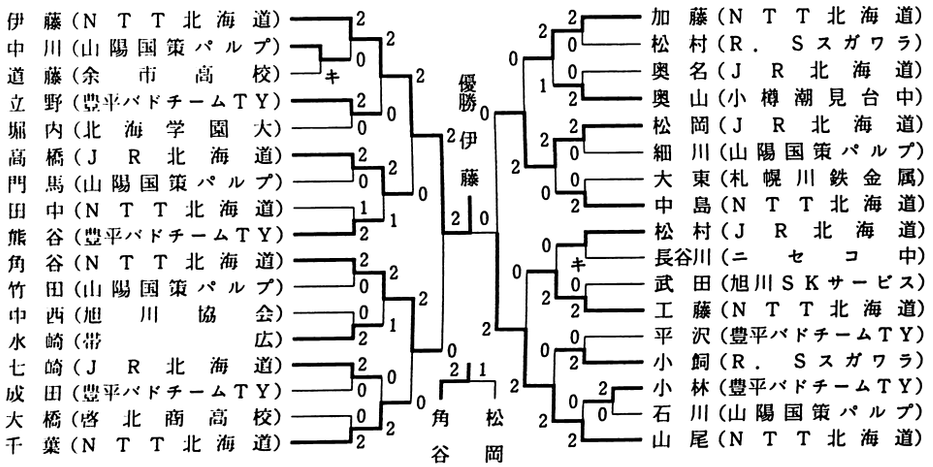


第42回

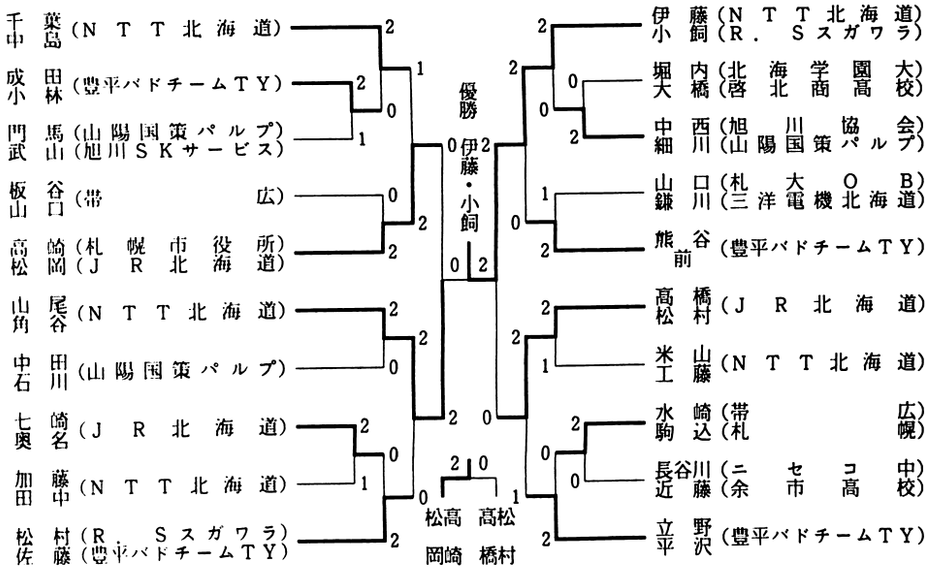
期日　平成元年８月18日(金)・19日(土)・20日(日)

会場　旭川市大雪アリーナ・旭川市総合体育館常盤分館

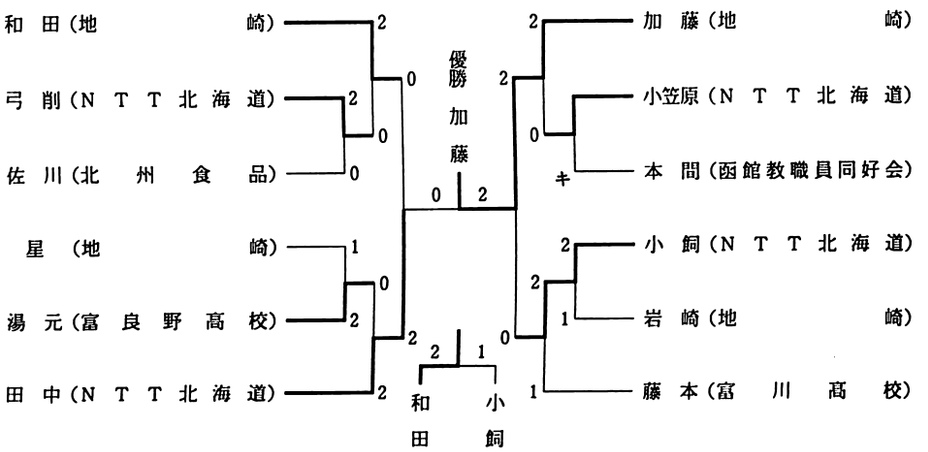
〈一般男子単〉ＭＳ



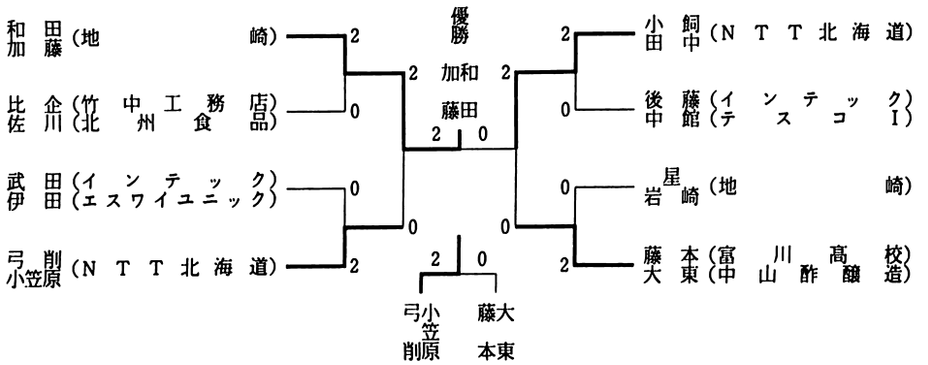
〈一般男子複〉ＭＤ



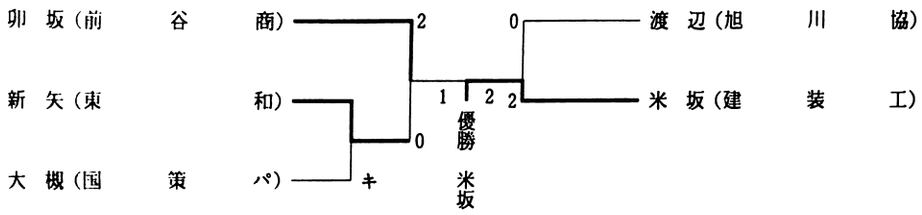
〈一般女子単〉ＬＳ



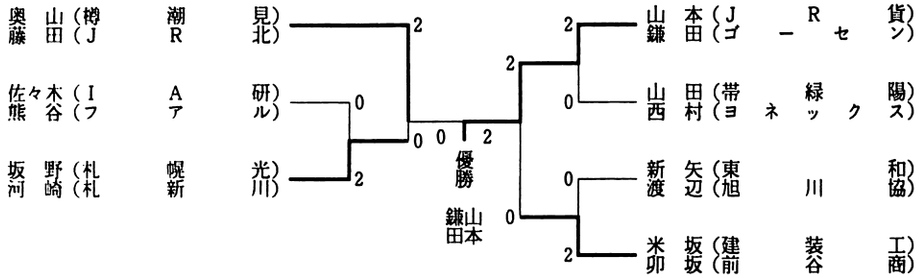
〈一般女子複〉ＬＤ



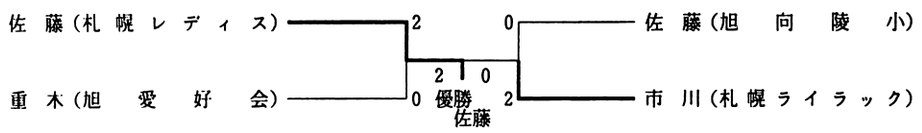
〈30歳男子単〉30ＭＳ



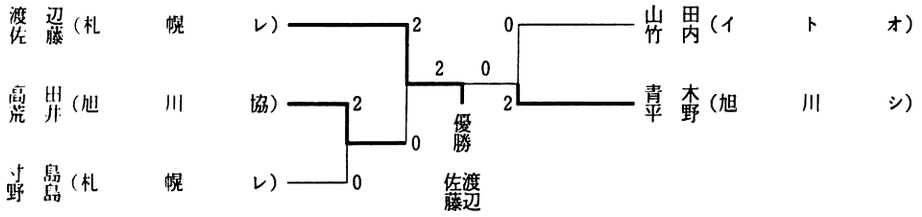
〈30歳男子複〉30ＭＤ



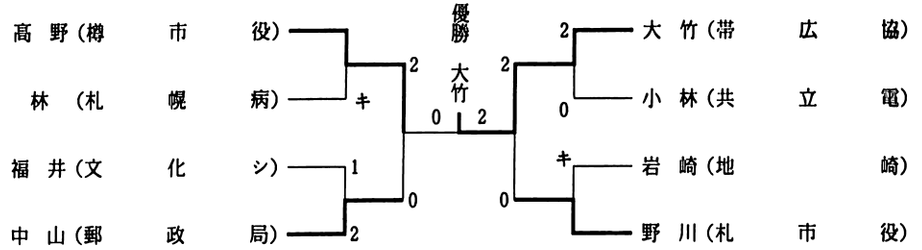
〈30歳女子単〉30ＬＳ



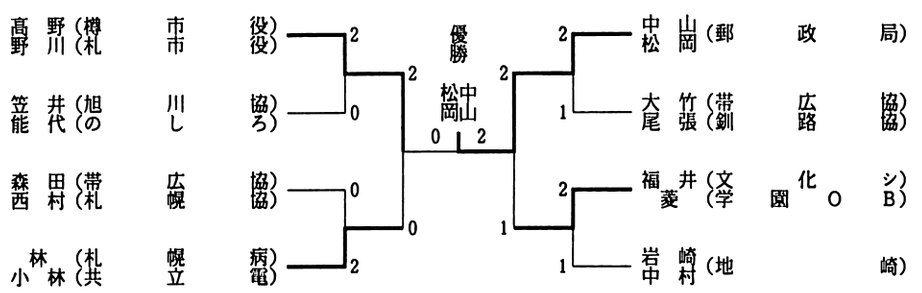
〈30歳女子複〉30ＬＤ



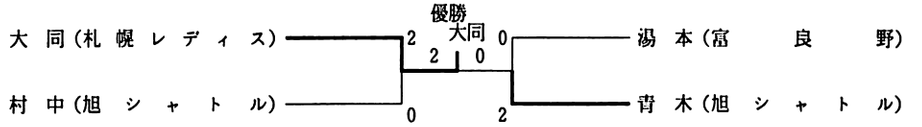
〈40歳男子単〉40ＭＳ



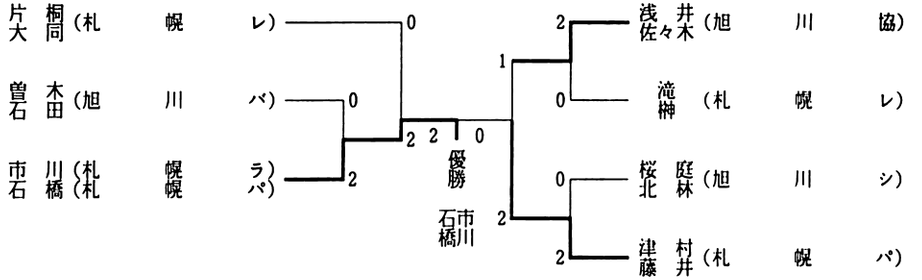
〈40歳男子複〉40ＭＤ



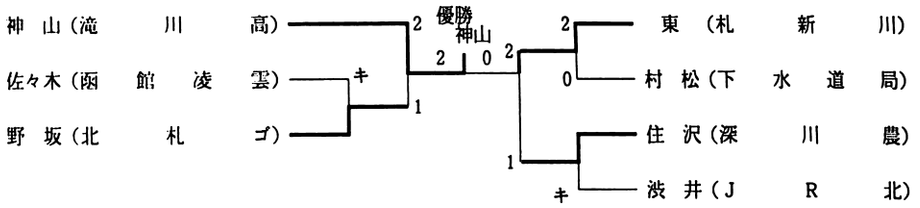
〈40歳女子単〉40ＬＳ



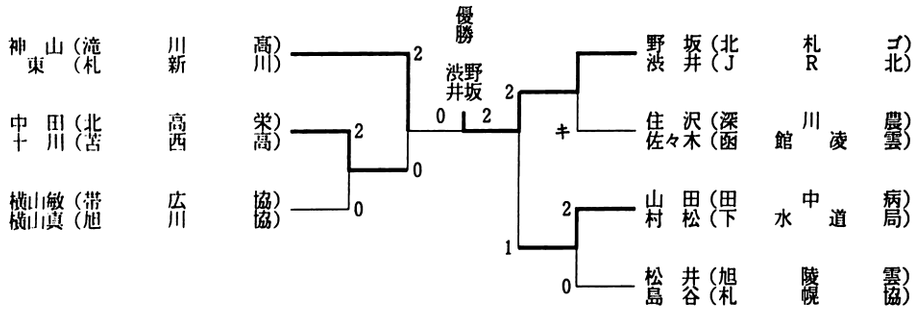
〈40歳女子複〉40ＬＤ



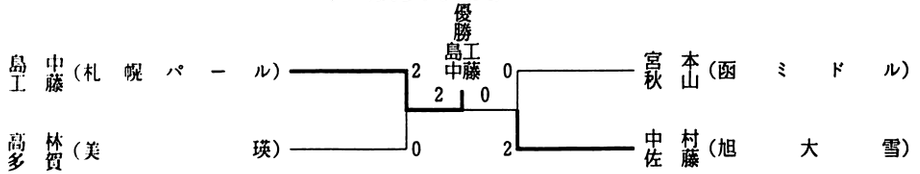
〈50歳男子単〉50ＭＳ



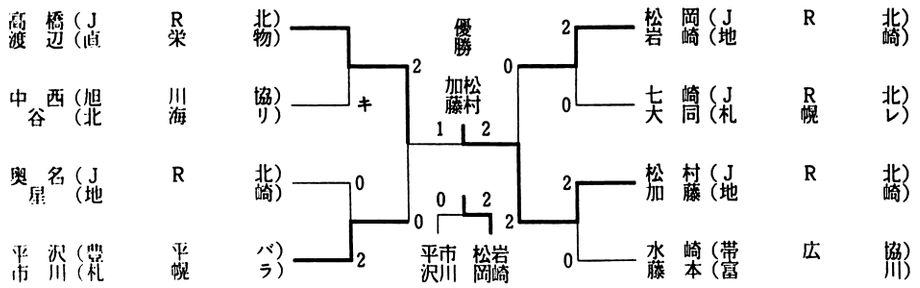
〈50歳男子複〉50ＭＤ



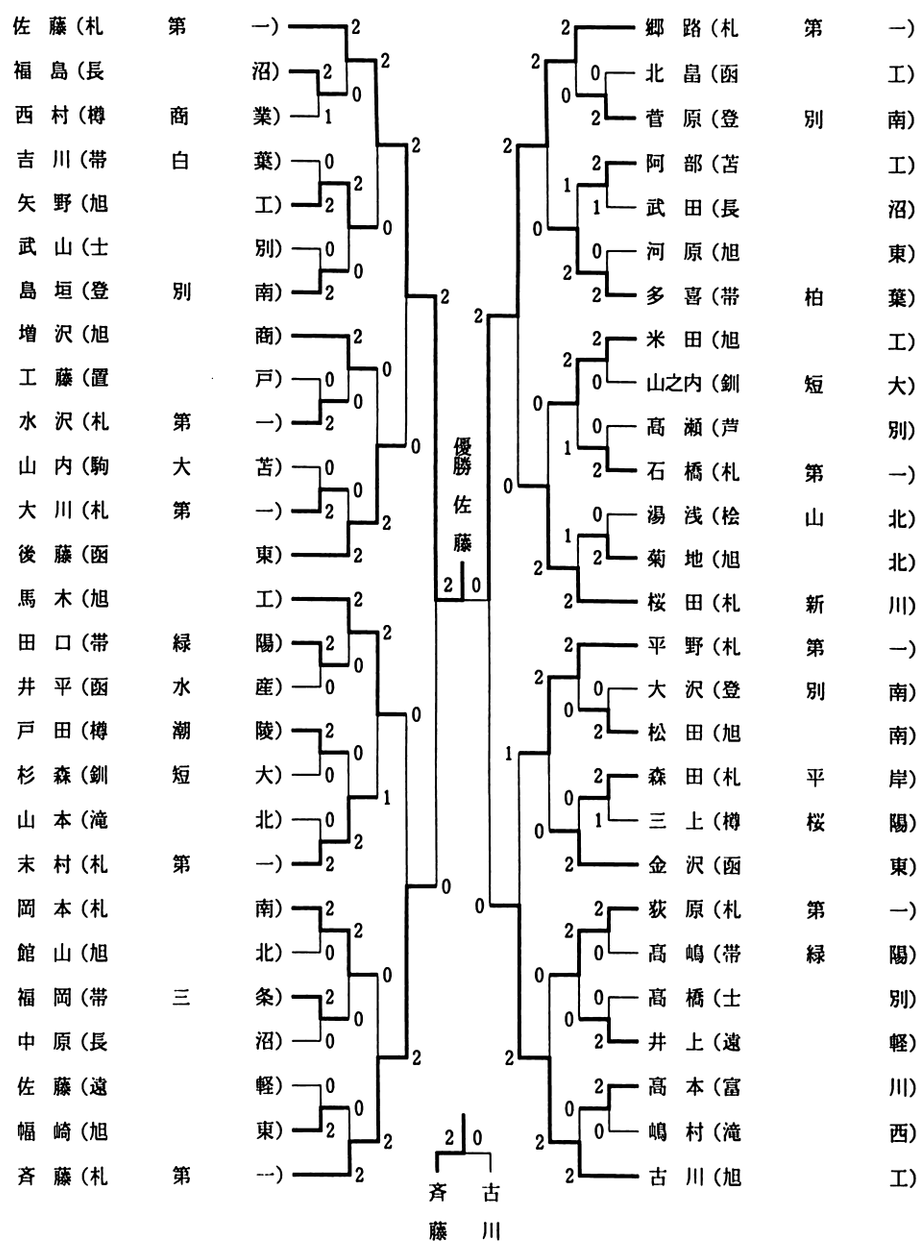
〈50歳女子複〉50ＬＤ



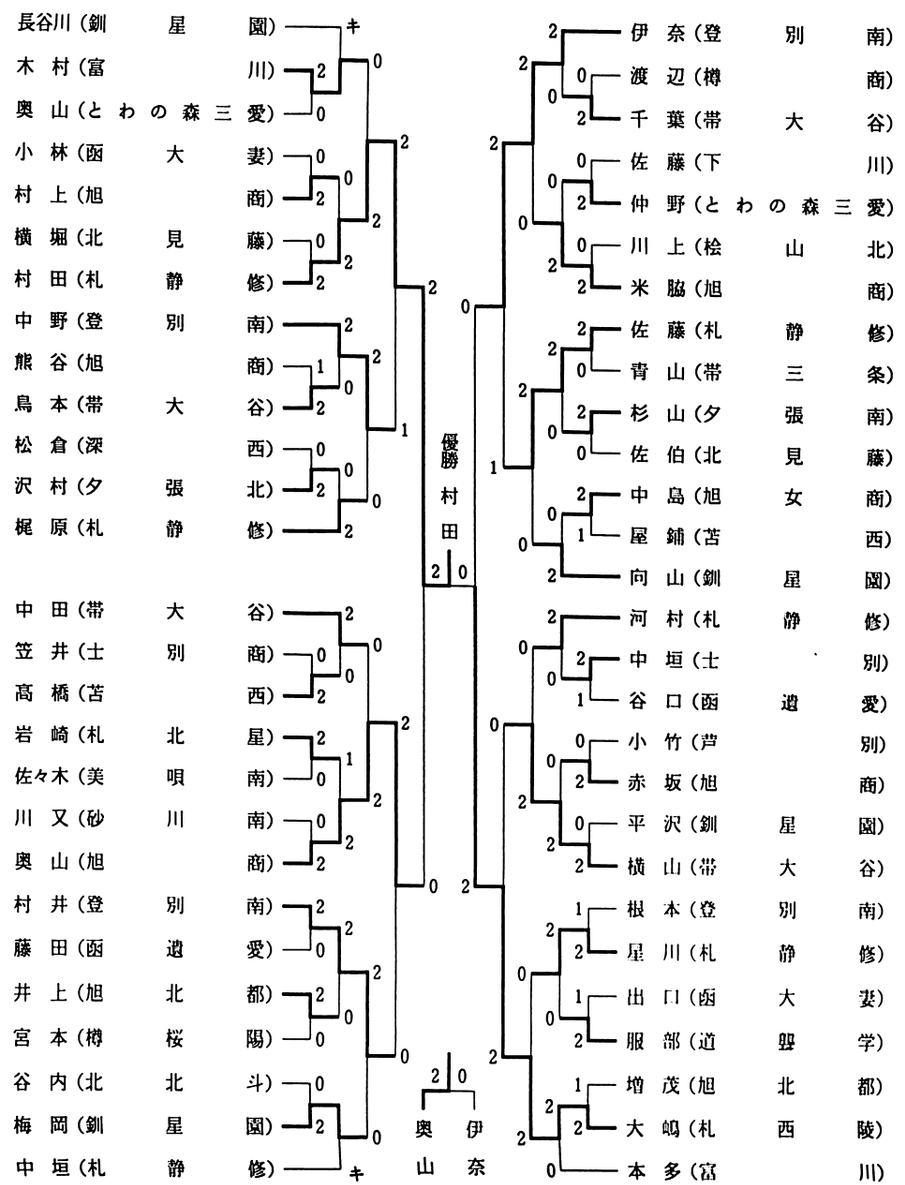
〈混合複〉ＭＩＸ



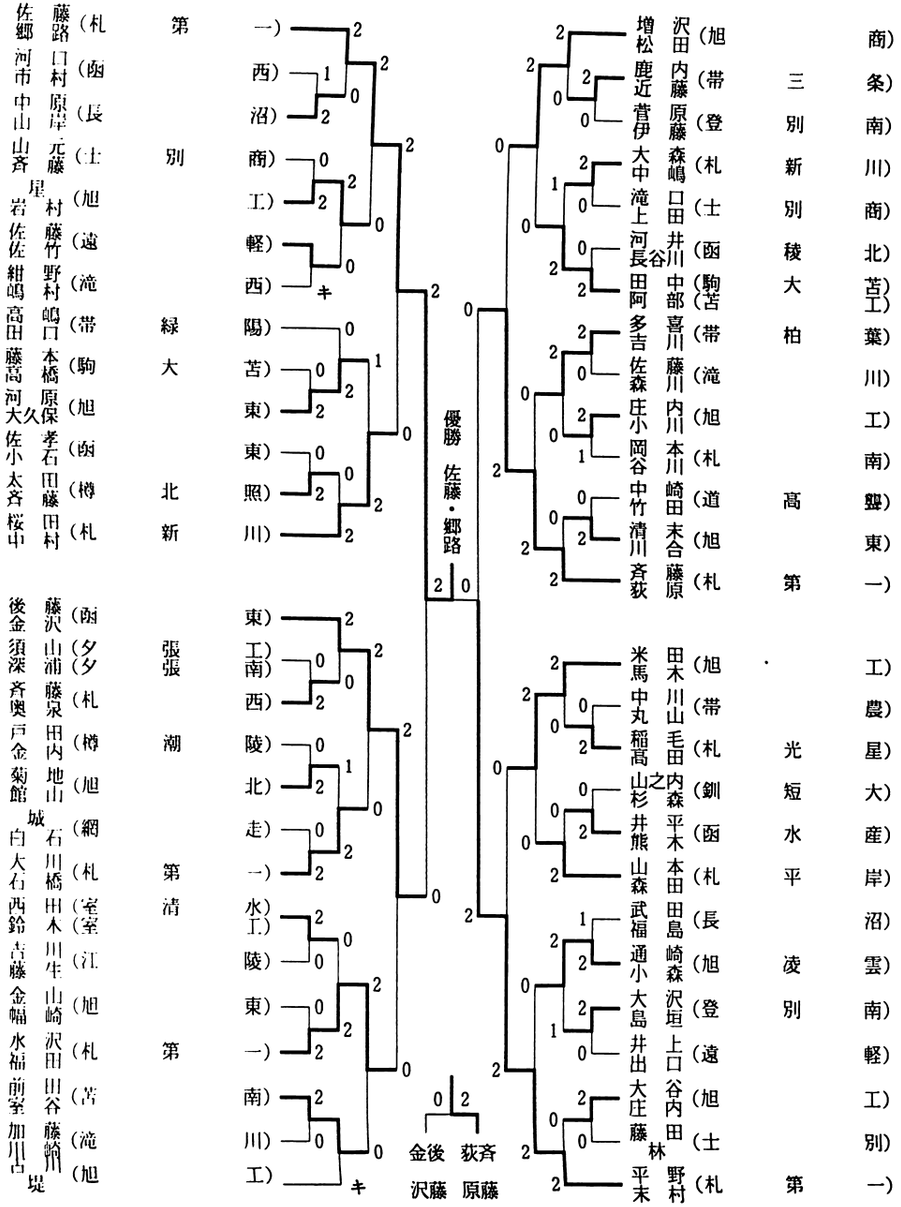
〈高校男子単〉ＢＳ



〈高校女子単〉ＧＳ



〈高校男子複〉ＢＤ

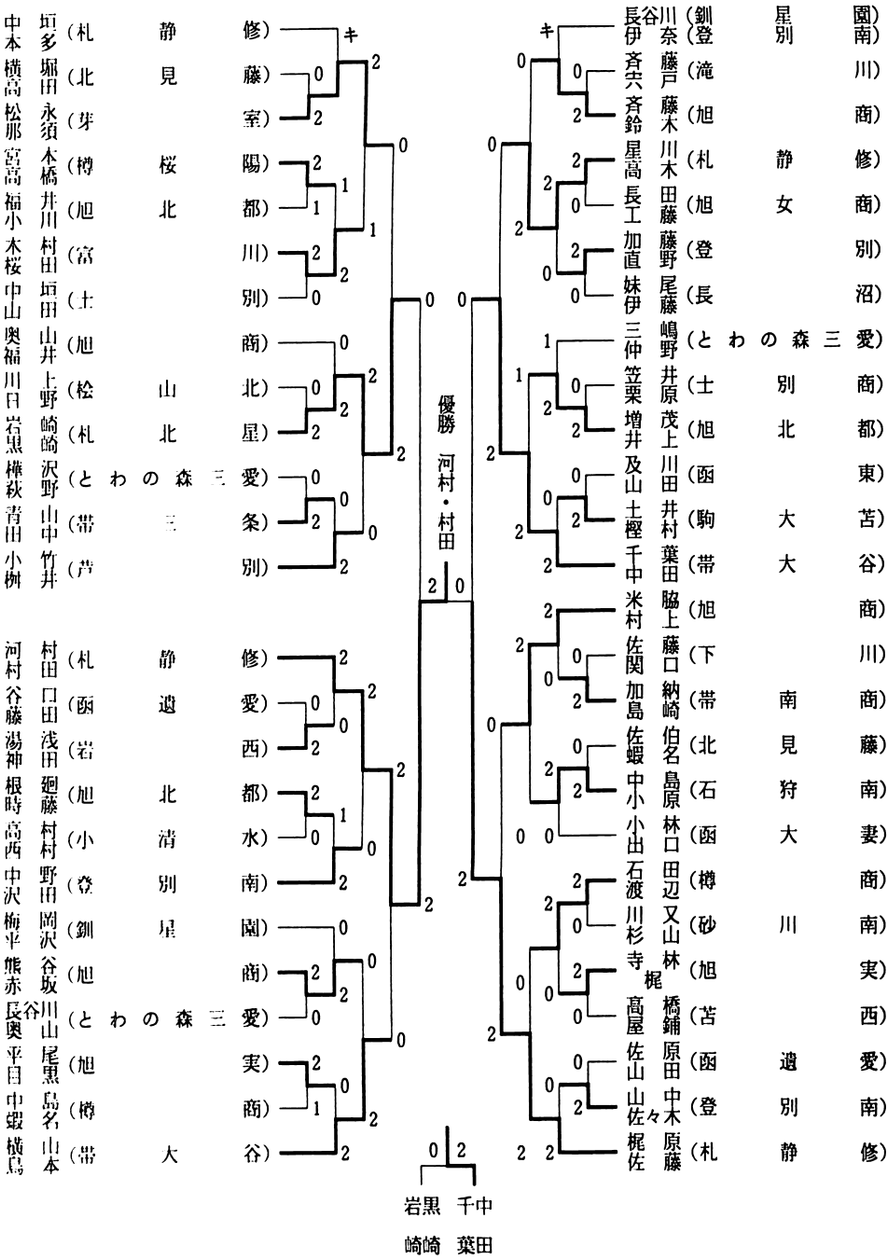


第別緑大北新張潮第清第

藤路（札）
口村（函）
原岸（長）
元藤（士）
村藤竹野村嶋口本橋原保孝石田藤田村（旭）
星（遠）
岩佐佐紺嶋高田藤高河大佐小太斉桜中（滝）
（帯）
（駒）
（旭）
（函）
（樽）
（札）

藤沢山浦藤泉田内地山（函）
（夕）
（夕）
（札）
（樽）
（旭）
（網）
石川橋田木川生山崎沢田山谷藤鈴川（札）
（室）
（室）
（江）
（旭）
（札）
（苫）
（滝）
（旭）
後金須深斉奥戸金菊館城白大石西鈴吉藤金幅水福前室加川古堤

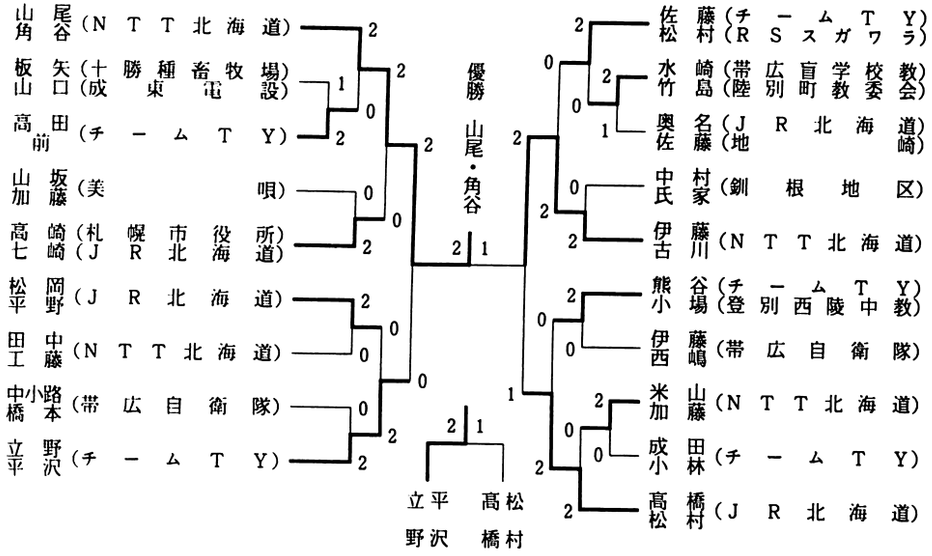
〈高校女子複〉ＧＤ



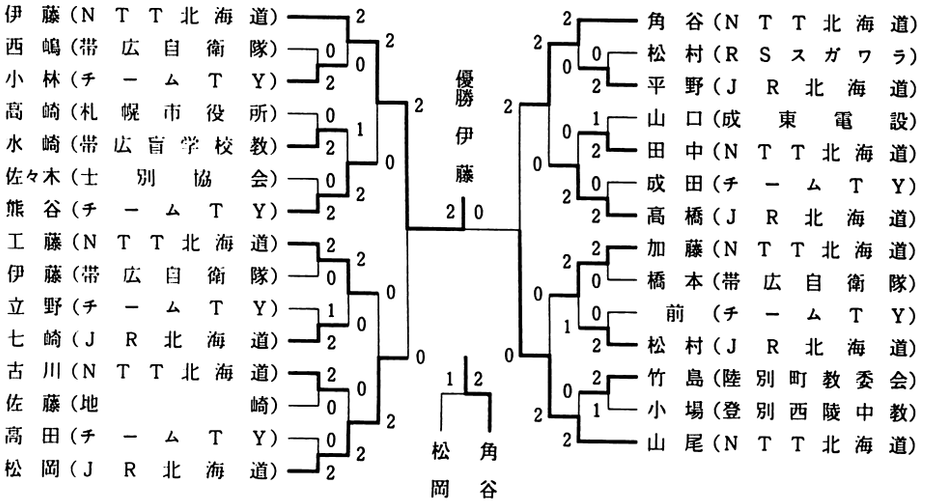
第43回

期日　平成２年５月11日(金)～13日(日)
会場　帯広市総合体育館

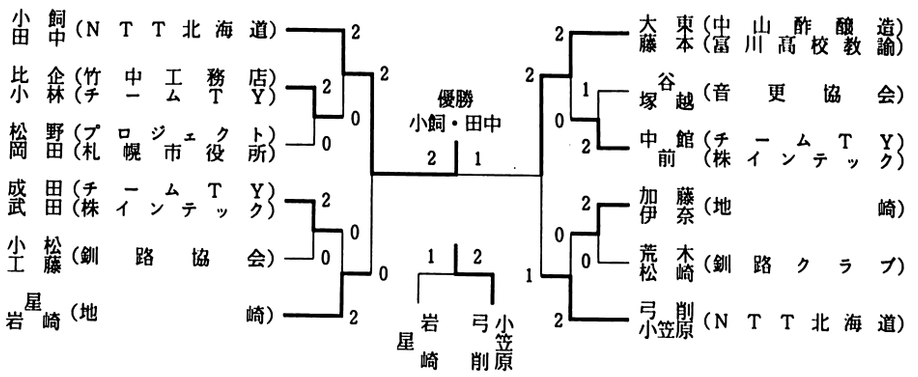
〈一般男子複〉ＭＤ



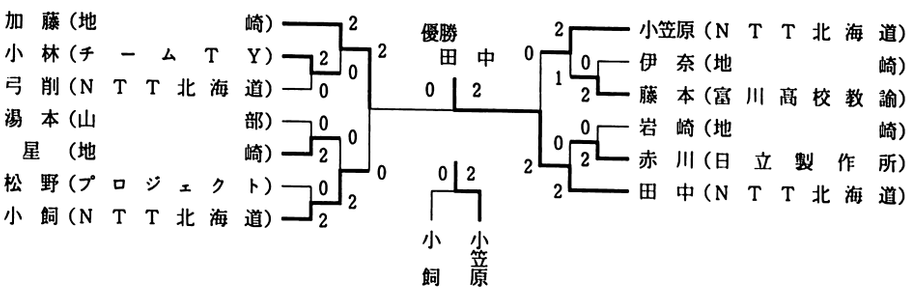
〈一般男子単〉ＭＳ



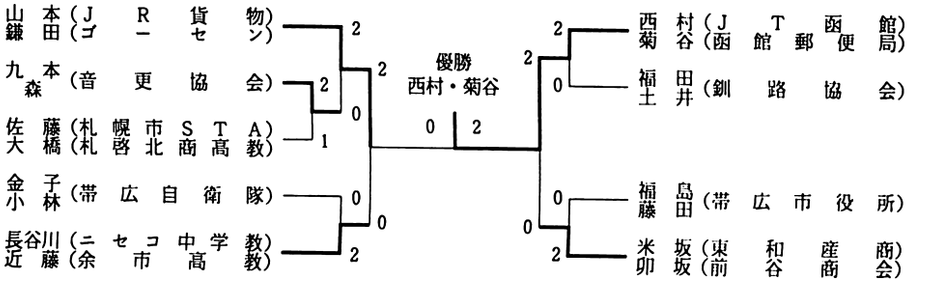
〈一般女子複〉ＬＤ



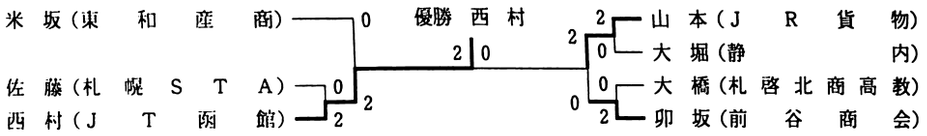
〈一般女子単〉ＬＳ



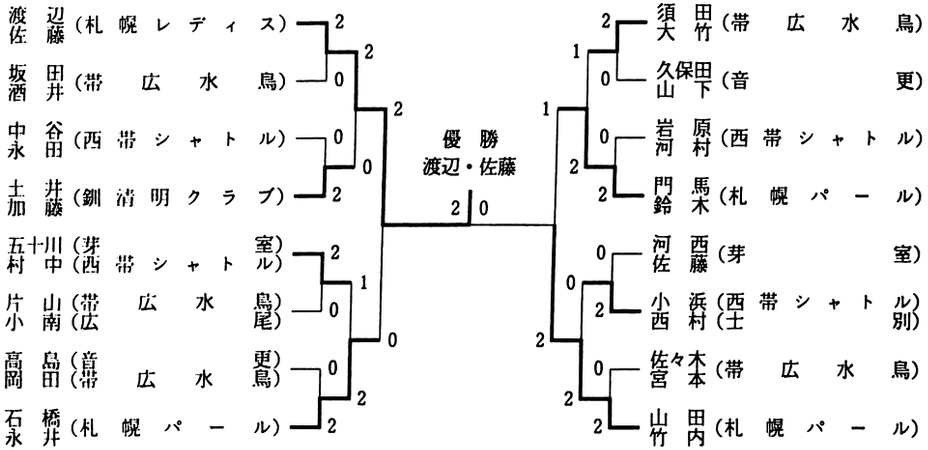
〈30歳男子複〉ＭＤ



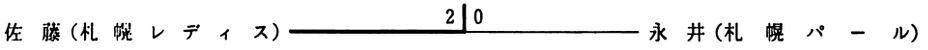
〈30歳男子単〉ＭＳ



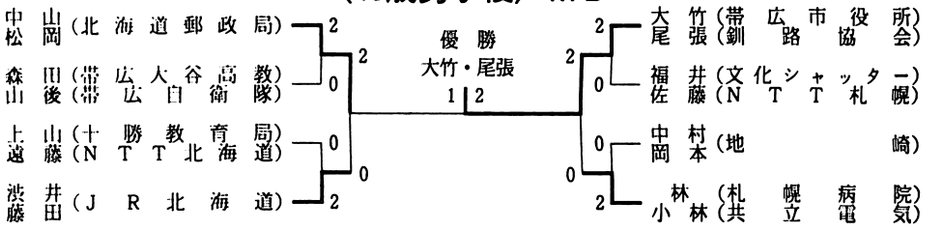
〈30歳女子複〉ＬＤ



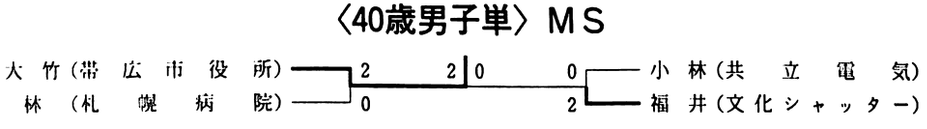
〈30歳女子単〉ＬＳ



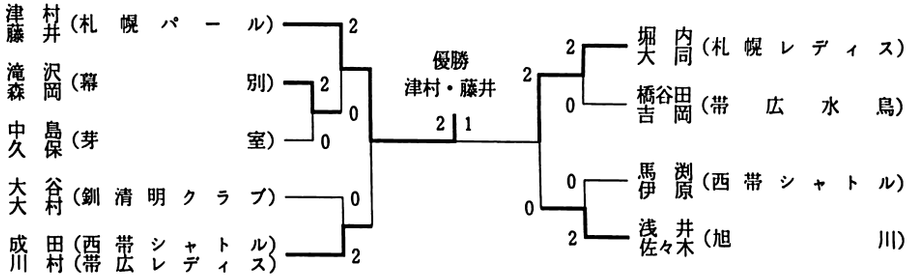
〈40歳男子複〉ＭＤ



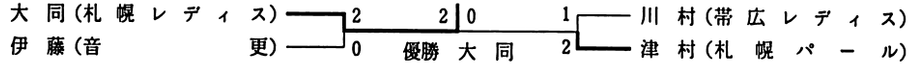
〈40歳男子単〉ＭＳ



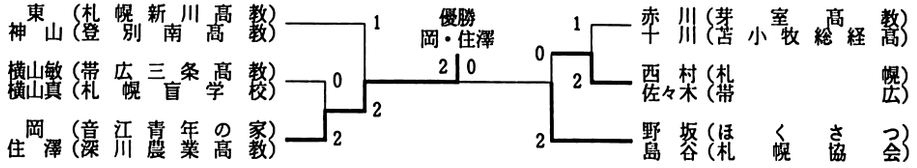
〈40歳女子複〉ＬＤ



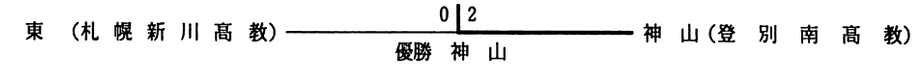
〈40歳女子単〉ＬＳ



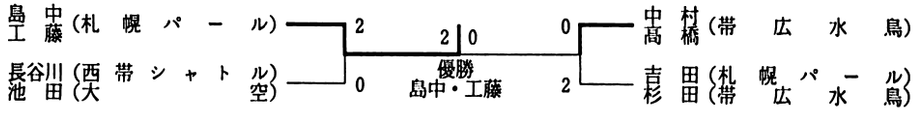
〈50歳男子複〉ＭＤ



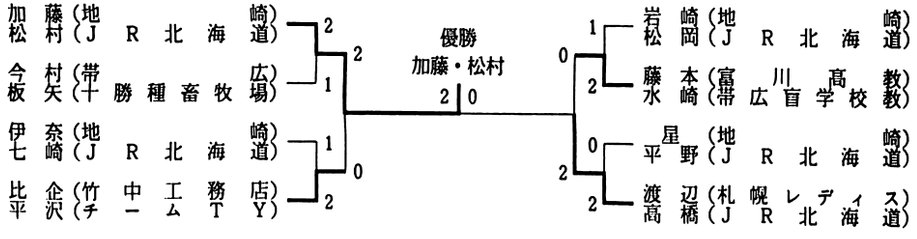
〈50歳男子単〉ＭＳ



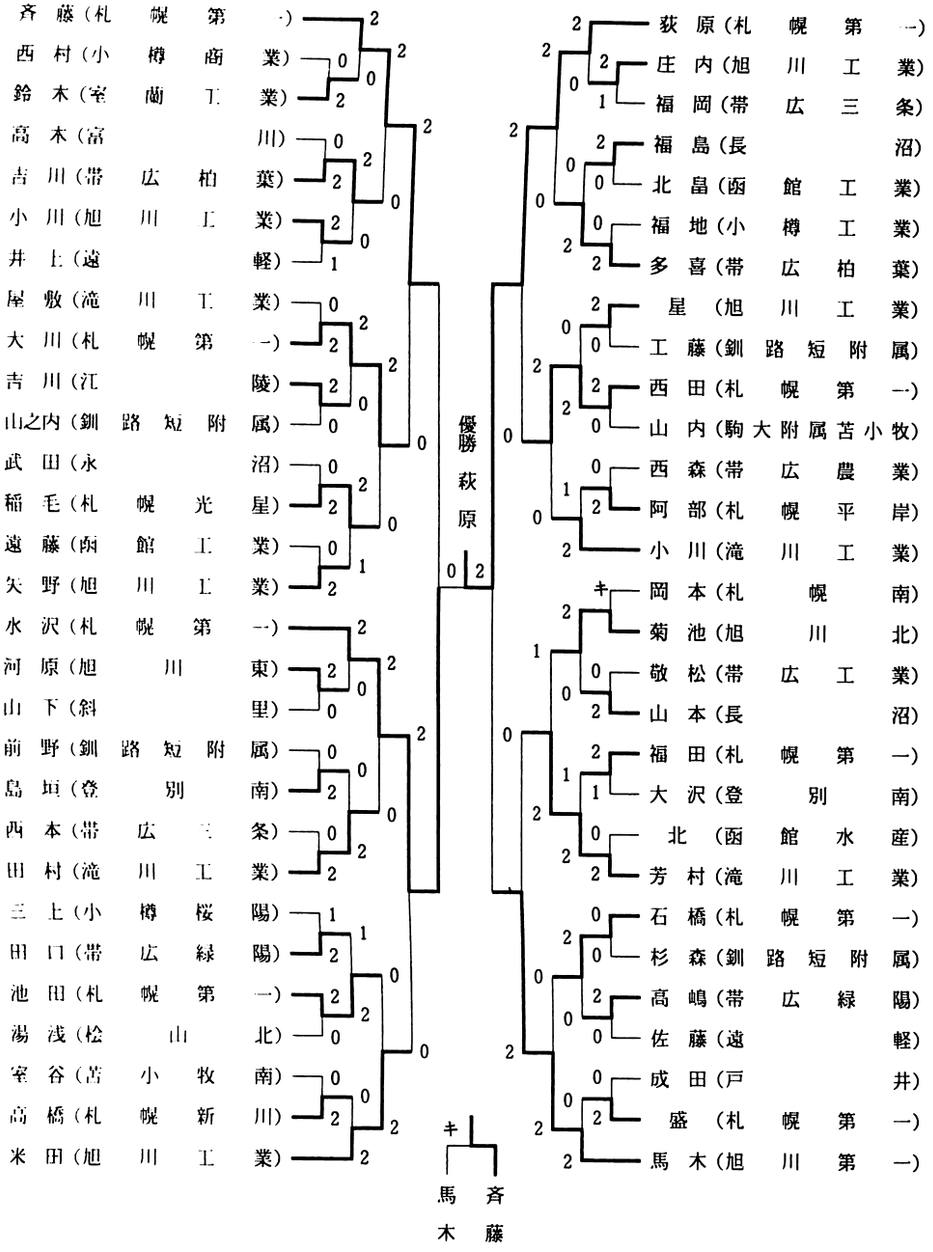
〈50歳女子複〉ＬＤ



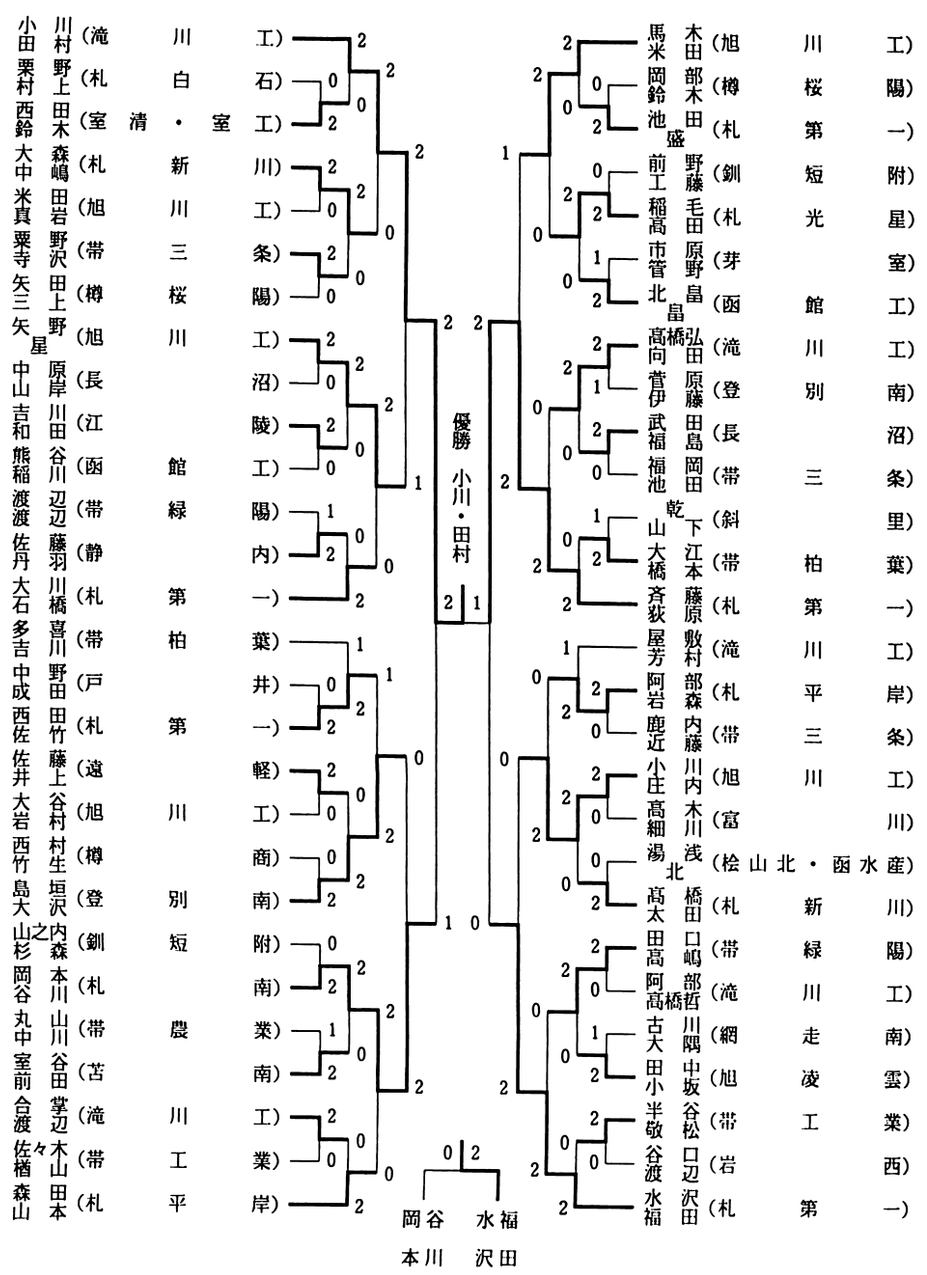
〈混合複〉ＭｉＸ



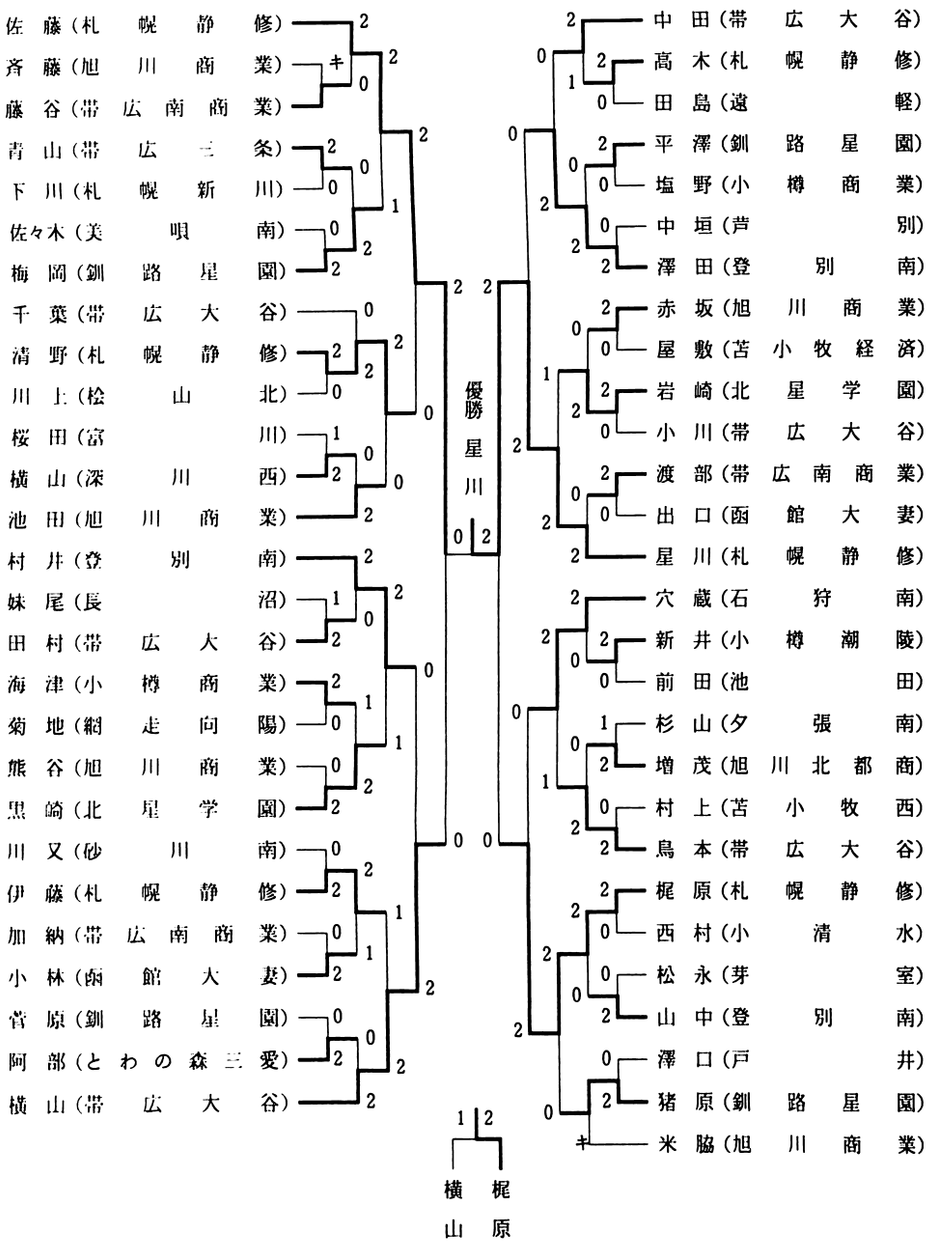
〈高校男子単〉ＢＳ



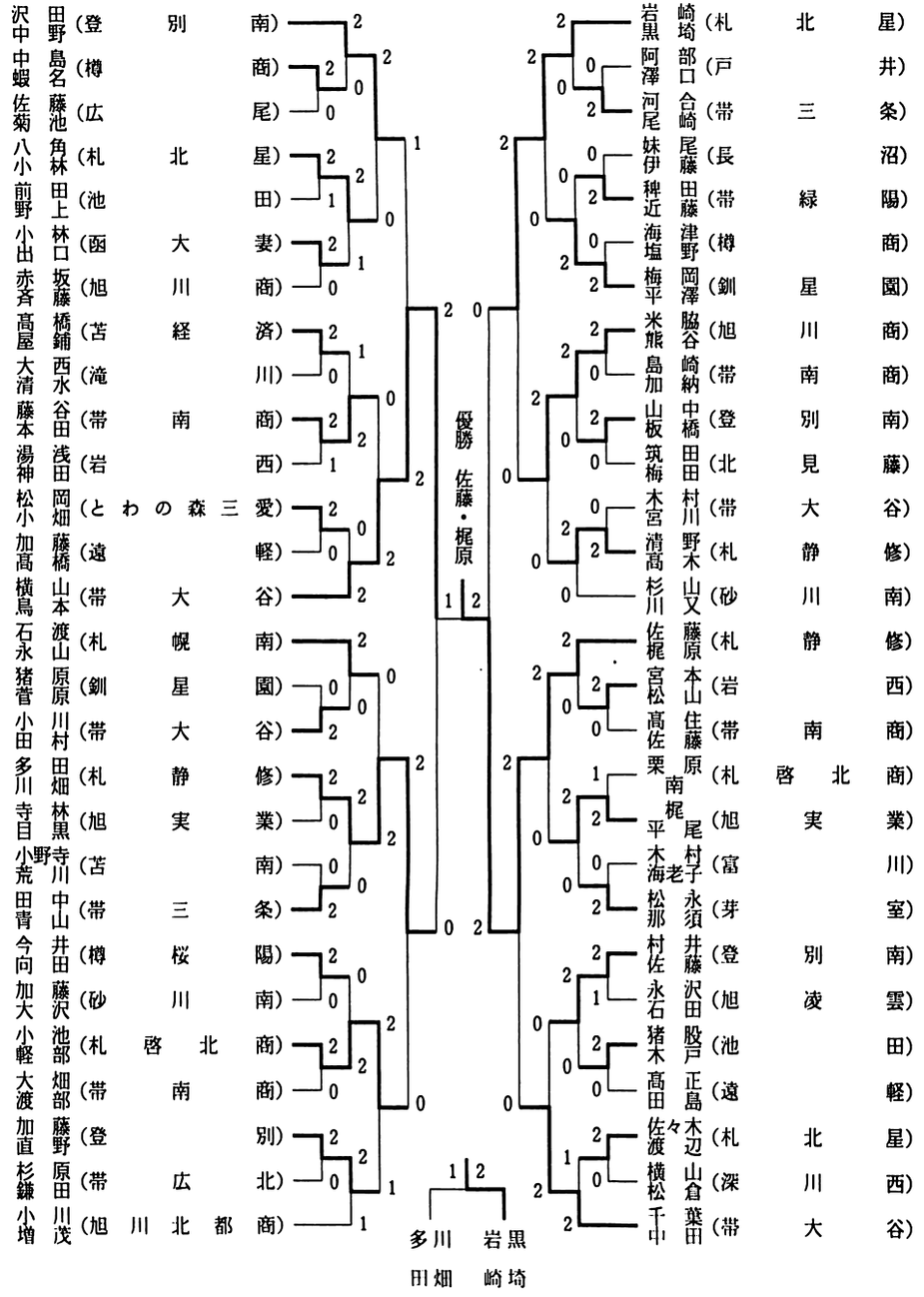
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



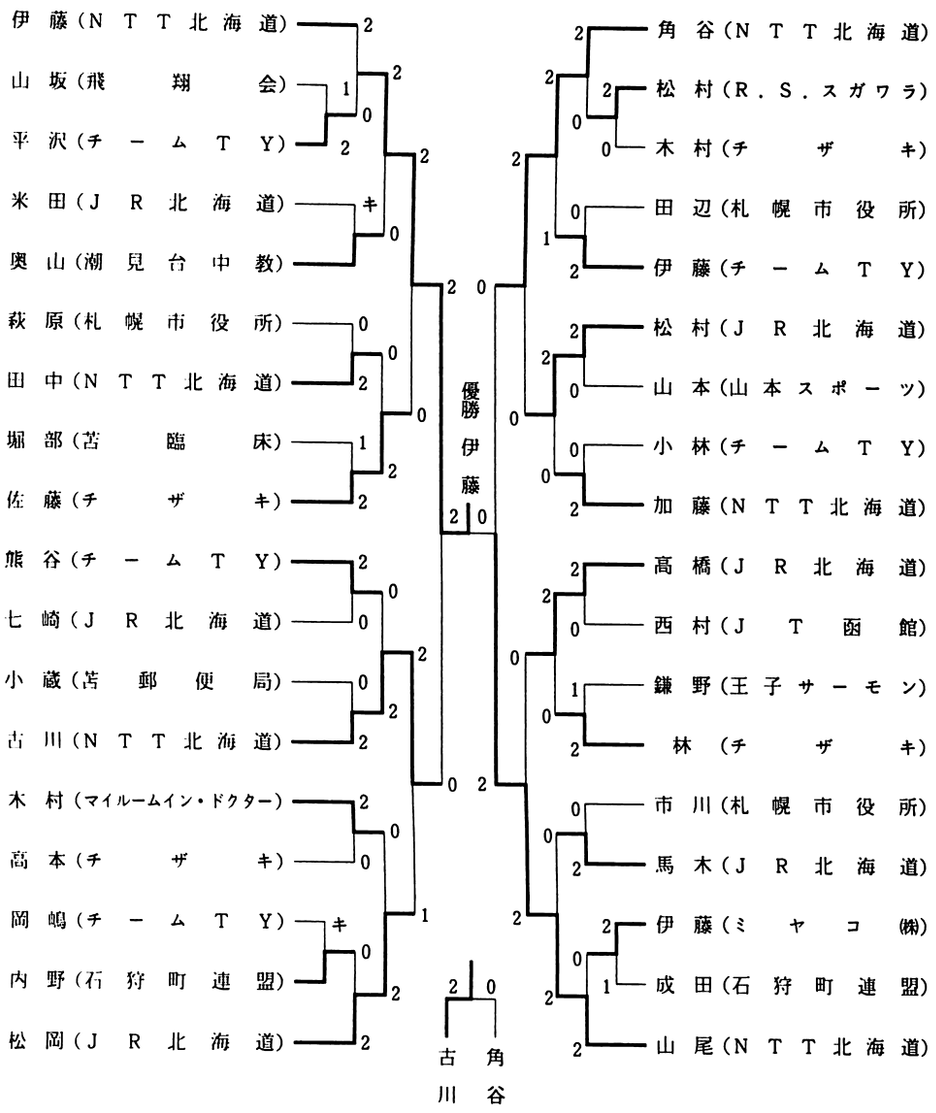
〈高校女子複〉ＧＤ



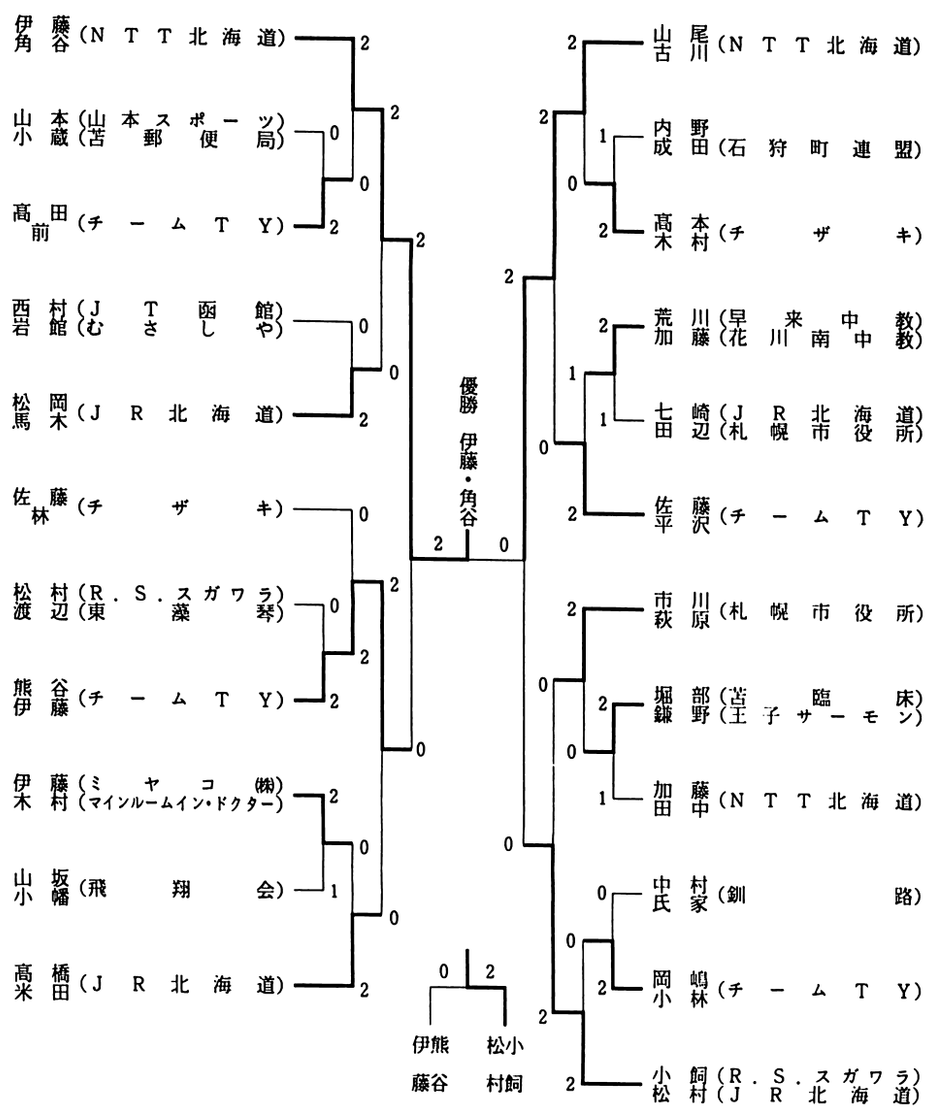
第44回

期日　平成３年５月10日(金)・11日(土)・12日(日)
会場　苫小牧市総合体育館

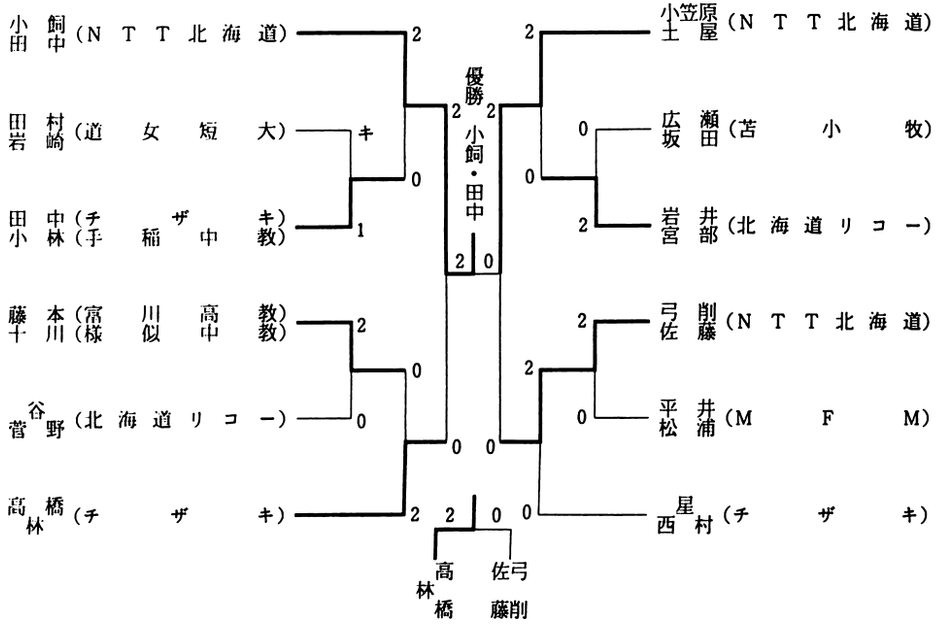
〈一般男子単〉ＭＳ



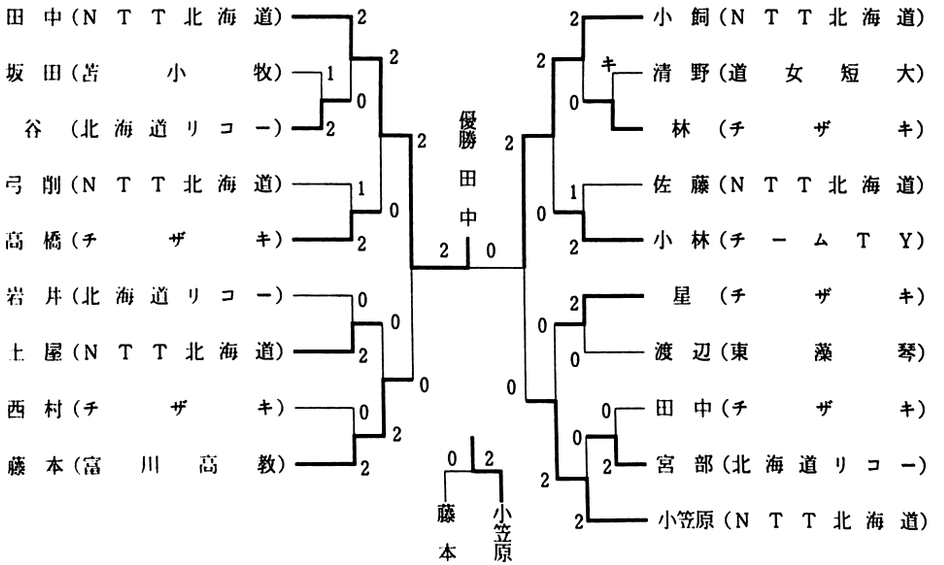
〈一般男子複〉ＭＤ



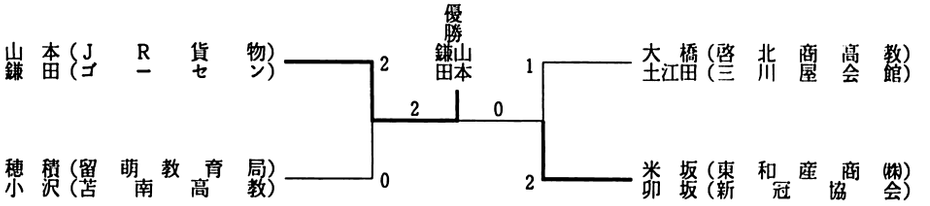
〈一般女子複〉ＬＤ



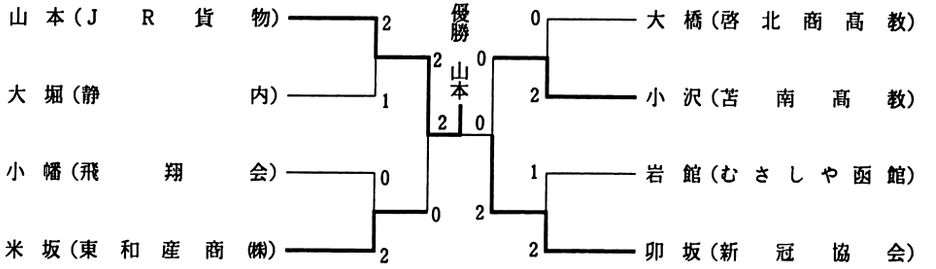
〈一般女子単〉ＬＳ



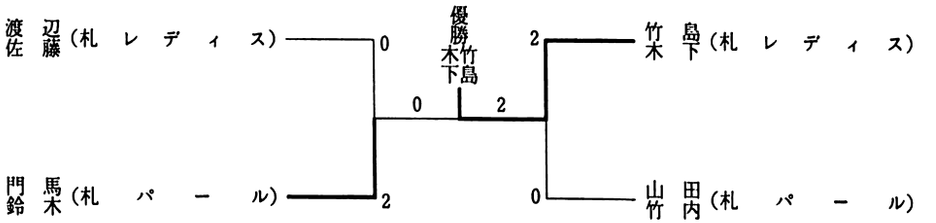
〈30歳男子複〉30ＭＤ



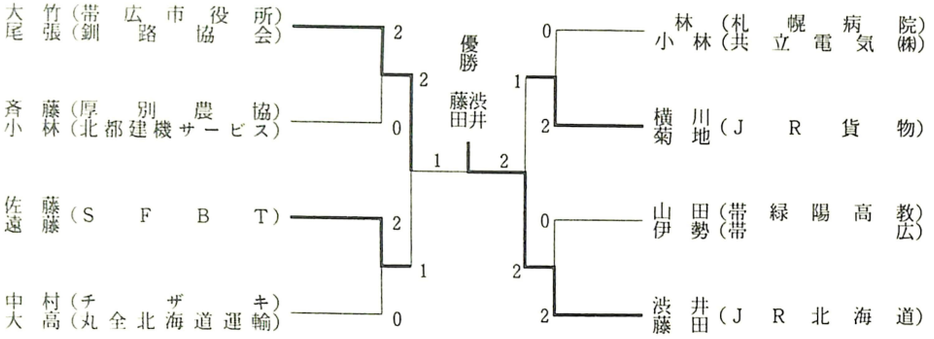
〈30歳男子単〉30ＭＳ



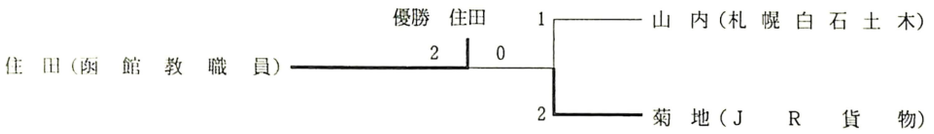
〈30歳女子複〉30ＬＤ



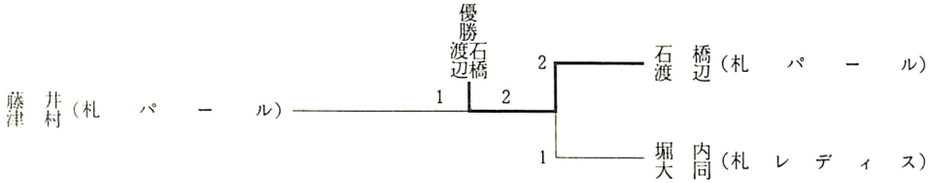
〈40歳男子複〉40ＭＤ



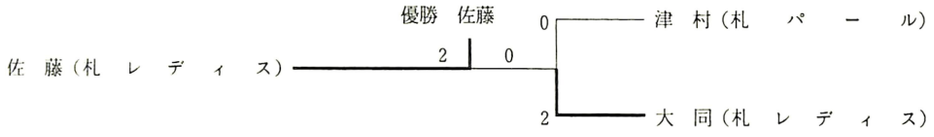
〈40歳男子単〉40ＭＳ



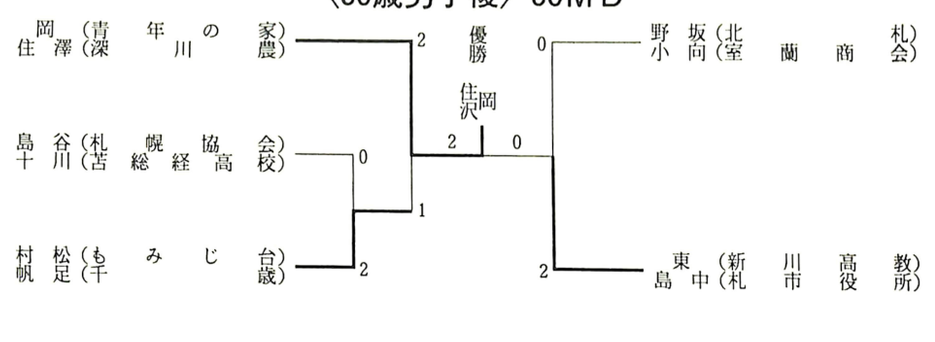
〈40歳女子複〉40ＬＤ



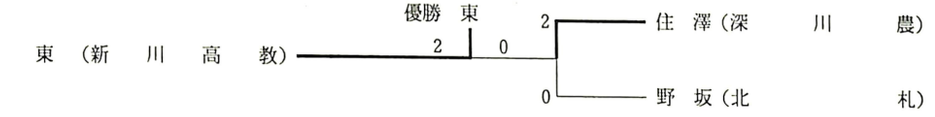
〈40歳女子単〉40ＬＳ



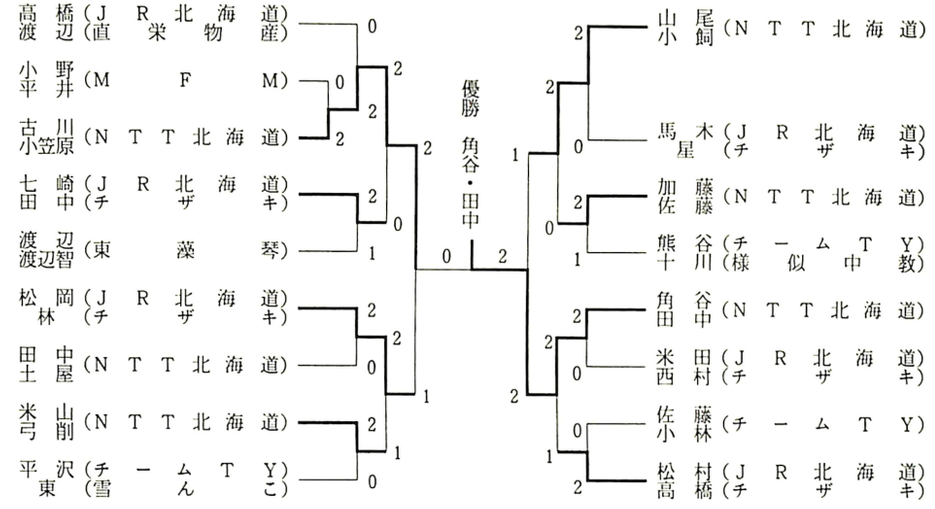
〈50歳男子複〉50ＭＤ



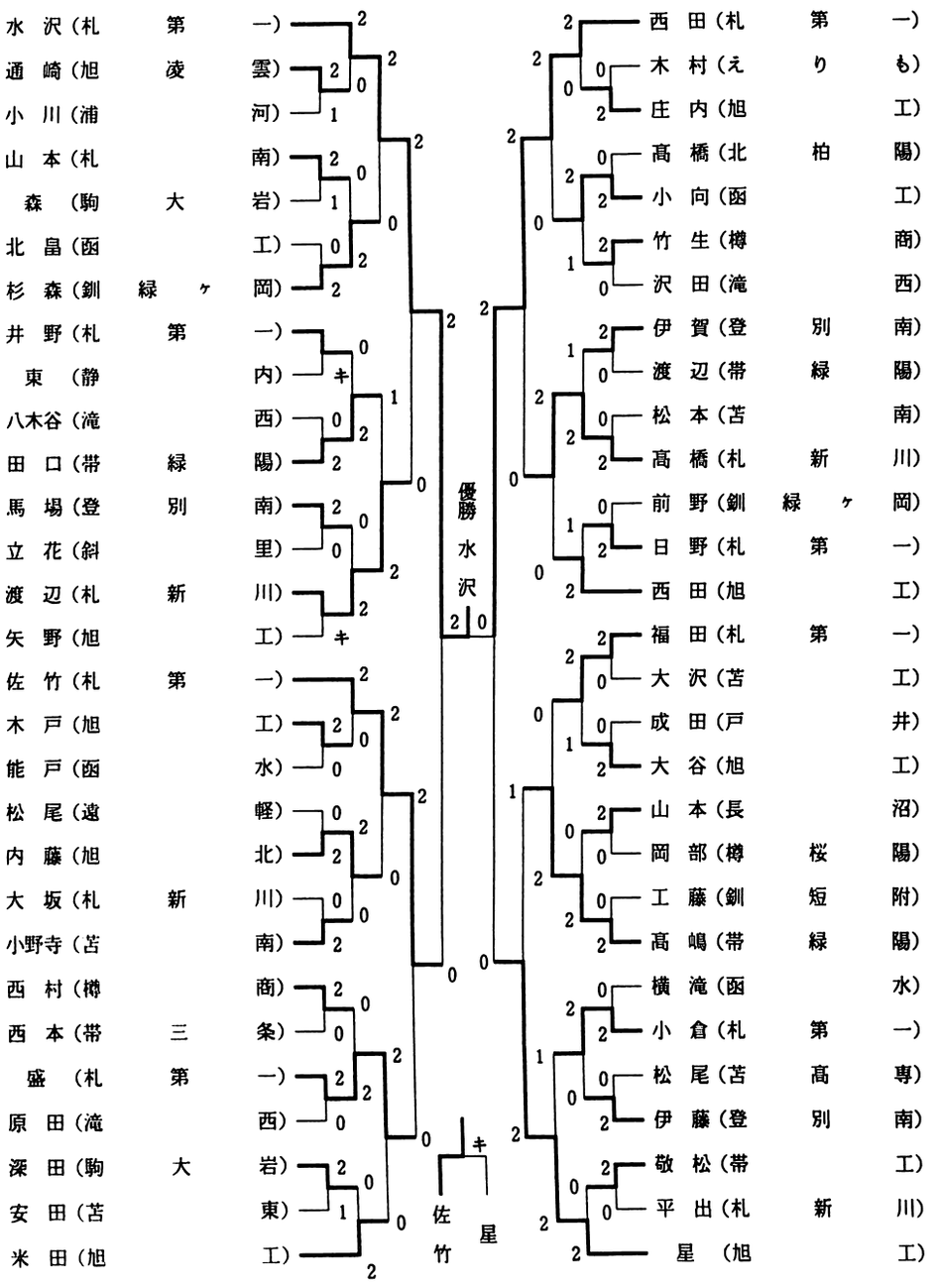
〈50歳男子単〉50ＭＳ



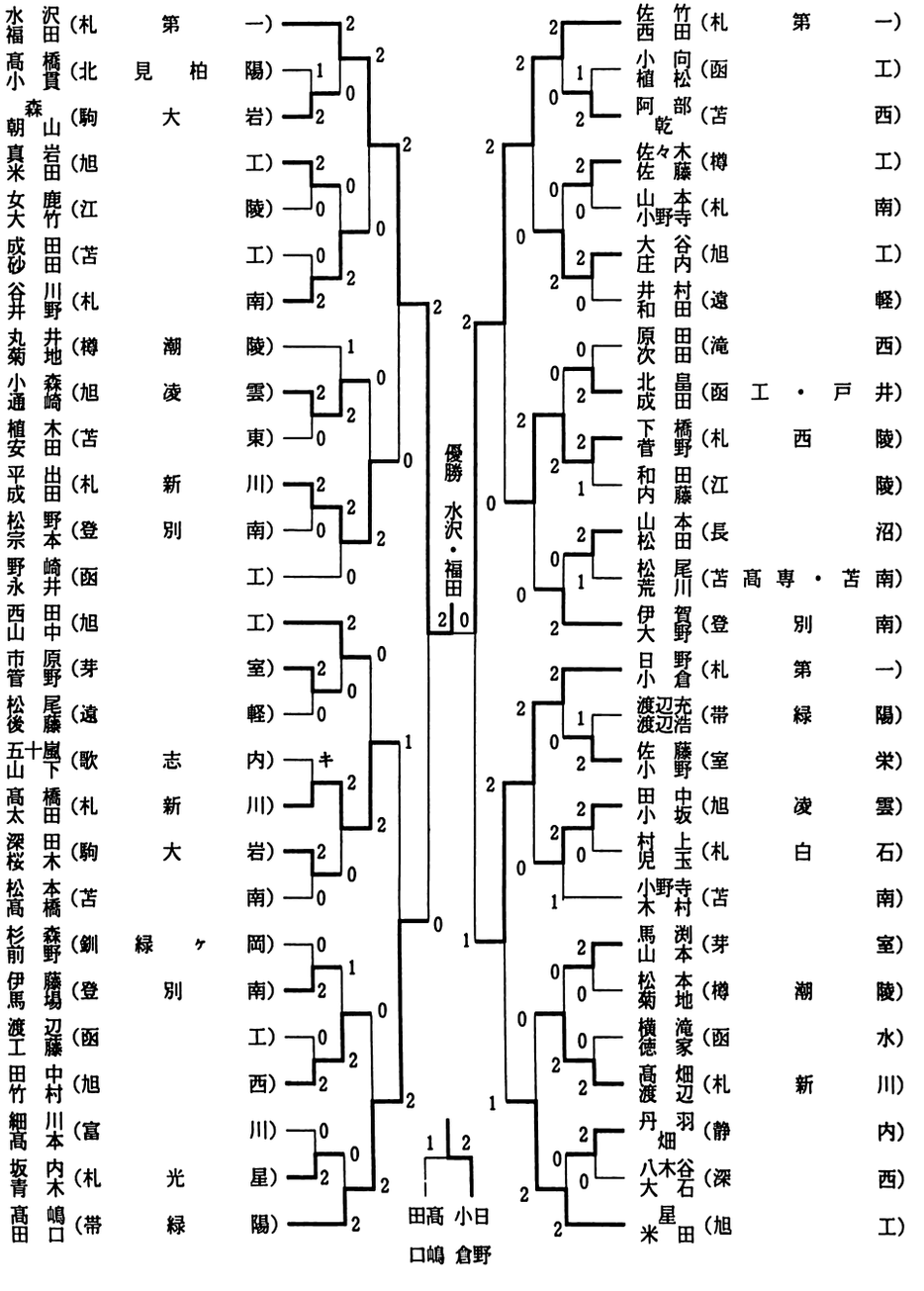
〈混合戦〉



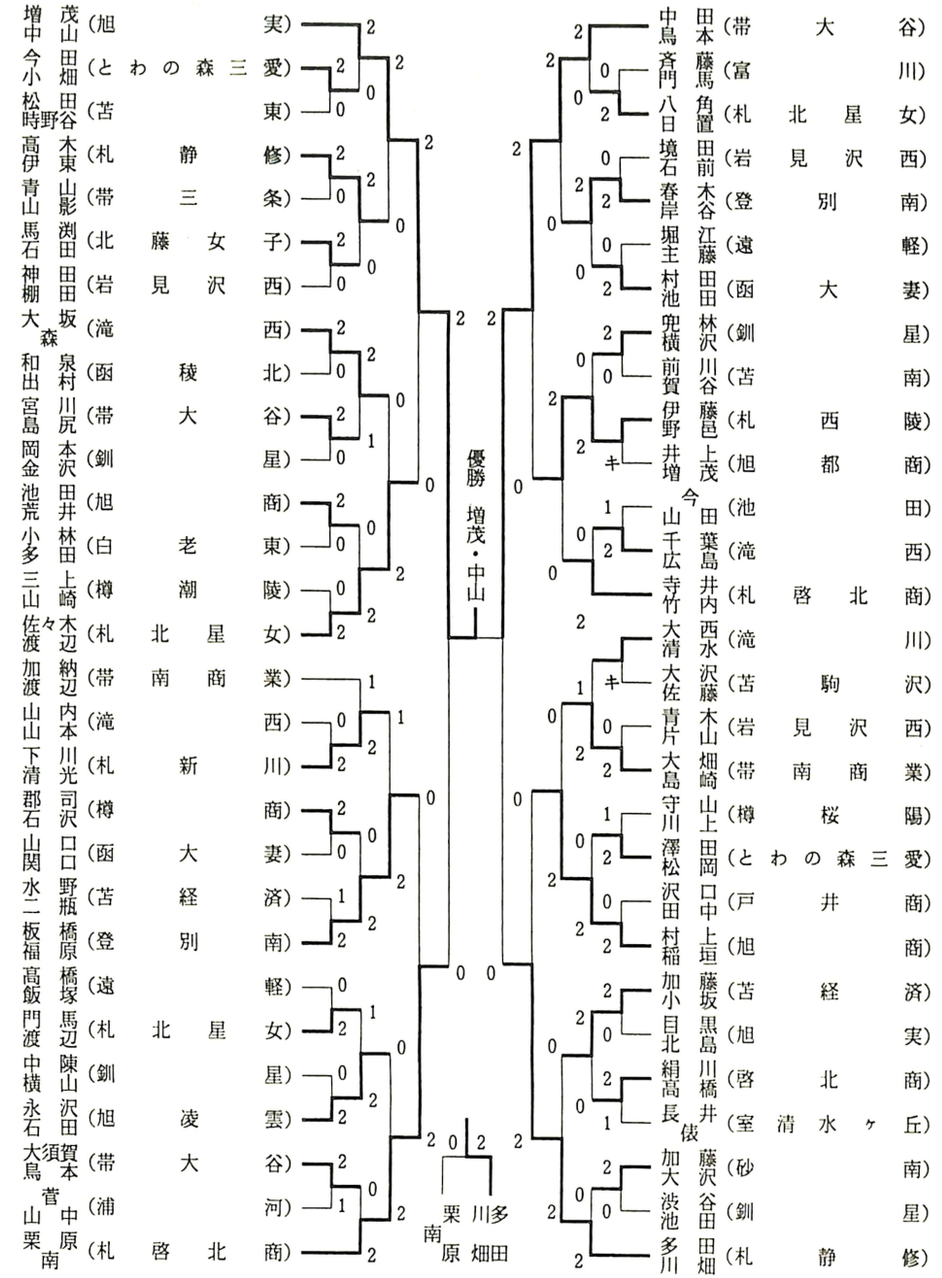
〈高校男子単〉ＢＳ



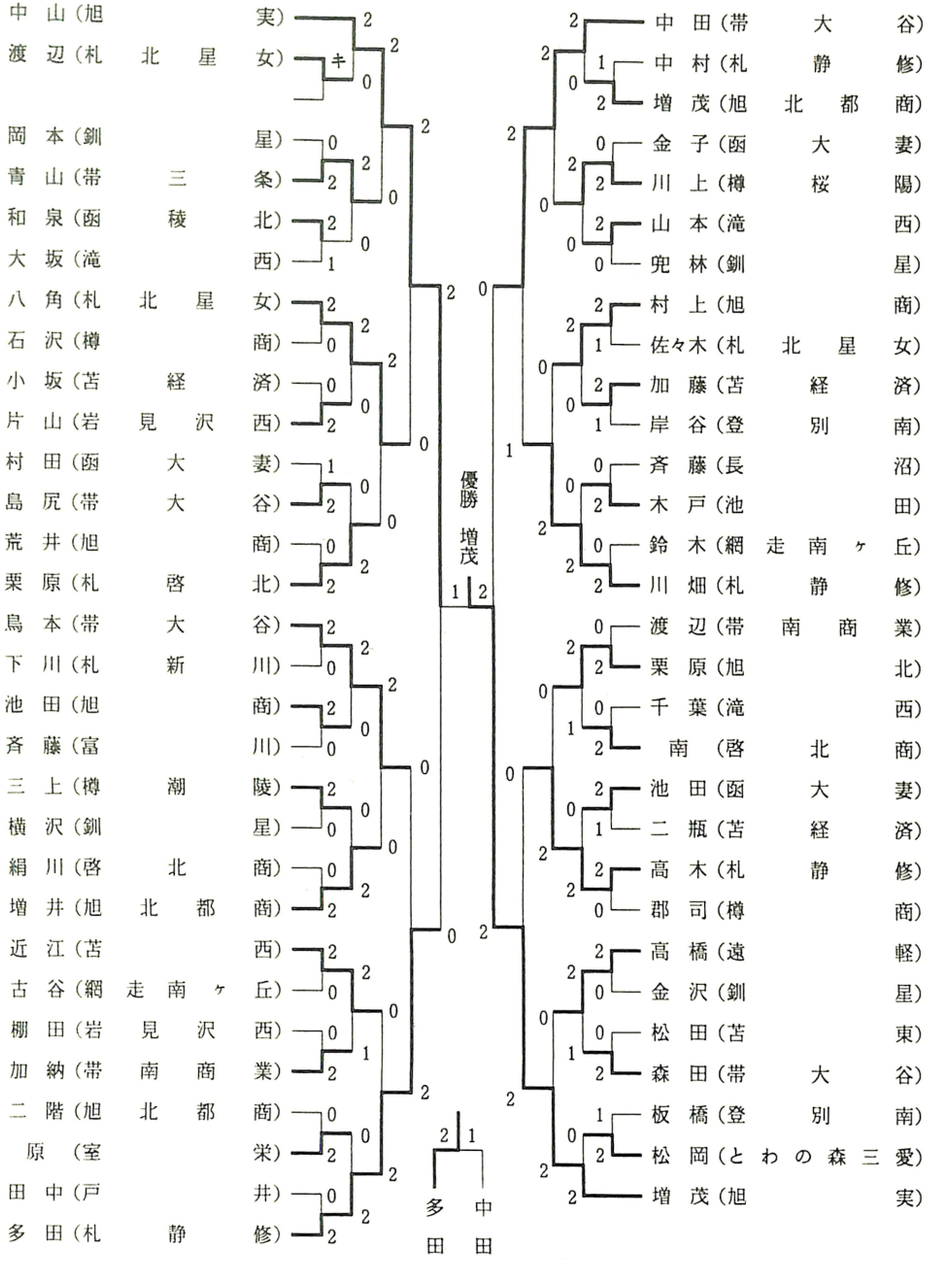
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子複〉ＧＤ



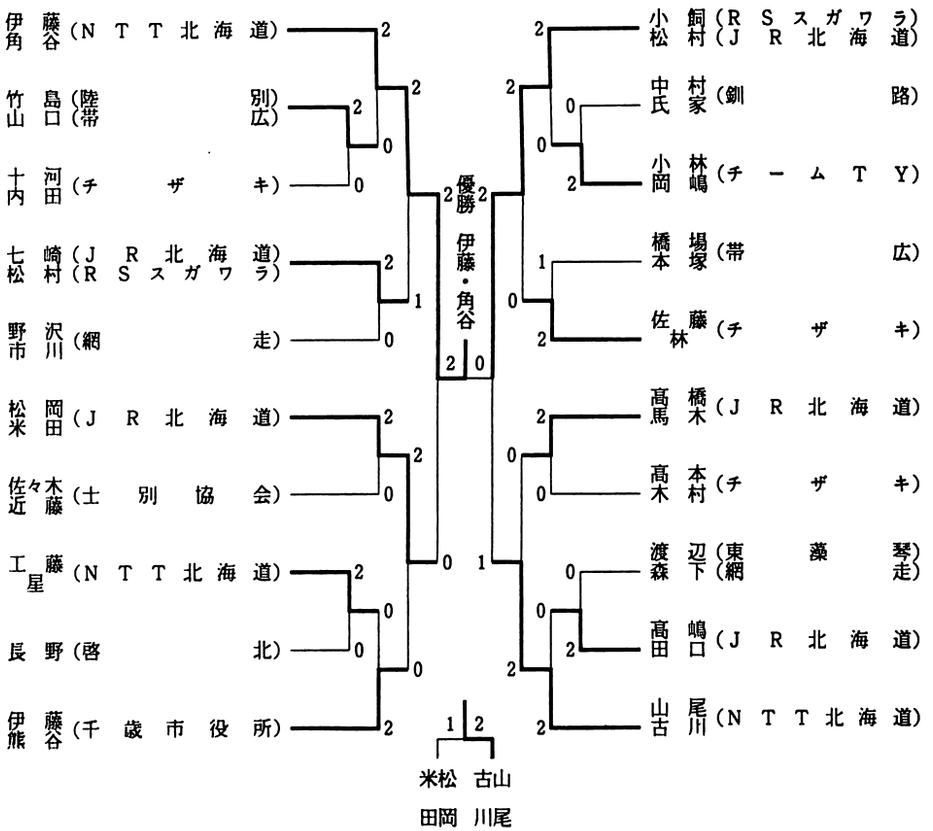
〈高校女子単〉ＧＳ



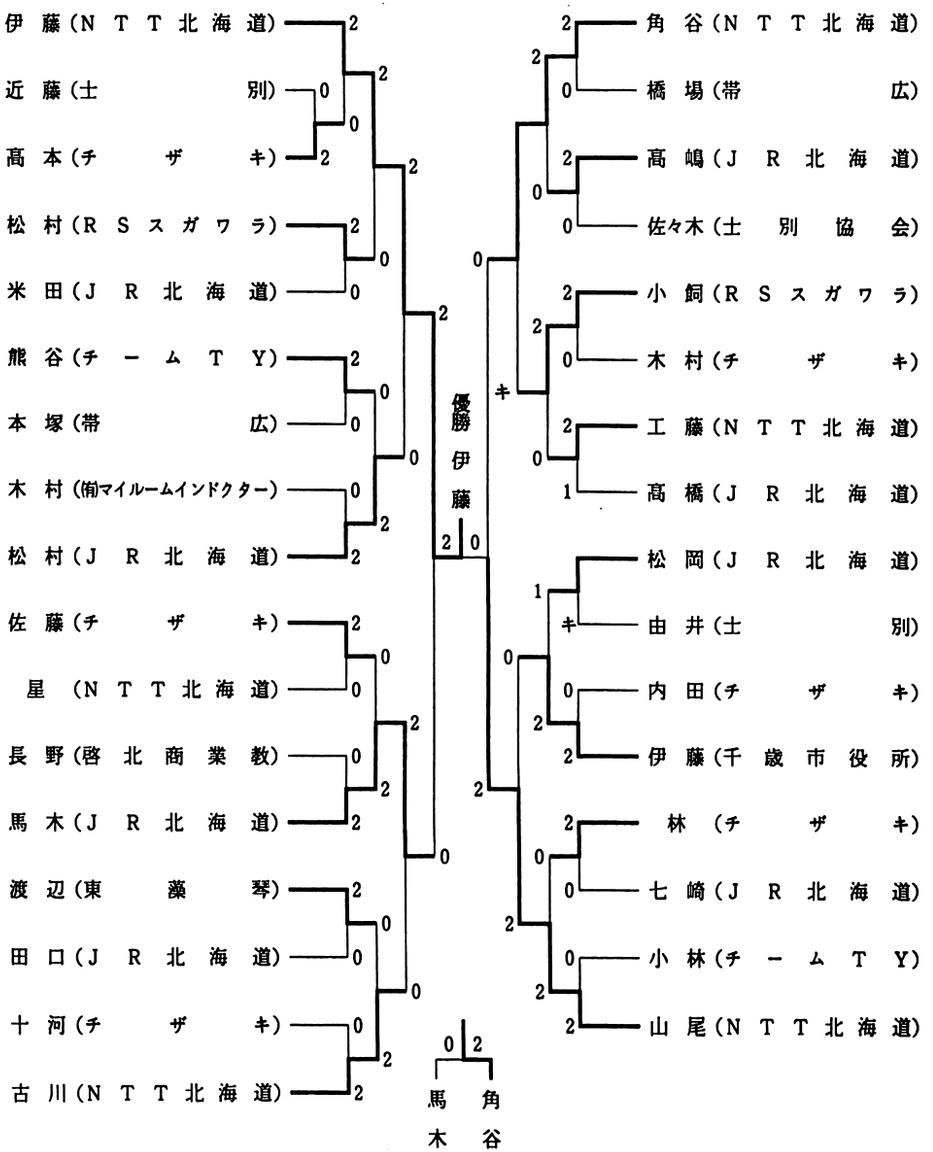
第45回

期日　平成４年５月８日(金)～10日(日)
会場　網走市総合体育館

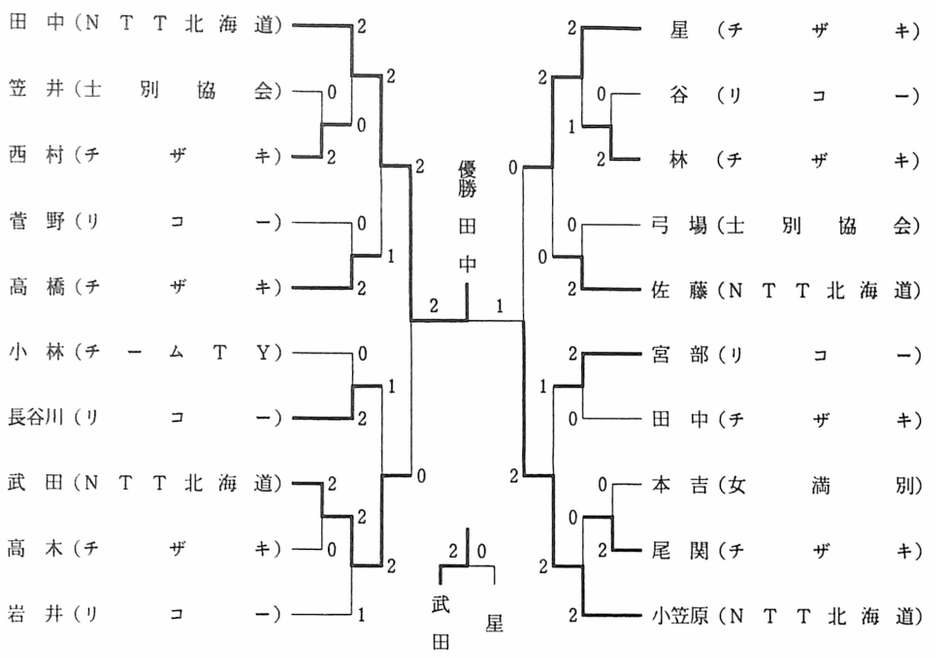
〈一般男子複〉ＭＤ



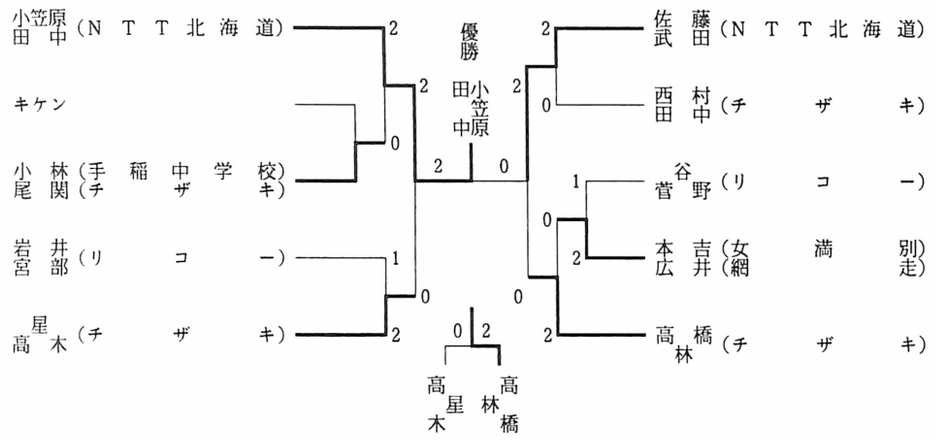
〈一般男子単〉ＭＳ



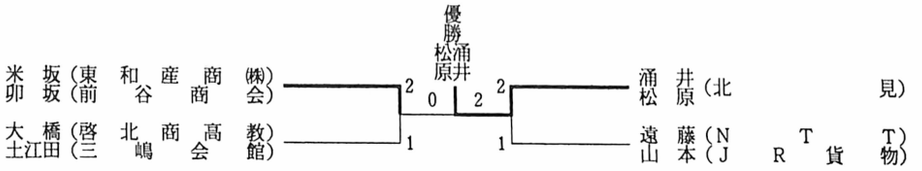
〈一般女子単〉ＬＳ



〈一般女子複〉ＬＤ



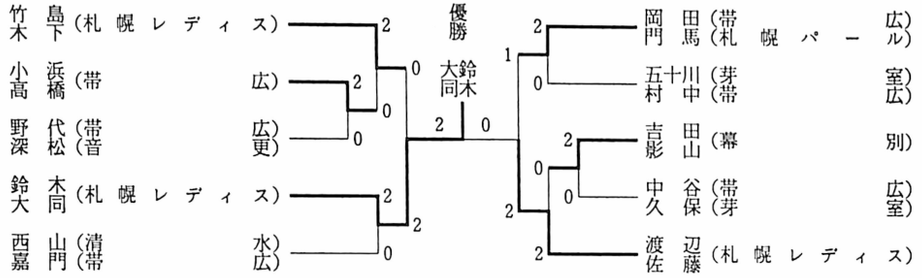
〈30歳男子複〉30ＭＤ



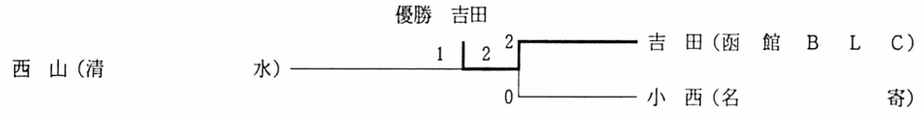
〈30歳男子単〉30ＭＳ



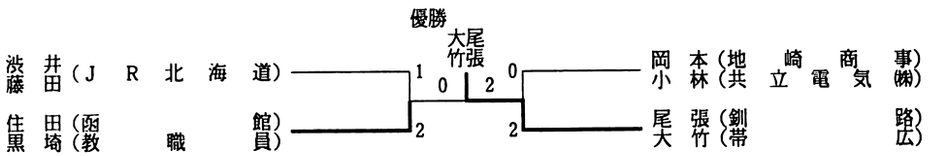
〈30歳女子複〉30ＬＤ



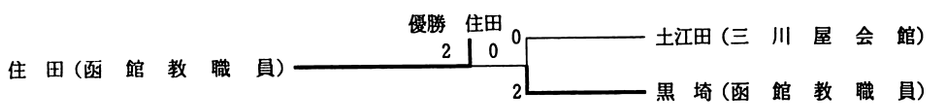
〈30歳女子単〉30ＬＳ



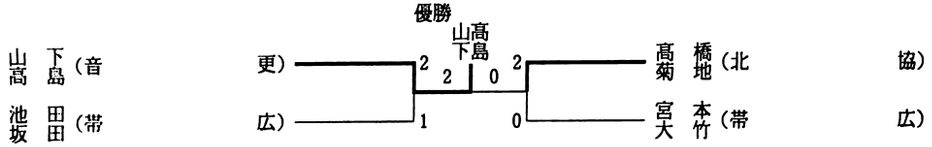
〈40歳男子複〉40ＭＤ



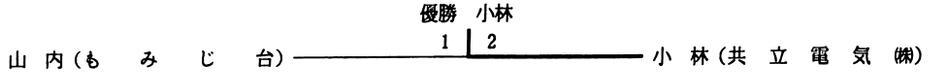
〈40歳男子単〉40Ｍ



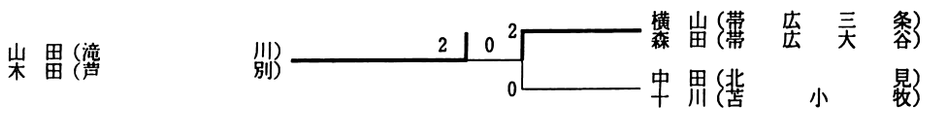
〈40歳女子複〉40ＬＤ



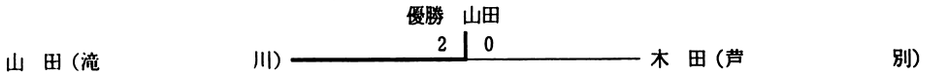
〈45歳男子単〉40ＭＳ



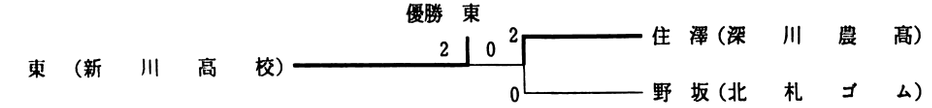
〈50歳男子複〉50ＭＤ



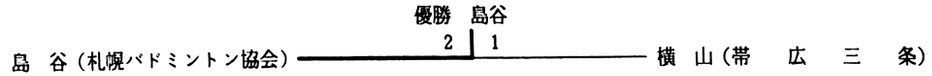
〈50歳男子単〉50ＭＳ



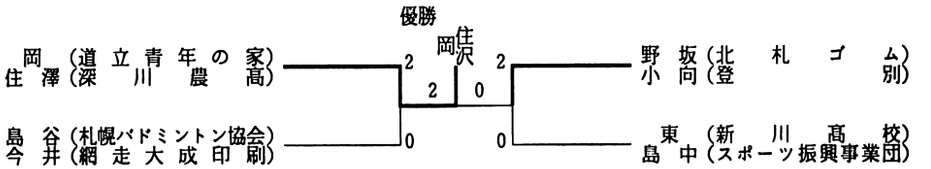
〈55歳男子単〉50ＭＳ



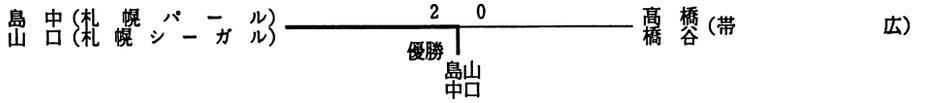
〈60歳男子単〉60ＭＳ



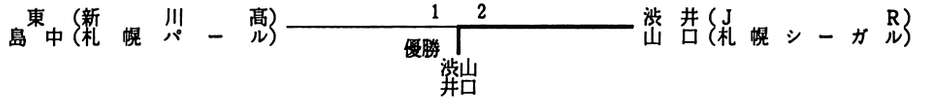
〈55歳男子複〉55ＭＤ



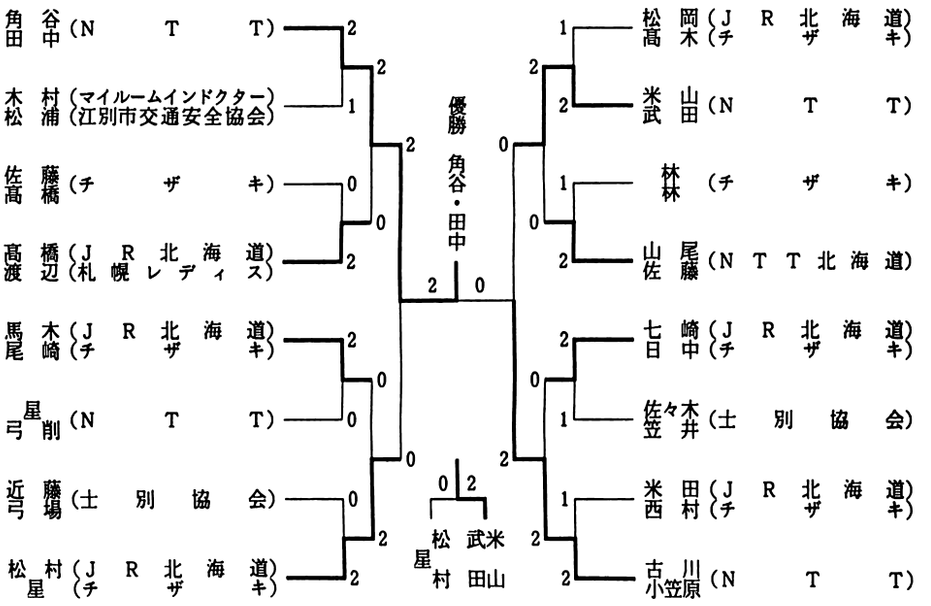
〈50歳女子複〉50ＬＤ



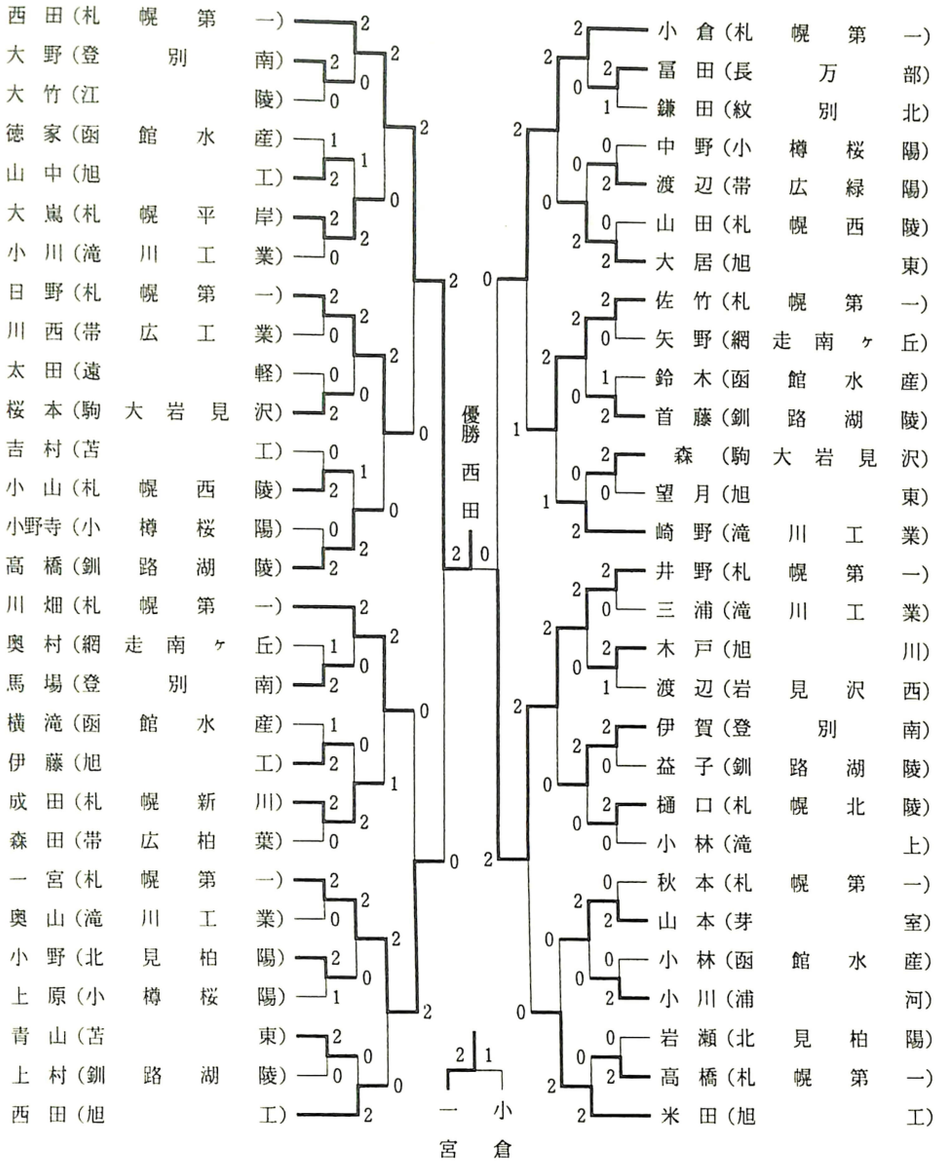
〈50歳混合〉ＭＩＸ



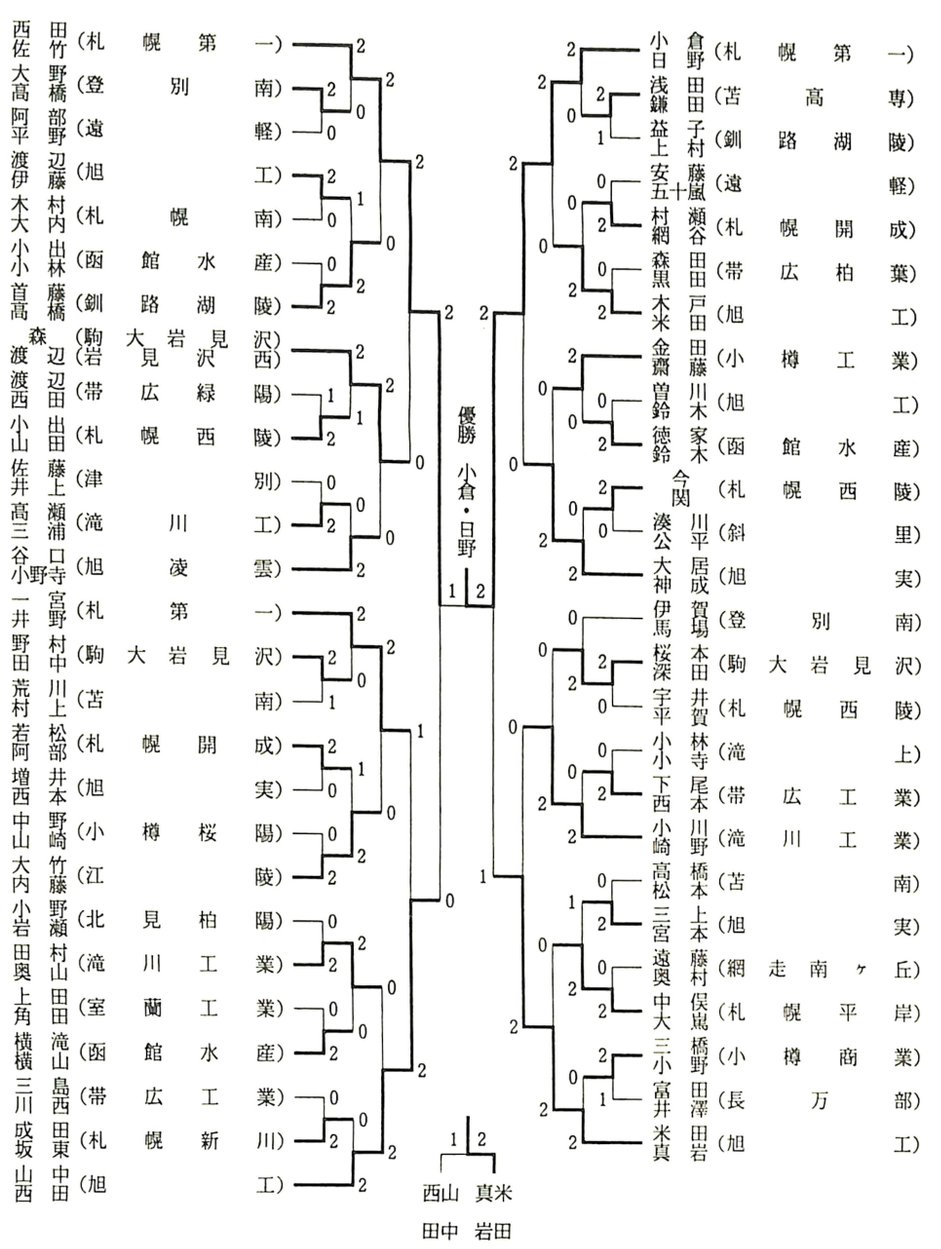
〈一般混合〉ＭＩＸ



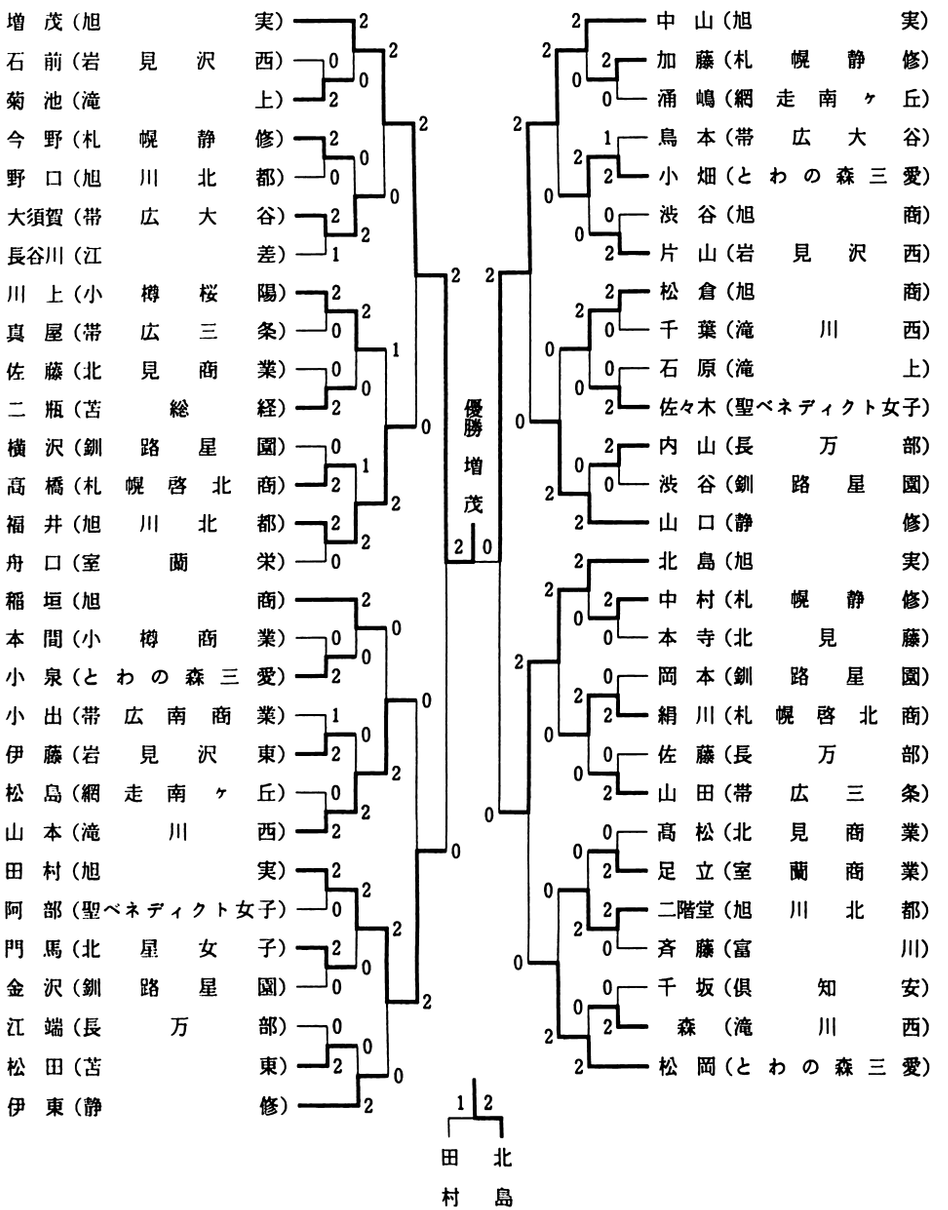
〈高校男子単〉ＢＳ



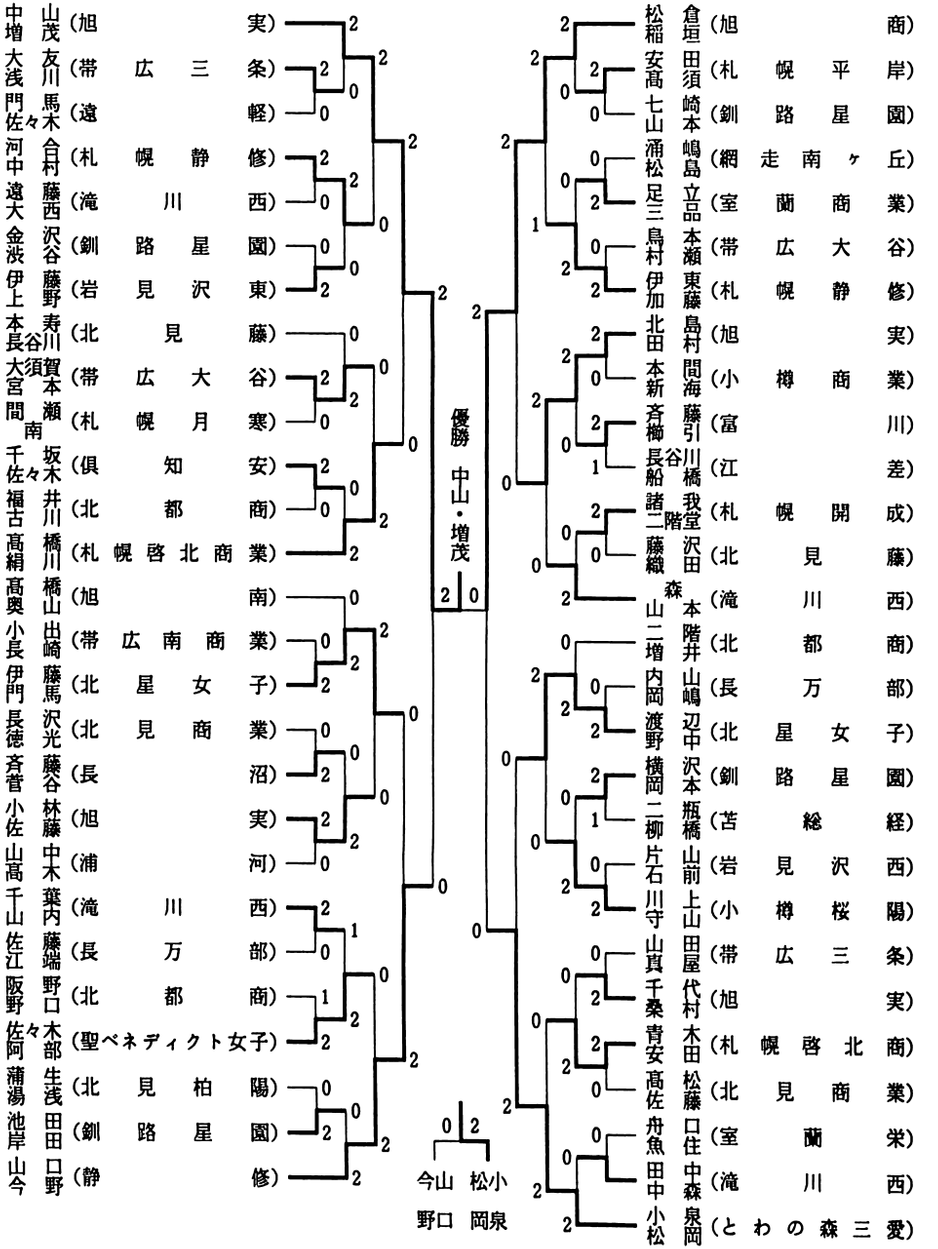
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



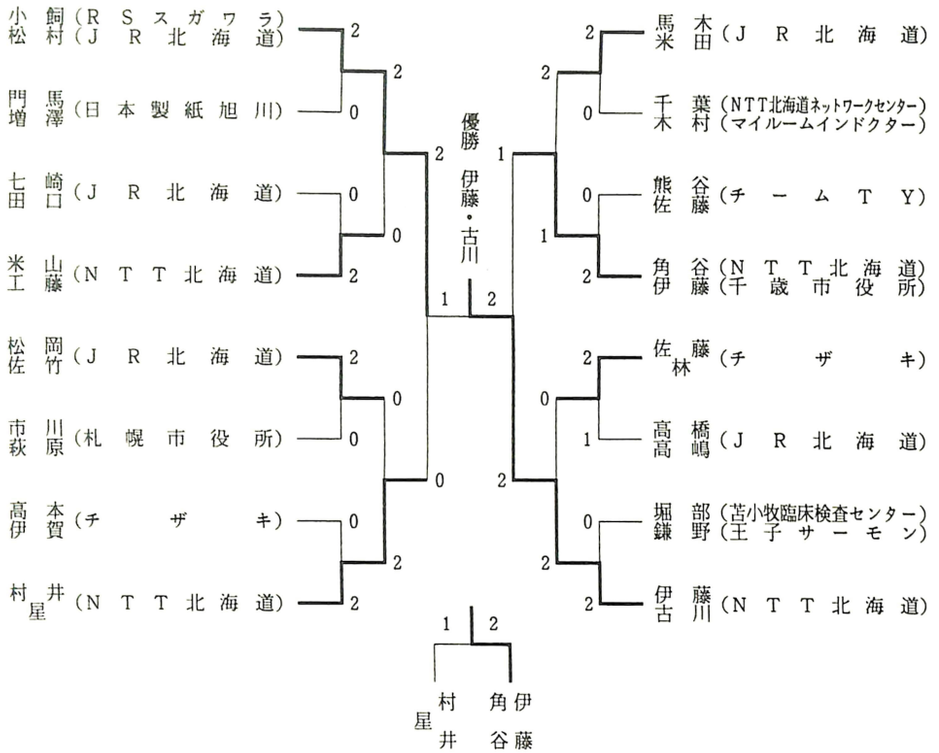
〈高校女子複〉ＧＤ



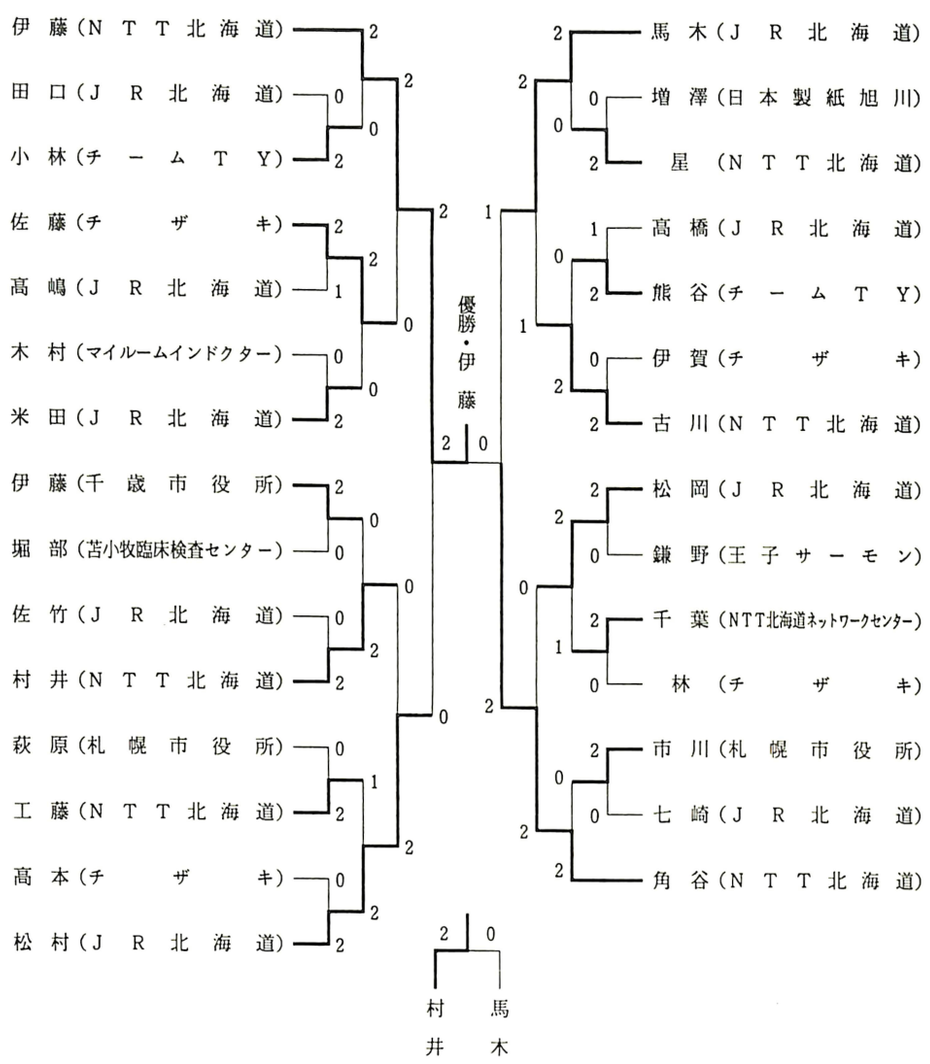
第46回

期日　平成５年５月14日・15日・16日(日)の３日間
会場　室蘭市体育館

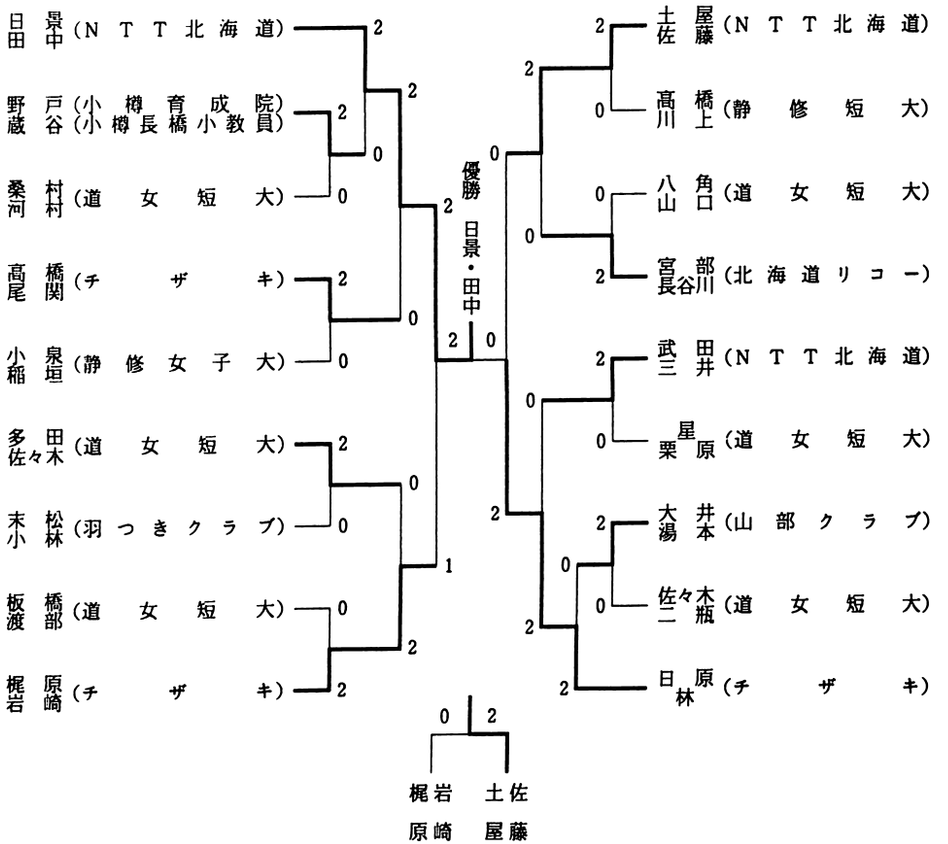
〈一般男子複〉ＭＤ



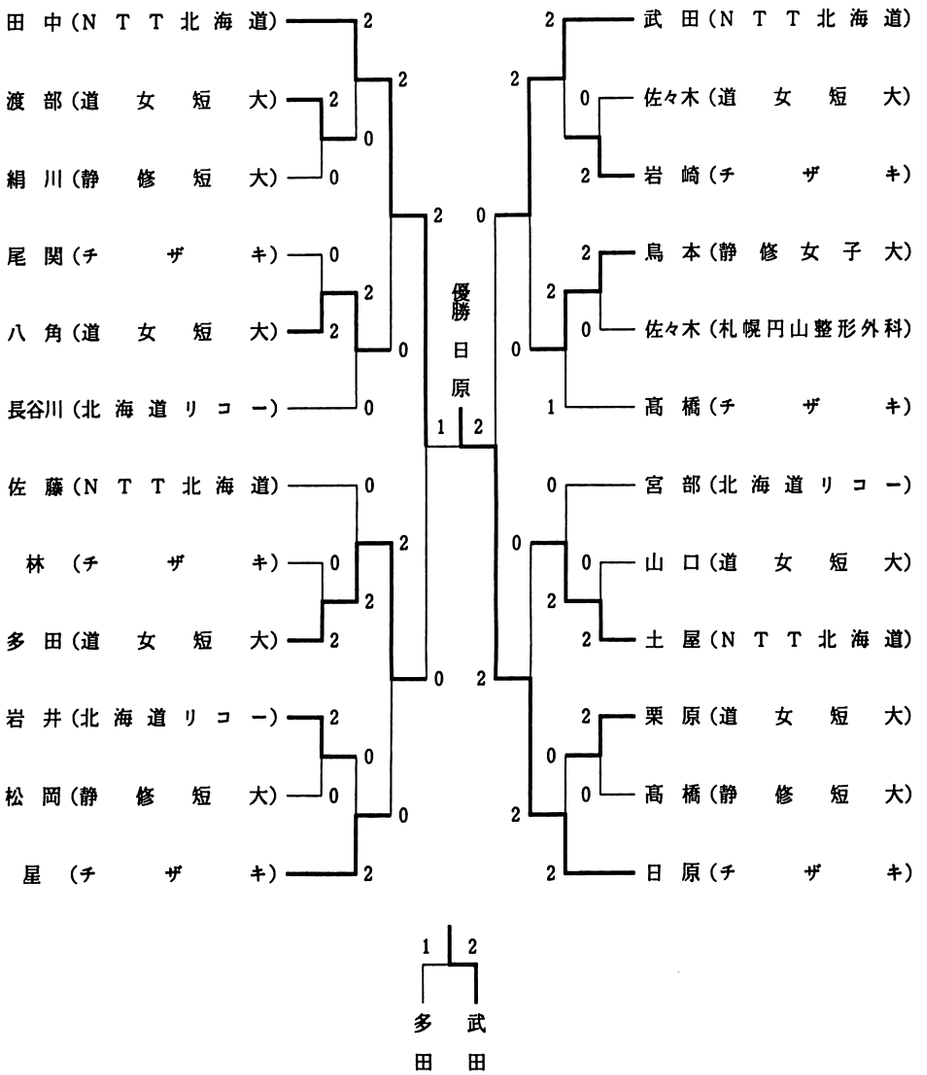
〈一般男子単〉ＭＳ



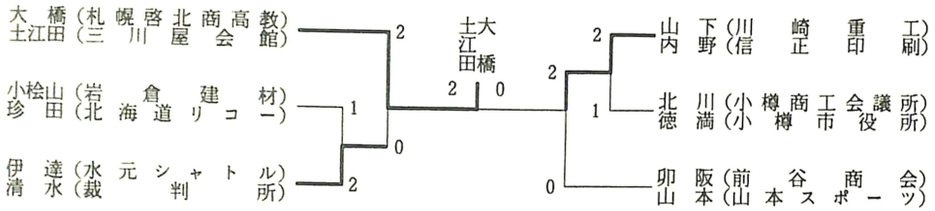
〈一般女子複〉ＬＤ



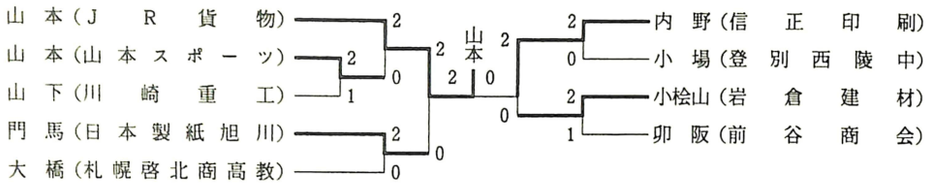
〈一般女子単〉ＬＳ



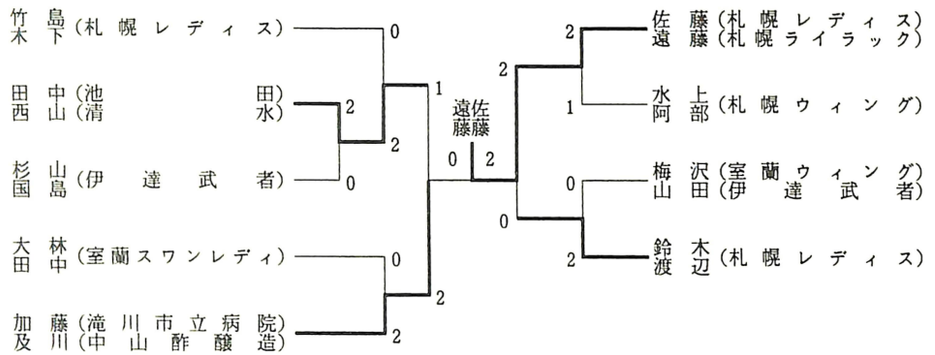
〈30歳男子複〉30ＭＤ



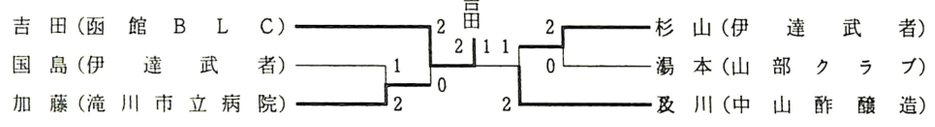
〈30歳男子単〉30ＭＳ



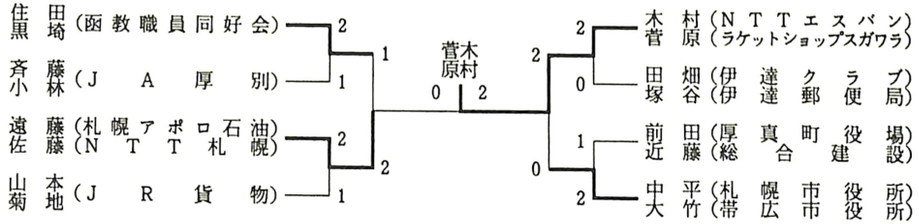
〈30歳女子複〉30ＬＤ



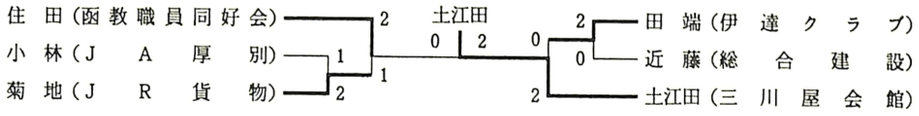
〈30歳女子単〉30ＬＳ



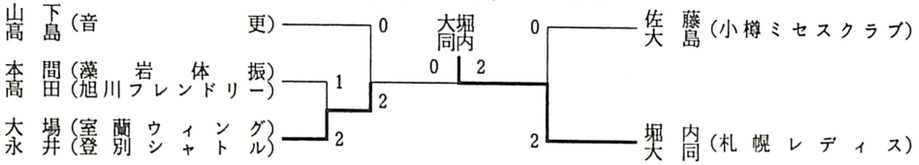
〈40歳男子複〉40ＭＤ



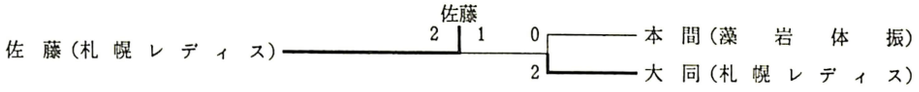
〈40歳男子単〉40ＭＳ



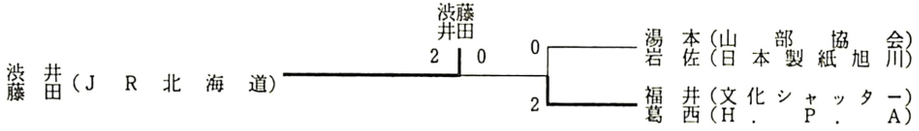
〈40歳女子複〉40ＬＤ



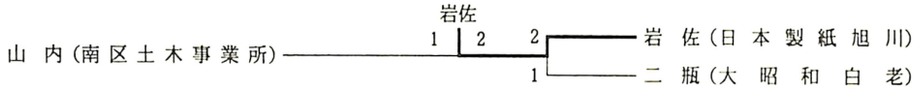
〈40歳女子単〉40ＬＳ



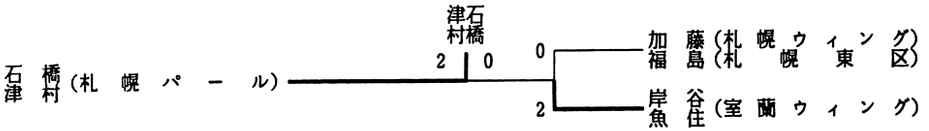
〈45歳男子複〉45ＭＤ



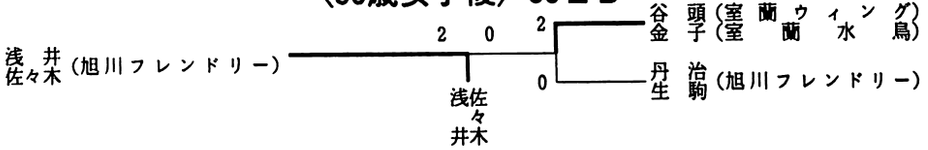
〈45歳男子単〉45ＭＳ



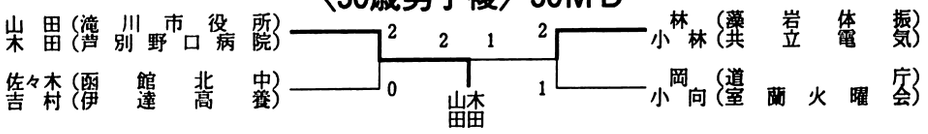
〈45歳女子複〉45ＬＤ



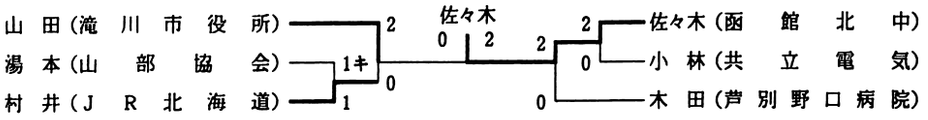
〈50歳女子複〉50ＬＤ



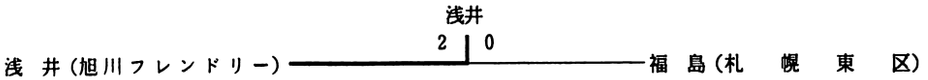
〈50歳男子複〉50ＭＤ



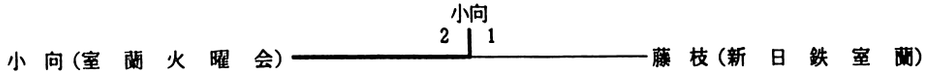
〈50歳男子単〉50ＭＳ



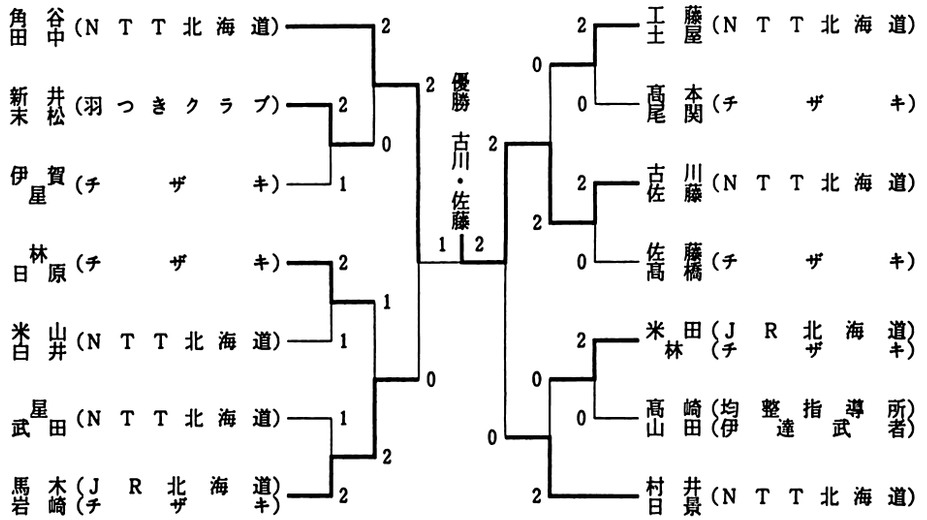
〈50歳女子単〉50ＬＳ



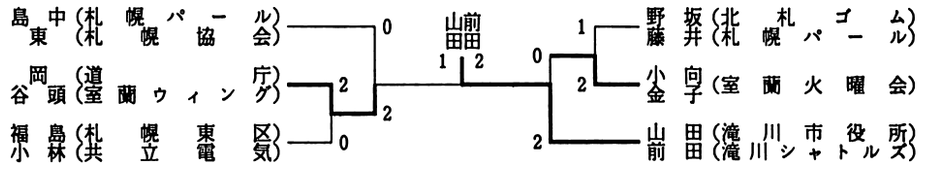
〈55歳男子単〉55ＭＳ



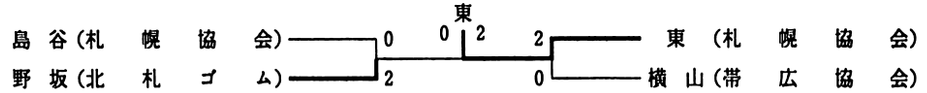
〈一般混合複〉ＭＸ



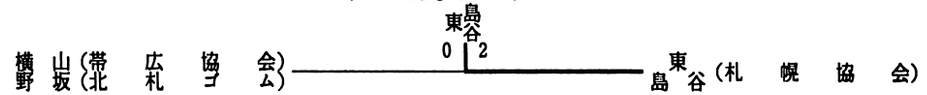
〈50歳混合複〉ＭＸ



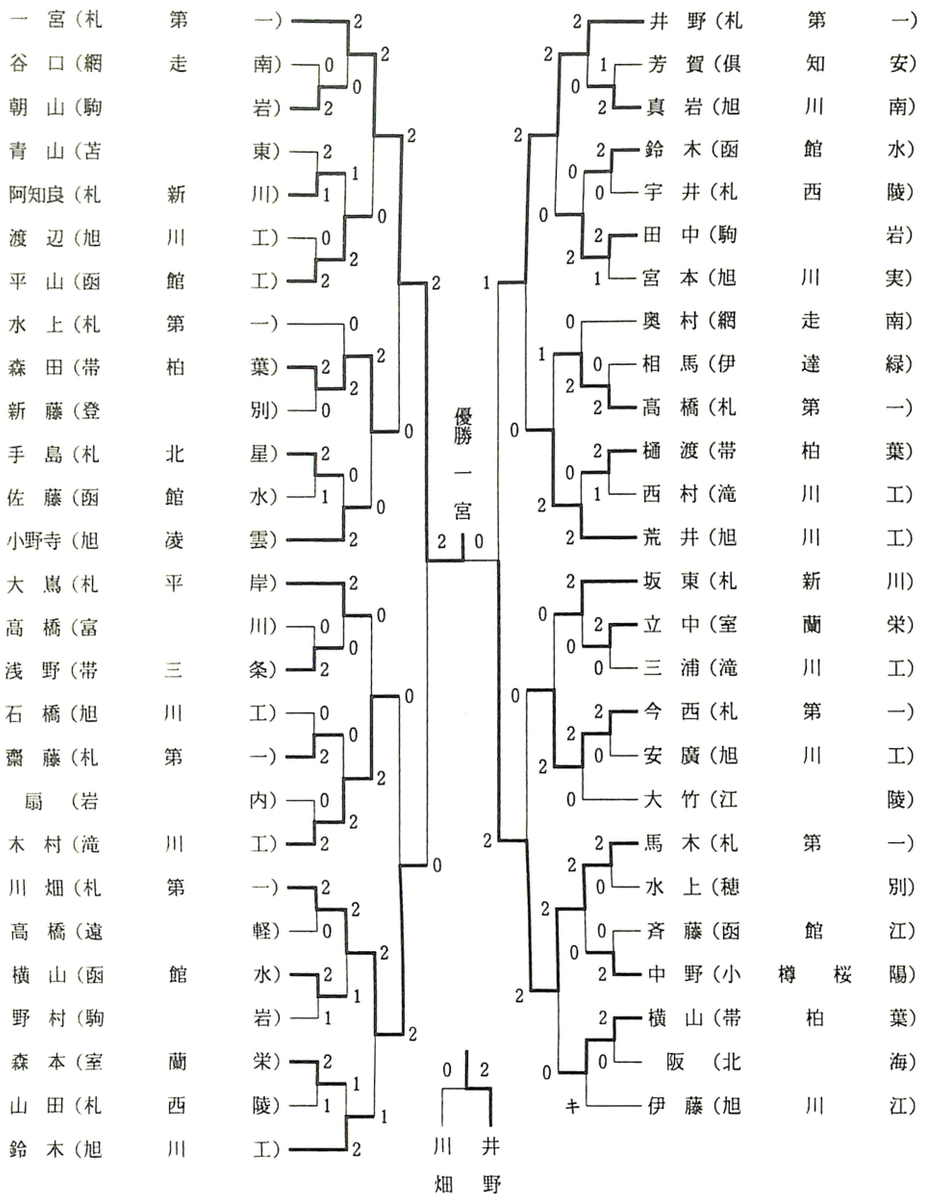
〈60歳男子単〉ＭＳ



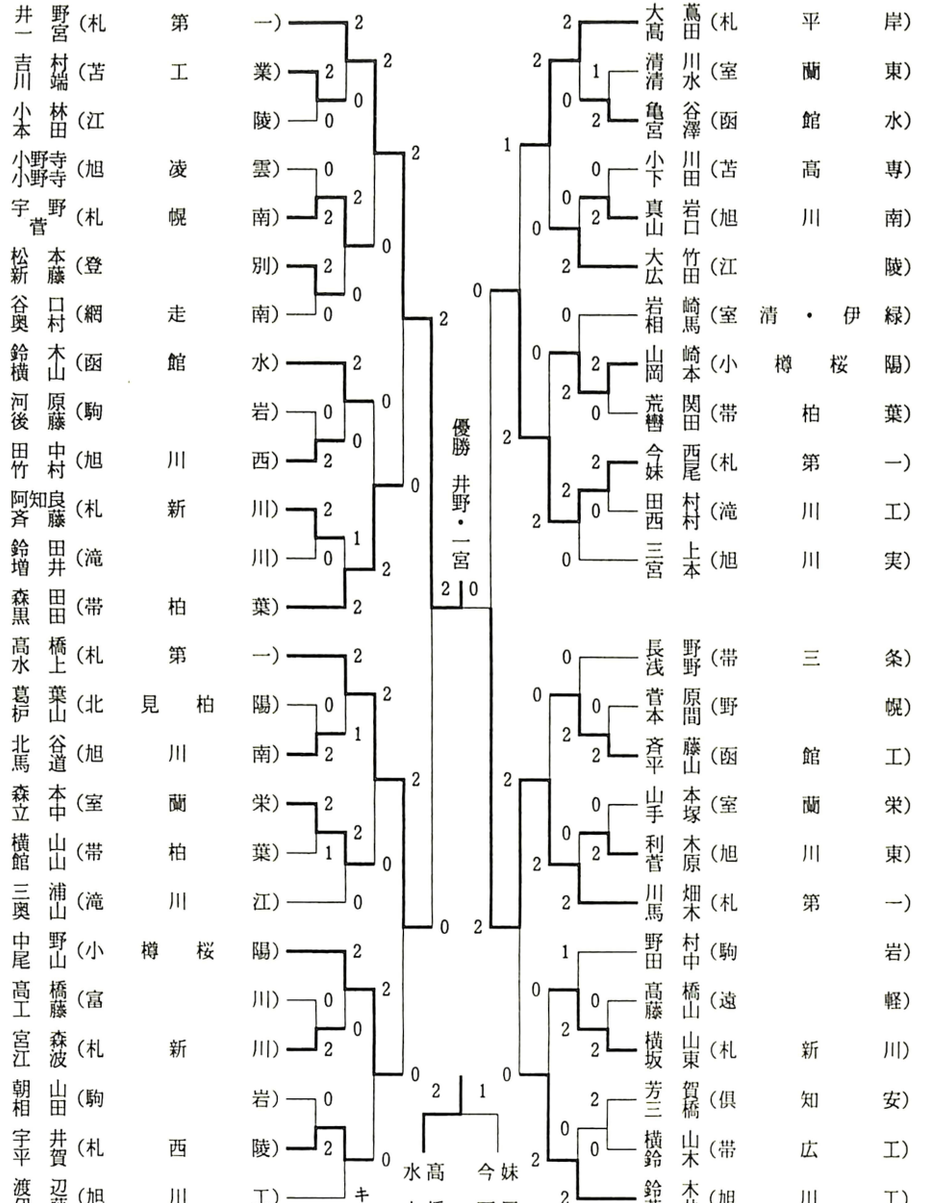
〈60歳男子複〉ＭＤ



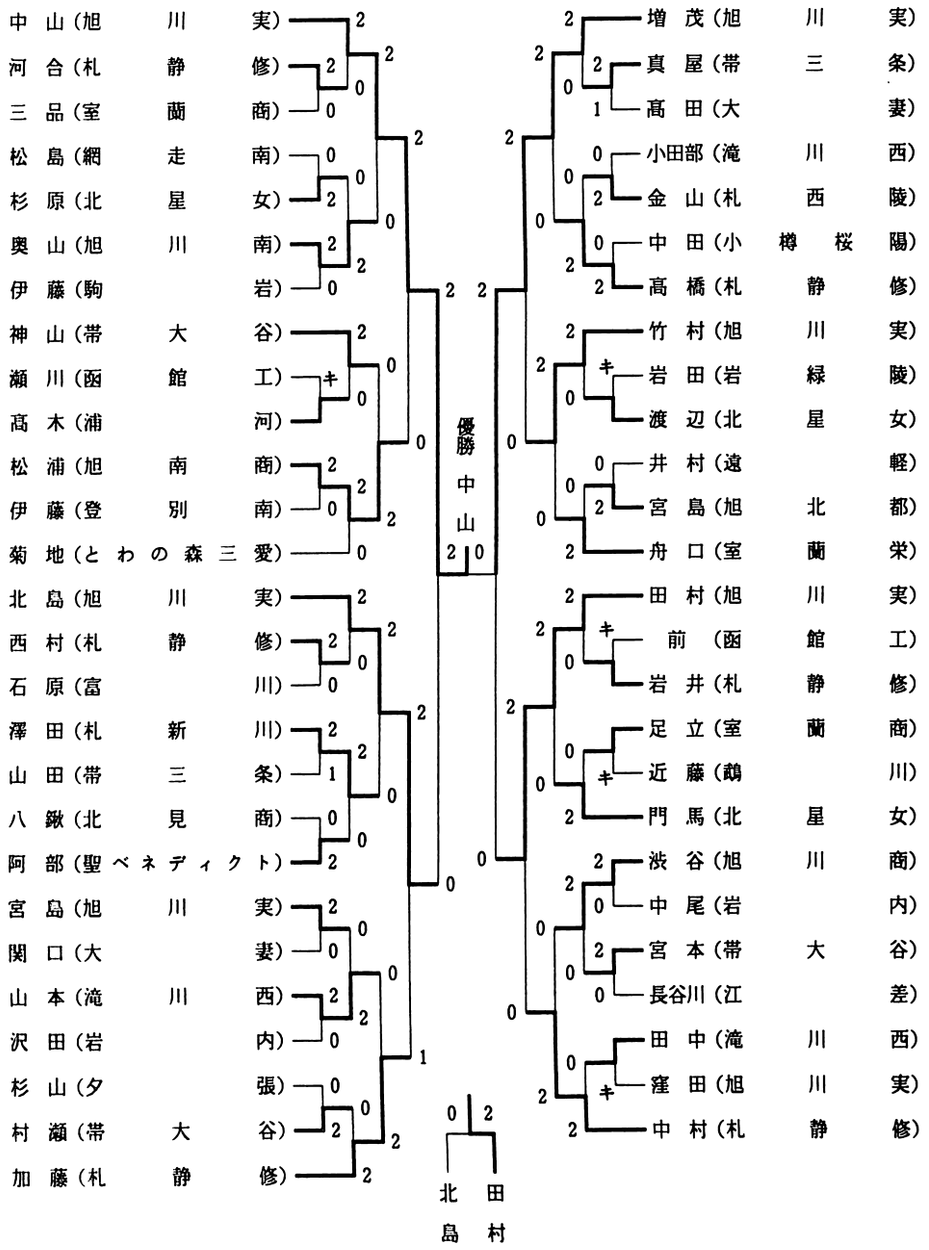
〈高校男子単〉ＢＳ



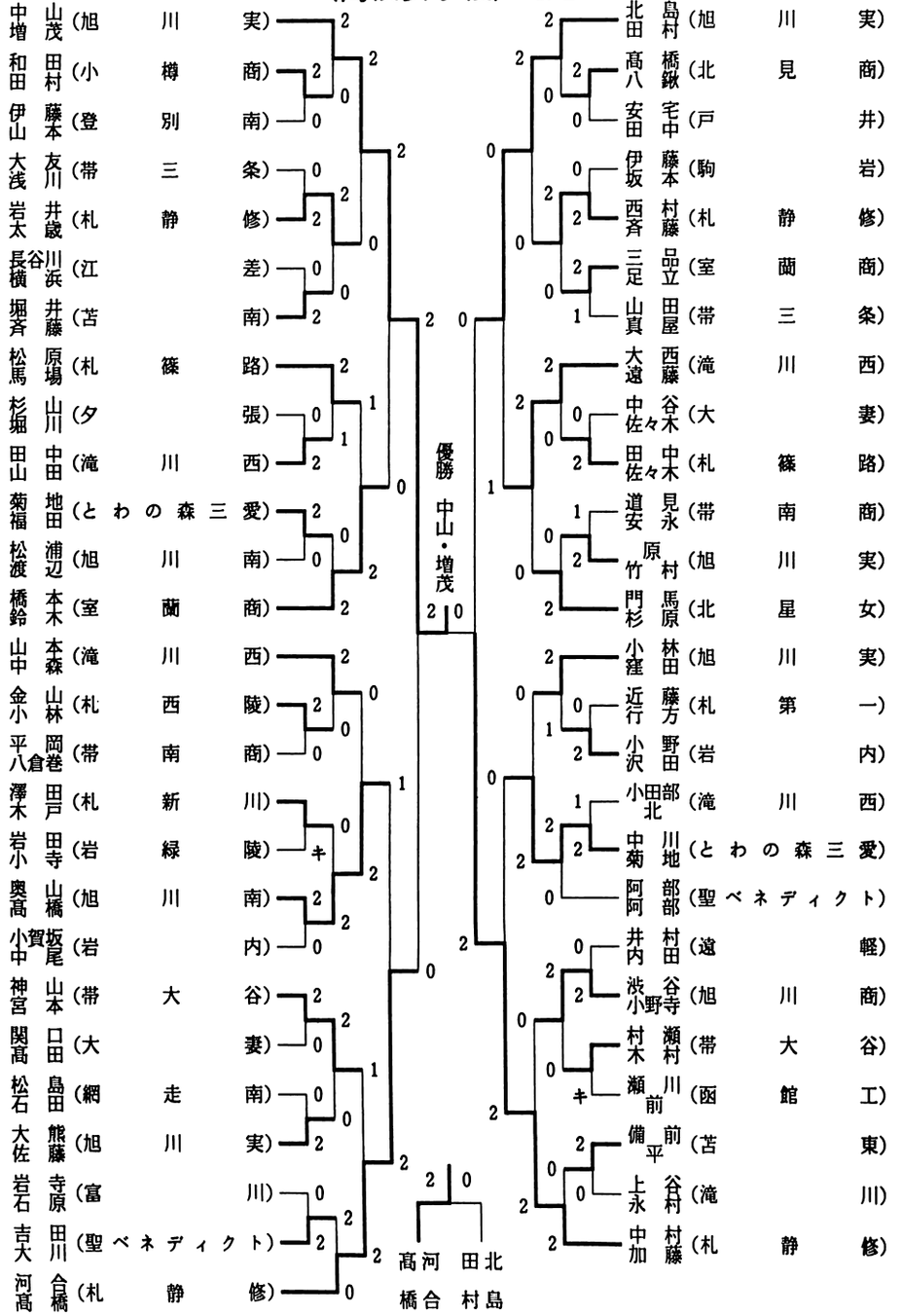
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



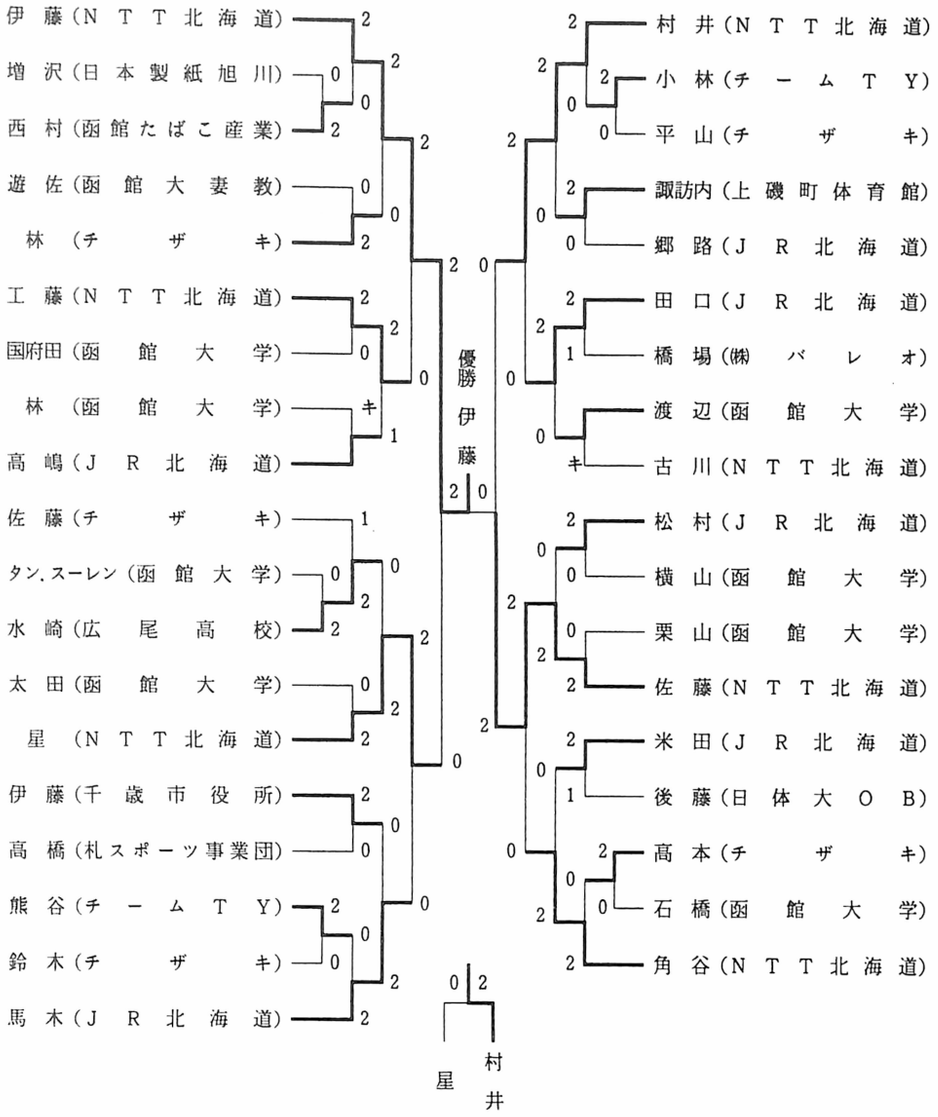
〈高校女子複〉ＧＤ



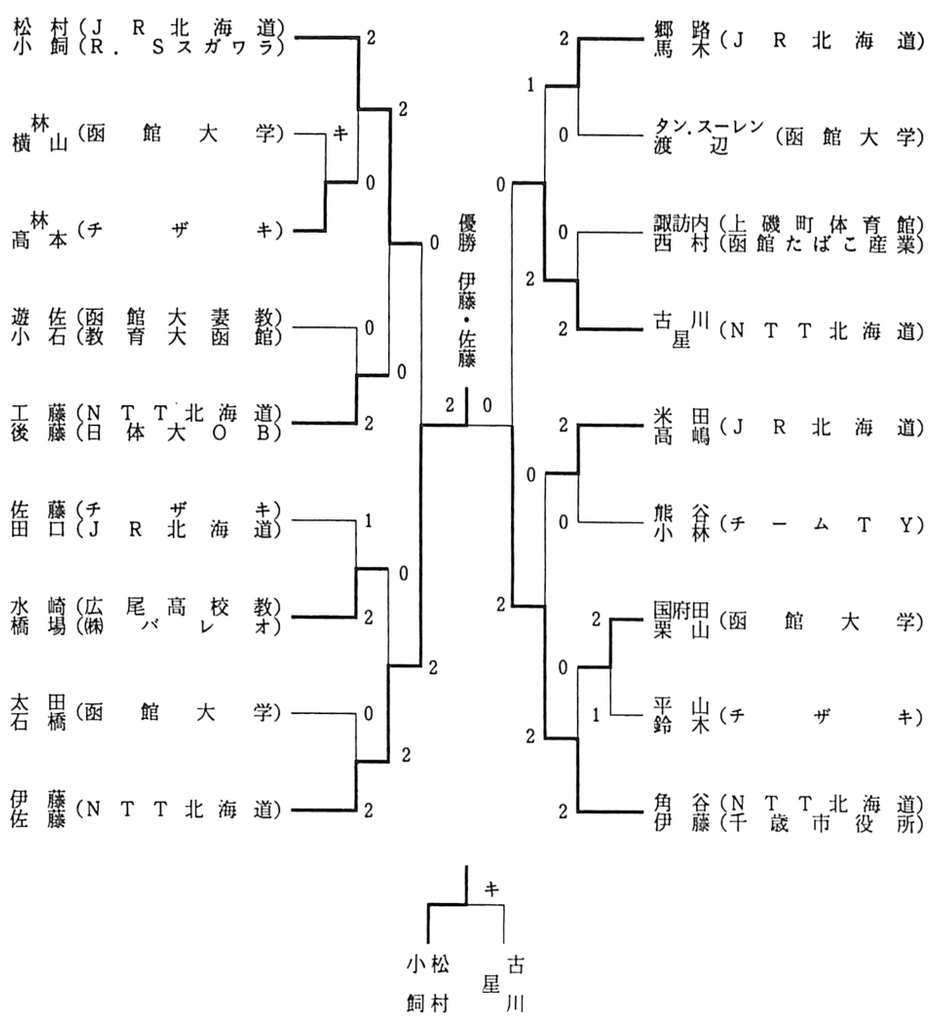
第47回

会場　函館市民体育館
期日　平成６年５月６日(金)～８日(日)

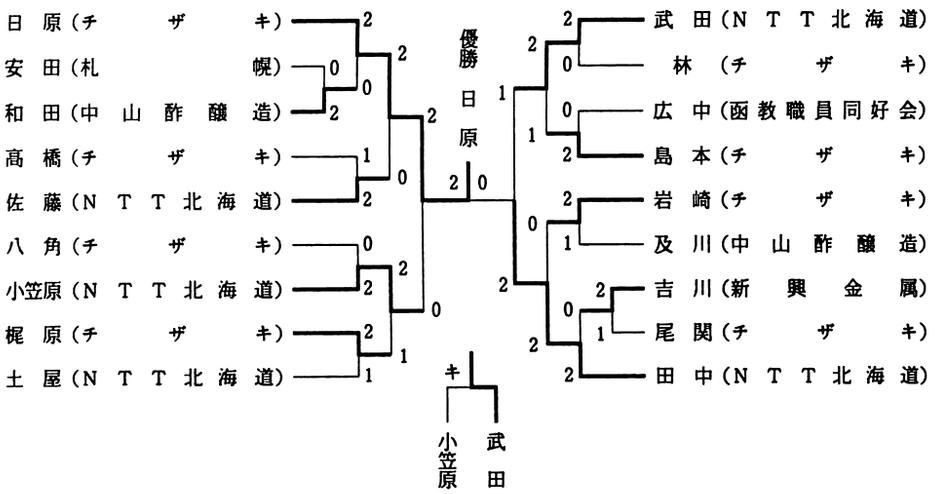
〈一般男子単〉ＭＳ



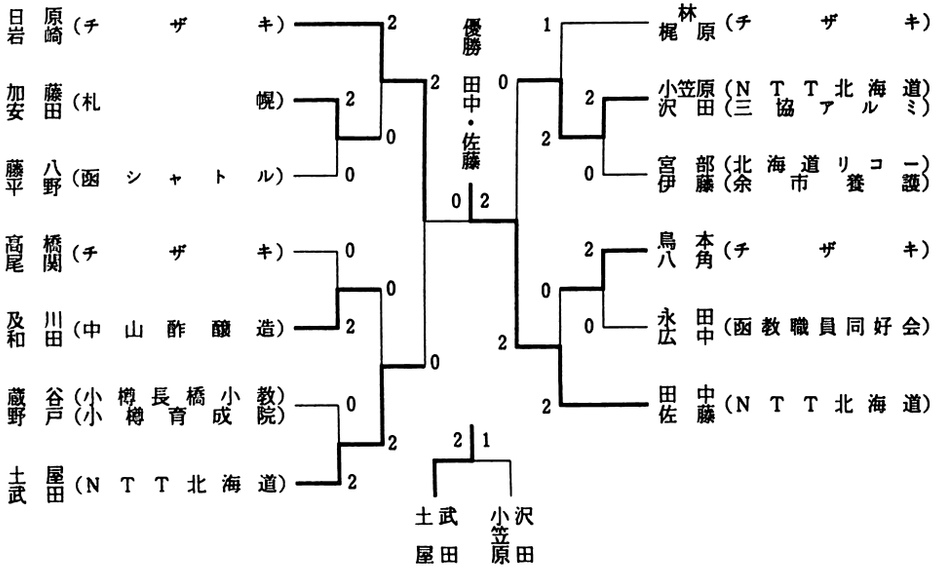
〈一般男子複〉ＭＤ



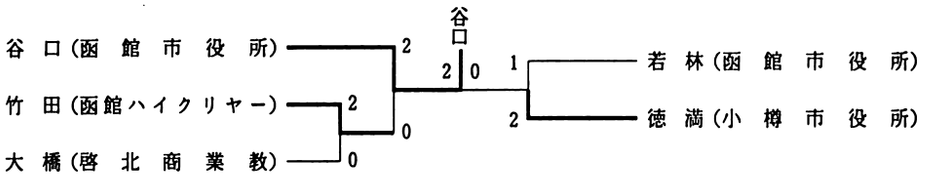
〈一般女子単〉ＬＳ



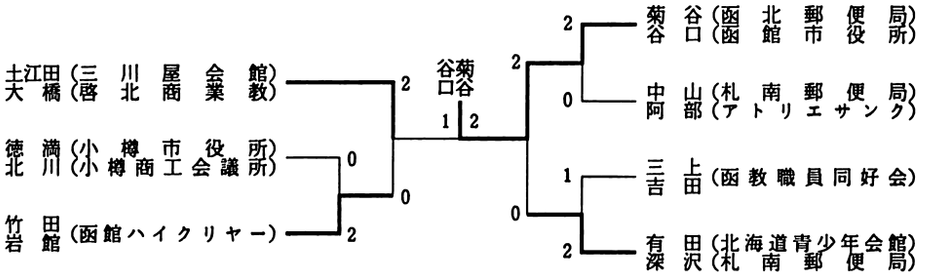
〈一般女子複〉ＬＤ



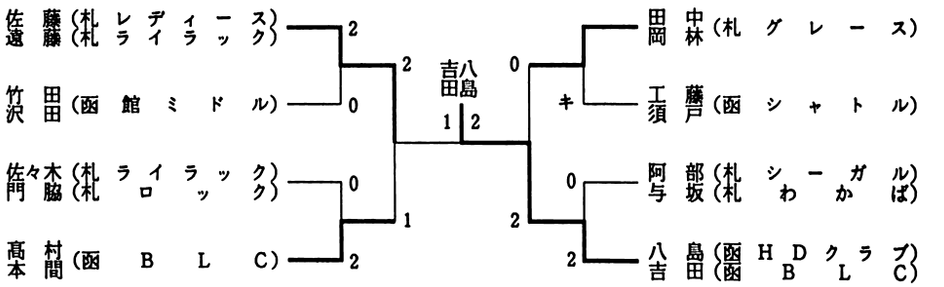
〈30才男子単〉30ＭＳ



〈30才男子複〉30ＭＤ



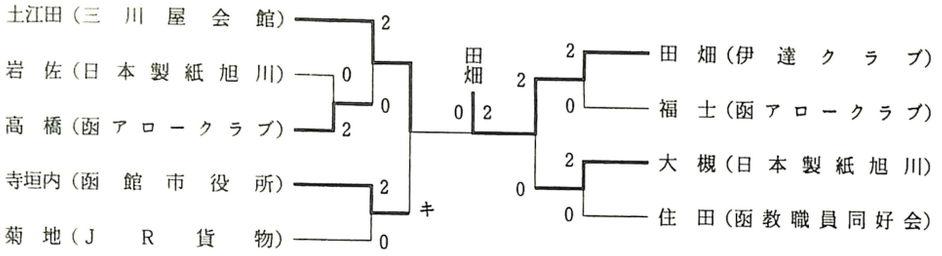
〈30才女子複〉30ＬＤ



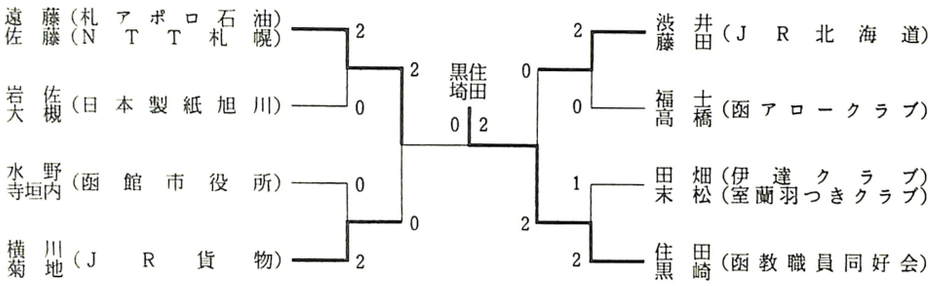
〈30才女子単〉30ＬＳ



〈40才男子単〉40ＭＳ



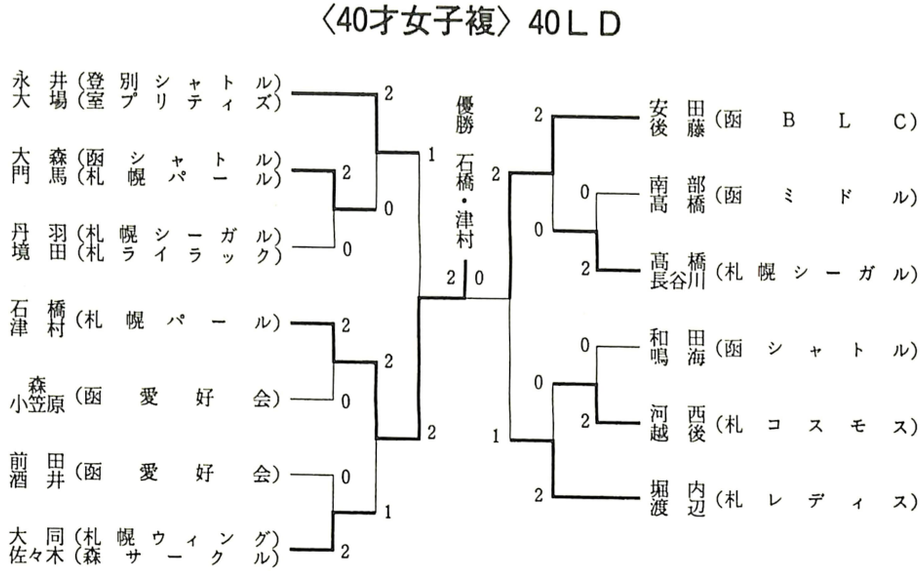
〈40才男子複〉40ＭＤ



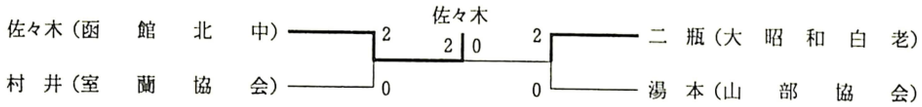
〈40才女子単〉40ＬＳ



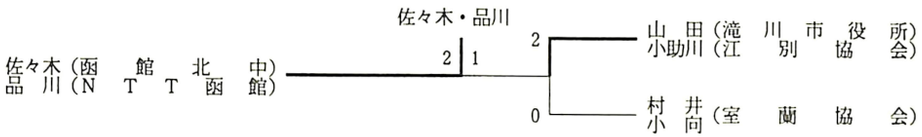
〈40才女子複〉40ＬＤ



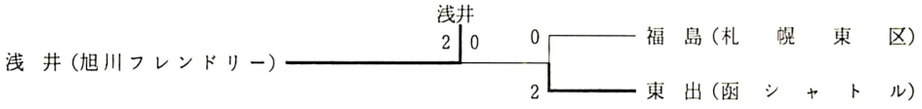
〈50才男子単〉50ＭＳ



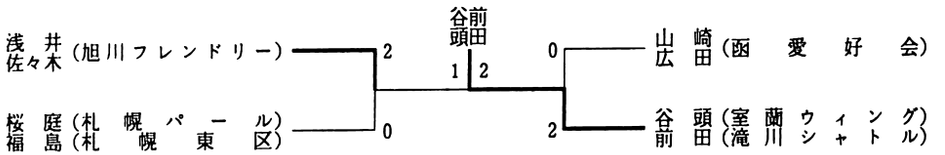
〈50才男子複〉50ＭＤ



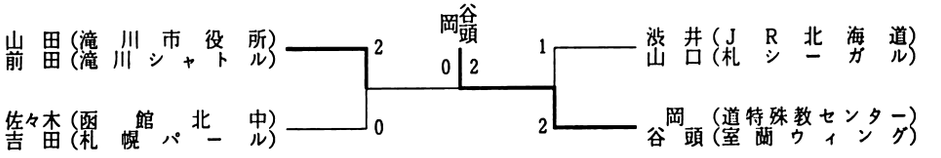
〈50才女子単〉50ＬＳ



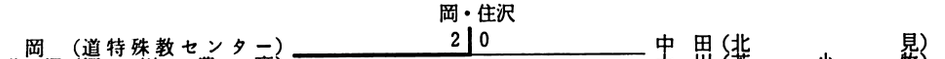
〈50才女子複〉50ＬＤ



〈50才〉Ｍｉｘ



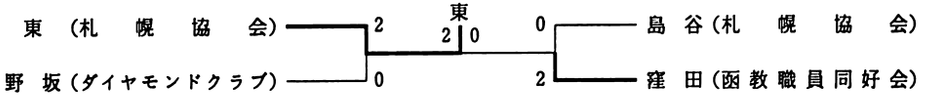
〈55才男子複〉55ＭＤ



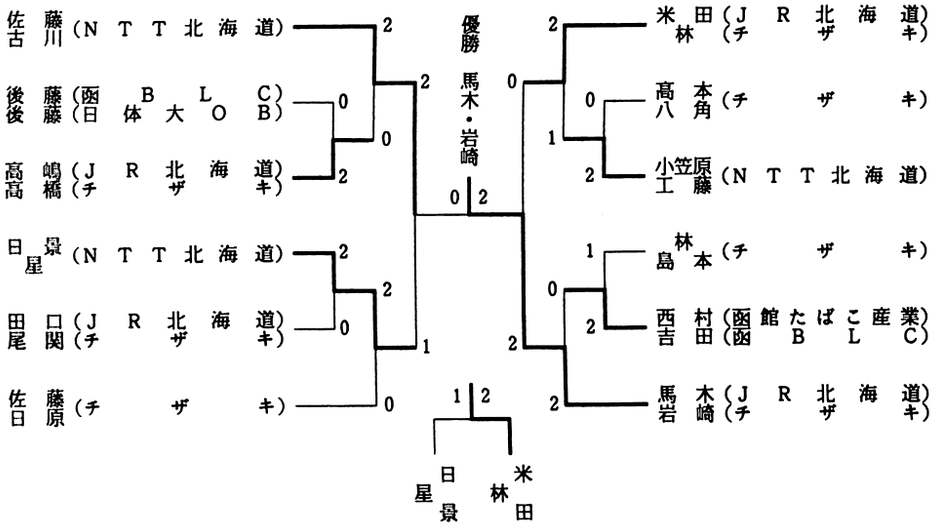
〈55才女子複〉55ＬＤ



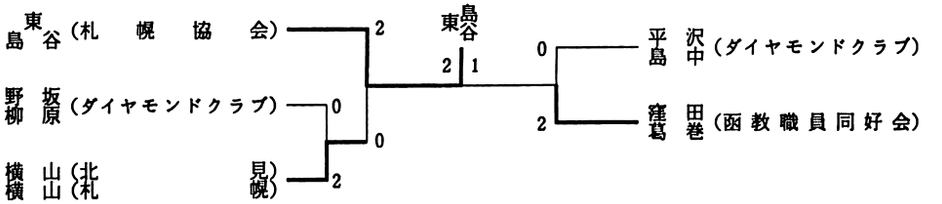
〈60才単〉60ＭＳ



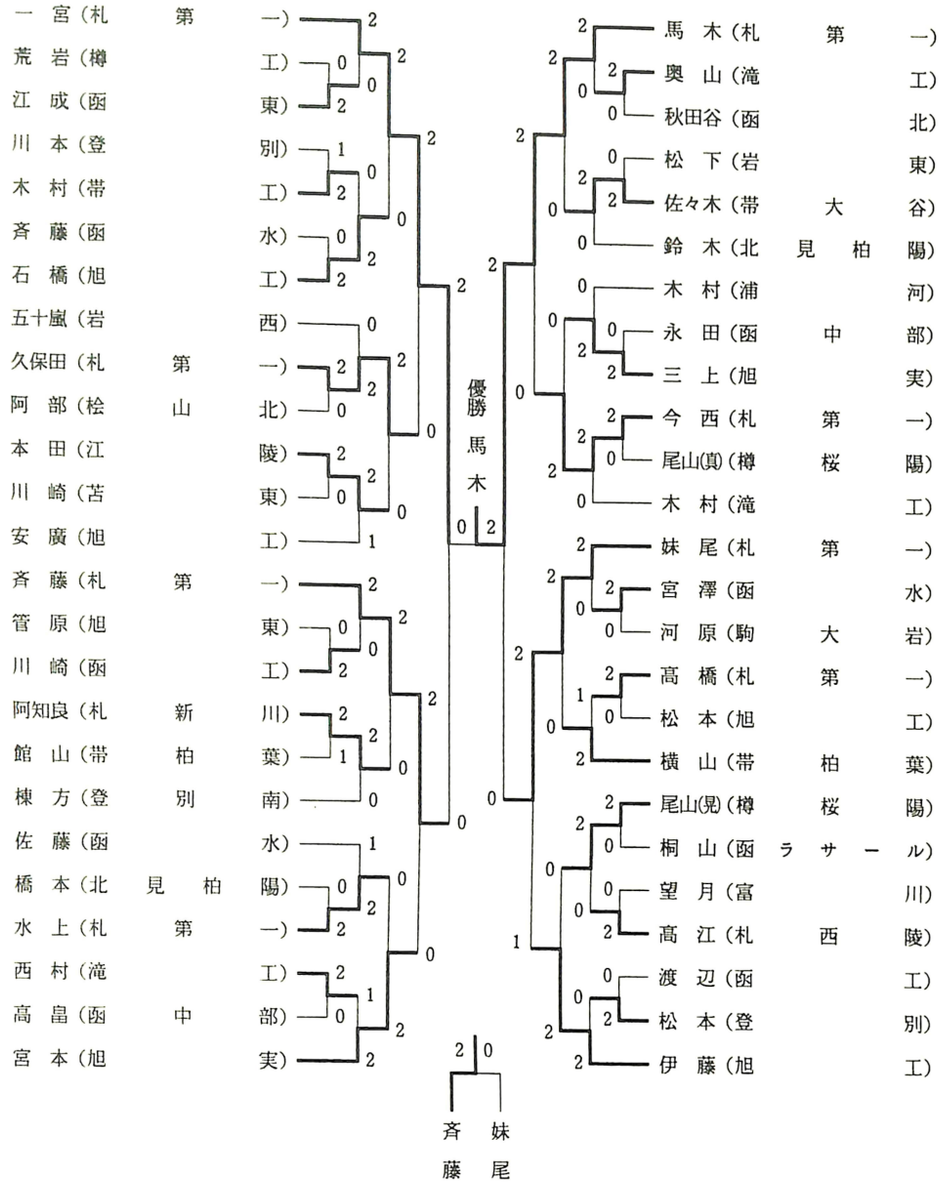
〈一般混合複〉Ｍｉｘ



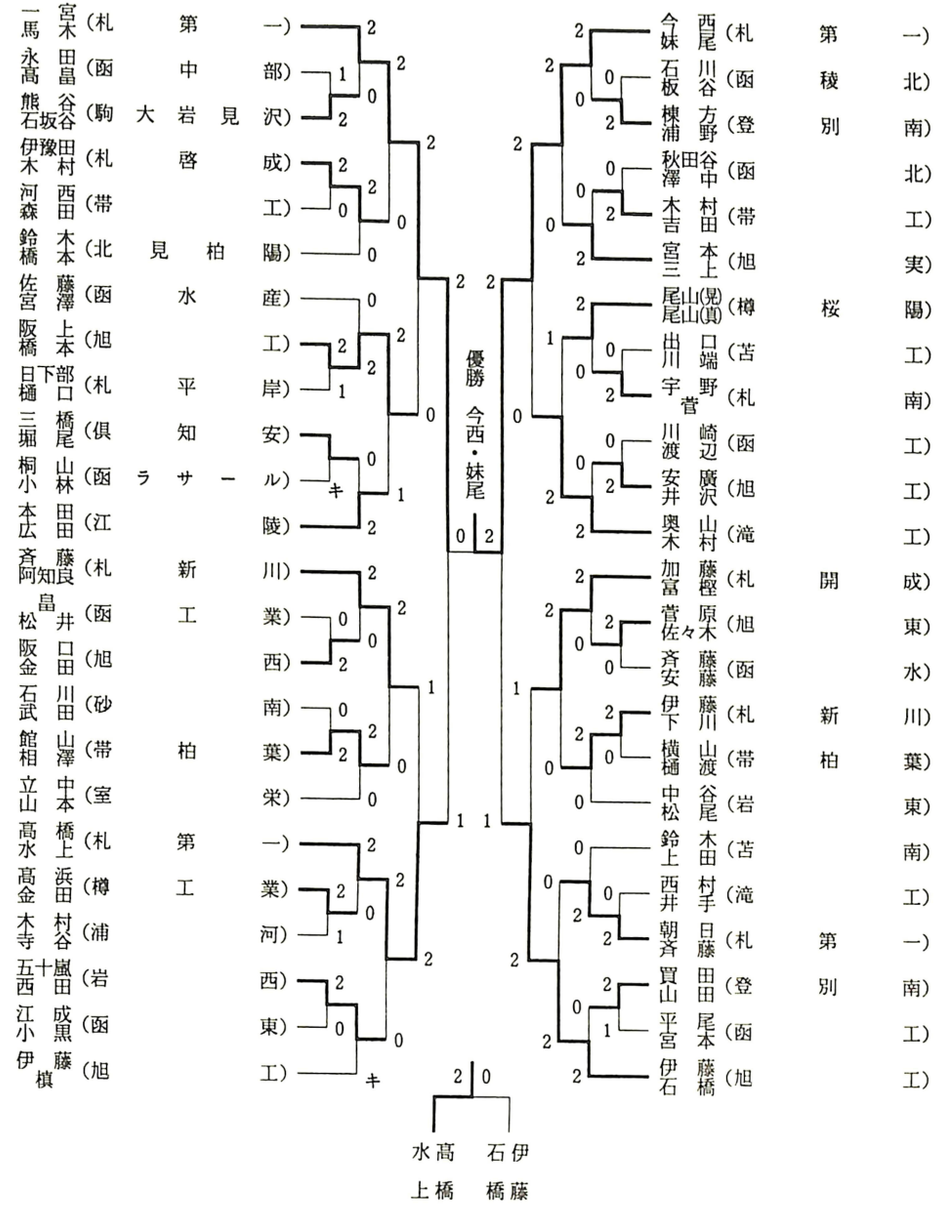
〈60才男子複〉60ＭＤ



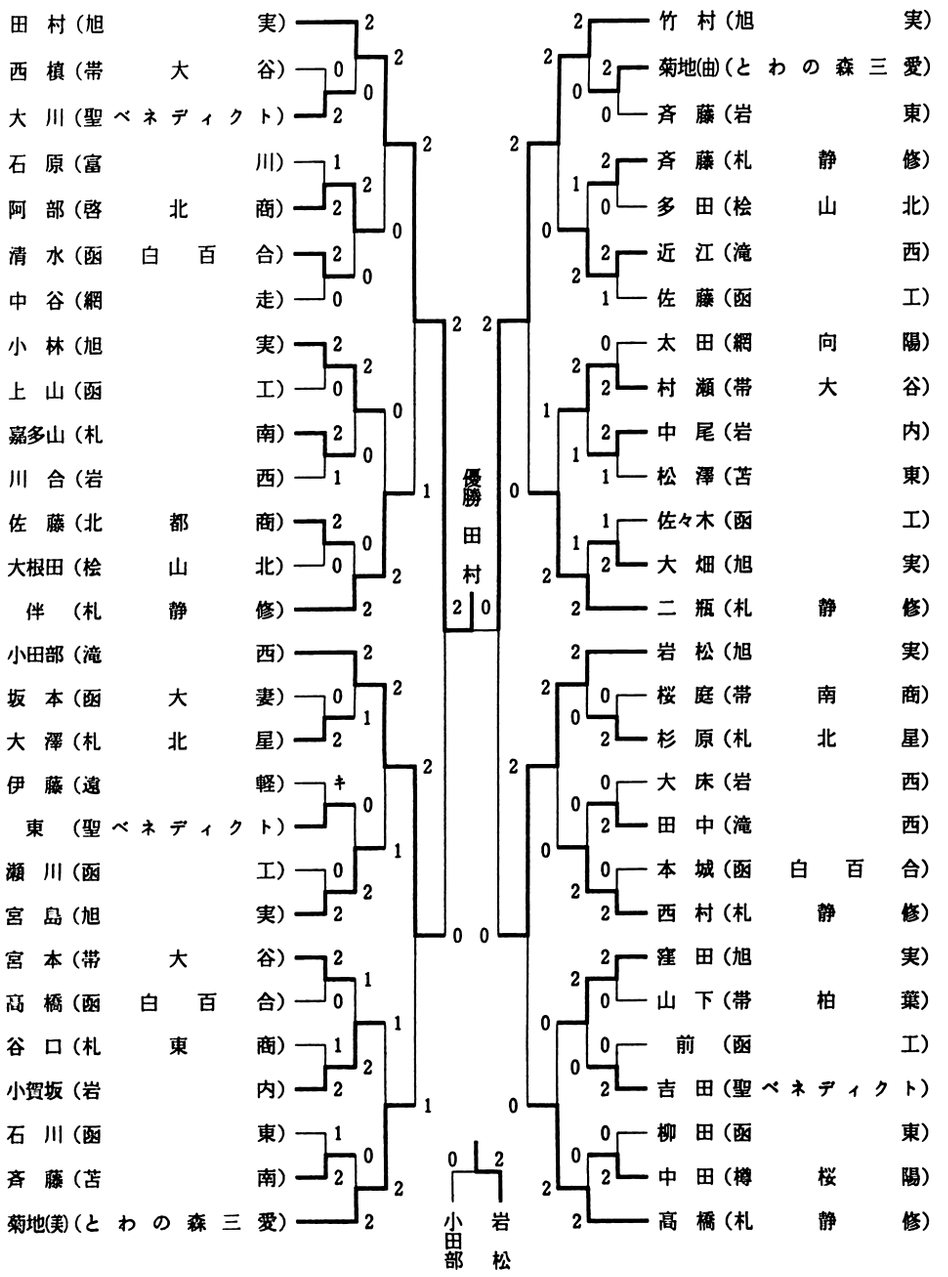
〈高校男子単〉ＢＳ



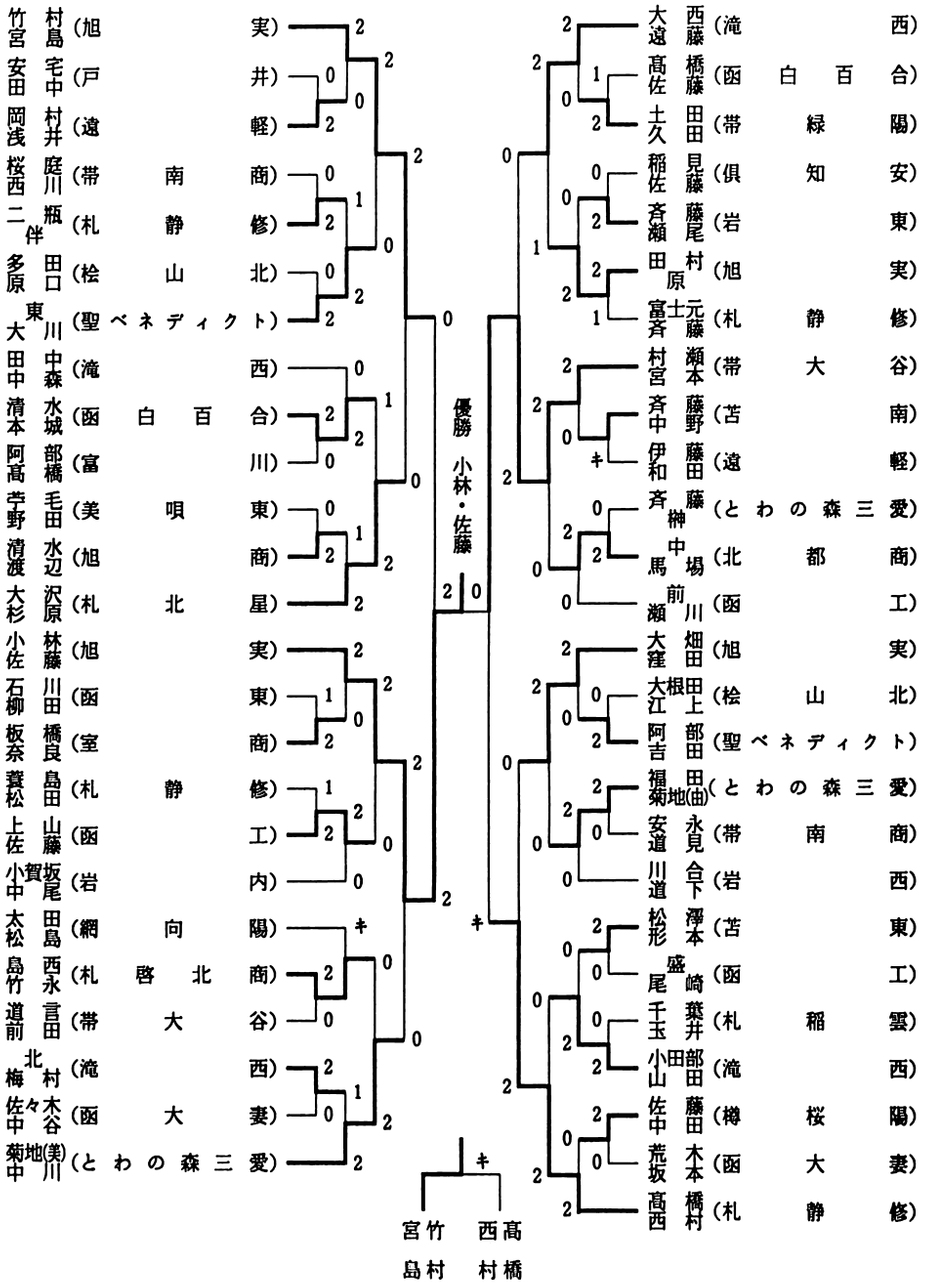
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



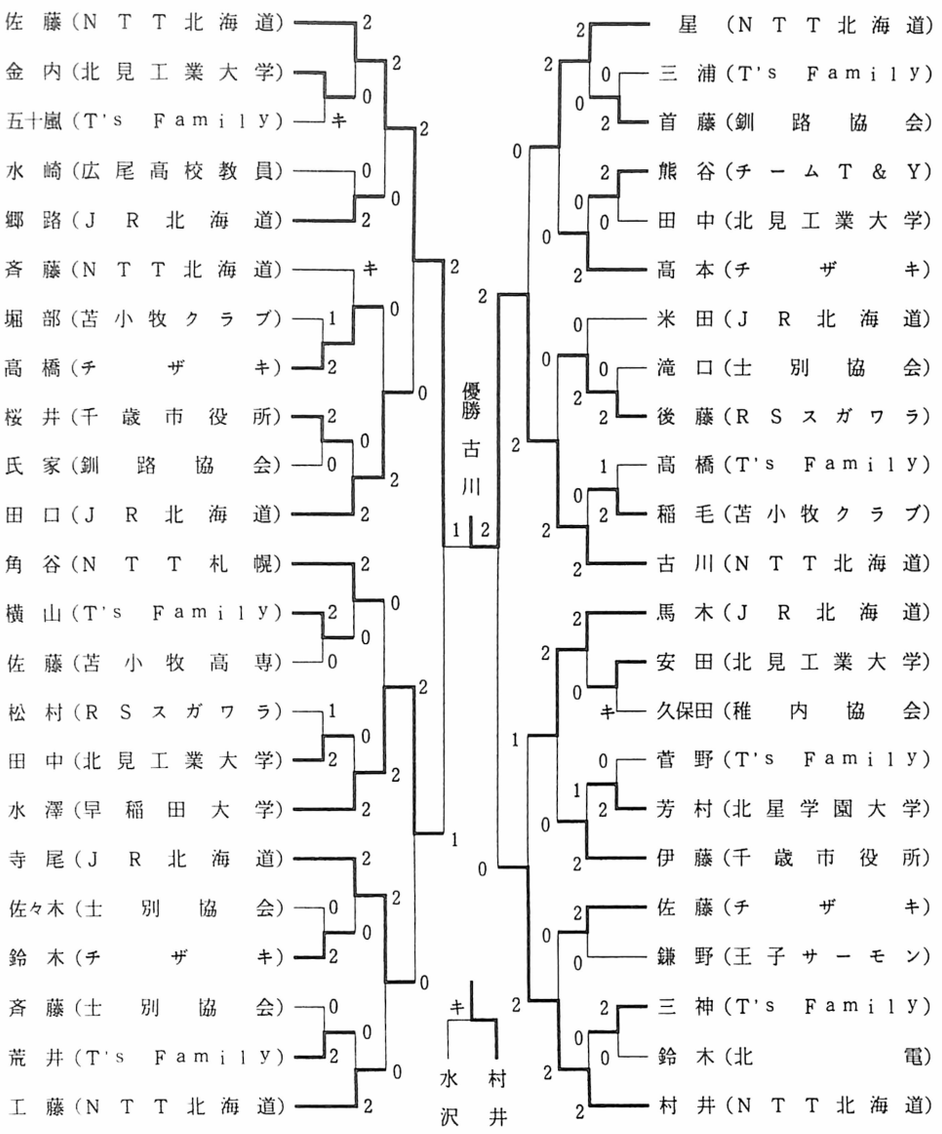
〈高校女子複〉ＧＤ



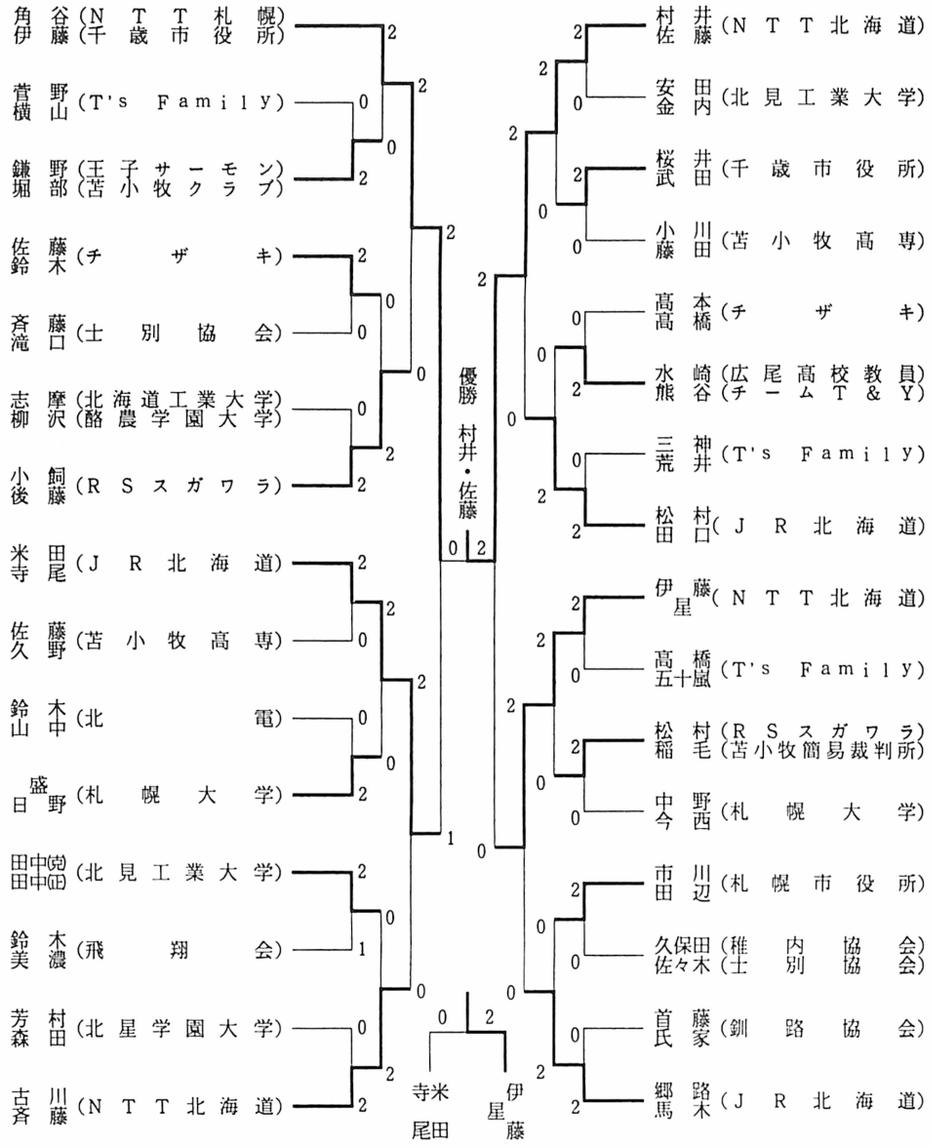
第48回

1995. 5／12(金)・13(土)・14(日)
会場　苫小牧市総合体育館

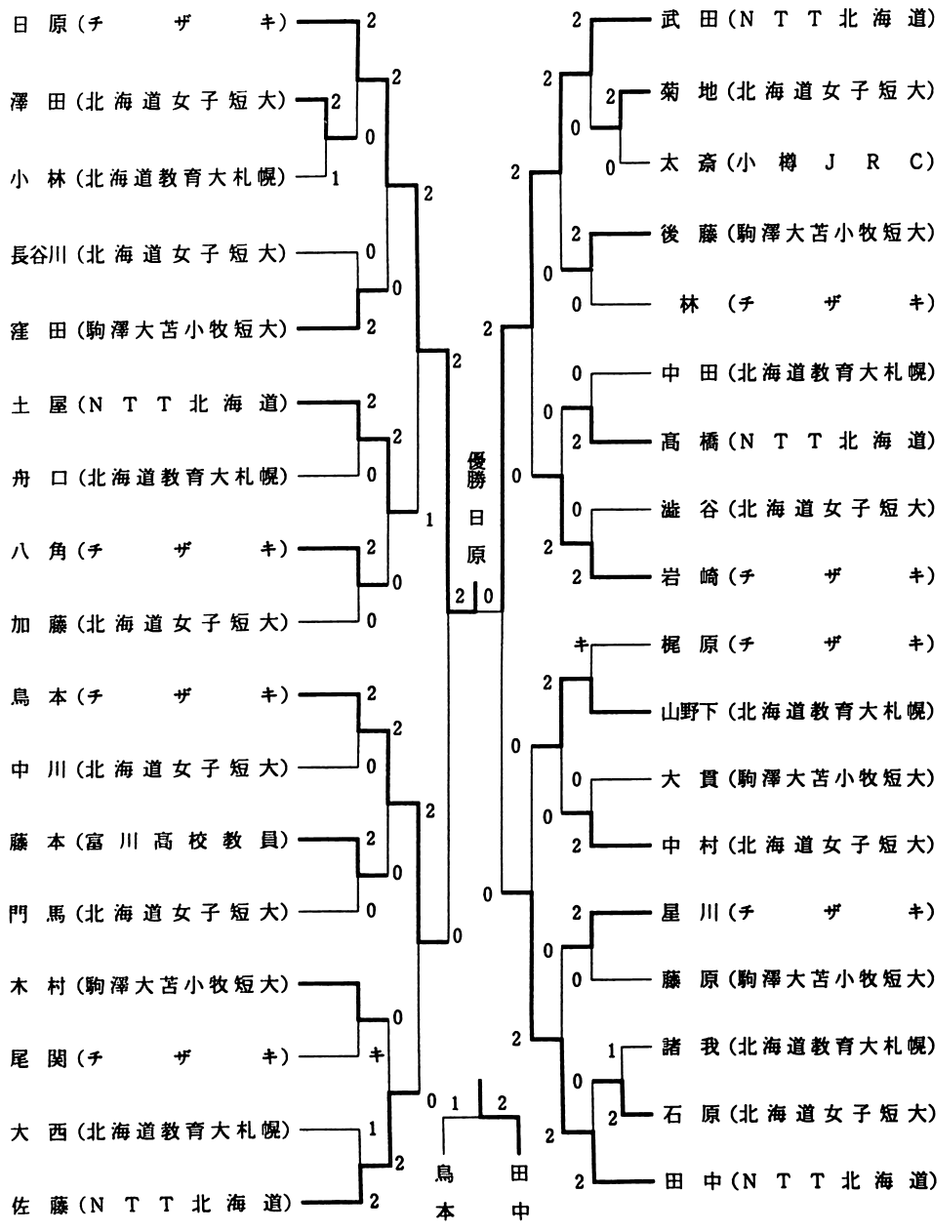
〈一般男子単〉ＭＳ



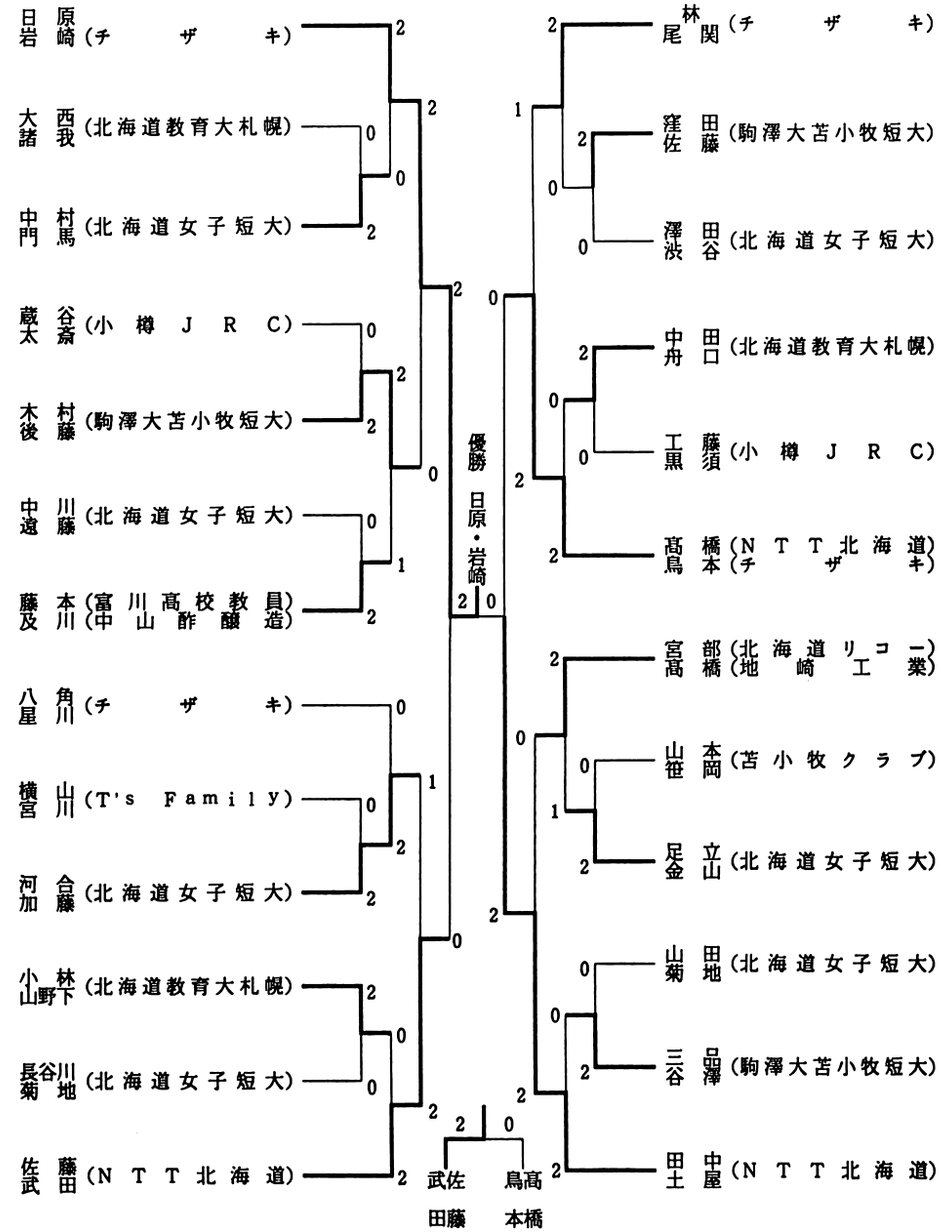
〈一般男子複〉ＭＤ



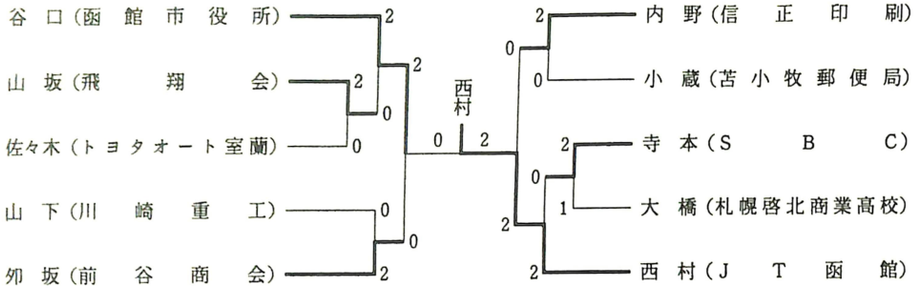
〈一般女子単〉ＬＳ



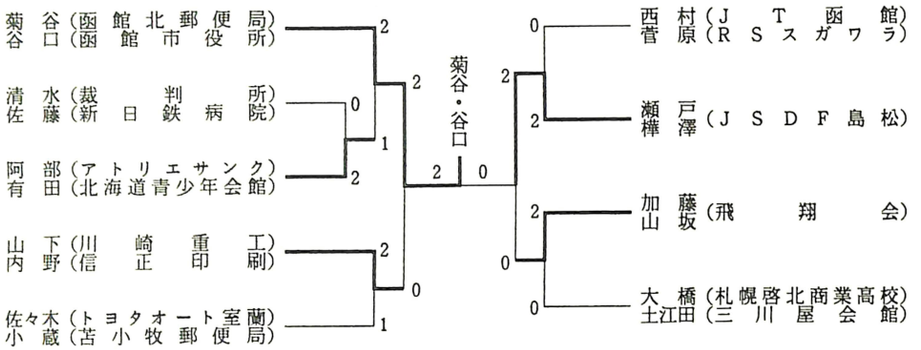
〈一般女子複〉ＬＤ



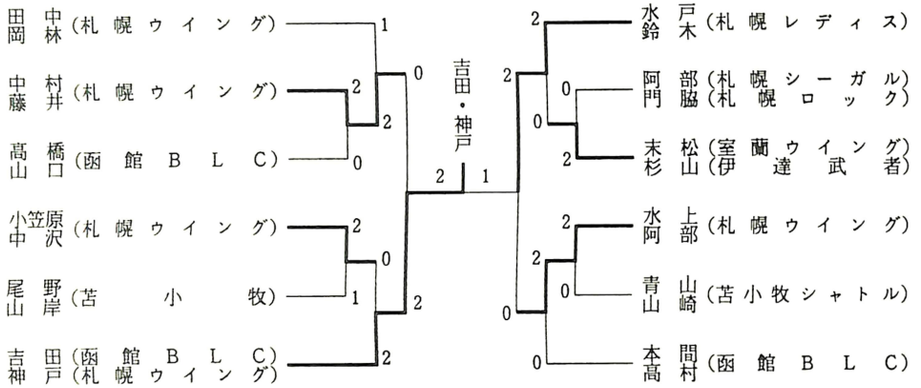
〈30歳男子単〉30ＭＳ



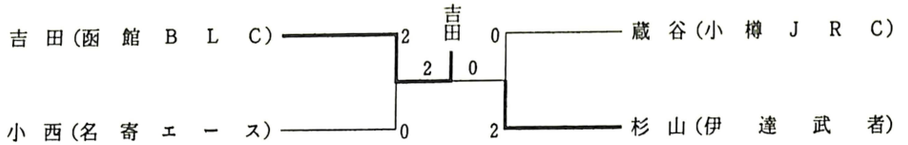
〈30歳男子複〉30ＭＤ



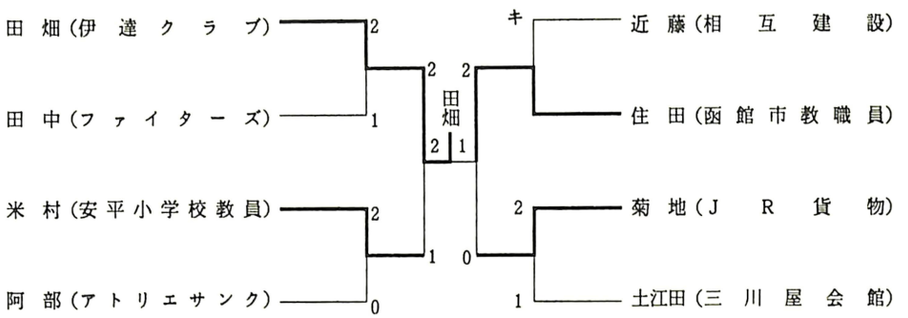
〈30歳女子複〉30ＬＤ



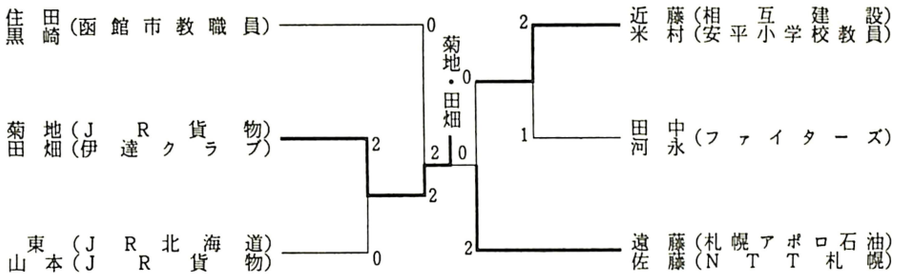
〈30歳女子単〉30ＬＳ



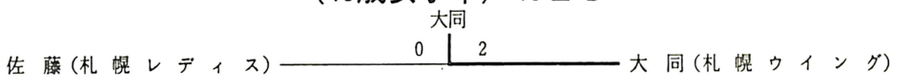
〈40歳男子単〉40ＭＳ



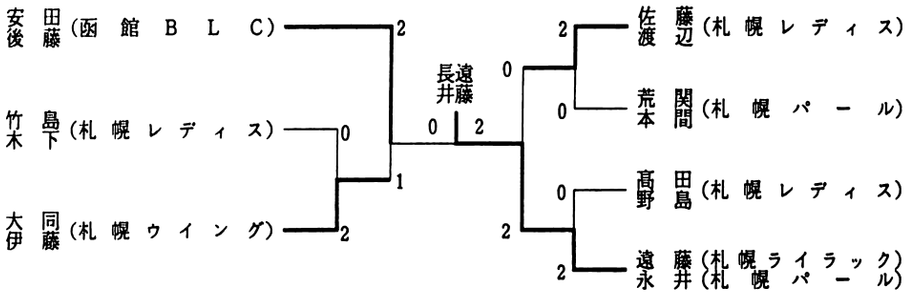
〈40歳男子複〉40ＭＤ



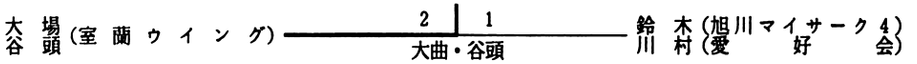
〈40歳女子単〉40ＬＳ



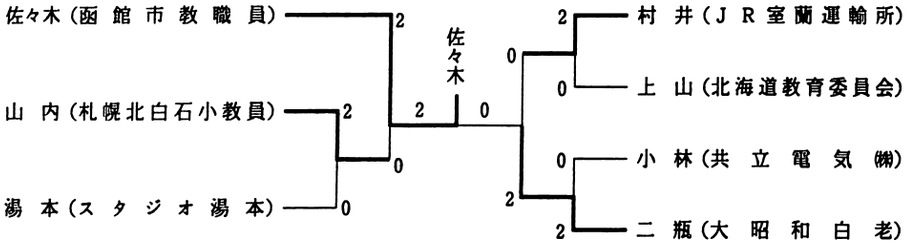
〈40歳女子複〉40ＬＤ



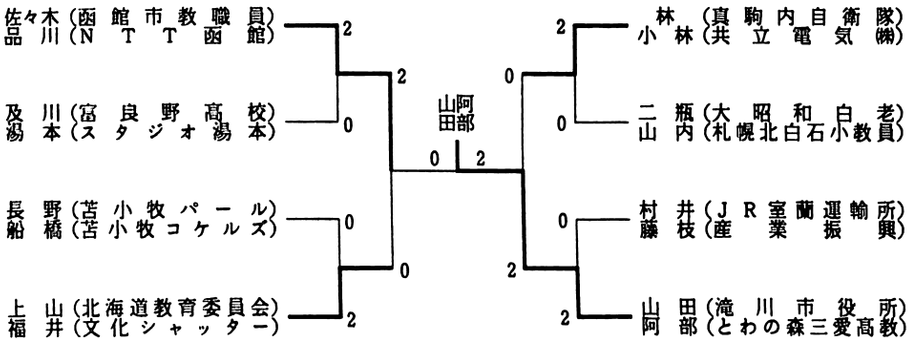
〈45歳女子複〉45ＬＤ



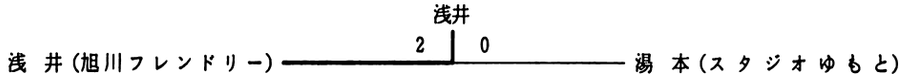
〈50歳男子単〉50ＭＳ



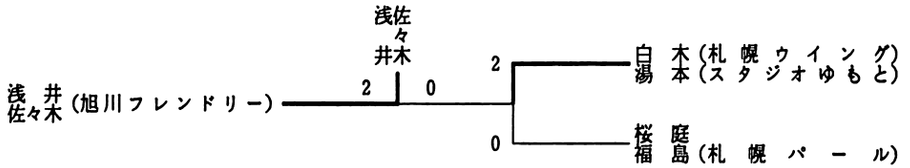
〈50歳男子複〉50ＭＤ



〈50歳女子単〉50ＬＳ



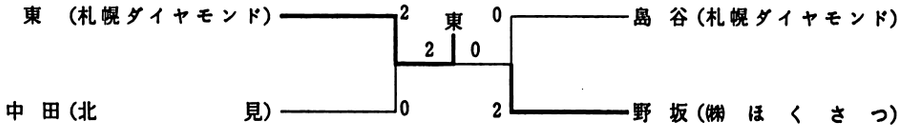
〈50歳女子複〉50ＬＤ



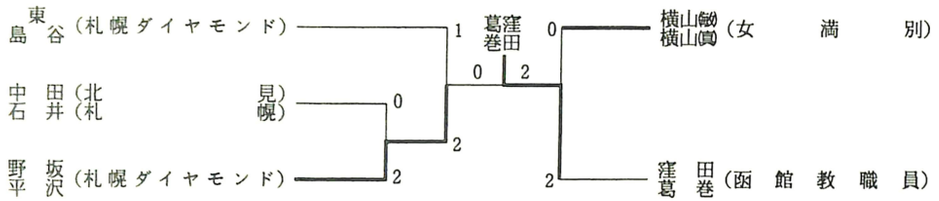
〈55歳男子単〉50ＭＳ



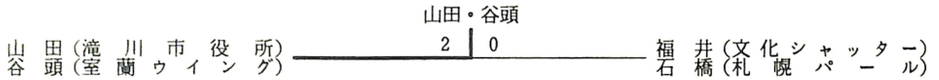
〈60歳男子単〉60ＭＳ



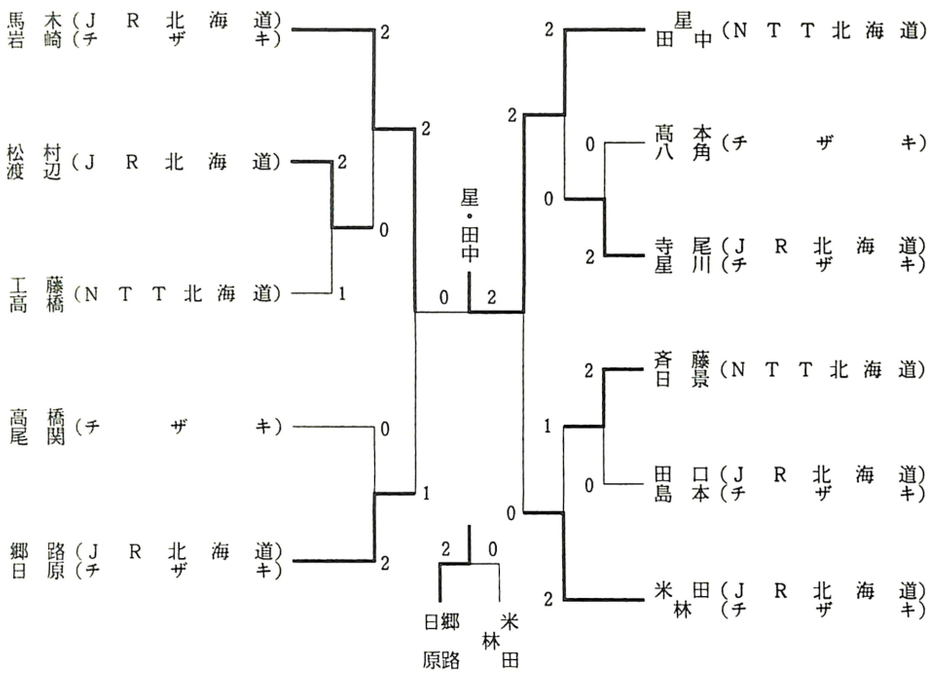
〈60歳男子複〉50ＭＤ



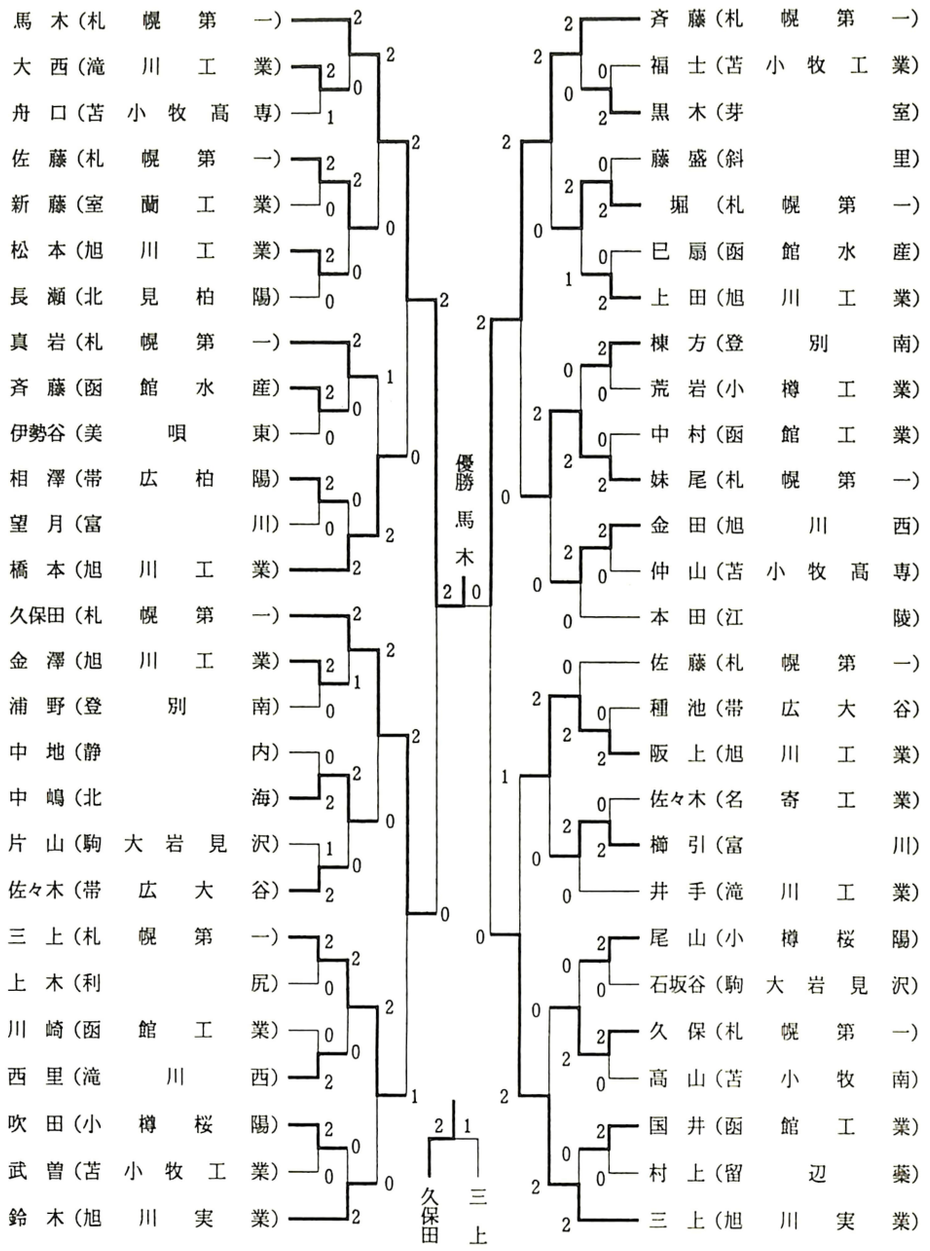
〈50歳混合複〉50Mix



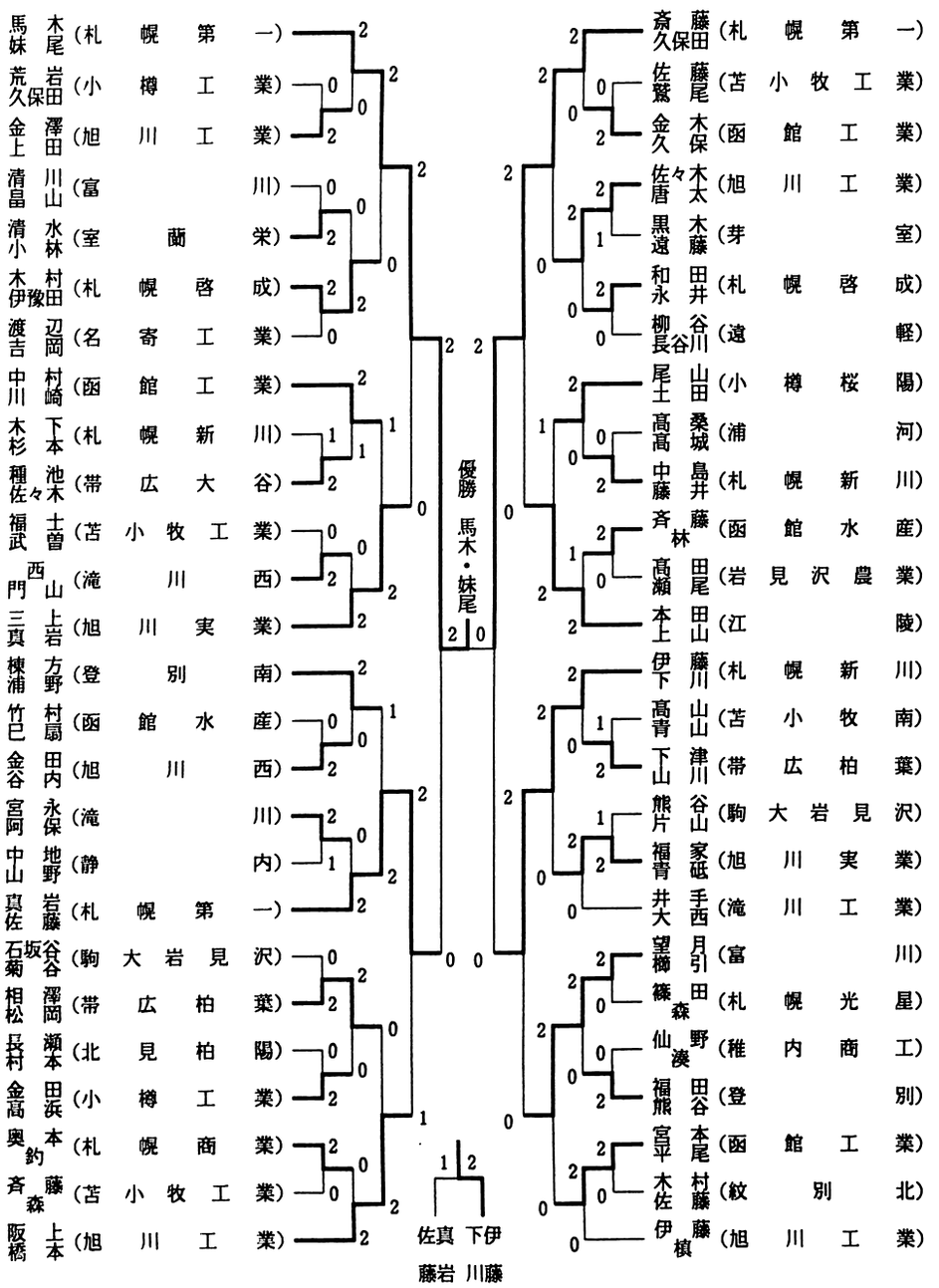
〈一般混合複〉Mix



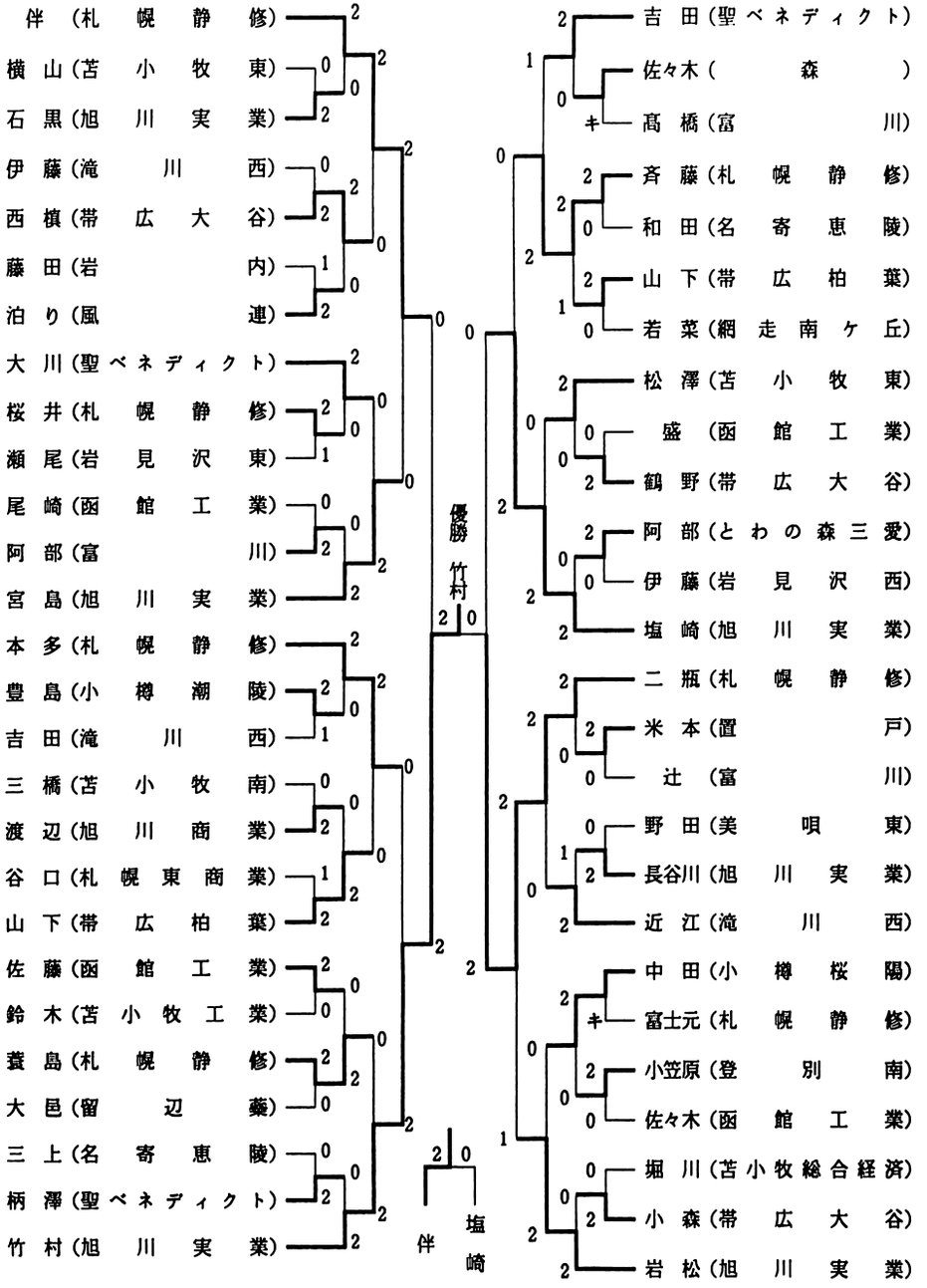
〈高校男子単〉ＢＳ



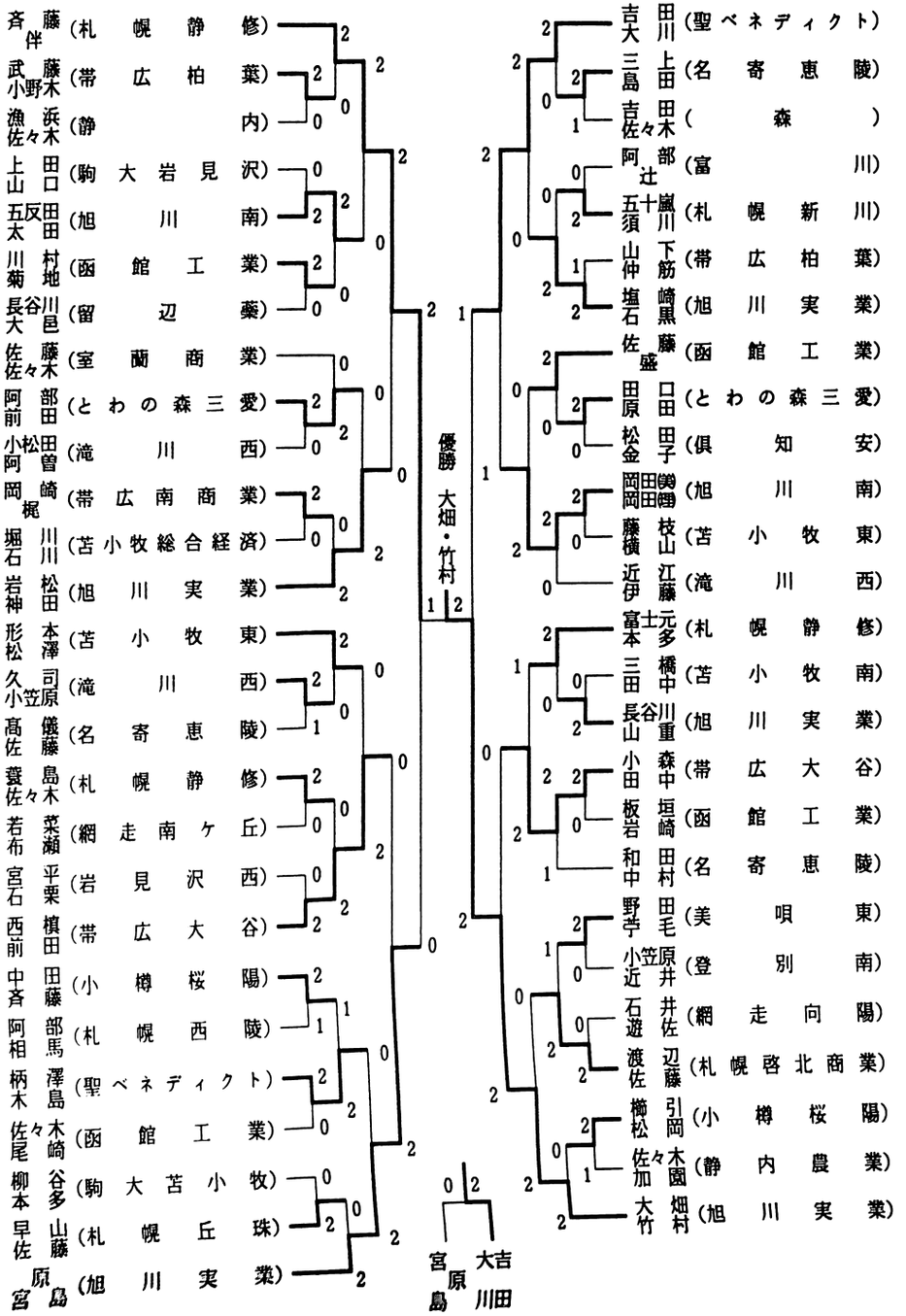
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



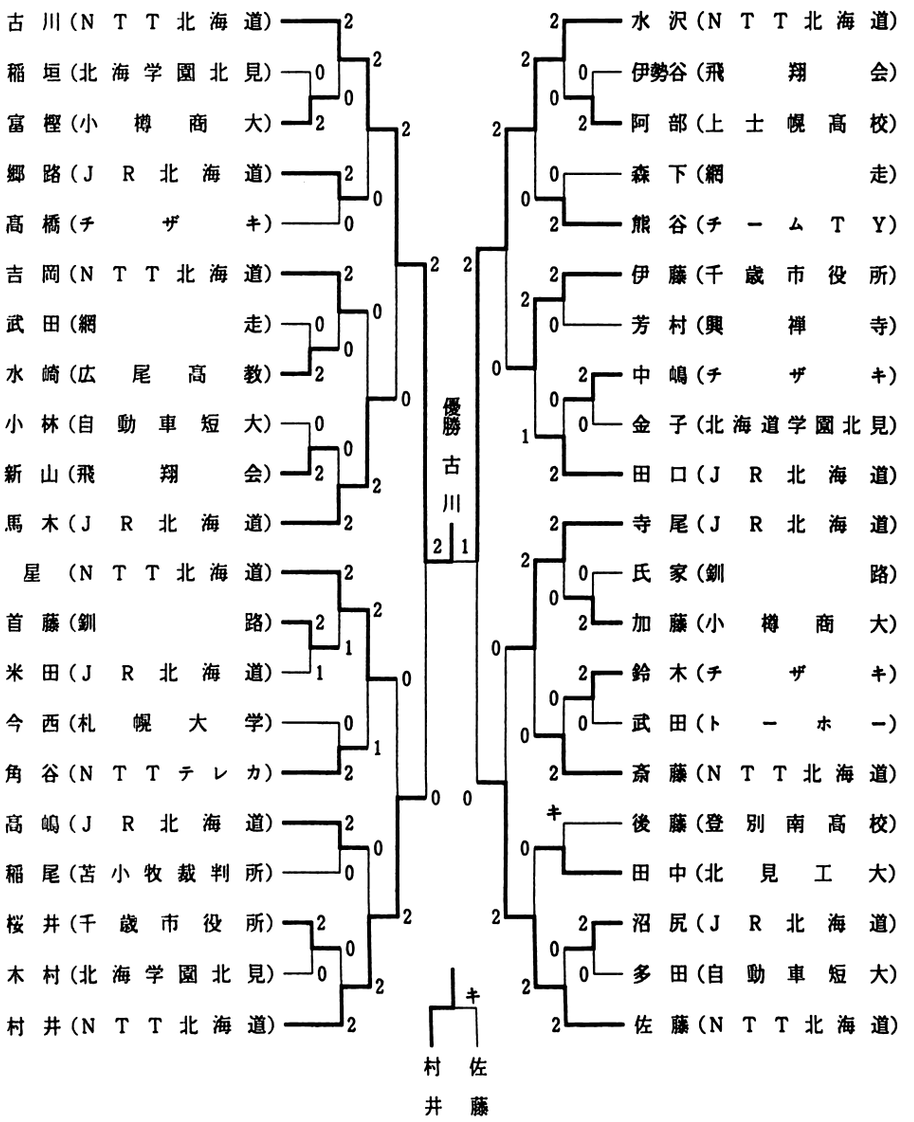
〈高校女子複〉ＧＤ


優勝 大畑・竹村
宮原 大吉
島 川田
斉藤伴（札幌静修）
武藤木小野（帯広柏葉）
漁浜木佐々（静内）
上山田口（駒大岩見沢）
五太反田田（旭川南）
川菊村地（函館工業）
長谷川邑（留辺蘂）
佐佐藤木々（室蘭商業）
阿部田前（とわの森三愛）
小松田曽（滝川西）
阿崎岡（帯広南商業）
堀石川梶川（苫小牧総合経済）
岩神松田（旭川実業）
形松本澤（苫小牧東）
久小笠原司（滝川西）
髙佐儀藤（名寄恵陵）
蓑佐々島木（札幌静修）
若布菜瀬（網走南ケ丘）
宮石平栗（岩見沢西）
西前槙田（帯広大谷）
中斉田藤（小樽桜陽）
阿相部馬（札幌西陵）
柄木澤島（聖ベネディクト）
佐尾木崎々（函館工業）
柳本谷多（駒大苫小牧）
早佐山藤（札幌丘珠）
宮原島（旭川実業）
吉大田川（聖ベネディクト）
三島上田（名寄恵陵）
吉佐々田木（森）
阿辻部（富川）
五須十嵐川（札幌新川）
山仲下筋（帯広柏葉）
塩石崎黒（旭川実業）
佐盛藤（函館工業）
田原口田（とわの森三愛）
松金田子（倶知安）
岡田（美唄）岡田（旭川南）
藤横枝山（苫小牧東）
近伊江藤（滝川西）
富本士元多（札幌静修）
三田橋中（苫小牧南）
長谷川重（旭川実業）
小田森中（帯広大谷）
板岩垣崎（函館工業）
和中田村（名寄恵陵）
野芋田毛（美唄東）
小笠原井（登別南）
近井佐（網走向陽）
石遊辺藤（札幌啓北商業）
渡佐引岡（小樽桜陽）
櫛松木々（静内農業）
佐加園畑村（旭川実業）
大竹

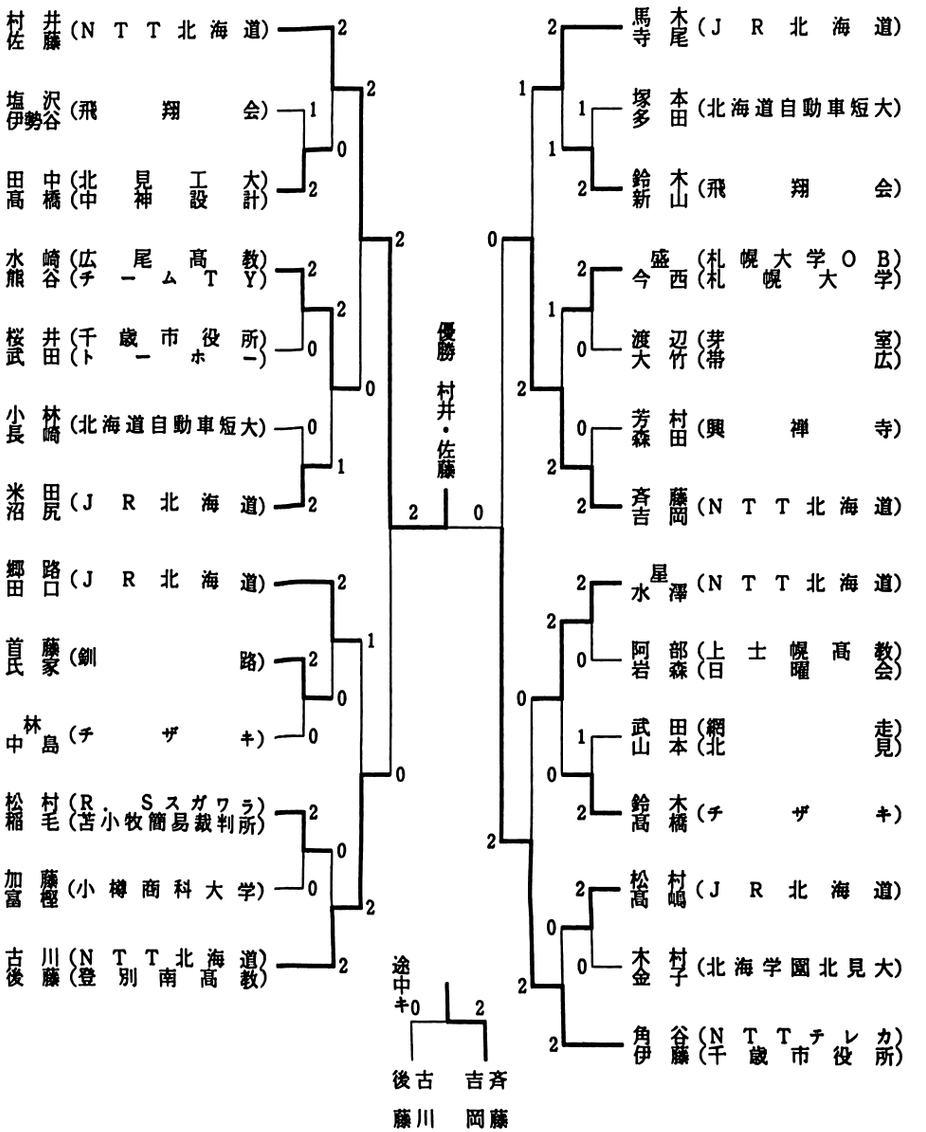
第49回　期日　1996. 5／10(金)・11(土)・12(日)

会場　北海道立北見体育センター・北見市立体育センター

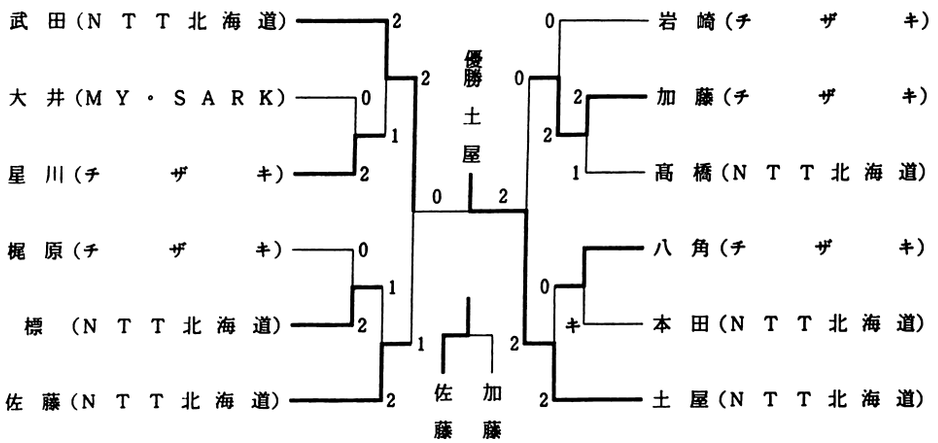
〈一般男子単〉ＭＳ



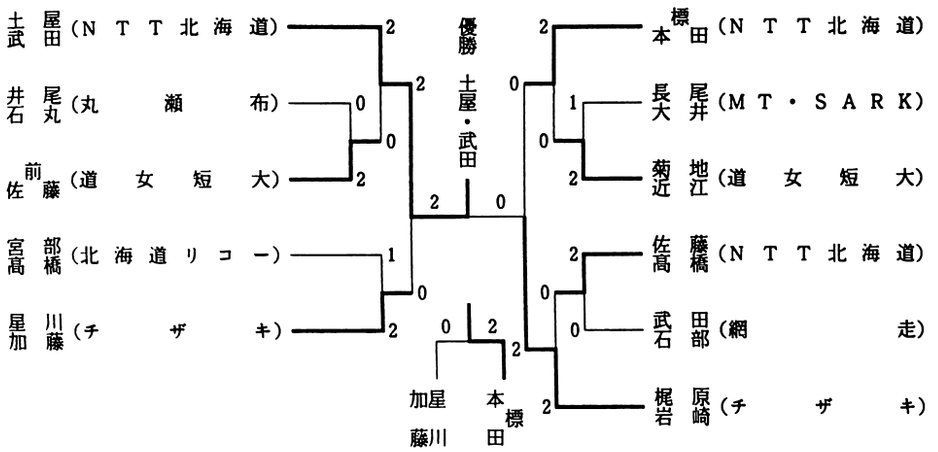
〈一般男子複〉ＭＤ



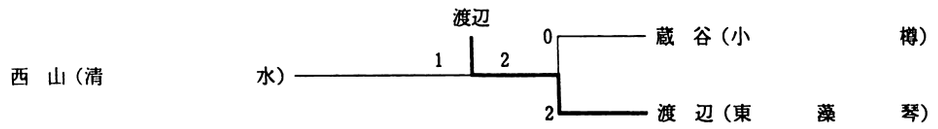
〈一般女子単〉ＬＳ



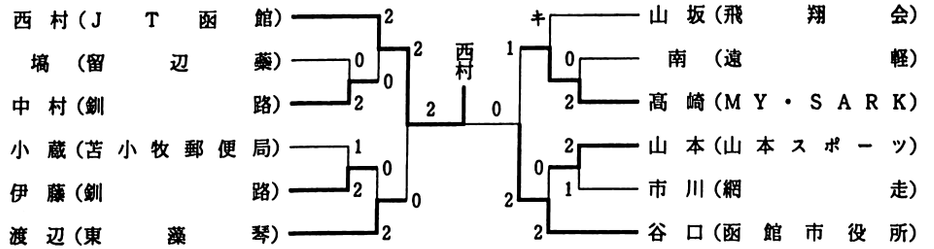
〈一般女子複〉ＬＤ



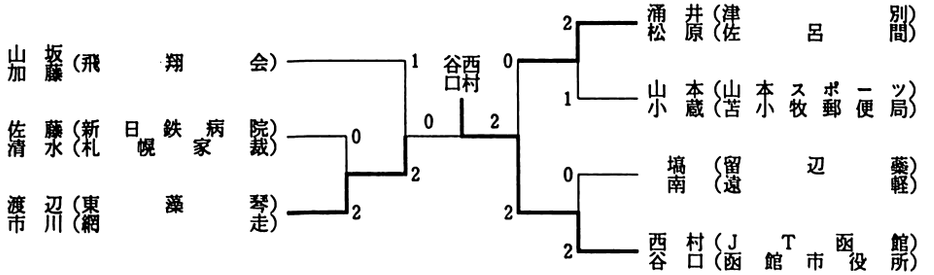
〈30歳以上女子単〉30ＬＳ



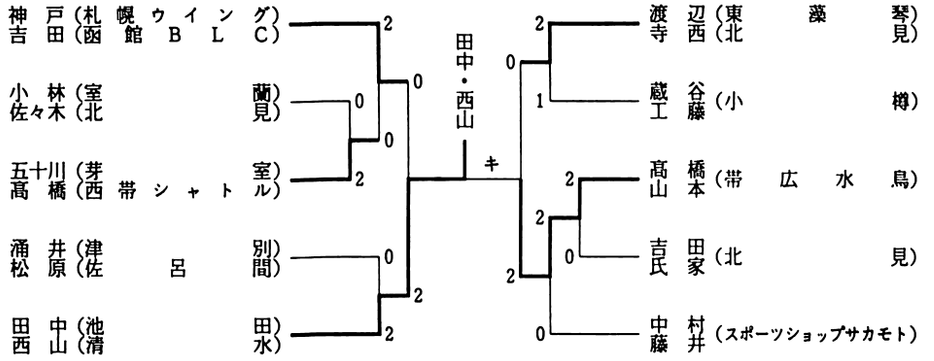
〈30歳以上男子単〉30ＭＳ



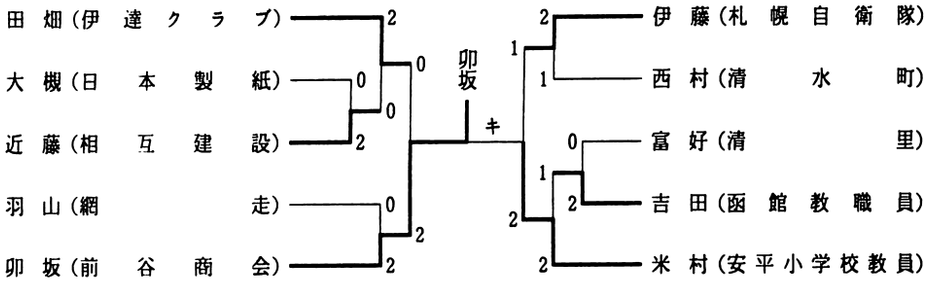
〈30歳以上男子複〉30ＭＤ



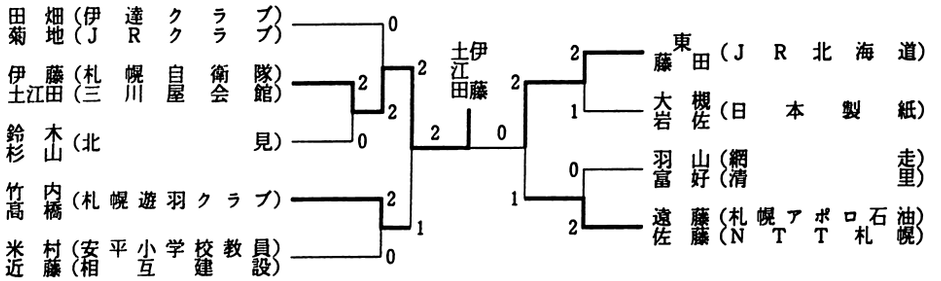
〈30歳以上女子単〉30ＬＤ



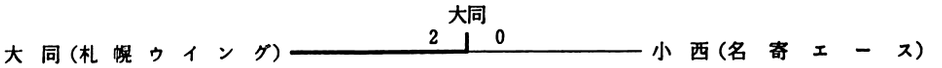
〈40歳以上男子単〉40ＭＳ



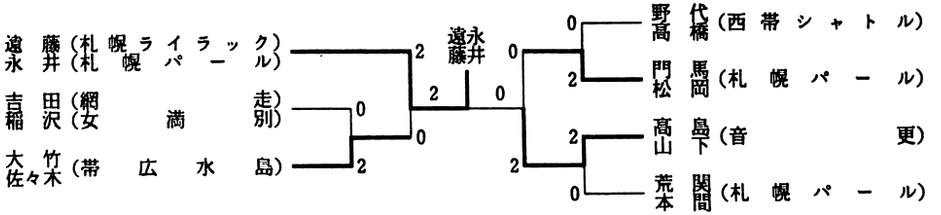
〈40歳以上男子複〉40ＭＤ



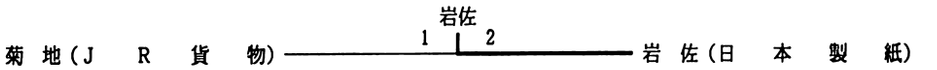
〈40歳以上女子単〉40ＬＳ



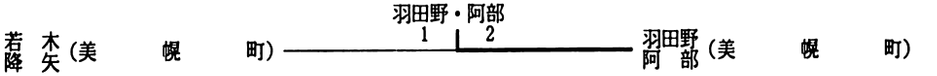
〈40歳以上女子複〉40ＬＤ



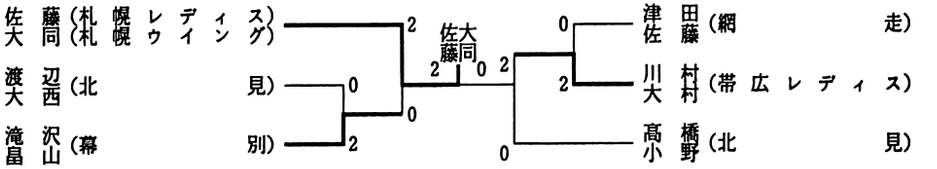
〈45歳以上男子単〉45ＭＳ



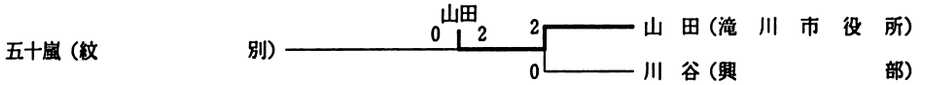
〈45歳以上男子複〉45ＭＤ



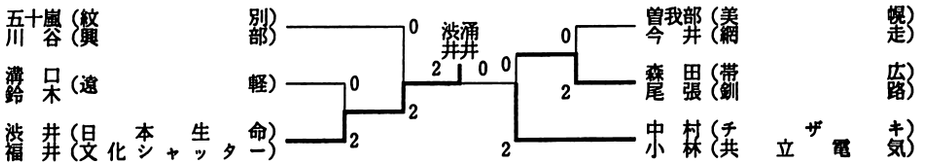
〈45歳以上女子複〉45ＬＤ



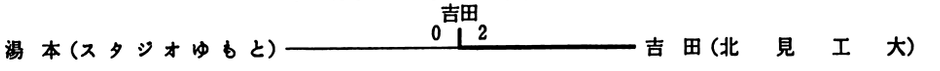
〈50歳以上男子単〉50ＭＳ



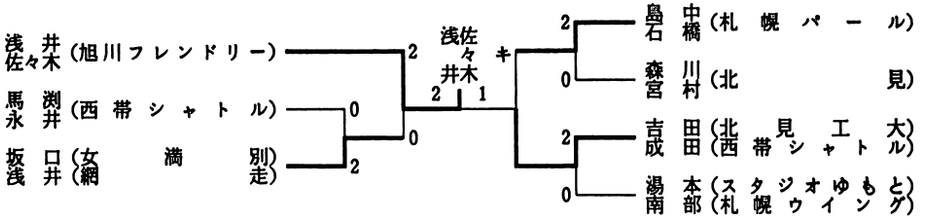
〈50歳以上男子複〉50ＭＤ



〈50歳以上女子単〉50ＬＳ



〈50歳以上女子複〉50ＬＤ



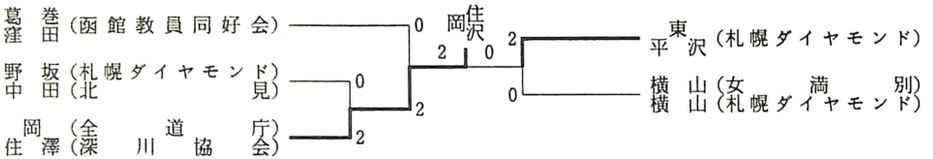
〈55歳以上男子単〉55ＭＳ



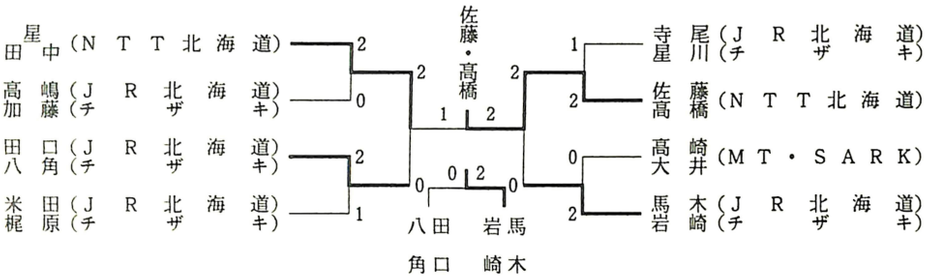
〈60歳以上男子単〉60ＭＳ



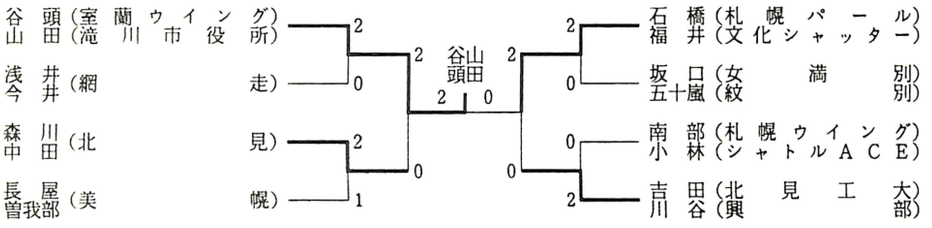
〈60歳以上男子複〉60ＭＤ



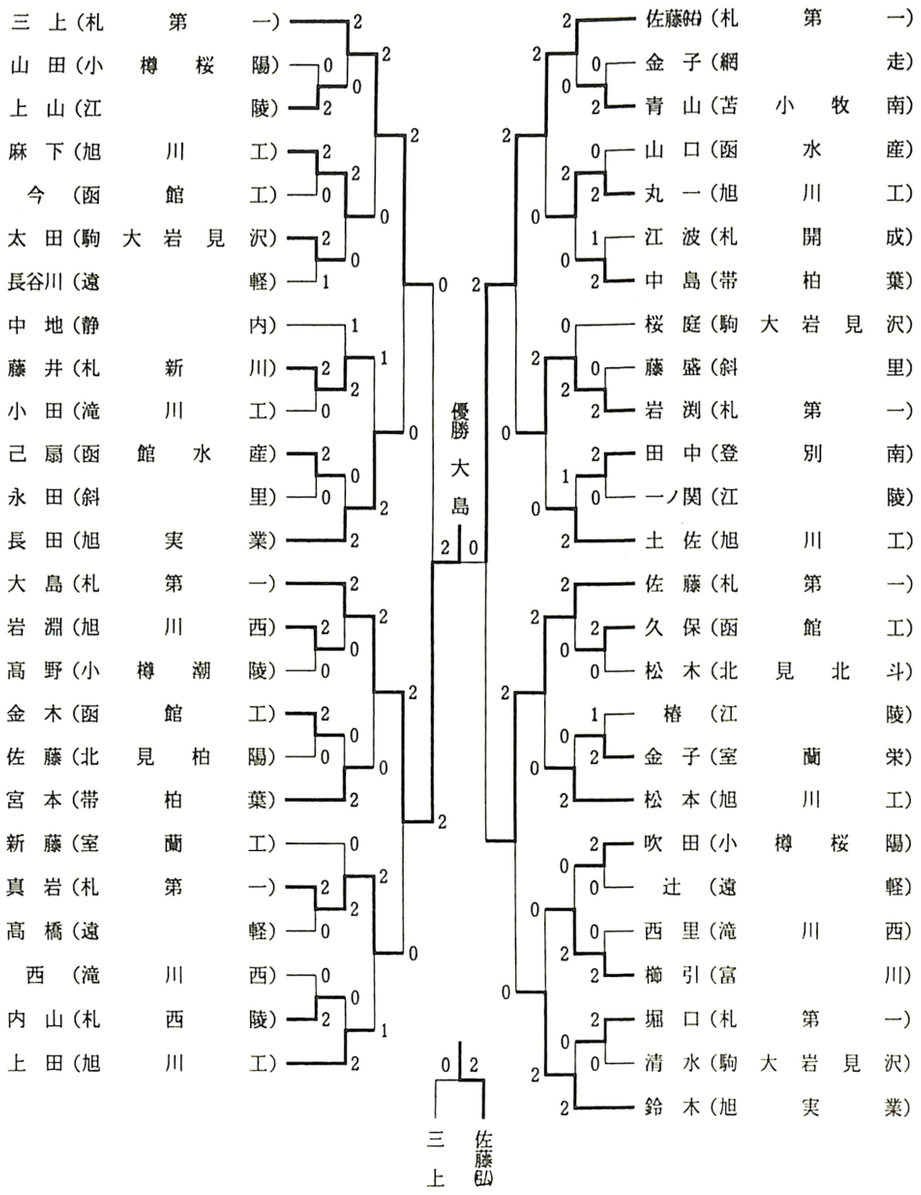
〈一般混合複〉ＭＩＸ



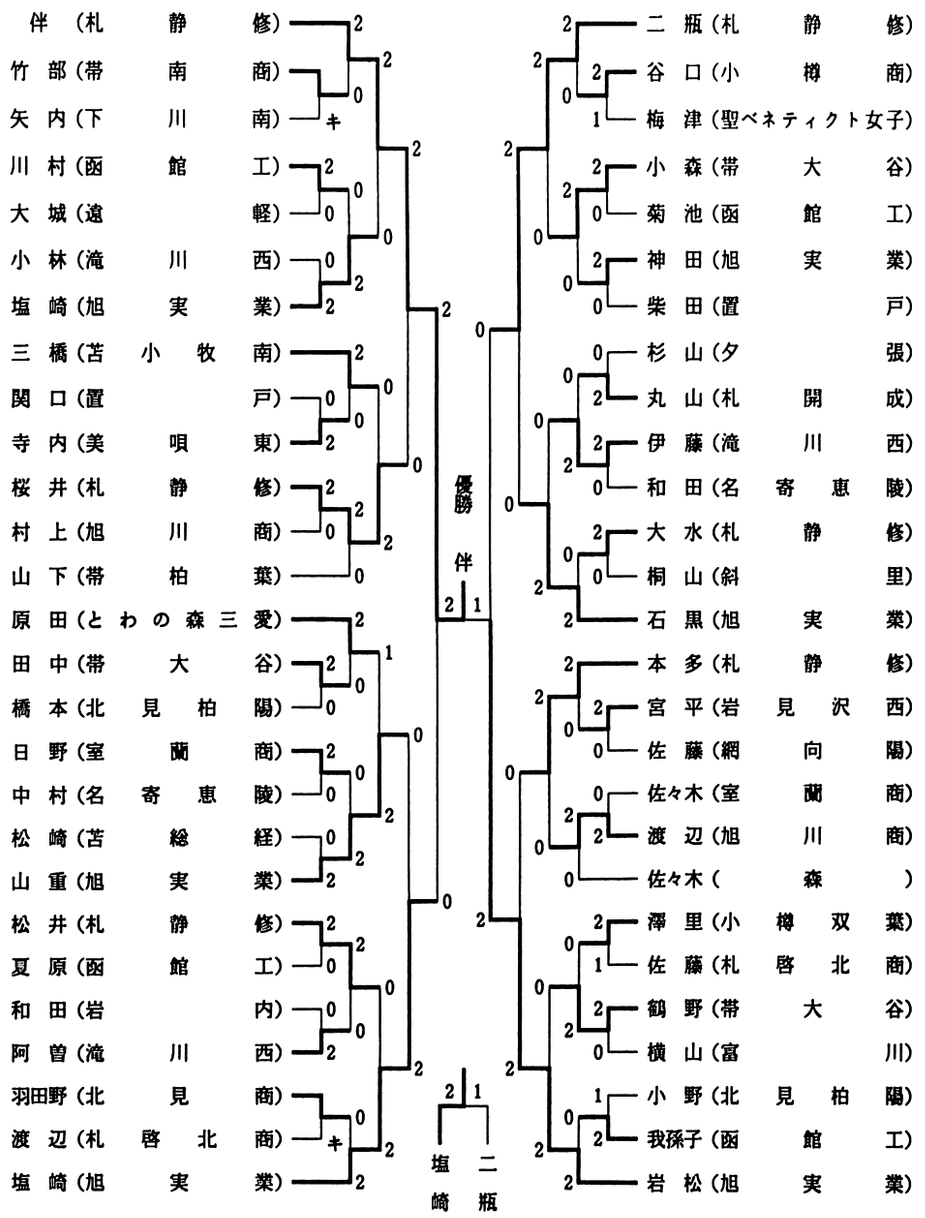
〈50歳以上混合複〉50ＭＩＸ



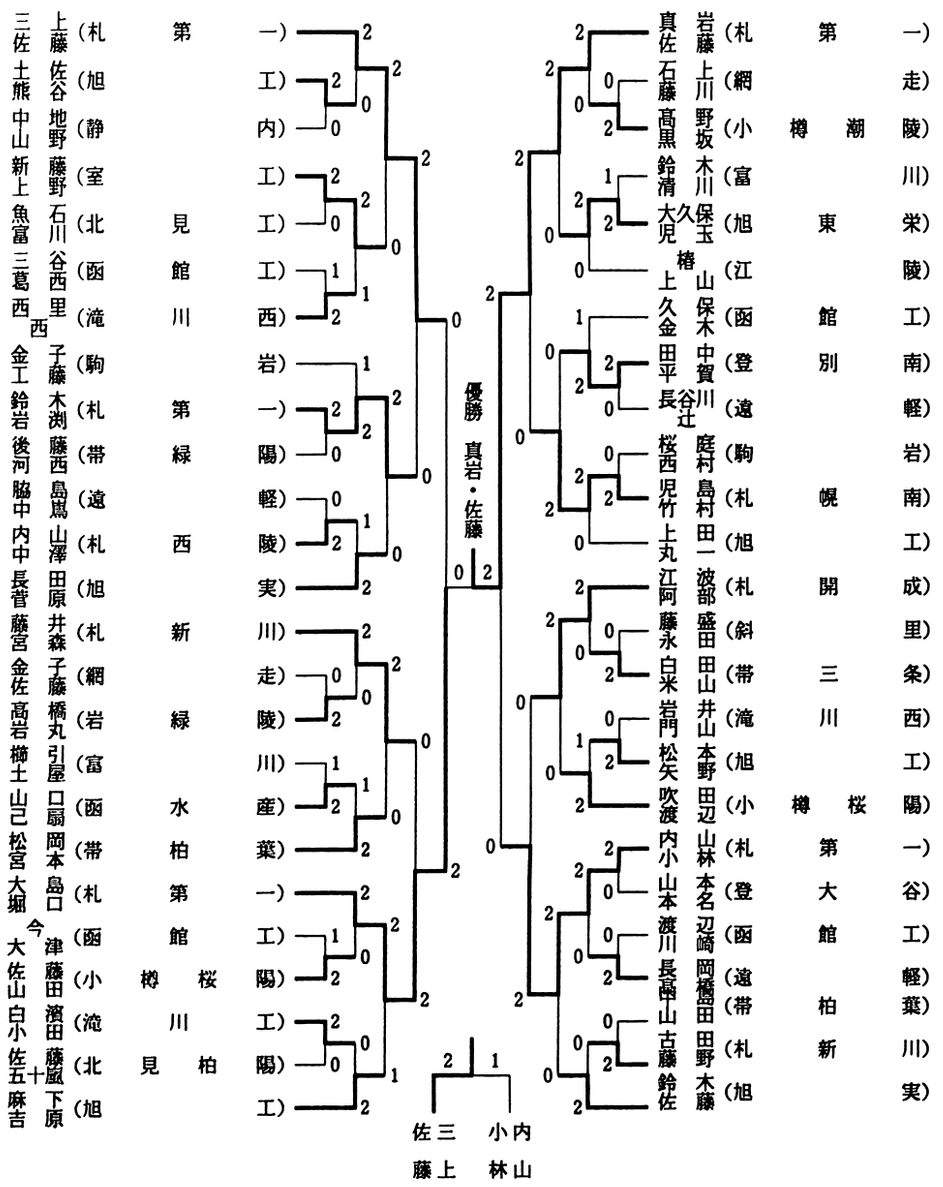
〈高校男子単〉ＢＳ



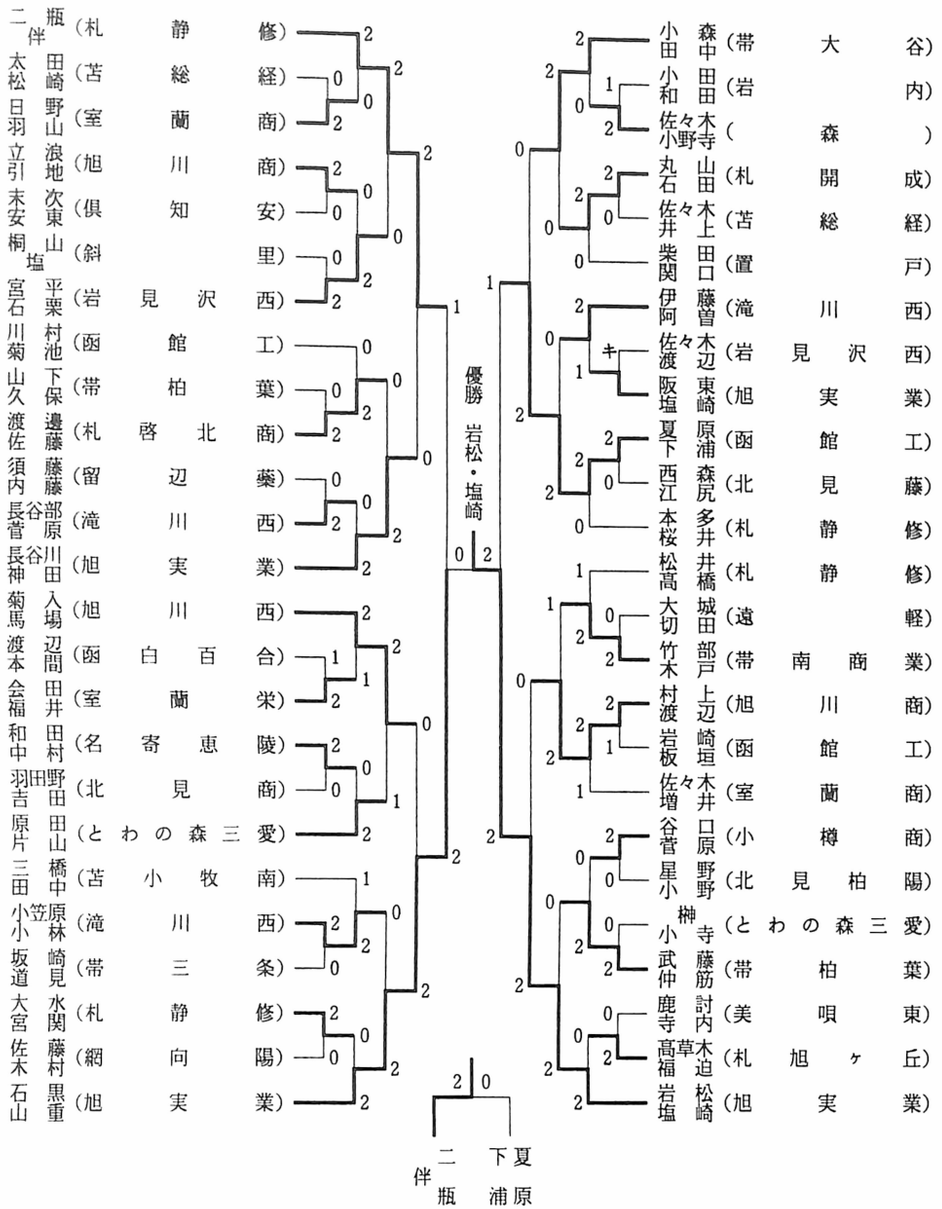
〈高校女子単〉ＧＳ



〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子複〉ＧＤ

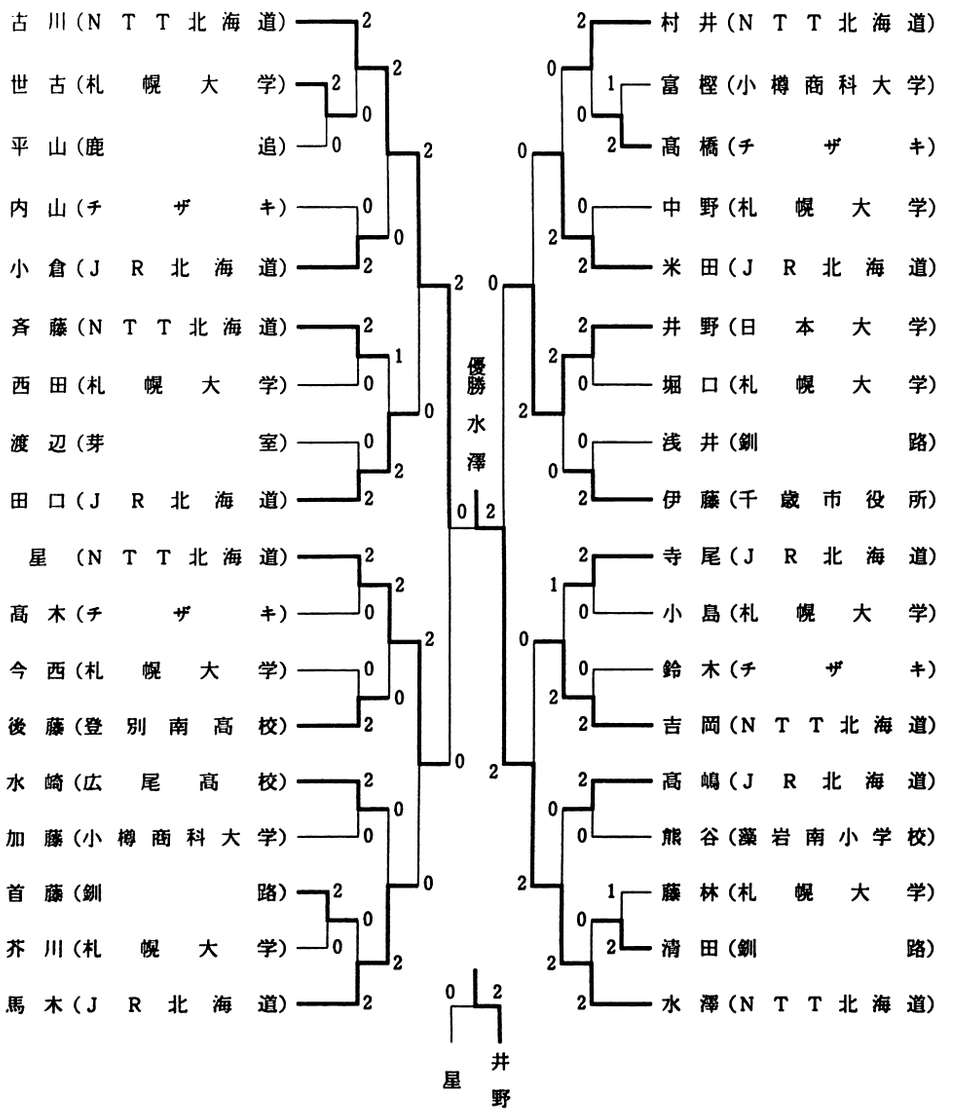

優勝 岩松・塩崎
二伴 瓶
夏下 原浦
静修（札）
総経（苫）
蘭商（室）
川商（旭）
知安（倶）
東山里（斜）
平栗沢西（岩）
村池館工（函）
下保柏葉（帯）
邊藤北商（札）
藤藤辺薬（留）
部原川西（滝）
谷谷田入実（旭）
菅長神場川（旭）
菊馬辺間白百合（函）
渡本会福田井栄（室）
和中野田村恵陵（名）
羽吉原片田山三愛（北）
三田橋中牧南（苫）
小小笠原林川西（滝）
坂道崎見三条（帯）
大宮水関静修（札）
佐木藤村向陽（網）
石山黒重実業（旭）
太松日羽立引末安桐塩
二伴瓶田崎野山浪地次東山平栗村池下保邊藤藤藤部原川田入場辺間田井田村野田田山橋中原林崎見水関藤村黒重実業
大谷（帯）
内（岩）
（森）
開成（札）
総経（苫）
戸（置）
西（滝）
西沢（岩）
実業（旭）
藤見（北）
静修（札）
静修（札）
軽（遠）
南商業（帯）
川商（旭）
館工（函）
蘭商（室）
小樽商（小）
柏陽（北）
三愛（とわの森）
柏葉（帯）
東（美）
ヶ丘（札）
実業（旭）
小和佐々野丸石佐井柴関伊阿佐々渡阪塩夏下西江本桜松高大切竹木村渡岩板佐々増谷菅星小榊小武仲鹿寺高福岩塩
森中田田木寺山田木上田口藤曽木辺東崎原浦森尻多井井橋城田部戸上辺崎垣木井口原野野寺藤筋討内木迫松崎
キ

第50回

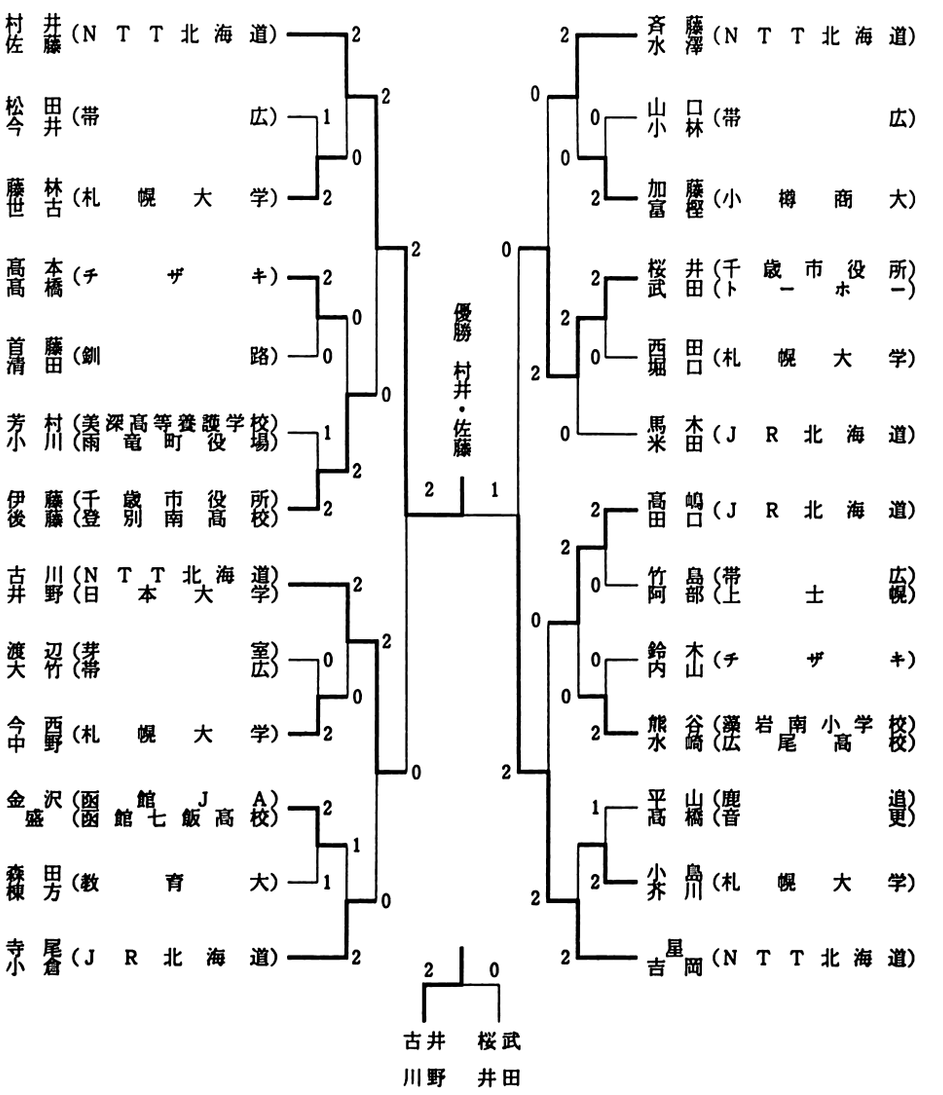
期日　1997. 5／9(金)・10(土)・11(日)

会場　帯広市総合体育館・帯広の森体育館

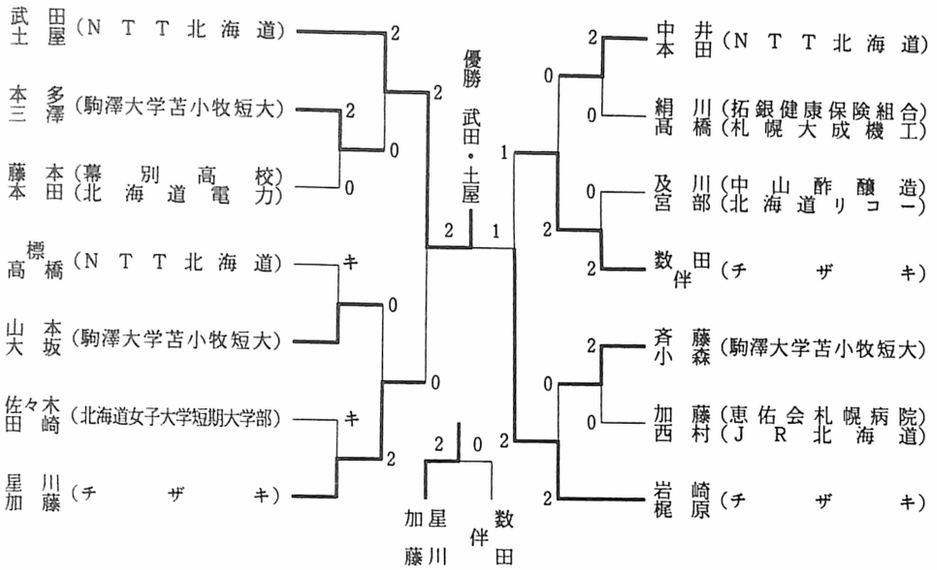
〈一般男子単〉ＭＳ



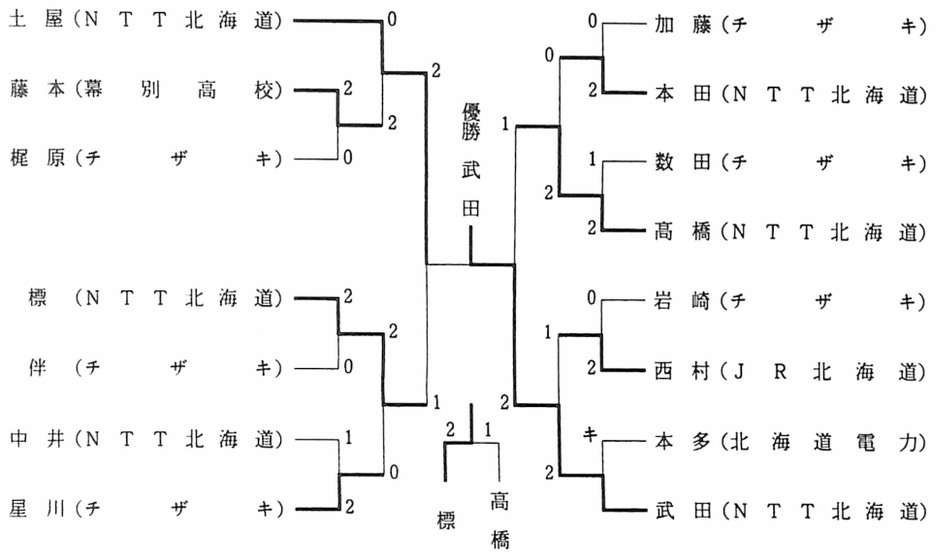
〈一般男子複〉ＭＤ



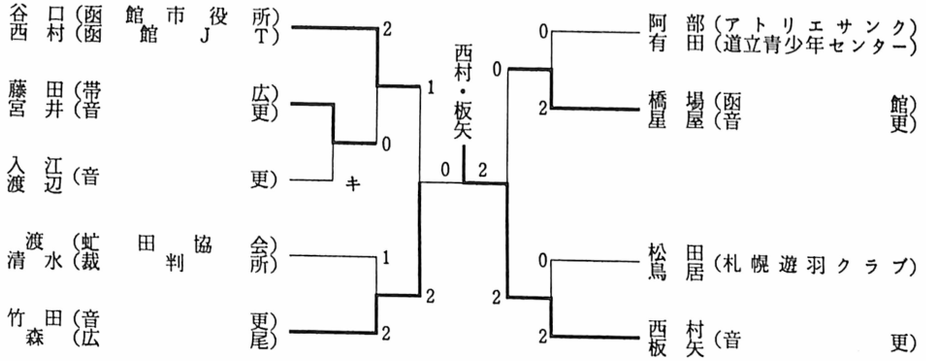
〈一般女子複〉ＬＤ



〈一般女子単〉ＬＳ



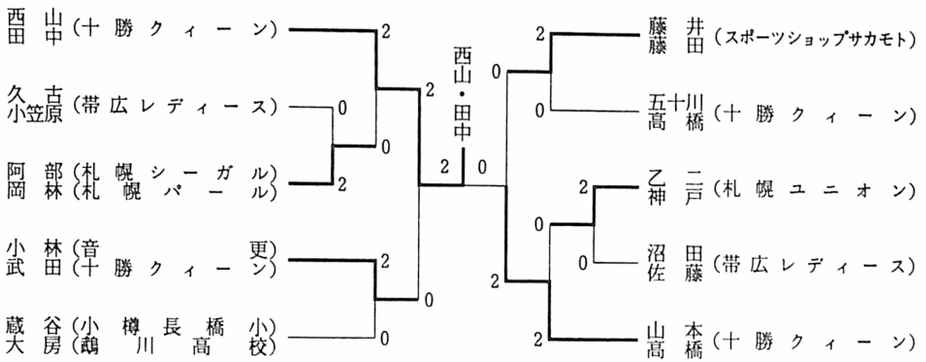
〈30歳男子複〉30ＭＤ



〈30歳男子単〉30ＭＳ



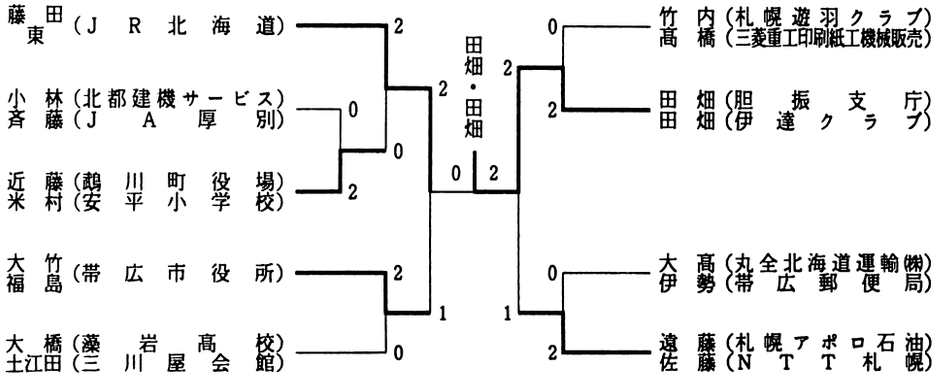
〈30歳女子複〉30ＬＤ



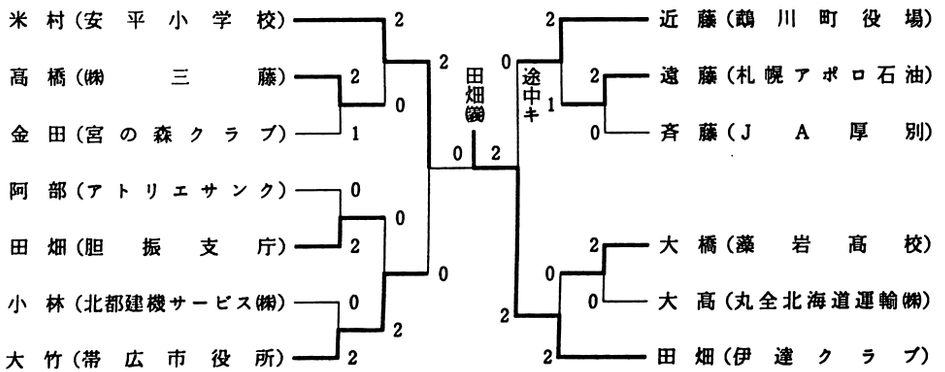
〈30歳女子単〉30ＬＳ



〈40歳男子複〉40ＭＤ



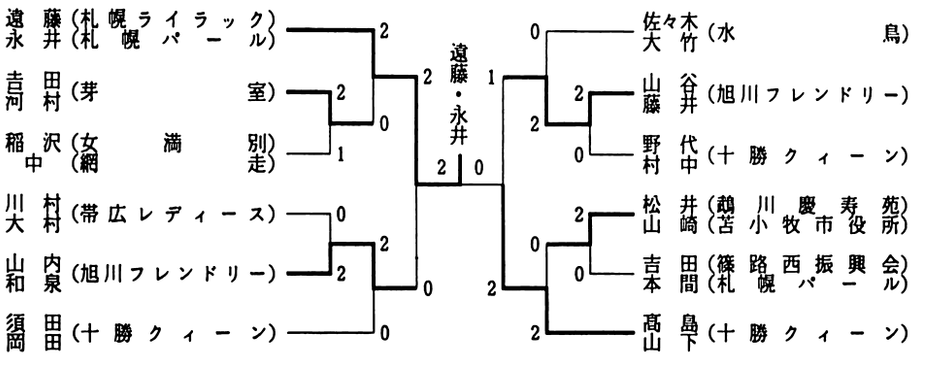
〈40歳男子単〉40ＭＳ



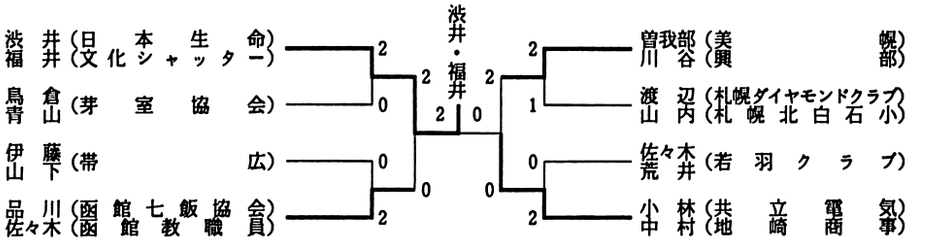
〈40歳女子単〉40ＬＳ



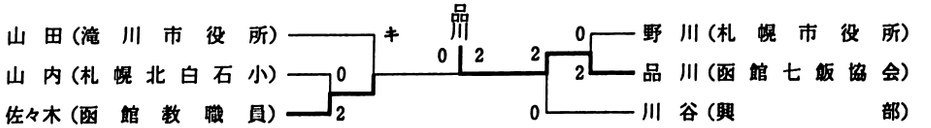
〈40歳女子複〉40ＬＤ



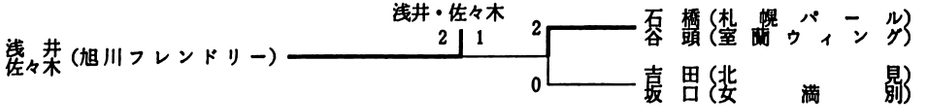
〈50歳男子複〉50ＭＤ



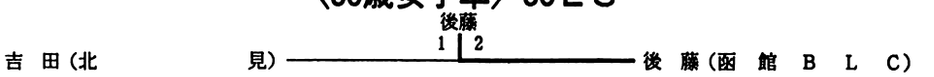
〈50歳男子単〉50ＭＳ



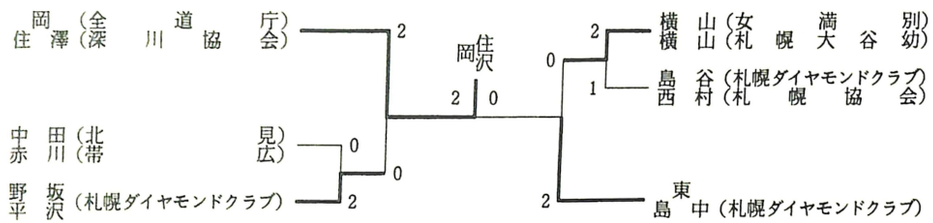
〈50歳女子複〉50ＬＤ



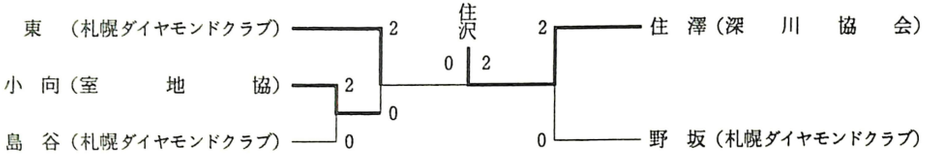
〈50歳女子単〉50ＬＳ



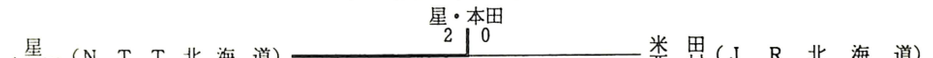
〈60才以上男子複〉60ＭＤ



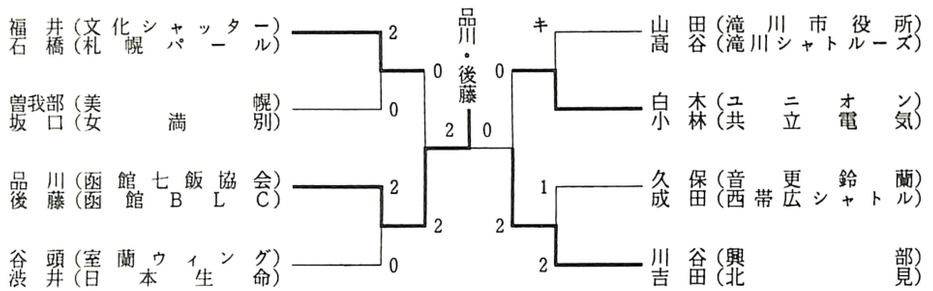
〈60才以上男子単〉60ＭＳ



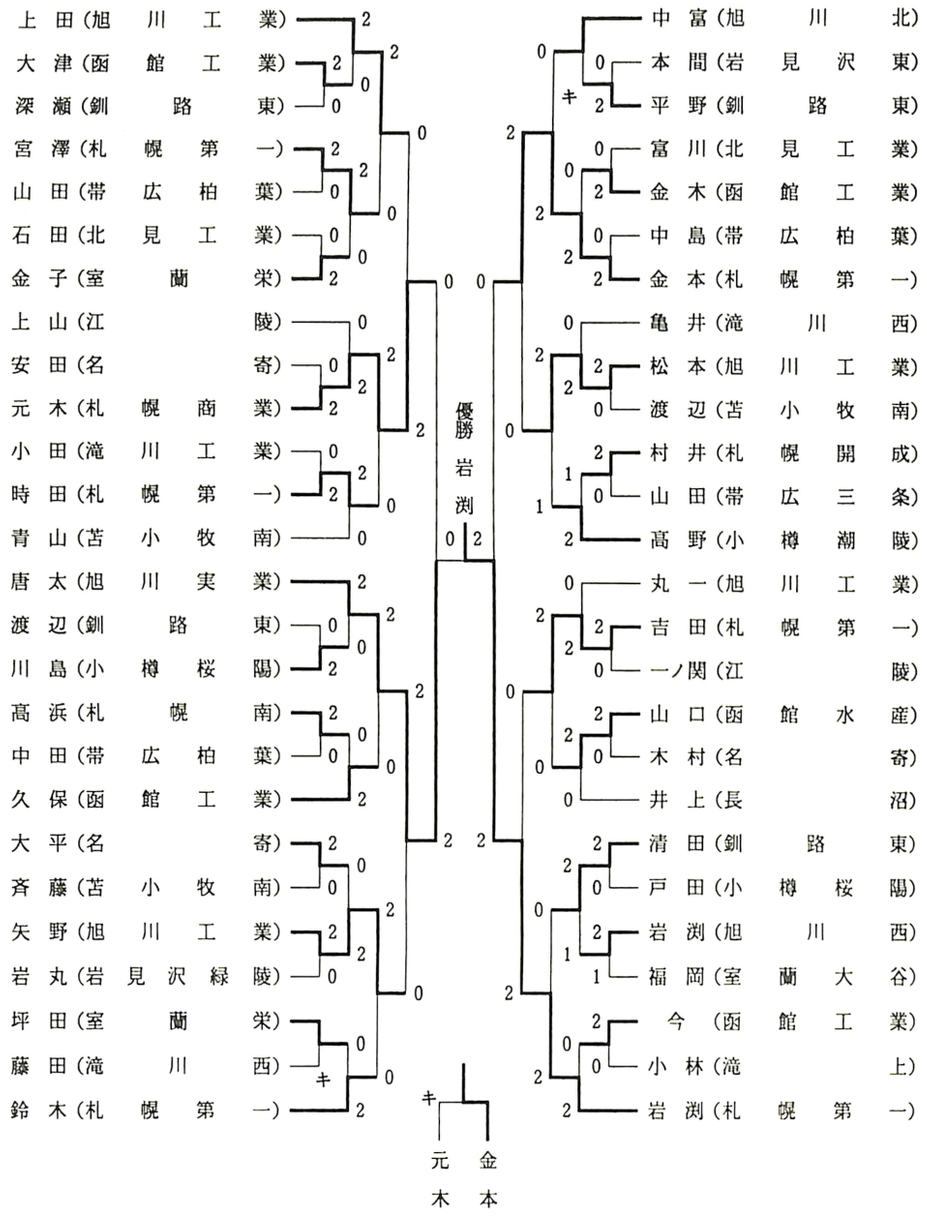
〈一般混合複〉ＭＸ



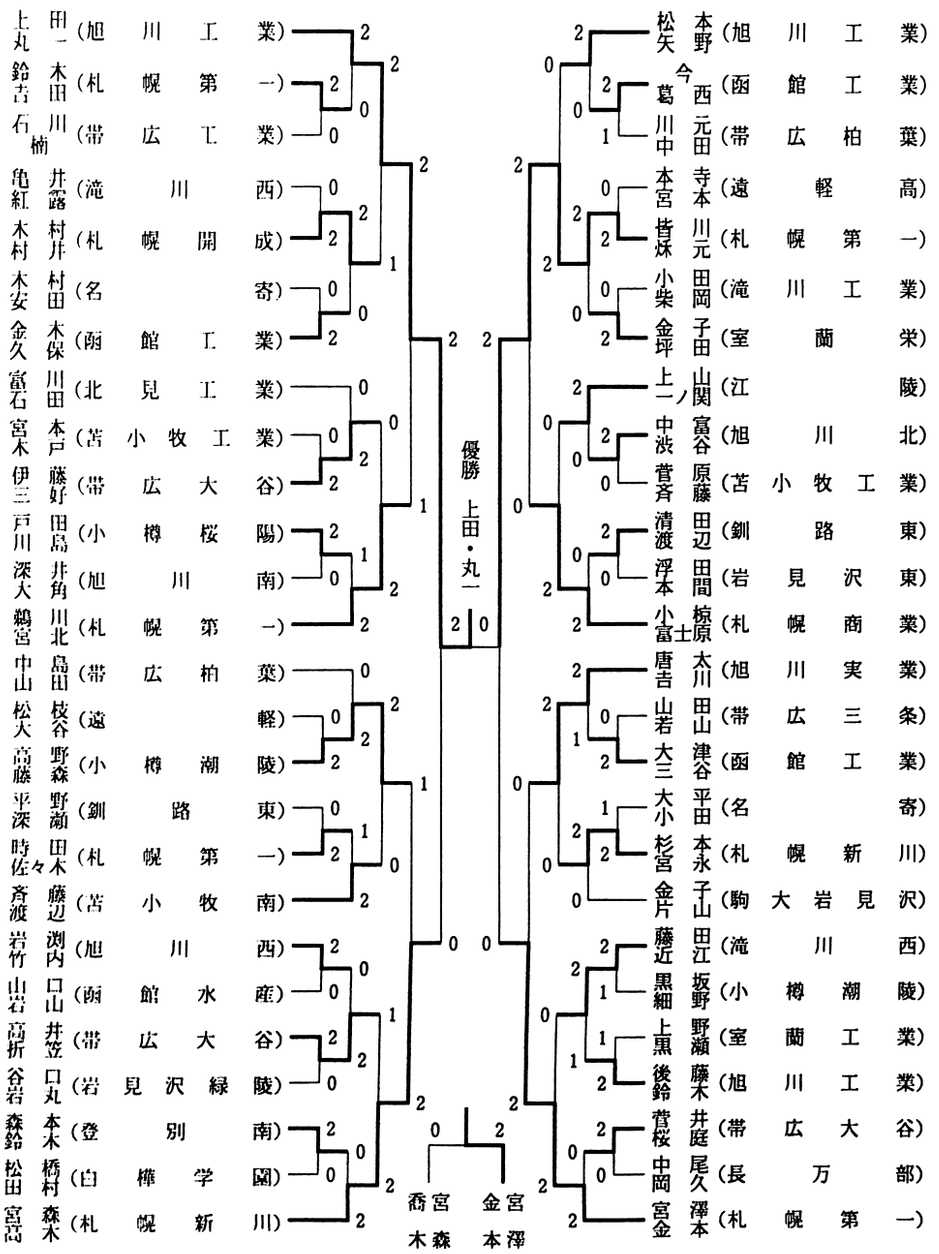
〈50才以上混合複〉50ＭＸ



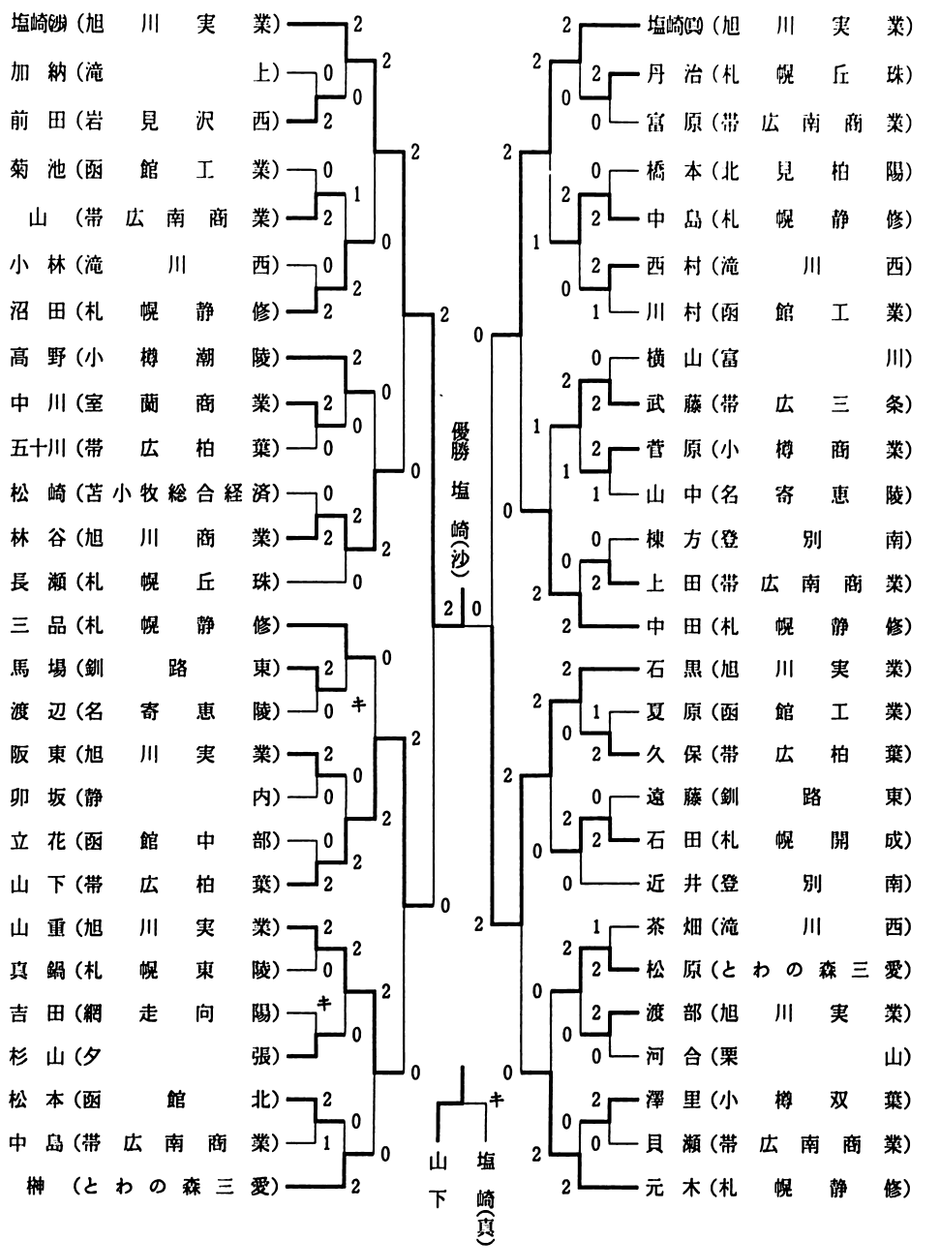
〈高校男子単〉ＢＳ



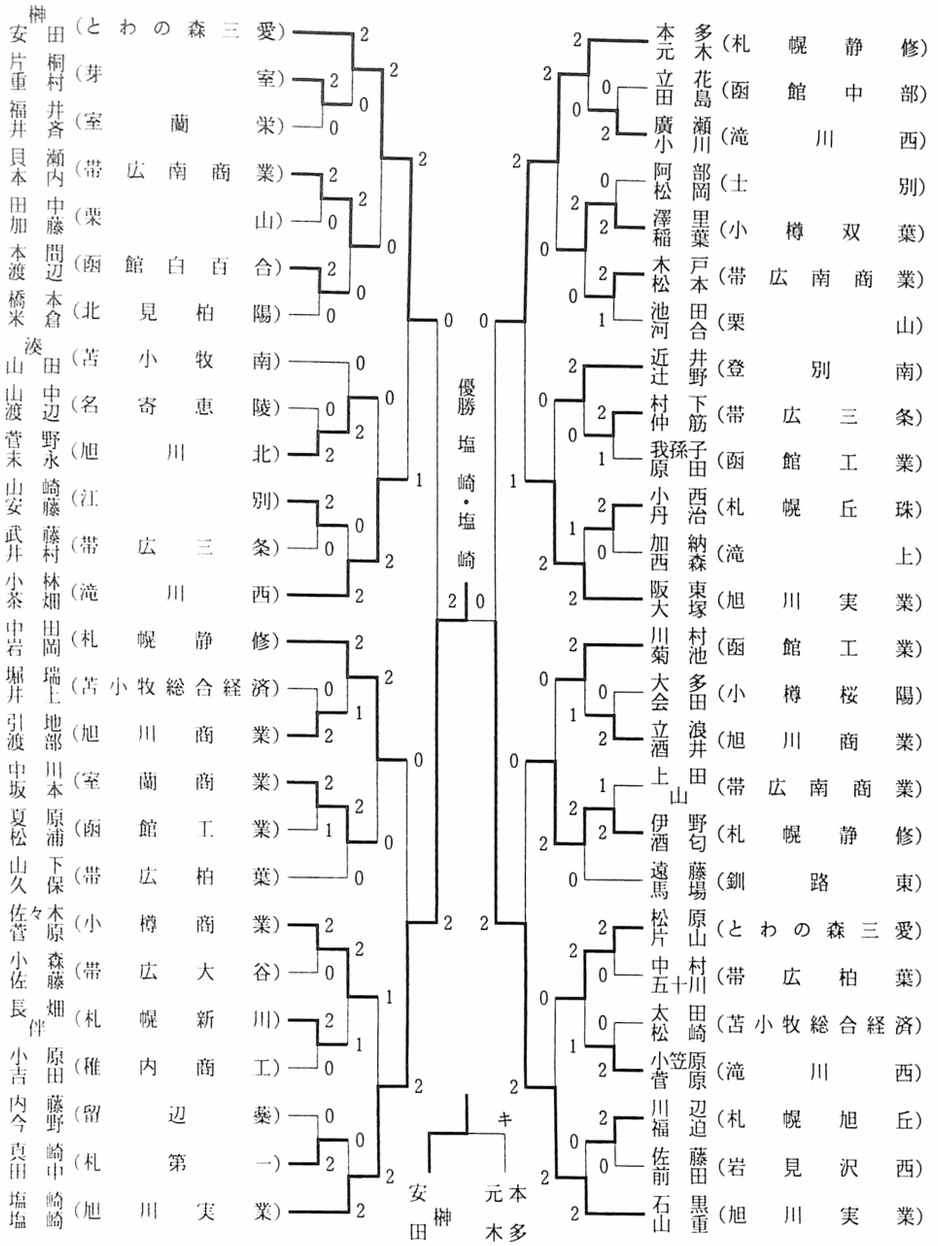
〈高校男子複〉ＢＤ



〈高校女子単〉ＧＳ



〈高校女子複〉ＧＤ


優勝 塩崎・塩崎
安田 榊
キ
元木 多本
榊 田 （とわの森三愛）
安片 桐村 （芽室）
福井 斉藤 （芽室蘭栄）
貝本 瀬内 （帯広南商業）
田加 中藤 （栗山）
本渡 問辺 （函館白百合）
橋米 本倉 （北見柏陽）
湊 田 （苫小牧南）
山渡 中辺 （名寄恵陵）
菅末 野永 （旭川北）
山安 崎藤 （江別）
武井 藤村 （帯広三条）
小条 林畑 （滝川西）
中岩 田岡 （札幌静修）
堀井 瑞上 （苫小牧総合経済）
引渡 地部 （旭川商業）
中坂 川本 （室蘭商業）
夏松 原浦 （函館工業）
山久 下保 （帯広柏葉）
佐菅 木原 （小樽商業）
小佐 森藤 （帯広大谷）
長伴 畑 （札幌新川）
小吉 原田 （稚内商工）
内今 藤野 （留辺蘂）
貞田 崎中 （札第一）
塩塩 崎崎 （旭川実業）
本元 多木 （札幌静修）
立田 花島 （函館中部）
廣小 瀬川 （滝川西）
阿松 部岡 （士別）
澤稲 里葉 （小樽双葉）
木松 戸本 （帯広南商業）
池河 田合 （栗山）
近辻 井野 （登別南）
村仲 下筋 （帯広三条）
我原 孫子 （函館工業）
小丹 西治 （札幌丘珠）
加西 納森 （滝上）
阪大 東塚 （旭川実業）
川菊 村池 （函館工業）
大会 多田 （小樽桜陽）
立酒 浪井 （旭川商業）
上山 田 （帯広南商業）
伊酒 野匂 （札幌静修）
遠馬 藤場 （釧路東）
松片 原山 （とわの森三愛）
中五十 村川 （帯広柏葉）
太松 田崎 （苫小牧総合経済）
小菅 笠原原 （滝川西）
川福 辺迫 （札幌旭丘）
佐前 藤田 （岩見沢西）
石山 黒重 （旭川実業）

高校総合体育大会
第6日

中山は単も制し2冠

全国高校総合体育大会（インターハイ）第六日は六日、再び本格的な降雨に見舞われた栃木県下を中心に8競技を行った。バドミントン女子個人では、ダブルスの増茂孝枝・中山智香子（旭実）が優勝。中山はシングルスも制して個人二冠に輝いた。同競技での本道女子選手の優勝は三十年ぶりで、ダブルスでは初めて。ソフトテニス女子個人では、上川管内当麻町出身の大杉瑞穂・富地雄子（福岡・中村学園）が二連覇を果たした。また田崎桃子・西川育子（札女）はベスト8に食い込む健闘を見せた。ボクシングはフェザー級の森康彦（旭工）、バンタム級の富本慶久（余市）が準々決勝で敗退し、本道選手は姿を消した。第七日は卓球が始まり、最終日を迎えるバスケットボール、ハンドボールなど8競技が行われる。（記録は本道関係分と1位のみ）

バドミントン女子個人

増茂・中山（旭実）ダブルスV



女子ダブルスで優勝し、抱き合って喜ぶ増茂孝枝（右）と中山智香子

▽女子シングルス準決勝
中山（旭実）2（11-11 11-6）0 秋元（福岡・九州国際大付）
中山（旭実）2（11-4 11-4）1 水井（四条畷学園）

▽女子ダブルス準決勝
増茂・中山（旭実）2（15-5 15-11）1 石崎・山井（大和分女）
増茂・中山（旭実）2（15-10 15-7）1 川口・水井（四条畷学園）

▽同決勝
増茂・中山 2（15-12 3-15 15-9）1 リンダース・フラーセン（オランダ）
増茂・中山 2（15-12 10-15 10-0）0 コニン・アビヌス（オランダ）

1990 増茂 神居古潭中 中山ペア

やったぜ 神居古潭Jrの頂点だ

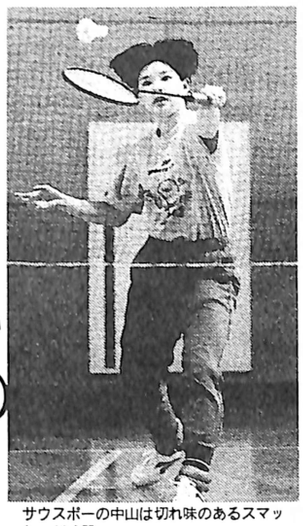
初の国際大会で快挙

'90国際ウインブルドンJr.バドミントン

バドミントンの本道期待の新星、増茂孝枝・中山智香子（旭川神居古潭中3年）が、世界ジュニアの頂点に立った。13日（現地時間）、イギリスのロンドン市郊外、ウインブルドン・バドミントンホールで開かれた'90国際ウインブルドンジュニア競技大会の女子ダブルス決勝で増茂・中山組は、オランダのコニン・アビヌス組を2―0のストレートで下し見事、優勝した。



スピードとスタミナ満点の増茂



サウスポーの中山は切れ味のあるスマッシュが武器

15歳以下のジュニア選手を対象に8カ国が参加。11日から開かれた同競技会で増茂・中山は全力を出し切った。男、女選手で組む国別団体戦でも、二人は7戦全勝と絶好調。個人戦に入ってからも快進撃を続け、ついにジュニアのトップに登りつめた。

二人が通う旭川神居古潭中は、小中併設校で全校生徒数は30人。うち中学生は12人の〝ミニ学校〟だが、ことバドミントンに関しては全国でも屈指の名門校だ。増茂・中山は、昨夏の全国中学選抜大会個人ダブルスで優勝した同校のエース。同小3年のときから二人の指導に当たっている中村光生監督も今回、女子の全国中学選抜大会個人ダブルスで優勝した同校のエース。同小3年のときから二人の指導に当たっている中村光生監督も今回、女子の

吉報にわく、家族・学校関係者

五輪目指し一直線

が言うように、どこへ出ても物おじしないこのコンビ。バルセロナ以降の五輪へ向け二人への期待はますます膨らんできた。

二人は大きな〝お土産〟を手に、16日帰道の予定。

その中村監督から妻のよう子さん（39）のもに国際電話が入ったのが13日午前6時。「ただ一勝った！」とだけ言って切っちゃいました」と監督の興奮ぶりを伝える。よう子さんから連絡を受けた同校でも、さっそく全校集会で川島信也校長（56）が、二人の快挙を報告した。川島校長は、「本当によく頑張ってくれました。ふだんの努力の成果です。全国の小さな学校の児童、生徒たちにも励みになることでしょう」と喜びを語る。

二人は今回が初の国際試合。「行く前は、まるで海外旅行にでも行くようにソルソン気分でした」と中山選手の母・ユキ子さん（41）

1997 中山・増茂ペアがい旋

三洋電機

日本一コンビ堂々ストレート勝ち

バドミントン日本リーグ岩見沢大会

バドミントンの全日本総合、社会人の両選手権で元ファンにしっかりと見せつけた。

ダブルス王者となった中山智香子（22＝三洋電機―旭川実出）、増茂孝枝（21＝同）ペアが、いい応援に感謝した。11月30日の日本リーグ岩見沢大会で、三洋電機の第1ダブルスとして出場。ヨネックスの岩田・高岩ペアを2―0で一蹴し、本道ファンに日本一の実力を披露した。

◇　◇

「ナカヤマ、マスモコールが岩見沢スポーツセンターに響き渡った。その歓声にこたえるかのように二人は飛ばした。ヨネックスのペアとは動きのスピードも呼吸の合わせ方も違う。あっという間に2ゲームを連取、日本一ダブルスの実力を地元ファンにしっかりと見せつけた。

「試合が続き体調は必ずしも良くない。皆さんの応援のおかげで勝てました」と、中山は地元の声援に感謝した。サインを求めるミニっ子ファンたちに取り囲まれた増茂は「私なんかのサインでいいのかな？」と照れながらペンを走らす。

旭川実高入りして4年目の9月の全日本選手権のダブルスで優勝。旭川実高・中村光生先生、川広陵中・川島信也校長に念願の報告ができた。



観客に手を振ってこたえる中山（左）増茂ペア

全国高校選抜大会

第2日（26日）（札幌中島体育センター別館）

本道勢、地元で〝アベック準V〟！学校対抗で南北海道男子の札第一と女子の札静修が、そろって準優勝を飾った。札第一は7年ぶり2回目、札静修は本道勢の女子として初の快挙だった。最終日の27日は、男女のシングルスとダブルスのチャンピオンが決定する。

バドミントン

【男子】▽学校対抗準決勝 札第一 3―0（上尾・埼玉）▽同決勝 常総学院 3―0 札第一（単1―0、複2―0）○吉川・尾形 2―0 大島・佐藤祐 ○藤本・坂口 2―0 佐藤弘・真岩 ▽シングルス1回戦 ○佐藤祐（札第一）2―1 石（九州国際大付属）▽同2回戦 ○福岡・井（札第一）2―1 白村・上（札静修）▽同2回戦 ○札静修 2―0 鳥取東 ○瓶 2―0 吉田・大友・岡（四条畷）

【女子】▽学校対抗準決勝 熊本信愛女学院 3―1 旭実 ▽同決勝 熊本信愛女学院 3―1 札静修（単2―0、複1―1）○橋本 2―0 松井 ○杉浦 2―0 伴瓶 ○永峰・山口 1―2 本多・瓶 ○永峰・村崎 2―0 桜井・桜瓶 ▽シングルス1回戦 ○佐藤祐（札第一）2―1 岩（旭実）▽同2回戦 ○今野・川（前橋東）2―0 松本多志（札静修）▽ダブルス1回戦 ○佐藤祐・上条 2―0 高松商 ○香川・保久 2―1 鈴木（旭実）▽同2回戦 ○佐藤祐・上条 2―0 福久・保田（三重）▽同準々決勝 ○佐藤祐・上条 2―0 高松商 ○香川・保久 2―1 鈴木（旭実）▽同準々決勝 ○佐藤祐・上条 2―0 佐藤弘・岩（真岩）▽同準決勝 ○佐藤祐・上条 2―0 佐藤弘・岩（真岩）



ファイナルゲームまでもつれこんだ準決勝戦。札静修の二瓶志津香はフルセットの末、初の決勝進出を決めベンチも跳び上がって大喜び

10秒インタビュー

◆惜しくも決勝進出を逃した北海道代表の旭実・下宇坪英雄監督（38）＝中山（智寿子）、増茂（孝枝）、松（絵理子）＝まで回れば、勝つチャンスもあったと思うんですが…

言うほど、準決勝は最後の岩がいた時でもベスト8が最高ですからね。V候補の埼玉栄にも勝ちましたし、選手はよくやりました。欲を

女子学校対抗で本道初

札静修 銀

2年生チーム一丸でつかんだ！

本道勢 アベック やったゼ

札第 一

男子

地元・札幌でやってのけた。24回の選抜大会史上、本道女子学校対抗では初の準Vだ。

精華女との準決勝はもつれにもつれた。2―2タイで、勝負は第3シングル「負けるわけにはいかない」二瓶は精華・良いスマッシュで応酬。ファイナルゲームを11―4で奪い、夢をたぐり寄せた。

メンバー5人、オール2年生で固めた札静修。今回の準Vには〝同級生エース〟伴宏美主将の海外遠征効果があった。伴は大会前の3月4日から18日まで、全日本ジュニアの一員として欧州遠征。人事な本番前、チームは伴が抜けた状態での練習となった。

だが、ここで残った部員が奮起。小学校以来の親友という二瓶をはじめ2年生が「伴の負担にならないように頑張ろう」と声を合い、柱不在の中で猛練習。決勝の熊本信愛戦で唯一白星をあげた本多志保・桜井亜希実組、大会2日前にメンバーに入った松井希も、この2週間での急成長組だった。

「試合は私と二瓶の2人で3勝しなければと思っていたのに、みんなが支えてくれました」と伴。25日の2回戦で左ももを肉離れし、コンディションは万全ではなかっただけに、チームメートの踏ん張りに笑顔が絶えない。桜井も「伴と二瓶のチームと言われるのがつらかったですからね」と、全員で勝ち取ったシルバーメダルを喜んだ。

準Vとくれば、次はインタハイで頂点が目標だ。谷補隆監督（48）は「今日は選手が伸び伸びとやってくれた。でも、決勝で負けたのはやはり悔しい。インタハイは優勝を狙います」。伴も「男さに負けないよう頑張らなければ」とキッパリ。地元で花開いた札静修がインタハイで満開を目指す。

（松木 純）

伴主将が海外遠征

柱不在の練習でチームが大きく

大接戦の準決、二瓶が決めた

準決勝で強豪の上尾をストレートで下し、初優勝に王手をかけた札第一だったが、王者・常総学院の前に勢いもストップ。0―3のストレートで敗れてしまった。

井口一司監督（32）は「まだ弱いチーム。やっと全国レベルに追いつきました」と準優勝を振り返った。中学時代の全国経験者は1年生の三浦裕司1人。札第一に入って力をつけた選手はかりで逆にいえば、これからが楽しみなチームだ。

「準優勝は自信になったはず。これからもっと伸びてくれると思います」と井口監督。第2ダブルスで悟、主将も「監督も就任10年目になるので、優勝したかった。イン



井口 監督「やっと全国に追いついた」



倒れ込みながら、必死にシャトルに飛びつく札新川第1ダブルス小林（左）と藤野

初陣勢 男子・札新川 女子・とわの森 は敗退

今後の大会に「いい経験」

1勝の壁は厚かった。南北海道の開催対抗の全道男子・とわのもに初戦んだ。はとわのストレート第2ダ子・原田2年」が

第1ゲームを15―7で先取。ファイナルゲームもセッティングにもつれ込む健闘だった。

原田は昨年11月に山梨で行われた全日本ジュニアにも出場したホープ。「1ゲーム取って守りに入ってしまった」と悔そう。阿部忠夫監督も第2ダブルスからの田口、原田のシングル勝負を頭に描いていただけに「勝ちにいったんですけど、本来の力が出せなかった」と、こちらも残念そうだった。

一方、男子の札新川は開幕戦で登場し、高岡第一に1ゲームも奪えず完敗。各選手とも、緊張からか動きが硬く、藤井幸司主将は「もっと力があると思ったけど、全国という雰囲気にのまれてしまった」振り返る。

南北海道は札第一、札静修の男女2強が11年連続で全国選抜に出場している。札新川の北條剛監督は「予選で全国レベルの札第一と試合はしているが、やはり全国大会の雰囲気は違います。1ゲームでも取るというどん欲さを身につけなければ」と話す。

春に貴重な経験をした初陣2校。常連校突破へ今後の頑張りが期待される。

（松木 純）

1994



全国中学体育大会

24日

◇バドミントン、新体操、ソフトボール、相撲ほか

バドミントン女子団体決勝は、旭川広陵が四條畷学園（大阪）にフルセットの末、1－2で敗れ、準優勝に終わった。道勢初の団体優勝は成らなかったが、旭川広陵は道勢19年ぶりの決勝進出と躍進した。1992年（平4）に就任した中村光生監督（51）は、前任の神居古潭時代に4人の全国チャンピオンを育てた手腕を発揮。2年4カ月余りで旭川広陵を全国準Vに導いた。

【女子】▽団体決勝

四條畷学園（大阪）			2－1	旭川広陵
小畑・谷嶋	0	12－15、8－15	2	坂東・菅野
速水	2	11－8、11－7	0	石黒
上田・坂口	2	15－5、15－3	0	馬場・宮崎

坂東・菅野組先制も

「普段のプレー出来なかった」中村監督

道勢史上初の団体優勝の夢は、またしても四條畷の前に敗れた。中村監督には前任の神居古潭時代も含め、これで団体は3度目の対戦。1－1で迎えた試合を決する第2ダブルスの馬場・宮崎が敗れ、3連敗となった。中村監督は「馬場、宮崎も普段のプレーではなかった。緊張していたのだろう」と選手をかばった。

それでも胸を張れる準Vだ。「素質は高いものの、際立った子供はいない」（中村監督）というチーム。しかし選手は、一日の休みもない練習にも音をあげずについていった。「先生に怒られてばかりいるので部活をやめようと思ったこともある。でも先生についていけば全国でも勝てる」（坂東優美＝3年）と信じていたからだ。

中村監督が旭川広陵に赴任したのが2年前。ミニ校の神居古潭では、バスケットボールや登山などを取り入れ、ゆとりを持って練習させていた。しかし旭川広陵では、限られた時間を節約するため「張りつめた練習」（中村監督）だった。

シャトル一つ取りに行くのにも走らせ、ダラダラすると怒った。選手を褒めることもない。「生徒にとってはやっぱり怖い監督だったでしょうね」と中村監督。わずか2年余りで全国優勝を狙えるチームにするために、心を鬼にしてきついことを言い続けた。

シングルス、ダブルスで4度の全国優勝を誇る名将も最初は、バドミントン経験が短い素人監督だった。バドミントンを始めたのは25歳。33歳で初めて旭川凌雲小の監督になってから、技術書や栄養学に関する本などを50冊以上読みあさり、独学で指導方法を学んだ。選手の基礎体力のデータを取り、それに基づいて練習メニューをつくる数学の先生らしい一面も持っている。

「こうなったら個人戦で勝たせたい」と中村監督。団体決勝後に行われたこの日の個人戦では、3回戦に2組の旭川広陵ペアが勝ち上がった。きょう25日の準々決勝で団体戦の借りを返す。【小林明央】

候補四條畷に1－2

旭川広陵惜しい準V

バドミントン女子団体

準優勝した旭川広陵の坂東（右）菅野組は決勝で唯一勝利し、笑顔を見せる㊨苫小牧光洋の三上は、正確なショットでベスト8に勝ち上がる



三上が4回戦進出

○…男子シングルスではただ一人、苫小牧光洋3年の三上裕司がきょう25日の4回戦にコマを進めた。二人と対戦し、1ゲームも奪われない圧勝だった。三上は4人のウィンブルドンジュニア日本代表の一人。「ほかの代表3人も勝ち上がっているので負けられません」ときょうの個人戦に気合を入れていた。（旭川大雪アリーナ）

バドミントン

【男子】▽団体決勝

香川・香川第一 2－1 大阪・大阪瓜破西

▽ダブルス1回戦

島崎・白鳥（東京・調布第六）2－0 岩渕・岡部（旭川広陵）

小関・岩渕（釧路緑陵）2－0 寺本・三上（宮城・仙台大沢）

鈴木・中富（旭川広陵）2－0 細川・山田（兵庫・加古川平岡）

▽同2回戦

石黒・藤井（富山・富山奥田）2－0 小関・岩渕

梅本・上田（三重・津南郊）2－1 鈴木・中富

▽シングルス2回戦

小島（茨城・阿見）2－1 長原（旭川豊里）

鎌田（京都・京都鏡山）2－1 宮本（帯広第一）

三上（苫小牧光洋）2－0 小林（[illegible]）

二瓶（[illegible]）2－0 中島（新得富村牛）

坂崎（三重・津南郊）2

▽同3回戦

三上 2

【女子】▽ダブルス1回戦

坂東・菅野（旭川広陵）2

山重・塩崎（旭川忠和）2

▽同2回戦

石黒・馬場（旭川広陵）2

坂東・菅野 2

山重・塩崎 2

▽シングルス…

近藤（[illegible]）2

全国中学大会　男子団体準優勝　旭川広陵中



[上] 早坂 幸平・川島 健一（男複2位）
[下] 加藤 洋祐・谷平 裕二



1991



全国中学大会　男単優勝
一宮 孝一（神居古潭）

1992



全国中学大会　男単優勝
馬木 智一（神居古潭）

1997



全国中学大会　男単2位
佐々木 翔（上磯）

旭川シャトル歓喜"銀"

クラブ対抗



旭川シャトルは惜しくも優勝を逃したが、「サイコー」と元気いっぱい

第10回全日本家庭婦人バドミントン

クラブ対抗で旭川シャトルが真夏の準優勝、決勝で岡崎フェニックス（愛知県）に1－2で敗れたとはいえ、選手たちは銀メダルに「大満足」。専業主婦選手が多い中、旭川シャトルは9選手4人が仕事に従事、練習環境のハンディを克服しての準優勝となった。都道府県対抗では北海道が3位となった。

ナショナルチーム監督に就任したのは4年前。その年すぐにこの全国大会に出場したが、「参加するだけで光栄だった」（吉本監督）と、決勝トーナメントに進むことさえできなかった。今年は選手から「鬼監督」と言われるほどハードな練習をこなし、さらに4年前に全国準優勝した旭川クラブから二人の選手を補強。監督と選手が一丸となった優勝だった。

4年前参加するだけのチームが…

鬼監督の目に涙

試合後胴上げされた旭川シャトルの指導者で監督の伯手がこだました。「こんなにうれしいことはありません。ここまで来られて感激です」。吉木夫早江監督の目は悲しみではなく喜びの涙があふれていた。

小林千代イエッイエッ1時間前、アイスアリーナで始まった練習は、参加者全員が気持ちを一つに盛り込んでトンに夢中になっている人、人の練習を、ぬって参加者に声がかけなかった斎藤さんの部に分かれて

【都道府県対抗】▽準決勝 神奈川県2－1北海道▽決勝 東京都2－1神奈川県

【クラブ対抗】▽準決勝 旭川シャトル2－1豊田クラブ（愛知）、岡崎フェニックス（愛知）2－1清水クラブ（大阪）▽決勝 岡崎フェニックス2－1旭川シャトル

北海道Aが健闘3位

クラブ対抗 旭川シャトル準優勝

全日本家庭婦人バドミントン

第十回全日本家庭婦人バドミントン競技大会は最終日の二十六日、札幌市の真駒内アイスアリーナなど二会場で、都道府県対抗とクラブ対抗の団体戦決勝トーナメントを行った。全国各地の予選を勝ち抜いたペアが争う都道府県対抗は、十年連続で東京都が制し、北海道Aも3位と健闘。クラブ対抗は岡崎フェニックス（愛知）が決勝で旭川シャトルを振り切り、初優勝を果たした。



神奈川との都道府県対抗準決勝で健闘した北海道Aの40歳代ペア、遠藤（左）と石橋

川シャトル

▼惜敗にも満足　「3位に入賞することが目標でした。みんな頑張ったから十分です」。都道府県対抗の決勝トーナメントに進んだ北海道Aは、準決勝で神奈川県に1－2と惜敗したものの、選手たちはすがすがしい表情で健闘をたたえ合った。

札幌市に住む主婦が中心で、週に二、三度集まって練習を続けている。三十歳代以上の部の鈴木・菅原ペアは予選リーグ、決勝トーナメントをすべて勝ち、四十歳代以上の部の遠藤・石橋ペア、五十歳代以上の部の島中・山口ペアもこの日の準決勝でマッチポイントを取られてから、よく粘った。

「バドミントンは難しいから面白い。五十歳になったら五十歳なりの楽しさがあるんです」と、競技歴三十七年の島中玲子さん（五三）。かつて国体や全日本実業団大会に出場したママさんたちだけに、競技熱はまだまだ冷めないようだ。

全日本実業団バドミントン　きょう熱戦突入



全国から集まった3000人あまりの精鋭を代表して、NTT北海道の村井秀樹主将が堂々と選手宣誓した＝札幌・中島体育センター別館

実業団バドミントンの日本一を争う第四十五回全日本実業団選手権大会は二十一日、札幌・中島体育センター別館で開会式を行い、5日間にわたる熱戦が開幕した。

開会式では、道バドミントン協会の地崎昭宇会長らが歓迎のことばを述べた後、NTT北海道の村井主将が『企業の名誉と自己のベストを尽くし、正々堂々と戦うことを誓います』と力強く選手宣誓。

また、本大会10回出場者に贈られる功労賞などの表彰も同時に行われ、個人の部では伊藤雅弘（NTT北海道、藤川歳之（小樽市役所）、徳満康浩（同）の本道選手3人を含め、15人が表彰された。

本大会には全国から男女合わせて211チームが参加、実業団の全国チャンピオンを目指す。二十二日は、午前九時から札幌市北区体育館など札幌市内の4会場で一斉に試合が開始される。

まず1回戦突破を

○…JSDF北海道の女子チームは、今年の四月にチームを結成したばかり。チームにとっては、今大会が初めての全国大会出場となる。『まずは1回戦を突破したいね』『大舞台での初陣を白星で飾ろう』と、5人の選手は燃えている。

三月、主将を務める藤村紋子が東立川から真駒内へ転属して来たことがきっかけでメンバーがそろった。5人の平均年齢は二十歳という文字通りの"ぴよこチーム"だ。青森県トップクラスの千葉学園でラケットを握った藤村がチームを引っ張る。

四月には男子と共同の合宿を行ったり、強豪NTT北海道と練習試合もこなしてきた。全員が顔を合わせて練習するのは月に2回ほどだが、『みんなとまりやすい』とチームワークに。選手として初出場となる高『いろいろな人技を磨きたい』、手の前にやや緊ちで目標を口に

NTT北海道は1回戦から出場

全日本実業団バドミントン選手権大会の組み合わせ抽選会が二十一日、開会式に先立って行われ、出場各チームの初戦の相手が決まった。

男子8、女子3の計11チームが出場する本道勢のうち、1回戦から出場するのは、男子のNTT北海道、チザキ、札幌市かは2回戦から。

本道チームの対戦相手と間、会場は次の（試合日はいず

【男子】▽N1回戦＝高岡時30分・白石区トヨタ自動車（白石区）▽JR回戦＝大日本（14時30分・北

21日から全日本実業団バドミントン　(19)

12年ぶり札幌でビッグゲーム

本道11チーム「旋風だ」

1995

選手、役員約三千人が参加し単独競技種目としては国内最大規模になるバドミントンの秋父宮妃賜杯・労働大臣杯第45回全日本実業団選手権大会（日本バドミントン協会、日本実業団バドミントン連盟主催）が、二十一日から二十五日まで札幌中島体育センター別館をメーンに同市内四会場で開催される。同選手権大会実行委員会事務局では「十二年ぶり三度目の札幌でのビッグイベント。全国のトップがチームの名誉をかけてぶつかり合う。最高レベルのプレーを多くの人に見てもらいたい」と六日後に迫った大会をPRしている。

総勢2208チーム

同大会には男子百三十四チーム、女子七十四チームの計二百八チームが参加する。選手は約二千五百人、役員、関係者を含めると三千人を超える。国内のトッププレーヤー、五輪代表候補選手がしのぎを削る実業団バドミントン界の最大イベントだ。

大会のみどころは、男子は八一年の第31回大会（名古屋）から十四連覇中、日本リーグ1部八連覇のNTT東京の十五年連続二十回目の優勝にストップをかけるチームが出てくるかにかかる。前年2位の日本ユニシス、NTT関西、トナミ運輸の上位チームの奮闘いかんだ。ベスト8シードのベスト電器、YKK九州、北國銀行、NTT東北の戦いも見逃せない。

北海道からは八チームが出場する。日本リーグ1部の第2回大会から参加しているNTT北海道、同2部リーグのJR北海道に活躍を期待。出場十四回目の小樽市役所、十三回目の札幌市役所。平均年齢三十四・八歳のベテランチームで初出場のラケットショップ・スガワラのプレーも楽しみだ。

一方、女子は三年連続十四回目の優勝を狙うサントリー、それを追うNTT東京、三洋電機、ヨネックス、ベスト電器の展開が、特に三洋には地元北海道出身で二年目になる中山智香子、増茂孝枝（ともに旭川実出）が一段と成長し、優勝争いに絡むプレーを期待したい。道内からは男女合わせて唯一のシード権を持つNTT北海道と日本リーグ2部に復活したチザキ、初場のJSDF北海道の三チームが出場。前年日本リーグ2部で準Vのが北まで頑張れるかにも注目が集まる。



12年ぶりの全日本実業団バドミントン成功に向けて最後の準備に余念がない大会事務局

バドミントン 日本リーグ 2部

第1日（22日 旭川市総合体育館）

本道で初の開催。男女各8チームが出場、1部の最下位チームとの入れ替え戦出場を目指して、3日間の総当たりで行われる。第1日は2試合行われ、女子はNTT北海道が2連勝、チザキはNTTとの本道対決に敗れたものの、コスモ石油堺をトレー勝1敗。男子のJR北海道は、昨年の1、2位チームと戦い1勝1敗と五分の星を残し、残り2日間に希望をつないだ。（記録は本道関係分）



シングルスで2戦2勝とチームに勢いを付けたJR北海道の馬木

JR北海道

馬木主役だ

シングルス2戦2勝

昨年2位のジャトコを2―1で破ったJR北海道。第2戦は北國銀行（昨年優勝）に敗れたものの、地元・旭川高出身の馬木貴之主将（25）がシングルスで2戦2勝と気を吐いた。「少しはプレッシャーもありましたけど、自信をもってコートに入れました」と笑顔を見せる。昇格リーグという今大会の主役にもなりそうな勢いだ。

見せ場は北國銀行の崎田戦だった。4―15と簡単に先取されたものの、2セット目を15―11で奪い返す。ファイナルは0―6からの鮮やかな逆襲、13―13のセッティングを制した。

昨年の2部リーグはシングルス1勝5敗、ダブルス1敗で、チームも6位と散々な結果に終わってしまった。しかし、今年は全日本実業団（6月、熊本）でチームベスト16入りに貢献するなど、プレーも安定。主将2年目を迎え、責任感も一段と強くなった。（松村徳）

1997



リーグ2勝目をつかんだチザキの梶原（左）岩崎ペアは歓喜のポーズ

チザキ目標クリア

北國銀破り2勝！明るさ戻った

チザキのベンチにもコートにも明るさが戻ってきた。初日のコスモ石油戦に続き、昨年0―3とストレート負けを喫していた北國銀戦を、シングルス戦からの逆転で破り、まず最初の目標だった2勝目を挙げた。

チザキは一昨年は6勝1敗で準優勝。しかし、昨年は1勝もつかむのが精いっぱいで、マッチ率で最下位は免れたものの7位に低迷してしまった。青山学院大時代に世界一の女王、社会人となっても全日本の上位を争うなど絶対的なエースの日原恵美里が引退した〝ショック〟が尾を引いていた。

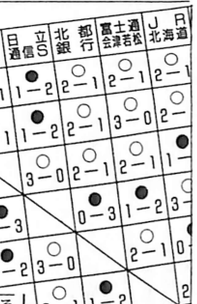
「職場も理解して練習、試合に送り出してくれる。期待に応えるためにも結果を出さなければ」（林秀行監督）以下選手たちは、今リーグに懸けてきた。三洋電機鳥取からチザキに入部して三年目になる梶原修出身の星川愛を新主将に、七年ぶりの高校卒業チーム（札幌静修出）と数田裕美（仙台・聖ウルスラ学院出）を加え「新制・チザキ」を目指していた。

前回リーグではシングル戦で7戦全敗だった星川は数田と組んだダブルスでコスモを下すリーグ初勝利。今回、シングル専門になっている伴宏美もこの日に北國戦でチームの勝利につなげる大切な勝ち星をデビューした。

二日目の最終戦での3勝はお預けとなったが、最終日の残り二試合に「もう一つずつのつもりで臨みます」（星川主将）。（熊倉 紀）

バドミントンの日本リーグ（2部）第二日は二十三日、旭川市総合体育館で男女のリーグ戦各二試合ずつが行われた。同リーグでのチームの再出発をかけている女子のチザキは前年、完敗した北國銀行を逆転で下し2勝目をつかんだ。優勝戦線に絡んでいたNTT北海道は、この日の最終戦で全勝できているNEC相模原に敗れ、3勝2敗で二歩後退した。男子のJR北海道は、2勝3敗で二日目を終えた。

バドミントン日本リーグ2部



	JR北海道	都銀	北銀	立S日通信	ヤコジト	國行	J北海	ンソ
JR北海道		2―1	2―1	1―2	2―1	2―1	1―2	2―1
都銀	1―2		1―2	2―1	3―0	2―1	2―1	0―2
北銀	2―1	2―1		2―1	2―1	1―2	1―2	1―2
立S日通信	2―1	1―2	1―2		0―3	1―2	2―1	3
ヤコジト	1―2	1―2	1―2	3―0		2―1	1―2	2―1
國行	1―2	1―2	2―1	2―1	1―2		0―3	2―1
J北海	2―1	1―2	2―1	1―2	2―1	3―0		0―2
ンソ	1―2	2―1	2―1	0―3	1―2	1―2	2―0	

（-2）

【男子】
JR北海道 2（複1―1、複2―0、1）1 NTT北海道
馬木 2 1517 1519 1512 1511 1511 1511 1511 0 伊藤
小倉 0 915 1521 1518 1511 1511 1511 1511 2 中井
口 2 1519 1521 1518 1511 1511 1511 1511 0 吉武
米田 0 55 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 野中
寺尾 0 55 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 吉武

【女子】
NTT北海道 3（複2―0、複1―1、1）2 北國銀行
梶原 2 1112 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 星川
岩崎 2 1715 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 数田
チザキ 2（複2―0、1）1 北國銀行
梶原 0 119 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 星川
岩崎 0 1517 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 数田
土屋 2 1515 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 武田
武田 2 1515 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 高橋
中後井 2 1515 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 高橋
土屋 2 1815 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 武田
中後井 1 1515 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 武田
NTT北海道 3（複2―0、複1―1、1）2 北國銀行
崎田 1 1511 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 高橋
石武田 2 1518 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 高橋
西本島 2 1515 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 武田
北國銀行 2（複2―0、複1―1、1）1 NTT北海道
馬木 2 1517 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 伊藤
小倉 2 915 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 中井
口 2 1519 1511 1511 1511 1511 1511 1511 0 吉武
米田 0 55 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 野中
寺尾 0 55 1511 1511 1511 1511 1511 1511 2 吉武

市監督（35）も「今大会は馬木勝負。彼の1勝を計算に入れた戦いです」と、全幅の信頼を寄せている。

2日目（23日）は一気に3試合を消化。JR北海道は2戦全勝のデンソー、北都銀行と対戦する。ここを乗り切れば、2部優勝の目も出てくる。社会人7年目、脂の乗り切ったエース・馬木が地元で大暴れしてくれそうだ。（松木 純）

バドミントン日本リーグ2部

新人奮闘で2位のチャンスも…

NTT悔し涙4位

バドミントンの日本リーグ（2部）最終日は二十四日、旭川市総合体育館で男女のリーグ戦各二試合ずつが行われた。女子はNTT北海道を含む上位四チームが激しい順位争いを演じる展開となったが、最終戦で惜敗したNTTは通算4勝3敗で4位に終わった。また、チザキは3勝目をつかみ昨年より順位を上げて6位。一方、男子のJR北海道は、リーグ途中で主力をけがで欠いたのが響き5勝5敗で7位だった。



打ちめのスマッシュ・世界へはばたけ
NTT北海道ユース育成部
GO GO
地から
全国の星へ！本田恵
NTT札幌大通育英所比春一期
NTT北海道
10

ガッツポーズを合わせるNTT北海道の土屋・武田（10番）は最後に悔し涙

4勝2敗のタイで並んだNTTとコスモ石油堺との最終戦。勝てば2位、敗れれば4位とわずかの差しかない試合となった。明暗を分けたのが1―1で迎えたラストダブルス戦。NTTの土屋留美子主将・武田明美組が第1セットの8―15の劣勢を第2セットでは逆に「ラブゲーム」のペンチの指揮を執った佐藤忠和コーチは「選手は練習の成果は出していたが、（7試合で2勝の成績の）シングルスの差が出てしまった。オーターを相手に試合に敗れるなど反省点は多い」と振り返った。それでも、ルーキーペアが6勝1敗とリーグでの成績を出し、収穫はあった。

「これからのオフシーズンはシングルスをしっかりと鍛え直していきたい」（工藤コーチ）。三年ぶりの準優勝は逃したが、来季への課題を見つけ直すことは出来た。

最後の最後にコートに悔し涙を流した土屋主将も「新人が頑張り、つかんだ（準優勝の）チャンスだったのに…。（この悔しさを）来年までぶつけます」と新たな誓いを立てていた。（熊倉 紀）

〝実力以上〟の3勝

ハチザキ、デンソー戦を勝利して3勝目。昨年より勝ち星で2つ、順位で1つ上回ってリーグを終えた。中村高光副部長は「実力以上のものが出せた。来年の新たな補強は今の時点ではないが、現有メンバーのレベルアップを図りたい。ダブルスの戦い方ももっともっと教えこんでいきたい」と話した。

リーグ勝がすべてチームの勝ちにつながったルーキー伴宏美のシングル戦は、さらなる成長への材料。「これからのオフをこれまでにないチームの充電期間にする」（中村副部長）。

松村監督〝采配ミス〟

JR北海道ベンチ入りチームの浮沈のカギとなっていた馬木貴之主将が、リーグ初戦で左足を後遊し、じん帯を傷め第4戦からはベンチに下がらなければならなかったアクシデントが成績に表れてしまった。松村徳市監督は「馬木のリタイアも大きいが、2勝目以降の戦いはすべて自分の采配ミス。リーグの戦い方の難しさを改めて痛感しました」と反省しきりだった。

二十六日からは大会十連覇がかかる全国JRバドミントン大会（鹿児島）が待っている。チームの再起への糧にしてくるつもりだ。

【男子】
トヨタ自動車 2（複1―1、1）1 JR北海道
福田・坂上 2―0 米田・寺尾
吉田・清水 0―2 田口・小倉
滝田 智 2―1 高橋 進
JR北海道 3（単1―0、複2―0）0 北都銀行
百上・鈴木 2―1 田口・小倉
杉山・藤井 2―1 米田・高嶋

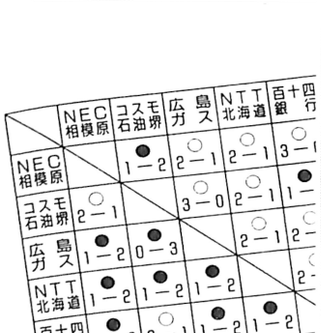
【女子】
日立通信システム 3（単1―0、複2―0）0 北都銀行
高橋 真 2―0 寺尾 隆司
デンソー 2―1 北都銀行
JATCO 2―1 日立通信システム
富士通会津 2―1 北都銀行
デンソー 2―1 トヨタ自動車
若松 【最終順位】①デンソー ②JATCO ③北都銀行 ④日立通信システム ⑤富士通会津 ⑥トヨタ自動車 ⑦JR北海道 ⑧NTT北海道

◇第5回北海道ジュニアカーリング大会（22、24日・苫小牧カーリングホール）
【男子】▽準決勝 Shoot ing 4-3 アイスマン 4-3 TJCC スーパーガ 9-6 アイスマン ▽決勝 スーパーガ 3-0 決定戦

◇第5回北海道ジュニアカーリング大会（22、24日・苫小牧カーリングホール）
【男子】▽準決勝 Shoot ing 4-3 アイスマン 4-3 TJCC スーパーガ 9-6 アイスマン ▽決勝 スーパーガ 3-0 決定戦

【女子】
東光醸造ディーズ ▽3位 ステイゴ
女子保険 ▽男女 土屋・武田 2-0 中村・松田
後藤・中井 2-1 安田・下村
月21、23 ールで開 ニオリ グ大会に

▽複 星川・数田 0-2 野中・吉武
▽単 梶原・岩崎 2-1 福島・利
宏美 2-0 伴 宏美
▽複 伊藤・高田 0-2 後藤・中井
▽単 芳枝・辻 2-1 土屋・武田
▽本 静香 2-1 梶 千春
コスモ石油堺 2（単1―0、複1―1）1 チザキ
▽複 後藤・中井 2-1 土屋・武田
▽単 千春 0-2 松田奈緒子
山下真奈美 2-0 伴 宏美
コスモ石油 2-1 NEC相模原
堺 2-1 百十四銀行
▽複 星川・数田 2-0 梶原・岩崎
▽単 宏美 2-0 松田奈緒子
広島ガス 2-1 デンソー
NEC相模原 3-0 北國銀行
広島ガス 2-1 デンソー
【最終順位】①NEC相模原（6勝1敗）②コスモ石油堺（5勝2敗）③広島ガス（5勝2敗）④NTT北海道（4勝3敗）⑤百十四銀行（3勝4敗）⑥チザキ（3勝4敗）⑦JR北海道（2勝5敗）⑧デンソー（1勝6敗・6位はマッチ率）



	NEC相模原	コスモ石油	堺	広島ガス	NTT北海道	JR北海道	百十四銀行
NEC相模原		1―2	○2―1	○2―1	○2―1	○2―1	○3―1
コスモ石油	○2―1		○3―0	○2―1	○2―1	○2―1	○2―1
堺	●1―2	●0―3		●1―2	●1―2	●1―2	●0―3
広島ガス	●1―2	●1―2	○2―1		●1―2	●1―2	●0―3
NTT北海道	●1―2	●1―2	○2―1	○2―1		●1―2	●0―3
JR北海道	●1―2	●1―2	○2―1	○2―1	○2―1		●0―3
百十四銀行	●0―3	●1―2	○2―1	○3―0	○3―0	○3―0	

	チザキ	北銀行	デンソー
チザキ		●0―3	●1―2
北銀行	○3―0		●1―2
デンソー	○2―1	○2―1	

新聞・写真　掲載（順不同）
北海道新聞・道新スポーツ・北海タイムス・
スポーツニッポン・報知新聞・日刊スポーツ・
バドミントンマガジン

1993

ホットコメント

全日本総合バドミントン選手権で女子シングルス３位に入賞した

日原 恵美里さん（23、チザキ）

ナショナルチーム選考会に燃える社会人１年生

今春、青学大を卒業し地元崎工業に入社した。大学時代は平成3年の世界学生選手権（スウェーデン）ダブルスで優勝を飾るなど数々のタイトルを手にした期待の選手だ。今季、全日本社会人でベスト8入りするなど、めきめきと頭角を現している。

総合選手権では大学時代3度出場し1勝もできなかった。社会人1年目の今季、大きな目標にしていた大会だ。今までではプレー中に弱気になるタイプだったが「みんな格上と開き直って、強気でプレーできたことが大きい。いつもはあきらめるような球も拾いにいけた」と振り返る。

2回戦で学生時代、1回も勝ったことのない先輩の道上彰子（NTT東京）を2―1で破り波に乗った。準決勝では優勝した水井妃佐子（21、フジチュー）にけたでも「思いろからスり、全日本じました」も得るものという。

次の目標9日に神奈かれるナ考会。選歩近づくんとしてま正月も返上に励む。

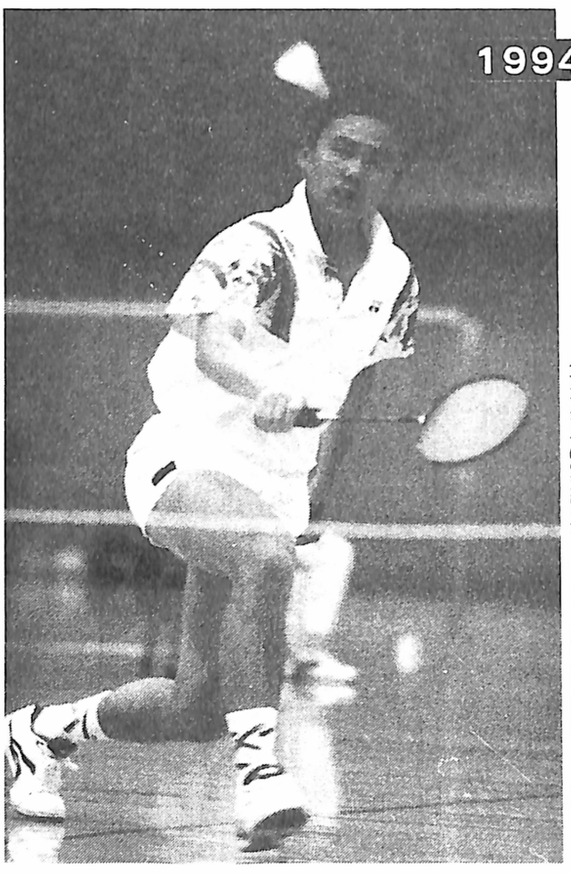


ダブルスでペアを組む岩崎美香（右）の祝福に笑顔の日原

日原 開き直ったら…トントンと4強入り

今月15日から19日まで東京・代々木第2体育館で行われた第47回全日本総合選手権・女子シングルスで本道選手初の4強入りを果たした。

1994



ベテランならではのきかいなプレーで2年ぶりの優勝を決めた伊藤（NTT北海道）

男子1部 これが32歳か！7度目V

全道社会人バドミントン 第1日

（23日・札幌市豊別民体育館）

男女シングルスの決勝まで行われた男子1部決勝は、この夏に2年ぶりのナショナルチーム復帰を果たした32歳の伊藤雅弘（NTT北海道）が、後輩の吉川英樹（NTT北海道）に2―0のストレート勝ちで2年ぶり7回目の優勝。ベテラン健在をアピールした。女子1部は日原恵美里（チザキ、札幌）が田中範子（NTT北海道）を下して2連覇を決めた。

【男子】
一部シングルス決勝
伊藤（NTT北海道）2 1515 10-9 0 吉川（NTT北海道）

【女子】
一部シングルス決勝
日原（チザキ）2 1112 6-9 0 田中（NTT北海道）

ベテランの老かいなプレーに、10歳も若い吉川が振り回される。中盤までは競り合っても後半はスタミナと気迫の違いが出る。第1セットは9点、第2セットも10点まで、32歳の伊藤がテクニックで後輩をあっさり退けた。

体力の衰えなど全く感じさせない。6月のナショナルチーム選考会でシングルス5位に食い込み、2年ぶりに"全日本"に返り咲いた実感の男。アジア大会代表からは漏れたが、22日まで大分県での全日本合宿に参加、試合前日に帰道したばかりでいきなりのタイトル奪取。

昨年から監督兼任となり、いまは若手を育てるという使命を負っている。相手は次期エースと期待している吉川。勝ったとはいえ、伊藤の心境は複雑だ。「練習では強いのに、肝心の本番で勝てない。もっと挑戦者の気持ちでぶつかってきてほしい。自分のことはさておき、まずは後輩に学んでほしい」と話した。

今年で社会人1年目（負ければ、いつでも辞める覚悟）でいる若手に後を託した反面「わざと負けるつもりもない」と数年、過去大会のシングルスでは負けなし、チャンピオンとしてのプライドもあるが、いまは練習相手になって後輩を苦しめるEが自分の仕事」と思っている。だから「もう負けない日」と悔やんだのに…」と悔やんだ吉川も、必死で喰らいついてくるのだ。

全日本で最年長になった上「今年が最後」の決意。「今年いっぱいは、精いっぱいやるつもり（国体、日本リーグ、そして全日本総合選手権まで、ベテランは体力の限界に挑む。（石井 睦）

体力の衰え感じさせぬ

NTT北海道 伊藤 強い

若手よ出てこい 勝っても心境複雑

NTTアベック制覇

手負いの女子〝喜び倍増〟

第47回全道実業団バドミントン選手権最終日は二十日、札幌・中島体育センター別館で男女1―3部の決勝トーナメント（一部リーグ戦）が行われた。女子1部は五年連続のNTT北海道とチザキの優勝争いで、NTTが3―1でチザキを下し、四年連続七回目の優勝を果たした。男子1部はNTT北海道がストレートでJR北海道の挑戦をはねのけ二十七連覇を達成した。NTTのアベックVは七回目。

【女子】マ決勝
NTT北海道 3-1 チザキ

武田	高橋	武田屋	土本	中井	梶原	岩崎原	武キ
2	2	2	1	1	2		
11	11	15	15	9	15		
11	14	15	13	21	11		
8	0	7	4	5	5		
5	7	4	0	0	1		
0	1	0		2			
数	梶	数	伴	梶	岩		
田	原	田	崎	原	崎		

チザキ振り切った

「絶対勝てると信じてました。でも本心はほっとしました」今季から主将になった土屋恵美子さんが満面の笑みで四連覇を喜んだ。

チザキとNTTの戦いは今回で八回目。NTTが過去5勝2敗とリードしているが、今年は対戦成績は〇乗ではなかった。大会前に故障をして、ない選手が三人だけという状態だった。それだけに、高卒ルーキーを補強して元気印のチザキとの一戦は、予断を許さなかった。

流れをつかんだのはダブルス戦で1―1とした後の高橋昌子（三）の第一シングルだった。二カ月前に腰を痛め、練習を開始したのが大会の一週間前という高橋だったが、相手のエース格・梶原夕子（三）の動きをじっくりと見た粘りのプレーで逆転。フルセットの末にうれし涙を流した。

チームが練習に励んでいる中、一カ月間はラケットを握ることが出来なかった高橋だが、「チームに遅れを取りたくない。シングルスはひそかに練習してきたんです。大切なポイントで自分が頑張れなければ」との思いが必死のプレーにつながった。伊藤雅弘監督兼主も「セットを先行されて負けたと思った。良く勝ってくれた」と感激の表情。今年三年目になる高橋はチザキの梶原とは昨年のこの大会では逆にフルセットの末に敗れていた。「今年こそは」の気持ちはあった。相手の疲れが分かったのでシャトルに食らいついていきました」。表彰式で手にした優勝旗に再度感激がこみ上げた。



4連覇をつかんだNTT女子々土屋主将（中央）は感激の涙の高橋の肩を抱いて「よくやったよ」

土屋主将は「先月のランニングを中心とした帯広合宿などでチザキより練習量は上の自信が選手全員にあった」と思う。ケガ人からけのチームだけど本当になかった」と連覇の達成とアベック優勝に胸を張った。（熊倉 紀）

男子敵なしV27

○…男子のガ城は今年もゆるがなかった。NTTが選からの計五試合をすべて3―0のストレート勝ち。さらに一セットも落とすことなく完全制覇した。

道内唯一のリーグ1部チームで「敗戦は許されない」プレッシャーがあるが、選手には無用の心配だった。「補強はなかったが、日本リーグ4位の実績などで、昨年よりチーム力は充実している。連勝へ挑戦。」（石井 睦）

【男子】マ1部決勝
NTT北海道 3-0 JR北海道
星 2 1515 2-3 0 米田
岡 2 15-5 0 小寺
吉 2 15-5 0 馬木
佐藤 2 15-7 0 倉尾
【最終順位】①NTT北海道②JR北海道③札幌市役所④チザキ⑤SDF北海道⑥札幌市役所⑦ラケットショップ・スガワラ

【女子】マ1部決勝
南部便局 2 1515 2-3 0 伊藤
吉岡 2 15-5 0 小寺
藤井 2 15-5 0 倉尾
吉川 2 1515-7 0 馬木
【最終順位】①NTT1部②NTT2部③ハウハマ3部④ショッサンク

1997



23連覇の道女短

1995

道学生バドミントン春季リーグ

道女短大23連覇

北村監督「全部員一丸の結果」

第37回北海道学生バドミントン春季リーグ戦大会は二十八日、野幌運動公園体育館で男女一部の最終戦が行われた。男子は札幌学院大が北大に競り勝ち23年連続四回目の優勝で秋を含め三季連続のVを決めた。女子は北海道女子短大が昨年からめざましい力をつけてきている道教育大札幌を5―0のストレートで退け、昭和四十八年から続く連勝記録を「23」とした。同リーグの男子上位3チーム、女子同2チームが全日本学生選手権大会（十月二十四日―十一月一日、京都市）に進む。

「今回は厳しかったです。他チームも選手層が厚くなっている。ベンチの選手と応援の部員が一つになれた結果と選手たちの活躍に惜しみない指導を注ぎ続けたのが道女子短大を指導して二十三年になる北村監督。道女子短大の連勝の始まりは昭和四十八年のリーグからだ。高校時代のバドミントン選手は一人だけで、あとはバレー部からの転向組のチームが優勝を飾り、二十三連覇への第一歩となった。二年間の短大でのチームづくりの難しさを克服しての連勝の歴史を築いていった。また、秋リーグを含めると四十三連勝中にもなる。

昨年春、秋と上位に食いついている道教育大札幌との最終戦は「連覇を自分たちの代で止められたくない」という選手たちの執念があった。全部員二十三人のうち二年生八人をエントリー。昨年秋からのメンバーが力を合わせた。河合監督は「最後は5―0で取ろうと試合前から話し合っていました」という。

「連勝のプレッシャーはあったが、ベンチに入れない部員たちも自分が一緒に戦っている感じで応援してくれました」とキャプテンとしての連勝記録の更新にほっと一息をついた。

道女子短大は三月の春合宿、リーグ直前の強化練習を大学に招き切り込みでこなしてきた。強化練習ではQGでNTT北海道の小笠原満前主将が"コーチ"で駆けつけるなど、大きな陰の応援もあった。

北村監督は「昨年の全国は十九年ぶりに初戦（対福岡戦）敗退を演じてしまった。今年は高いレベルでまとまりのあるチーム。ベスト8狙いで頑張りたい」と次のターゲットをあげた。（熊倉 紀）

▽最終成績【男子一部】①札幌学院大4勝②北大3勝1敗③北大2勝2敗④札幌大3勝1敗⑤藤女2勝3敗⑥教育大札幌4敗【女子一部】①道女短大4勝②釧路短大3勝1敗③道教育大札幌2勝2敗④静大3勝1敗⑤札大4敗

意地で劣勢はね返す！
男子は札学院V2

札幌学院大と北大の最終戦は激戦を演じた。札学院が勝てば四戦全勝で文句なしのV、セットカウント2―3で負けても優勝。しかし、1―4で負けた場合に取得セットの差で北大に逆転されてしまう。試合はダブルス二つ、シングルス二つが終わった段階で2―2と北大のリード。第2シングルスが勝敗のカギを握った。

北大の斉藤基樹主将（四年）と札学院のエース高橋真（四年）の対戦。第1ゲームをつかんだのは斉藤。札学院に傾きかけた空気を流れだした。しかし、斉藤は第2ゲームの動きが出来て逆転。ラストは新人戦シングルスVの西田主将が相手を寄せつけずにガッツポーズをつくっていた。

竹本隆監督は「1セットを取れば優勝出来る安心から緊張感がなかったと思う。最後に目が覚めてくれた。全国1勝がこれからの目標」と話し、二季連続し、二季連続意地があった（三年）は「勝てる相手。最後の優勝だけは」との言葉に精気とリズムがあった。

1996



全英ベテランズチャンピオンシップス・バドミントン大会出場あいさつする山田さん（右）

英国のバドミントン大会に出場
山田さん「最後の挑戦」
滝川市教委職員が、九月に英国で開かれる第八十回ベテランズチャンピオンシップス・バドミントン競技大会に出場することになり、市長に出発あいさつした。

出場するのは、市教委スポーツ振興課勤務の山田健治さん（五三）。バドミントン歴が長く、全国スポーツレクリエーション大会などに出場し、何度も優勝した経験を持っている。

バドミントン仲間で、札幌在住の東健治さんから、英国ロンドンのウィンブルドンで開かれる同大会に「一緒に出場してみないか」と誘われて、男子五十代ダブルスと混合ダブルスの二種目に出場することを決めた。全国から二十人程度、本道からは四人が出る。

市役所の市長室を訪れた山田さんは、「最後の挑戦のつもりで頑張ってきます」とあいさつすると、林芳勇市長は「いい成果を期待しています」と激励していた。

1997

JR北海道 バドミントン部初の女子

西村「NTTに負けない」

実業団の名門、JR北海道バドミントン部に今春、西村美香（三〇）（札幌女子短大出）＝写真＝が加わった。女子の入部は、創部十年で初めて、前身の札鉄（国鉄札幌）時代から数えても二十六年ぶりだ。ライバルNTT北海道勢の一角を崩そうと、西村は九日から始まる道選手権にデビューする。

民営化後は男子チームの強化に絞ってきたJRだが、昨年の西村の試合ぶりを見た"武蕾丸"・副部長が「ハートの強さが魅力」とほれ込み、札幌静修高時代の谷補隆監督を通じて入部を勧めた。

高校では全道大会ダブルス優勝、南北海道大会シングルス準優勝と活躍したが、進学先は道内の常勝チーム・道女子短大で練習環境には恵まれている。二年前に第一線を退いた松村徳市監督（三四）や札鉄時代のエース東政文（四五）らOBが胸を貸してくれる。

ハートの強さ魅力
副部長らゾッコン

「自分に厳しくありたい」とはなく、大学一部リーグ（団体戦）で下位に低迷している札幌女子短大を選んだ。「弱いチームにいて道女短大に勝てたら……」というチャレンジ精神で、NTT勢に必死にシャトルを追う西村。高校時代ペアを組んだ高橋昌子がNTTのホープとして活躍していることも、闘志をかきたてる。「北海道選手権では簡単に負けないプレーを」と、NTT勢に挑む。

1995



JSDF北海道メンバー

選手名	愛称	（サイズ）	出身校
藤村	紋子	㉑（158㌢、57㌔）	高崎商大
上田	香	㉑（159㌢、51㌔）	青森・千葉学園
工藤	麻貴	㉑（161㌢、49㌔）	静・西武短大
高橋	真紀	⑲（158㌢、50㌔）	愛知三好
藤井	奈美	⑲（163㌢、60㌔）	札幌大谷

女子自衛隊チーム出動
きょうから全道実業団バドミントン

きょう15日から始まる全道実業団バドミントン選手権（札幌中島体育センター）の女子一部に自衛隊女子チームのJSDF北海道が初出場する。バドミントンの名門の青森・千葉学園高出身で、選抜東北予選でダブルス2位になって全国出場した藤村紋子（20）が今年、東京から地元北海道真駒内駐屯地に異動。また新人一人が自衛隊バドミントン部に加入して、"メンバー5人になったため参加となった、いきなりの1部出場となったが、二つでも多く勝つことが目標」と力が入る。

いきなり1部へ挑戦

5年前から自衛隊は女子バドミントン部をつくりたいという考えがあったが、ようやく実現した。初出場の女子チームは3月25日から4月7日まで、男子チームと一緒に札幌・北部方面隊駐屯地で合宿した。他の実業団に比べて、練習不足の感は否めないが、メンバー全員が「ようやく大会に参加できる」と喜びでいっぱいだ。

エースの藤村は本室蘭中出身で、バドミントンの名門の青森・千葉学園高にスポーツ特待生として進学。2年時に高校選抜ダブルスに出場しており、JSDF北海道のメンバーではただ一人全国を経験した。「NTT北海道に3人、チヂキに二人高校の先輩がいます。手の内は分かるので、対戦が楽しみです」と久しぶりの対面に胸を躍らせる。

メンバー5人中3人が真駒内駐屯地、二人が恵庭・島松駐屯地と離れなければならない条件に加え、一緒に練習できない条件に加え、藤村以外の4人は全国大会未経験。しかし、日ごろ自衛隊での訓練で体を鍛えており、体力だけならどのチームにも負けない。「拾って、粘りまくります。1試合5戦のうち、一つでも多く勝ちたい」と藤村。まずは、チャレンジャー精神で臨む。【嶽岡晃樹】

待望の女子バドミントン部ができ、エースの藤村は闘志を燃やす


選手宣誓 西里卓也（滝西）

国体予選（帯広開催）の一般女子複で優勝した
地元 赤川恭子と星 和枝（フジチュー）組



陣内貴美子氏を迎えての強化練習会（８年,十勝協会）


大会役員の北空知協会家庭婦人等

地区協会の10年

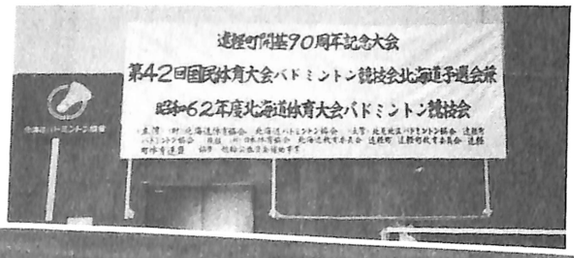

北海道・ロシア極東親善バドミントン旭川大会にて




全道で最も歴史がある南空知小学生大会開会式


第24回全国中学校バドミントン旭川大会（大雪アリーナ）

遠軽町あげての国体道予選の開催





北見地区高体連大会

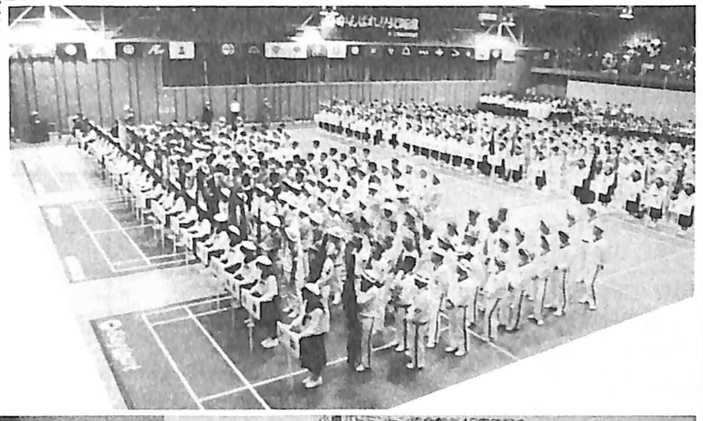

第27回名寄スポーツ愛好者の集いでの
中村稔名寄地区協会長ほかの役員

はまなす国体

登別市







会場いっぱいに選手役員が整列した開会式
県旗などで華やかな会場（電子工学院体育館）

苫小牧地区協会 新年度の総会から





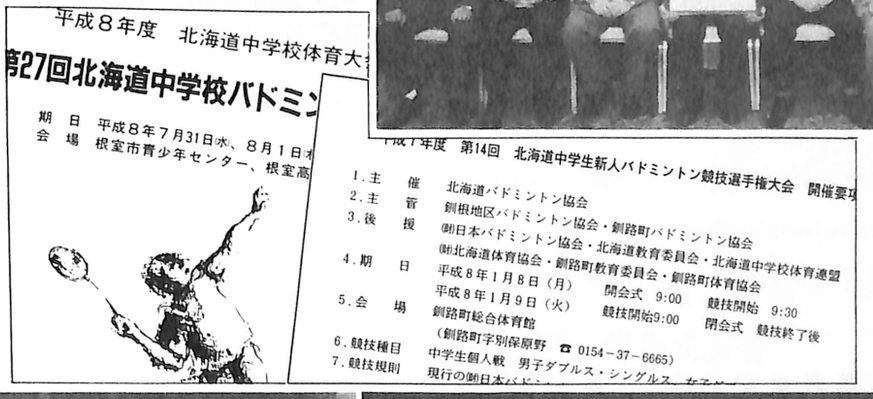
閉会式後の小樽の中学生と顧問の先生方

受賞された兼平副会長と函館地区協会役員





日本リーグで挨拶する藤井一孝前理事長







札幌地区の小学生大会（左），超ベテランで結成された札幌ダイヤモンドクラブの面々

平成９年度地区協会・連盟一覧

名　　称	会　長	理事長	事　　務　　局	担当者
北海道協会	地崎　昭宇	岩崎　昭郎	〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-5 中島体育センター内 TEL 011-521-7311・080-903-6756 FAX 011-511-3080（道体協）	山口　菊枝
函館地区協会	加藤　清郎	福田　侑司	〒041-0806 函館市美原4-13-19 TEL 0138-46-3859　　FAX 0138-46-3859	折原　敦子
室蘭地区協会	小向　利威	小向　利威	〒059-0034 登別市鷲別町1丁目 TEL 0143-86-6530	小向　利威
苫小牧地区協会	橋　　浪蔵	大澤　慶幸	〒053-0021 苫小牧市高岡6-22　苫小牧工業高校 TEL 0144-36-3161	池田　孝義
小樽地区協会	金栄　善彦	高野　幹男	〒047-0264 小樽市桂岡町11-34 TEL 0134-62-6709	高野　幹男
札幌地区協会	千葉　英守	木村　敏男	〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-3 札幌市冬のスポーツ博物館3Ｆ TEL 011-512-7611　　FAX 011-512-7611	永井　恭子
南空知地区協会	瀬能　　晃	小島　裕二	〒068-0828 岩見沢市鳩が丘1丁目1-1 岩見沢市役所 TEL 0126-23-4111　　FAX 0126-23-9977	下野　和義
北空知地区協会	山腰　修司	山田　健治	〒073-0021 滝川市本町4丁目3番1号 TEL 0125-22-0070　　FAX 0125-22-5315	髙山　訓正
旭川地区協会	松永　盛将	上原　主美	〒070-0000 旭川市2条9丁目 山口ビル TEL 0166-24-2681　　FAX 0166-24-2681	高橋　昌久
名寄地区協会	中村　　稔	松本　　洋	〒096-0052 名寄市東2条北9丁目 自TEL 01654-3-8218　　勤TEL 01654-2-2356	平川　芳克
十勝地区協会	杉山　昭彦	森田　精一	〒080-0856 帯広市南町南8線西24　帯広工業高校 TEL 0155-48-5650　　FAX 0155-48-2680	桑原　芳弘
釧根地区協会	伊東　良孝	尾張　健一	〒085-0814 釧路市緑ヶ岡3-1-3 釧路湖陵高校内 TEL 030-11-61731　　FAX 0154-43-3134	谷口　秀生
北見地区協会	波岡　清治	中田　武夫	〒090-0019 北見市三楽町213番地 北見藤女子高校内 TEL 0157-23-3212　　FAX 0157-23-5406	及川　紀郎
実業団連盟	青山　繁樹	岡　　明弘	〒003-0012 札幌市白石区中央2条4丁目1-18 TEL 011-813-3001　　FAX 011-813-3001	渋井　敏紀
教職員連盟	横山　　真	上山　功夫	〒003-0022 札幌市白石区南郷通21丁目南6-7-201 自TEL 011-866-1979　　FAX 011-853-0298	中川　憲昭
学生連盟	小林　純幸	北村　優明	〒060-0005 札幌市中央区北5条西22丁目 宮坂荘 TEL 011-614-4470　　FAX 011-614-4479	三好　義隆
家庭婦人連盟	木本　由孝	島中　玲子	〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目2 TEL 011-814-3355	島中　玲子

北海道バドミントン協会創立50周年記念行事　実行委員会

委員長	岩崎　昭郎				
副委員長	西村　幸衛	東　健治	北　豊吉	笠井　武彰	島中　玲子
委員	森田　精一	木村　敏男	金田　隆一	遠藤　好男	毛利　勝幸
	野川　豊	乙武　重丸	山口　菊枝	福井　正昭	笹森　剛
	河崎　正紀	中村　富光	熊谷　敏夫	北村　優明	谷浦　隆
	中平　正幸	渋井　敏紀	吉村　恭子	松野　英彦	石岡　直樹
	遠藤　静子	十川　千春	吉野　幸広		

編　集　後　記

創立50周年記念事業を提案したのは当時事務局長だった私で、立場上そうせざるをえなかった。その後この事業が少し具体的になったとき、最も大変だろうと皆が思った役割は記念誌の編集であった。だから他の役割はまだ決めなくても編集委員長だけは決めておこうと言うことになって、言い出しっぺの私がその責任をとることになった。いやさせられたと言うほうが適当であろう。平成７年３月にこの提案がなされ、翌８年３月に総会でこの記念事業が正式に承認された。大変なことになったと思った。ずぶの素人で編集のことなどさっぱり分からなかった。それでも私なりに記念誌の構想を練り、必要と思われる原稿依頼や、記事の収集を始めた。これが後に災いする事になる。平成９年に委員の顔ぶれも決まり具体的な作業が始まった。原稿の量が意外と多くなり、相互のバランスを考慮したり、配列を変えたり、１原稿内の表現を一貫させたり等の作業のなかで、紙面の都合でカットせざるを得なかったり、原稿の書き直しをお願いしたりしてご迷惑をかけたりした。幸いにも委員に委嘱された人達は編集の作業に詳しい人が多く、特に副委員長の北さんには定年退職という人生の節目のときに、自らの事は省みず、札樽間を20回近くも行き来してもらい、先頭に立って作業してもらった。他の委員たちもそれぞれの職場での大変な仕事をこなしながらの懸命の作業をしてもらった。感謝の気持ちでいっぱいである。

今回の編集において反省点や良かった点を述べよう。

1．委員会の構成をもっと早めにしておくこと。時間や経費や労力の節約のために絶対に必要なことである。
2．協会として日頃から正確な資料や、その時々の記録なるスナップ写真を集め、分類し、整理しておくこと。
3．委員には編集の知識、経験のある人を数人は選ぶこと。
4．各地区協会、連盟もこの50周年を契機に、それぞれのこれまでの沿革史を作れたことは良かったのではないかと思う。（既に整っていたところもあったと思うが）

この記念誌の発刊にあたり資料を提供してくださったり、快くご協賛頂いた関係各位に対し深く感謝いたします。

東　健治 記



〈シャトルの軌跡〉
編集委員会

委員長	東　健治
副委員長	北　豊吉
委員	乙武　重丸
〃	河崎　正紀
〃	松野　英彦



北海道バドミントン協会創立50周年記念誌

平成10年5月8日発行

編集発行　記念誌編集委員会
委員長　東　　健　治

発　　行　北海道バドミントン協会
札幌市中央区中島公園1番5号
Tel（011）521－7311

印 刷 所　株式会社　辻 孔 版 社